

The Japan Foundation

平成 20 年度（2008 年度）事業実績



国際交流基金

平成 20 年度（2008 年度）事業実績



国際交流基金

平成 20 年度（2008 年度）国際交流基金 事業実績 目次

平成 20 年度（2008 年度）国際交流基金事業実績

目次	2
注	6
地域分類・国名表記一覧	7
事項別事業費一覧	8
＜文化芸術交流事業に必要な経費＞	10
文化協力事業費	10
催し等事業費	11
1. 文化協力（主催）	11
2. 文化協力（助成）	12
文化事業費	14
人物交流事業費	15
1. 文化人招へい	15
催し等事業費	18
1. 日本文化紹介派遣（主催）	18
2. 日本文化紹介派遣（助成）	23
市民青少年交流事業費	29
人物交流事業費	30
1. 受託事業（アセアン）	30
2. 中学高校教員交流（招へい）	33
3. 中学高校教員交流（派遣）	35
4. 開高健記念アジア作家招へい	35
5. 文化交流企画運営補助（JF ボランティア）	36
催し等事業費	37
1. 市民青少年交流（主催/招へい）	37
2. 市民青少年交流（助成）	39
3. 異文化理解ワークショップ	52
企画開発費	53
催し等事業費	54
1. 事業開発（催し）	54
文化資料事業費	55
1. 事業開発（文化資料）	55
造形美術事業費	56
人物交流事業費	57
1. 受託事業（アセアン）	57
2. 造形美術情報交流（派遣）	58
3. 造形美術情報交流（招へい）	59

催し等事業費	60
1. 国際展（国際展参加）	60
2. 海外展（企画展）	60
3. 海外展（巡回展）	62
4. 国内展（企画展）	68
5. 海外展（助成）	69
6. 美術交流促進国内展（助成）	76
7. 造形美術情報交流（催し）	78
催し等事業費（トリエンナーレ）	80
1. 国際展（トリエンナーレ）	80
舞台芸術事業費	81
人物交流事業費	82
1. 舞台芸術情報交流（派遣）	82
2. 舞台芸術情報交流（招へい）	83
3. 内田奨学金フェローシップ（招へい）	85
催し等事業費	86
1. 海外公演（主催）	86
2. 海外公演（助成）	91
3. 国際舞台芸術共同制作	107
4. 国内公演（主催）	108
5. 国内公演（助成）	109
6. 舞台芸術情報交流（催し）	112
映像出版事業費	113
人物交流事業費	114
1. アニメ文化大使	114
催し等事業費	114
1. 海外日本映画祭（主催）	114
2. 海外日本映画祭（助成）	118
3. 外国理解促進国内映画祭（主催）	124
4. 外国理解促進国内映画祭（助成）	124
5. 日本マンガ大賞	126
6. 映像出版情報交流（催し）	127
文化資料事業費	127
1. テレビ番組交流促進	127
2. フィルムライブラリー充実（本部）	131
3. フィルムライブラリー充実（海外）	133
4. 国際図書展参加	134
5. 映像出版情報交流（文化資料）	136

日本研究事業費	137	附属機関関西国際センター事業費	191
1. 日本理解促進映画・テレビ番組制作（助成）	137	運営諸費	192
2. 日本理解促進出版・翻訳（主催）	138	1. 図書館運営（関西国際センター）	192
3. 日本理解促進出版・翻訳（助成）	139	研修事業費	193
<日本語普及事業に必要な経費>	143	1. 専門日本語研修（外交官）	193
日本語事業費	143	2. 専門日本語研修（公務員）	195
日本語企画調整費	144	3. 専門日本語研修（研究者・大学院生）	195
1. 海外日本語教育機関等調査	144	4. 日本語学習者訪日研修（各国成績優秀者）	197
2. 日本語教育情報交流	145	5. 日本語学習者訪日研修（大学生）（関西国際センター）	198
3. 日本語教育企画開発型事業	145	6. 日本語学習者訪日研修（高校生）（関西国際センター）	199
4. ベトナム日本文化交流センター	147	7. アジア・ユースフェロシップ高等教育奨学金訪日研修	200
日本語派遣・助成費	149	8. 地域交流研修（関西国際センター）	200
1. 受託事業（アセアン）	149	9. 在日外交官日本語研修	201
2. 日本語教育専門家派遣（専門家）	153	10. 受託研修（関西国際センター）	202
3. 日本語教育専門家派遣（ジュニア専門家）	157	11. 受託研修（関西国際センター）〔アセアン〕	203
4. 日本語教育学会助成	159	12. 受託研修（関西国際センター）〔サーク〕	204
5. 日本語教育機関支援（現地講師謝金助成）	160	<日本研究・知的交流事業に必要な経費>	205
6. 日本語教育プロジェクト支援（弁論大会助成）	162	企画開発費	205
7. 日本語教育プロジェクト支援（ネットワーク形成助成）	168	文化資料事業費	206
8. 日本語教育専門家派遣（JF ボランティア・指導助手）	172	1. 図書寄贈〔企画調整〕	206
日本語能力試験費	173	日中交流センター事業費	207
1. 日本語能力試験実施	173	人物交流事業費	208
2. 評価開発	174	1. 受託事業（日中交流センター）	208
附属機関日本語国際センター事業費	175	2. 高校生等招へい事業	209
研修事業費	176	催し等事業費	210
1. 指導的日本語教師の養成（日本語教育指導者）	176	1. ネットワーク整備事業（催し・主催）	210
2. 指導的日本語教師の養成（海外日本語教師上級研修）	177	2. 交流拠点設置運営事業（催し・主催）	211
3. 海外日本語教師研修（長期）	178	3. 交流拠点設置運営事業（催し・助成）	212
4. 海外日本語教師研修（短期）	179	文化資料事業費	213
5. 海外日本語教師研修（国別）	180	1. ネットワーク整備事業（文化資料）	213
6. 日本語学習者訪日研修（大学生）（日本語国際センター）	181	米州交流事業費	214
7. 日本語学習者訪日研修（高校生）（日本語国際センター）	182	日本研究事業費	215
8. 受託研修（日本語国際センター）	182	1. 日本研究組織強化支援（助成）〔米州〕	215
9. 受託研修（日本語国際センター）〔アセアン〕	183	2. 日本研究機関支援〔米州〕	216
10. 受託研修（日本語国際センター）〔サーク〕	184	人物交流事業費	219
11. 地域交流研修（日本語国際センター）	184	1. 小沢フェロシップ（派遣）	219
制作事業費	185	2. 日本研究フェロシップ（学者・研究者）〔米州〕	220
1. 日本語教材自主制作・普及	185	3. 日本研究フェロシップ（論文執筆）〔米州〕	222
2. 日本語教材制作支援（助成）	187	4. 日本研究フェロシップ（短期）〔米州〕	224
3. 日本語教材寄贈	189	5. 知的リーダー交流（派遣）〔米州〕	226
4. 図書館運営（日本語国際センター）	190		

催し等事業費	227	4. 知的リーダー交流 (招へい) [欧州・中東・アフリカ]	281
1. 知的交流会議 (主催) [米州]	227	5. 知的リーダー交流 (派遣) [欧州・中東・アフリカ]	282
2. 知的交流会議 (助成) [米州]	228	6. 知的交流フェローシップ (招へい) [欧州・中東・アフリカ]	283
アジア・大洋州交流事業費	229	催し等事業費	286
日本研究事業費	230	1. 知的交流会議 (主催) [欧州・中東・アフリカ]	286
1. 日本研究調査 [アジア・大洋州]	230	2. 知的交流会議 (助成) [欧州・中東・アフリカ]	289
2. 東南アジア元日本留生活動支援	231	日米センター運営管理費	293
3. 北京日本学研究中心派遣 (北京外国語大学)	232	ニューヨーク日米センター事業費	294
4. 北京日本学研究中心派遣 (北京大学)	233	1. 知的交流小規模助成	294
5. 北京日本学研究中心招へい (北京外国語大学)	234	2. 市民交流小規模助成	295
6. 北京日本学研究中心招へい (北京大学)	235	3. 教育アウトリーチ小規模助成	296
7. 北京日本学研究中心研究支援 (北京外国語大学)	236	4. 日米協会支援	298
8. 北京日本学研究中心研究支援 (北京大学)	236	5. 企画開発事業	299
9. 日本研究機関支援 [アジア・大洋州]	237	日米交流推進費	300
10. 日本研究組織強化支援 (助成) [アジア・大洋州]	240	人物交流事業費	301
人物交流事業費	241	1. 安倍フェローシップ	301
1. 受託事業 (アセアン)	241	2. 日米センターNPO フェローシップ	303
2. 日本研究フェローシップ (学者・研究者) [アジア・大洋州]	249	3. 市民交流支援 (日米草の根交流コーディネーター派遣/JOI)	304
3. 日本研究フェローシップ (論文執筆者) [アジア・大洋州]	252	催し等事業費	305
4. 日本研究フェローシップ (社会科学院研究生院)	255	1. 日米交流支援 (助成)	305
5. 日本研究フェローシップ (短期) [アジア・大洋州]	256	2. 日米交流支援 (主催)	310
6. 日本研究フェローシップ (高砂熱学工業)	257	<調査研究および情報提供事業等に必要経費>	313
7. 知的リーダー交流 (招へい) [アジア・大洋州]	258	情報センター事業費	313
8. 知的リーダー交流 (派遣) [アジア・大洋州]	259	催し等事業費	314
9. 知的交流フェローシップ (招へい) [アジア・大洋州]	260	1. 国内連携促進	314
催し等事業費	261	文化資料事業費	315
1. 知的交流会議 (助成) [アジア・大洋州]	261	1. 定期刊行物	315
2. 知的交流会議 (企画参画助成) [アジア・大洋州]	265	2. 年次報告	316
3. 知的交流会議 (主催) [アジア・大洋州]	268	3. インターネット	316
4. アジア地域研究センター支援 (催し等)	270	4. JF サポーターズクラブ	317
文化資料事業費	271	調査研究費	317
1. 図書寄贈 [アジア・大洋州]	271	1. JFIC 事業	317
欧州・中東・アフリカ交流事業費	272	2. 国際交流顕彰事業 (基金賞・奨励賞)	318
日本研究事業費	273	3. 国際交流顕彰事業 (地球市民賞)	319
1. 日本研究調査 [欧州・中東・アフリカ]	273	その他	320
2. 日本研究組織強化支援 (助成) [欧州・中東・アフリカ]	273	1. 後援名義の付与	320
3. 日本研究機関支援 [欧州・中東・アフリカ]	274	企画・評価費	329
人物交流事業費	276	調査研究費	330
1. 日本研究フェローシップ (学者・研究者) [欧州・中東・アフリカ]	276	1. 調査研究	330
2. 日本研究フェローシップ (論文執筆) [欧州・中東・アフリカ]	278		
3. 日本研究フェローシップ (短期) [欧州・中東・アフリカ]	280		

2. 事業評価（企画評価）	330
文化事情調査費	331
調査研究費	332
1. 文化事情調査	332
国際文化交流研究センター事業費	333
調査研究費	334
1. 調査研究	334
<在外事業に必要な経費>	335
<文化交流施設等協力事業に必要な経費>	512
文化交流施設等協力事業費	512
文化交流施設等協力事業費	513
1. 人物交流特定寄附	513
2. 日本研究特定寄附	513
3. 日本語特定寄附	514
4. 催し等特定寄附	515
5. 文化交流施設等特定寄附	516

(注)

1. 期 間

- (1) 本書で扱う事業実績は、事業の実施期間が2008事業年度（2008年4月1日～2009年3月31日）内のもの、および実施期間の一部がこの年度にかかっているものを対象としている。
- (2) 各事業の実施期間は次による。
 - ・人物の派遣・招へい：派遣期間または招へい期間
 - ・展覧会／公演／映画祭／セミナー等の実施：開催期間（開催日）または総巡回期間
 - ・上記を除く助成事業：助成対象期間
 - ・調査：調査実施期間
 - ・出版物の刊行：発行日

2. 地域・国

- (1) 地域分類および国名表記は別表のとおりである。
- (2) 各事業の実施対象国は次による。
 - ・人物の派遣：派遣先国
 - ・人物の招へい：被招へい者の居住国
 - ・展覧会／公演／映画祭等の実施
 - 海外で実施される場合：実施国
 - 国内で実施される場合：参加国またはテーマ国
 - ・リサーチ／会議／セミナー等の実施
 - 主催事業の場合：参加国またはテーマ国
 - 助成事業の場合：助成対象者（団体）所在国
 - ・図書／フィルム等の寄贈・配布：寄贈・配布先国
 - ・出版物の刊行：配布先国
 - ・上記を除く助成事業：助成対象者（団体）所在国

3. 海外事務所の事業

海外事務所の経費は、年平均のレートで円換算し、小数点以下は切り捨てた。

※ 2001年度より、本書で扱う事業実績額は、プロジェクトごとにまとめている。

(別表) 地域分類・国名表記一覧

(2010年8月現在)

大地域区分	小地域区分	国・地域 (通称、五十音順)
アジア地域	東アジア地域	韓国、台湾、中国、日本、モンゴル
	東南アジア地域	インドネシア、カンボジア、シンガポール、タイ、東ティモール、フィリピン、ブルネイ、ベトナム、マレーシア、ミャンマー、ラオス
	南アジア地域	インド、スリランカ、ネパール、パキスタン、バングラデシュ、ブータン、モルディブ
大洋州地域	大洋州地域	オーストラリア、キリバス、サモア、ソロモン、ツバル、トンガ、ナウル、ニュージーランド、バヌアツ、パプアニューギニア、パラオ、フィジー、マーシャル諸島、ミクロネシア
米州地域	北米地域	カナダ、米国
	中米地域	アンティグア・バーブーダ、エルサルバドル、キューバ、グアテマラ、グレナダ、コスタリカ、ジャマイカ、セントクリストファー・ネイビス、セントビンセント、セントルシア、ドミニカ、ドミニカ共和国、トリニダード・トバゴ、ニカラグア、ハイチ、パナマ、バハマ、バルバドス、バリーズ、ホンジュラス、メキシコ
	南米地域	アルゼンチン、ウルグアイ、エクアドル、ガイアナ、コロンビア、スリナム、チリ、パラグアイ、ブラジル、ベネズエラ、ペルー、ボリビア
欧州地域	西欧地域	アイスランド、アイルランド、アンドラ、イタリア、英国、オーストリア、オランダ、キプロス、ギリシャ、サンマリノ、スイス、スウェーデン、スペイン、デンマーク、ドイツ、ノルウェー、バチカン、フィンランド、フランス、ベルギー、ポルトガル、マルタ、モナコ、リヒテンシュタイン、ルクセンブルグ
	東欧地域	アゼルバイジャン、アルバニア、アルメニア、ウクライナ、ウズベキスタン、エストニア、カザフスタン、キルギス、グルジア、クロアチア、コソボ、スロバキア、スロベニア、セルビア、タジキスタン、チェコ、トルクメニスタン、ハンガリー、ブルガリア、ベラルーシ、ポーランド、ボスニア・ヘルツェゴビナ、マケドニア、モルドバ、モンテネグロ、ラトビア、リトアニア、ルーマニア、ロシア
中東地域	中東地域	アフガニスタン、アラブ首長国連邦、イエメン、イスラエル、イラク、イラン、オマーン、カタール、クウェート、サウジアラビア、シリア、トルコ、バーレーン、パレスチナ、ヨルダン、レバノン
	北アフリカ地域	アルジェリア、エジプト、スーダン、チュニジア、モロッコ、リビア
アフリカ地域	アフリカ地域	アンゴラ、ウガンダ、エチオピア、エリトリア、ガーナ、カーボヴェルデ、ガボン、カメルーン、ガンビア、ギニア、ギニアビサウ、ケニア、コートジボワール、コモロ、コンゴ、コンゴ民主共和国、サントメ・プリンシペ、ザンビア、シエラレオネ、ジブチ、ジンバブエ、スワジランド、セーシェル、赤道ギニア、セネガル、ソマリア、タンザニア、チャド、中央アフリカ、トーゴ、ナイジェリア、ナミビア、ニジェール、ブルキナファソ、ブルンジ、ベナン、ボツワナ、マダガスカル、マラウイ、マリ、南アフリカ、モーリシャス、モーリタニア、モザンビーク、リベリア、ルワンダ、レソト

事業別事業費一覧

(円)

文化芸術交流事業に必要な経費 2,287,395,293

文化協力事業費	23,121,105
1. 催し等事業費	19,698,544
共通経費等	3,422,561
文化事業費	188,393,221
1. 人物交流事業費	62,798,000
2. 催し等事業費	92,671,061
共通経費等	32,924,160
市民青少年交流事業費	292,125,190
1. 人物交流事業費	174,967,164
2. 催し等事業費	92,759,393
共通経費等	24,398,633
企画開発費	34,249,291
1. 催し等事業費	10,839,953
2. 文化資料事業費	18,014,446
共通経費等	5,394,892
造形美術事業費	735,939,143
1. 人物交流事業費	34,835,898
2. 催し等事業費	362,165,044
3. 催し等事業費（トリエンナーレ）	233,326,219
共通経費等	105,611,982
舞台芸術事業費	500,746,379
1. 人物交流事業費	7,531,469
2. 催し等事業費	476,461,877
共通経費等	16,753,033
映像出版事業費	512,374,714
1. 人物交流事業費	5,042,072
2. 催し等事業費	80,860,323
3. 文化資料事業費	358,478,105
4. 日本研究事業費	37,815,160
共通経費等	30,179,054

国際会議場運営事業費 446,250

日本語普及事業に必要な経費 3,906,774,193

日本語事業費	1,876,847,265
1. 日本語企画調整費	50,684,880
2. 日本語派遣・助成費	1,213,267,830
3. 日本語能力試験費	314,182,717
共通経費等	298,711,838
附属機関日本語国際センター事業費	1,059,730,364
1. 研修事業費	281,321,984
2. 制作事業費	171,496,782
共通経費等	606,911,598
附属機関関西国際センター事業費	970,196,564
1. 研修事業費	376,061,497
2. 運営諸費	18,616,596
共通経費等	575,518,471

日本研究・知的交流事業に必要な経費 2,104,363,912

企画開発費	77,878,947
1. 文化資料事業費	1,359,480
共通経費等	76,519,467
日中交流センター事業費	189,534,001
1. 人物交流事業費	77,664,232
2. 催し等事業費	32,287,907
3. 文化資料事業費	27,935,642
共通経費等	51,646,220

カルコン事務局運営費 4,446,096

米州交流事業費…………… 224, 131, 459
 1. 日本研究事業費…………… 69, 930, 488
 2. 人物交流事業費…………… 128, 123, 429
 3. 催し等事業費…………… 21, 834, 567
 共通経費等…………… 4, 242, 975

アジア・大洋州交流事業費…………… 680, 469, 983
 1. 日本研究事業費…………… 222, 183, 360
 2. 人物交流事業費…………… 280, 733, 152
 3. 催し等事業費…………… 134, 348, 349
 4. 文化資料事業費…………… 579, 449
 共通経費等…………… 42, 625, 673

欧州・中東・アフリカ交流事業費…………… 335, 972, 369
 1. 日本研究事業費…………… 82, 046, 423
 2. 人物交流事業費…………… 143, 023, 843
 3. 催し等事業費…………… 91, 075, 957
 共通経費等…………… 19, 826, 146

日米センター運営管理費…………… 153, 511, 507
 1. ニューヨーク日米センター事業費…………… 38, 671, 988
 共通経費等…………… 114, 839, 519

日米交流推進費…………… 438, 419, 550
 1. 人物交流事業費…………… 201, 339, 421
 2. 催し等事業費…………… 224, 214, 495
 共通経費等…………… 12, 865, 634

調査研究および情報提供事業等に必要経費	494, 110, 982
---------------------	---------------

情報センター事業費…………… 414, 589, 675
 1. 催し等事業費…………… 1, 439, 961
 2. 文化資料事業費…………… 50, 422, 553
 3. 調査研究費…………… 60, 678, 489
 共通経費等…………… 302, 048, 672

企画・評価費…………… 15, 568, 770
 1. 調査研究費…………… 2, 010, 728
 共通経費等…………… 13, 558, 042

文化事情調査費…………… 16, 114, 530
 1. 調査研究費…………… 973, 127
 共通経費等…………… 15, 141, 403

国際文化交流研究センター事業費…………… 47, 838, 007
 1. 調査研究費…………… 17, 289, 182
 共通経費等…………… 30, 548, 825

在外事業に必要な経費	3, 887, 286, 667
------------	------------------

在外事業費…………… 3, 040, 241, 221
 1. 在外事業費…………… 380, 614, 373
 共通経費等…………… 2, 659, 626, 848

人件費…………… 847, 045, 446

文化交流施設等協力事業に必要な経費	664, 552, 243
-------------------	---------------

文化交流施設等協力事業費…………… 664, 552, 243
 1. 文化交流施設等協力事業費…………… 663, 398, 532
 共通経費等…………… 1, 153, 711

事業費総計…………… 13, 344, 483, 290

文化芸術交流事業に必要な経費

文化協力事業費

1. 催し等事業費

- (1) 文化協力（主催）
- (2) 文化協力（助成）

文化協力事業費

1. 催し等事業費 / (1) 文化協力 (主催)

海外の無形及び有形の文化財保存に協力するため、専門家の派遣・招へい、国際共同研究、専門家会議、セミナー、ワークショップ等を実施する。

合計額 8,781,716 円

	事業名	氏名	現職	対象国	共催・協力機関	期間	事業内容
1	国立博物館紀要 翻訳出版援助			ブータン	ブータン国立博物館	2008.04.01 ~ 2009.03.31	ブータン国立博物館がブータンの歴史と文化についてとりまとめた全5巻の紀要を英語及びゾンカ語で刊行する出版費用の一部を負担。平成19年度事業(翻訳)のフォローアップ事業。
2	タンロン遺跡保存・修復	坪井善明 井上和人 上野邦一	早稲田大学政治経済学部 教授 奈良文化財研究所 国際遺跡研究室室長 奈良女子大学生活環境学部COE特任教授	ベトナム	コーロア保存センター (ベトナム) 文化遺産国際協力コンソーシアム (日本)	2008.07.21 ~ 2008.07.26 2008.11.22 ~ 2008.12.07 2008.11.22 ~ 2008.12.07	文化遺産国際協力コンソーシアムと協力し、タンロン遺跡保存・修復のため、日本人専門家を2回に分けて派遣。現地調査やシンポジウム参加を通じて、現地関係者と基本的なデータや課題を共有したり、今後の保存・修復作業に向けての基盤整備を行う。
3	南サハリンにおける樺太時代の文化遺産調査支援	井潤 裕 角 幸博	北海道大学スラブ研究センターCOE研究員 北海道大学大学院工学研究科教授	ロシア	サハリン州行政府文化局	2008.11.05 ~ 2008.11.08	老朽化の進む日本統治下樺太時代の史跡・文化遺産の保存・修復作業に向けての基盤を整備するため、日本人専門家をユジノサハリンスクに派遣し、日露合同調査及び共同シンポジウムを開催。
4	アフガニスタン陶工フォローアップ招へい	Abdul Mtin Noor Ahmad	陶工 陶工	アフガニスタン	(財)滋賀県陶芸の森 愛知県立窯業高等技術専門学校 恵那市立串原中学校 社団法人 日本ユネスコ協会連盟 信楽陶器工業組合 信楽窯業技術試験場 瑞浪窯業技術研究所	2008.12.01 ~ 2008.12.20	平成17年度文化協力(招聘)「アフガニスタン陶芸文化復興支援」事業のフォローアップとして、アフガニスタン・イスタリフ村から前回招へいした陶工のうち2名を再度日本に招へいし、日本の陶芸文化に対する理解促進と陶芸技術改善・新規技術習得の機会を提供。また、日本の陶芸家及び窯業・陶芸地場産業関係者との交流により、陶芸文化事業を通じた日本-アフガニスタン協力関係発展の基礎となるネットワークを構築。

文化協力事業費

1. 催し等事業費 / (2) 文化協力 (助成)

海外の無形及び有形の文化財保存に協力する日本の機関が実施する国際共同事業に対し経費の一部を助成する。

合計額 10,920,051 円

	事業名	氏名	現職	助成機関	対象国	期間	事業内容
1	池の下 上海戯劇学院 ワークショップ			池の下	中国	2008.04.01 ~ 2008.04.14	上海戯劇学院からの要請をもとに劇団「池の下」が俳優コース学生向けに全10回(1回4時間)の演劇ワークショップを行う企画に対し、経費の一部を助成。
2	ベトナム新文化財保護法適用第1号 ドンラム村農集落保存修復技術向上計画			昭和女子大学	ベトナム	2008.04.01 ~ 2009.03.31	昭和女子大学が、文化庁及び奈良文化財研究所の協力の下に進めているドンラム村農集落保存修復事業(平成20年度は、家屋修復・ザンバンミン廟修復工事指導及び観光・衣食他特産品推進指導)に対し、経費の一部を助成。
3	モロッコ王国における陶芸技術向上支援プロジェクト	西村早百合	陶芸家 書家		モロッコ	2008.04.22 ~ 2008.06.03	西村小百合が、モロッコ・メクネス女性陶芸家共同組合への陶芸技術指導、メクネス伝統芸術学校及びアルホセイマ工芸館でのワークショップ、並びにラバト市での作品展開催を通じて、同国陶芸分野の人材育成、技術向上、組織基盤強化する企画に対し、経費の一部を助成。
4	中部ジャワ震災地の市民と芸術家とともに創るガムラン・ワークショップを通じた文化復興計画			ガムラン・エイド・プロジェクト	インドネシア	2008.05.23 ~ 2008.05.30	ガムラン・エイド・プロジェクトが、中部ジャワ地震被災地の村々を訪問し、日本の市民からの支援金と共感と励ましの声を届け、現地の市民・芸術家・子供たちとともに音楽とダンスからなるワークショップを行うことを通じて、現地伝統文化遺産のガムラン復興活動を支援する企画に対し、経費の一部を助成。
5	日本建築家講演及び日本・ベトナム建築系学生共同ワークショップ	古市 徹雄	建築家、千葉工業大学教授		ベトナム	2008.08.23 ~ 2008.08.30	古市徹雄が、自らを含む日本を代表する建築家5人で、現代日本建築文化紹介のための講義及び日本とベトナムの建築系・都市計画学生を対象とした共同ワークショップを開催する企画に対し、経費の一部を助成。

文化協力事業費

	事業名	氏名	現職	助成機関	対象国	期間	事業内容
6	グアテマラ世界遺産調査保存計画フォローアップ	中村 誠一	マヤ考古学研究者、早稲田大学客員教授	グアテマラ文化自然遺産局ティカル国立公園	グアテマラ	2008. 10. 21 ~ 2008. 12. 15	平成17・18年度文化協力（主催）及び19年度文化協力（助成）事業のフォローアップ事業として、中村誠一がティカル・キリグア遺跡保存・調査本拠地となる「文化遺産保存研究センター」の基本設計に協力する企画に対し、経費の一部を助成。
7	ピチュ・克蘭チェン「能」研修プロジェクト			特定非営利活動法人ダンスボックス	タイ	2008. 10. 04 ~ 2008. 10. 08	特定非営利活動法人ダンスボックスが、タイ古典仮面舞踏劇の名手ピチュ・克蘭チェンを日本に招へいし、能を通じて日本から古典芸術における継承方法及び一般市民向け啓蒙活動について学び、日本の古典芸術の担い手達と交流を深める企画に対し、経費の一部を助成。
8	ユネスコ文化遺産保存日本信託基金プロジェクト「アンコール・トム バイヨン遺跡保存」			アプサラ機構 早稲田大学	カンボジア	2008. 12. 25 ~ 2009. 01. 08	2005年4月に終了した修復保存プロジェクト第2フェーズ内で完成した「バイヨン寺院保存修復マスタープラン」をもとに、早稲田大学が、①南経蔵の修復（修復計画の策定、部分的解体及び再構築）、②バス・レリーフ（劣化原因調査、保存計画の策定等）、③中央等（地盤調査、保存計画の策定等）を中心に引き続き修復を実施する企画に対し、経費の一部を助成。
9	ネパール児童絵画教育プロジェクト	金 斗鉦	画家（イラストレーター）、ネパール児童絵画教育プロジェクト実行委員会委員長	ネパール児童絵画教育プロジェクト実行委員会	ネパール	2009. 02. 14 ~ 2009. 02. 23	ネパール・ナウリコット村小学校からの要請をもとに、金斗鉦が、現地小学校で美術教育を行う教師を対象に、児童美術教育指導方法や授業方法に関するワークショップを行う企画に対し、経費の一部を助成。
10	日本ーヨルダン共同コミュニティ・ダンス創作促進事業	大野 理恵	舞台美術／写真家		ヨルダン	2009. 03. 15 ~ 2009. 03. 26	大野理恵が、キングス・アカデミー、アンマン・パフォーマンス・アーツセンター等と共同で、ヨルダンでは歴史の浅いコンテンポラリー・コミュニティ・ダンスの自主的な創作の土台作りを促進するためのワークショップを実施する企画に対し、経費の一部を助成。

文化芸術交流事業に必要な経費

文化事業費

1. 人物交流事業費

(1) 文化人招へい

2. 催し等事業費

(1) 日本文化紹介派遣（主催）

(2) 日本文化紹介派遣（助成）

文化事業費

1. 人物交流事業費 / (1) 文化人招へい

海外の文化の諸分野において指導的立場にある者、日本と当該国の文化交流の上で貢献が期待できる者を招へいし、日本の実情視察、日本側文化人、関係分野の専門家等との意見交換等の機会を提供する。

合計額 63,738,487 円

	氏名	現職	在住国	期間	事業内容
1	MWANDEMELE, Osmund Damian	ナミビア大学 副学長代理	ナミビア	2008.07.20 ~ 2008.08.03	日本の大学・研究機関との交流強化のための関係機関訪問及び関係者との意見交換、並びに日本文化・社会事情視察。
2	MANSOOR, Shoaib	TVドラマ演出家、映画監督、作曲家	パキスタン	2008.07.24 ~ 2008.08.06	日本のテレビ番組、映画、ポップ・ミュージック等関係者との意見交換及び日本の文化・社会事情視察。自作映画『神に誓って (In the Name of God) 』についてのレクチャー開催。
3	LISZKA, Tamas	シンブラー・フィルム(株) 最高経営責任者	ハンガリー	2008.08.01 ~ 2008.08.15	日本のアニメーション事情に係る理解促進及び関係ネットワーク構築のため、アニメ監督、アニメ制作会社、アニメ映画祭等訪問・意見交換、及び日本の文化・社会事情視察。
4	CAMARA, Abdoulaye	ブラックアフリカ基礎研究所博物館館長	セネガル	2008.08.20 ~ 2008.09.03	日本の考古学・民族学研究方法・動向及び博物館運営方法等に関する専門家との意見交換、並びに日本の文化・社会事情視察。
5	SEREBRENNIKOV, Kirill	演出家	ロシア	2008.08.21 ~ 2008.09.03	日本の舞踏及びコンテンポラリー・ダンス事情に関する調査及び日本の演劇(伝統芸能、現代演劇)関係者との意見交換、並びに日本文化・社会事情の視察。
6	MEDINA, Colodoaldo	トム・ジョビン音楽センター常務理事	ブラジル	2008.09.01 ~ 2008.09.12	日本の劇場運営・舞台機構を理解促進のための日本の劇場関係者との意見交換・施設見学、日本の芸術興行に係る理解促進のための各種公演鑑賞、及び日本の文化・社会事情視察。
7	SCHROTH, Mary Angela	文化協会 サラ ウノディレクター	イタリア	2008.09.23 ~ 2008.10.07	日本の現代・実験的アートの現状についての理解促進のための日本人アーティストとの意見交換、及び日本文化・社会事情視察。
8	ALPAY, Sahin	バフチェシエヒル大学教授	トルコ	2008.10.05 ~ 2008.10.12	日本の内政・外交に関する専門家、報道関係者等との意見交換、及び日本の文化・社会事情の視察。
9	PONGSUDHIRAK, Thitinan	チューラーロンコーン大学安全保障国際問題研究所所長	タイ	2008.10.15 ~ 2008.10.28	日本の国際関係・東南アジア地域研究者との意見交換及び日本の文化・社会事情視察。

文化事業費

	氏名	現職	在住国	期間	事業内容
10	BAOBEI, Annie	作家	中国	2008. 10. 17 ~ 2008. 10. 31	将来の作品執筆のため、日本の伝統文化、特に伝統工芸についての理解促進を目的として、関係機関・職人等訪問及び日本文化・社会事情視察。
11	NGO, Thi Kim Cuc	「青年」新聞社 新聞記者	ベトナム	2008. 10. 19 ~ 2008. 11. 02	日本文学理解を目的とした日本の作家・文芸評論家・編集者との意見交換、日本の近代化についての調査を目的とした研究者他関係者との意見交換、及び日本の文化・社会事情視察。
12	DYBEK, Stuart	作家	米国	2008. 10. 20 ~ 2008. 10. 26	日本の文学関係者との意見交換及び日本文化・社会事情視察。学生・市民向けに翻訳家柴田元幸との対談・講演会を実施。
13	RAMIREZ GARCIA, Alejandro	ベネズエラ交響楽団団長	ベネズエラ	2008. 11. 03 ~ 2008. 11. 15	日本-ベネズエラ間オーケストラ交流を促進するための日本の交響楽団・音楽事務所等訪問、若手音楽家との意見交換、日本の音楽教育に係る理解促進のための音楽大学等視察、及び日本の文化・社会事情視察。
14	SANNELLA, Samantha	デザイン・エクステンジ代表	カナダ	2008. 11. 08 ~ 2008. 11. 22	日本の建築・デザインに関する理解促進のための建築家・デザイナー等との意見交換、美術館・博物館等訪問、及び日本文化・社会事情視察。現代デザイン・建築及びデザイン・エクステンジ活動について講演実施。
15	GUMILAR, Rusliwa Somantri	インドネシア大学学長	インドネシア	2008. 11. 15 ~ 2008. 11. 21	今後の日本-インドネシア大学間交流強化のための大学訪問及び関係者との意見交換、並びに日本の文化・社会事情視察。
16	YUNEN ZOUAIN, Rafael Emilio	セントロ・レオン（博物館・美術館）館長	ドミニカ共和国	2008. 11. 17 ~ 2008. 11. 28	ドミニカ共和国文化センター運営に資する日本の博物館・美術館視察、カリブ海地域と日本の文化交流促進のための関連団体の訪問、及び日本の文化・社会事情視察。
17	NUHANVIC, Emir	サラエボ・フィルハーモニー管弦楽団芸術監督・首席指揮者	ボスニア・ヘルツェゴビナ	2008. 11. 24 ~ 2008. 12. 08	2010年スレブレニツァ平和祈念コンサート開催準備のための日本の音楽家・オーケストラ、広島市等訪問、ボスニア・ヘルツェゴビナにおける一般児童向け音楽教室拡充のための日本の音楽教育機関、楽器寄贈関係者等訪問、日本の音楽事情調査及びネットワーク構築のための関係者との意見交換、並びに日本文化・社会事情の視察。広島原爆養護ホーム舟入むつみ園での慰問演奏会実施及び広島におけるチャリティ・コンサート出演。
18	MOHAMED NAJIB, Bin Ahmad Dawa	マレーシア国立美術館館長	マレーシア	2008. 11. 26 ~ 2008. 12. 05	日本の伝統的な着物のデザインと現代美術との関係に関する調査及び日本の美術館運営方法や企画展開催方法についての理解促進のための関係機関・関係者訪問、並びに日本文化・社会事情視察。

文化事業費

	氏名	現職	在住国	期間	事業内容
19	KAMEL, Abdel Moneim	エジプト文化省国立文化センター（カイロ・オペラハウス）総裁	エジプト	2008.12.04 ~ 2008.12.14	日本の舞台芸術関係機関との交流を促進するための関係機関の訪問・関係者との意見交換、及び日本の文化・社会事情視察。
20	SMITH, Charles Saumarez	ロイヤル・アカデミー事務総長	英国	2009.01.05 ~ 2009.01.17	日本の美術館運営や美術界の現状についての理解促進を目的とした、美術館訪問、関係施設調査、及び館長・キュレーターとの意見交換、並びに日本の文化・社会事情視察。
21	MUALLA, Wael	ダマスカス大学学長	シリア	2009.02.01 ~ 2009.02.09	日本の大学教育及び新しい学問領域（地域研究、環境学等）の現状に関する理解促進及び日本-シリア間学術交流促進のための関係者との意見交換、及び日本文化・社会事情視察。
22	ABDUL-RASOUL, Salman	クウェート美術協会会長	クウェート	2009.02.12 ~ 2009.02.22	日本美術事情理解促進を目的とした美術館・画廊等視察、関係者との意見交換、及び日本の文化・社会事情の視察。
23	FRAICHE, Donna D.	弁護士	米国	2009.03.01 ~ 2009.03.14	日本の災害復興についての理解促進及び日米都市間交流促進を目的に神戸市、松江市他関係機関・関係都市訪問、及び日本文化・社会事情の視察。
24	LUCENA MOLERO, Hernan	国立ロス・アンデス大学アフリカ・アジア研究センター所長	ベネズエラ	2009.03.10 ~ 2009.03.24	大学間提携・連携の可能性を探るための日本の大学・研究機関訪問・意見交換、及び日本の文化・社会事情視察。
25	TSOCHLOS, Nikolaos	アテネコンサートホール（MEGARON）芸術監督	ギリシャ	2009.03.16 ~ 2009.03.21	日本の舞台芸術に関する理解促進のための関係者との意見交換、日本・ギリシャ修好110周年記念事業実施に関する関係者との協議、及び日本の文化・社会事情視察。
26	ZENEDDINE, Chadi	映画監督	レバノン	2009.03.17 ~ 2009.03.31	日本の映画事情（主にサイレント映画期から今日までの活動弁士の活動）に関する調査、及び日本の映画界・映画産業・アニメ制作についての理解促進のための関係機関訪問・関係者との意見交換、並びに日本文化・社会事情の視察。
27	VILLORO, Juan	作家、ジャーナリスト	メキシコ	2009.03.18 ~ 2009.03.30	日本-ラテン・アメリカ間文学交流促進のための日本のラテン・アメリカ文学研究者との意見交換、日本紀行執筆のための戦争・サッカー・アニメーションをテーマとした日本視察、及び日本の文化・社会事情視察。

文化事業費

2. 催し等事業費 / (1) 日本文化紹介派遣 (主催)

海外に日本の文化人やスポーツ専門家を派遣し、日本文化紹介のための講演、デモンストレーション、指導、セミナー、ワークショップ等を行う (音楽・演劇・舞踊・民俗芸能など公演事業は除く)。

合計額 72,679,869 円

	事業名	氏名	現職	対象国	期間	事業内容
1	漫画	KAGAYA	画家	韓国	2008.05.22 ~ 2008.05.26	KAGAYAを韓国に派遣し、「ソウル国際漫画・アニメーションフェスティバル」(ソウル市)及び「京畿道デジタルコンテンツ振興院」(富川市)において漫画に関する講演を実施。
2	和菓子	山口 研二 渋谷 浩史 平田 輝夫	株式会社彩雲堂 会長 島根県菓子技術 専門校講師 株式会社彩雲堂	インドネシア シンガポール ブルネイ マレーシア	2008.06.26 ~ 2008.07.09	島根県松江市の和菓子専門家計3名をマカッサル、メダン(インドネシア)、クアラルンプール(マレーシア)、シンガポール、バンダリスリブガワン(ブルネイ)に巡回派遣し、和菓子の歴史、日本文化と和菓子に関する講演、20名程度の参加型デモンストレーションを実施。
3	アニメ	櫻井 孝昌	コンテンツ・メディア・プロ デューサー、(株) コンテンツスト リート代表取締役	カンボジア ベトナム ミャンマー ラオス	2008.09.18 ~ 2008.09.28	櫻井孝昌をカンボジア、ベトナム、ラオス、ミャンマーに巡回派遣し、プノンペン、ハノイ、ビエンチャン、ヤンゴンにおいて、「ジャパンアニメの過去、現在、未来～その国際競争力の秘密をさぐる～」と題した講演を実施。
4	アニメ	古川 タク	アニメーション 作家	インドネシア フィリピン	2008.12.05 ~ 2008.12.11	古川タク氏をフィリピン、インドネシアに派遣し、Animahenasyon2008:Pinoy Animation(マニラ)、ジャカルタ映画祭(ジャカルタ)において、日本のアニメーションに関する講演会及び作品上映会を実施。
5	アニメ	吉田 治幸 松丸 綾	代々木アニメーション学院アニメ学部長 代々木アニメーション学院講師	ブラジル ウルグアイ	2008.09.03 ~ 2008.09.17	代々木アニメーション学院講師2名をモンテビデオ(ウルグアイ)、ブラジリア、ポルトアレグレ、ベレン(ブラジル)に巡回派遣し、日本アニメの歴史・日本文化とアニメについての講演及びワークショップを実施。
6	剣道	宮川 英俊 大城戸 功	剣道範士八段、 (財)福岡県剣道連盟副会長 剣道教士八段、 (財)愛媛県剣道連盟常務理事	ベネズエラ	2008.10.07 ~ 2008.10.15	(財)全日本剣道連盟と共催で、宮川英俊及び大城戸功をベネズエラ(カラカス)に派遣し、現地剣道練習者向け稽古・講習会及び中米・カリブ地域剣道選手権大会(カラカスで開催)における講習会、実演、試合、昇段試験等を実施。

文化事業費

	事業名	氏名	現職	対象国	期間	事業内容
7	剣道	長尾 英宏 祝 要司	剣道範士八段、 (財)全日本剣道連盟常任理事 剣道教士八段、 (財)愛知県剣道連盟理事	インドネシア	2008.10.10 ~ 2008.10.14	(財)全日本剣道連盟と共催で、長尾英宏及び祝要司をインドネシア(ジャカルタ)に派遣し、日本・インドネシア友好年記念剣道大会(ジャカルタで開催)における稽古・講習会、実演、試合等を実施。
8	音楽教育	小林 武史 小林 明代	ヴァイオリニスト	ブラジル	2008.10.12 ~ 2008.11.05	ヴァイオリニスト2名をベレン、サルバドール、マナウス(ブラジル)に派遣し、ヴァイオリンに関するレクチャー・デモンストレーション及びヴァイオリンリサイタルを実施。
9	工芸	田辺 小竹 田辺 明子	田辺竹雲斎	エクアドル ペルー ボリビア	2008.10.21 ~ 2008.11.03	竹工芸師2名をラパス(ボリビア)、リマ(ペルー)、キト(エクアドル)に巡回派遣し、竹と日本文化に関する講演、デモンストレーション及び花籠製作ワークショップを実施。
10	アニメ	津堅 信之	アニメ映画史研究者、京都精華大学講師、大阪芸術大学講師	キューバ ニカラグア ホンジュラス	2008.10.23 ~ 2008.11.06	津堅信之をキューバ(ハバナ、ピナル・デル・リオ)、ニカラグア(マナグア)及びホンジュラス(サンペドロスーラ、コパン・ルイナス)に巡回派遣し、アニメの歴史に関するレクチャー・デモンストレーションを実施。アニメ上映(『もののけ姫』、『ドラえもん』のび太の恐竜2006)(アニメ文化大使)同時実施。
11	アニメ	横田 正夫	日本大学文理学部心理学科教授、日本アニメーション学会会長	スロバキア チェコ ドイツ リトアニア	2008.10.24 ~ 2008.11.07	横田正夫をブラチスラバ(スロバキア)、ミュンヘン(ドイツ)、ビリニュス(リトアニア)、プラハ(チェコ)に巡回派遣し、アニメ『美味しんぼ』についての講演を実施。上映を同時実施。
12	建築	中谷 礼仁	早稲田大学理工学術院 創造理工工学院准教授	ハンガリー オーストリア ブルガリア ルーマニア	2008.10.29 ~ 2008.11.12	中谷礼仁をウィーン(オーストリア)、ブダペスト(ハンガリー)、ソフィア(ブルガリア)、ブカレスト(ルーマニア)に巡回派遣し、日本建築史に関する講演を実施。
13	詩	伊藤 比呂美	詩人	ドイツ	2009.01.11 ~ 2009.01.17	伊藤比呂美をドイツに派遣し、ケルン、トリーア、フランクフルトにおいて作品朗読会を行うとともに、ベルリンで多和田葉子氏との公開対談を実施。
14	からくり人形	玉屋 庄兵衛 末松 良一	尾陽木偶師 豊田高等工業専門学校校長	オーストラリア	2008.11.07 ~ 2008.11.16	九代目玉屋庄兵衛及び末松良一をオーストラリアに派遣し、キャンベラ、シドニー、ブルーマウンテンにおいて、からくり人形に関する講演、実演、ワークショップを実施。

文化事業費

	事業名	氏名	現職	対象国	期間	事業内容
15	アニメ	今 敏 原 史倫	アニメ監督、漫画家 (株)マッドハウスプロデューサー	フィンランド スウェーデン ノルウェー	2008.11.07 ～ 2008.11.17	今敏(アニメ監督)、原史倫(株)マッドハウス・プロデューサー)をストックホルム(スウェーデン)、ヘルシンキ(フィンランド)、オスロ(ノルウェー)に巡回派遣し、アニメに関するレクチャー開催。今作品上映会を同時実施。
16	文学	加藤 耕子	国際俳句交流協会理事	ウクライナ ヨルダン	2008.11.12 ～ 2008.11.22	加藤耕子(俳人、国際俳句交流協会理事)をキエフ(ウクライナ)及びアンマン(ヨルダン)に巡回派遣し、松尾芭蕉、英語俳句に関する講演・講義を実施。
17	食	栗栖 正博 野永 喜三夫 中東 久人	たん熊北店 主人 日本橋ゆかり 三代目若主人 有限会社美山荘 専務取締役	米国	2008.11.17 ～ 2008.11.27	栗栖正博、野永喜三夫、中東久人をシカゴ、ボストン及びデトロイトに巡回派遣し、懐石料理を中心に日本の食文化に関するレクチャー・デモンストレーションを実施。
18	アニメ	桜井 真理美 森本 晃司 水木 一郎 大河原 邦男 椎木 隆太 副島 恵文	プロダクション・マネジャー (株)スタジオよんどしい、(株)美よんどしい) アニメーター、アニメ監督(株)スタジオよんどしい) アニメ・ソング歌手(株)イエローバード) メカニック・デザイナー(有)オフィス・ケイ) プロデューサー(株)ディー・エル・イー代表取締役) アニメーター、アニメ監督・演出家	シンガポール	2008.11.20 ～ 2008.11.25	ジャパン・クリエイティブ・センターのプレイベントとして、アニメ関係者計6名をシンガポールに派遣し、アニメ・フェスティバル・アジア2008(AFA2008)において日本のアニメを紹介するレクチャー・デモンストレーション、ワークショップを実施。
19	柔道	遠藤 浩史 高橋 富士男 石川 美久 中山 三雄	山形県警 東北学院大学職員 筑波大学職員 長野県警	モロッコ ガボン ザンビア セネガル	2009.02.02 ～ 2009.02.25	柔道専門家4名をダカール(セネガル)、カサブランカ(モロッコ)、ループルビル(ガボン)、ルサカ(ザンビア)に巡回派遣し、レクチャー・デモンストレーション及び指導を実施。

文化事業費

	事業名	氏名	現職	対象国	期間	事業内容
20	生け花	州村 衛香 大久保 安花	草月流師範会理事、華道家 華道家（草月会所属）	クロアチア スロベニア セルビア ボスニア・ヘルツェゴビナ	2009.03.01 ～ 2009.03.20	草月流華道家の州村衛香及び大久保安花を、ベオグラード（セルビア）、リュブリャナ（スロベニア）、サラエボ（ボスニア・ヘルツェゴビナ）、リエカ及びザグレブ（クロアチア）に巡回派遣し、生け花のデモンストレーションとワークショップを実施。
21	食	下口 英樹 山岸 裕明 寺田 慎太郎 宗川 裕志 竹中 徹男	平等院表参道竹林オーナーシェフ （有）銀水代表取締役 奈兵衛調理師 学校法人 大和学園京都調理師学校主任 ㈱清和荘代表取締役	スペイン ポルトガル	2009.03.09 ～ 2009.03.22	京都を拠点に活躍する料理人5名をリスボン、レイリア（ポルトガル）、サラマンカ、バルセロナ（スペイン）に巡回派遣し、日本の歴史と食文化について春の懐石料理を主題とする実演と講演を実施。
22	写真	細江 英公 木田 俊一	清里フォトミュージアム館長、写真家 有限会社Qビック代表、染め摺り師	ロシア	2009.03.14 ～ 2009.03.20	写真家細江英公、染め摺り師木田俊一による現代日本の写真紹介及び展示方法を紹介するレクチャー・デモンストレーションを実施。
23	手工芸	恩田 舜史 田中 義弘	江戸提灯職人、 有限会社大嶋屋 恩田 五代目店主 江戸暖簾職人、 江戸の伝統工芸 共同組合 理事長	ロシア	2009.03.20 ～ 2009.03.30	江戸簾職人及び江戸手描き提灯職人をハバロフスク、ウスリースク及びウラジオストクに巡回派遣し、一般向けに江戸工芸紹介のための製作参加型デモンストレーション（レクチャー付き）を実施。
24	庭園	鈴木 誠 中根 史郎	東京農業大学地域環境科学部教授 株式会社中根庭園研究所代表取締役所長	米国	2009.03.24 ～ 2009.04.02	鈴木誠及び中根史郎をロサンゼルス、シアトル、ポートランドに巡回派遣し、日本庭園に関するレクチャー・デモンストレーションを実施。日本庭園国際会議（カリフォルニア州立大学ロングビーチ校で開催）における講演も同時実施。

文化事業費

	事業名	氏名	現職	対象国	期間	事業内容
25	調査	藤岡 静香 櫻井 孝昌	女優、外務省 ポップカル チャー発信使 (カワイイ大 使) コンテンツ・メ ディア・プロ デューサー、(株) コンテンツスト リート代表取締 役	タイ	2009.03.26 ~ 2009.03.30	中期目標に基づき、今後基金が進めるべきポップカルチャー関連事業の方向性を探り、その手法を考えるため、外務省が委嘱する「ポップカルチャー発信使(カワイイ大使)」を活用した現代日本ファッション紹介事業等を試行の上その結果を調査・分析する業務を、(株)コンテンツストリートに委託。20年度試行事業として、バンコク(Kawaii Festa -meet the Kawaii Ambassador-)に藤岡静香(カワイイ大使)と櫻井孝昌を派遣。

文化事業費

2. 催し等事業費 / (2) 日本文化紹介派遣 (助成)

海外において日本の文化人やスポーツ専門家が日本文化紹介のための講演、デモンストレーション、指導、セミナー、ワークショップ等を行う事業に対し、助成を行う（音楽・演劇・舞踊・民俗芸能など公演事業は除く）。

合計額 20,221,568 円

	氏名	現職	対象国	期間	事業内容
1	後藤 清子	ノウハウ代表取締役	スウェーデン	2008.04.23 ~ 2008.05.01	国際コミックフェスティバルへの招待参加を受け、日本の漫画に関するラウンドテーブル、公聴会、ワークショップを実施した企画の経費の一部を助成。
2	坂本 光子	会社役員	デンマーク	2008.04.24 ~ 2008.05.04	会場の各ブースでそれぞれ鉛細工、針金細工、凧、日本刺繍、江戸独学細工、木彫りの職人等が浅草寺の縁日のイメージで観客の目の前で実際に細工を行うデモンストレーションを行った企画の経費の一部を助成。
3	四元 康祐	詩人・ポエトリーインターナショナルウェブ代表	イスラエル	2008.04.25 ~ 2008.05.01	イスラエルの都市マガルで毎年開催される詩祭に日本人詩人として初めて参加し、詩歌を通じた文化交流を行った企画の経費の一部を助成。
4	堀江 恭子	美術評論家	アラブ首長国連邦 イラン バーレーン	2008.04.29 ~ 2008.05.14	「桜と平成の源氏物語絵巻」展に合わせ、書、絵画、茶道を通じて日本文化を紹介した企画の経費の一部を助成。
5	安恵 邦男	棋士	米国 ブラジル	2008.04.30 ~ 2008.05.13	日伯交流年を記念し、全ブラジル規模の将棋大会開催に合わせ、日本の伝統文化である将棋の紹介のため、意見交換会、指導対局、将棋についてのディスカッションを行った企画の経費の一部を助成。
6	桃谷 好英	折り紙専門家	フランス	2008.05.01 ~ 2008.05.07	源氏物語千年紀をテーマとしたワークショップ、展示を行い、また折り紙の歴史と文化についてレクチャーを行った企画の経費の一部を助成。
7	酒井 邦男	日本浮世絵博物館学芸員 有限会社酒井好古堂代表	ブラジル	2008.05.03 ~ 2008.05.25	サンパウロ美術館において、浮世絵展、浮世絵に関するレクチャー、木版画摺りのデモンストレーションとワークショップを実施した企画の経費の一部を助成。
8	藤森 照信	東京大学教授	チェコ	2008.05.07 ~ 2008.05.17	チェコ建築連盟等での講演により、藤森建築と現代日本の建築を紹介した企画の経費の一部を助成。
9	館山 静子	いけばなインターナショナル代表理事	南アフリカ	2008.05.29 ~ 2008.06.06	いけばなインターナショナルプレトリア支部30周年の機会を活用し、日本古来の所作を旨とする古流生花を実演し、ワークショップとデモンストレーションを実施した企画の経費の一部を助成。

文化事業費

	氏名	現職	対象国	期間	事業内容
10	原 和子	かみしばいアンサンブルよこはま 代表	ブラジル	2008.06.01 ~ 2008.06.25	ブラジル7都市において、日本からの移民、日本語学習者、日本人学校児童等を含む一般市民を対象に3プログラム・18回の紙芝居公演とワークショップを実施した経費の一部を助成。
11	山下 牧	和紙アートサミット実行委員会代表	カナダ	2008.06.07 ~ 2008.06.15	ロイヤル・オンタリオ博物館他トロント市内約25か所のアートギャラリーにおける和紙アート作品展覧会開催中に、参加アーティストによるワークショップ及び日本からの和紙職人の紙漉きデモンストレーションを実施した企画の経費の一部を助成。
12	渡邊 坂司	特定非営利活動法人オアシス代表	カンボジア	2008.06.11 ~ 2008.06.19	日本の伝統的奇術公演、折り紙レクチャー・デモンストレーション、日本古典奇術・イリュージョン、児童とのトークショー、「誰にでもできるマジック講座」等を実施した企画経費の一部を助成。
13	高橋 智隆	ロボ・ガレージ代表	ブラジル	2008.06.13 ~ 2008.06.26	日本でのロボット開発の概念、日本人とロボットの共存といった視点からロボットを紹介した企画の経費の一部を助成。
14	小山 子壽	剣道指導者	キルギス	2008.06.18 ~ 2008.07.18	キルギスで剣道クラブが誕生して5周年を迎える機会を捉え、キルギス剣道水準の向上と普及を行うための指導を実施した企画の経費の一部を助成。
15	二階堂 孝	日本合唱指揮者協会理事	グアテマラ	2008.06.20 ~ 2008.07.02	日本文化・音楽に関するレクチャー及び日本の作曲家による作品紹介を行った企画の経費の一部を助成。
16	橋本 芳吉	NPO法人ABCジャパン理事長	ブラジル	2008.07.02 ~ 2008.07.16	神刀流居合抜刀術師範等による、居合抜刀術・神刀流公演及び交流会を実施した企画の経費の一部を助成。
17	ツジ シンヤ	アニメーション作家	ドイツ	2008.07.21 ~ 2008.07.31	「日本のアニメの歴史」についての講演及び若年層を対象としたアニメーション制作ワークショップを実施した企画の経費の一部を助成。
18	高橋 隆博	関西大学博物館長	オーストリア	2008.08.17 ~ 2008.08.24	日本文化としての屏風と「豊臣期大坂図屏風」の描かれた世界について紹介をするため、複製「豊臣期大坂図屏風」などを展示し、日本美術史、大坂・大坂城研究、祭礼・風俗研究、日欧関係史などの視点から講演を行った企画の経費の一部を助成。
19	松井 美枝	小林豊子きもの学院院長補佐	ベルギー	2008.09.15 ~ 2008.09.22	「ベルギーにおけるジャポニズム」事業に合わせ、きものショーや着付け講習会を開講して日本独特の着文化を紹介した企画の経費の一部を助成。

文化事業費

	氏名	現職	対象国	期間	事業内容
20	安野 侑志	紙芝居師	アイルランド 英国	2008.09.17 ~ 2008.09.25	源氏物語千年紀イベントの一環として、紫式部に関する紙芝居諸作品を昔ながらの紙芝居のスタイルをそのままに再現する口演及びワークショップを行った企画の経費の一部を助成。
21	木下 艸雲	華道瑩心流家元	ブラジル	2008.09.23 ~ 2008.10.02	いけばなの展覧会、ワークショップ、日本文化についての講演、茶道・煎茶の作法体験、書道体験、現地市職員、市民との交流を行った企画の経費の一部を助成。
22	金子 マサ	ぬりえ美術館館長	フランス	2008.09.24 ~ 2008.10.16	ぬりえの歴史的背景の講演を通じて日本のぬりえ情報を発信し、フランスの人々に日本文化の新しい一面として「ぬりえ文化」を深く紹介した企画の経費の一部を助成。
23	北村 昇一	美術木版製造	フィンランド	2008.09.29 ~ 2008.10.06	フィンランド国立美術館における浮世絵木版画の風景画展覧会での実演と講演により、浮世絵木版画の独特な制作行程を紹介した企画の経費の一部を助成。
24	山口 憲	山口能装束研究所 所長	カナダ	2008.09.29 ~ 2008.10.28	日加修好80周年記念文化事業として、能装束、能装束裂地、腰帯、髪帯の他、演能のCD-R等で構成する展覧会と能楽に関する講演会とを実施した企画の経費の一部を助成。
25	市川 慎一	早稲田大学名誉教授	メキシコ	2008.10.02 ~ 2008.11.01	俳句の伝統とホセ・ファン・タブラーダとの交流、大江健三郎と21世紀日本社会についての講演を実施した企画の経費の一部を助成。
26	ANDREA URUSHIMA	京都大学大学院 人間環境関係学科研修員	ブラジル	2008.10.06 ~ 2008.10.16	日本現代建築紹介のためのワークショップ、並びに建築及び文学に関する国際シンポジウムを実施した企画の経費の一部を助成。
27	小林 栄子	コスチュームデザイナー、アジアの風21代表	イタリア トルコ	2008.10.08 ~ 2008.10.16	日本の衣装文化としての「きもの」のレクチャー・デモンストレーション及び着付けワークショップを実施し、きものに「見る・触れる・着る」体験を行った企画の経費の一部を助成。
28	丹野 恵美子	和紙人形作家	ロシア	2008.10.08 ~ 2008.10.17	「日本の秋」フェスティバルにおいて、現地の華道団体とのコラボレート作品制作・展示するとともに、和紙クラフト・ワークショップを開催した企画の経費の一部を助成。
29	糸賀 靖夫	財団法人毎日書道会事務局長	ブラジル	2008.10.09 ~ 2008.10.28	「現代日本の書」展を実施するとともに、書に関する講演会・シンポジウム・ワークショップなどを開催した企画の経費の一部を助成。

文化事業費

	氏名	現職	対象国	期間	事業内容
30	濱崎 道子	書道家	トルコ	2008.10.12 ～ 2008.10.26	書の歴史と現状についての講演、デモンストレーション、ワークショップ、展示を通じて書の世界を紹介した企画の経費の一部を助成。
31	伊地知 直人	写真家	スペイン	2008.10.14 ～ 2008.11.02	写真作品スライド上映を行いながら日本庭園についての講演を行い、東京の庭園紹介のための写真展示、ギャラリー・トーク、ディスカッション等を実施した企画の経費の一部を助成。
32	阿刀田高	作家	クロアチア	2008.10.15 ～ 2008.10.23	日本人作家3名による日本の文化及び文学に関する講演（シンポジウム）を開催し、日本文学の紹介を行った経費の一部を助成。
33	伊部 京子	造形作家	米国	2008.10.20 ～ 2008.10.24	アメリカ中西部におけるより深い日本文化理解を目的に、日本の伝統的な紙漉き、演能を組み込んだ総合的な文化紹介事業を実施した企画の経費の一部を助成。
34	杉尾 伸太郎	株式会社ブレック研究所 代表取締役社長	アルゼンチン	2008.11.01 ～ 2008.11.06	UNESCO主催国際シンポジウム「歴史的庭園と文化観光」に合わせ、日本庭園に関する講演を行った企画の経費の一部を助成。
35	金林 健史	人形師、(株)真多呂人形 代表取締役	米国	2008.11.02 ～ 2008.11.10	木目込み人形作品展示、伝統工芸士・金林真多呂の講演、十二単の着付け実演、人形作りデモンストレーションを実施した企画の経費の一部を助成。
36	谷沢 直	マンガ家	デンマーク	2008.11.05 ～ 2008.11.11	漫画・アニメ・Jポップ等に関する大型コンベンション「J-Popcon2008」の開催に合わせ、漫画制作のテクニックを含む制作過程紹介等をテーマにワークショップを実施した企画の経費の一部を助成。
37	白井 日出男	財団法人日本武道館理事長	ブラジル	2008.11.05 ～ 2008.11.12	日伯交流年記念事業として、現代武道9団体及び古武道3流派からなる日本武道代表団による武道体験会、武道交流稽古会等を実施した企画の経費の一部を助成。
38	小林 國雄	盆栽作家	アルゼンチン	2008.11.05 ～ 2008.11.12	第8回ラテン・アメリカ盆栽大会に合わせ、盆栽に関する講演と技術指導を通じて日本の代表的文化である盆栽を紹介した企画の経費の一部を助成。
39	小松 藤夫	日本棋院棋士八段	キューバ	2008.11.12 ～ 2008.11.22	(財)日本棋院専門棋士がキューバにおける交流囲碁大会で指導・解説等を行った企画の経費の一部を助成。
40	十 一	日本画家・映像作家	ブルガリア	2008.11.15 ～ 2008.11.26	日本・ブルガリアヴィジュアルアート祭「マルチメディア」において、日本の映像やグラフィックアートに関する講演とワークショップを実施した企画の経費の一部を助成。

文化事業費

	氏名	現職	対象国	期間	事業内容
41	小笠原 匡	萬狂言 能楽師	イタリア	2008. 11. 17 ~ 2008. 11. 26	狂言レクチャー・デモンストレーションを通じ、狂言の歴史と基本的な様式を紹介した企画の経費の一部を助成。
42	鎌田 篤則	平和友好連絡会議代表	ベトナム	2008. 12. 04 ~ 2008. 12. 09	いけばなの歴史や日本におけるいけばな事情の解説及び草月流いけばなデモンストレーションを行った企画の経費の一部を助成。
43	城谷 小夜子	NPO法人グローバルシアター和の輪代表・女優	ロシア	2008. 12. 09 ~ 2008. 12. 19	日本舞踊と日本伝統的演劇手法を紹介するワークショップを実施した企画の経費の一部を助成。
44	佐々木 幹郎	詩人、中原中也の会会長	フランス	2008. 12. 11 ~ 2008. 12. 18	日本語・日本文学を学ぶ学生を対象としたレクチャー及び講演を行い、日仏の文学者による対談、朗読や中也の詩に基づき楽曲を中心としたコンサートを行った経費の一部を助成。
45	荒井 栄子	草月流いけばな講師	スペイン	2008. 12. 12 ~ 2008. 12. 19	いけばな展、草月流いけばなワークショップ、いけばな・茶道実体験デモンストレーションを行った企画の経費の一部を助成。
46	石川 泰久	からくり文化実行委員会世話人代表	韓国	2009. 01. 12 ~ 2009. 01. 23	日本の伝統文化である「からくり」実演とワークショップ、体験型プログラムを通じ、わかりやすく楽しく「からくり」を紹介した企画の経費の一部を助成。
47	四辻 秀紀	美術史家	イタリア	2009. 02. 19 ~ 2009. 02. 26	源氏物語絵巻及び源氏絵の由来とその美術史的意義、並びに現代日本のアニメーション文化との関連についてのレクチャーと研究会を行った企画の経費の一部を助成。
48	土岐 幹男	凧制作者	フィリピン	2009. 02. 26 ~ 2009. 03. 03	江戸凧の展示とワークショップ、加えてフィリピン・カイト協会との共催による日比カイト・デモンストレーションを行った企画の経費の一部を助成。
49	太田 曜	実験映画作家	フランス	2009. 03. 02 ~ 2009. 03. 27	日本の作家によって制作された優れた実験映画の作品上映、ワークショップ、特別講演を実施した企画の経費の一部を助成。
50	山田 良	建築家、山田良アトリエ代表	ノルウェー	2009. 03. 13 ~ 2009. 03. 20	茶室建築の歴史的事例や建築的特徴、またその内部でのしきたりや振る舞い、茶人についての講演・ワークショップを行った経費の一部を助成。
51	的場 智美	現代美術家	キューバ	2009. 03. 19 ~ 2009. 04. 02	第10回ハバナ・ビエンナーレに合わせ、「グローバル時代の日本現代美術」についての講演を実施した企画の経費の一部を助成。

文化事業費

	氏名	現職	対象国	期間	事業内容
52	友野 敦子	アジア文化交流協会委員	イタリア	2009.03.20 ~ 2009.03.28	立花、盛花、投げいれなどの生け花レクチャー・デモンストレーションと、書道作品といけばなを飾る展覧会を実施した企画の経費の一部を助成。

文化芸術交流事業に必要な経費

市民青少年交流事業費

1. 人物交流事業費

- (1) 受託事業（アセアン）
- (2) 中学高校教員交流（招へい）
- (3) 中学高校教員交流（派遣）
- (4) 開高健記念アジア作家招へい
- (5) 文化交流企画運営補助（JFボランティア）

2. 催し等事業費

- (1) 市民青少年交流（主催/招へい）
- (2) 市民青少年交流（助成）
- (3) 異文化理解ワークショップ

市民青少年交流事業費

1. 人物交流事業費 / (1) 受託事業 (アセアン)

国際交流基金の業務趣旨に合致する市民青少年交流事業を外部から受託し実施する。

合計額 30,075,686 円

事業名	氏名	現職	在住国	期間	事業内容
1 JENESYS次世代リーダープログラム	CHO Mi Young	馬山新月初等学校 教員	韓国	2008.06.03 ~ 2008.06.16	東アジアコミュニティの将来を担う各国の次世代リーダー候補者を対象に、対日理解の促進及び親日感情の醸成を図ると共に、東アジアにおける重要なテーマについての議論等を通じて長期的に社会各層・分野にわたる知日派次世代リーダーを育成し、東アジアにおける人的ネットワークを構築することを目的として実施。初年度は環境に焦点を当てNGO/NPO関係者および初中等教育関係者を48名招へい。
	YIM Su Jin	環境正義 職員	韓国		
	FEI Gen Hua	湖州新世紀外国語学校 教師	中国		
	HU Hui Zhe	自然の友 環境NGOプロジェクト担当	中国		
	ARMANSYAH Andy	ワルヒ ソーシャルワーカー	インドネシア		
	RACHMA Diana Agung	州立バンダルジャディ9小学校 小学校教師	インドネシア		
	Ratnasari	森林環境研究所 NGO活動家	インドネシア		
	Salehudin Gafur	国立ジャカルタ高校 教師	インドネシア		
	NGETH Bandith	インドラデヴィ高校 教師	カンボジア		
	PROM Ny	社団法人 シャンティ国際ボランティア会 学校建設部門職員	カンボジア		
	SOEUN Oeuy	地方教師養成学校 教師	カンボジア		
	YUN Visna	社団法人 シャンティ国際ボランティア会 プロジェクトコーディネーター	カンボジア		
	CHIA Yew Loon	ナン・ファ高校 教師	シンガポール		
	ONG Po Theng Kelly	グリーン・ボランティア・ネットワーク	シンガポール		
	SACHIDHANANDAM Uma	シンガポール環境協議会 プロジェクトマネージャー	シンガポール		
	TEO Jo-Hsuang	チュン・チュン高校 教師	シンガポール		
	CHAIPAITOON Vorawan	タイ環境研究所 リサーチアソチエイト	タイ		
CHAROENWATTANA Rithirong	ローン・アルーン学校 教員	タイ			
EMIN Dolnapa	アヌバン・カイ・バンラチャラン学校 教員	タイ			

市民青少年交流事業費

事業名	氏名	現職	在住国	期間	事業内容
	SRISTHITA Thitinant	グリーン・ワールド・ ファウンデーション 編集スタッフ	タイ		
	ARANETA James Michael Luspo	アテネオ・デ・マニラ 大学 講師	フィリピン		
	DINAMLING Thaisa Mae Dulnuan	ライステラス救済運動 エンジニアアシスタン ト	フィリピン		
	LLOSAS Raquel Almonte	サン・ロレンゾ国立高 校教師	フィリピン		
	RAMOS Jennifer Lao	ティウ・テベス・アン ド・ラモス法律事務所 弁護士	フィリピン		
	ABDULLAH Nurdiyanah Goh	サディナ・オスマン・ トゥトング高校 主任 (科学)	ブルネイ		
	HAJI HASHIM Sarinah	サムジャ高校 主任 (地理)	ブルネイ		
	HAJI MAJIN Haji Ruzaini	ブルネイ日本友好協会 ブルネイ大学支部 副 会長	ブルネイ		
	LIM Han	ブルネイ日本友好協会 ブルネイ大学支部 会 長	ブルネイ		
	NGUYEN Binh Thi Thanh	ヤング・パイオニア新 聞 ジャーナリスト	ベトナム		
	NGUYEN Giang Thi Thu	ベトナム青年団 人 口・保健・環境教育セ ンター プログラ ム・オフィサー	ベトナム		
	ABD RAZAK Noor Asyhikin	ウォーター・ウォッ チ・ペナン 河川・ 水質源教育プログラム	マレーシア		
	CHEAH Eugene Ewe Jin	コタ・キナバル湿地セ ンター 事業開発担当	マレーシア		
	MUSA Sinor Rafliz	国際湿地保全連合 マ レーシア支部 テクニ カルオフィサー	マレーシア		
	NG Julia Su Chen	トラフィック・東南ア ジア地域事務所 プロ グラムオフィサー	マレーシア		
	Phone Aung Hane	ミャンマー再生エネル ギー協会 学生・環境 ボランティア	ミャンマー		
	Thein Myint	ミャンマー森林の友 事務所長	ミャンマー		
	Wah Wah Khine	森林資源開発保存協会 経理担当	ミャンマー		

市民青少年交流事業費

事業名	氏名	現職	在住国	期間	事業内容
	Zaw Seint Sann	森林資源開発保存協会 総務アシスタント	ミャンマー		
	KHANTHAVONG Khamla	タートルアン中学校 教師	ラオス		
	LASOUKANH Oudasack	ラオス青年同盟 副 課長	ラオス		
	LOUDONE Phetdala	ラオス青年同盟 ラオ ス国立大学地区 事務 局次長	ラオス		
	PHAIMANY Soonthaly	ビエンチャン中等学校 教師	ラオス		
	NIGAM Pooja	アルモラ・ホーリー・ エンジェル初中等学校 准教師	インド		
	SAINI Sumi t	イドマ財団 プロジェ クトコーディネーター	インド		
	DOMONE Danielle Elizabeth	環境総合センター ビジネス・プログラ ム・マネージャー	オーストラリア		
	LINDSAY Michelle Katherine	ニューサウスウェール ズ州教育・訓練省 コーディネーター（気 候変動に関する学校教 育）	オーストラリア		
	GILLIES Tracy Raukura	カンタベリー大学教育 プラス 教育アドバイ ザー	ニュージーランド		
	PACKARD Aaron Geoffrey	ビクトリア大学 学 生・ボランティア	ニュージーランド		

市民青少年交流事業費

1. 人物交流事業費 / (2) 中学高校教員交流 (招へい)

諸外国の中学・高校レベルでの日本理解を促進するため、中学・高校の社会科教員または中等レベルの教育行政に携わる者をグループで招へいし、研修、視察の機会を提供する。

合計額 135,695,504 円

	事業名	参加国	参加人数	期間	事業内容
1	中高教員グループ (第1)	韓国 シンガポール ベトナム マレーシア スリランカ トンガ ニュージーランド カナダ エルサルバドル アルゼンチン ウルグアイ アイスランド アイルランド 英国 オーストリア ギリシャ アゼルバイジャン アルメニア ウズベキスタン カザフスタン アラブ首長国連邦 イラン カタール アンゴラ エチオピア	5 3 3 3 3 3 3 4 3 3 3 3 3 3 3 3 3 2 3 3 3 3 3 3 3 3 3	2008.06.19 ~ 2008.07.02	各国の青少年教育指導者の日本の教育・文化に関する理解を促進し、自国の青少年の日本理解促進につなげるため、世界各国の中等教育に携わる教員（主として社会科、国際理解教育）等をグループで招へいし、わが国の教育、文化、社会等の実情を視察し、関係者との意見交換の機会を提供。訪問自治体は、岩手県、大垣市、福岡市。25カ国、77名を招へい。
2	米国教育関係者グループ	米国	26	2008.07.03 ~ 2008.07.16	日本語講座を開設、または開設を検討している米国の初中等教育機関の校長および州教育行政担当官等を招へいし、対日理解の促進及び親日感情の醸成を図ると共に、日本語教育に対する理解を深化させ、米国における初中等レベルの日本語教育の拡充および質の向上を目指すほか、日米教育関係者のネットワークを強化。訪問自治体は下田市。26名を招へい。

市民青少年交流事業費

1. 人物交流事業費 / (3) 中学高校教員交流 (派遣)

諸外国の中学・高校レベルでの日本理解を促進するため、中学・高校の社会科教員または中等レベルの教育行政に携わる者をグループで派遣する。

合計額 1,174,837 円

	事業名	対象国	対象機関	参加人数	期間	事業内容
1	韓日教育者交流 事前研修	韓国	韓国国際交流財 団	20	2008.10.21 ~ 2008.11.04	韓国国際交流財団の招へいで実施する日本社会科教育者 招請研修の参加者公募と事前オリエンテーションを実施。 。

1. 人物交流事業費 / (4) 開高健記念アジア作家招へい

日本では紹介されることの少ないアジアの文学を一般市民へ紹介するとともに、文学関係者間の交流を促進するため、アジアから作家を招へいし、日本各地で講演会等を実施する。

合計額 5,259,373 円

	事業名	氏名	対象国	場所	期間	事業内容
1	第18回開高健記 念アジア作家招 聘事業	ドー・ホアン・ ジュウ	ベトナム	国際交流基金 仙台文学館 大阪国際交流セ ンター 函館市中央図書 館	2009.03.12 ~ 2009.03.25	平成元年に逝去した作家・開高健氏の遺族から寄せられた 寄附をもとに、平成2年から実施しているアジア作家 の講演会シリーズ。平成20年度は日越外交関係樹立35周 年であり、ベトナム日本文化交流センターの開設を始 め、両国の文化交流が幅広い分野で進展していることか ら同国気鋭の女流作家、ドー・ホアン・ジュウ氏を招へ いし、大阪、仙台、函館、東京にて講演会を実施したほ か、高城のぶ子氏、星野智幸氏らと会談・交流。

市民青少年交流事業費

1. 人物交流事業費 / (5) 文化交流企画運営補助 (JFボランティア)

日本との文化交流活動を主たる業務としている海外の非営利団体へ市民ボランティアを派遣し、企画運営補助業務を行なう。

合計額 7,749,291 円

	事業名	対象国	受入機関	期間	事業内容
1	榮谷泰子	ドイツ	ベルリン日独センター	2007.09.01 ~ 2008.08.30	より広い地域・幅広い層の市民青少年を担い手とする、地域や事業分類に限定されない多様な交流活動を活性化することを目的に、日本に関する総合的文化事業運営を実施している海外の団体で補助業務を行うボランティアを公募・人選のうえ、派遣。
2	岩下貴卓	インド	インド文部省留学生協会(MOSAI)	2007.09.27 ~ 2008.09.26	より広い地域・幅広い層の市民青少年を担い手とする、地域や事業分類に限定されない多様な交流活動を活性化することを目的に、日本に関する総合的文化事業運営を実施している海外の団体で補助業務を行うボランティアを公募・人選のうえ、派遣。
3	中井仙丈	タイ	チェンマイ大学	2007.10.09 ~ 2008.12.08	より広い地域・幅広い層の市民青少年を担い手とする、地域や事業分類に限定されない多様な交流活動を活性化することを目的に、日本に関する総合的文化事業運営を実施している海外の団体で補助業務を行うボランティアを公募・人選のうえ、派遣。
4	慶野温子	英国	大和日英基金(英国)	2008.01.02 ~ 2009.12.28	より広い地域・幅広い層の市民青少年を担い手とする、地域や事業分類に限定されない多様な交流活動を活性化することを目的に、日本に関する総合的文化事業運営を実施している海外の団体で補助業務を行うボランティアを公募・人選のうえ、派遣。

市民青少年交流事業費

2. 催し等事業費 / (1) 市民青少年交流 (主催/招へい)

諸外国の市民青少年レベルでの相互理解と友好親善を促進するため、市民青少年交流活動を幅広く展開する団体の関係者や、指導的立場にある専門家を日本に招へいし、視察・意見交換に加えシンポジウムや講演会などの機会を提供する。

合計額 25,606,811 円

	事業名	氏名	所属	現職	在住国	期間	事業内容
1	持続可能な社会のためのNGO招へい	Mariamah Achmad	Indonesian Forum for Environment (WALHI)	Education Manager	インドネシア	2008. 11. 30 ~ 2008. 12. 11	持続可能な開発のための環境教育をテーマとした「平成20年度若手NPO/NGO関係者及び教員招へい事業 (JENESYSプログラム)」の実績を踏まえ、中南米、東南アジア、アフリカのNGO/NPO関係者15名を招へいし、日本の専門家との情報・意見交換の機会を提供。東京及び沖縄の先駆的取り組みの視察のほか、招へい期間中に開催された文部科学省・ユネスコ主催のESDに関する国際会議にも出席。
		Hendarti Harmi Fepri	Environmental Education Centre (PPLH)	Environmental Education Staff	インドネシア		
		Hendarti Latipah	Indonesian Institute for Forest and Environment (RMI)	Chief Executive Officer (CEO)	インドネシア		
		Naophachanh Vithakone	Participatory Development Training Center (PADETC)	Youth Leader	ラオス		
		Garcia Ruvalcaba Salvador	Manantlan Foundation for Conservation of Biodiversity in the West/University of Guadalajara	Environmental Educator/Professor	メキシコ		
		Ku Doporto Irene de la Cruz	Ninos y Crias A.C.	Environmental Educator	メキシコ		
		Ricalde De Jager Arnold	Organi-K	Environmental-ist	メキシコ		
		Erazo Penaherrera Maria Jose	Fundacion Altropico	Teacher/Biologist	エクアドル		
		Beu Sandra Eliza	Nucleo Interdisciplinar de Ciencias Ambientais (NICA)	Responsavel	ブラジル		
		Marcondes Carolina dos Santos	UNILIVRE - Universidade Livre do Meio Ambiente	Coordinator	ブラジル		
		Ribeiro Silvana Maria	Sociedade Ecologica Amigos do Embu	Responsavel	ブラジル		
		Deche Eric Mwasaha Simeon	Wildlife Clubs of Kenya	Programmes Officer	ケニア		
		Kimamo Judy Nyaguthii	Green Belt Movement	Project Officer	ケニア		
		Mahlalutye Andile, Anderson	Mvula Trust	CEO	南アフリカ		
		Peddie Tracy Clare	Wildlife and Environment Society of South Africa	Environmental Educator and Resource Developer	南アフリカ		

市民青少年交流事業費

	事業名	氏名	所属	現職	在住国	期間	事業内容
2	中東映像交流	ZOHAB, Mohammad Mukhtar RAFIQ, Fahim CIFTCI, Merve, Zeynep DOGAN, Asuman ALY, Soad, Shawky SHAWKY, Abu Bakr, Ahmed	Afghan film Star Group Communications and Media Services Turkish Telecommunication Anatolian Technical High School Turkish Telecommunication Anatolian Technical High School High Cinema Institute, Academy of Arts High Cinema Institute, Academy of Arts	Camera main specialist Producer Student Radio Television teacher Assistant teacher Student	アフガニスタン アフガニスタン トルコ トルコ エジプト エジプト	2009.02.16 ~ 2009.03.02	中東地域から映像専攻等の学生と若手映像作家計6名を招へいし、日本に関するドキュメンタリー映像を制作。制作にあたっては、日本工学院等の専門機関の人材・設備・機材提供を受けるとともに、同学院や一般公募の学生等によるサポーターズ・チームが結成され、制作を通じて招へい学生等と交流。制作作品は招へい者滞在中に上映会を実施。

市民青少年交流事業費

2. 催し等事業費 / (2) 市民青少年交流 (助成)

日本と海外の市民レベルにおける相互理解を促進するため、日本の団体が実施または参加する事業に対し、旅費の一部を助成する。

合計額 48,152,751 円

	事業名	対象機関	対象国	期間	事業内容
1	日本とバングラデシュ・障害者の自立生活をめざす交流	特定非営利活動法人 障害者自立応援センターYAH! DOみやざき	バングラデシュ	2008.04.01 ~ 2008.09.30	地道で粘り強い運動によって今日の社会保障制度が出来上がった歴史を忘れかけている日本の若い障害者と、社会保障制度の確立していないバングラデシュの障害者とは、アート・クラフトの技術交流、バングラデシュで制作されたクラフトの日本への紹介、障害者リーダーの育成を目指した交流事業を実施。協力団体：「バステ・シェカ」、アジア砒素ネットワーク等。
2	バイカモ保全日韓青少年国際交流事業	特定非営利活動法人 グラウンドワーク三島	韓国	2008.04.01 ~ 2008.11.25	清流の証である「梅花藻 (バイカモ)」の保全活動に関する相互交流のため、韓国と日本の環境NPOや行政、専門家、青少年が相互訪問により研修を実施。日本・三島スタディー・ツアー (韓国側26名参加)、韓国・江華島スタディー・ツアー (日本側参加16名)。
3	21世紀の隣人たちとともに奏でる『多文化共生のステージin金沢』～オーケストラアンサンブル金沢のメンバーとともに～	財団法人 金沢国際交流財団	全世界区分困難	2008.04.01 ~ 2008.12.14	金沢において、オーケストラアンサンブル金沢 (OEK) と、金沢の未来を担う外国人・日本人の子供達の合唱による演奏会、交流会を開催し、舞台上も客席にも多文化共生社会の未来が体感できる場を創出。
4	ワンダーアイズ～未来につなぐまなざし	ワンダーアイズプロジェクト	ブラジル	2008.04.01 ~ 2008.12.25	日伯交流年の認定事業として、写真家による写真映像やトークを交えたブラジルを知るオリエンテーション、日伯の子どもたち同士の写真ポストカードを交換する交流プログラム、ブラジルの子どもたちが写したブラジルの写真展、といった写真文化を通じた両国間の理解促進事業を実施。横浜、川崎、東京、群馬県大泉町で開催。
5	静岡県国際理解教育推進事業	財団法人 静岡県国際交流協会	全世界区分困難	2008.04.01 ~ 2009.03.31	一般の静岡県民を対象に、国際理解教育講座「アース (明日) カレッジ」を開催。講座実施に先立ち、実行会議2回、ファシリテーター養成講座を開催。12月13日に実施されたアースカレッジ2008では、異文化理解、英語教育、国際協力、環境、多文化共生、人権等のテーマ別に受講者が169名に上った。

市民青少年交流事業費

	事業名	対象機関	対象国	期間	事業内容
6	日露学生による服飾造形に関する意見交換会	杉野服飾大学	ロシア	2008.04.12 ～ 2009.04.19	ロシア・モスクワ繊維大学を会場として開催される学生コンテスト「未来への一步ー造形芸術モードとデザインー」に学生5名と教員2名が参加するとともに、造形芸術を学ぶロシアの学生たちとの意見交換会を開催。またロシア国立繊維大学を訪問しファッションショー形式で作品を披露、繊維大学学生たちとも服飾造形について意見交換と交流を行った。
7	「ブラジル移民100周年祭」	NPO関西ブラジル人コミュニティ	ブラジル	2008.04.12 ～ 2008.04.27	日伯交流年を記念し、相互理解を深めるため、日本在住の日系二世、三世が神戸の旧移住センターにおいて二週間にわたって①海外移住資料室における写真・資料展示及び説明会、②日系ブラジル人教育ワークショップ、③移民100年パネルディスカッション「日系ブラジル人とそのコミュニティのこれから」を実施。
8	大阪大学 学生国際交流企画	虹路（大阪大学グローバルステージ実行委員会）	中国	2008.04.13 ～ 2008.05.02	上海戯劇学院からの交流団を受け入れ、4月13日から26日にかけて大阪大学キャンパスにて、学生・留学生・地域住民と「国際交流」「高齢化問題」をテーマとした交流ワークショップを実施、成果を5月2日に舞台公演として上演し、観客とこれらテーマを共有。
9	今に生きるトルストイ思想をめぐって	トルストイ生誕180年祭実行委員会	ロシア	2008.04.19 ～ 2008.04.28	トルストイ生誕180周年を記念して、日本ロシア文学会、日本トルストイ協会、群像社、阿部事務所（ロシア等の文化紹介事業を行う会社）の4団体共同企画による講演、個展、記者発表、懇談会を実施。
10	エスチュエル・ビエンナーレ作品製作で交流	特定非営利活動法人有形デザイン機構	フランス	2008.04.20 ～ 2009.06.03	2007年から始まったエスチュエル・ビエンナーレで、日本の七夕をイメージして制作されたジャルダン・エトワレ（星庭）を、制作地であるフランス・パンブッフ村の子ども向け野外芸術施設として充実させる事業。実施にあたっては、日仏大学の建築科学生と造園家が参加、パンブッフ村の一般村民、小中学生、公務員もボランティア参加し、その過程において交流事業を行った。
11	エコビレッジ国際会議 TOKYO 2009	NPO法人ビーグッドカフェ	全世界区分困難	2008.04.24 ～ 2009.04.26	世界で広がる持続可能なライフスタイルモデル「エコビレッジ」について、「『環境危機世紀 持続可能なコミュニティへの挑戦』～小さなアクションから大きなうねりへ～」をテーマに、デンマーク、韓国、スリランカから計4名の専門家を招き、同コンセプトに関心を寄せる日本の専門家とともに3日間の国際会議を開催。有用な事例を紹介しながら、エコビレッジ成功のための条件を考え、日本におけるエコビレッジ建設と運営の道筋を模索。一般参加者918名。

市民青少年交流事業費

	事業名	対象機関	対象国	期間	事業内容
12	逢いたくばプロジェクト	逢いたくばプロジェクト実行委員会	ブラジル	2008.04.25 ~ 2008.06.30	ブラジル・パラナ州ロンドリーナ市において、写真家・八木仁志による日系移民の肖像写真展と写真取材を実施。また、ローランジャ市の入り口に、日伯の子どもたちが制作した花風車を用いて「虹の花風車」モニュメントを制作。日伯交流年の公式認定事業。
13	『青少年のための地球市民講座』多文化共生人材育成事業	財団法人 横浜市国際交流協会	全世界区分困難	2008.04.26 ~ 2008.12.13	50人に1人が外国人、154ヶ国の国と地域の外国籍市民が暮らす横浜の多文化社会の実情を理解し、ボランティア活動を通じ、多文化共生社会に寄与できる青少年人材の育成をめざし、多文化共生をテーマとした6回の連続講座を開催。講師・パネリスト40名。フェリス大学と共催によるシンポジウム開催、横浜国立大学の履修科目としても協力を得た。
14	竹プロジェクト2008	龍田共育ネットワーク	米国	2008.04.30 ~ 2008.05.07	ニューヨーク州エッジモント学区の2つの小学校を訪問し、1~4年生の子どもと保護者、教員を対象として、龍田プレイパーク活動のうち、竹についてのレクチャーを行うとともに、スーパー竹とんぼ、スタードーム等の竹細工を紹介。
15	市民祭りチーム 朝鮮通信使文化交流	特定非営利活動法人 翔青会	韓国	2008.05.02 ~ 2008.05.05	北九州市民100名余りが釜山朝鮮通信使韓日交流事業に参加し、県無形文化財黒崎祇園山笠を紹介。平和行列にて、実際の山笠一基を勢い良く回転する「回し練り」を披露。
16	「吉田の火祭り インジャクソン」支援・交流事業	VISTA360° ジャクソン火祭り支援会	米国	2008.06.17 ~ 2008.06.25	富士吉田市の「ジャクソン火祭り支援会」メンバーが、米ワイオミング州ジャクソンホールの非営利組織 VISTA360° の「ファイヤー・フェスティバル」の準備と実施を指導するとともに「吉田の火祭り」の歴史や背景の教育プログラムを実施。同地の日本文化理解を深め、山岳コミュニティーとの交流の礎を築いた。
17	郡上おどり in トロント	郡上八幡観光協会	カナダ	2008.06.27 ~ 2008.06.28	日加修好80周年の機会をとらえ、カナダ・トロント市内のメトロホール及び日系文化会館にて、国重要無形民俗文化財「郡上おどり」と新内ながしを披露するとともに市民に踊りの講習を実施。日本の民衆文化を体感してもらい、国際相互理解の促進を図った。
18	International Youth Round-table Conference	Japan Youth G8 Project	全世界区分困難	2008.06.29	世界15カ国から18団体25名の青年を招へいし、日本各地の40団体70名とともに地球規模の課題（気候変動、生物多様性、貧困開発など）について議論し、ユースステイメントを作成するとともに日本政府の政策立案者（行政官）を議論の場に招待し、ユースステイメントについて意見交換を実施。

市民青少年交流事業費

	事業名	対象機関	対象国	期間	事業内容
19	日韓海峡圏学生サミット2008	日韓海峡圏学生サミット実行委員会	韓国	2008.07.01 ~ 2008.11.01	日韓両国の学生各7名が、玄界灘次世代ネットワークと日韓新時代の未来について「環境」を具体的なテーマとして議論。その成果はサミット学生代表により、11月、釜山市で開催された釜山-福岡フォーラムにて、釜山・福岡市長に提言書の形で提出。
20	ラオスNGOスタッフによる日本の交流校での交流授業	特定非営利活動法人アジア教育友好協会	ラオス	2008.07.04 ~ 2008.07.13	ラオスの山岳少数民族の村における学校建設や日本とラオス間の子供たちの国際交流を支援するラオスNGO：Village Focus Internationalのスタッフ2名を日本へ招聘し、交流事業を通じて日本の子どもたちの国際理解を深め、同時にラオススタッフにも日本の学校現場体験を通じ、国際交流の意義や今後の展開について考える機会とした。
21	日比青年交流支援プロジェクト「南の島に愛が降る」	社団法人 周南青年会議所	フィリピン	2008.07.10 ~ 2008.07.13	周南市の高校生、大学生、一般市民、青年会議所会員34名が、現地NGO LOOB (Love Our Own Brethren) の協力のもと、フィリピンパナイ島イロイロ市を訪問し、現地市民とのコミュニティ貢献事業（小学校の壁の塗装）、環境衛生に役立つ為の物資の支援、ホームステイを実施。
22	日本の都市計画と歴史的遺産	Paris La Villette 国立高等建築学校	フランス	2008.07.11 ~ 2008.08.03	フランスの建築専攻の学生9人と指導教官2名が訪日し、日本の都市計画と歴史的遺産をフィールドトリップで学ぶと共に、東大での集中ワークショップや、協力関係のある大学の教官からレクチャーを受講するとともに東大大学院生との交流を実施。帰国後は、訪日の成果を学内で展示。
23	香川県サッカー少年団派遣交流事業	社団法人 香川県サッカー協会	ブラジル	2008.07.24 ~ 2008.08.01	申請団体の少年団（小学6年生）18名とコーチ、随行者をブラジルに派遣し、サンパウロ近郊においてサッカーを通じた交流や、小学校訪問、ホームステイ等により交流事業を実施。
24	応用ドラマプロジェクト「私たちの街の物語」	特定非営利活動法人シアタープランニングネットワーク	英国	2008.07.25 ~ 2008.08.05	ロンドン大学でコミュニティシアターを学ぶ3名の学生、日本でアートマネジメントを学ぶ4名の学生が、それぞれ演出家と通訳コーディネーターとしてペアを組み、パフォーマーとしての広島県三原市近郊の小中学生・中学生21名とともに、プロムナード型パフォーマンスを創造。テーマを「環境」「市民としての責任（シティズンシップ）」とし、成果パフォーマンス「私たちの街の物語」を発表。
25	韓日青少年文化芸術交流ワークショップ”きくち森の中の幼虫たち”	子供文化芸術学校	韓国	2008.08.04 ~ 2008.08.10	韓国と日本の小・中学生各28名と30名が熊本県菊池市の廃校を改造した自然キャンプ場に集まり、ワークショップを開催し、その成果をパフォーマンス”きくち森の中のあおむし！”の共同制作として、発表公演を行った。

市民青少年交流事業費

	事業名	対象機関	対象国	期間	事業内容
26	JAPANTRIP2008	日中学生交流団体 freebird	中国	2008.08.04 ~ 2008.08.12	中国・復旦大学の学生を中心とした中国人学生15名を日本に招へいし、京都及び東京で日本の大学生と「環境」「情報発信」をキーワードに相互理解促進イベントを実施。法政大学で実施したイベント成果発表会のはべ150人が参加。
27	ユース・フォー・ピース・プログラム 2008	特定非営利活動法人 ピース・キッズ・サッカーク	イスラエル パレスチナ	2008.08.04 ~ 2008.08.15	イスラエルの女子高校生4名と指導者1名、パレスチナの女子高校生4名と指導者1名及び日本の女子大学生5名の計15名が、山梨県・小菅村を中心に、文化・伝統・自然体験を通して地域のことを考え、それぞれの地域から平和な世界を作り上げていくきっかけを作る12日間のプログラムを実施。テーマを「絆」とし、共同生活と対話を通じて交流を深めた。
28	第23回 日韓学生会議 東京大会	日韓学生会議	韓国	2008.08.04 ~ 2008.08.20	日韓学生会議に所属する日本学生21名と、韓日学生会議に所属する韓国学生20名が、学生ボランティア通訳7名を交えて、分科会議等を通して交流、活動内容を公開シンポジウムの中で発表。分科会テーマ「インターネットにおける知的財産権」、「外国人労働者の子供」、「ウトロ村問題」、「東北アジアの安全保障」、「従軍慰安婦」、「教育における愛国心」、「メディア」
29	第4回高校生写真国際 交流事業・日韓高校生 写真交流の集い	社団法人全国高等学校 文化連盟写真専門部	韓国	2008.08.05 ~ 2008.08.17	日本と韓国の高校生各15名が写真を通してのワークショップでお互いの交流を深める。同じメンバーが相互訪問により寝食を共にしながら、日本では全国高等学校総合文化祭群馬大会にも参加し、撮影会、作品鑑賞、セミナー等を開催。韓国ではグループ別組写真作りや撮影会を開催。
30	日伯交流年ブラジル移 住100周年野球交流	財団法人 全日本大学 野球連盟	ブラジル	2008.08.06 ~ 2008.08.20	ブラジル国における日本人移民100周年記念行事のため招聘を受けた全日本大学野球連盟が、連盟として早稲田大学野球部、慶應義塾大学野球部を派遣し、ブラジル各地で野球というスポーツを通じた国際交流を実施。市民・青少年を対象とした野球教室の開催、日本の野球の魅力、文化を伝えるための交流戦を開催。
31	日本ケニア学生会議第 9期本会議	日本ケニア学生会議	ケニア	2008.08.08 ~ 2008.08.27	日本とケニアの相互理解・交流を促進するため、日本人学生10名がケニアを訪問し、ケニア大学生15名と「平和」をテーマとしたディスカッションとフィールドワーク、ホームステイを実施。本会議の分科会においては「平和的共存は可能か」を議題に討論。

市民青少年交流事業費

	事業名	対象機関	対象国	期間	事業内容
32	第24回日韓学生フォーラム	第24回日韓学生フォーラム	韓国	2008.08.10 ～ 2008.08.24	8月の2週間、韓国ソウルにて、日本メンバー18名と韓国メンバー17名が合宿し、分科会（経済・政治・歴史・文化・現代社会）における発表と議論、シンポジウム（North Korea, Culture, Confort Women）を実施するとともに文化交流活動として両国文化紹介、ホームステイ、Tシャツ横断幕作りを実施。対話は英語による。
33	第6回 日本・イスラエル・パレスチナ合同学生会議	日本・イスラエル・パレスチナ学生会議	イスラエル パレスチナ	2008.08.12 ～ 2008.08.31	イスラエル5名、パレスチナ3名を日本に招へいし、日本人大学生16名とともに「歴史認識」、「和平の阻害要因」、「イスラエル・パレスチナの多様性」をテーマにしたディスカッション、長岡市における市民交流会と高校生交流プログラム、及び旧山古志村の見学と地域のお祭り参加等を実施。
34	青少年サハリン・北海道「体験・友情」の船	北海道・ロシア極東交流事業実行委員会	ロシア	2008.08.15 ～ 2008.08.21	サハリン側青少年80名が北海道を訪問し、日本（北海道）側青少年96名と文化、交流、ホームステイなどを通して国境を越えた友情と独立心を育み友好と平和の担い手を育成する交流事業を実施。1999年から隔年の相互訪問により実施する、北海道とサハリン州との青少年交流事業。
35	21世紀のこども通信使事業	21世紀の日韓こども通信使実行委員会	韓国 中国	2008.08.18 ～ 2008.08.26	朝鮮通信使、遣隋使の歴史がある日本、韓国、中国の3国間のこども達の国際交流事業。韓国、中国からそれぞれ小中学生を20名ずつ日本に招へいし、日本の朝鮮通信使のゆかりの地（福岡、下関、神戸、奈良、滋賀）で、グループに分かれて交流事業を実施。その後、静岡で参加者全員が集まり、「こども夢サミット」開催。
36	日韓友好交流ボランティアワークキャンプ2008	グッド!	韓国	2008.08.18 ～ 2008.08.30	韓国ユネスコ委員会及びキャンプ地である原州市地盤の劇団Modugolの協力を得て、原州市ソングク里にて、日本人と韓国人の若者が協力して、農作業ワーク、伝統芸能の練習等、村での共同生活、共同作業を実施。
37	インドネシアと日本の子どもたちの共同壁画制作による異文化交流	ジャパンアートマイル実行委員会	インドネシア	2008.08.22 ～ 2008.09.03	インドネシアと日本の修好50周年を記念して、日本（赤穂市）の中学生6名が申請団体スタッフとともにインドネシア（バリ）を訪問し、ネカ美術館において、「地球のいのち」と「神の世界・人の世界・自然の世界」をテーマに、ディアトミカ中学校において「友情」をテーマにそれぞれ両国の中学生が壁画を共同制作。完成作品を展示。
38	マーシャル諸島・日本次世代交流キャンプ	特定非営利活動法人アジアボランティアセンター	マーシャル諸島	2008.08.22 ～ 2008.09.01	マーシャル諸島および日本の青少年が、現地NGO（ワム、マーシャル諸島保全協会、エラブ、ユース・トゥ・ユース等）の協力を得て、現場体験学習を行い、マーシャル諸島の伝統的なライフスタイルと文化、環境問題、歴史と平和といったテーマで相互理解を深めた。

市民青少年交流事業費

	事業名	対象機関	対象国	期間	事業内容
39	Study Trip 2008 from Thailand to Japan	アジア法学生協会 Japan	タイ	2008.08.23 ~ 2008.08.30	日本の法学生48名、タイの法学生20名が東京に集まり、「日本とタイに共通する社会問題を通じた人権考察」をテーマに、「人権」という法的観点から議論するとともに、成果を学術交流発表会にて発表。交流促進プログラムでは「友好性の促進と多様性の認識」をテーマに交流会、語学教室、文化紹介、文化視察、国会議事堂見学などを実施。
40	ブラジル移民100周年記念 日系人が創造した身体表現による日伯交流	タマンドゥア・ダンスシアター・カンパニー 日本公演実行委員会	ブラジル	2008.08.28 ~ 2008.09.09	日伯交流年の機会に、タマンドゥア・ダンスシアター・カンパニーを招へいし、日本で生まれ、ブラジルの新たな芸術として定着させた「舞踏」を公演、ワークショップを通じて紹介。多民族国家での日系ブラジル人の歴史と生活から生まれた表現と生き方をもとに市民・学生と交流。
41	日本アフリカ学生会議第3期本会議	特定非営利活動法人日本アフリカ学生会議	ガーナ	2008.09.01 ~ 2008.09.20	ガーナ大学教授の指導のもと、日本人学生3名がガーナを訪問し、JICAプロジェクト、現地NGO Pride Rivival in Youthの訪問、カカオ農園訪問、及びガーナ大学の学生3名との議論を実施。
42	日伯交流100周年記念「ブラジルをもっと知ろう！」	財団法人浜松国際交流協会	ブラジル	2008.09.01 ~ 2009.03.31	日伯交流年と浜松市多文化共生センターのオープンを記念し、市民にまだ知られざるブラジルの側面を紹介し、その良さと奥深さを知ってもらう3回の連続講座を開催。講義テーマは「ブラジルの旋律を楽しもう」、「世界を支える食糧大国ブラジルのアグリビジネス」、世界に誇る高度技術 ブラジルのバイオテクノロジー」。講師派遣に基金が協力した共催事業。
43	2008年ブラジル日本移民百周年記念事業（原爆死没者慰霊・平和交流事業）	社団法人 京都府原爆被災者の会	ブラジル	2008.09.05 ~ 2008.09.07	ブラジル在住の被爆者、関係者やブラジル国籍の第二次大戦従事者と交流するため、ブラジルのNPO法人MCDとブラジル市会議員国民協会の招待で、京都ブラジル文化協会や在ブラジル京都人会等と連携し、「平和の日」記念集会や「原爆写真展」を開催。日伯交流年の一環。
44	日本ブラジル移民百周年記念協賛事業	特定非営利活動法人京小町踊り子隊プロジェクト	ブラジル	2008.09.05 ~ 2008.09.07	青少年育成を通じて京都PR隊として活動している京小町踊り子隊が、ブラジル日本移民百周年に協力し、ブラジル京都創設記念式典、京都文化産業フェアでの公演、日系2世、3世との交流、サンパウロ大学学生との交流、及びリオデジャネイロの小学生との日本舞踊とサンバの競演等を実施。
45	ビエンナーレを巡る日露青年交流と展望	日本・ウラジオストク協会	ロシア	2008.09.08 ~ 2008.09.13	ウラジオストクの美術家8名を招き、討論会、ワークショップ、展示、ミニコンサート等の交流事業を通じて、2009年にウラジオストクで開催されるビエンナーレに向けての意見討論及び参加者による現代美術展の紹介、交流を実施。

市民青少年交流事業費

	事業名	対象機関	対象国	期間	事業内容
46	鑑真和上記念「逆渡航・日中青年交流計画」	鑑真記念・日中青年交流計画実行委員会	韓国	2008.09.08 ～ 2008.09.17	唐時代に苦難の末、渡日し多くの功績をあげた鑑真和上の遺徳を偲び、公募による学生（日本人24名、中国人留学生6名）が鑑真和上の渡日した逆ルートをフェリーでわたり、洋上で研修。上海上陸後、鑑真ゆかりの地や南京大学、浙江大学、復旦大学を訪問、シンポジウムの開催、リクリエーションなどを通じて日中青年交流を実施。
47	小山内美江子 国際ボランティア・カレッジ	特定非営利活動法人JHP・学校をつくる会	全世界区分困難	2008.09.13 ～ 2009.03.28	国際協力に関し、講義、体験ボランティア、カンボジアにおける活動を通じ、「理解を深め、実践へ」を狙いとした連続講座を実施。座学部門受講者28名、カンボジア現地研修には受講生を17名を含む22名が参加。講師は元大使、大学教授、NGO役員などが協力。
48	ベトナムフェスティバル2008	アイセック一橋大学委員会	ベトナム	2008.09.17 ～ 2008.09.30	日越の将来を担う学生の市民レベルの交流促進を目的として、ベトナム人学生をインターンシップ運営事業の一端として日本に受け入れるとともに、日本人大学生29名がハノイ・ホーチミンを訪問。ベトナムフェスティバル2008inジャパン（会場：代々木公園）へも参加。
49	ふれあいフェスティバル in ソウル	特定非営利活動法人車椅子レクダンス普及会	韓国	2008.09.26 ～ 2008.11.03	日本で普及している車椅子ダンスを韓国市民と大学生に普及してきた成果として、ふれあいフェスティバルを韓国・ソウルで開催。日本から障害者8名を含む104名が参加。
50	福岡市・大連市におけるまちづくり市民人材育成・活動交流事業	財団法人福岡アジア都市研究所	中国	2008.09.28 ～ 2008.10.01	まちづくり活動に自発的に参加し、市民によるまちづくり文化の醸成と普及にも積極的に取り組む市民を、福岡市の民間・行政両分野から大連市に派遣し、ワークショップ等を通じ、現地の市民（民間・行政関係者）との交流を実施。「アジア太平洋都市サミット」公式プログラムの一環として実施。
51	文化遺産と街づくり	バンコク・フォーラム	タイ	2008.10.20 ～ 2008.10.27	バンコクの旧市街（プラナコン地区）の史的建築物と街並みの保存、及びコミュニティの活性化を図るため、タイの専門家6名が京都（町屋地区）、東京の下町（谷中）を視察し、日本の現地関係者から街並み保存・地域活性化に関する経験を学んだ訪日スタディ・プロジェクト。訪日の成果は、バンコクにおいてシンポジウム実施等を通じ、バンコクの市民、学識者にも還元。
52	第5回 日中友好促進青少年交流事業	徳島県日中友好協会	中国	2008.10.28 ～ 2008.11.03	中国の大連外国語学院・東北大学・遼寧師範大学の学生を対象に弁論大会を実施し、優秀者4名の学生代表を親善特使として徳島に招へい。日本の青少年と「異文化のつどい」と題するシンポジウムを開催。

市民青少年交流事業費

	事業名	対象機関	対象国	期間	事業内容
53	日韓交流韓国現代美術展	AKIGAWA日韓交流会	韓国	2008. 11. 01 ～ 2008. 11. 24	相互の文化交流、地域の活性化と青少年の健全な育成を目的として、韓国の現代美術家4名をあきる野市に招へいし、東京都無形文化財である軍道と紙のふるさと工房で展覧会、講演会、ワークショップ等を実施。
54	日本・キューバ囲碁文化交流	特定非営利活動法人囲碁国際交流の会	キューバ	2008. 11. 12 ～ 2008. 11. 22	日本の市民65名がキューバ・ハバナ市を訪問し、キューバの市民・学生らと囲碁対局、囲碁の歴史・文化・普及についての報告・意見交換を実施。併せてキューバからの囲碁留学生育成の報告や日本文化の紹介・ワークショップを行い、関係機関を訪問。
55	フィリピン・ムスリム女性リーダー訪日事業	ピース・ウィメン・パートナーズ	フィリピン	2008. 11. 16 ～ 2008. 11. 26	日本社会、関係学界等にフィリピン・ムスリム、とりわけ女性のおかれている状況を伝え、その文化を紹介するとともに、ミンダナオ地域の平和構築のためフィリピン・ムスリム女性間の経験や展望を共有できるネットワークづくりのため、6人のムスリム女性リーダーが訪日し、九州大学、大阪大学でフォーラムを開催するとともに、名古屋大学で開催される日本平和学会で講演。NGO関係者とも意見交換を実施。
56	インドネシア・日本市民社会交流 2008	いりあい・よりあい・まなびあいネットワーク（あいあいネット）	インドネシア	2008. 11. 30 ～ 2008. 12. 12	インドネシアの地域で活動するNGO（INCREASE、ADBMI）の若手リーダー各1名を日本に招へいし、日本のNPO活動（神戸市のまち・コミュニケーション、市民活動センター神戸）や地域づくりの現場（佐渡市）を訪問し、市民社会活動の関係者と交流。さらに大阪経済大学、明治大学において講義を行い、インドネシアに関心をもつ学生と意見交換を実施。
57	伝統織物の復興から学ぶ再生への途	戦争を生き抜く女たちプロジェクト	カンボジア 東ティモール	2008. 12. 01 ～ 2009. 03. 31	長い紛争で失われつつあったカンボジアのクメール織の復興に尽力したクメール伝統織物研究所の経験、東ティモールのタイス織の復興を目指すNGO（地域国際活動研究センター）のそれぞれの取り組みを展示と講演で紹介。クメール織についてはクメール伝統織物研究所日本代表：西川潤氏、タイス織については地域国際活動研究センター事務局長：杉本正次氏にそれぞれ講演と展示資料提供等、協力を受けた。
58	メキシコの女性詩人・工芸家との文化交流	一般社団法人 日本詩人クラブ	メキシコ	2008. 12. 10 ～ 2008. 12. 25	アメリカ合衆国からメキシコへ帰化し、チアパス州サン・クリストバル市に暮らしつつ詩作し、先住民とともに工芸活動を行うアンバル・パスト氏を招へいし、日本ペンクラブ、横浜詩人会と共催で、詩の朗読・講演会（春日部共栄高校、東京大学教養学部を含む）、懇親会、手漉き和紙の作成実習等を実施。

市民青少年交流事業費

	事業名	対象機関	対象国	期間	事業内容
59	ベトナムから「八幡太鼓 響け世界の大空に」	八幡太鼓保存会	ベトナム	2008. 12. 11 ~ 2008. 12. 16	日本ベトナム外交樹立35周年記念として、2008年4月に日本で講演したグエン・ドク氏からの要請に応え、八幡太鼓のジュニアベストチーム24名及びスタッフ10名がベトナム・ホーチミン市を訪問し、日越歌合戦に特別参加したほか、ツーズー美容院枯葉剤障害者施設、ホーチミン市師範学校を訪問し、公演と交流会を実施。
60	国際こどもアート・フェスティバル インシンガポール	特定非営利活動法人 バディング アーティスト ファンド ジャパン	シンガポール	2008. 12. 19 ~ 2008. 12. 23	日本の子ども（石神井学園6年生6名）がシンガポールのBTバディング・アーティスト・ファンドを訪問し、シンガポールの子どもたちとともにアート、ダンス、歌のワークショップに参加して、文化交流を行った。BTバディング・アーティスト・ファンド（BTBAF）が2005年から開催している、「アートキャンプ」と連動して開催。
61	第42回 日韓学生会議	日本国際学生協会	韓国	2008. 12. 23 ~ 2008. 12. 28	日本国際学生協会に所属する日本人学生24名と、韓国国際学生協会に所属する韓国人学生約12名が、「未来への架け橋—私たちの東アジア共同体—」をテーマに、6日間にわたり分科会議や文化交流企画を通して交流し、最後に公開サマリー発表会を開催。
62	日・タイ学生による文化交流キャンプ	特定非営利活動法人 国際交流の会とよなか (TIFA)	タイ	2009. 01. 04 ~ 2009. 05. 30	申請団体が過去5年にわたり日本語ボランティア教師を派遣してきたタイ国立シンプリ校から、日本語クラスで学び将来日本との架け橋となる仕事に関心を持つ生徒・卒業生4名と随任教員2名を大阪に招へいし、地元高校・大学生、ボランティアスタッフと総勢41名で3日間のキャンプイベントを企画・運営。
63	日中社会起業家育成のモデル検討のための交流研究事業	特定非営利活動法人エティック	中国	2009. 01. 13 ~ 2009. 01. 18	2007年度に「日中社会起業支援組織ネットワーク形成のための交流研究事業」として、社会起業を支援する中間支援組織間の交流研究活動を北京と東京で行った。2008年度以降は、その取り組みをさらに進めた形で、3か年の計画で、日中両国における社会起業家育成のためのモデルを形成する、基盤づくりのための交流研究プログラムを実施。
64	コーディリエラ・ユース・エコ・サミット 2008	音楽ネットワーク 環音（わをん）	フィリピン	2009. 01. 20 ~ 2009. 02. 10	フィリピン・コーディリエラ山岳地方の6つの州から集まった若者たちが、コミュニティ演劇の創作を通してお互いが抱える環境問題を共有し、解決策を話し合うため、日本から専門家や環境NGO、先住民族の方たちを派遣。イフガオ州マヤオヤオ、カリンガ州ルプアガン、ベンゲット州バギオ市において、それぞれ演劇上演、映画上映、写真展等を実施。

市民青少年交流事業費

	事業名	対象機関	対象国	期間	事業内容
65	日本・トルコの架け橋を作る子ども交流事業	特定非営利活動法人 国際ボランティア21	トルコ	2009.01.25 ～ 2009.02.03	本事業はトルコ学生団体ILKYARと申請団体が中心となる学生ボランティアの協力のもと、トルコの子ども7名とスタッフ3名を招へいし、東京における活動（社会見学、小学校交流、ボランティア活動、交流ゲーム）と新潟におけるキャンプ（ホームビジット、雪かき、餅つき大会、小学校交流）を通じて、日本の子どもたちと交流。国際理解教育の推進と多文化共生社会を担うリーダーの育成を実施。
66	“学びの共同体”を通じた韓日教師交流	ガンディ学校	韓国	2009.01.28 ～ 2009.01.31	韓国初のオルタナティブスクールである申請団体が、開校10周年の機会に実施した教師交流事業。同学校より24名の教師が訪日し、日本の授業改革の成功事例として東京大学佐藤学教授の提唱する「学びの共同体」理論を取り上げ、東京大学及び同大付属校において教員ワークショップを実施。また、「学びの共同体」実践校（富士市立岳陽中学校）を訪問し、現場教員との交流を実施。
67	障害者とクラウンズとのワークショップ研修	特定非営利活動法人 いちかわ市民文化ネットワーク	米国	2009.02.19 ～ 2009.03.09	能力ある障害者による舞台芸術活動の職業訓練をめざしニューヨークで活躍するクラウンズ・カンパニーを招へいし、「チャレンジド・ミュージカル公演」事業の一部として市川、成田、東京等で7回のクラウンズ芸のワークショップ、また三世帯市民を対象としたワークショップを6回実施。
68	活気ある地域づくりのための日英NPO交流	特定非営利活動法人 市民社会研究所	英国	2009.02.28 ～ 2009.03.07	イギリス・グロスターシャー県のNPO実践家（中間支援組織）2名を招き、東京（立教大学）及び三重県において日英NPOフォーラムを開催。三重県では、県内NPO7団体を訪問し、地域レベルのNPO関係者と市民社会の発展のあり方について意見交換を行った。
69	スリランカ津波対策のための学校教育支援	スリランカと佐賀の会	スリランカ	2009.02.21 ～ 2009.03.01	2004年の津波によるスリランカの被害は、津波の知識の欠如によるという認識のもと、2006年に佐賀県民の協力でスリランカの高校に図書館を建設。同図書館を中心に、スリランカに研修講師と申請団体メンバーを派遣し、子供達と地域住民に津波対策教育を実施。
70	インドネシア農民との農業体験交流	学校法人 アジア学院	インドネシア	2009.02.01 ～ 2009.02.27	アジア学院日本人学生3名及び一般参加者2名がインドネシア・スマトラ島を訪問し、インドネシアの若手農業者等12名と共に、Rural Development Action (RDA) 研修センターにて、持続可能な農業についての研修活動に参加。農業環境の保全や自然災害後の農業による復興について学んだほか、申請団体卒業生の活動現場の視察、地元農家でのホームステイ、地元高校との交流プログラムも実施。

市民青少年交流事業費

	事業名	対象機関	対象国	期間	事業内容
71	日本とペルーの若者の共同ボランティアを通して、お互いの国を発見しよう	特定非営利活動法人ギブ	ペルー	2009.02.20 ～ 2009.03.10	兵庫及び近隣県に増えてきた在住ペルー人をよりよく理解することを目的として、日本の若者5名及びコーディネーター2名をペルーに派遣し、同国のサン・ビセンテ・デ・カニエテ市内に滞在、現地在住の日系人及びペルー人23名とともに貧困地域サンタ・クルス村において国際協力と折り紙、日本語等の日本文化紹介を実施。一般市民との交流の場も設定。
72	平成20年度「地球市民講座」	財団法人福岡国際交流協会	全世界区分困難	2009.02.03 ～ 2009.03.03	地球市民講座は、市民を対象に世界の国や地域の社会、文化事情や地球上で起こっている様々な問題等への理解をより深めるため、専門家を招き、シリーズで開催する講座。平成20年度のテーマは「イスラム社会のいま」。基金より異文化理解講座で実績のある講師を紹介し、4回の連続講座を実施。
73	TETSUSON Korea	TETSUSON Korea	韓国	2009.03.01 ～ 2009.03.09	2009年3月3日～8日に横浜のBankART Studioで開催する同展2009に対し、2007年よりこの企画に参加している韓国のカウンターパートが40名展示参加し、両国のデザイン・芸術系学生の交流を行った。
74	東アジアメディア比較プロジェクト	東アジアメディア研究学生会議	韓国 中国	2009.03.02 ～ 2009.04.25	中国3名、韓国3名、トルコ1名、日本7名の大学生が、「小泉元首相の靖国参拝」等共通のトピックについて新聞を中心に報道振りを調査する事前準備を経て東京に集まり、3ヶ国対話を始めているジャーナリスト等メディア関係者からヒアリングを実施。招へい参加者滞在中に成果の最終報告会を公開で実施したほか、日本人参加者が渋谷教育学園幕張高等学校において出張授業を実施。
75	東アジアを繋ぐEco-Project ～中国黄土高原緑化事業～	特定非営利活動法人国際ボランティア学生協会	中国	2009.03.04 ～ 2009.03.14	「環境問題」をテーマに、日本国内の青少年83名が11日間陝西省を訪問し、砂漠化が進む黄土高原において西安外国語学院学生・地元林業局関係者・地元中学生・高校生等170名と植林活動を通じ、寝食を共にし、交流を深めた。
76	日伯交流年記念「京都・ブラジル友好の森プロジェクト」	NGO緑の協力隊・関西澤井隊	ブラジル	2009.03.07 ～ 2009.03.16	日本・ブラジル移民100周年と申請団体創立10周年記念事業の一環としてアマゾン下流のパラ州ベレン市近郊の荒疎林地において、現地小学校200人の児童と派遣隊員22名の協働作業で熱帯雨林再生目的の植林を実施。現地協力団体：アマゾン森林友の会協会（ASFLORA）
77	シンガポール青少年と囲碁を通じた文化交流	特定非営利活動法人碁スカイパーク	シンガポール	2009.03.16 ～ 2009.03.22	2007年1月、日本の青少年のシンガポール訪問を契機として始まった碁のネットワークを利用した国際交流を発展させ、2009年3月にシンガポールの青少年・指導者14名を日本に招へいし、千葉、横須賀、江戸川（東京）の青少年と碁を通じた交流事業を実施。

市民青少年交流事業費

	事業名	対象機関	対象国	期間	事業内容
78	2009年模擬国連会議全米大会第26代日本代表団派遣事業	2009年模擬国連委員会	米国	2009.03.20 ~ 2009.04.11	2009年4月に開催された模擬国連会議全米大会に日本から東京、関西の大学生10名を代表団として派遣、提携校オハイオ州デイトン大学（米国）の学生14名とともに大会に参加したほか、国連本部での職員ブリーフィング、日本政府代表団訪問等も併せて実施。
79	青少年のサケ学習国際交流事業	北海道サーモン協会	カナダ	2009.03.26 ~ 2009.04.03	サケを介して環境保全の重要性を参加生徒に認識させることを主目的とし、札幌市内の小中学生16名と引率教員2名をカナダ・ブリティッシュ・コロンビア州第83学区に派遣し、両者が共通して持つ自然環境を生かし、現地生徒とともに環境センターなどの野外活動やホームステイ等、9日間の体験・交流活動を企画・運営。

市民青少年交流事業費

2. 催し等事業費 / (3) 異文化理解ワークショップ

日本におけるより正確で深い異文化理解促進のため、公開講座や巡回展示を実施する。

合計額 20,630,941 円

事業名	対象国	都市	場所	期間	事業内容	
1 異文化理解講座	日本	東京	国際交流基金	2008.04.01 ~ 2009.03.31	諸外国の社会・文化事情やその歴史的背景などについてより深い関心と正確な理解を促し、且つ、当該地域の社会・文化・芸術等に関する基本的な知識・情報を体系的に提供することを目的として、一般市民向け講座を実施。	
2 異文化理解講座出版	全世界区分困難			2008.04.01 ~ 2009.03.31	異文化理解講座の内容を書籍化して市販流通させることにより、広く一般の人々に同講座の情報を提供。本年度は、山川出版社との共催により、『神話と芸能のインド神々を演じる人々』を出版、東京堂出版との共催により、『中南米の音楽』を出版。	
3 第11回漫画展	インドネシア	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター	2008.04.25 ~ 2008.05.19	平成18年度に開催したアジア10カ国（バングラデシュ、中国、インド、インドネシア、日本、マレーシア、フィリピン、スリランカ、タイ、ベトナム）の新聞、雑誌などの第一線で活躍中の諷刺漫画家10名が諷刺とユーモアで描いた「第11回アジア漫画展－アジアの若者文化」（作品77点）をインドネシア、タイ、中国、カンボジア、フィリピンに巡回。	
		スラバヤ	ハウスオブサンブルナ	2008.06.11 ~ 2008.06.30		
	タイ	バンコク	バンコク日本文化センター	2008.07.31 ~ 2008.08.25		
		ナコンラーチャシーマー	ナコンラーチャシーマー・ラチャバット大学	2008.09.08 ~ 2008.09.21		
	中国	洛陽	河南洛陽美術館	2008.10.17 ~ 2008.10.26		
		柳州	柳州博物館	2008.11.03 ~ 2008.11.10		
	カンボジア	プノンペン	王立プノンペン大学	2008.12.13 ~ 2009.01.03		
			日本人材開発センター			
	フィリピン	バギオ	バギオ	SM Cityバギオ		2009.02.01 ~ 2009.02.15
			マニラ	メトロ・マニラ首都圏SM Mega Mall		2009.02.18 ~ 2009.02.27
マニラ		メトロ・マニラ首都圏 Mall of Asia	2009.02.28 ~ 2009.03.15			

文化芸術交流事業に必要な経費

企画開発費

1. 催し等事業費
 - (1) 事業開発（催し）

2. 文化資料事業費
 - (1) 事業開発（文化資料）

企画開発費

1. 催し等事業費 / (1) 事業開発 (催し)

企業等と連携した新規事業、及び従来の枠組みや発想にとらわれない部門横断型事業の開発と実施。

合計額 10,906,231 円

事業名	対象国	都市	場所	期間	事業内容
1 食文化紹介事業	全世界区分困難	東京	国際文化会館	2008.04.01 ~ 2009.03.31	国際文化会館との共催及びロイヤルパークホテルの協力により、食文化の第一人者を自負するフランスを取り上げ、フランス文学作品の中の料理を再現するとともに、当該作品の作家や登場人物、時代背景等に焦点を当てた講演会の実施 (計4回)。
2 CSR事業	タイ インド 英国 ドイツ フランス	バンコク ニューデリー ロンドン デュッセルドルフ パリ	在バンコク日本商工会議所 在ニューデリー日本商工会議所 ロンドン日本文化センター 在デュッセルドルフ日本商工会議所 パリ日本文化会館	2008.04.01 ~ 2009.03.31	海外における日系企業との連携事業の推進を図るべく、平成19年度に英国、フランス、ドイツ、インド、タイ、メキシコにおける日系企業による社会貢献活動調査を行ったが、平成20年度は調査結果の報告会をメキシコを除く当該国にて開催。

企画開発費

2. 文化資料事業費 / (1) 事業開発 (文化資料)

国際交流基金広報グッズの開発、及び調査報告書等出版物の制作。

合計額 18,148,960 円

	事業名	対象国	期間	事業内容
1	商品開発事業	全世界区分困難	2008. 04. 01 ~ 2009. 03. 31	平成20年度に実施した横浜トリエンナーレ2008の開催に合わせて、横浜トリエンナーレ2008記念JFオリジナルふろしきの制作・販売。
2	CSR事業	タイ インド メキシコ 英国 ドイツ フランス	2008. 04. 01 ~ 2009. 03. 31	海外における日系企業との連携事業の推進を図るべく、平成19年度に実施した英国、フランス、ドイツ、インド、タイ、メキシコにおける日系企業の社会貢献活動調査の調査結果に基づく報告書を作成。(日本語版と英語版。タイ、メキシコについては各国語版も作成。)

文化芸術交流事業に必要な経費

造形美術事業費

1. 人物交流事業費

- (1) 受託事業（アセアン）
- (2) 造形美術情報交流（派遣）
- (3) 造形美術情報交流（招へい）

2. 催し等事業費

- (1) 国際展（国際展参加）
- (2) 海外展（企画展）
- (3) 海外展（巡回展）
- (4) 国内展（企画展）
- (5) 海外展（助成）
- (6) 美術交流促進国内展（助成）
- (7) 造形美術情報交流（催し）

3. 催し等事業費（トリエンナーレ）

- (1) 国際展（トリエンナーレ）

造形美術事業費

1. 人物交流事業費 / (1) 受託事業 (アセアン)

国際交流基金の業務趣旨に合致する造形美術分野の事業を外部から受託し実施する。

合計額 30,051,420 円

事業名	氏名	現職	対象国	期間	事業内容
1 東アジアクリエーター招へい	Gustaff Harriman Iskandar	コモンルームネットワーク ス・ファウンデーション ディレクター/キュレーター	インドネシア	2008. 04. 01 ~ 2008. 07. 31	アジア・大洋州の13カ国から、 アート、デザイン、ファッション 等創造的な活動に従事する若手の クリエイターを日本に招へいし、 制作や関係者とのネットワーク形 成の機会を提供し、新たな芸術交 流の創造と国際相互理解の深化を 図った。
	Hafiz	OK. ビデオ アーティス ティック・ディレクター/ キュレーター	インドネシア		
	Nurdian Ichsan	バンドン工科大学 美術デ ザイン学部 講師/陶芸家	インドネシア		
	Em Vannooun	陶芸家	カンボジア		
	Charles Lim	現代美術家	シンガポール		
	Mohamed Arif bin Zaini	シンガポール・インスティ テュート・オブ・コンテン ポラリー・アート 展示担 当	シンガポール		
	Penwadee Nophaket Manont	ジム・トンプソン・アート センター 展示コーデ イナー	タイ		
	Pratchaya Phinthong	現代美術家	タイ		
	Danielle Naomi Lasat Uy	フィリピン大学 学生	フィリピン		
	Gary-Ross Pastrana	現代美術家	フィリピン		
	Artison Bin Haji Mohamad	リーガルブルー ビデオ・ エディター	ブルネイ		
	Kim Ngoc	現代音楽家	ベトナム		
	Chang Yoong Chia	現代美術家	マレーシア		
	Yap Sau Bin	マルチメディア大学 クリ エイティブマルチメディア 学部 講師/現代美術家	マレーシア		
	Kyaw Kyaw Winn	ミャンマー写真家協会写真 家	ミャンマー		
	Somsaveng Khounpasirth	国立美術学校 学生	ラオス		
	Souvanhtho Khamphixay	国立美術学校 学生	ラオス		
Antra Sinha	陶芸家	インド			
Mithu Sen	現代美術家	インド			
Aedan Harris	シドニー芸術大学 学生	オーストラリア			
Wade Marynowsky	現代美術家	オーストラリア			
Carl Shuker	小説家	ニュージーラン ド			

造形美術事業費

	事業名	氏名	現職	対象国	期間	事業内容
2	東アジアクリエーター招へい (第2期準備)				2008.08.01 ~ 2009.07.31	アジア・大洋州の13カ国から、アート、デザイン、ファッション等創造的な活動に従事する若手のクリエイターを日本に招へいし、制作や関係者とのネットワーク形成の機会を提供し、新たな芸術交流の創造と国際相互理解の深化を図る事業。各種調査他、第2期の招へい準備を行った。

1. 人物交流事業費 / (2) 造形美術情報交流 (派遣)

内外の造形美術関係の情報を収集・整備し、外部に対して情報を提供する。

合計額 355,580 円

	事業名	氏名	現職	対象国	期間	事業内容
1	日豪美術フォーラムに対する専門家派遣	塩田純一 小崎哲哉	東京都庭園美術館 副館長 ジャーナリスト、エディトリアルプロデューサー	オーストラリア	2008.06.15 ~ 2008.06.17	アジア・リンクが日豪間の交流を担う美術専門家計約20名を招いて日豪間の美術交流について協議を行う「日豪美術フォーラム」に対し、専門家2名を派遣。2006年日豪交流年のフォローアップ事業

造形美術事業費

1. 人物交流事業費 / (3) 造形美術情報交流(招へい)

内外の造形美術関係の情報を収集・整備し、外部に対して情報を提供する。

合計額 4,428,898 円

	事業名	氏名	所属機関	現職	対象国	期間	事業内容
1	横浜トリエンナーレ2008美術記者招へい	Yu Tong Hyun Yuan Lei Franciscus Xaverius Mulyadi Phatarawadee Phataranawik Damini Purkayastha Gary Michael Dault Kyle Bentley Edgar Alejandro Hornandez Adriana Polveroni Jennifer Higgin Martin Herbert Catrin Lorch Emmanuelle Lequeux	Wolgan Misool Southern Weekend Bentara Budaya Nation Multimedia Group Public Hindustan Times Artforum Excelcior Newspaper Repubblica frieze Art Review Southern German Newspaper Le Monde	Editor Journalist Director Assignment Editor Reporter Free-lance writer Reviews Editor Editor Collaborator Editor Editor Author Editor	韓国 中国 インドネシア タイ インド カナダ 米国 メキシコ イタリア 英国 英国 ドイツ フランス	2008.09.11 ~ 2008.09.16	横浜トリエンナーレと国際交流基金の活動を海外において幅広く広報するため、海外メディアに所属または寄稿している美術記者等を、同トリエンナーレのオープニングに招へいた。

造形美術事業費

2. 催し等事業費 / (1) 国際展 (国際展参加)

今日の日本の美術状況と優れた現代作家を紹介することを目的に、作品の出品や作家の派遣により国際美術展に参加する。

合計額 80,895,420 円

	事業名	対象国	都市	場所	期間	事業内容
1	第11回ヴェネチア・ビエンナーレ建築展	イタリア	ヴェネチア	ジャルディーニ地区	2008.09.14 ~ 2008.11.23	五十嵐太郎コミッショナーのもと、EXTREME NATURE: Landscape of Ambiguous Spaces と題する展示を実施。出品作家は石上純也 (建築家) と大場秀章 (植物学者)
2	第13回バンガラデシュ・ビエンナーレ	バンガラデシュ	ダッカ	ダッカ市内	2008.10.22 ~ 2008.11.20	日本参加はコミッショナーを植松由佳 (丸亀市猪熊弦一郎美術館学芸員) に委嘱、出品作家は米田知子および須田悦弘
3	第53回ヴェネチア・ビエンナーレ美術展 (準備)	イタリア	ヴェネチア	ジャルディーニ地区	2008.04.01 ~ 2009.03.31	第53回ヴェネチア・ビエンナーレ美術展のコミッショナー選考および出品作家の選定。作品製作準備

2. 催し等事業費 / (2) 海外展 (企画展)

海外の美術館・博物館等との共催により、日本の美術・文化を海外諸国に紹介する。

合計額 83,898,701 円

	事業名	対象国	都市	場所	期間	事業内容
1	KITA!! Japanese Artists Meet Indonesia	インドネシア	ジャカルタ バンドン ジョクジャカルタ	タマン・イスマイル・マルズキ Selasar Sunaryo Art Space Jogja National Museum, Cemeti Art House	2008.04.19 ~ 2008.05.18	日インドネシア友好年を記念して、インドネシアのジャカルタ、ジョクジャカルタ、バンドンの3都市で同時に、日本の現代美術、音楽、ファッション、マンガ、写真、映像、パフォーマンス等を分野横断的にかつ総合的に紹介
2	日伯現代美術展	ブラジル	サンパウロ	サンパウロ近代美術館	2008.04.10 ~ 2008.06.22	サンパウロ近代美術館と共催で、それぞれ20組の日本とブラジルの現代アートのアーティストを紹介
3	WA:現代日本のデザインと調和の精神展	フランス	パリ	パリ日本文化会館	2008.10.22 ~ 2009.01.31	パリ日本文化会館において、柳宗理から現代までの日本のデザインプロダクト161点を紹介。食器、情報機器、水まわり、などの12のカテゴリーと、「ミニマル」「クラフト」など日本のデザイン文化を代表する6つのキーワードを提示し、デザインへの理解を促進。

造形美術事業費

	事業名	対象国	都市	場所	期間	事業内容
4	ロシアにおける現代広告写真展	ロシア	モスクワ	ヴィン・ザボッド	2008. 11. 25 ～ 2008. 12. 14	日本広告写真家協会APAアワード2008を受賞した、優れた日本の広告写真を展示。現在の日本の広告写真文化を伝える。
5	日本広告写真展	シンガポール	シンガポール	南洋芸術学院 ギャラリー	2009. 02. 10 ～ 2009. 03. 17	日本広告写真家協主催のAPAアワード2008受賞作を中心に、日本の優れた広告写真約90点を展示。
6	エモーショナル・ドローイング展	韓国	ソウル	Seoul Olympic Sports Promotion Foundation (SOMA Museum of Art)	2009. 02. 19 ～ 2009. 04. 19	アジア・中東の作家によるドローイング、アニメ、インスタレーションを中心とした展覧会。本展は2005年度から開始したアジア次世代美術館キュレーター会議の成果展でもある。
7	日本の美しい本展	ロシア	モスクワ	ロシア国立外国文献図書館	2009. 02. 27 ～ 2009. 03. 17	「第42回造本装幀コンクール」受賞33作品の展示と柏木博武蔵野美術大学教授の講演会を実施し、日本の優れたブックデザインを紹介。
8	第13回パングラデシュビエンナーレ巡回展	タイ	バンコク	100トンソン ギャラリー	2009. 03. 03 ～ 2009. 03. 29	日メコン交流年記念事業。第13回パングラデシュ・ビエンナーレに出品した米田知子、須田悦弘の作品を展示し、アーティストトークや、コミッション植松由佳のキュレーター・トークを実施。
9	日メコン交流年 (準備)	カンボジア、タイ、ベトナム、ミャンマー、ラオス			2008. 04. 01 ～ 2009. 03. 31	2009年の日本とメコン5カ国の交流年を記念する、美術を中心としたイベントを企画。2008年は、これらの国々の現地の美術状況調査し、美術展開催準備を実施
10	パリPOP展 (準備)	フランス	パリ	パリ日本文化会館	2008. 04. 01 ～ 2009. 03. 31	2009年7月初旬に開催されるJAPAN EXPOに連動したパリ日本文化会館での展示に関する準備業務
11	パリ写真展 (準備)	フランス	パリ	パリ日本文化会館	2008. 04. 01 ～ 2009. 03. 31	2009年パリ日本文化会館で開催する「旅」をテーマとする写真の展覧会の準備業務。現地調査と本展覧会が参加した写真ビエンナーレ、第2回Photo Quaiの主催者であるケ・ブランリー美術館関係者と準備会合を実施。
12	デザイン展 (準備)	ハンガリー ドイツ ポーランド	ブダペスト エッセン ワルシャワ		2008. 04. 01 ～ 2009. 03. 31	平成21年度にドイツ、ハンガリー、ポーランドを巡回する「WA：現代日本のデザインと調和の精神」展に関する準備業務。

造形美術事業費

2. 催し等事業費 / (3) 海外展(巡回展)

国際交流基金が所蔵する日本の芸術・文化を紹介する展示セットを海外諸国に巡回する。

合計額 157,041,426 円

	事業名	対象国	都市	場所	期間	事業内容	
1	日本の現代写真展	イタリア	ローマ	ローマ日本文化会館	2008.04.04 ~ 2008.05.17	「1970年代から今日までの現代日本に暮らす人々とそれをとりまく風景」をテーマに、森山大道、東松照明、荒木経惟ら23名の写真家による、計76点の作品を紹介	
			エジプト	カイロ	ムバラク公立図書館		2008.07.03 ~ 2008.07.17
		ラトビア	カイロ	サウイ文化センター	2008.07.21 ~ 2008.07.29		
			アレクサンドリア	アレキサンドリア芸術センター	2008.08.03 ~ 2008.08.17		
			リガ	ラトビア国立歴史博物館	2008.09.03 ~ 2008.09.28		
			アンマン	アンマン市役所ホール	2009.02.10 ~ 2009.02.24		
2	写楽再見展	中国	香港	香港大学美術博物館	2008.04.09 ~ 2008.05.18	歌舞伎役者を描いた独特の大首絵で有名な江戸時代の浮世絵師、東洲斎写楽をテーマに、現代の作家たちが柔軟な着想と確かな表現で再解釈した作品を紹介	
			シンガポール	シンガポール	南洋芸術学院		2008.06.14 ~ 2008.07.12
				重慶	重慶大学芸術学院展示ホール		2008.09.07 ~ 2008.09.15
		インド	瀋陽	瀋陽市図書館	2008.09.24 ~ 2008.10.05		
			大連	大連図書館白雲美術館展示ホール	2008.10.10 ~ 2008.10.18		
			杭州	深セン	浙江工商大学華・美術館		2008.11.14 ~ 2008.11.30
				ムンバイ (ボンベイ)	PLディシュパンデ・カラダラン (アートギャラリー)		2008.12.09 ~ 2008.12.23 2009.01.24 ~ 2009.01.30
			チェンナイ	ラリット・カラ・アカデミー	2009.02.09 ~ 2009.02.20		
			コルカタ	アカデミー・オブ・ファインアーツ	2009.03.05 ~ 2009.03.13		
			ニューデリー	ラリット・カラ・アカデミー	2009.03.27 ~ 2009.04.09		

造形美術事業費

	事業名	対象国	都市	場所	期間	事業内容
3	熊本アートポリ ス展	ニュージーラン ド オーストラリア スリランカ トルコ イエメン	ダニーディン クライスト チャーチ パース ブリズベーン キャンベラ シドニー コロンボ アンカラ サナア	オタゴ博物館 1877ギャラリー ソファ・ギャラ リー セントラルTAFE アート・ギャラ リー クイーンズラン ド工科大学美術 館 キャンベラ大学 デザイン・ギャ ラリー 国際交流基金シ ドニー日本文化 センター ナショナル・ アート・ギャラ リー 現代美術セン ター サヌア大学	2008.04.12 ～ 2008.04.30 2008.05.07 ～ 2008.05.25 2008.06.06 ～ 2008.06.21 2008.07.03 ～ 2008.07.27 2008.08.08 ～ 2008.08.30 2008.09.10 ～ 2008.09.27 2008.10.28 ～ 2008.11.02 2008.12.01 ～ 2008.12.15 2009.03.04 ～ 2009.03.17	自治体や民間の建造物を建設するにあたり、内外から優れた建築家を起用するという熊本県の画期的なプロジェクト「くまもとアートポリス」によって生み出された建築を紹介
4	パラレル・ニッ ポン 現代日本 建築展1996-2006	フランス ドイツ イタリア スーダン アルジェリア	パリ ミュンヘン ミラノ ハルツーム アルジェ	パリ日本文化会 館 バイエルン州内 務省最上級建設 局（エントラン スホール） アーバン・セン ター・ミラノ ブルジュ・エル ファーティフホ テル アルジェリア国 立図書館	2008.04.16 ～ 2008.06.21 2008.07.21 ～ 2008.09.12 2008.11.14 ～ 2008.11.28 2009.01.05 ～ 2009.01.26 2009.03.18 ～ 2009.03.31	過去10年間（1996年－2006年）に竣工した日本の建築から、代表的な110作品を選び、我が国の社会文化状況と対比させながら紹介
5	90年代の日本絵 画展	米国	オランダ	コーネルファイ ンアートミュー ジウム	2008.04.17 ～ 2008.08.24	現在高い評価を得ている会田誠、越前谷嘉高、小林孝亘、太郎知恵蔵、奈良美智、額田宣彦、福田美蘭、丸山直文、村上隆が、1990年代に30代の若手作家としてどのように絵画に取り組み、新しい表現を獲得しようとしていたかを30点の作品から紹介

造形美術事業費

	事業名	対象国	都市	場所	期間	事業内容
6	現代日本の工芸展	デンマーク ドイツ スウェーデン ベラルーシ ウクライナ	ヨリング オッフエンバッハ ストックホルム ミンスク ゴメリ ドネツク	ヴェンシュッセル美術館 ドイツ皮革博物館 国立東アジア博物館 ベラルーシ国立美術館 ゴメリ宮殿・公園アンサンブル ドネツク州美術館	2008.05.03 ~ 2008.05.31 2008.06.15 ~ 2008.08.17 2008.09.14 ~ 2008.10.19 2008.11.14 ~ 2008.11.23 2008.12.04 ~ 2009.01.05 2009.02.19 ~ 2009.03.29	陶器、竹細工、漆、ガラス、石など幅広い素材を用いて制作された工芸作品を、華、侘び、鋭、歪み、精緻、花鳥のテーマに分類して紹介
7	現代日本の陶磁器展	インドネシア 米国 モンゴル マレーシア	スラバヤ マカッサル ジャカルタ グアム ウラン・バートル ペナン クチン	JW・マリオット・ホテル・スラバヤ インベリアル・アルヤドゥータ・ホテル・マカッサル、ロビー・スペース ジャカルタ日本文化センター グアム大学イスラセンター ザナバザル美術館 マレーシア科学大学芸術学部 サラワク州立図書館	2008.05.05 ~ 2008.05.18 2008.06.09 ~ 2008.06.20 2008.07.18 ~ 2008.08.04 2008.08.28 ~ 2008.10.03 2008.10.20 ~ 2008.11.16 2009.01.12 ~ 2009.02.06 2009.02.20 ~ 2009.03.15	伝統を引継ぎ、有田・唐津、萩、備前、京都、久谷、瀬戸・美濃、益子の窯場で優れた作品を制作している若手作家の作品を紹介
8	武道の精神展	ウルグアイ ブラジル トリニダード・トバゴ メキシコ 米国	モンテビデオ リオ・デ・ジャネイロ ポートオブスペイン メキシコ フォートウエイン ノバイ	外務省展示ホール（サントス宮殿） 国立歴史博物館 国立美術博物館 国立文化博物館 IPFW大学、郡図書館 ノバイ市役所	2008.05.06 ~ 2008.05.20 2008.06.10 ~ 2008.07.27 2008.09.02 ~ 2008.09.18 2008.10.22 ~ 2008.12.01 2009.01.11 ~ 2009.02.09 2009.02.17 ~ 2009.03.13	日本で実際に用いられてきた武具類を、テーマ性・装飾性の高い作品を中心に展覧し、日本文化を武芸・武術の観点から視覚的に紹介

造形美術事業費

	事業名	対象国	都市	場所	期間	事業内容
9	日本人形展E	フィンランド フランス ブルガリア モロッコ	ヘルシンキ ストラスブール ソフィア ラバト	マルミタロ文化センター（ヘルシンキ市文化局） バビヨン・ジョセフィース 国立海外美術館 在モロッコ日本国大使館多目的ホール	2008.05.06 ～ 2008.05.31 2008.09.10 ～ 2008.09.28 2008.11.11 ～ 2008.11.25 2009.02.23 ～ 2009.03.06	日本古来の風習に育まれた「雛人形」、「五月人形」、古典芸能に材をとった「能人形」、「文楽・歌舞伎人形」、日本各地の人形や現代工芸作家による創作人形など約70点を紹介
10	現代日本デザイン展	ブラジル スロベニア	クリティーバ ベレン マナウス ブラジリア レシフェ ポルト・アレグレ リュブリャナ	カーザ・アンドラーデ・ムリシ展示会場 「11の窓」文化会館 バラシオ・ダ・ジュステイッサ州文化センター ブラジル連邦貯蓄銀行本社 リカルド・ブレナン博物館 ジュリオ・デ・カスチリョス美術館 リュブリャナ市立博物館	2008.05.08 ～ 2008.06.01 2008.06.11 ～ 2008.07.06 2008.07.16 ～ 2008.08.11 2008.08.20 ～ 2008.09.15 2008.09.30 ～ 2008.10.19 2008.11.11 ～ 2008.11.29 2009.02.03 ～ 2009.03.13	1990年代に製作された生活用品のデザイン約100点、その原点ともいえる戦後の50年代に製作された作品13点を紹介
11	手仕事のかたち展	チェコ ドイツ アイスランド パキスタン カザフスタン	ブラハ ヴォルフスブルク レイキャビク イスラマバード ラホール アスタナ アルマティ	ブラハ市国立ギャラリー ヴォルフスブルク市庁舎 国立大学図書館 国立美術館 アルハムラ美術館 初代大統領博物館 カスチェーエフ国立美術館	2008.05.08 ～ 2008.06.23 2008.07.10 ～ 2008.07.28 2008.09.06 ～ 2008.10.05 2008.11.26 ～ 2008.12.16 2009.01.06 ～ 2009.01.17 2009.02.09 ～ 2009.02.23 2009.03.06 ～ 2009.03.21	日々の暮らしの中で育まれてきた伝統的工芸品(陶芸、染織、金工、漆工、木竹工、紙など)と、各地の工房で伝統的な技術を用いつつ創造性豊かな作品を生み出している工芸作家の作品90点を紹介

造形美術事業費

	事業名	対象国	都市	場所	期間	事業内容
12	日本人形展F	米国 エクアドル カナダ	スポーカン キト オタワ モントリオール	ムコガワ・ フォートライ ト・インステ テュート日本文 化センター エクアドル国立 文化会館 高橋道場 手工芸カナダ協 会	2008.05.10 ～ 2008.06.20 2008.07.03 ～ 2008.07.22 2008.09.12 ～ 2008.10.15 2008.11.05 ～ 2008.12.06	日本古来の風習に育まれた「雛人形」、「五月人形」、 古典芸能に材をとった「能人形」、「文楽・歌舞伎人 形」、日本各地の人形や現代工芸作家による創作人形な ど約70点を紹介
13	自然に潜む日本 展	ベトナム 韓国 パプアニューギ ニア	ハノイ ホー・チ・ミン 釜山 済州 ソウル ポートモレス ビー	越国立美術博物 館 ホーチミン市青 年文化会館 海雲台文化会館 在済州総領事館 公報文化セン ター「たむな・ ほーる」 在韓国大使館公 報文化院 国立美術博物館	2008.05.16 ～ 2008.05.25 2008.06.29 ～ 2008.07.11 2008.10.01 ～ 2008.10.12 2008.10.27 ～ 2008.11.05 2008.11.10 ～ 2008.11.21 2009.02.12 ～ 2009.02.26	矢萩喜徳郎（写真家）が「ありのままに日本の自然をみ つめることで、写真を通して日本の現在の姿を立ち上が らせよう」と日本全国を巡り撮影した写真集「Hidden Japan－自然に潜む日本」から選ばれたモノクロ写真85 点を紹介
14	日本の子ども60 年展	タンザニア ボスニア・ヘル ツェゴビナ ドイツ イラン サウジアラビア カメルーン	ダルエスサラーム サラエボ ケルン テヘラン リヤド ヤウンデ	ダルエスサラーム・フランス文 化センター アート・ギャラ リー ケルン日本文化 会館 サーダーバード 文化コンプレッ クス プリンス・ファ イサル・プラス ティックアート センター ヤウンデ市役所	2008.05.27 ～ 2008.06.13 2008.07.29 ～ 2008.08.11 2008.09.12 ～ 2008.10.31 2008.11.20 ～ 2008.12.03 2009.01.11 ～ 2009.01.19 2009.03.09 ～ 2009.03.20	写真家の目がとらえた子供達の生活ぶりをはじめ、戦後 から現代にいたる日本の60年間の歩みを振り返るという 趣旨のもと、木村伊兵衛、土門拳ら97名の写真家により 撮影された子供達の写真100点を紹介

造形美術事業費

	事業名	対象国	都市	場所	期間	事業内容
15	スピリトを写す展	フィリピン 米国	マニラ サン・アントニオ ワシントンD.C.	国立博物館 ブルースター・コンテンポラリー アートセンター 在米大使館広報文化センター	2008.06.02 ~ 2008.07.31 2008.09.04 ~ 2008.10.19 2008.12.01 ~ 2009.03.06	精神的な基盤が失われた時代に物質的な現実に隠された未だ見えないものが持っているであろう価値を表現しようとする細江英公、杉本博司、片瀬和夫ら11名の作家たちの姿を作品60点を通して紹介。
16	新世代アーティスト展	チリ アルゼンチン コロンビア ベネズエラ カナダ	サンティアゴ ブエノス・アイレス サンタ・フェ・デ・ボゴタ カラカス トロント	チリ大学芸術学部付属現代美術館 ブエノス・アイレス市立エドワイド・シボリ美術館 ビルヒリオ・バルコ図書館 コープバンカ文化センター 国際交流基金トロント日本文化センター	2008.06.19 ~ 2008.08.03 2008.08.30 ~ 2008.09.21 2008.10.16 ~ 2008.11.17 2009.02.04 ~ 2009.02.14 2009.03.10 ~ 2009.06.09	モノづくりへの丹念な取り組みという視点から、福井篤、廣瀬智央、明和電機等11人の現代美術作家の絵画、彫刻、インスタレーション、写真、ビデオ作品を紹介
17	out of the ordinary/ex-traordinary展	英国	オールダム	ギャラリー・オールダム	2009.01.24 ~ 2009.03.28	様々な価値観や視点によってより複雑化する現代にあって、日常や身の回りから世界に共感し、「他者」の多様な声を尊重し、寄り添って聞くような表現—日々の平凡な日常から生まれた「非凡」な日本の現代写真を紹介
18	ウィンター・ガーデン展 (準備)	全世界区分困難				新規巡回展として「ウィンター・ガーデン：日本現代美術におけるマイクロポップ的想像力の展開」展を制作。60年代末以降生まれの若い世代のアーティストによる現代美術作品（平面作品、映像等）から構成され、企画は美術評論家の松井みどり。本年は準備業務として、作品購入や輸送業者選定、国内における披露展の準備等を実施

造形美術事業費

2. 催し等事業費 / (4) 国内展 (企画展)

諸外国の優れた美術・文化のうち、これまで日本に紹介される機会の少なかった展覧会に、基金が国内関係者と協力して主催する。

合計額 2,607,637 円

	事業名	会場	期間	事業内容
1	エモーショナル・ドローイング展	東京国立近代美術館 京都国立近代美術館	2008.08.26 ~ 2008.10.13 2008.11.18 ~ 2008.12.21	拡張するドローイングの現在を、アジアと中東の作家16名の最新作によって提示する展覧会。ドローイング、水彩、映像、インスタレーションを展示。

造形美術事業費

2. 催し等事業費 / (5) 海外展 (助成)

国内外の美術館・博物館等が主催し、海外において企画・実施する日本美術・文化を紹介する展覧会に対し、経費の一部を助成する。

合計額 37,733,765 円

	事業名	対象国	都市	会場	助成機関	期間	事業内容
1	Environmental art object Stone. Fog	ラトビア	サビレ	Pedvale Open Air Art Museum	Pedvale ltd.	2008.04.01 ~ 2008.10.31	ラトビアの彫刻家と「霧の彫刻家」中谷芙二子のコラボレーション展示。石と霧による環境芸術を展開する
2	DIGITAL MEDIA. INTERNATIONAL DIGITAL ART EXHIBITION	スペイン	バレンシア	La Nau, Universidad de Valencia	LA SALA NARANJA	2008.04.17 ~ 2008.05.18	バレンシア大学で行われる「デジタル・アート・フェスティバル」世界各国からデジタル・アーティストが集まり、日本からはアーティスト遠藤研二氏が招聘された。ワークショップ等のイベントも実施。
3	RAVY	カメルーン	ヤウンデ	National Museum CCF	Les Palettes du Kamer	2008.04.20 ~ 2008.04.27	2006年フランスで開催されたl'ete des artsに参加した芸術家の提案により9カ国の芸術家が出品し開催された交流展。日本からは4名が参加
4	Tatsuo Miyajima Numeric Light Sculpture	ドイツ	レックリングハウゼン	Kunsthalle Recklinghausen	Kunsthalle Recklinghausen	2008.05.04 ~ 2008.07.20	ルールフェスティバルの一環として開催される宮島達男の個展
5	<< La Laque, resine precieuse >>	カナダ	モントリオール	The Japanese Pavilion of the Montreal Botanical Garden	The Montreal Japanese Garden and Pavilion Foundation	2008.05.15 ~ 2008.10.31	日本漆工協会と日本うるし掻き技術保存会の協力を得て、伝統的な漆工芸の工具、工程を紹介する写真パネルと作品の展示を通じて、日本の漆工芸の魅力を紹介
6	Heavy Light:Recent Photography and Video form Japan	米国	ニューヨーク	International Center of Photography	International Center of Photography	2008.05.16 ~ 2009.09.07	「日本の伝統」「消滅しつつある自然」「コスチューム・プレイによるアイデンティティ」「文化的アイコンとしての子供」の4つのテーマのもと、日本の現代写真・ビデオアート作家14名の作品約80点を紹介。
7	2008 Biennale of Sydney:Revolutions-Forms That Turn Art Compass 2008	オーストラリア	シドニー	Art Gallery of New South Wales	Biennale of Sydney Limited	2008.05.18 ~ 2008.09.07	第16回目のシドニー・ビエンナーレの芸術監督はCarolyn Christov-Bakargiev でタイトルはRevolutions-Forms That Turn。1913年から現在までの80作家を出品。日本からはアトリエワン、倉重迅、草間弥生、村上三郎、小野洋子、田中敦子の作品が出品された。

造形美術事業費

	事業名	対象国	都市	会場	助成機関	期間	事業内容
8	Grteat New Wave Contemporary Art from Japan	カナダ	ハミルトン	Art Gallery of Hamilton	Art Gallery of Hamilton	2008.05.22 ~ 2008.09.07	文化的な伝統を意識しながらグローバル化する未来への展望を提案しつづけている日本の次世代の作家たち—秋山さやか、池田学、開発好明、名和晃平、やなぎみわ—を紹介
9	Kakejiku, Contemporary Art From Japan exhibition	ラトビア	リガ	Museum of Foreign Art Latvia	The Museum of Foreign Art Latvia	2008.05.24 ~ 2008.07.08	リーガ国立海外美術館における、伝統的な「掛け軸」という見せ方で紹介する日本の現代美術展。46名の日本人作家による作品の展示となる
10	Yoshitomo Nara Exhibition at BALTIC Center for Contemporary Art	英国	ゲイツヘッド	BALTIC Center for Contemporary Art	BALTIC Center for Contemporary Art	2008.05.26 ~ 2008.10.19	現代美術作家奈良美智とクリエイティブデザインユニット・グラフのコラボレーション作品を展示。BALTICでのインスタレーションは奈良にとって英国初の展示会となり、日本国内で好評を博した「AtoZ」プロジェクトの海外版を実施。
11	J-POP, G-POP	ドイツ	ドルトムント	Kuenstlerhaus Dortmund	Kuenstlerhaus Dortmund	2008.05.29 ~ 2008.10.05	1997年に続き、大阪のCASを拠点として活躍する笹岡敬が選定した日本人アーティストを紹介
12	DREAM AMSTERDAM 2008-Ryoji Ikeda	オランダ	アムステルダム	Site-spesific locations	Dream Amsterdam Foundation	2008.06.06 ~ 2008.06.21	世界から著名な現代ヴィジュアルアーティストを招聘するアートイベント DREAM AMSTERDAM。日本からエレクトロニクス・ミュージックアーティスト池田亮司を招聘。アートを壁の中でなく野外で観客に見てもらうサイトスペシフィックな本展覧会はアムステルダムのパブリックスペースを作家たちの舞台、劇場とした。
13	Toward the Essence	ポーランド	ワルシャワ	Dept. of Information Center, Japanese Embassy	Ktodzki Osrodek Kultury	2008.06.06 ~ 2008.06.30	二人のポーランド人作家と二人の日本人作家（永原ゆり、小本章）との対話展
14	HAPTIC:Awakening the Senses	英国	ロンドン	Gallery 4, The Lighthouse	The Lighthouse, Scotland's Centre for Architecture, Design & The City	2008.06.18 ~ 2008.09.29	原研哉の監修による「HAPTIC」＝「触覚を喜ばせるデザイン」展。日本で活躍するデザイナーの触覚性を物づくりの第一義とし、毛の生えた提灯、柔らかいドアノブ、果皮そのままのジュースパック、蛙の卵のようなコースターなどの作品20数点を紹介。

造形美術事業費

	事業名	対象国	都市	会場	助成機関	期間	事業内容
15	SITE Santa Fe Seventh International Biennial Lucky Number Seven	米国	サンタ・フェ	SITE Santa Fe	SITE Santa Fe	2008.06.20 ~ 2009.01.04	サンタ・フェで開催される国際アートビエンナーレの第7回展。世界19ヶ所の提携美術館から推薦され、キュレーターを選定した約20名の作家が参加。2008年は水戸芸術館が日本における提携先となり、藤浩志が参加した。
16	Japonisme in Belgium	ベルギー	ブリュッセル	City Hall, Grand-Place	Asbl Bruxelles-Musees-Expositions / City of Brussels-Department of Culture	2008.06.24 ~ 2008.09.28	日本の浮世絵とその影響を受けたベルギーの作家20名の作品を紹介する展覧会。ポーランドのMangghaセンター所蔵浮世絵40点と、ベルギー作家の作品100点をからなる。日本美術の影響を受けたといわれるアール・ヌーヴォーの中心都市でもありオルタ建築があるブリュッセルで、西洋に影響を与えた日本文化を紹介する。
17	Renoir /Umehara: a friendship	フランス	カーニュ・スェル・メール	Renoir Museum	Renoir Museum	2008.06.28 ~ 2008.10.06	ルノワールと彼に師事した梅原龍三郎の友情を紹介する、梅原の小作品とルノワールの書簡・写真資料の展示会
18	The Art of the Animated Film: Paul GRIMAULT, TAKAHATA Isao, MIYAZAKI Hayao	フランス	フオントヴロー	Abbaye de Fontevraud	Abbaye Royale de Fontevraud - Centre Cultural de l'Ouest	2008.06.28 ~ 2008.11.16	フランスの偉大なアニメーション作家であるポール・グリモーとその影響を受けたスタジオジブリの高畑勲、宮崎駿の作品を紹介する展覧会。作品の絵コンテ、イメージボード、資料の展示の他映画上映、講演会も実施。
19	Ukiyo-e prints in the Corfu Museum of Asian Art.Temporary Exhibition.	ギリシャ	コルフ	Museum of Asian Art	Museum of Asian Art	2008.06.30 ~ 2009.03.31	アジアアートミュージアムで開催される浮世絵版画展。同館への主な寄付者でもあるGr. Mano氏の1200点ある浮世絵コレクションから江戸時代浮世絵作家菱川師宣、奥村政信、東洲斎写楽、磯田湖龍齋、葛飾北斎、喜多川歌麿など30-50点を紹介。
20	Isamu Noguchi at Yorkshire Sculpture Park	英国	ウェイクフィールド	Yorkshire Sculpture Park	Yorkshire Sculpture Park	2008.07.18 ~ 2009.01.11	欧州初のイサムノグチの大型展覧会。野外作品から、陶芸、インテリアデザイン、デッサンまで同作家の様々な作品を展示。
21	No Wall:Art and Friendship	タイ	バンコク	Kuru Sapha Printing House	The Faculty of Painting Sculpture and Graphic Arts	2008.08.16 ~ 2008.08.30	アジアの域内ネットワーク形成・拡大を目的とし、シラパコーン大学の教師である作家と日本、韓国、インドネシア、ベトナムの作家たちが展覧会、パフォーマンス、シンポジウム等を実施。

造形美術事業費

	事業名	対象国	都市	会場	助成機関	期間	事業内容
22	Art exhibition 'Yayoi Kusama'	オランダ	ロッテルダム	Museum Boijmans Beuningen	Stichting tot Beheer Museum Boijmans Van Beuningen	2008.08.23 ~ 2008.10.19	絵画40点、彫刻12点、映像インスタレーション6点、インスタレーション4点からなる草間彌生の個展。60年代にニューヨーク滞在中毎年訪蘭、展覧会を開催していた草間とオランダの関わりは深く本展覧会では60代以降近年までの作品を展示。
23	Exhibition of Shinji Ogawa's works in Krakow	ポーランド	クラクフ	The Bunkier Sztuki Contemporary Art Gall	The Bunkier Sztuki Contemporary Art Gallery	2008.08.27 ~ 2008.11.30	現代美術家・小川信治のビデオ・インスタレーション、ペインティング、ドローイング作品の展示
24	Hokusai and Hiroshige - Japanese Landscape prints of the Edo Period	フィンランド	ヘルシンキ	Ateneum Art Museum	Ateneum Art Museum	2008.09.05 ~ 2008.12.07	葛飾北斎の風景画と歌川広重の東海道五十三次と木曾街道六十九次旅景色の浮世絵195点を紹介。原安三郎秘蔵浮世絵風景画コレクションとして京都や東京でも開催された当展は海外初公開。
25	Artist residency and exhibition at REDCAT by Atelier Bow Wow	米国	ロサンゼルス	The Gallery at REDCAT	California Institute of the Arts on behalf of REDCAT	2008.09.15 ~ 2009.04.05	アトリエ・ワン（塚本由晴と貝島桃代）をロサンゼルスに3カ月招聘するアーティスト・イン・レジデンス事業。招聘中に新作を発表するほか、ロサンゼルスのアーティスト、学生等との意見交換、交流の場を設定。
26	Three female voices from Japan	ドイツ	ライプツィヒ	LIA-Leipzig International Art Programme	LIA	2008.09.17 ~ 2009.09.28	旧紡績工場跡地にあるアーティスト・イン・レジデンスを行うNPOが開催する日本人の女性作家3人展。小野寺綾、江幡京子、安岐理加が出品
27	Liverpool Biennial: International 08 Exhibition	英国	リバプール	Public realm sites	Liverpool Biennial of Contemporary Art Ltd.	2008.09.20 ~ 2008.11.30	英国最大の近代芸術フェスティバル「リバプール・ビエンナーレ」。「Made-up」をテーマに40人の国際アーティストが招聘され、日本からは草間彌生とアトリエ・ワンが参加。当展覧会は今年10周年を迎え、「欧州文化都市」に認定されたリバプールでの開催
28	Mad. Sq. Art:Tadashi Kawamata	米国	ニューヨーク	Madison Square Park	Madison Square Park Conservancy	2008.09.23 ~ 2008.12.31	川俣正がニューヨークに滞在して実施したワーク・イン・プログレス展示事業。フラット・アイアン地区の中心マディソン・スクウェア公園に10軒のツリーハウスを制作した。

造形美術事業費

	事業名	対象国	都市	会場	助成機関	期間	事業内容
29	MURAKAMI	ドイツ	フランクフルト・アム・マイン	Museum fur Moderne Kunst, Frankfurt	Museum of Modern Art Frankfurt	2008.09.26 ~ 2009.01.04	日本のポップカルチャーを取り入れた作品で知られる村上隆の大規模な個展。ロサンゼルス、ニューヨーク、ビルバオに巡回
30	The Mingei Spirit in Japan	フランス	パリ	ケ・ブランリー美術館	Ettablissement public du Musée du quai Branly	2008.09.29 ~ 2009.01.11	「民藝」運動の創始者柳宗悦と、子息のデザイナー柳宗理を中心とした日本の民芸、建築・デザイン・美術の分野で日本で活動したブルーノ・タウト、チャルロット・ペリアン、イサム・ノグチの3名の国際人の活躍、そして1950年代までの日本のデザインを紹介
31	Hie Sanno Sairei-Zu	米国	ヒューストン	The Museum of Fine Arts, Houston	The Museum of Fine Arts, Houston	2008.10.01 ~ 2008.12.31	2008年に東京文化財研究所での修復を終える「日吉山王祭礼図」を展示し、日本の保存修復技術の成果を多角的に紹介する展覧会
32	New Bamboo: Contemporary Masters	米国	ニューヨーク	Japan Society	Japan Society, Inc.	2008.10.04 ~ 2009.01.11	日本で最近制作されたアートとしての竹工芸作品（抽象的な立体作品）を展示するとともに、竹工芸に関する3ヶ月の集中講座や作家によるワークショップを実施
33	International Sculptors Encounter	ボリビア	サンタ・クルス	Manzana Uno Plaza	Manzana 1 Espacio de Arte	2008.10.11 ~ 2008.10.18	7名の彫刻家を招いた彫刻のシンポジウム。日本からは2名のアーティストを招へい。
34	KUROSAWA, DESSINS	フランス	パリ	Petit Palais	Petit Palais, Musée des Beaux-Arts de la Ville de Paris	2008.10.15 ~ 2009.01.04	映画監督黒澤明のヨーロッパ初公開となるデッサン原画90点の展覧会。日仏友好150周年を記念しプチパレ美術館で開催される2大展覧会のひとつ。
35	The Walker Art Center-organized exhibition Tetsumi Kudo, 1935-1990:A Retrospective	米国	ミネアポリス	Walker Art Center	Walker Art Center	2008.10.18 ~ 2009.01.11	工藤哲巳の回顧展
36	East-West Tashkent Crossroad	ウズベキスタン	タシケント	Tashkent House of Photography	Tashikent House of Photography	2008.10.20 ~ 2008.10.27	写真とビデオによる作品に焦点をあてた国際現代美術展。パリ在住の日本人アーティスト3人を招へい。

造形美術事業費

	事業名	対象国	都市	会場	助成機関	期間	事業内容
37	JAPAN AT THE 10TH INTERNATIONAL BIENNIAL OF THE POSTER IN MEXICO	メキシコ	メキシコ	Franz Mayer Museum And City Theater Xalapa Veracruz	TRAMA VISUAL A. C. icograda member MEXICO	2008. 10. 27 ~ 2009. 01. 11	10回目を迎えるメキシコ国際ポスター・ビエンナーレで、2008年は日本が特別招待国。著名デザイナーらが審査委員長およびスピーカーとして招聘され、25人の日本のデザイナーの作品が展示された。
38	BETWEEN ART AND LIFE	スイス	ジュネーブ	Centre d'Art Contemporain	Centre d'Art Contemporain Geneve	2008. 11. 28 ~ 2009. 02. 01	島袋道浩、ウエダリクオ、泉太郎、澤田知子、アトリエ・ワンなど日本の新生代のパフォーマンス・アーティスト10人を全館を使って紹介するスイス初の展覧会
39	TOKO SHINODA EXHIBITION	イタリア	ミラノ	TRIENNALE JAPANESE CULTURAL INSTITUTE SALA D' ARMI, PALAZZO VE	ITALY JAPAN FOUNDATION	2009. 03. 10 ~ 2009. 04. 05	現代抽象水墨絵を描く篠田桃紅のイタリア初の展覧会
40	Tradition & Innovation of Japanese (Pop) Culture :Its Contribution to Visual Literacy in the Youth World	米国	ニューヨーク	Teachers College Columbia Univ., NY	CSU, Chico	2009. 01. 15 ~ 2009. 02. 28	日本のポップカルチャー、特に漫画の影響力を再確認するため、日本の漫画家・児童による漫画、各国の漫画家・児童による漫画を展示し、その歴史的背景から現代に至るまでの変遷を紹介
41	Move On Asia 2008_Video Art Network Project	韓国	ソウル	Alternative Space LOOP	Alterative Space LOOP	2009. 02. 06 ~ 2009. 03. 03	アジア太平洋地域のビデオアートの新興と域内のネットワーク形成が目的。各国のキュレーターが作家と作品を選定して展覧会を企画・制作し、その展覧会を関係各国に巡回。
42	Japan exhibition catalogue	オーストラリア	シドニー	Art Gallery of South Australia	Art Gallery of South Australia	2009. 03. 05 ~ 2009. 05. 31	南オーストラリア州立ギャラリー所蔵品、その他のオーストラリアに存在する日本美術品を通史的に展示する企画
43	Seminars of Japanese Culture for the International Cultural Exhibition Great Silk Road - East-West dialogues	キルギス	ビシュケク	Kyrgyz National Museum of Fine Arts	Kyrgyz National Museum of Fine Arts	2009. 03. 10 ~ 2009. 03. 25	1998年以降継続開催している「西と東の対話シルクロード展」で日本美術にスポットをあて実施。日本から専門家・美術家を招き講演会、マスタークラスを開催。
44	BETWEEN SITE & SPACE	オーストラリア	シドニー	ARTSPACE	ARTSPACE VISUAL ARTS CENTRE	2009. 03. 12 ~ 2009. 04. 18	トウキョウワンダーサイトとアートスペースの共同事業。日豪のキュレーターが各3名作家を選定し、両スペースでレジデンスと展覧会を実施。

造形美術事業費

	事業名	対象国	都市	会場	助成機関	期間	事業内容
45	Another City	カナダ	バンクーバー	バンクーバー国際アジア・コンテンポラリーアート・センター	Vancouver International Center for Contemporary Asian Art	2009.03.13 ~ 2009.04.25	変化し続ける都市とイメージをテーマにした須田悦弘とフィリピン出身、バンクーヴァー在住のポール・ドゥ・グズマンの二人展。小倉正史と原万希子の共同企画。
46	Kuniyoshi	英国	ロンドン	The Royal Academy of Arts	The Royal Academy of Arts	2009.03.21 ~ 2009.06.07	江戸時代の浮世絵師、歌川国芳の企画展。作家の5500点以上の作品のうち「水滸伝」等の秀作150点の浮世絵と関連絵画、素描、挿絵本から構成

造形美術事業費

2. 催し等事業費 / (6) 美術交流促進国内展 (助成)

国内の美術館・博物館等が国内において企画・実施する展覧会で、これまで日本に紹介される機会の少なかった諸外国の優れた美術・文化を紹介するものに対し、経費の一部を助成する。

合計額 8,300,000 円

	事業名	対象国	助成機関	都市	期間	事業内容
1	第24回東川賞受賞作家作品展	ブラジル	東川町写真の町実行委員会	北海道東川町	2008.08.02 ~ 2008.09.02	写真の町東川賞(海外作家賞、国内作家賞、新人作家賞、特別賞)受賞者の受賞作および代表作品による展覧会。海外作家賞はブラジルを対象とした。
2	ICC+S-AIR2008創造資源開発事業	アイルランド シンガポール タイ フランス	特定非営利活動法人 ICC+S-AIR	札幌市	2008.09.10 ~ 2009.03.10	エクステンジブプログラムとプロジェクトプログラムから構成される、地域資源を創造資源として活用する方法を研究するアーティスト・イン・レジデンス・プロジェクト。北アイルランド(Queen Street Studios)、タイ(コンピュン創造村)、フランス(ニコラ・ブラー)、シンガポール(ロイストン・タン)等と人的交流を実施。
3	アジアとヨーロッパにおける自己像と他者像	全世界区分困難	国立民族学博物館	吹田市	2008.09.11 ~ 2009.03.29	国立民族学博物館と大英博物館が主導し、ASEMUS参加18カ国の博物館・美術館が共同で企画・立案したプロジェクト。人体表現を伴う芸術作品や展示品を歴史的にたどることを通じて、アジアとヨーロッパの互いの他者像と自己像を確認し、アジアとヨーロッパまたそれぞれ域内の相互理解深化を図った。
4	スリランカ文化遺産展	スリランカ	読売新聞東京本社 文化事業部	東京都	2008.09.17 ~ 2008.11.30	ヒンドゥー神像、仏像、仏具などスリランカの宗教芸術に至宝から宝飾品の数々などを紹介し、スリランカの多様な文化と歴史への関心を高め、あわせて観光やビジネスなどの交流を促進。
5	アート・イニシアティブ・ムーヴメント「SHOWCASE」	全世界区分困難	アート・イニシアティブ・シティ実行委員会	横浜市	2008.11.01 ~ 2008.11.03	国内外の優れた芸術活動実施・支援団体約50団体を招聘し、ブースを設けてその活動を複合的プログラムによって紹介する、芸術文化活動の「見本市」。シンポジウム開催により今後の地域間・国際間ネットワークの強化を目指した。
6	朝鮮王朝の絵画と日本 宗達、大雅、若冲も学んだ隣国の美	韓国	「朝鮮王朝の絵画と日本」展開催事務局	宇都宮市	2008.11.02 ~ 2009.07.12	朝鮮王朝時代に焦点を宛て、前期風景画から末期の民画にいたる軸や屏風約200点を紹介。また俵屋宗達、池大雅、伊藤若冲らの朝鮮絵画に影響を受けていると思われる作品を取り上げ、朝鮮絵画の日本絵画への波及にも注目。
7	ブラジルの現代写真表現	ブラジル	社団法人日本写真協会	横浜市	2008.11.14 ~ 2008.11.26	ミゲル・チカオカ氏をはじめとするブラジルの写真家6名による120点の作品を通じて現代ブラジルの写真表現を紹介。チカオカ氏によるワークショップも実施。

造形美術事業費

	事業名	対象国	助成機関	都市	期間	事業内容
8	アーティスト・イン・レジデンスプログラム	全世界区分困難	ワナキオ実行委員会	那覇市	2008.11.15 ～ 2008.11.30	「沖縄」という地域性を生かした、「町作り」に連携したレジデンス事業と、アジアとのオルタナティブ・スペース間の美術関係者のネットワーク形成を2本柱にした事業。前島アートセンターを中心にNPO系関係者が企画。
9	ヨーロッパ・アジア・パシフィック建築の新潮流 2008-2010	全世界区分困難	「ヨーロッパ・アジア・パシフィック建築の新潮流」委員会	東京都	2008.12.05 ～ 2008.12.21	2001年に開始した同シリーズの5回目。ピーター・クック、伊東豊雄両氏のコミッションにより、ヨーロッパ8組、アジア・パシフィック8組の将来を嘱望される建築家を紹介し、建築の最前線を伝えた。

造形美術事業費

2. 催し等事業費 / (7) 造形美術情報交流(催し)

国内外の造形美術に係わる情報の発信、相互交流を促進する。

合計額 18,068,433 円

	事業名	氏名	現職	対象国	期間	事業内容
1	日米学芸員交流	Cornelia Butler Roxana Marcoci Sarah Suzuki 笠原美智子 建島 哲 住友 文彦 松井 みどり	ニューヨーク近代美術館 素描部学芸員 ニューヨーク近代美術館 写真部学芸員 ニューヨーク近代美術館版 画・絵本部学芸員 東京都写真美術館事業企画 課長 国立国際美術館 館長 ヨコハマ国際映像祭ディレ クター 美術評論家	米国	2008.06.23 ~ 2009.03.31	米国で計画される戦後日本美術 ソースブックの出版に向け、米国 学芸員と日本の美術関係者の懇談 会を実施。ニューヨーク近代美術 館でのシンポジウムに際し、日本 からの学芸員や美術評論家などの 専門家を派遣
2	アヴァンギャル ド・チャイナ展	黄永砵(ホアン・ヨンピン) 高名潞 徐文恺 新刻度小組 孫原 丁碩 丁乙(ディン・イー) 張棕楊 費大為(フェイ・ダーウェ イ) 方力鈞(ファン・リジュン) 楊福東(ヤン・フードン) 彭禹	美術家 美術評論家 美術家 美術家 美術家 孫原・彭禹の設営・修復ア シスタント 美術家 孫原・彭禹の設営・修復ア シスタント 美術評論家 美術家 美術家 美術家	中国	2008.08.20 ~ 2009.05.24	中国現代美術の歴史をたどりつ つ、すでに評価を確立した代表的 な作家から今後活躍が期待される 若手まで、注目すべき作家たちに 焦点をあてて展覧。80年代のバブ ル経済、90年代の停滞期を経験し てきた日本の美術状況に比して、 中国では何が起きて、どのような 作家たちがどのように活動を実現 してきたかを明らかにしつつ、パ ワフルで魅力あふれる中国現代美 術を紹介。

造形美術事業費

	事業名	氏名	現職	対象国	期間	事業内容
3	第4回アジア次世代キュレーター会議	Cai Tao Gustaff H. Iskandar 橋本 梓 八巻 香澄 Lim Dae-geun Ryu Jiyeon Amerrudin Bin Ahmad Yap Sau Bin Michelle Ho Mohamed Arif Bin Zaini Somphot Sukaboon Penwadee Nophaket Manont Tezuko Miwako	Chief Curator, Chinese Modern Art, Guangdong Museum of Art Director, Common Room Networks Foundation Hafiz, Co-founder, ruangrupa 国立国際美術館 研究員 東京都庭園美術館 学芸員 Curator, National Museum of Contemporary Art, Korea Curator, National Museum of Contemporary Art, Korea Curator of Collection and Conservation, National Art Gallery Malaysia, Malaysia Chairman, Rumah Air Panas Art Society Assistant Curator, Singapore Art Museum Exhibition Officer, Institute of Contemporary Arts (ICA), Singapore Curator, The National Gallery, Bangkok Exhibition Coordinator, The Jim Thompson Art Center Associate Curator, Asia Society and Museum	中国 インドネシア 日本 日本 韓国 韓国 マレーシア マレーシア シンガポール シンガポール タイ タイ 米国	2008.11.17 ~ 2008.11.24	アジア各国の次代を担う美術館キュレーターが現地調査とその時々の特ピックをテーマに意見交換をするフォーラム。日本での開催は第1回目に続き2回目となるため、今回は日本の地方美術館がおかれている現状の理解と、1994年から継続して3年おきに実施しているアジア美術をめぐる国際シンポジウムとあわせて実施し、相乗効果を狙った。

造形美術事業費

3. 催し等事業費（トリエンナーレ） / (1) 国際展（トリエンナーレ）

大規模な国際美術展を日本国内において定期的を開催し、世界の現代美術を一般的に広く紹介する。

合計額 233,435,805 円

	事業名	共催機関	期間	事業内容
1	横浜トリエンナーレ2008	横浜市、NHK、朝日新聞社	2008.09.13 ~ 2008.11.30	現代アートの国際展「横浜トリエンナーレ2008」を横浜市、NHK、朝日新聞社と共催。水沢勉総合ディレクターによるタイム・クレヴァスという全体テーマの下、世界25カ国・地域から72名のアーティストが参加し、来場者は延べ30万人を超えた。

文化芸術交流事業に必要な経費

舞台芸術事業費

1. 人物交流事業費

- (1) 舞台芸術情報交流（派遣）
- (2) 舞台芸術情報交流（招へい）
- (3) 内田奨学金フェローシップ（招へい）

2. 催し等事業費

- (1) 海外公演（主催）
- (2) 海外公演（助成）
- (3) 国際舞台芸術共同制作
- (4) 国内公演（主催）
- (5) 国内公演（助成）
- (6) 舞台芸術情報交流（催し）

舞台芸術事業費

1. 人物交流事業費 / (1) 舞台芸術情報交流 (派遣)

舞台芸術分野における国際的なネットワーク構築・交流促進を目的として、日本の専門家を海外へ派遣する。

合計額 1,166,010 円

	事業名	氏名	現職	対象国	対象機関	期間	事業内容
1	第24回国際演劇評論家協会世界大会	立木 燦子 西堂 行人	舞踊評論家 近畿大学文芸学部芸術学科教授	ブルガリア	国際演劇評論家協会 (AICT)	2008.04.10 ~ 2008.04.21 2008.04.13 ~ 2008.04.21	ソフィアで開催される国際演劇評論家協会 (AICT) の第24回世界大会へ、AICT日本センター代表を派遣、日本の舞台芸術について発表。
2	中国コンテンポラリーダンス調査	水野立子	NPO法人ジャパン・コンテンポラリーダンス・ネットワーク (JCDN) アーティスティック・ディレクター	中国		2008.04.27 ~ 2008.05.01	中国北京で開催されるフェスティバル「Cao Chang Di Workstation May Festival」へ、NPO法人ジャパン・コンテンポラリーダンス・ネットワーク (JCDN) 代表を派遣、中国における今後のダンス事業について検討。
3	第32回国際演劇協会世界大会	永井 多恵子 小田切 洋子	国際演劇協会日本文化センター会長 国際演劇協会日本文化センター事務局長	スペイン	国際演劇協会 (ITI)	2008.09.16 ~ 2008.09.30 2008.09.20 ~ 2008.09.30	国際演劇協会 (ITI)/UNESCO第32回世界大会へ、社団法人国際演劇協会 (ITI/UNESCO) 日本センター代表を派遣、日本の演劇について発表。

舞台芸術事業費

1. 人物交流事業費 / (2) 舞台芸術情報交流 (招へい)

舞台芸術分野における国際的なネットワーク構築の促進を目的として、海外の専門家を日本に招へいする。

合計額 3,966,396 円

事業名	氏名	現職	対象国	期間	事業内容
1 キジムナーフェスタ国際シンポジウム	Lee Hye Joeng	韓国中央大学校 芸術学部 教授	韓国	2008.07.22 ~ 2008.07.27	7月22日、23日、25日、26日の4日間に沖縄市で開催される「2008国際児童・青少年演劇フェスティバルおきなわ」において、海外の児童青少年演劇専門家を招へいし、国際シンポジウムを開催。テーマは「1.世界の児童青少年演劇の現状と課題」「2.芸術は児童虐待・家庭内暴力に対して何ができるか」「3.児童青少年演劇の国際共同制作の可能性と課題」。
	Nam In Woo	演出家	韓国		
	Young Ai Choi	国際児童青少年演劇協会 (世界アシテジ) 理事	韓国		
	Bian Wen Tong	北京中央戯劇学院 教授	中国		
	下山 久	キジムナーフェスタ 総合プロデューサー	全世界区分困難		
	加藤 直	劇作家・演出家	全世界区分困難		
	高里 鈴代	基地・軍隊を許さない 行動する女たちの会 共同代表	全世界区分困難		
	山城 紀子	フリージャーナリスト	全世界区分困難		
	太宰 久夫	玉川大学 芸術学部 准教授	全世界区分困難		
	Catherine Fitzgerald	作家・演出家	オーストラリア		
	Judy Owen	Teatro Kismet Opera プロデューサー	英国		
	Peter Wynne-Wilson	演出家・作家	英国		
	Rachel Dickinson	大学院講師	英国		
	Stephan Rabl	アシテジオーストリア 会長	オーストリア		
	Felicia Moritz Malmcrona	DRAMATEN (スウェーデン国立劇場) プロデューサー	スウェーデン		
Niclas Malmcrona	アシテジ スウェーデンセンター 評議員	スウェーデン			
Robert Parr	フェアプレイ劇場 芸術監督	デンマーク			
Gerd Taube	ドイツ青少年劇場センター 所長	ドイツ			
Ube Schade	チェリスト・作曲家・俳優	ドイツ			

舞台芸術事業費

	事業名	氏名	現職	対象国	期間	事業内容
2	舞台芸術制作者ネットワーク会議	イ・ギョソク チェ・ソクキュ 文慧（ウエン・ホイ） 趙川（ジャオ・チュアン） アムナ・クスモ クスヴォロ・バユ・アジ ヘリー・ミナルティ タン・フクエン ニコン・サータン クリス・ミラド ジューン・タン	BeSeTo演劇祭実行委員会理事 Asia Now プロデューサー 生活舞踏工作室 (Living Dance Studio) 振付家・ダンサー 草台班 (Grass Stage) プロデューサー クローラ財団代表 テアトル・ガラシ エグゼクティブ・ディレクター アーツ・マネージャー プロデューサー 8X8シアター・グループ ディレクター フィリピン文化センター (CCP) 副芸術監督 ファイブ・アーツ・センター	韓国 韓国 中国 中国 インドネシア インドネシア インドネシア シンガポール タイ フィリピン マレーシア	2009.03.02 ~ 2009.03.04	東京芸術見本市 (TPAM) 2009の機会に合わせ、アジア地域の舞台芸術制作者による情報交換と課題の共有を目的として、舞台芸術制作者ネットワーク会議を開催。NPO法人国際舞台芸術交流センターと共催。

舞台芸術事業費

1. 人物交流事業費 / (3) 内田奨学金フェローシップ (招へい)

故内田元享氏の寄付金により、米国、欧州など外国において将来にわたり活躍が期待される若手音楽家を招へいし、わが国の音楽関係者との交流や共演、共同制作に従事する機会を提供する。

合計額 2,399,063 円

	氏名	現職	対象国	受入機関	期間	事業内容
1	Rosey Lee	パークリー音楽院助教授	米国		2008.05.10 ~ 2008.07.09	高瀬千賀子（箏奏者、東京千楽会会員）の指導を受け、邦楽（日本の地歌箏曲）を学ぶ他、箏のための新曲を創作・発表。
2	Rita Bata	振付家、ダンサー	ハンガリー	大野一雄舞踏研究所	2008.09.05 ~ 2008.11.04	大野慶人（舞踏家）の指導を受け、アジアのコンテンポラリーダンスを研究。

舞台芸術事業費

2. 催し等事業費 / (1) 海外公演 (主催)

日本の優れた舞台芸術、芸能を海外に紹介するため、公演団の派遣を行い、公演を実施するとともにレクチャー、デモンストレーション等を行う。

合計額 270,826,661 円

事業名	対象国	都市	会場	期間	事業内容
1 邦楽カナダ公演	カナダ	オタワ	国立美術館オーデイトリウム	2008.04.22	日加修好80周年のキックオフイベントとして、カナダ5都市で邦楽公演を開催。派遣アーティストは、津軽三味線の浅野祥をはじめとする邦楽、琉球舞踊を含む沖縄古典音楽、洋楽ポップスの若手実力者たちによる公演。
		モントリオール	モントリオール市立植物園ヘンリー・トーシャー講堂	2008.04.24	
		トロント	グレン・グールド・スタジオ	2008.04.26	
		カルガリー バンクーバー	プラザ劇場 ブリティッシュ・コロンビア大学フレデリック・ウッド劇場	2008.04.29 2008.05.01	
2 ベトナム音楽祭	ベトナム	ハノイ	国際会議センター(NCC)	2008.05.24	日越外交関係樹立35周年を記念し、日越のアーティストが競演する音楽祭を開催。日本側参加アーティストは、杉良太郎(日越特別大使、本音楽祭実行委員長)、秋川雅文、Winds、伍代夏子、島谷ひとみ、夏川りみ。
		ホーチミン	ホアビン劇場	2008.05.26	
3 八王子車人形南米公演	ペルー エクアドル	リマ	日秘文化会館大ホール	2008.06.12 ~ 2008.06.13	西川古柳(八王子車人形5代目家元)、鶴賀若狭掾(新内節浄瑠璃鶴賀流11代目家元)他による八王子車人形公演。演目は『二人三番叟』『雪』『東海道中膝栗毛』。日本・コロンビア外交関係樹立100周年、日本・エクアドル外交関係樹立90周年記念。
		グアヤキル	グアヤキル市芸術センター劇場	2008.06.16 ~ 2008.06.17	
	コロンビア	キト	国立スクレ劇場	2008.06.21 ~ 2008.06.22	
		ボゴタ	ロス・アンデス大学附属マリオ・ラセルナ講堂	2008.06.25 ~ 2008.06.26	
4 邦楽イスラエル・パレスチナ公演	パレスチナ イスラエル	ラマッラー	アル・カサバシアター	2008.07.03	イスラエル独立60周年を記念して、フルートと箏のアンサンブル「花てまり」によるイスラエル公演を実施。
		エルサレム	オーストリアン・ホスピス	2008.07.04	
		テルアビブ	スザンヌ・デラール・センター	2008.07.05	
5 沖縄音楽中東公演	シリア	ダマスカス	ドゥンマル文化センター	2008.07.23 ~ 2008.07.24	中東3カ国4都市にて、沖縄音楽と沖縄古典舞踊の巡回公演『結(ゆい)-Vibes from Southern Islands-』を実施。派遣アーティストは、池田卓(唄三線)、山内昌也(唄三線、琴、琉笛)、仲宗根哲(島太鼓、鳴物)、志田真木(琉球舞踊)。2008年アラブ文化首都音楽月間、アンマン・サマーフェスティバル、サヌア・サマー・フェスティバルに参加。
		アレppo	ケヴオルク・イエサヤサン・ホール	2008.07.26	
	ヨルダン	アンマン	フセイン文化センター	2008.07.29	
		アンマン	フセイン公園特設会場	2008.07.31	
	イエメン	サヌア	在イエメン大使公邸	2008.08.02	
		サヌア	サヌア文化センター	2008.08.03	

舞台芸術事業費

	事業名	対象国	都市	会場	期間	事業内容
6	邦楽中南米公演	メキシコ グアテマラ ブラジル アルゼンチン	メキシコシティ アンティグア グアテマラシティ サンパウロ ポルトアレグレ ブエノスアイレス	国立芸術院マヌエル・ボンセ・ホール スペイン国際協力研修センター メキシコ大使館文化センター サンパウロ文化センター C C S P ブルーノ・キエフェル劇場 アルベアール劇場	2008. 07. 30 2008. 08. 03 2008. 08. 06 2008. 08. 15 2008. 08. 17 2008. 08. 19	三橋貴風・吉村七重「尺八と箏と三絃によるリサイタル」及びワークショップ。
7	現代舞踊ブラジル公演	ブラジル	サンパウロ マナウス ブラジリア クリチバ リオデジャネイロ サンパウロ	SESCピニエイロス アマズナス劇場 Funarte劇場 グアイラ劇場 Caixa劇場 サンパウロ日本人学校	2008. 08. 09 ~ 2008. 08. 13 2008. 08. 16 2008. 08. 19 ~ 2008. 08. 20 2008. 08. 24 2008. 08. 27 2008. 08. 29	2008年日伯交流年（日本人ブラジル移住100周年）記念事業として、舞踊家の加藤みや子および「加藤みや子ダンススペース」による巡回公演を実施。
8	ジャズ仏・ウズベキスタン公演	ウズベキスタン フランス	タシケント パリ	国立音楽院(コンセルバトワール) パリ日本文化会館	2008. 09. 21 ~ 2008. 09. 22 2008. 09. 25 ~ 2008. 09. 27	日本におけるジャズシーンの現在を多面的に紹介するパリ日本文化会館の企画「Jazz in Japan 2008」として、今田勝カルテット、Salle Gaveau (サル・ガヴォ)、大友良英トリオを派遣。今田勝カルテットはウズベキスタンに巡回。
9	邦楽ロシア東欧公演	ロシア ウクライナ リトアニア	モスクワ サンクト・ペテルブルグ サンクト・ペテルブルグ キエフ キエフ カウナス ビリニュス	グネーシン音楽院・大ホール 国立サンクトペテルブルク文化芸術大学 サンクトペテルブルク・フィルハーモニー・小ホール キエフ青少年芸術アカデミー モロディ劇場 カウナス・ヴィータウタス・マグヌス大学・大ホール 国立工芸博物館	2008. 09. 27 ~ 2008. 09. 28 2008. 09. 30 2008. 10. 01 2008. 10. 03 2008. 10. 04 2008. 10. 07 2008. 10. 09	琵琶、笙、コントラバス、ギター、ボーカルにより、邦楽器の響きを生かした、新しい日本音楽をテーマとするコンサート。サンクトペテルブルグとキエフはセミナーも実施。
10	和太鼓JCCプレイベント公演	シンガポール	シンガポール	The Central 付属イベントステージ ラッフルズ・ホテル内 ジュビリー・ホール	2008. 10. 03 ~ 2008. 10. 05 2008. 10. 06	ジャパン・クリエイティブ・センター(JCC)の開設プレイベントとして、茂戸藤浩司を中心とする太鼓公演を大型日本文化紹介イベント「Go Japan Matsuri Festival」にて開催。

舞台芸術事業費

	事業名	対象国	都市	会場	期間	事業内容
11	Soothe中国公演	中国	北京 北京 北京 ハルビン 南京 上海 マカオ 香港 香港 珠海	ライブハウスMAO 長富宮飯店 民族文化宮大劇院 北方劇場 南京芸術学院 ライブハウスZhijiang Dream Factory (芷江 夢工場) セナド広場 モートンテラス運動場 (銅鑼湾) Avenue of Stars (星 光大道) 珠海度假村酒店	2008. 10. 10 2008. 10. 10 2008. 10. 11 2008. 10. 14 2008. 10. 16 2008. 10. 18 2008. 11. 22 2008. 11. 23 2008. 11. 24 2008. 11. 26	小山豊(津軽三味線)、加藤拓哉(和太鼓)、丸山力巨(ギター)、前田貴廣(ベース)、前田翔(ドラム)から成る「Soothe」の巡回公演。北京ではVJのDaDaKingZ、マカオ・香港・珠海では二胡の小山五月も出演。上海では中国楽器を含むバンド「冷酷仙境」と共演。北京事務所の北京日本文化センター化記念事業。黒龍江省ジャパンウィーク、香港「日本の祭2008」参加。
12	沖縄舞踊アフリカ公演	タンザニア 南アフリカ	ダルエスサラーム ダルエスサラーム バガモヨ ヨハネスブルグ ヨハネスブルグ ヨハネスブルグ プレトリア	在タンザニア日本大使公邸 ロシア・タンザニア文化センター TaSUBa セントフランシス・ケアセンター ヨハネスブルグ日本人学校 ガラガーエステート ステート・シアター	2008. 10. 12 2008. 10. 13 2008. 10. 15 2008. 10. 17 2008. 10. 17 2008. 10. 18 2008. 10. 19	沖縄県立芸術大学琉球芸能専攻OB会の選抜メンバーによる沖縄舞踊公演。タンザニアではバガモヨ芸術祭(全国文化芸術祭)に参加。南アフリカでは、現地のHIV患者とその家族の療養生活施設であるセントフランシス・ケアセンターでの小規模公演も実施。日アフリカ交流年記念。
13	「UNIT ASIA」ジャズ東南アジア公演	シンガポール フィリピン ブルネイ マレーシア タイ	シンガポール マニラ マニラ バンドルスリブガワン クアラ Lumpur チェンマイ	シンガポール・カンファレンス・ホール Merk's Bar Bistro ミュージック・ミュージアム リズクン・ホテル ペトロナス・フィル ハーモニック・ホール パヤップ大学	2008. 10. 22 ~ 2008. 10. 23 2008. 10. 25 2008. 10. 28 2008. 10. 31 2008. 11. 03 ~ 2008. 11. 04 2008. 11. 08	日本・タイ・マレーシアのミュージシャン5人によりジャズ・グループ「UNIT ASIA」を特別編成し、5カ国5都市を巡回公演。出演メンバーは、日本より三好“3吉”功郎(ギター)、則竹裕之(ドラム)、一本茂樹(ベース)、タイよりコー・Mr. サックスマン(サックス)、マレーシアよりテイ・チャー・シアン(ピアノ)。
14	邦楽西欧公演	イタリア マルタ スイス	ローマ バレッタ ジュネーヴ	ローマ日本文化会館 Phoenicia Hotel Hall cite bleue	2008. 10. 24 2008. 10. 26 2008. 10. 29	箏の市川慎を中心とする邦楽グループによる公演。
15	レ・フレール韓国公演	韓国	ソウル 釜山 済州	麻浦アーツセンター・アートホールMAC 釜山文化会館大劇場 済州ハルラ大学ハルラ・アートホール大劇場	2008. 10. 28 2008. 10. 30 2008. 11. 01	ピアノ・デュオ「レ・フレール」による韓国巡回公演。済州公演は「済州ジャパン・ウィーク」事業の一環。

舞台芸術事業費

	事業名	対象国	都市	会場	期間	事業内容
16	邦楽大洋州公演	ニュージーランド フィジー	オークランド ウェリントン スバ	Concert Chamber (Town Hall) 国立博物館 Te Papa Soundings Theatre Suva Town Hall	2008. 11. 13 2008. 11. 15 2008. 11. 18	津軽三味線ユニット・吉田兄弟による公演。
17	宮良多鶴子東 ティモール公演	東ティモール	ディリ バウカウ ラガ バウカウ ディリ	首相府前独立宣言日式 典コンサート会場 第3ヴィラノヴァ中学 校 ラガ孤児院 ドン・ボスコ・フィロ ロ 教育省ホール	2008. 11. 28 2008. 11. 30 2008. 12. 01 2008. 12. 03 2008. 12. 06	東ティモール独立宣言日コンサートに、ソプラノ歌手の宮良多鶴子を派遣。地方都市に巡回。
18	東南アジア歌舞 伎錦絵展覧会・ 歌舞伎舞踊レク チャーデモン ストレーション	インドネシア タイ	スラバヤ ジャカルタ バンコク	Taman Budaya Jawa Timur Bentara Budaya Jakarta Museum of Siam: Discovery Museum	2008. 12. 03 2008. 12. 04 ~ 2008. 12. 05 2008. 12. 08	国立劇場（日本芸術文化振興会）との共催により、同劇場所蔵の歌舞伎錦絵の展覧会を開催するとともに、坂東鼓登治氏（日本舞踊家）他による歌舞伎舞踊のレクチャーデモンストレーションを実施。「日インドネシア友好年」記念事業。展覧会は以下の日程で開催。ジャカルタ：11/26～12/05、スラバヤ：11/11～21、バンコク：12/8～20。
19	邦楽APAPショー ケース公演	米国	ニューヨーク ヒューストン	アジア・ソサエティ ヒューストン美術館	2009. 01. 10 2009. 01. 14	ニューヨークで開催される芸術見本市APAP（Association for Performing Arts Presenters）年次総会に合わせ、邦楽ショーケースを実施。出演は、締太鼓・大鼓・小鼓・笛からなる「囃子アンサンブル藤桜」、琴・サクスの「Passion of Asia—川嶋哲郎&竹澤悦子—」の2組。
20	田村響エジプト 公演	エジプト	カイロ	カイロオペラハウス大 ホール	2009. 01. 24	20周年を迎えるカイロオペラハウス（日本政府無償資金協力により1988年完成）との共同企画として、ピアニストの田村響がカイロシンフォニーオーケストラと共演。

舞台芸術事業費

	事業名	対象国	都市	会場	期間	事業内容
21	邦楽ハンガリー・ブルガリア・ポーランド公演	ハンガリー ブルガリア ポーランド	ブダペスト ブダペスト ヴァルナ ソフィア ワルシャワ	リスト音楽院 バーリントン・マールトン高校 Festival and Congress Center Varna ソフィア国立オペラ・バレエ劇場 国立フィルハーモニー・室内ホール	2009.01.28 ~ 2009.01.29 2009.01.30 2009.02.01 2009.02.03 2009.02.05	「日本・ドナウ交流年2009」および「日本・ポーランド国交樹立90周年」記念事業として、和太鼓、津軽三味線、篠笛による公演を実施。出演は和太鼓グループ「ようそろ」(はせみきた、岡田寛行)、津軽三味線の廣原武美、篠笛の山田路子。
22	能楽ルーマニア・オーストリア公演	ルーマニア オーストリア	ブカレスト ウィーン	ブカレスト国立劇場大劇場 Tanzquartier Wien Halle G	2009.02.06 ~ 2009.02.07 2009.02.10 ~ 2009.02.11	「日本・ドナウ交流年2009」のオープニング事業としてルーマニアとオーストリアで能楽公演を実施。演目は能『葵上梓之出』、狂言『伯母ヶ酒』。出演は武田志房ほか、社団法人能楽協会会員。
23	和太鼓南アジア公演	インド	ニューデリー ニューデリー コルカタ チェンナイ	LTG Auditorium Indira Gandhi Display Centre-Auditorium Satyajit Ray Auditorium, Rabindranath Tagore Centre, ICCR Narada Gana Sabha	2009.03.13 2009.03.14 2009.03.17 2009.03.19	和太鼓アンサンブル「あべや」による公演。
24	ダンスルクセンブルグ公演	ルクセンブルグ	ルクセンブルグ	ルクセンブルグ国立現代舞踊センター3C-L ノイミュンスター修道院文化会館	2009.03.25 ~ 2009.03.26 2009.03.31	新進振付家/ダンサー白井剛による4人の若手音楽家とのコラボレーション・ダンス作品『THECO - ザコ - THE performance Concert with Contemporary, music Composers & a dance Choreographer』の公演およびルクセンブルグ国立現代舞踊センター3C-L(Centre de Creation Choreographique Luxembourgeois)にてダンス経験者、一般市民を対象としたダンス・ワークショップを実施。
25	邦楽JCCプレイベント公演	シンガポール	シンガポール	Victoria Concert Hall	2009.03.29	ジャパン・クリエイティブ・センター(JCC)の開設プレイベントとして、邦楽公演「福之音アンサンブル -Japanese Music Tradition & Innovation-」を開催。

舞台芸術事業費

2. 催し等事業費 / (2) 海外公演 (助成)

日本の優れた舞台芸術や芸能の海外公演 (レクチャー・デモンストレーション、国際共同制作を含む) を行う日本の公演団体に対し、経費の一部を助成する。

合計額 139,298,395 円

	事業名	対象国	都市	助成機関	公演日	事業内容
1	世界人形劇フェスティバル公演 (2008ウニマパース大会)	オーストラリア	フリマントルパース	知立からくり保存会	2008.04.06 2008.04.07	郷土芸能 (からくり人形芝居)。江戸時代から伝わる「からくり人形浄瑠璃」をビデオ解説を交えて上演。ウニマ (国際人形劇連盟) 第20回総会に併催される世界人形劇フェスティバルへの参加公演。
2	木村陽子 箏・三弦コンサート アメリカ公演	米国	フォート・ウェイン ボストン ニューヨーク	木村 陽子	2008.04.19 2008.04.26 ~ 2008.04.27 2008.05.03 ~ 2008.05.09	音楽 (邦楽)。山田流箏・三弦演奏家の木村陽子 (木村伶香能) による米国3都市公演。各都市でプロの音楽家とのセッションやワークショップを実施。フォートウェインにおいては、「桜まつり」に出演。
3	八戸えんぶりシアトル・フェデラルウェイ公演	米国	シアトル フェデラル・ウェイ	社団法人 八戸観光コンベンション協会	2008.04.19 ~ 2008.04.20 2008.04.21	地域伝統芸能。青森県の伝統芸能「八戸えんぶり」 (国の重要無形民俗文化財) をシアトル桜祭り・日本文化祭及び八戸市の姉妹都市であるフェデラルウェイ市で披露。
4	Noism08『NINA-物質化する生け贄』韓国公演	韓国	ソウル	財団法人 新潟市芸術文化振興財団	2008.04.25 ~ 2008.04.26	舞踊 (コンテンポラリーダンス)。LGアートセンターの招聘により、Noism08『NINA-物質化する生け贄』 (演出・振付:金森穰) を上演。
5	『お伽の棺』韓国編	韓国	仁川 釜山	有限会社 扉座	2008.05.06 ~ 2008.05.08 2008.05.13 ~ 2008.05.14	現代演劇。仁川の「第26回全国演劇祭」及び「釜山国際演劇祭」にて、横内謙介作・演出『お伽の棺』に韓国人出演者を加えて上演。
6	ブラジル日本移民100周年・日伯交流記念曼珠沙華ブラジル公演	ブラジル	ベレン サンパウロ サン・ジョゼ・ドス・カンボス スザノ サンパウロ マリンガー バンデイランテス	国際文化交流 劇団 曼珠沙華	2008.05.07 ~ 2008.05.08 2008.05.11 2008.05.12 2008.05.13 2008.05.14 ~ 2008.05.15 2008.05.16 ~ 2008.05.17 2008.05.18	大衆芸能。舞、石見神楽、三番叟等に取材した演目で構成。出演は、藤中清永、藤中夢弥ほか。

舞台芸術事業費

	事業名	対象国	都市	助成機関	公演日	事業内容
7	2008 パスカ ルズ ビッグ ピクチャー ツアー イン ヨーロ ッパ	フランス スペイン フランス スペイン	カンペール カセレス ブルティニョール ナンシー パリ ブロワ ブロン ナンテール トゥールコワ ンル・アーヴ ル アジャン ヒホン	永畑 雅人	2008.05.07 2008.05.09 2008.05.10 2008.05.11 2008.05.12 2008.05.14 2008.05.15 2008.05.16 2008.05.17 2008.05.18 2008.05.22 ~ 2008.05.23 2008.05.25	音楽。おもちゃの楽器やピアノ、バイオリン等を用いたアコースティック楽団のパスカルズによる公演。アジャン（フランス）では現地DJとの共演やワークショップも実施。
8	メキシコ市における「オリカン国際世界文化フェスティバル」のための狂言公演	メキシコ	メキシコ	茂山 七五三	2008.05.08 ~ 2008.05.11	伝統演劇（狂言）。茂山七五三が「オリカン国際世界文化フェスティバル」にて公演。
9	『It is written there』ブリュッセルツアー	ベルギー	ブリュッセル	山下 残	2008.05.09 ~ 2008.05.13	舞踊（コンテンポラリーダンス）。山下残の振付作品『そこに書いてある』のリメイク版となる『It is written there』（2008年3月京都初演）を、ブリュッセルの「クンステン・フェスティバル・デザール」にて上演。
10	琉球歌舞劇『道ぬ空』アデレード公演	オーストラリア	アデレード	国際児童・青少年演劇フェスティバルおきなわ実行委員会	2008.05.10 ~ 2008.05.13	児童演劇。沖縄の若手演者による琉球歌舞劇『道ぬ空』（演出：富田めぐみ、振付：呉屋かなめ）の公演。国際児童青少年演劇協会（ASSITEJ アシテジ）が三年に一度開催する世界会議/国際児童演劇祭の第16回目に正式招待。
11	地唄舞吉村流 欧州（オランダ・ベルギー）公演	オランダ ベルギー オランダ	ハーグ アムステルダム アントワープ フェーレ ユトレヒト	地唄舞吉村流舞の会	2008.05.11 2008.05.15 2008.05.16 2008.05.17 2008.05.18	地唄舞。吉村輝章らによる公演。演目は『善知鳥』、『古道成寺』、『名護屋帯』ほか。
12	Dance Company BABY-Q 『GEEEEEEK』メキシコ公演	メキシコ	メキシコ	Dance Company BABY-Q	2008.05.13 ~ 2008.05.17	舞踊（コンテンポラリーダンス）。Dance Company BABY-Qが「オリカン国際フェスティバル」に参加し、『GEEEEEEK』を上演。

舞台芸術事業費

	事業名	対象国	都市	助成機関	公演日	事業内容
13	輝く未来 イギリス ニューカッスル公演	英国	ニューカッスル	輝く未来	2008.05.15 ~ 2008.05.16	舞踊。Dancing the World Festivalにて、伊藤キム振付の『生きたまま死んでいるヒトは死んだまま生きているのか』『ラジオで踊る』を上演。
14	アンサンブル・インタラクティブ・トキオ 韓国・第6回ディメンジョン芸術祭参加	韓国	ソウル	大村 哲弥	2008.05.16 ~ 2008.05.18	音楽。フルートの野勢善樹を中心とする「アンサンブル・インタラクティブ・トキオ」が、「第6回ディメンジョン芸術祭」に参加。
15	日本・カナダ交流公演	カナダ	オタワ	U-Stage (ユースステージ)	2008.05.17 ~ 2008.05.18	大道芸など。U-Stage (ユースステージ) による七福神、獅子舞の演技、チンドン音楽、和太鼓などの演奏を行う。日加修好80周年記念。
16	日仏交流150周年記念・鯉のぼり2008『Music for Water』コンサート	フランス	パリ ジヴェルニー アルクイユ パリ	ウォーターネットワーク	2008.05.21 2008.05.22 2008.05.23 2008.05.24 ~ 2008.05.25	音楽。日仏文化センターが主催する文化祭「鯉のぼり2008」において、邦楽公演を実施。出演は、小濱明人(尺八)、石川高(笙)、金刺敬大(太鼓)、熊代七恵・橋本みぎわ(二十五絃箏)ほか。
17	『落花水・思索』公演	フランス	リール	ヒグマ 春夫	2008.05.22	パフォーマンス・アート。ヒグマ春夫(構成・演出・映像)らによる『落花水・思索』の公演。参加アーティストはヒグマの他に、小林美萌(舞踏)、ミゲル・ガニコ(舞踏)、フリオ・ゴヤ(美術)。大学でのワークショップも実施。
18	ウージェーヌ・イヨネスコ ビエンナーレ国際演劇祭	モルドバ	キシニョフ	株式会社 劇団東京乾電池	2008.05.25	現代演劇。ウージェーヌ・イヨネスコ劇場が主催する第8回国際ビエンナーレで『授業』(柄本明・主演)を上演。
19	日伯移民100周年記念「響ファミリー」特別公演	ブラジル	サンパウロ ブラジリア サンパウロ パラナー サンパウロ	響 彬斗	2008.06.01 ~ 2008.06.15 2008.06.18 ~ 2008.06.19 2008.06.20 ~ 2008.07.06 2008.07.11 ~ 2008.07.12 2008.07.13 ~ 2008.07.18	大衆芸能。ブラジル生まれの日系3世である響彬斗、響一真らによる歌・太鼓ショー。

舞台芸術事業費

	事業名	対象国	都市	助成機関	公演日	事業内容
20	日仏国交150周年 記念 狩野能楽 団フランス公演	フランス	ロン・ル・ソーニエ エクサン・プロヴァン ス	財団法人 十四世六平 太記念財団	2008.06.03 2008.06.05 ~ 2008.06.07	伝統演劇（能楽）。長年に亘り欧州地域で能楽普及を行なう喜多流狩野丹秀とその一門が、仏2都市にて能楽の上演およびワークショップを行なう。演目は能『羽衣』、『鶴』、『清経』、『野守』、『狂言』、『昆布売』。装束着付の実演も実施。
21	第5回 フェ・ フェスティバル 2008	ベトナム	フエ	山本 竹勇	2008.06.05 ~ 2008.06.09	邦楽（津軽三味線）。山本竹勇が文化祭「フェスティバル・フエ2008」の招へいにより公演した他、地元の学校などで演奏会とワークショップを実施。演目は伝統的な曲の他、山本竹勇作『祭組曲』や現地の歌謡曲『美しい昔』など。
22	笠井勲独舞公演 及びワーク ショップ	イタリア	ローマ	笠井 勲	2008.06.07 ~ 2008.06.08	舞踊（舞踏）。笠井勲による新作『snow blue』の公演とワークショップ。
23	「つるとかめ+ 坂田明」イタリ ア&ドイツ・ツ アー	イタリア ドイツ	ローマ ケルン デュッセルドルフ	有限会社 スーパー ボーイ	2008.06.10 2008.06.13 2008.06.14	音楽（邦楽+ジャズ）。津軽三味線の澤田勝秋と民謡の木津茂理による「つるとかめ」に、ジャズ・サクソフォンの坂田明が共演。デュッセルドルフの日本デーに参加。
24	ひのき屋欧州ツ アー2008	ドイツ	デュッセルドルフ	株式会社 ヒトココチ	2008.06.12 ~ 2008.06.14	音楽。和楽器を主体としたワールドミュージックを演奏する「ひのき屋」による公演。「デュッセルドルフ日本デー」参加。
25	バルカン室内管 弦楽団 コソボ 公演	コソボ	プリシュティナ	柳澤 寿男	2008.06.12	バルカン地域における民族の共栄、現地音楽水準の向上、信頼感の醸成を目指して多民族合同による管弦楽団を設立し、演奏会を実施。
26	ブラジル日本移 民百周年記念 「神楽公演・交 流」事業	ブラジル	サンパウロ	安芸高田神楽協議会	2008.06.19 ~ 2008.06.20	民俗芸能（神楽）。安芸高田市内の神楽団による『八岐大蛇』『滝夜叉姫』『紅葉狩』の上演。ブラジル広島神楽保存会団員への指導も実施。
27	津軽三味線 ジョージ・ジョ ンガラ 日伯交 流年記念公演	ブラジル	サンパウロ	窪田 悦宏	2008.06.19 ~ 2008.06.21	邦楽（津軽三味線）。窪田悦宏を中心とする「津軽三味線ジョージ・ジョンガラ」の公演。

舞台芸術事業費

	事業名	対象国	都市	助成機関	公演日	事業内容
28	能公演・ブラジル日本移民100周年記念事業	ブラジル	サンパウロ ベロ・オリゾンテ イパチंगा サルヴァドル ブラジリア	大倉 正之助	2008.06.27 ~ 2008.06.28 2008.06.30 2008.07.01 2008.07.02 2008.07.04	伝統芸能（能楽）。大倉正之助（大鼓方）、藤井雅之（シテ方）らによる能楽公演。ベロ・オリゾンテにて国際演劇フェスティバルに参加、サンパウロにてワークショップも実施。演目は舞囃子『三番叟』、能『羽衣』、狂言『梟山伏』など。
29	BATIK『SHOKU』スペインツアー	スペイン	サラゴサ マドリード サン・セバスティアン	BATIK	2008.06.28 ~ 2008.06.29 2008.07.02 ~ 2008.07.03 2008.07.08 ~ 2008.07.09	舞踊（コンテンポラリーダンス）。黒田育世率いる「BATIK」が作品『SHOKU』をスペイン巡回公演。サラゴサでは「サラゴサ万博」の招へいプログラムとして上演。
30	NPO法人国境なき芸能団 ブラジル公演	ブラジル	ロンドリーナ マリンガー ウムアラマ クリティーバ サンパウロ	NPO法人 国境なき芸能団	2008.06.29 2008.06.30 ~ 2008.07.01 2008.07.03 2008.07.05 2008.07.07	演芸（落語、音曲漫才ほか）。日系人や現地の病院・学校の人々を対象に、パペット落語、音曲漫才、紙きり、南京玉すだれ、手品等の公演を実施。
31	第13回ミュンヘンにほんまつり	ドイツ	ライブツィヒ ミュンヘン	奈佐原文楽座	2008.07.09 ~ 2008.07.10 2008.07.19 ~ 2008.07.20	伝統演劇（人形浄瑠璃）。ミュンヘンの「第13回にほんまつり」の前夜祭およびメインアトラクションとして、栃木県無形・有形文化財である『奈佐原文楽』を上演。先立って三味線、立囃奏者を含む4名はライブツィヒ音楽祭に参加。
32	GOC00 ヨーロッパツアー2008	スロバキア オーストリア ドイツ 英国 スウェーデン ノルウェー ドイツ デンマーク ドイツ ポルトガル	トレンチーン ヴィーゼン ヘルツベルク カールスルーエ ミュンヘン ウィルシャー エステルスンド ストラス ハンブルク スカナボー ケルン ハノーヴァー イダニャ・ア・ノバ	和太鼓グループ ゴクウ（有限会社 タヲ）	2008.07.18 2008.07.19 2008.07.20 2008.07.23 2008.07.25 2008.07.27 2008.08.01 2008.08.02 2008.08.07 2008.08.08 2008.08.09 2008.08.10 2008.08.13 ~ 2008.08.14	邦楽（和太鼓）。和太鼓グループ「GOC00（ゴクウ）」が「WOMAD2008」（英国ウィルシャー）をはじめとする欧州各地のフェスティバル等で公演。
33	宮沢和史&GAMGA ZUMBA「日伯移民100周年記念音楽フェスタ」	ブラジル	クリティーバ サントス サンパウロ リオ・デ・ジャネイロ	ファイブ・ディー 株式会社	2008.07.22 2008.07.24 ~ 2008.07.27 2008.07.26 ~ 2008.07.27 2008.07.28	音楽。宮沢和史&GAMGA ZUMBAが現地ミュージシャンと共にブラジル4都市で音楽フェスティバルを開催。

舞台芸術事業費

	事業名	対象国	都市	助成機関	公演日	事業内容
34	アントネッロ ポルトガル・ス ペインツアー 2008	ポルトガル スペイン	カルダス・ダ・ライ ニャ バレンシア	アントネッロ	2008.07.22 2008.08.05	クラシック音楽（古楽）。濱田芳通（コル ネット・リコーダー）、石川かおり（ヴィオ ラ・ダ・ガンバ）、西山まりえ（ハーブ、 チェンバロ）がカルダス・ダ・ライニャ音楽 祭及びペニスコラ国際中世・バロック音楽祭 で公演。
35	『true/本当のこ と』アジアツ アー	シンガポール	シンガポール	『true/本当のこと』 実行委員会	2008.07.24 ～ 2008.07.26	舞踊（コンテンポラリーダンス）。白井剛 （振付・出演）と川口隆夫（振付・出演）、 藤本隆行（演出・照明）等による作品 「true/本当のこと」をエスプラネード劇場 の招へいにより上演。白井と川口はワーク ショップも実施。
36	天一生人-日中音 楽家による中国 巡回公演	中国	北京 麗江	野田 暉行	2008.07.28 ～ 2008.07.29 2008.07.30	音楽（尺八、琴、管弦楽）。日中の音楽家が 伝統曲と新作を演奏。中国国家公共楽団と共 演。
37	人形劇団ひとみ 座『the bicycle』香港イ ンターナシヨナル・アート・ カーニバル2008 参加公演	中国	香港	有限会社ひとみ座	2008.07.31 ～ 2008.08.03	人形劇。香港で開催される児童演劇フェス ティバル「インターナショナル・アート・ カーニバル2008」に参加。無言劇『the bicycle』（エドワード・ゴーリー原作）の 上演とワークショップ。
38	日伯交流年・ブ ラジル日本移民 100周年記念事業 -日本の音色- 古典から現代へ	ブラジル	クリティーバ サンパウロ カンピーナス ヴァルゼン・グランデ サンパウロ	川村 昌子	2008.07.31 2008.08.02 ～ 2008.08.03 2008.08.04 2008.08.05 2008.08.06	邦楽（箏曲）。箏、尺八、三弦による公演と ワークショップを実施。
39	『Xのフーガ』フ ランス・ポーラ ンドツアー	フランス ポーランド	ペリゲー ワルシャワ	デラシネラ	2008.08.01 ～ 2008.08.02 2008.08.19	舞踊（マイム・パフォーマンス）。小野寺修 二（パフォーマンスアート）が主宰するカン パニー「デラシネラ」による作品『Xのフー ガ』の海外初演。ミモス国際マイムフェス ティバル（仏）、国際マイム&フィジカルシ アターフェスティバル（ポーランド）に参 加。
40	ジ・オリジナ ル・テンポ（パ フォーマンス） 英国公演	英国	エジンバラ	ウォーリー 木下	2008.08.10 ～ 2008.08.17	スコットランドのエジンバラフェスティバル （フリンジ）に参加、音楽・映像・ダンスに よる演劇的パフォーマンス作品『喋るな、遊 べ～Shut up, Play～』を上演。

舞台芸術事業費

	事業名	対象国	都市	助成機関	公演日	事業内容
41	落語芸術協会 ブラジル公演	ブラジル	マリンガー カンピーナス マリンガー サンパウロ	社団法人落語芸術協会	2008.08.17 2008.08.20 2008.08.20 2008.08.24	日伯交流年を記念して、ブラジル3都市で落語・曲独楽・紙切り等の「寄席芸」公演を実施。
42	般若帝国（尺八）インドネシア公演	インドネシア	ジャカルタ	磯金 俊一	2008.08.20 ~ 2008.08.24	日本とインドネシアの竹楽器（日本の尺八、インドネシアのアンクロン）によるコンサート「エッセンス・オブ・バンブー2008」に、日本から尺八トリオ「般若帝国」が参加。
43	マルガサリ インドネシア公演	インドネシア	ジャカルタ ジョクジャカルタ スラバヤ	マルガサリ	2008.08.23 2008.08.26 ~ 2008.08.27 2008.08.29	現代演劇（ガムラン舞踊劇）。楽舞劇『桃太郎』（企画・制作：中川真、音楽監修：野村誠、舞踊振付：佐久間新）を全編インドネシア語で上演。インドネシア芸術大学ではワークショップも実施。
44	サル・ガヴォ ヨーロッパツアー	ドイツ オランダ ドイツ フランス オーストリア イタリア	ケルン アムステルダム カンブ・リントフォルト ケンペン パリ ウィーン ローマ	鬼怒 無月	2008.08.26 2008.08.27 2008.08.29 2008.08.30 2008.08.31 2008.09.01 2008.09.05 ~ 2008.09.06	音楽（ジャズ）。鬼怒無月（ギター）が率いるサル・ガヴォが、ジャズフェスティバル「Roma Jazz's Cool 2008」等で演奏。
45	2008年 プラハ尺八サマースクール	チェコ	プラハ	首藤 久美子	2008.08.30 ~ 2008.09.01	邦楽（薩摩琵琶）。在欧州の尺八奏者を集めて毎夏開催されているサマースクールで、首藤久美子がゲスト演奏。
46	劇団解体社『ドリーム・レジーム・プロジェクト2008』欧州公演	ポーランド 英国	グダニスク イエレニア・グラ ズウオトリーヤ ウッチ カーディフ	劇団解体社	2008.09.01 ~ 2008.09.11 2008.09.13 ~ 2008.09.14 2008.09.15 2008.09.17 2008.09.19 ~ 2008.09.30	現代演劇。「共同体へのリフレクション（反省的・批判的思考）」をテーマとして、2004年来世界各地でワークショップを通して身体表現の可能性を追求してきたプロジェクト。今回は、公共のドラッグ更正施設MONARの若者約20人とワークショップを行い、彼らと一緒にポーランド国内をツアー。英国は単独公演。
47	足立智美（電子音楽）北欧公演	デンマーク スウェーデン フィンランド	コペンハーゲン ストックホルム クオピオ オウル ヘルシンキ	足立 智美	2008.09.02 2008.09.03 2008.09.06 2008.09.07 2008.09.09	音楽（実験音楽）。戦前のモダニズム運動と1960年代に焦点を当てた日本の実験詩・音響詩の歴史及び自作品についてのレクチャーと上演。ストックホルムとヘルシンキでは現地の即興音楽家と共演。

舞台芸術事業費

	事業名	対象国	都市	助成機関	公演日	事業内容
48	薪狂言二晩・chori/童司ヨーロッパツアー	フランス イタリア	パリ ブレスシア フィレンツェ ローマ	有限会社 ミホプロ ジェクト	2008.09.10 ~ 2008.09.12 2008.09.13 2008.09.14 2008.09.16	伝統演劇(狂言)。茂山七五三、茂山あきら等がパリで公演。演目は『三番三』、『二人袴』、『濯ぎ川』。イタリアでは、Chori(詩人)と茂山童司によるユニット「chori/童司」が公演。
49	『日本ピアノの旅ー日本のピアノ音楽の100年』 『世界の旅をピアノと共に』	ブラジル ウルグアイ アルゼンチン ペルー コスタリカ	サンパウロ リオ・デ・ジャネイロ ブラジリア モンテビデオ ブエノス・アイレス リマ サンホセ	上野 淳子 ギヤレット ト	2008.09.13 2008.09.16 2008.09.18 2008.09.20 ~ 2008.09.21 2008.09.24 2008.09.26 ~ 2008.09.27 2008.09.29 ~ 2008.10.01	クラシック音楽。上野淳子ギヤレットによるピアノ公演。日本における西洋音楽の受容について解説を加えながら、日本の作曲家による作品を演奏。ワークショップも実施。
50	上妻宏光(津軽三味線)ロシア公演	イタリア ロシア	ミラノ モスクワ	有限会社 モンドラナ ミュージックエンタテインメント	2009.09.14 ~ 2009.09.15 2009.09.20 ~ 2009.09.21	上妻宏光(津軽三味線)のモスクワ、ミラノ巡回公演。
51	能普及のための巡回公演	オーストリア フランス スイス カナダ	ウィーン パリ セルジー・ポントワーズ ジュネーヴ トロント リジャイナ	河村 晴久	2008.09.19 ~ 2008.09.20 2008.09.25 2008.09.26 2008.09.29 2008.10.01 2008.10.04 ~ 2008.10.05	能。各国の大学、美術館等でレクチャー・デモンストレーションを実施。
52	日・エクアドル外交関係樹立90周年オカリナコンサート	エクアドル	キト グアヤキル	本谷 美加子	2008.09.20 ~ 2008.09.21 2008.09.23	音楽(オカリナ)。本谷美加子(オカリナ)と港大尋(ピアノ)が、自作曲や現地で親しまれている日本の曲を演奏。
53	守屋純子カルテット(ジャズ)米国公演	米国	モンテレー ロスモア サン・フランシスコ ロス・アンジェルズ	守屋 純子	2008.09.20 2008.09.22 2008.09.23 2008.09.24	守屋純子(ピアノ)率いるカルテットによる米国西海岸ツアー。モンテレー・ジャズ・フェスティバルに参加。
54	RINO LATINA II(ヒップホップ)キューバ公演	キューバ	ハバナ	RINO LATINA II	2008.09.20 ~ 2008.09.23	ラッパーのRINO LATINA II(リノ・ラティーナ・ザ・セカンド)が、ハバナ(キューバ)で開催されるヒップポップフェスティバルに参加。
55	フライングダッチマン(ロック)イスラエル・欧州公演	イスラエル ドイツ オランダ	テルアビブ エルサレム ミホモレット ベルリン アムステルダム	姫野 凜拿	2008.09.22 2008.09.27 2008.09.28 2008.10.03 2008.10.16 ~ 2008.10.17	音楽。男性4人組のバンド「FRYING DUTCHMAN」(フライングダッチマン)が、欧州やイスラエルのライブハウス、FMラジオ局等から招へいを受けて巡回公演。演目は同バンドのオリジナル曲が中心。

舞台芸術事業費

	事業名	対象国	都市	助成機関	公演日	事業内容
56	日本伝統芸能研究会（歌舞伎音楽と舞踊） 米国公演	米国	セーレム ボストン	日本伝統芸能研究会	2008.09.24 ～ 2008.09.28 2008.09.29	セーレムのPeabody Essex Museum主催歌舞伎展覧会の一環として常磐津舞踊・歌舞伎囃子の公演とワークショップを実施。ボストンでもワークショップを開催。
57	秋山徹次（即興音楽） 南米公演	アルゼンチン ペルー チリ ブラジル	コルドバ ブエノス・アイレス ラ・プラタ タラボト リマ サンティアゴ バルパライーズ サンティアゴ ポルト・アレグレ フロリアノーポリス サンパウロ リオ・デ・ジャネイロ	秋山 徹次	2008.09.24 2008.09.27 2008.09.28 2008.09.29 2008.09.30 2008.10.01 2008.10.02 2008.10.03 2008.10.05 2008.10.06 2008.10.08 2008.10.09	ギター等を用いる即興音楽演奏家の秋山徹次が、チリの即興音楽家エデン・カラスコ（サクソ）等と共演。4か国で公演を実施。
58	ボルネオ島の多民族居住地域における打楽器による文化交流事業	マレーシア	カノウィット シブ クチン	特定非営利活動法人 アジア地域福祉と交流の会	2008.09.27 2008.09.27 2008.09.28	邦楽（和太鼓）。「瑞宝太鼓」によるボルネオ島（マレーシア）での公演。多民族から成る小さな街の知的障害者のための福祉施設を訪問、演奏を行うとともに、現地の音楽家とも交流。
59	谷辺昌央（ギター） 南米公演	アルゼンチン ブラジル	ベナド・トゥエルト サンタ・フェ ロサリオ ブエノス・アイレス サン・ニコラス フロリアノーポリス	谷辺 昌央	2008.09.30 2008.10.01 2008.10.02 2008.10.03 2008.10.04 2008.10.16 ～ 2008.10.17	谷辺昌央（クラシックギター）が、アルゼンチン「世界のギター音楽祭」において邦人作曲家の作品を紹介するとともに、現地タンゴグループとの共演によるCDを録音。ブラジルでは日伯交流年を記念し、林光作曲のギター協奏曲を現地オーケストラと共演。
60	エス・エックス・キュー サクソクインテット ロシア・リトアニアツアー	ロシア リトアニア	サンクト・ペテルブルグ モスクワ アレクサンドロフ ニュージニーノブゴロド ヤロスラヴリ ビリニュス ヨナヴァ	松本 健一	2008.10.03 2008.10.04 2008.10.05 2008.10.08 2008.10.09 2008.10.11 2008.10.12	音楽（ジャズ）。松本健一を中心とするサクソ奏者5名による即興ジャズのアンサンブル「S X Q エス・エックス・キュー」が、ロシアとリトアニアのジャズ・フェスティバル等に参加。
61	清水靖晃&サクソフォネッツ（ジャズ） 欧州公演	ロシア	モスクワ	有限会社 ミホプロジェクト	2008.10.09 ～ 2008.10.11	音楽。清水靖晃（作曲・サクソフォン演奏）を中心とする4人のサクソフォン・アンサンブルによる公演。モスクワのグネーシン音楽院と建築博物館にて公演とワークショップを実施。

舞台芸術事業費

	事業名	対象国	都市	助成機関	公演日	事業内容
62	浜口彩子(ダンス)カナダ・韓国公演	カナダ 韓国	モントリオール ソウル	財団法人 児童育成協会	2008.10.09 ~ 2008.10.12 2008.10.17 ~ 2008.10.18	青山円形劇場(日本)、LIGアートホール(韓国)、タンジャン劇場(カナダ)の3劇場による国際共同制作事業「ダンス・エクスチェンジ・プログラム08 モントリオール-ソウル-東京」の一環として、浜口彩子が新作を発表。
63	かわせみ座(人形劇)メキシコ公演	メキシコ	グアナファト レオン メキシコ	かわせみ座	2008.10.10 ~ 2008.10.12 2008.10.14 ~ 2008.10.15 2008.10.18 ~ 2008.10.19	中南米最大のフェスティバルであるセルバンティーン国際芸術祭(グアナファト市)にて『Silent Poems』を上演するほか、他都市にも巡回。
64	児玉孝文(ダンス)エストニア公演	エストニア	ラクヴェレ タリン	児玉 孝文	2008.10.10 2008.10.14	コンテンポラリーダンス。『金の羽毛をもつトカゲのためのポスター』他を公演。日本文化週間参加。タリン大学でワークショップも実施。
65	NBAバレエ団 上海公演	中国	上海	特定非営利活動法人 NBAバレエ団	2008.10.19 ~ 2008.10.20	上海国際芸術フェスティバルの日本特集に参加、新旧のバレエおよびコンテンポラリーダンス作品(平山素子)を上演。
66	日本週間	ロシア	モスクワ	ロシアン・アーツ	2008.10.21 ~ 2008.10.24	露日協会が主催する「日本週間」で、こぶし座(民俗舞踊)、藤間紫恵乃(日本舞踊)、大由鬼山(尺八)、山本兼竹(津軽三味線)、木村佳代(ポップス)、高城剛(DJ)などが公演。
67	堀口始『楽屋』 ロシア公演演出	ロシア	オムスク	堀口 光雄	2008.10.22 ~ 2008.10.26	青年劇場の演出家・堀口始が、清水邦夫作『楽屋』をオムスク国立第5劇場で演出。
68	石山雄三(ダンス)ブラジル公演	ブラジル	ベロ・オリゾンテ サンパウロ リオ・デ・ジャネイロ	石山 雄三	2008.10.25 ~ 2008.10.26 2008.10.30 2008.11.04	リオ・デ・ジャネイロの国際ダンスフェスティバル「Panorama Festival」にて、マルチメディアダンス作品『QWERTY』を上演。ベロ・オリゾンテ、サン・パウロでも公演。
69	笑福亭銀瓶(落語)韓国公演	韓国	ソウル 釜山 済州	笑福亭 銀瓶	2008.10.26 2008.10.28 2008.10.29	落語。日本語と韓国語による落語公演。釜山市立博物館「韓日交流七千年展」記念、「済州ジャパンウィーク」参加。
70	手塚夏子ほか(ダンス)インドネシア公演	インドネシア	ジャカルタ	菊丸 喜美子	2008.10.27	第9回インドネシア・ダンス・フェスティバル(IDF)にて、3人の日本人ダンサーがソロ作品を上演。作品は、手塚夏子『プライベートトレース』、神村恵『斜め向き』、鈴木ユキオ『Love vibration』。

舞台芸術事業費

	事業名	対象国	都市	助成機関	公演日	事業内容
71	梅津和時 KIKI BAND (ジャズ) 欧州公演	ポーランド ドイツ オランダ ドイツ スロベニア イタリア	クラクフ ドレスデン アムステルダム コトブス フライブルク リュブリャナ フォルリ ローマ	梅津 和時	2008. 10. 28 ~ 2008. 10. 29 2008. 10. 31 2008. 11. 01 2008. 11. 03 2008. 11. 04 2008. 11. 06 2008. 11. 08 2008. 11. 09	ジャズ。梅津和時 (アルトサクソ) 率いるバンドの欧州巡回公演。演目は全てメンバーのオリジナル曲。
72	オーサカ=モノレール (ジャズ等) 欧州公演	英国 アイルランド 英国 ドイツ スペイン ドイツ フランス ドイツ	サウサンプトン ダブリン ロンドン ミュンヘン バルセロナ マドリッド バレンシア トリーア ダルムシュタット シュトゥットガルト マルセイユ モンペリエ ケルン ブレーメン ハンブルク	有限会社 シャウトプロダクションズ	2008. 10. 30 2008. 10. 31 2008. 11. 01 2008. 11. 04 2008. 11. 06 2008. 11. 07 2008. 11. 08 2008. 11. 10 2008. 11. 11 2008. 11. 13 2008. 11. 14 2008. 11. 15 2008. 11. 18 2008. 11. 19 2008. 11. 22	ジャズ、ソウル、ファンク音楽を演奏する9人組「オーサカ=モノレール」が、1960年代のジャズ、ソウルの有名曲等を中心とした楽曲を、ブラスアンサンブルのアレンジにて公演。英国、アイルランドでの3公演は米国歌手マーヴァ・ホイットニーとの共演。
73	工藤丈輝ほか (日墨共同制作) メキシコ公演	メキシコ	メキシコ・シティー テポストラ クアウトウラ アカプルコ メキシコ・シティー	横尾 咲子	2008. 11. 03 ~ 2008. 11. 05 2008. 11. 09 2008. 11. 10 2008. 11. 12 2008. 11. 14 ~ 2008. 11. 15	工藤丈輝らによる舞踏と神楽太鼓を中心とした日墨共同作品『Danza Mestiza』を上演。ワークショップも実施。
74	雅楽のイタリア巡回公演を通しての市民交流	イタリア	フィレンツェ ラヴェンナ ローマ	いちひめ雅楽会	2008. 11. 05 2008. 11. 07 2008. 11. 10	音楽 (雅楽)。京都市と姉妹都市関係にあるフィレンツェを含むイタリア諸都市で雅楽の上演とワークショップ及びデモンストラーション。
75	鬼-大いなる神々の欲望	フランス	ヴォワロン ブルゴワン ジニヤック パリ	大門会・東京日仏舞踊演劇センター	2008. 11. 26 2008. 11. 27 2008. 12. 02 2008. 12. 05 ~ 2008. 12. 14	舞踊。仏在住30年になる大門四郎 (舞踊) が、日仏の音楽家、舞踊家等との共同制作により『鬼-大いなる神々の欲望』およびダンスとコンサート作品『序破急』を上演。日本からの出演者は大門の他に、大倉正之助 (能太鼓)、荒井姿水 (薩摩琵琶)。
76	桂勘ほか (舞踏) 東南アジア公演	マレーシア タイ	クアラルンプール バンコク ナコンパトム ラチャブリ	桂 勘	2008. 12. 05 ~ 2008. 12. 07 2008. 12. 12 ~ 2008. 12. 13 2008. 12. 19 2008. 12. 26 ~ 2008. 12. 27	現代舞踊 (舞踏)。桂勘グループ、東雲舞踏グループ、スピロ派グループによるマレーシア・タイ2カ国・4都市巡回公演とワークショップ。

舞台芸術事業費

	事業名	対象国	都市	助成機関	公演日	事業内容
77	HIFANA欧州公演	フランス	レンヌ	HIFANA	2008. 12. 06	音楽（クラブミュージック）。KEIZOmachine!とジューシーを中心とするユニット「HIFANA（ハイファナ）」がフランスで開かれる大規模なクラブミュージックのフェスティバル「Transmusicales Festival」に参加。
78	聖会（邦楽）フランス公演	フランス	ベルノン パリ サン・シール・シュル・ロワール	邦楽「聖会」	2008. 12. 09 2008. 12. 10 2008. 12. 12	音楽（伝統音楽）。福田輝久（尺八）、杵屋子邦（三味線）、丸太美紀（琴）から成る「聖会」の公演。演目は古典作品に加え、丹波明（仏在住の作曲家）による現代曲、ベルギー人作曲家の作品など。日仏交流150周年認定事業。
79	五嶋みどり他（クラシック音楽）インドネシア公演	インドネシア	ジャカルタ ジョクジャカルタ メダン ジャカルタ	特定非営利活動法人 ミュージック・シェアリング	2008. 12. 22 2008. 12. 23 ~ 2008. 12. 24 2008. 12. 26 2008. 12. 27 ~ 2008. 12. 29	クラシック音楽。日本・インドネシア友好年を記念し、五嶋みどりとオーディションで選出された3名の外国人若手音楽家が、小・中学校、大学、障害者施設、孤児院、病院などを訪問し、レクチャーとコンサートを実施。
80	Ko&Edge Co.・東野祥子ほか（ダンス）米国公演	米国	ニューヨーク	特定非営利活動法人 魁文舎	2009. 01. 09 ~ 2009. 01. 10	ニューヨークの舞台芸術見本市APAPに合わせてジャパン・ソサエティーが開催した「ダンスショーケース JAPAN & EAST ASIA」に、室伏鴻率いる「Ko&Edge Co.」と「東野祥子×カジワラトシオ セッション」が出演。
81	福原哲郎（舞踊）タイ、ウガンダ公演	タイ ウガンダ	バンコク カンバラ	福原 哲郎	2009. 01. 10 ~ 2009. 01. 25 2009. 02. 28 ~ 2009. 03. 01	現代舞踊。福原哲郎（舞踏家）が開発した舞踊形式による『スペースダンス・イン・ザ・チューブ2009』の公演。ワークショップ、現地ダンサーとの共同制作も実施。タイでは「スアンシルプアートセンター国際フェスティバル」、ウガンダでは「Annual Dance Week」に参加。
82	マレビトの会『クリプトグラフ』インド公演	インド	デリー ラクナウ	マレビトの会	2009. 01. 14 2009. 01. 18	現代演劇。インド国立演劇学校(NSD)演劇フェスティバルの招へいにより、『クリプトグラフ』（松田正隆作・演出）をデリーとラクナウで上演。
83	浦田保浩（能）米国公演	米国	アセンズ ナッシュヴィル メンフィス	浦田 保浩	2009. 01. 21 2009. 01. 24 2009. 01. 26	米国南部の大学において、浦田保浩を中心とする能公演（観世流）及びワークショップを実施。演目は『羽衣』ほか。

舞台芸術事業費

	事業名	対象国	都市	助成機関	公演日	事業内容
84	渋谷慶一郎 『ATAK NIGHT 4』欧州公演	イタリア スイス ドイツ フランス	ボローニャ チューリヒ ケルン ベルリン パリ	渋谷 慶一郎	2009.01.23 2009.01.26 2009.01.29 2009.01.30 2009.02.03	音楽とメディアアート。渋谷慶一郎（電子音楽）が手がけるプロジェクト「ATAK」シリーズの一作。コンピュータを用いた音楽と映像の公演。ベルリンでは同国最大規模のメディアアート・フェスティバル「transmediale 2009」などに参加。
85	青年団（日仏イ ラン共同制作） フランス公演	フランス	ブザンソン	有限会社 アゴラ企画	2009.01.28 ～ 2009.02.06	演劇。仏ブザンソン国立演劇センターが主催する仏・日・イランの3ヶ国の演出家・劇団による国際共同制作作品『ユートピア』に、平田オリザ（作・演出）と同氏率いる青年団が参加。
86	『春琴』ロンド ン公演	英国	ロンドン	『春琴』ロンドン公演 上演実行委員会	2009.01.31 ～ 2009.02.21	現代演劇。世田谷パブリックシアター（日本）と劇団コンプリシテ（英国）の国際共同制作による、谷崎潤一郎「春琴抄」「陰影礼賛」を原作とした演劇『春琴』の上演。大和日英基金及び国際演劇協会（ITI）英国センターの協力により、「陰影礼賛」等文芸作品の舞台化と国際共同制作にみる日英文化比較について講演会も実施。
87	ジプシークィー ン 東南アジア 公演	タイ ラオス カンボジア	バンコク チャンパサック サヴァナケット ビエンチャン プノンペン	ONE ASIA	2009.02.06 2009.02.07 ～ 2009.02.08 2009.02.09 2009.02.10 2009.02.11	音楽（ポップス）。「GYPSY QUEEN」による巡回公演。日本・メコン交流年記念事業。
88	松尾邦彦ほか （マルチメディ ア・パフォーマンス）インド公 演	インド	バンガロール	シーエムピーラボラト リー	2009.02.06	マルチメディアパフォーマンス。インド・バンガロールで開催されたコンテンポラリーダンスとデジタルアートのフェスティバル「The Attakkalari India Biennial 2009」のオープニング作品City on the Moveを、松尾邦彦（メディアアート）、濱中直樹（舞台美術）、松本充明（音楽）、松本薫（振付）がインドや欧州のアーティストらと共同制作。
89	ヤドランカ他 （歌、薩摩琵琶、 琴）東欧公 演	クロアチア ボスニア・ヘル ツェゴビナ	ザグレブ サラエボ パニャ ルカ	株式会社 ワンステッ プワークショップ	2009.02.06 2009.02.08 2009.02.11	音楽。ヤドランカ・ストヤコビッチ（歌手）が坂田美子（薩摩琵琶）、稲葉美和（箏）と共演。現代音楽や、旧ユーゴ地域、日本、欧州の民謡・古典曲を演奏。「サラエボ・ウィ ンター・フェスティバル」に参加。

舞台芸術事業費

	事業名	対象国	都市	助成機関	公演日	事業内容
90	大野敬正（津軽三味線）欧州公演	オランダ フランス ルクセンブルグ フランス ベルギー フランス	ライデン パリ ルクセンブルグ メス ブリュッセル リヨン フォルカルキエ パリ	株式会社 サウンドワークス	2009.02.08 2009.02.11 2009.02.13 2009.02.14 2009.02.15 2009.02.17 2009.02.18 2009.02.20	音楽（伝統音楽）。大野敬正（津軽三味線）の欧州公演。
91	藤井郷子ma-do（ジャズ）欧州公演	オランダ ベルギー ドイツ 英国 ドイツ オーストリア ポーランド ドイツ フランス	アイントホーフェン ゲント ケルン ビーレフェルト ロンドン ブリストル ベルリン ルデルスドルフ ウィーン クラクフ ミュンヘン ノイブルク・アン・デア・ドナウ リール	藤井 郷子	2009.02.09 2009.02.10 2009.02.12 2009.02.13 2009.02.16 2009.02.17 2009.02.18 2009.02.21 2009.02.23 2009.02.25 2009.02.27 2009.02.28 2009.03.02	音楽（ジャズ）。藤井郷子（ピアノ）が2007年に結成した日本人カルテット「ma-do」（トランペット、ピアノ、ベース、ドラム）を率いて欧州各地で公演。フェスティバルに参加。
92	鼓童&太鼓オズ オーストラリア公演	オーストラリア	シドニー メルボルン	株式会社 北前船	2009.02.21 ~ 2009.02.22 2009.02.24 ~ 2009.02.25	和太鼓。佐渡に根拠を置くグループ「鼓童」が豪州唯一のプロ太鼓グループTaiko0z（太鼓オズ）と共演。演目は、両グループによる太鼓曲のほか、日本の唄（民謡）や踊り（民俗舞踊）など。
93	早稲田大学交響楽団 欧州公演	ドイツ オーストリア ドイツ フランス	ヴィースバーデン フライブルク ザルツブルク ウィーン ライプツィヒ フランクフルト・アン・デア・オーデル ベルリン ドレスデン オーバーハウゼン ボン パリ	早稲田大学交響楽団	2009.02.22 2009.02.25 2009.02.27 2009.03.02 2009.03.04 2009.03.05 2009.03.08 2009.03.09 2009.03.12 2009.03.13 2009.03.14	クラシック音楽。田中雅彦、山下一史の指揮による、早大の公式交響楽団としての第12回目海外公演。演目は『日本太鼓とオーケストラのためのモノプリズム』（石井真木・作曲）のほか、ウェーバーやモーツァルトの作品など。

舞台芸術事業費

	事業名	対象国	都市	助成機関	公演日	事業内容
94	米澤浩（尺八） 欧州公演	イタリア サンマリノ デンマーク オーストリア	ローマ モデナ サンマリノ コペンハーゲン スヴェンボー ウィーン	米澤 浩	2009.02.25 ～ 2009.02.26 2009.02.28 2009.03.02 2009.03.06 2009.03.09 2009.03.12 ～ 2009.03.16	米澤浩（尺八）と熊沢栄利子（箏）による邦楽公演。曲目は『南島淡彩之譜』『双魚譜』『片足鳥居の映像』等。
95	ダンスカンパ ニー金魚 香港公 演	中国	香港	金魚（鈴木 ユキオ）	2009.02.27 ～ 2009.02.28	ダンス。鈴木ユキオ（振付家・ダンサー）による『沈黙とはかりあえるほどに』を、香港アートフェスティバルにて上演。ワークショップも実施。
96	日本音楽集団 （邦楽）カナダ 公演	カナダ	バンフ カルガリー エドモントン	特定非営利活動法人 日本音楽集団	2009.03.06 2009.03.08 2009.03.10 ～ 2009.03.11	邦楽。『越天楽』の他、三木稔、吉松隆による作品を演奏。日本の伝統楽器のワークショップも実施。
97	室伏鴻（舞踏） 南米公演	エクアドル コロンビア	キト ボゴタ カリ	ケークンスト	2009.03.15 2009.03.18 ～ 2009.03.20 2009.03.21	舞踊。室伏鴻による公演及びワークショップ。演目は『Quick Silver』。エクアドルでは「第7回インターナショナル・ダンスフェスティバル」に参加。
98	田中泯（舞踏） 中国公演	中国	北京 黔東南ミャオ族トン族 自治州	R PRODUCTION	2008.03.22 ～ 2009.03.22 2009.03.24 ～ 2009.03.30	舞踏。中国貴州省の少数民族自治州にて、稲作をテーマとして、舞踏家の田中泯が「場踊り」を展開。3年計画「21世紀日中舞台芸術交流プロジェクト」の2年目。
99	アンサンブル遊 聲（現代音楽） オーストリア公 演	オーストリア	ザルツブルク	アンサンブル遊聲	2009.03.22	現代音楽祭「第1回ザルツブルグ・ピエンナーレ」にて、4人のテーマ作曲家の1人に選ばれた細川俊夫の作品と、雅楽および声明を上演。
100	LEX2009ージャパ ニーズ・エクス ペリエンス（フ ランス）	フランス	ニーム	JAAPAN	2009.03.24 ～ 2009.03.28	音楽、ダンスほか。2007年以降2年おきに仏ニーム市で開催される日本の現代アートを紹介する大規模イベント「LEX(ジャパニーズ・エクスペリエンス)」の第2回目。プロジェクト大山、Kentaro!!、三上寛、ASA-CHANG&巡礼、RUINS ALONE、東京パノラママンボボーイズほか、19のグループ/アーティストが参加。
101	豊住芳三郎（ド ラム）他レバノ ン公演	レバノン	ベイルート	豊住 芳三郎	2009.04.03 ～ 2009.04.10	音楽（ジャズ即興）。豊住芳三郎（ドラム）と康勝栄（ギター）が、即興音楽の国際音楽祭「Irtijal」にて公演。レバノンおよび各国の音楽家と共演。

舞台芸術事業費

	事業名	対象国	都市	助成機関	公演日	事業内容
102	赤尾三千子ほか (横笛・声明 等) バルト三国 公演	エストニア ラトビア リトアニア	タリン ヴェンツピルス リガ ビリニュス	赤尾 三千子	2009. 05. 05 2009. 05. 07 2009. 05. 09 2009. 05. 11	横笛の赤尾三千子が芸術監督を務め、横笛、 声明(新井弘順他)、パーカッション(佐藤 康和)らにより、折口信夫『死者の書』を題 材にした『蓮曼茶羅』を上演。
103	平成中村座ヨー ロッパ公演	ドイツ ルーマニア	ベルリン シビウ	平成中村座ヨーロッパ 公演実行委員会	2009. 05. 14 ~ 2009. 05. 21 2009. 05. 29 ~ 2009. 06. 01	伝統演劇(歌舞伎)。中村勘三郎率いる平成 中村座が、ベルリン「世界文化の家」及びシ ビウ国際演劇祭にて『夏祭浪花鑑』を上演。
104	バルカン室内管 弦楽団 コソボ 公演	コソボ	スペチャン ミトロヴィツァ	柳澤 寿男	2009. 05. 17 2009. 05. 17	クラシック音楽。旧東欧地域で活動を続ける 指揮者・柳澤寿男が、バルカン半島の文化・ 民族の共栄を願って設立したバルカン室内管 弦楽団(日本人、アルバニア人、マケドニア 人により構成)を率い、演奏会を実施。
105	山本寛齋『スー パーショー』イ ンドネシア公演	インドネシア	デンパサル	株式会社 山本寛齋事 務所	2009. 05. 23	スーパーショー。日本・インドネシア国交樹 立50周年を記念し、大規模な屋外ショーをバ リ島で実施。インドネシアからアグネス・モ ニカ(歌手)、ガムラン奏者、バリ舞踊、日 本からは炎太鼓(和太鼓)、里アンナ(奄 美島唄)、近藤等則(トランペット)などが 参加。

舞台芸術事業費

2. 催し等事業費 / (3) 国際舞台芸術共同制作

海外の舞台関係者と日本側が、海外または日本において共同で作品を制作し公演を実施する。

合計額 7,411,471 円

	事業名	対象国	都市	会場	期間	共催機関	事業内容
1	日本・韓国・ フィリピン共同 制作 トスカ・プ ロジェクト2008	韓国 フィリピン	ソウル マニラ	フーヨン文化セ ンター PETAシアターセ ンター	2008.08.23 ~ 2008.09.07	劇団 黒テント / 有限会社 黒 色テント	フィリピンのPETA、韓国の劇団ノット ル、日本の黒テントによる共同制作演 劇公演。プッチーニのオペラ『トス カ』に取材。
2	日タイダンス共 同制作「コウカ シタ」	タイ	東京	あうるすぽっと	2009.03.14 ~ 2009.03.20	フェスティバル / トーキョー実 行委員会	フェスティバル/トーキョー実行委員会 との共催により、井手茂太の振付、日 本・タイのダンサーによる『コウカシ タ』を、フェスティバル/トーキョー09 春にて上演。

舞台芸術事業費

2. 催し等事業費 / (4) 国内公演 (主催)

日本国内においてあまり知られていない国・地域の舞台芸術・芸能を、主催又は共催により日本に紹介する。

合計額 8,088,987 円

	事業名	対象国	都市	会場	公演日	事業内容
1	ドゥドゥ・ニ ジャエ・ロー ズ・パーカッ ション・オーケ ストラ招聘公演	セネガル	横浜市 東京 つくば市 新潟県 宮城県	関内ホール 東京国際フォー ラム・ホールC ノバホール 魚沼市小出郷文 化会館 えずこホール (仙南芸術文化 センター)	2008.05.16 ~ 2008.05.17 2008.05.20 2008.05.21 2008.05.22 2008.05.23	第4回アフリカ開発会議 (TICAD IV) を記念して、アフリカを代表するパーカッショニスト、ドゥドゥ・ニジャエ・ローズとそのオーケストラによる公演を開催。横浜では「ヒダノ修一スーパー太鼓プロジェクト」、東京では「は・や・と」と共演。学生対象のワークショップも実施。

舞台芸術事業費

2. 催し等事業費 / (5) 国内公演 (助成)

ODA対象国 (アジア・東欧については全域) の公演団体による、演劇、音楽、舞踊、民族芸能等の日本国内での公演 (日本の芸術家との国際共同制作を含む) について、国内の受入団体に対して経費の一部を助成する。

合計額 21,471,000 円

	事業名	参加国	参加人数	開催都市	助成機関	期間	事業内容
1	アフリカ エクスぺリエンス	ルワンダ	13	横浜市	大野一雄舞踏研究所	2008.05.23 ~ 2008.05.25	現代演劇。ルワンダの劇団Urwintoreが、アウシュビッツ裁判を題材にした故ペーター・ヴァイス (小説家) の小説を原作とする『追求』を上演。
2	ワールド・ビート2008~シンク・オブ・ワン・ウィズ・キャンピング・シャアビ来日公演	モロッコ ベルギー	3 9	河内長野市 東京	株式会社 プラントン	2008.07.04 ~ 2008.07.05 2008.07.06 ~ 2008.07.09	音楽 (ワールドミュージック)。音楽祭「ワールド・ビート2008」にモロッコとベルギーの音楽家達による混成グループ「シンク・オブ・ワン・ウィズ・キャンピング・シャアビ」を招へい。
3	第24回く東京の夏>音楽祭2008 森の響き・砂漠の声	ブラジル アルジェリア	16 17	東京	財団法人 アリオン音楽財団	2008.07.12 ~ 2008.07.19	民族音楽ほか。アルジェリアのサハラ先住民・トゥアレグ族及びブラジルのカラジャ族を招へいし、伝統的な歌と踊りの公演、ワークショップを実施。
4	ワヤン・クリ公演『青銅音曲X/アルジュノの饗宴~マハーバーラタより』	インドネシア	1	東京 神戸市	ガムラングループ・ランバンサリ	2008.07.18 ~ 2008.07.19 2008.07.21	民族芸能 (インドネシア影絵劇)。ジャワ島中部に伝わる影絵劇ワヤン・クリの公演。プルボ・アスモロが遣う影絵人形に、日本人のガムラン音楽グループ「ランバンサリ」が演奏を付けて上演。
5	2008国際児童・青少年演劇フェスティバルおきなわ	セルビア シリア	8 6	沖縄市	国際児童・青少年演劇フェスティバルおきなわ実行委員会 <キジムナーフェスタ実行委員会>	2008.07.19 ~ 2008.07.20 2008.07.26 ~ 2008.07.27	演劇。第4回となる演劇祭で観客の年齢に関係なく楽しめる海外作品を紹介。演目は『ストーン・プリンス』(セルビア)、『ゴドーを待ちながら』(シリア)。

舞台芸術事業費

	事業名	参加国	参加人数	開催都市	助成機関	期間	事業内容
6	クーリヤッタム 2008 日本公演	インド	11	井原市 神戸市 京都市 豊田市 東京 小田原市 山梨県 東京 横浜市	クーリヤッタム 2008日本上演委 員会	2008.08.02 2008.08.03 2008.08.05 ~ 2008.08.06 2008.08.08 2008.08.10 ~ 2008.08.11 2008.08.12 2008.08.15 ~ 2008.08.16 2008.08.25 2008.08.26	民族芸能（インド古典劇）。南インド・ケー ララ州に現存する世界最古のサンスクリット 劇「クーリヤッタム」の2作品を日本各地で 公演。フェスティバル「ダンス白州2008」に参 加、ワークショップも実施。
7	カリビアンビー トフェスティバ ル イスラ・ デ・サルサ2008	コロンビア ブラジル	18 8	広島市 福岡市 京都市 金沢市 名古屋市 東京 宮城県	特定非営利活動 法人 ティエン ポ・イベロアメ リカーノ	2008.08.08 2008.08.09 ~ 2008.08.10 2008.08.13 2008.08.14 2008.08.15 2008.08.16 2008.08.17	音楽（ポップス）。コロンビアからサルサバ ンド「La-33」を招へい。福岡で実施するラ テン音楽の野外フェスティバル「カリビアン ビートフェスティバル イスラ・デ・サルサ 2008」をはじめ日本各地で公演。
8	アジア・ユー ス・オーケスト ラ 東京公演	韓国 中国 シンガポール タイ フィリピン ベトナム マレーシア	19 50 3 6 6 4 4	東京	アジア・ユー ス・オーケスト ラ日本事務局	2008.08.10 ~ 2008.08.12	クラシック音楽。アジア各国からオーデイ ションで選ばれた若い演奏家により編成。 香港での合同合宿を経て各地を巡演する、 一夏限りのオーケストラ。
9	エチオピア民族 舞踊団 日本公 演	エチオピア	11	東京 川崎市 京都市 新城市 横浜市 東京	社団法人 日本 エチオピア協会	2008.11.02 2008.11.03 2008.11.04 2008.11.06 2008.11.07 2008.11.08	民族芸能。エチオピア国立劇場所属の音楽家 による演奏と各民族のダンス。「アフリカ ン・フェスタ2008」ほかで公演。

舞台芸術事業費

	事業名	参加国	参加人数	開催都市	助成機関	期間	事業内容
10	タンザニア チビテ舞踊団日本公演2008	タンザニア	9	伊丹市 岡山市 京都市 宇治市 東京 宇治市	エチオプス・アート日本委員会	2008.11.15 2008.11.16 2008.11.18 2008.11.19 2008.11.20 2008.11.22	民族芸能。タンザニアの伝統音楽・舞踊のグループ「チビテ」による公演。主目的は、伝統文化を継承していくことの実践(デジタル記録化)について啓蒙すること。

舞台芸術事業費

2. 催し等事業費 / (6) 舞台芸術情報交流 (催し)

国内外の舞台芸術団体、プレゼンター、フェスティバル実施団体、劇場、地方公共団体間の情報交流促進を図る。

合計額 35,729,457 円

	事業名	対象国	共催機関	期間	事業内容
1	インドネシアJ-POPラジオ番組制作	インドネシア		2008.04.01 ~ 2008.12.31	日本のポップスおよび文化情報を紹介するラジオ番組「TOKYO BEAT III」をインドネシア向けに制作、同国各地のラジオ局計99局と提携し、2008年を通じて放送。日本インドネシア国交樹立50周年記念。
2	舞台芸術ウェブサイト	全世界区分困難		2008.04.01 ~ 2009.03.31	日本の現代舞台芸術情報を海外に発信する、日英2カ国語によるウェブサイト「Performing Arts Network Japan」を運営。アーティスト・インタビュー、戯曲紹介、データベース等を通じて最新状況を紹介し、舞台芸術分野における国際交流の活性化に寄与。
3	韓国PAMSショーケース	韓国		2008.10.10	ソウル舞台芸術見本市 (PAMS) と東京芸術見本市 (TPAM) との相互協力の一環として、PAMSにてショーケース公演を実施。出演は、中川果林 (二十五弦箏)、海津賢 (ピアノ)、YAO (パーカッション)。
4	東京芸術見本市2009	全世界区分困難	NPO法人国際舞台芸術交流センター 財団法人地域創造	2009.03.04 ~ 2009.03.07	日本の舞台芸術に関する情報を海外へ発信するとともに、内外の舞台芸術関係者間の交流を促進する。財団法人地域創造、NPO法人国際舞台芸術交流センター (PARC) と共催。

文化芸術交流事業に必要な経費

映像出版事業費

1. 人物交流事業費

- (1) アニメ文化大使

2. 催し等事業費

- (1) 海外日本映画祭（主催）
- (2) 海外日本映画祭（助成）
- (3) 外国理解促進国内映画祭（主催）
- (4) 外国理解促進国内映画祭（助成）
- (5) 日本マンガ大賞
- (6) 映像出版情報交流（催し）

3. 文化資料事業費

- (1) テレビ番組交流促進
- (2) フィルムライブラリー充実（本部）
- (3) フィルムライブラリー充実（海外）
- (4) 国際図書展参加
- (5) 映像出版情報交流（文化資料）

4. 日本研究事業費

- (1) 日本理解促進映画・テレビ番組制作（助成）
- (2) 日本理解促進出版・翻訳（主催）
- (3) 日本理解促進出版・翻訳（助成）

映像出版事業費

1. 人物交流事業費 / (1) アニメ文化大使

ポップカルチャーを通じた文化外交の一環として、複数言語による字幕版アニメDVDを製作する。

合計額 5,042,072 円

	事業名	対象国	対象機関	期間	事業内容
1	アニメ文化大使（ドラえもん）	全世界区分困難	外務省 株式会社小学館	2008.04.18 ~ 2009.03.31	ポップカルチャーを通じた文化外交の一環として、アニメ文化大使を創設、ドラえもんが就任。映画『ドラえもん のび太の恐竜2006』の4カ国語字幕版DVDを製作し、在外公館及び基金海外事務所にて上映。

2. 催し等事業費 / (1) 海外日本映画祭（主催）

在外公館や国際交流基金海外事務所が実施する日本映画上映事業への協力を行う。

合計額 32,793,166 円

	事業名	対象国	共催機関	期間	事業内容
1	五所平之助監督特集	ドイツ	ケルン日本文化会館	2008.03.01 ~ 2008.06.30	『マダムと女房』『今ひとたびの』『煙突の見える場所』等、五所平之助監督の24作品を上映。
2	東欧巡回日本映画祭	オーストリア ギリシャ クロアチア スロバキア チェコ ハンガリー ブルガリア ポーランド ボスニア・ヘルツェゴ ビナ ラトビア リトアニア ルーマニア	在オーストリア大使館 在ギリシャ大使館 在クロアチア大使館 在スロバキア大使館 在チェコ大使館 ブダペスト日本文化センター 在ブルガリア大使館 在ポーランド大使館 在ボスニア・ヘルツェ ゴビナ大使館 在ラトビア大使館 在リトアニア大使館 在ルーマニア大使館	2008.05.13 ~ 2009.03.12	『たそがれ清兵衛』『ビリケン』『二人日和』『2/デュオ』『チルソクの夏』『ALWAYS 三丁目の夕日』『カリスマ』を上映。12カ国を巡回。
3	ソウル国際漫画アニメーションフェスティバル(SICAF)2008	韓国	ソウル日本文化センター	2008.05.21 ~ 2008.05.25	『Freedom』（森田修平監督）、『ストレンジア-無皇刃譚-』（安藤真裕監督）、『深夜-日本アニメーション探検・旅行』を上映。また、森田監督と安藤監督を招へい。

映像出版事業費

	事業名	対象国	共催機関	期間	事業内容
4	仲代達矢特集	米国	ニューヨーク日本文化センター	2008.06.20 ~ 2008.07.17	仲代達矢出演作品『鬼龍院花子の生涯』『地獄変』『殺人狂時代』『吾輩は猫である』『女が階段を上る時』『黒い河』『金環蝕』他計28作品を上映。また同氏と野上照代氏を招へいしてイベントを開催。
5	EIGASAI 2008 青春映画	フィリピン	マニラ日本文化センター	2008.07.08 ~ 2008.08.16	『運命じゃない人』『空中庭園』『時をかける少女』『リンダ リンダ リンダ』他計9作品を上映。マニラ、セブ、ダバオの3都市を巡回。
6	日本映画祭2008	マレーシア	クアラルンプール日本文化センター	2008.07.15 ~ 2008.07.27	『トニー滝谷』『嫌われ松子の一生』『14歳』『時をかける少女』等の新作に加えて、市川崑監督追悼特集として『ビルマの豎琴』『黒い十人の女』等を上映。合計10作品を、クアラルンプール及びペナンにて上映。
7	知られざる小津安二郎監督作品特集	アルゼンチン エクアドル	在アルゼンチン大使館 在エクアドル大使館	2008.08.01 ~ 2008.08.10	小津安二郎監督作品『落第はしたけれど』『若き日』『東京の合唱』『出来ごころ』『お茶漬の味』他計11作品をアルゼンチンとエクアドルで上映。エクアドル分は日エクアドル外交関係樹立90周年記念事業の一環として開催。
8	日本映画祭	シンガポール	在シンガポール大使館	2008.08.22 ~ 2008.08.31	『いつか読書する日』『山椒大夫』『風の中の牝鷄』『銀座化粧』『おかあさん』『放浪記』『浮雲』『恋文』他計12作品を上映。
9	日カンボジア友好年2008「日本映画祭」	カンボジア	在カンボジア大使館	2008.08.23 ~ 2008.08.31	『どんぐりの家』『ウォーターボーイズ』を上映。
10	小津安二郎監督特集	メキシコ	メキシコ日本文化センター	2008.09.02 ~ 2008.09.14	小津安二郎監督作品『落第はしたけれど』『若き日』『東京の合唱』『出来ごころ』『風の中の牝鷄』『お茶漬の味』『早春』他計11作品を上映。
11	松竹の歴史特集	フランス	パリ日本文化会館	2008.09.09 ~ 2008.10.04	松竹の作品を、戦前の作品から「寅さん」シリーズ、『顔』『たそがれ清兵衛』まで計23作品上映。
12	カナダ巡回日本映画祭	カナダ	在カルガリー総領事館 在モントリオール総領事館 在カナダ大使館 在バンクーバー総領事館	2008.09.20 ~ 2008.12.16	『金融破滅ニッポン・桃源郷の人々』『半落ち』『深呼吸の必要』『死者の書』を8都市（バンクーバー、ビクトリア、オタワ、カルガリー、エドモントン、モントリオール、セント・ジョーンズ、フレデリクトン）で巡回上映。
13	第42回日本映画祭/第10回日本映画レトロスペクティブ	ロシア	在サンクト・ペテルブルグ総領事館 在ロシア大使館	2008.09.24 ~ 2009.12.02	『ALWAYS 三丁目の夕日』『運命じゃない人』『下妻物語』他計8作品を上映（第42回日本映画祭）。『河内山宗俊』『生きる』『お遊さま』『煙突の見える場所』
14	日本映画祭2008	ラオス	在ラオス大使館	2008.09.27 ~ 2008.09.28	『銀河鉄道999』『ガラスのうさぎ』を上映。

映像出版事業費

	事業名	対象国	共催機関	期間	事業内容
15	ドキュメンタリー映画特集	ドイツ	ケルン日本文化会館	2008.10.02 ～ 2008.12.22	日本を代表するドキュメンタリー監督である小川紳介監督、原一男監督、土本典昭監督作品（『三里塚 辺田部落』『極私的エロス・恋歌1974』『不知火海』他）計14作品を上映。
16	日越外交関係樹立35周年記念ハノイ・ハイフォン日本映画祭	ベトナム	在ベトナム大使館	2008.10.10 ～ 2008.10.21	『花よりもなほ』『未来予想図』『わたしのグランパ』『卓球温泉』他計8作品を上映。
17	日本映画祭	ザンビア	在ザンビア大使館	2008.10.14 ～ 2008.10.16	『どら平太』と『壬生義士伝』を首都ルサカで上映。
18	日本映画祭	ブルネイ	在ブルネイ大使館	2008.10.15 ～ 2008.10.22	『たそがれ清兵衛』『ちびまる子ちゃん（大野君と杉山君）』『キッズ・リターン』を上映。
19	日本映画祭	インド	ニューデリー日本文化センター 在ムンバイ総領事館 在チェンナイ総領事館 在コルカタ総領事館	2008.10.17 ～ 2009.01.18	木下恵介監督作品『少年期』『カルメン純情す』『春の夢』『香華』『二十四の瞳』『大曾根家の朝』他を上映。ムンバイ、チャンディール、カルナル、チェンナイ、コルカタの5都市を巡回。
20	第2回日本映画週間	モンゴル	在モンゴル大使館	2008.10.22 ～ 2008.10.26	『ミンボーの女』『のど自慢』『MONDAY』『マルサの女』『リンダ リンダ リンダ』を上映。
21	日越外交関係樹立35周年記念ホーチミン市日本映画祭	ベトナム	在ホーチミン総領事館	2008.11.01 ～ 2008.11.07	『わたしのグランパ』『卓球温泉』『わが青春のアルカディア』『ファンシイダンス』を上映。
22	第12回巡回日本映画祭	オーストラリア	シドニー日本文化センター	2008.11.05 ～ 2008.12.09	『明日の記憶』『嫌われ松子の一生』等の作品を、キャンベラ、メルボルン、パース、ブリスベン、シドニーの5都市にてそれぞれ3作品～15作品上映。
23	日本映画祭2008	アイルランド	在アイルランド大使館	2008.11.14 ～ 2008.11.27	『時をかける少女』『GO』『マインド・ゲーム』『ホテル・ハイビスカス』を上映。ダブリン、コーク、リムリックの3都市を巡回。
24	日本映画祭	ホンジュラス	在ホンジュラス大使館	2008.11.26 ～ 2008.11.30	『生きる』『赤い殺意』『怪談』『伽椰子のために』『神様のくれた赤ん坊』を上映。
25	カナダ巡回日本映画祭	カナダ	トロント日本文化センター	2008.11.26 ～ 2008.12.01	『死者の書』『金融破滅ニッポン・桃源郷の人々』『深呼吸の必要』『半落ち』を2都市（トロント、ハミルトン）で上映。
26	第10回ジャカルタ国際映画祭	インドネシア	ジャカルタ日本文化センター	2008.12.05 ～ 2009.01.28	ジャカルタ国際映画祭との共催で『アキレスと亀』『トウキョウソナタ』の2作品を上映。その後、同映画祭フォローアップ企画として、「北野武+黒沢清特集」を実施。『菊次郎の夏』『HANA-BI』『アカルイミライ』等13作品を上映。

映像出版事業費

	事業名	対象国	共催機関	期間	事業内容
27	川喜多かしこ生誕100周年記念特集	ドイツ	ケルン日本文化会館	2009.01.05 ~ 2009.03.05	過去に川喜多賞を受賞した日本を代表する監督8人の主要作品（『復讐するは我にあり』『満員電車』『東京流れ者』『殺しの烙印』『午後の遺言状』等）計24作品を上映。
28	川喜多かしこ生誕100周年記念特集	イタリア	ローマ日本文化会館	2009.01.08 ~ 2009.03.12	過去に川喜多賞を受賞した日本を代表する監督8人の主要作品（『復讐するは我にあり』『満員電車』『東京流れ者』『殺しの烙印』『午後の遺言状』等）計21作品を上映。
29	日本映画祭	ミャンマー	在ミャンマー大使館	2009.01.18 ~ 2009.02.26	『ナビィの恋』『ウォーターボーイズ』『リンダ リンダ リンダ』『卓球温泉』をヤンゴン及びマンダレーにて上映。
30	トルコ巡回日本映画祭	トルコ	在トルコ大使館 在イスタンブール総領事館	2009.01.22 ~ 2009.01.25	『児童のクゥと夏休み』『あの夏、いちばん静かな海。』『生きる』他計6作品を上映（第7回アンカラ日本映画祭）。『生きる』『浮雲』『下妻物語』他計11作品を上映（第6回イスタンブール日本映画祭）。
31	南部大学巡回日本映画上映会	米国	ニューヨーク日本文化センター	2009.01.27 ~ 2009.03.18	『女が階段を上る時』『CURE』『殺人狂時代』『ポストマン・ブルース』『マインド・ゲーム』を上映。米国南部の4大学を巡回。
32	Reality Fiction: Japanese Films Inspired by Actual Events	英国	ロンドン日本文化センター	2009.02.06 ~ 2009.03.19	『裸の十九歳』『日本列島』『いつか読書する日』など実際に起こった出来事・実話を基に製作された作品6本を上映。ロンドン、ブリストル、ベルファースト、エジンバラ、シェフィールドの5都市を巡回。
33	アルジェ日本映画週間	アルジェリア	在アルジェリア大使館	2009.02.12 ~ 2009.02.19	『猫の恩返し』と『ゲド戦記』をコンスタンティヌとアルジェで上映。
34	日本映画祭	ウガンダ 南アフリカ	在ウガンダ大使館 在南アフリカ共和国大使館	2009.02.27 ~ 2009.03.22	『運命じゃない人』『下妻物語』『まあだだよ』『深呼吸の必要』を上映。ウガンダ（カンパラ）と南アフリカ（プレトリア、ヨハネスブルグ、ケープ・タウン）を巡回。
35	ウェリントン日本映画祭	ニュージーランド	在ニュージーランド大使館	2009.03.18 ~ 2009.03.20	『LIMIT OF LOVE 海猿』『ルパン三世 カリオストロの城』『DEATH NOTE デスノート 前編』を上映。
36	バンコク日本映画祭2009	タイ	バンコク日本文化センター	2009.03.20 ~ 2009.03.22	「桜」または「日本の春」を映像美で感じられる作品として『夕風の街 桜の国』『ハチミツとクローバー』『細雪』『舞妓Haaaaan!!!』『花とアリス』『クロズド・ノート』を上映。

映像出版事業費

2. 催し等事業費 / (2) 海外日本映画祭 (助成)

海外の国際映画祭、芸術祭、映画専門団体が企画・実施する日本映画上映事業を助成する。

合計額 20,637,509 円

	事業名	対象国	助成機関	期間	事業内容
1	成瀬巳喜男映画祭	ポルトガル	シネマテカ・ポルト ゲーサ	2008.02.01 ~ 2008.04.30	『女が階段を上る時』『流れる』等、成瀬巳喜男監督の29作品を特集上映。
2	吉田喜重監督特集	フランス	ボンビドー・センター	2008.03.26 ~ 2008.05.19	『ろくでなし』『秋津温泉』『エロス+虐殺』等、吉田喜重監督の劇映画全19作品と、同監督のTVドキュメンタリー『美の美』シリーズや『吉田喜重が語る小津安二郎の映画世界』等を上映。また、吉田監督と岡田茉莉子(女優)を招へいし、トークを開催。
3	ブラッセル国際ファン タスティック映画祭	ベルギー	ASBL Peymey Diffusion	2008.03.27 ~ 2008.04.08	『北斗の拳』(今村隆寛)、『大日本人』(松本人志)、『エクステ』(園子温)等、日本映画11作品に加え、『ローゼンメイデントロイメント』『コヨーテラグタイムショー』等、TVアニメ番組を4作品上映。原田真人監督、園子温監督や関係者を招へいしてトークや関連イベントを開催。
4	ニッポン・コネクショ ン	ドイツ	ニッポン・コネクショ ン事務局	2008.04.02 ~ 2008.04.06	『秒速5センチメートル』(新海誠)、『サイドカーに犬』(根岸吉太郎)、『リンダ リンダ リンダ』(山下敦弘)等、日本映画21作品を上映。それに加え、デジタル表現による映画、60年代70年代のアニメ映画の回顧などをテーマに26プログラムを上映。また、監督や関係者を招へいし、関連イベントを開催。
5	第2回日本アニメ映画 祭	エストニア	CINEMA NOUVEAU OU	2008.04.04 ~ 2008.04.13	『となりのトトロ』『風の谷のナウシカ』『天空の城ラピュタ』などのスタジオ・ジブリ作品や『パブリカ』(今敏)『秒速5センチメートル』(新海誠)など日本のアニメ22作品を上映。
6	第27回イスタンブール 国際映画祭	トルコ	イスタンブール文化芸 術財団	2008.04.05 ~ 2008.04.20	『愛の予感』(小林政広)、『スキヤキ・ウェスタンジャンゴ』(三池崇史)、『監督バンザイ!』(北野武)の3作品を上映。
7	日本映画祭/ロサンゼ ルス	米国	日米メディア協会	2008.04.11 ~ 2008.04.20	『フラガール』(李相日)、『電車男』(村上正典)、『花よりもなほ』(是枝裕和)等、日本映画の近作25作品を上映。柳明菜監督らを招へいし、前夜祭やシンポジウムを開催。
8	内田吐夢監督特集	米国	バム・シネマテーク	2008.04.11 ~ 2008.04.30	『妖刀物語・花の吉原百人斬り』『自分の穴の中で』『血槍富士』等、内田吐夢監督10作品上映。

映像出版事業費

	事業名	対象国	助成機関	期間	事業内容
9	日本アンダーグラウンド映画傑作選	韓国	韓国シネマテーク協議会	2008.04.22 ~ 2008.05.12	『ゆきゆきて、神軍』(原一男)、『薔薇の葬列』(松本俊夫)、『田園に死す』(寺山修司)等、60~80年代の日本映画18作品を上映。また日韓の専門家を招へいしてシンポジウム・講演会を開催。
10	第15回シュトゥットガルト・フェスティバル	ドイツ	映像メディアフェスティバル社	2008.05.01 ~ 2008.05.06	『鉄腕アトム』『ブラック・ジャック』等、手塚治虫の作品を特集上映。また『カフカ田舎医者』(山村浩二)、『ゲゲゲの鬼太郎』(水木しげる原作)など、日本のアニメを13作品上映。
11	小川紳介監督特集	中国	Li Xianting's Film Fund	2008.05.25 ~ 2008.05.31	小川伸介監督の作品『三里塚』シリーズ等計10作品を特集上映。また、映画人を招へいしてシンポジウムを開催。
12	第9回ニホン・メディア	ドイツ	ニホン・メディア	2008.05.28 ~ 2008.06.01	『GOGO まりこ』(前野朋哉)、『chain』(加治屋彰人)、『スキヤキ・ウエスタン・ジャンゴ』(三池崇史)等日本映画28作品を上映。また、加治屋監督、前野監督ら映画関係者8名を招へいし、関連イベントを開催。
13	第55回シドニー映画祭	オーストラリア	シドニー映画祭事務局	2008.06.04 ~ 2008.06.22	『トウキョウソナタ』(黒沢清)、『狂った一頁』(衣笠貞之助)、『スキヤキ・ウエスタン・ジャンゴ』(三池崇史)等6作品を上映。黒沢清監督を招へい。
14	アニメーション・エクスチェンジ	カナダ	Bravo! FACT	2008.06.10 ~ 2008.09.22	若手作家による短編アニメーションプログラムを上映。アニメーターを招へい。
15	第62回エジンバラ国際映画祭	英国	エジンバラ国際映画祭	2008.06.18 ~ 2008.06.29	クリエイターのMotomichi Nakamuraを招へいし、『An Unusual Void』『Wolfie The Pianist』等の3作品を上映、ならびに教育プログラムを実施。
16	第2回Japan Cuts	米国	ジャパン・ソサエティ	2008.07.02 ~ 2008.07.13	『殞の森』(河瀬直美)、『実録・連合赤軍ーあさま山荘への道』(若松孝二)、『ALWAYS 続・三丁目の夕日』(山崎貴)、『さくらん』(蜷川実花)等日本映画の新作を長編18作品、短編60作品上映。また河瀬監督らを招へいしてQ&A等を開催。
17	第12回富川国際映画祭-ファンタジーフェスティバル	韓国	富川国際ファンタジー映画祭組織委員会	2008.07.18 ~ 2008.07.27	『太平洋ひとりぼっち』(市川崑)、『日本列島』(熊井啓)、『河内山宗俊』(山中貞雄)等計29作品を上映。多数の映画人を招へいし、シンポジウムを開催。
18	第29回ダーバン国際映画祭	南アフリカ	センター・フォー・クリエイティブ・アーツ	2008.07.23 ~ 2008.08.03	『監督・ばんざい!』(北野武)、『殞の森』(河瀬直美)の2作品を上映。
19	第17回ブリスベン国際映画祭	オーストラリア	Pacific Film & Television Commission	2008.07.31 ~ 2008.08.10	『スキヤキ・ウエスタン・ジャンゴ』(三池崇史)、『東京残酷警察』(西村喜廣)等5作品を上映。『東京残酷警察』の主演女優しいなえいひを招へい。

映像出版事業費

	事業名	対象国	助成機関	期間	事業内容
20	第19回サンパウロ国際短編映画祭	ブラジル	キノフォーラム文化協会	2008.08.21 ~ 2008.08.29	『わたしが沈黙するとき』（山本兵衛）を上映。山本監督を招へいし、上映後に観客との対話の場を設けた。
21	トロント国際映画祭	カナダ	トロント国際映画祭事務局	2008.09.04 ~ 2008.09.13	『アキレスと亀』（北野武）、『ぐるりのこと』（橋口亮輔）、『歩いてても歩いても』（是枝裕和）等9作品を上映。是枝監督をはじめ、監督・映画関係者を多数招へい。
22	ジンバブエ国際映画祭	ジンバブエ	ジンバブエ国際映画祭事務局	2008.09.05 ~ 2008.09.14	『ストロベリーショートケイクス』（矢崎仁司）、『こほろぎ嬢』（浜野佐知）の2作品を上映。
23	カメラジャパン	オランダ	タマゴ財団	2008.09.12 ~ 2008.11.02	『ひめゆり』（柴田昌平）、『スキヤキ・ウエスタンジャンゴ』（三池崇史）、『きみの友だち』（廣木隆一）等、34作品の日本映画を上映。また柴田監督らを招へい。上映会に併せ、日本人アーティストによるイベントや建築家によるレクチャー等も開催。9都市を巡回。
24	手塚治虫特集	英国	Barbican Centre	2008.09.18 ~ 2008.09.24	『ジャングル大帝レオ』『鉄腕アトム』等、手塚治虫の作品を17作品上映。また、紙芝居や討論会等の関連イベントも開催し、手塚治虫の活動を包括的に紹介。
25	ヘルシンキ国際映画祭	フィンランド	ヘルシンキ国際映画祭	2008.09.18 ~ 2008.09.28	『エクスマキナ』（荒牧伸志）、『風の谷のナウシカ』（宮崎駿）、『トウキョウソナタ』（黒沢清）等、日本アニメ・新作日本映画を計12作品上映。今岡信治監督を招へいし、シンポジウムを開催。
26	日本独立ドキュメンタリー特別祭	韓国	(社)韓国独立映画協会独立映画配給支援センター	2008.09.20 ~ 2008.10.02	『アヒルの子』（小野さやか）、『半身反義』（竹藤佳代）等、日本のドキュメンタリー映画17作品を特集上映。映画人・専門家を招へいして、韓日ドキュメンタリートーク、シンポジウムなどを開催。
27	バンクーバー国際映画祭	カナダ	バンクーバー国際映画祭事務局	2008.09.25 ~ 2008.10.10	『アキレスと亀』（北野武）、『ぐるりのこと』（橋口亮輔）、『アフタースクール』（内田けんじ）等10作品を上映。中島雄介等若手監督を招へい。
28	第16回レインダンス映画祭	英国	レインダンス映画祭事務局	2008.10.01 ~ 2008.10.12	『全然大丈夫』（藤田容介）、『亀は意外と速く泳ぐ』（三木聡）、『今、僕は』（竹馬靖具）等、日本映画を12作品上映。また、竹間監督らを招へい。
29	第6回アジア・フィルム・フェスティバル	米国	イリノイ大学東アジア太平洋研究センター/アジア教育メディアサービス	2008.10.03 ~ 2008.10.05	『ジョゼと虎と魚たち』（犬童一心）、『茶の味』（石井克人）、『下妻物語』（中島哲也）等日本映画6作品を上映。

映像出版事業費

	事業名	対象国	助成機関	期間	事業内容
30	武満徹映画音楽祭	スイス	アソシエーション十人十色	2008.10.08 ～ 2008.10.18	『砂の女』（勅使河原宏）、『どですかでん』（黒澤明）等、武満徹が映画音楽を担当した作品10本とドキュメンタリー『Toru Takemitsu - Music for the Movies』を上映。
31	ハワイ国際映画祭	米国	ハワイ国際映画祭事務局	2008.10.09 ～ 2008.10.19	『おくりびと』（滝田洋二郎）、『母べえ』（山田洋次）、『山のあなた～徳市の恋』（石井克人）など日本映画16作品を上映。また、石井克人監督らを招へいして学校での講演を実施。
32	インディーズ2008ワールド映画祭	ブラジル	ZETA FILMES	2008.10.09 ～ 2008.11.13	「ニッポン・コネクション・オンツアー」にて日本のインディペンデント映画を6プログラムに分け、長編、短編併せて49作品上映。また、若松孝二監督の6作品を特集上映。
33	アニメ・フォーカス	米国	シネマ・シカゴ シカゴ国際映画祭	2008.10.16 ～ 2008.10.29	第44回シカゴ国際映画祭にて、『トウキョウソナタ』（黒沢清）、『星影のワルツ』（若木信吾）、『ICE』（小林誠）等、日本映画4作品を上映。若木監督、小林監督を招へい。
34	ウィーン国際映画祭	オーストリア	ウィーン国際映画祭事務局	2008.10.17 ～ 2008.10.29	『きみの友だち』（廣木隆一）、『アキレスと亀』（北野武）、『歩いてても歩いてても』（是枝裕和）等、日本映画5作品を上映。
35	第32回サンパウロ国際映画祭	ブラジル	ABMIC	2008.10.17 ～ 2008.10.30	『沖縄決戦』等、岡本喜八監督の作品を中心に、小津安二郎監督、小林誠監督らの作品も加え、日本映画19作品を上映。岡本みね子夫人を招へいし、サロンミーティングを開催。
36	第10回ブラジリア国際映画祭	ブラジル	Cine Academia Producoes Ltda	2008.10.29 ～ 2008.11.09	『母べえ』（山田洋次）、『サッド・ヴァケーション』（青山真治）、『初戀』（今泉浩一）等、日本映画5作品を上映。今泉監督らを招へい。
37	大島渚監督特集	カナダ	シネマテーク・オンタリオ	2008.10.31 ～ 2009.12.09	『青春残酷物語』『日本の夜と霧』『戦場のメリークリスマス』等、大島渚監督作品26作品を上映。北米20都市を巡回。
38	第2回ピンク映画祭	韓国	エスパーク	2008.11.01 ～ 2008.11.07	『微風』（佐藤史）、『雷魚』（瀬々敬久）、『たそがれ』（今岡信治）等、ピンク映画計15作品を上映。また瀬々敬久、サトウトシキらの監督等を招へいして、トーク、シンポジウムを開催。

映像出版事業費

	事業名	対象国	助成機関	期間	事業内容
39	シェフィールド国際ドキュメンタリー映画祭	英国	シェフィールド国際ドキュメンタリー映画祭事務局	2008.11.05 ~ 2008.11.09	日本のドキュメンタリー映画監督特集の第2弾として小川紳介監督を特集。同監督作品『三里塚 辺部落』『どっこい！人間節一寿・自由労働者の街』他に加え、同監督についてのドキュメンタリー映画等全5作品を上映。また、飯塚俊男監督らを招へいし、小川監督について語る会を設けた。
40	第12回オランダ・アニメーション映画祭	オランダ	オランダアニメーション映画祭事務局	2008.11.05 ~ 2008.11.09	『カフカ田舎医者』（山村浩二）、『ZAP CAT』（相原信洋）、『東京マーブルチョコレート』（塩谷直義）等日本のデジタルアニメ特集として30作品を上映。また、相原監督らを招へいし、レクチャーを開催。
41	第12回ブラック・ナイツ映画祭	エストニア	ブラック・ナイツ映画祭	2008.11.13 ~ 2008.12.07	『崖の上のポニョ』（宮崎駿）、『トウキョウソナタ』（黒沢清）、『アキレスと亀』（北野武）等、日本映画を9作品上映。岩名雅記監督らを招へい。
42	第49回テサロニキ国際映画祭	ギリシャ	テサロニキ国際映画祭	2008.11.14 ~ 2008.11.23	『アキレスと亀』（北野武）、『めがね』（荻上直子）、『歩いても歩いても』（是枝裕和）の3作品を上映。また、北野監督と荻上監督を招聘。北野監督はゴールデン・アレクサンダー賞（同映画祭名誉賞）授賞式に参加。
43	第3回KINOTAYO映画祭	フランス	KINOTAYO事務局	2008.11.17 ~ 2008.11.28	『長い散歩』（奥田瑛二）、『ALWAYS 続・三丁目の夕日』（山崎貴）、『めがね』（荻上直子）など日本映画の最新作18作品を上映。また、奥田監督、村松亮太郎監督らの映画人を招へい。
44	ストックホルム国際映画祭	スウェーデン	ストックホルム国際映画祭事務局	2008.11.20 ~ 2008.11.30	『スカイ・クロラ』（押井守）、『アキレスと亀』（北野武）を上映。
45	FILM MUTATIONS	クロアチア	FILM-PROTUFILM u. o.	2008.11.30 ~ 2008.12.05	平沢剛（映画評論家）の選んだ60年代 - 70年代の日本映画『エロス+虐殺』（吉田喜重）『天使の恍惚』（若松孝二）等を中心に9作品を上映。また若松監督、平沢剛らを招へいしてレクチャーを開催。
46	ニッポン・コマ	ポルトガル	Culturgest	2008.12.08 ~ 2008.12.13	『エクスマキナ』（荒牧伸志）、『ミリキタニの猫』（リンダ・ハッテンドーフ）、日本アニメクラシックコレクション等、12作品/プログラムを上映。
47	ロッテルダム国際映画祭	オランダ	ロッテルダム国際映画祭事務局	2009.01.21 ~ 2009.02.15	『歩いても歩いても』（是枝裕和）、『トウキョウソナタ』（黒沢清）、『アキレスと亀』（北野武）等、日本映画を21作品上映。また、真島理一郎、岩井主税らの監督を招へい。
48	第6回アデレード映画祭	オーストラリア	Adelaide Film Festival	2009.02.19 ~ 2009.03.01	『休暇』（門井肇）、『ぐるりのこと』（橋口亮輔）の2作品を上映。河瀬直美監督をゲスト審査員として招へい。

映像出版事業費

	事業名	対象国	助成機関	期間	事業内容
49	飯村隆彦特集	米国	ロサンゼルス・フィルム・フォーラム	2009.02.27 ～ 2009.03.09	国際的に実験映画・メディアアートシーンをリードしてきた飯村隆彦の特集上映。同氏を招へいして学生とのQ&Aやワークショップを開催。

映像出版事業費

2. 催し等事業費 / (3) 外国理解促進国内映画祭 (主催)

アジア・中東の映画を紹介し日本における両地域への理解を促進するため、主催又は共催により映画祭を実施し、関係映画人の招へい等も併せて実施する。また、アジア映画理解講座及び英語字幕付き日本映画上映会を実施する。

合計額 14,229,069 円

	事業名	対象国	都市	期間	事業内容
1	外国劇映画貸出	全世界区分困難		2008.04.01 ~ 2009.03.31	国際交流基金所蔵の外国劇映画貸出し
2	外国劇映画上映権延長	全世界区分困難		2008.04.01 ~ 2009.03.31	外国劇映画貸出し事業のための外国劇映画のうち、上映許諾権期限が切れた作品の上映権を延長する。
3	アジア映画ベストセレクション	日本	東京	2009.03.14 ~ 2009.03.15	赤坂・OAGホールにて、日本未公開作品『虹の兵士たち』『ナガ・ボナール将軍2』に加えて『マキシモは花ざかり』『細い目』『世紀の光』『オーム・シャンティ・オーム』を上映。

2. 催し等事業費 / (4) 外国理解促進国内映画祭 (助成)

諸外国の映画を国内において紹介するため、国内で開催される国際的な映画祭等に対して助成をする。

合計額 8,753,874 円

	事業名	対象国	助成機関	期間	事業内容
1	イメージフォーラム・フェスティバル2008	全世界区分困難	イメージフォーラム	2008.04.27 ~ 2008.10.12	「日本招待部門」「海外招待部門」「一般公募部門」を設け、先駆的な活動を行う国内外の映像作家の新作、話題作を上映。また、海外から5名の映像作家を招へいし、シンポジウム等の関連企画を実施。
2	イタリア映画祭2008	イタリア	イタリア文化会館	2008.05.01 ~ 2008.05.06	『いつか翔べるように』『まなごしの長さをはかって』等、日本未公開の新作イタリア映画11作品に、フェリーニの『8 1/2』を加えた、計12作品を上映し、あわせて監督や俳優を招へい。
3	シネマアフリカ2008in横浜	アフリカ地域区分困難	シネマアフリカ2008実行委員会	2008.05.22 ~ 2008.05.25	『アブレル 微笑の戦士』等の劇映画に加えて『砂漠の歌姫』等のドキュメンタリー、短編作品も上映。アフリカから3名の映画監督を招へいしてトークやイベントを実施。
4	第17回東京国際レズビアン&ゲイ映画祭	全世界区分困難	東京国際レズビアン&ゲイ映画祭運営委員会	2008.07.11 ~ 2008.07.21	セクシャルマイノリティのための映画祭で、コンペティションも実施。『フリーヘルド/不思議の国の女たち』『後悔なんてしない』『愛のジハード』等17作品と3つの短編プログラムを上映し、監督や俳優を招へい。

映像出版事業費

	事業名	対象国	助成機関	期間	事業内容
5	第12回広島国際アニメーションフェスティバル	全世界区分困難	広島国際アニメーションフェスティバル実行委員会	2008.08.07 ~ 2008.08.11	世界56か国・地域の1,656作品からなるアニメーション作品のコンペティションを実施。加えて、特別プログラムとしてフィンランド作品やアルゼンチン作品を特集上映。映画関係者を国内外から上映し、関連企画を実施。
6	あいち国際女性映画祭2008	全世界区分困難	財団法人あいち男女共同参画財団	2008.09.03 ~ 2008.09.07	日本初公開の『ティラミス』『ファイター』等、女性監督の作品を中心に22作品を上映。また、ソウル国際女性映画祭のディレクター、イ・ヘギョンを招へいし、シンポジウム「アジアの女性監督と映画祭」を開催。
7	フランス映画の秘宝	フランス	コミュニティシネマ支援センター	2008.09.20 ~ 2009.01.21	日仏交流150周年を記念して、日本未公開の『最後の切り札』『あなたの目になりたい』『罪の天使たち』『天使の入り江』『三重スパイ』をニュープリントで巡回上映。仙台ではあわせてシンポジウムも開催。
8	ブラジル映画祭2008	ブラジル	トゥビニキーン・エンターテイメント株式会社	2008.10.10 ~ 2008.10.13	『歌え、マリア』『逆転夫婦』等長編6作品に加え、短編映画も上映。ブラジルから監督等を招へいし、トークショーを実施。
9	第9回東京フィルメックス	全世界区分困難	特定非営利活動法人東京フィルメックス実行委員会	2008.11.22 ~ 2008.11.30	アジアの新進作家の作品を中心としたコンペティション、特別招待作品の上映に加え、蔵原惟繕監督特集と日伯交流年に合わせた、ジョアキン・ペドロ・デ・アンドラーデ監督特集が組まれた。監督やゲストを招へいし、シンポジウムやセミナー、トークも実施。
10	キューバ映画祭	キューバ	NPO法人さっぽろ自由学校「遊」	2009.01.31 ~ 2009.02.06	日本初公開作品『エル・ベニー』『カンガンバ』等計12本の長編映画と短編集3プログラムを上映。キューバ革命をテーマにした講演会も実施。
11	EARTH VISION 第17回地球環境映像祭	全世界区分困難	アース・ビジョン組織委員会	2009.03.06 ~ 2009.03.08	環境映像部門、子どものための環境映像部門、特別プログラム、特別上映（『アース』）と4つのプログラムを上映、また映画監督等を国内外から招へいし、講演会を実施。

映像出版事業費

2. 催し等事業費 / (5) 日本マンガ大賞

海外で漫画の普及啓蒙活動に貢献する新進の漫画作家を顕彰することを目的として、実行委員会が開催する国際漫画賞にあわせて、受賞者4名を招へいする。

合計額 5,395,464 円

	事業名	共催・協力機関	期間	事業内容
1	第2回国際漫画賞	外務省 (社) 日本漫画家協会 (JCA)	2008.09.01 ~ 2008.09.10	最優秀賞 (『Feel 100%』劉雲傑)、優秀賞 (『逝』尹川、『Okheania 1』Alice Picard、『Portrait/Shozo』Chezhina Svetlana Igorevna) を授与し、授賞式にあわせて受賞者4名を10日間日本に招へい。
2	第3回国際漫画賞	外務省 (社) 日本漫画家協会 (JCA)	2008.10.01 ~ 2009.03.31	海外で漫画文化の普及活動に貢献する漫画作家を顕彰するための、第3回国際漫画賞を実施するにあたり、作品募集の広報と申請受付を実施。

映像出版事業費

2. 催し等事業費 / (6) 映像出版情報交流 (催し)

国内外で開催される映像・出版等をテーマとするシンポジウム・セミナー等を開催する。

合計額 4,840,096 円

	事業名	対象国	対象機関	期間	事業内容
1	日本賞	全世界区分困難	NHK「日本賞」事務局	2008.04.01 ~ 2009.03.31	国家・民族間における相互理解と文化の交流に貢献する優れた番組に対し、国際交流基金理事長賞を寄贈する。
2	韓国出版分野顕彰制度 (第2回国際交流基金 ポラナビ賞)	韓国		2008.06.01 ~ 2009.03.31	韓国の一般市民が日本の文化と社会に対する理解を深めるために役立つ良書の普及を促進するため、過去3年間(募集開始時から)に出版され、内容的に優れた著作・翻訳作品の著者・翻訳者で、今後一層の活躍が期待される若手・中堅の著者・翻訳者等を顕彰する事業。第2回の授賞対象は、日本文学(小説)の韓国語翻訳書。吉田修一著『ひなた』『悪人』の翻訳者、イ・ヨンミ(李英美)が受賞し、3月にソウルにて授賞式を実施。
3	東アジア放送作家カン ファレンス2008	東アジア地域区分困難	社団法人日本放送作家 協会	2008.06.09 ~ 2008.06.12	東アジアで活躍するテレビドラマ作家が長崎に集まり、作品発表、意見交換を行う。
4	第8回日韓中テレビ制 作者フォーラムin 福 岡	韓国 中国	放送人の会	2008.09.24 ~ 2008.09.28	日韓中の番組制作者が作品鑑賞、意見交換、シンポジウム等を通じて交流する。併せて、一般市民が作品を視聴する場を設ける。
5	第18回 JAMCOオンラ イン国際シンポジウム	全世界区分困難	財団法人放送番組国際 交流センター (JAMCO)	2009.01.16 ~ 2009.02.28	財団法人放送番組国際交流センター(JAMCO)が主催するウェブサイト上での国際シンポジウムに助成する。

3. 文化資料事業費 / (1) テレビ番組交流促進

日本のテレビ番組の海外における放映を促進するため、素材の作成費、放映権料を負担した上で、海外放送局に番組を提供する。

合計額 158,879,762 円

	事業名	対象国	機関	期間	事業内容
1	モンゴルTV放映	モンゴル	国営MRTV	2008.08.01 ~ 2011.07.31	モンゴルTV放映向け番組提供。国営MRTVへ『北の国からスペシャル 1』を提供。
2	インドネシアTV放映	インドネシア	国営TVRI	2008.08.01 ~ 2011.07.31	インドネシアTV放映向け番組提供。国営TVRIへ『おしん(少女編)』を提供。

映像出版事業費

	事業名	対象国	機関	期間	事業内容
3	カンボジアTV放映	カンボジア	民営CTN	2008.08.01 ~ 2011.07.31	カンボジアTV放映向け番組提供。民営CTNへ『お見合い結婚』を提供。
4	フィリピンTV放映	フィリピン	民営NET25	2008.08.01 ~ 2011.07.31	フィリピンTV放映向け番組提供。民営NET25へ『ピコピコボン』『10ミニッツボックス〜エコロジー〜』等を提供。
5	マレーシアTV放映	マレーシア	国営RTM	2008.08.01 ~ 2011.07.31	マレーシアTV放映向け番組提供。国営RTMへ『はてなにタックル』『あつまれじゃんけんぽん』等を提供。
6	パプアニューギニアTV放映	パプアニューギニア	民営EMTV	2008.08.01 ~ 2011.07.31	パプアニューギニアTV放映向け番組提供。民営EMTVへ『シリーズ エイズ』『Never Give Up〜あきらめないで〜』等を提供。
7	エルサルバドルTV放映	エルサルバドル	国営Canal10	2008.08.01 ~ 2011.07.31	エルサルバドルTV放映向け番組提供。国営Canal10へ『地球と生きる』『たったひとつの地球』等を提供。
8	ハイチTV放映	ハイチ	国営TNH	2008.08.01 ~ 2011.07.31	ハイチTV放映向け番組提供。国営TNHへ『宇宙デジタル図鑑』『日本の世界文化遺産』等を提供。
9	メキシコTV放映	メキシコ	国営Canal22	2008.08.01 ~ 2011.07.31	メキシコTV放映向け番組提供。国営Canal22へ『世界が熱狂! 日本のマンガ〜発展のルーツ〜』『永平寺 104歳の禅師』等を提供。
10	ウルグアイTV放映	ウルグアイ	国営TNU	2008.08.01 ~ 2011.07.31	ウルグアイTV放映向け番組提供。国営TNUへ『サイエンスクラブ』『南極』等を提供。
11	ブラジルTV放映1	ブラジル	州営TV Cultura	2008.08.01 ~ 2011.07.31	ブラジルTV放映向け番組提供。州営TV Culturaへ『ピタゴラススイッチ III』『なんでもQ』等を提供。
12	ペルーTV放映	ペルー	国営IRTP	2008.08.01 ~ 2011.07.31	ペルーTV放映向け番組提供。国営IRTPへ『ワザあり! にっぽん』を提供。
13	アゼルバイジャンTV放映	アゼルバイジャン	国営ITV	2008.08.01 ~ 2011.07.31	アゼルバイジャンTV放映向け番組提供。国営ITVへ『はっぴいウェディング』『ラストプレゼント』等を提供。
14	ウズベキスタンTV放映1	ウズベキスタン	国営Sport	2008.08.01 ~ 2011.07.31	ウズベキスタンTV放映向け番組提供。国営Sportへ『氷壁』『日本の伝統スポーツ』等を提供。
15	ブルガリアTV放映1	ブルガリア	国営BNT	2008.08.01 ~ 2011.07.31	ブルガリアTV放映向け番組提供。国営BNTへ『秘境 ヒマラヤの蜂蜜とり』『観察15年野生の白い猿4姉妹の物語』等を提供。
16	ブルガリアTV放映2	ブルガリア	民営TV Europe	2008.08.01 ~ 2011.07.31	ブルガリアTV放映向け番組提供。民営TV Europeへ『日本の伝統文化』を提供。

映像出版事業費

	事業名	対象国	機関	期間	事業内容
17	ボスニア・ヘルツェゴビナTV放映	ボスニア・ヘルツェゴビナ	国営BHT1	2008.08.01 ~ 2011.07.31	ボスニア・ヘルツェゴビナTV放映向け番組提供。国営BHT1へ『和のくらし』『日本人のフードスタイル』等を提供。
18	イエメンTV放映	イエメン	国営Yemen TV	2008.08.01 ~ 2011.07.31	イエメンTV放映向け番組提供。国営Yemen TVへ『生涯現役 90歳のエンジニア』『日本の世界文化遺産』等を提供。
19	チュニジアTV放映	チュニジア	民営Hannibal TV	2008.08.01 ~ 2011.07.31	チュニジアTV放映向け番組提供。民営Hannibal TVへ『日本の伝統文化』を提供。
20	ギニアTV放映	ギニア	国営RTG	2008.08.01 ~ 2011.07.31	ギニアTV放映向け番組提供。国営RTGへ『プロジェクトX 挑戦者たち』『日本美・再発見』等を提供。
21	コンゴ民主共和国TV放映	コンゴ民主共和国	国営RTNC	2008.08.01 ~ 2011.07.31	コンゴ民主共和国TV放映向け番組提供。国営RTNCへ『日本の伝統文化』『ベーシック・ジャパン』等を提供。
22	ザンビアTV放映	ザンビア	国営ZNBC	2008.08.01 ~ 2011.07.31	ザンビアTV放映向け番組提供。国営ZNBCへ『プロジェクトX 挑戦者たち』を提供。
23	ジンバブエTV放映	ジンバブエ	民営ZBC	2008.08.01 ~ 2011.07.31	ジンバブエTV放映向け番組提供。民営ZBCへ『Never Give Up～あきらめないで～』『母と子のテレビ絵本』等を提供。
24	マダガスカルTV放映	マダガスカル	国営TVM	2008.08.01 ~ 2011.07.31	マダガスカルTV放映向け番組提供。国営TVMへ『ベーシック・ジャパン』『日本の農業』等を提供。
25	ミャンマーTV放映	ミャンマー	国営MRTV	2008.08.01 ~ 2011.07.31	ミャンマーTV放映向け番組提供。国営MRTVへ『北の国からスペシャル 1』を提供。
26	エジプトTV放映	エジプト	国営ERTU	2008.08.01 ~ 2011.07.31	エジプトTV放映向け番組提供。国営ERTUへ『台所でおもしろ実験』『データボックス・しらべてサイエンス』等を提供。
27	カメルーンTV放映	カメルーン	国営CRTV	2008.08.01 ~ 2011.07.31	カメルーンTV放映向け番組提供。国営CRTVへ『氷壁』『腕におぼえあり2』等を提供。
28	中国TV放映	中国	四川テレビ	2008.08.01 ~ 2011.07.31	中国TV放映向け番組提供。四川テレビへ『日本理解の鍵 10. 災害を減らす～日本の教訓～』『にんげんドキュメント：はるかひまわり』を提供。
29	インドネシアTV放映	インドネシア	国営TVRI	2008.08.01 ~ 2011.07.31	インドネシアTV放映向け番組提供。国営TVRIへ『おしん 第97-297話（続篇）』を提供。
30	スリランカTV放映	スリランカ	国営SLRC	2008.11.01 ~ 2011.10.31	スリランカTV放映向け番組提供。国営SLRCへ『すずらん』第91～157話を提供。

映像出版事業費

	事業名	対象国	機関	期間	事業内容
31	ボリビアTV放映	ボリビア	民営CTV	2008.12.01 ~ 2011.11.30	ボリビアTV放映向け番組提供。民営CTVへ『帰ってきちゃった』『中学生の理科(ステップ&ジャンプ)』等を提供。
32	語版改編	全世界区分困難	財団法人放送番組国際交流センター (JAMCO)	2008.04.01 ~ 2009.03.31	テレビ番組の国際版(英語版)を財団法人放送番組国際交流センター(JAMCO)と共同制作する。

映像出版事業費

3. 文化資料事業費 / (2) フィルムライブラリー充実 (本部)

在外公館や国際交流基金海外事務所が主催する日本映画上映会にて使用するため、非商業ベースの上映権を得た劇映画等を配布する。

合計額 80,173,663 円

	事業名	監督名	制作年	事業内容
1	『少年』及び『儀式』	大島 渚	1969年	『少年』『儀式』(大島渚監督)の英語字幕版35mmプリント購入
2	新宿泥棒日記	大島 渚	1969年	『新宿泥棒日記』(大島渚監督)の英語字幕版35mmプリント購入
3	河童のクゥと夏休み	原 恵一	2007年	『河童のクゥと夏休み』(原恵一監督、2007年)英語字幕版35mmプリント購入
4	バッテリー	滝田 洋二郎	2007年	『バッテリー』(滝田洋二郎監督、2007年)英語字幕版35mmプリント購入
5	ミヨリの森	山本 二三	2007年	『ミヨリの森』(山本二三監督、2007年)英語字幕版DVD購入
6	ALWAYS 続・三丁目の夕日	山崎 貴	2007年	『ALWAYS 続・三丁目の夕日』(山崎貴監督、2007年)英語字幕版35mmプリント購入
7	めがね	荻上 直子	2007年	『めがね』(荻上直子監督、2007年)英語字幕版35mmプリント購入
8	東京タワー オカンとボクと、時々、オトン	松岡 錠司	2007年	『東京タワー オカンとボクと、時々、オトン』(松岡錠司監督、2007年)英語字幕版35mmプリント購入
9	カフカ 田舎医者	山村 浩二	2007年	『カフカ 田舎医者』(山村浩二監督、2007年)英語字幕版35mmプリント購入
10	あしたの私のつくり方	市川 準	2007年	『あしたの私のつくり方』(市川準監督、2007年)英語字幕版35mmプリント購入
11	松ヶ根乱射事件	山下 敦弘	2006年	『松ヶ根乱射事件』(山下敦弘監督、2006年)英語字幕版35mmプリント購入
12	神童	萩生田 宏治	2007年	『神童』(萩生田宏治監督、2007年)英語字幕版35mmプリント購入
13	それでもボクはやってない	周防 正行	2006年	『それでもボクはやってない』(周防正行監督、2006年)英語字幕版35mmプリント購入
14	パッチギ! LOVE&PEACE	井筒 和幸	2007年	『パッチギ! LOVE&PEACE』(井筒和幸監督、2007年)英語字幕版35mmプリント購入
15	魂萌え!	阪本 順治	2006年	『魂萌え!』(阪本順治監督、2006年)英語字幕版35mmプリント購入
16	人間の条件	小林 正樹	2007年	『人間の条件』第1部～第6部(小林正樹監督)英語字幕版35mmプリント購入
17	包帯クラブ	堤 幸彦	2007年	『包帯クラブ』(堤幸彦監督、2007年)英語字幕版35mmプリント購入
18	14歳	廣末 哲万	2007年	『14歳』(廣末哲万監督、2007年)英語字幕版35mmプリント購入

映像出版事業費

	事業名	監督名	制作年	事業内容
19	夕風の街 桜の国	佐々部 清	2007年	『夕風の街 桜の国』（佐々部清監督、2007年）英語字幕版35mmプリント購入
20	サイドカーに犬	根岸 吉太郎	2007年	『サイドカーに犬』（根岸吉太郎監督、2006年）英語字幕版35mmプリント購入
21	サッド ヴァケイション	青山 真治	2007年	『サッド ヴァケイション』（青山真治監督、2007年）英語字幕版35mmプリント購入
22	ジャーマン+雨	横浜 聡子	2006年	『ジャーマン+雨』（横浜聡子監督、2007年）の英語字幕版DVCAM購入
23	クラシック12作品	久松 静児 小林 正樹 豊田 四郎	1952年	小林正樹、豊田四郎、久松静児等の監督による12作品の英語字幕版35mmプリント購入

映像出版事業費

3. 文化資料事業費 / (3) フィルムライブラリー充実 (海外)

在外公館や国際交流基金海外事務所が主催する日本映画上映会にて使用するため、海外のフィルムライブラリーに、非商業ベースの上映権を得た劇映画等を配布する。

合計額 106,364,512 円

	事業名	対象国	言語	事業内容
1	東アジア・フィルムライブラリー	タイ	英語	プリント購送
2	西アジア・フィルムライブラリー	インド	英語	プリント購送
3	大洋州フィルムライブラリー	オーストラリア	英語	プリント購送
4	アフリカ・フィルムライブラリー	ケニア	英語	プリント購送
5	欧州フィルムライブラリー	英国	英語	プリント購送
6	仏語フィルムライブラリー	フランス	フランス語	プリント購送
7	中近東フィルムライブラリー	エジプト	アラビア語	プリント購送
8	中南米フィルムライブラリー	アルゼンチン	スペイン語	プリント購送
9	ブラジル・フィルムライブラリー	ブラジル	ポルトガル語	プリント購送
10	中国フィルムライブラリー	中国	中国語	プリント購送
11	露語フィルムライブラリー	ロシア	ロシア語	プリント購送
12	JFローマ・フィルムライブラリー	イタリア	イタリア語	プリント購送
13	JFケルン・フィルムライブラリー	ドイツ	ドイツ語	プリント購送
14	JFジャカルタ・フィルムライブラリー	インドネシア	インドネシア語	プリント購送
15	JFバンコク・フィルムライブラリー	タイ	タイ語	プリント購送
16	JFソウル・フィルムライブラリー	韓国	韓国語	プリント購送

映像出版事業費

3. 文化資料事業費 / (4) 国際図書展参加

日本の出版文化の紹介と対日理解促進のため、海外で開催される国際図書展に参加する。

合計額 18,883,777 円

	事業名	対象国	都市	会場	期間	事業内容
1	第34回ブエノスアイレス国際図書展	アルゼンチン	ブエノス・アイレス	農牧展示場	2008. 04. 21 ~ 2008. 05. 12	社団法人出版文化国際交流会(PACE)と共同で参加、日本ブースを出展して日本文化紹介図書等を展示。
2	第21回ボゴタ国際図書展	コロンビア	ボゴタ	コルフェリア展示場	2008. 04. 23 ~ 2008. 05. 05	社団法人出版文化国際交流会(PACE)と共同で日本ブースを出展し、日本文化紹介図書等を展示。日本・コロンビア修好100周年を記念して、日本は「特別招待国」として参加。
3	第14回プラハ国際図書展	チェコ	プラハ	博覧会場	2008. 04. 24 ~ 2008. 04. 27	社団法人出版文化国際交流会(PACE)と共同で参加、日本ブースを出展して日本文化紹介図書等を展示。
4	第15回ブダペスト国際図書展	ハンガリー	ブダペスト	ミレナリーシュ	2008. 04. 24 ~ 2008. 04. 27	社団法人出版文化国際交流会(PACE)と共同で参加、日本ブースを出展して日本文化紹介図書等を展示。
5	第21回テヘラン国際図書展	イラン	テヘラン	テヘラン常設見本市会場	2008. 05. 02 ~ 2008. 05. 12	社団法人出版文化国際交流会(PACE)と共同で参加、日本ブースを出展して日本文化紹介図書等を展示。
6	第14回ソウル国際図書展	韓国	ソウル	ソウル韓国総合展示会場	2008. 05. 14 ~ 2008. 05. 18	社団法人出版文化国際交流会(PACE)と共同で参加、日本ブースを出展して日本文化紹介図書等を展示。
7	第53回ワルシャワ国際図書展	ポーランド	ワルシャワ	文化科学宮殿	2008. 05. 15 ~ 2008. 05. 18	社団法人出版文化国際交流会(PACE)と共同で参加、日本ブースを出展して日本文化紹介図書等を展示。日本の出版事情に関する講演を実施。
8	第20回サンパウロ国際図書展	ブラジル	サン・パウロ	アニエンビー展示会場	2008. 08. 14 ~ 2008. 08. 24	社団法人出版文化国際交流会(PACE)と共同で参加、日本ブースを出展して日本文化紹介図書等を展示。ブラジル移民100周年を記念した日伯交流年関連事業の一環として、日本が「特別招待国」として参加。日伯の出版関係専門家によるラウンドテーブルも開催。
9	第60回フランクフルト国際図書展	ドイツ	フランクフルト・アム・マイン	フランクフルト見本市会場	2008. 10. 15 ~ 2008. 10. 19	社団法人出版文化国際交流会(PACE)と共同で日本会場に日本インフォメーションセンターを設置、日本の出版事情を紹介。

映像出版事業費

	事業名	対象国	都市	会場	期間	事業内容
10	第53回ベオグラード国際図書展	セルビア	ベオグラード	ベオグラード・フェア	2008. 10. 20 ～ 2008. 10. 26	社団法人出版文化国際交流会 (PACE) と共同で参加、日本ブースを出展して日本文化紹介図書等を展示。日本はアジア初の「ゲスト国」として参加。
11	第10回モスクワ・ノン／フィクション国際図書展	ロシア	モスクワ	モスクワ中央芸術家会館	2008. 11. 26 ～ 2008. 11. 30	社団法人出版文化国際交流会 (PACE) と共同で参加、日本ブースを出展して日本文化紹介図書等を展示。
12	第10回ビリニュス国際図書展	リトアニア	ビリニュス	リトエキスポ	2009. 02. 12 ～ 2009. 02. 15	社団法人出版文化国際交流会 (PACE) と共同で参加、日本ブースを出展して日本文化紹介図書等を展示。折り紙デモンストレーションと折り紙コンテストも実施。
13	PRACTICAL GUIDE	全世界区分困難			2008. 04. 01 ～ 2009. 03. 31	海外で日本関係図書の翻訳出版を行う場合に必要な知識をまとめたガイドブック (Practical Guide to Publishing in Japan 2008) の出版。
14	出展図書カタログ	全世界区分困難			2008. 04. 01 ～ 2009. 03. 31	社団法人出版文化国際交流会 (PACE) と英文日本関係書籍のカタログを作成。

映像出版事業費

3. 文化資料事業費 / (5) 映像出版情報交流 (文化資料)

日本の映像・出版関係情報の海外への発信及び海外における日本の映像・出版の紹介の現状調査・データベース化を行う。

合計額 11,223,016 円

	事業名	発行日	発行部数	事業内容
1	JAPANESE BOOK NEWS 第56号	2008.06.01	5,000	海外の出版社・翻訳者向けに、日本の新刊書情報等を提供する英文ニューズレターを季刊で発行。
2	JAPANESE BOOK NEWS 第57号	2008.09.01	5,000	海外の出版社・翻訳者向けに、日本の新刊書情報等を提供する英文ニューズレターを季刊で発行。
3	JAPANESE BOOK NEWS 第58号	2008.12.01	5,000	海外の出版社・翻訳者向けに、日本の新刊書情報等を提供する英文ニューズレターを季刊で発行。
4	JAPANESE BOOK NEWS 第59号	2009.03.01	5,000	海外の出版社・翻訳者向けに、日本の新刊書情報等を提供する英文ニューズレターを季刊で発行。
5	JAPANESE BOOK NEWS 第60号 (発行準備)			海外の出版社・翻訳者向けに、日本の新刊書情報等を提供する英文ニューズレターを季刊で発行。2008年度には、発行準備を行った。
6	New Cinema from Japan	2008.05.01	4,000	日本映画の最新情報を掲載したカタログ「New Cinema from Japan」を財団法人日本映像国際振興協会と共同で年2回発行。
7	New Cinema from Japan	2008.10.01	4,000	日本映画の最新情報を掲載したカタログ「New Cinema from Japan」を財団法人日本映像国際振興協会と共同で年2回発行。

映像出版事業費

4. 日本研究事業費 / (1) 日本理解促進映画・テレビ番組制作 (助成)

海外における日本理解を促進するため、内外の団体が制作する日本に関する映画及びテレビ番組等に対して、制作費の一部を負担し協力する。

合計額 16,052,332 円

	事業名	助成機関	対象国	監督	事業内容
1	SKELETONS IN THE CLOSET	Plug-In Two Productions	米国	Deborah Ann DeSnoo	文学、能、歌舞伎、浮世絵、映画、アニメーションや、現在ブームとなっているジャパニーズ・ホラーなどの原点となっている「怪談」文化とその歴史について探求するドキュメンタリーを制作。
2	THE ASTROBOY CENTURY	LES FILM D'ICI	フランス	Marc Caro	近年の日本のロボット技術の発展を紹介しつつ、西洋人から見れば不思議に思える日本人とロボットとの特殊な関係を検証するドキュメンタリー作品を制作。
3	東洋宮武が作ったカメラ	United Television Broadcasting Systems, Inc.	米国	すずき じゅんいち	日系アメリカ人写真家・東洋宮武の写真を主題材として、第二次世界大戦時の日系人の苦難の歴史を伝えるとともに、平和の尊さを訴えることを目的とするドキュメンタリーを制作。
4	John and Shige	Cinemic LLC	米国	Koji Hayasaki	第二次世界大戦で一時中断されながらも、断絶されることのなかったジョン・D・ロックフェラー三世と松本重治の友情を取り上げ、この二人が戦後の日米関係の発展にどのように貢献したのか検証する映像作品を制作。
5	Children and Old Age in Japan	Deutsches Jugendinstitut (DJI)	ドイツ	Otto Schweitzer	先進国である日本の老人と子供との相互関係を、老人の幼稚園訪問や多世代住宅といった様々な側面から考察するドキュメンタリー作品を制作。
6	Ype Nakashima	PV Professional Video LTDA ME	ブラジル	Helio Ishii	ブラジルで初めて長篇アニメーション映画制作に成功した日本人漫画家中島逸平の生涯を紹介するドキュメンタリー。映像・写真資料・家族へのインタビューなどを基にブラジルでアニメーション制作に尽くした理由と人生観等に迫る作品を制作。
7	THE FRAIL MAN	DES FILMS NUIT ET JOUR S. A. R. L.	フランス	Gilles Sionnet Marie-Francine Le JALU	太宰治についての文芸的なドキュメンタリー。彼の作品の愛読者・心酔者を取材し、その姿を通して太宰と彼の作品を発見してもらうことを目的とした作品を制作。

映像出版事業費

4. 日本研究事業費 / (2) 日本理解促進出版・翻訳 (主催)

日本文化を海外に紹介するため、日本語で書かれた人文・社会科学および芸術分野の優れた図書を外国語へ翻訳し、出版を行う。また、外国語で書き下ろされた日本文化に関する優れた図書を出版する。

合計額 2,028,390 円

	事業名	対象国	発行	部数	事業内容
1	日本関係書籍アラビア語翻訳出版 (『途上国ニッポンの歩み』)	中東地域区分困難	2008.11	2,000	アジア諸国からの留学生向け講義をもとに作成された、江戸から平成までの経済発展の過程を分析し日本が短期間に近代化に成功したプロセスを分かり易く解説した『途上国ニッポンの歩み』(大野健一著、有斐閣)のアラビア語版を、カイロのシュルーク社との共同出版にて刊行。アラビア語圏各国の主要図書館・大学・研究機関に寄贈。また、著者・大野健一政策研究大学院大学教授をカイロに派遣、カイロ大学及びアルアハラム戦略研究所にて出版記念講演を実施。
2	日本関係書籍アラビア語翻訳出版 (『明治』)	中東地域区分困難	2008.11	2,000	日本が近代国家として世界に登場する明治時代の社会改革を推進した、明治の先人達の知恵と意欲と工夫を描いたNHKのドキュメンタリー番組をもとに出版され、経営学者・ピーター・ドラッカー、評論家・加藤周一という日米の二大巨匠が大局的にそのダイナミズムを分析した『明治1 変革を導いた人間力』(NHK「明治」プロジェクト編著、NHK出版)のアラビア語版を、カイロのシュルーク社との共同出版にて刊行。アラビア語圏各国の主要図書館・大学・研究機関に寄贈。

映像出版事業費

4. 日本研究事業費 / (3) 日本理解促進出版・翻訳 (助成)

海外における日本研究及び日本理解を促進するため、人文・社会科学、芸術分野の優れた日本関連図書の外国語への翻訳出版、ならびに外国語で書き下ろされた優れた図書の出版に助成する。

合計額 21,594,520 円

	書名	著编者／翻訳者	助成機関	対象国	事業内容
1	詩の標本箱	高柳 誠 浅井 イゾルデ	玉川大学出版部	日本	翻訳・出版
2	日本美術の歴史	辻 惟雄 崔 京国	図書出版 滄海	韓国	翻訳
3	近代家族の成立と終焉	上野 千鶴子 権 倫慶	當代出版社	韓国	翻訳
4	国連の政治力学：日本はどこにいるのか	北岡 伸一 梢 眞九	戦略と文化出版社	韓国	出版
5	文学と恋愛	許 昊	J&C出版社	韓国	出版
6	日中関係－戦後から新時代へ	毛里 和子 徐 顕芬	社会科学文献出版社	中国	翻訳・出版
7	小津安二郎 周遊	田中 真澄 周 以量	広西師範大学出版社	中国	翻訳
8	戦後史	中村 政則 張 英莉	中国人民大学出版社	中国	翻訳・出版
9	現代の教育改革と学校の自己評価	八尾坂 修 郜 宝文	天津科技翻訳出版公司	中国	翻訳
10	中日文化の相違と衝突をめぐる国際比較	趙 子祥	遼寧人民出版社	中国	出版
11	思想と行動：現代的なアジア外交	孫 翼	万卷出版社	中国	出版
12	茶の本	岡倉 覚三 レ・イエンミン	世界出版社	ベトナム	出版
13	博士の愛した数式	小川 洋子 Luong Dzung Viet	ニャ・ナム出版・コミュニケーション株式会社	ベトナム	翻訳・出版
14	妊娠カレンダー	小川 洋子 Luong Dzung Viet	ニャ・ナム出版・コミュニケーション株式会社	ベトナム	翻訳・出版

映像出版事業費

	書名	著编者／翻訳者	助成機関	対象国	事業内容
15	超芸術トマソン	赤瀬川 原平 Fargo Matthew	カヤ・プレス	米国	翻訳・出版
16	南アジアおよびバングラディッシュに対する日本の海外直接投資（FDI）/多国籍企業（MNCS）	モニ モニル ホサイン	リーダーズ出版	バングラデシュ	出版
17	風の中で In the Eye of the Wind: A Travel Memoir of Prewar Japan	Ronald Baenninger	McGill-Queen's University Press	カナダ	出版
18	成瀬巳喜男の映画	Catherine Russell	Duke University Press	米国	出版
19	朝廷と象徴： 天武朝	Herman Ooms	ハワイ大学出版	米国	出版
20	輝ける闇	開高 健 Daniel Santillana	La Cifra Editorial	メキシコ	翻訳・出版
21	吾輩は猫である	夏目 漱石 Jefferson Teixeira	エスタサオン・リベルダーヂ出版社	ブラジル	出版
22	ブラジル日系社会百年の水流	外山 脩 林 慎太郎	トッパン・プレス印刷出版有限会社	ブラジル	翻訳・出版
23	アニメ言語文法の特徴	Patricia Maria Borges	Via Lettera Publishing House and Bookstore	ブラジル	出版
24	豚の報い	又吉 栄喜 Luca Capponceli	Edizioni II Maestrale	イタリア	翻訳・出版
25	Is Europe Western ?	多和田 葉子 Bettina Brandt Desiree Schyns	Voetnoot Publishers	オランダ	翻訳
26	古事記	稗田 阿礼 Rumi Tani Moratalla	Trotta Publisher		出版
27	坊っちゃん	夏目 漱石 Jose Pazo	Impedimenta Publishing House	スペイン	翻訳・出版
28	硫黄島からの手紙	Yukiko Duke Bergman	Norstedts Publishing House	スウェーデン	出版（書き下ろし）
29	潮騒	三島 由紀夫 Joaquim Pi Joan 田澤 耕	Ara Llibres	スペイン	翻訳
30	現代日本演劇	Hans-Thies Lehmann	Theater der Zeit	ドイツ	出版

映像出版事業費

	書名	著編者／翻訳者	助成機関	対象国	事業内容
31	三酔人経綸問答	中江 兆民 Christine Levy Eddy Dufourmont	CNRS editions	フランス	翻訳・出版
32	20世紀の怪物帝国主義	幸徳 秋水 Christine Levy	CNRS editions	フランス	翻訳・出版
33	中谷芙二子 Fog 2 (squared) ANARCHIVE No. 5	中谷 芙二子 Alfred Turner Birnbaum	ANARCHIVE	フランス	翻訳
34	良寛選集	良寛 Ivan Dziub	Publishing house Grani-T	ウクライナ	翻訳
35	日本百科事典	Alexandr Ivanovich Bondar	Folio Ltd	ウクライナ	出版
36	万葉集4	大伴 家持、他 Antonin Liman	Brody Publishers	チェコ	出版
37	ノルウェイの森	村上 春樹 Monika Nagy	Geopen Publishing House Ltd.	ハンガリー	翻訳
38	日本史概論	Olaf-Mihkel Klaassen	Argo Publishers	エストニア	出版
39	The Magic of Twilight 日本文化につ いてのエッセー	Antonin Liman	DharmaGaia Publishing	チェコ	出版
40	松の風-佛教文化としての茶道古典よ りの解説訳註-	Dennis Hirota Elica Rafailova Rafi	RIVA Publishers	ブルガリア	翻訳・出版
41	日本とブルガリア： 消費パターンに ついての考察	Maya Bedros Keliyan	Publishing house Valentin Trajanov	ブルガリア	出版
42	能楽におけるリアリティの邂逅 Divine Binomial Meeting of Realities in Noh Drama	Jadwiga Maria Rodowicz	The Grotowski Institute	ポーランド	出版
43	芥川龍之介 短編集	芥川 龍之介 Ilze Paegle	Janis Roze Publishers Ltd	ラトビア	翻訳
44	スポーツニクの恋人	村上 春樹 Ieva Susnyte	Publishing house Baltos Lankos	リトアニア	翻訳・出版
45	環海異聞	大槻 玄沢 Vladislav Goregliad	Hyperion Publishing House	ロシア	出版

映像出版事業費

	書名	著编者／翻訳者	助成機関	対象国	事業内容
46	義経記	作者不詳 Ahmed Mohamed Fathy Mostafa	Nawajez Society for Translation, Development and Dialogue	エジプト	出版
47	武士道－日本の魂	新渡戸 稲造 Mohammad Naghizadeh	ENTESHAR Publication Company	イラン	翻訳
48	マンガ：日本のコミック60年	Paul Gravett Rustem Baksoy	Plan B Publishing Company	トルコ	翻訳・出版
49	神道	小野 祖教 Abdolarhim Gavahi	Publication Dept., World Religions Research Center	イラン	出版
50	日本文化論の変容	青木 保 王 敏	中国青年出版総社	中国	出版

日本語普及事業に必要な経費

日本語事業費

1. 日本語企画調整費

- (1) 海外日本語教育機関等調査
- (2) 日本語教育情報交流
- (3) 日本語教育企画開発型事業
- (4) ベトナム日本文化交流センター

2. 日本語派遣・助成費

- (1) 受託事業（アセアン）
- (2) 日本語教育専門家派遣（専門家）
- (3) 日本語教育専門家派遣（ジュニア専門家）
- (4) 日本語教育学会助成
- (5) 日本語教育機関支援（現地講師謝金助成）
- (6) 日本語教育プロジェクト支援（弁論大会助成）
- (7) 日本語教育プロジェクト支援（ネットワーク形成助成）
- (8) 日本語教育専門家派遣（JFボランティア・指導助手）

3. 日本語能力試験費

- (1) 日本語能力試験実施
- (2) 評価開発

日本語事業費

1. 日本語企画調整費 / (1) 海外日本語教育機関等調査

海外の日本語教育機関等に関する調査及び特定地域における調査等を実施し、その結果を公開する。

合計額 15,987,393 円

	事業名	期間	事業内容
1	国別情報ウェブサイト	2008. 04. 01 ~ 2009. 03. 31	各国の日本語教育の状況（沿革／教育制度／現状／動向等）を基金ウェブサイト上で紹介。毎年更新。
2	海外日本語教育機関調査	2008. 04. 01 ~ 2009. 03. 31	3年毎に実施する海外における日本語教育機関・教師・学習者等に関する一斉調査。平成20年度は2006年調査結果報告書を配布。また2009年調査に向けて準備。
3	日本語教育事情の動向調査	2008. 04. 01 ~ 2009. 03. 31	中期計画指針、地域別方針等に基づき、重点国・地域の日本語教育事情の最新動向を把握するため、専門家等による実地調査を実施。

日本語事業費

1. 日本語企画調整費 / (2) 日本語教育情報交流

外国人による日本語弁論大会の実施や、海外の日本語教育に関する情報を提供する。

合計額 6,795,560 円

	事業名	対象国	期間	事業内容
1	第49回外国人による日本語弁論大会	全世界区分困難	2008.06.14	外国人による日本語弁論大会を財団法人国際教育振興会、川越市との共催により埼玉県川越市で開催。大会の様子は後日NHK教育テレビで放映。日本語国際センター設立20周年記念事業。
2	日本語教育論集『世界の日本語教育』	全世界区分困難	2008.04.01 ~ 2009.03.31	日本語教育・日本語学および日本語教育事情・実践報告に関する公募論文集。平成20年度は第18号を発行・配布、第19号の論文公募、審査、編集作業を実施。第18号より従来の冊子体の発行部数を減らし、基金ウェブサイトに掲載の電子ジャーナルとして発行。冊子体については、市販。
3	韓国翻訳・公開シラバス	韓国	2008.04.01 ~ 2009.03.31	平成20年度は、2007年に新版が発表された韓国の中高等教育における「新教育課程」（日本の「教育指導要領」にあたる）のうち、日本語に係る部分を翻訳、基金ウェブサイト等で公開。

1. 日本語企画調整費 / (3) 日本語教育企画開発型事業

日本語普及において政策上の必要性が高い事業を実施する。

合計額 35,152,349 円

	事業名	対象国	期間	事業内容
1	日本語ネットワーク	全世界区分困難	2008.04.01 ~ 2009.03.31	基金海外事務所及び世界各地の中核的な日本語教育機関を構成メンバーとするネットワークを構築。より強い協力・連携を図り、各地においてより効果的な日本語教育の環境整備を行う。
2	インド中等教育支援	インド	2008.04.01 ~ 2009.03.31	日印首脳合意のフォローアップとして、前年度に引き続き、現地日本語教師養成研修を実施。
3	日本語事業広報	全世界区分困難	2008.04.01 ~ 2009.03.31	日本語教育事業について一般に分かりやすく紹介する広報資料を作成。
4	対米日本語拡充	米国	2008.04.01 ~ 2009.03.31	近年の米国教育法の改正、金融危機による財政難などの複合的影響とみられる日本語学習者の減少傾向に対応するため、日本語教師の資格取得・更新のための研修オンラインシステムの開発及びパイロット研修実施経費を支援。
5	ベトナム教科書作成支援	ベトナム	2008.07.01 ~ 2009.03.31	11年生用教科書『にほんご11』作成のため執筆者4名をベトナムから招へいし、日本語国際センターにおいて合宿形式で執筆。

日本語事業費

	事業名	対象国	期間	事業内容
6	AP日本語プログラム	米国	2008.09.01 ~ 2009.03.31	米国の高校生が在学中に大学の単位を事前履修し、単位の認定が受けられるコース及び資格試験（Advanced Placement Program）への日本語科目の導入を支援。
7	EPA現地日本語研修	インドネシア	2008.09.16 ~ 2009.03.31	日インドネシア経済連携協定（EPA）に基づいて受け入れを行うインドネシア人看護師・介護福祉士候補者に対し、インドネシアでの事前日本語研修の可能性を検討するための現地調査を外務省から受託。

日本語事業費

1. 日本語企画調整費 / (4) ベトナム日本文化交流センター

ベトナムにおける日本語教育支援を活動の中心としたベトナム日本文化交流センターを運営する。

合計額 51,176,688 円

	事業名	対象国	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	日本の世界遺産写真展	ベトナム	ハノイ	ベトナム日本文化交流センター		2008.04.01 ~ 2008.04.30	日本語学習者や地域住民を対象に、日本の世界遺産に関する写真パネル全61点を展示。
2	「自然に潜む日本」展（巡回展）	ベトナム	ハノイ	ベトナム国立美術館	ベトナム国立美術館	2008.05.16 ~ 2008.05.25	日越外交樹立35周年を記念し、写真家・矢萩喜從郎が撮影した、日本の美にまつわる85点の白黒写真を展示。
3	子どものおもちゃ展	ベトナム	ハノイ	ベトナム日本文化交流センター		2008.05.19 ~ 2008.06.20	主に日本語学習者を対象に、「日本の玩具」展の玩具（バンコク日本文化センターより借用）、こいのぼり、日本の伝統玩具（在ベトナム大使館より借用）、五月人形、雛人形（国際協力機構ベトナム日本人材協力センターより借用）を展示。
4	ハノイ・ホーチミン音楽祭～この平和を夢見て～	ベトナム	ハノイ ホーチミン	ナショナルコンベンションセンター（ハノイ） ホアビン劇場（ホーチミン）	ナショナルコンベンションセンター、ホアビン劇場	2008.05.24 ~ 2008.05.26	日越外交樹立35周年を記念し、日越両国の人気歌手（日本：杉良太郎、伍代夏子、ウィンズほか/ベトナム：ミー・リン、ラム・チュオンほか）による音楽祭をハノイ、ホーチミンの2都市で実施。
5	日本語で遊ぼう会	ベトナム	ハノイ	ベトナム日本文化交流センター		2008.05.31	「ベトナム中等教育における日本語教育プロジェクト」を実施している中学校4校より、日本語を学ぶ生徒を各校10名ずつ、計40名を集め、日本語にまつわるゲーム大会及び交流会を実施。
6	第4回ベトナム中等学校日本語教師研修会（全国研修）	ベトナム	ダナン	ダナンホテル	ベトナム教育訓練省	2008.06.09 ~ 2008.06.13	「ベトナム中等教育における日本語教育プロジェクト」を実施している北部、中部、南部の中等学校の日本語教師8名を一堂に集め、教師研修を実施。
7	外国語としての日本語試行教育評価セミナー	ベトナム	ダナン	バンブーグリーンセントラルホテル	ベトナム教育科学院	2008.06.14	「ベトナム中等教育における日本語教育プロジェクト」の試行状況を評価するためのセミナーを実施。ベトナム教育科学院の行政官のほか、各地の中等学校の校長・教頭等計約30名が集まり意見交換を行った。

日本語事業費

	事業名	対象国	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
8	勝恵美「TSUNAGARI・つながり・NOI KET」展	ベトナム	ハノイ	ベトナム日本文化交流センター		2008.08.18 ～ 2008.09.05	雑誌編集に携わりながらベトナムの風景を撮り続けている写真家・勝恵美によるベトナムの風景写真25点を展示。
9	Viet Van「太陽の色」展	ベトナム	ハノイ	ベトナム日本文化交流センター		2008.09.16 ～ 2008.10.10	日越外交樹立35周年を記念し、ベトナムにおける日本語普及活動の一環として、平成19年度基金主催「ベトナム・グループ招へい」事業において日本に招へいされたVIET VAN（労働新聞記者・カメラマン）が日本で撮影した写真35点を展示。
10	日本映画祭	ベトナム	ハノイ ハイフォン	国立映画センター（ハノイ） 5月1日劇場（ハイフォン）	国立映画センター、5月1日劇場	2008.10.10 ～ 2008.10.21	日越外交樹立35周年を記念し、『未来予想図』、『花よりもなほ』等、最近の映画作品を中心に8作品をハノイ、ハイフォンの2都市で上映。
11	「私の好きな、ハノイ」写真展	ベトナム	ハノイ	ベトナム日本文化交流センター		2008.11.13 ～ 2008.11.28	日越外交樹立35周年を記念し、ハノイ在住日本人の視点からガイドブックでは紹介されない場所、あるいは思い出の場所、秘密の場所を撮影した44名の日本人による写真作品をベトナム語の翻訳を加えてパネル化し展示。
12	日本語教育専門家（アドバイザー）、ジュニア専門家、指導助手による日本語教育支援活動	ベトナム				2008.04.01 ～ 2009.03.31	日本から派遣される日本語教育専門家（アドバイザー）、ジュニア専門家、指導助手により、日本語教育関連の調査や日本語教師、日本語教育に対する支援活動（巡回指導等）を実施。
13	図書館運営	ベトナム	ハノイ	ベトナム日本文化交流センター		2008.04.01 ～ 2009.03.31	事務所に併設された図書館において、図書収集、公開および貸出、レファレンス等の図書館運営業務を実施。年間来館者数のべ2,252人。
14	ウェブサイト運営	ベトナム	ハノイ	ベトナム日本文化交流センター		2008.04.01 ～ 2009.03.31	事務所ウェブサイト（ベトナム語、日本語、英語で閲覧可能）を整備、拡充し、幅広い対象に向けた事業の広報を実施。年間のべアクセス数283,605アクセス。 URL : http://www.jpj.org.vn/tabid/224/default.aspx

日本語事業費

2. 日本語派遣・助成費 / (1) 受託事業 (アセアン)

日本語の分野で、国際交流基金の業務趣旨に合致する事業を外部から受託し実施する。

合計額 131,048,490 円

	氏名	対象国	対象機関	期間	事業内容
1	中山 裕史	タイ	ブンガン高校	2008.06.03 ~ 2009.03.16	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進。
2	井口 真紀子	タイ	ナワミントラチュ ティット・クルンテー プマハナコン高校	2008.06.03 ~ 2009.03.16	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進。
3	松田 涼子	タイ	サムットプラカン高校	2008.06.03 ~ 2009.03.16	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進。
4	村林 直美	タイ	ラッタナコシン・ソム ポット・バウオンニ ウエット・サラヤ高校	2008.06.03 ~ 2009.03.16	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進。
5	遠藤 かおり	タイ	バンブン・ウッタサハ カムヌクロー高校	2008.06.03 ~ 2009.03.16	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進。
6	杉本 沙知香	タイ	シーガンワッタナーナ ンウッパターム高校	2008.06.03 ~ 2009.03.16	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進。
7	菅原 生江	タイ	ダムロンラトソク ロー高校	2008.06.04 ~ 2008.09.07	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進。
8	松野 陽子	タイ	ウタラディットダル ニー高校	2008.06.04 ~ 2008.11.25	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進。
9	水谷 由紀子	タイ	スラナリ・ウィッタヤ 高校	2008.06.04 ~ 2009.03.16	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進。
10	八嶋 康裕	タイ	ナワミントラチニュ ティット・スアング ラーブウィッタヤラ 高校	2008.06.04 ~ 2009.03.16	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進。
11	長谷川 有彦	フィリピン	ミンダナオ国際大学	2008.06.04 ~ 2009.04.03	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進。
12	米田 晃久	フィリピン	フィリピン日本語教師 会	2008.06.04 ~ 2009.04.03	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進。

日本語事業費

	氏名	対象国	対象機関	期間	事業内容
13	浅野目 志乃	フィリピン	フィリピン日本語教師会	2008.06.04 ~ 2009.04.03	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進。
14	石田 恵理子	シンガポール	ナンヤン・ポリテクニク	2008.06.09 ~ 2009.02.24	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進。
15	池田 真希子	インド	在チェンナイ印日商工会議所	2008.06.22 ~ 2009.04.21	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進。
16	梶田 麻優美	インド	ブネ印日協会	2008.06.22 ~ 2009.04.21	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進。
17	並木 麻美子	インド	ABK-AOTS同窓会タミルナド・センター	2008.06.22 ~ 2009.04.21	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進。
18	日野 広大	フィリピン	サンカルロス大学	2008.06.23 ~ 2009.04.22	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進。
19	三宅 絵梨	フィリピン	フィリピン大学ITトレーニングセンター	2008.07.12 ~ 2009.05.11	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進。
20	福岡 さやか	ベトナム	ダナン市教育訓練局	2008.08.20 ~ 2009.06.13	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進。
21	渡辺 梓	ベトナム	ハノイ市教育訓練局	2008.08.20 ~ 2009.06.13	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進。
22	幸森 いずみ	ベトナム	ホーチミン市教育訓練局	2008.08.20 ~ 2009.06.13	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進。
23	須摩 亜由子	ベトナム	トゥア・ティエン・フエ省教育訓練局	2008.08.20 ~ 2009.06.13	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進。
24	大滝 知里	ベトナム	トゥア・ティエン・フエ省高等師範学校	2008.08.21 ~ 2009.06.13	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進。
25	赤澤 香代子	シンガポール	シンガポール国立大学	2008.08.26 ~ 2009.05.31	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進。
26	小池 博美	カンボジア	王立プノンペン大学	2008.08.27 ~ 2009.07.15	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進。
27	永野 佑子	ラオス	ラオス日本人材開発センター	2008.09.16 ~ 2009.07.15	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進。

日本語事業費

	氏名	対象国	対象機関	期間	事業内容
28	高田 悠紀子	マレーシア	SMS全寮制中等学校	2009.01.09 ~ 2009.11.10	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進。
29	五十嵐 裕佳	マレーシア	STF全寮制中等学校	2009.01.09 ~ 2009.11.10	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進。
30	工藤 聡子	ブルネイ	ブルネイ教育省技術教育局生涯教育課	2009.01.11 ~ 2009.11.10	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進。
31	清水 梢	マレーシア	SBPI全寮制中等学校	2009.01.11 ~ 2009.11.10	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進。
32	尾堂 由美	マレーシア	KTK全寮制中等学校	2009.01.11 ~ 2009.11.10	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進。
33	中村 清夏	ニュージーランド	タワ・カレッジ	2009.01.19 ~ 2009.11.19	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進。
34	杉山 春華	インドネシア	国立リアウ大学	2009.01.31 ~ 2009.11.28	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進。
35	園山 智子	インドネシア	インドネシア・コンピューター大学	2009.01.31 ~ 2009.11.28	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進。
36	佐農 紀子	インドネシア	ムハマディア・ドクター・ハムカ大学	2009.01.31 ~ 2009.11.28	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進。
37	眞謝 絵美	インドネシア	ディアン・ヌスワントロ大学	2009.01.31 ~ 2009.11.28	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進。
38	町田 佳帆梨	インドネシア	ブン・ハッタ大学	2009.02.01 ~ 2009.11.28	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進。
39	藤本 尚子	オーストラリア	ウェスタン・オーストラリア州教育省	2009.02.06 ~ 2009.12.07	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進。
40	永島 恭子	オーストラリア	ニュー・サウス・ウェールズ州教育省	2009.02.06 ~ 2009.12.07	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進。
41	竹内 衣里	オーストラリア	ニュー・サウス・ウェールズ州教育省	2009.02.06 ~ 2009.12.07	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進。
42	尾関 優子	インドネシア	北スマトラ大学	2009.02.07 ~ 2009.12.06	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進。
43	小島 理恵	インドネシア	ドクターストモ大学	2009.02.07 ~ 2009.12.06	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進。

日本語事業費

	氏名	対象国	対象機関	期間	事業内容
44	戸野 雅恵	インドネシア	JIA外国語大学	2009.02.07 ~ 2009.12.06	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進。
45	西 智美	インドネシア	ウダヤナ大学	2009.02.08 ~ 2009.12.06	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進。
46	松村 のぞみ	インドネシア	ウィディアタマ大学	2009.02.08 ~ 2009.12.06	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進。
47	栗原 真理江	オーストラリア	ウェスタン・オーストラリア州教育省	2009.02.08 ~ 2009.12.07	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進。
48	内田 紋子	オーストラリア	ニュー・サウス・ウェールズ州教育省	2009.02.08 ~ 2009.12.07	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進。

日本語事業費

2. 日本語派遣・助成費 / (2) 日本語教育専門家派遣 (専門家)

1. 現地の日本語教師養成に資するため、日本語教師研修会の実施、教師ネットワーク形成の支援、日本語教授法や日本語教材作成に関する助言・指導などを行う。
2. 現地日本語教育機関の授業を実際に担当するほか、現地教師への助言・指導、カリキュラム編成や教材作成などについて支援を行う。

合計額 868,885,085 円

	氏名	対象機関	対象国	期間
1	根津 誠	クアラルンプール日本文化センター	マレーシア	2005.04.01 ~ 2008.04.16
2	畠山 理恵	ニューデリー日本文化センター	インド	2005.05.12 ~ 2008.05.11
3	片桐 準二	ブノンペン大学	カンボジア	2005.05.17 ~ 2008.08.20
4	小西 広明	北京日本文化センター	中国	2005.05.19 ~ 2008.05.18
5	沼崎 邦子	ケルン日本文化会館	ドイツ	2005.07.11 ~ 2008.07.23
6	池津 丈司	モスクワ国立大学	ロシア	2005.07.14 ~ 2008.07.01
7	長谷川 理恵	ニューデリー日本文化センター	インド	2005.07.19 ~ 2008.07.18
8	山口 敏幸	ソウル日本文化センター	韓国	2005.08.15 ~ 2008.08.31
9	平田 好	ラオス日本人材開発センター	ラオス	2005.09.02 ~ 2008.09.01
10	岸田 理恵	クイーンズランド州教育省クイーンズランドLOTEセンター	オーストラリア	2006.01.12 ~ 2009.01.31
11	原田 明子	タスマニア州教育省	オーストラリア	2006.01.12 ~ 2009.01.31
12	森 勇樹	マラヤ大学日本留学予備教育課程	マレーシア	2006.03.25 ~ 2009.03.24
13	盛田 真樹子	マラヤ大学日本留学予備教育課程	マレーシア	2006.03.25 ~ 2009.03.24
14	桜井 千代子	モンゴル日本人材開発センター	モンゴル	2006.04.07 ~ 2008.04.06
15	矢沢 悦子	クアラルンプール日本文化センター	マレーシア	2006.04.22 ~ 2009.10.21
16	立花 秀正	日中友好大連人材育成センター	中国	2006.04.24 ~ 2009.03.31
17	星 亨	マニラ日本文化センター	フィリピン	2006.05.20 ~ 2008.05.19
18	横野 登代子	土日基金文化センター	トルコ	2006.06.04 ~ 2009.09.30
19	飯尾 幸司	北スマトラ大学	インドネシア	2006.06.14 ~ 2009.06.30
20	室屋 春光	アルバータ教育省	カナダ	2006.06.19 ~ 2009.06.18

日本語事業費

	氏名	対象機関	対象国	期間
21	長田 佳奈子	ソウル日本文化センター	韓国	2006.06.21 ~ 2009.06.30
22	吉田 裕子	ジャカルタ日本文化センター	インドネシア	2006.06.22 ~ 2009.06.30
23	山口 明	ウズベキスタン人材開発日本センター	ウズベキスタン	2006.06.30 ~ 2008.07.20
24	森戸 規子	ウクライナ日本センター	ウクライナ	2006.07.01 ~ 2008.07.11
25	高崎 三千代	ローマ日本文化会館	イタリア	2006.07.03 ~ 2009.07.02
26	近藤 正憲	テヘラン大学	イラン	2006.07.28 ~ 2009.07.30
27	中込 達哉	ケニヤッタ大学	ケニア	2006.08.01 ~ 2008.07.31
28	山本 晃彦	インドネシア教育大学	インドネシア	2006.08.03 ~ 2010.08.07
29	雄谷 進	ベトナム日本人材協力センター	ベトナム	2006.08.19 ~ 2008.08.18
30	山科 健吉	カイロ日本文化センター	エジプト	2006.09.01 ~ 2009.10.04
31	松原 潤	バンコク日本文化センター	タイ	2006.09.22 ~ 2009.09.21
32	大谷 英樹	キング・サワード大学	サウジアラビア	2006.09.29 ~ 2009.06.30
33	藤井 明子	ベトナム日本人材協力センター	ベトナム	2006.10.04 ~ 2008.10.03
34	藤光 由子	西オーストラリア州教育省	オーストラリア	2007.02.04 ~ 2010.02.10
35	尾崎 裕子	キルギス日本人材開発センター	キルギス	2007.02.07 ~ 2010.02.06
36	北村 武士	ソウル日本文化センター	韓国	2007.03.16 ~ 2010.03.15
37	藤原 由紀子	マラヤ大学日本留学予備教育課程	マレーシア	2007.03.18 ~ 2010.03.18
38	富岡 純	マラヤ大学日本留学予備教育課程	マレーシア	2007.03.18 ~ 2010.03.18
39	杉山 純子	マラヤ大学日本留学予備教育課程	マレーシア	2007.03.18 ~ 2010.03.28
40	佐々木 良三	マラヤ大学日本留学予備教育課程	マレーシア	2007.03.23 ~ 2009.03.23
41	吉川 達	マラヤ大学日本留学予備教育課程	マレーシア	2007.03.23 ~ 2010.03.23
42	戸田 淑子	マラヤ大学日本留学予備教育課程	マレーシア	2007.03.23 ~ 2010.03.28
43	松本 剛次	シドニー日本文化センター	オーストラリア	2007.04.01 ~ 2010.04.30
44	久野 元	カザフスタン日本人材開発センター	カザフスタン	2007.04.05 ~ 2009.04.04

日本語事業費

	氏名	対象機関	対象国	期間
45	青沼 国夫	ケラニア大学	スリランカ	2007.04.13 ~ 2011.04.30
46	儀満 敏彦	バンコク日本文化センター	タイ	2007.05.02 ~ 2009.05.23
47	衣笠 秀子	カンボジア日本人材開発センター	カンボジア	2007.06.19 ~ 2009.03.31
48	金 秀芝	香港日本語教育研究会	中国	2007.06.22 ~ 2009.06.21
49	瓜生 佳代	ヤゲロン大学	ポーランド	2007.07.03 ~ 2010.07.02
50	山下 美紀	国立スラバヤ大学	インドネシア	2007.07.09 ~ 2010.07.08
51	久松 美立	ガジャマダ大学	インドネシア	2007.07.09 ~ 2010.07.08
52	松島 幸男	アインシャムス大学	エジプト	2007.07.10 ~ 2010.07.09
53	平野 美恵子	ブカレスト大学	ルーマニア	2007.07.15 ~ 2009.07.14
54	駒田 聡	ソフィア大学	ブルガリア	2007.07.19 ~ 2010.07.18
55	森西 志保子	ラオス国立大学	ラオス	2007.07.20 ~ 2010.08.18
56	渡辺 由美	ダマスカス大学	シリア	2007.07.20 ~ 2010.07.19
57	福島 青史	ブダペスト日本文化センター	ハンガリー	2007.07.31 ~ 2010.08.10
58	稲見 由紀子	ベトナム中等教育機関	ベトナム	2007.07.31 ~ 2009.07.30
59	岩澤 和宏	ケルン日本文化会館	ドイツ	2007.08.05 ~ 2010.08.13
60	木谷 直之	ジャカルタ日本文化センター	インドネシア	2007.09.15 ~ 2010.09.14
61	三上 京子	カレル大学	チェコ	2007.09.22 ~ 2010.09.21
62	近藤 裕美子	パリ日本文化会館	フランス	2007.12.12 ~ 2010.12.22
63	柴原 智代	ニューデリー日本文化センター	インド	2008.01.15 ~ 2010.01.31
64	林 雅子	サンチャゴ大学	チリ	2008.01.16 ~ 2010.01.19
65	友岡 純子	ニュージーランド教育省	ニュージーランド	2008.01.30 ~ 2010.12.31
66	宇田川 洋子	ロンドン日本文化センター	英国	2008.02.19 ~ 2011.02.18
67	三宅 直子	マラヤ大学日本留学予備教育課程	マレーシア	2008.03.17 ~ 2010.03.16
68	矢野 優子	マラヤ大学日本留学予備教育課程	マレーシア	2008.03.17 ~ 2010.03.16

日本語事業費

	氏名	対象機関	対象国	期間
69	谷井 明美	マラヤ大学日本留学予備教育課程	マレーシア	2008.03.17 ~ 2010.03.16
70	金澤 菜穂	マラヤ大学日本留学予備教育課程	マレーシア	2008.03.17 ~ 2010.03.16
71	遠藤 和歌子	マラヤ大学日本留学予備教育課程	マレーシア	2008.03.17 ~ 2010.03.16
72	藤島 夕紀代	モンゴル日本人材開発センター	モンゴル	2008.04.01 ~ 2012.01.21
73	坪山 由美子	クアラルンプール日本文化センター	マレーシア	2008.04.08 ~ 2011.04.15
74	西野 藍	コンケン大学	タイ	2008.04.28 ~ 2010.04.27
75	和田 衣世	ニューデリー日本文化センター	インド	2008.05.01 ~ 2011.04.30
76	王 崇梁	北京日本文化センター	中国	2008.05.10 ~ 2011.05.09
77	新見 康之	マニラ日本文化センター	フィリピン	2008.05.14 ~ 2010.05.13
78	小栗 潔	モスクワ国立大学	ロシア	2008.06.22 ~ 2010.06.21
79	大原 淳裕	ウクライナ日本センター	ウクライナ	2008.06.29 ~ 2010.06.28
80	鈴木 今日子	ニューデリー日本文化センター	インド	2008.07.09 ~ 2010.07.08
81	立間 智子	ウズベキスタン日本人材開発センター	ウズベキスタン	2008.07.10 ~ 2010.11.30
82	三矢 真由美	ケルン日本文化会館	ドイツ	2008.07.14 ~ 2011.07.13
83	小久保 ひろし	ケニヤッタ大学	ケニア	2008.07.18 ~ 2010.07.17
84	茅本 百合子	アイルランド教育省	アイルランド	2008.07.28 ~ 2011.07.27
85	上野 栄三	王立ブノンペン大学	カンボジア	2008.08.07 ~ 2009.10.02
86	村上 吉文	ベトナム日本人材協力センター	ベトナム	2008.08.07 ~ 2010.08.06
87	野村 ゆみ子	ラオス日本人材開発センター	ラオス	2008.08.21 ~ 2010.08.20
88	小川 靖子	ソウル日本文化センター	韓国	2008.08.21 ~ 2011.08.20
89	平岩 桂子	ベトナム日本人材協力センター	ベトナム	2008.09.23 ~ 2010.08.31
90	小林 峰子	マラヤ大学日本留学予備教育課程	マレーシア	2009.03.30 ~ 2011.03.29
91	星野 智子	マラヤ大学日本留学予備教育課程	マレーシア	2009.03.30 ~ 2011.03.29

日本語事業費

2. 日本語派遣・助成費 / (3) 日本語教育専門家派遣 (ジュニア専門家)

1. 主として中等教育レベルの日本語教師の能力向上に資するため、担当地域内で日本語教師のための勉強会の開催や、学校訪問・巡回指導などを行う。
2. 大学など個別の機関に派遣され、当該機関の授業担当、カリキュラム編成、教材作成、現地教師への助言などを行う。

合計額 159,599,876 円

	氏名	対象機関	対象国	期間
1	吉川 景子	タイ中等教育機関	タイ	2005.04.25 ~ 2008.04.24
2	鈴木 由美子	タイ中等教育機関	タイ	2005.05.02 ~ 2008.04.12
3	飯野 令子	ブダペスト日本文化センター	ハンガリー	2005.06.08 ~ 2008.06.30
4	栗原 明美	インドネシア中等教育機関	インドネシア	2005.06.13 ~ 2009.06.12
5	小原 亜紀子	インドネシア中等教育機関	インドネシア	2005.06.15 ~ 2008.06.30
6	斎藤 真美	インドネシア中等教育機関	インドネシア	2005.06.15 ~ 2008.06.30
7	吉田 佳未	北京日本文化センター	中国	2005.08.04 ~ 2008.09.17
8	三浦 雄一郎	ジャカルタ日本文化センター	インドネシア	2006.06.12 ~ 2009.06.30
9	阿坂 真理	ジャカルタ日本文化センター	インドネシア	2006.06.12 ~ 2008.06.30
10	猪狩 英美	ノボシビルスク国立大学	ロシア	2006.06.15 ~ 2009.06.29
11	内村 浩子	キエフ国立言語大学	ウクライナ	2006.06.15 ~ 2008.06.30
12	久木 元恵	アル・ファラビ名称カザフ民族大学	カザフスタン	2006.06.15 ~ 2008.06.30
13	森本 由佳子	極東国立人文大学	ロシア	2006.06.15 ~ 2008.06.30
14	成田 高宏	サハリン国立総合大学	ロシア	2006.06.15 ~ 2008.06.30
15	菅井 綾子	ベラルーシ国立大学	ベラルーシ	2006.06.19 ~ 2008.06.30
16	竹山 直子	カイロ大学	エジプト	2006.08.20 ~ 2008.06.30
17	坂本 裕子	ウラジオストク極東国立大学	ロシア	2006.08.20 ~ 2009.08.19
18	森田 衛	アインシャムス大学	エジプト	2006.08.21 ~ 2009.06.30
19	内田 陽子	タイ中等教育機関	タイ	2007.04.17 ~ 2010.04.30
20	和栗 夏海	マニラ日本文化センター	フィリピン	2007.05.01 ~ 2010.04.30
21	レイン 幸代	クアラルンプール日本文化センター	マレーシア	2007.05.12 ~ 2009.08.31

日本語事業費

	氏名	対象機関	対象国	期間
22	伊藤 愛子	ベトナム中等教育機関	ベトナム	2007.06.02 ~ 2009.08.23
23	渡邊 知積	バクー国立大学	アゼルバイジャン	2007.06.20 ~ 2009.06.19
24	齊藤 都	遼寧省基礎教育教研培训中心、阜新市進修学校、阜新県進修学校	中国	2007.07.06 ~ 2009.07.05
25	斎藤 誠	ダマスカス大学	シリア	2007.08.20 ~ 2010.08.19
26	チャンタボン 令	ラオス国立大学	ラオス	2007.08.21 ~ 2010.08.19
27	伊藤 聡子	レークイドン中学校	ベトナム	2007.08.25 ~ 2010.08.24
28	太原 ゆか	タイ中等教育	タイ	2008.03.30 ~ 2010.04.30
29	松井 玲子	バンコク日本文化センター	タイ	2008.04.03 ~ 2011.04.30
30	工藤 聖子	インドネシア中等教育機関	インドネシア	2008.06.08 ~ 2010.06.29
31	吉岡 千里	インドネシア中等教育機関	インドネシア	2008.06.08 ~ 2011.06.30
32	岩田 敏和	インドネシア中等教育機関	インドネシア	2008.06.08 ~ 2010.06.30
33	柳坪 幸佳	ブダペスト日本文化センター	ハンガリー	2008.06.19 ~ 2011.06.18
34	三森 優	キエフ国立大学／キエフ言語大学	ウクライナ	2008.06.19 ~ 2011.06.18
35	渡辺 裕美	ベラルーシ国立大学	ベラルーシ	2008.06.19 ~ 2010.06.26
36	鈴木 恵理	カザフ民族大学	カザフスタン	2008.06.19 ~ 2010.06.30
37	安河内 貴子	極東国立人文大学	ロシア	2008.06.19 ~ 2010.12.31
38	渡邊 康二	サハリン国立総合付属経済東洋語大学	ロシア	2008.06.21 ~ 2010.06.30
39	櫻井 勇介	カイロ大学文学部日本語日本文学科	エジプト	2008.08.20 ~ 2010.06.30
40	橋本 沙里	北京日本文化センター	中国	2008.09.09 ~ 2010.09.08
41	信岡 麻理	シドニー日本文化センター	オーストラリア	2008.11.01 ~ 2011.10.31

日本語事業費

2. 日本語派遣・助成費 / (4) 日本語教育学会助成

国内の日本語教育開発機関が実施する教育研修事業、海外における日本語教育事情に関する調査研究、国内外における日本語教育事情に関する情報の提供、及び情報交流の促進に資する事業の実施経費の一部を助成する。

合計額 15,235,000 円

	事業名	対象国	助成機関	事業期間	事業内容
1	日本語教育学会助成	全世界区分困難	社団法人日本語教育学会	2008.04.01 ~ 2009.03.31	社団法人日本語教育学会が実施する各種研修事業および調査研究事業に対し助成。

日本語事業費

2. 日本語派遣・助成費 / (5) 日本語教育機関支援（現地講師謝金助成）

海外の非営利日本語教育機関で日本語講座の運営に財政的困難がある場合、近い将来自助独立の見通しのあるものだけに限り、講師スタッフの謝金の一部を助成する。

合計額 24,138,832 円

	助成機関	対象国	期間
1	セアラ州立大学人文学科	ブラジル	2008.04.01 ~ 2008.12.31
2	エンジニアリング観光コンピュータ通訳養成学院	マダガスカル	2008.04.01 ~ 2009.01.31
3	タルト大学	エストニア	2008.04.01 ~ 2009.03.31
4	済州道韓日親善協会	韓国	2008.04.01 ~ 2009.03.31
5	ハサヌディン大学文学部日本語学科	インドネシア	2008.04.01 ~ 2009.03.31
6	パキスタン・日本文化協会（シンド）	パキスタン	2008.04.01 ~ 2009.03.31
7	カリフォルニア州立大学サンバーナーディーノ校	米国	2008.04.01 ~ 2009.03.31
8	リオデジャネイロ日伯文化協会	ブラジル	2008.04.01 ~ 2009.03.31
9	ラパス・ボリビア日本文化財団日本語普及学校	ボリビア	2008.04.01 ~ 2009.03.31
10	アザジ名称世界言語大学	トルクメニスタン	2008.04.01 ~ 2009.03.31
11	ソフィア第18総合学校	ブルガリア	2008.04.01 ~ 2009.03.31
12	ラトビア大学現代言語学部アジア学科	ラトビア	2008.04.01 ~ 2009.03.31
13	イエメン・日本友好協会	イエメン	2008.04.01 ~ 2009.03.31
14	ディラード大学	米国	2008.04.01 ~ 2009.03.31
15	マラヤ大学予備教育部	マレーシア	2008.05.28 ~ 2009.05.27
16	オルソン・リンド・アップースクール・アカデミー	米国	2008.07.01 ~ 2009.06.30
17	ノースキャロライナ州立大学シャーロット校	米国	2008.08.01 ~ 2009.05.31
18	マレー州立大学	米国	2008.08.01 ~ 2009.06.30
19	カルバリー・クリスチャン・アカデミー	ミクロネシア	2008.08.01 ~ 2009.07.31
20	ハーバート・フーバー中学校	米国	2008.08.25 ~ 2009.06.10

日本語事業費

	助成機関	対象国	期間
21	ブリティッシュ・コロンビア大学オカナガン校	カナダ	2008.09.01 ~ 2009.04.30
22	エオトヴェシ・ロラーンド大学	ハンガリー	2008.09.01 ~ 2009.06.30
23	マンチェスター大学	英国	2008.09.01 ~ 2009.08.31
24	メケレ大学	エチオピア	2008.09.01 ~ 2009.08.31
25	王立ブノンペン大学	カンボジア	2008.09.01 ~ 2009.08.31
26	サラマンカ大学	スペイン	2008.09.01 ~ 2009.08.31
27	カタルーニャ公開大学	スペイン	2008.09.01 ~ 2009.08.31
28	ミーニョ大学人文学部東洋言語文化研究所	ポルトガル	2008.09.30 ~ 2009.08.31
29	ボンペウ・ファブラ大学	スペイン	2008.10.01 ~ 2009.06.30

日本語事業費

2. 日本語派遣・助成費 / (6) 日本語教育プロジェクト支援 (弁論大会助成)

海外において日本語弁論大会を開催しようとする現地機関に対して、賞品等の一部を助成する。

合計額 8,731,337 円

	事業名	助成機関	対象国	期間
1	第7回フロリダ州日本語スピーチ&スキットコンテスト	フロリダ州日本語教師会	米国	2008. 04. 05
2	2008年タジキスタン共和国日本語弁論大会	タジキスタン共和国日本語教師会	タジキスタン	2008. 04. 05
3	第7回シベリア地域日本語弁論大会	イルクーツク国立言語大学	ロシア	2008. 04. 11
4	第1回安徽省日本語スピーチコンテスト	安徽大学外国語学院	中国	2008. 04. 12
5	テネシー州日本語弁論大会	バンダビルト大学	米国	2008. 04. 12
6	第32回日本語弁論大会	チェコ日本語教師会	チェコ	2008. 04. 12
7	第14回日本語弁論大会	キリル・メトディ国際基金	ブルガリア	2008. 04. 12
8	第30回ハワイ日系人連合協会日本語話し方大会	ハワイ日系人連合協会	米国	2008. 04. 19
9	第12回瀋陽日本語弁論大会	瀋陽日本人会	中国	2008. 04. 20
10	第19回アリゾナ日本語弁論大会	アリゾナ日本語教師協会	米国	2008. 04. 21
11	ノースカロライナ州高校生日本語スピーチ・コンテスト	ノースカロライナ日本語教師会	米国	2008. 04. 26
12	第5回日本語スピーチコンテスト	アイスランド大学	アイスランド	2008. 04. 26
13	第17回バルセロナ日本語弁論大会	バルセロナ水曜会	スペイン	2008. 04. 26
14	第10回2007-2008日本語スピーチコンテスト	JICAモロッコ日本語教師会	モロッコ	2008. 04. 26
15	第14回ホーチミン市日本語スピーチコンテスト	ホーチミン市日本語教師会	ベトナム	2008. 05. 11
16	第28回日本語弁論大会	日本文化研究会	ギリシャ	2008. 05. 11
17	第8回日本語発表会・スピーチコンテスト	ザグレブ大学哲学部	クロアチア	2008. 05. 12
18	第11回日本語弁論大会	国立サン・カルロス大学言語センター	グアテマラ	2008. 05. 17
19	第2回シベリア日本語弁論大会	シベリア日本語教育協会	ロシア	2008. 05. 17
20	第9回日本語スピーチコンテスト	ミャンマー元日本留学生協会MAJA	ミャンマー	2008. 05. 24

日本語事業費

	事業名	助成機関	対象国	期間
21	第25回メキシコ日本語弁論大会	メキシコ日本語教師会	メキシコ	2008.05.25
22	第12回日本語スピーチ競演大会（光州）	湖南大学校	韓国	2008.05.30
23	第2回日本語弁論大会	クウェート大学生涯学習センター	クウェート	2008.06.02
24	第13回ハバナの日本語弁論大会	ハバナ大学外国語学部	キューバ	2008.06.16
25	第6回エルサルバドル日本語スピーチコンテスト2008	エルサルバドル大学	エルサルバドル	2008.06.27
26	第17回日本語弁論大会（済州）	済州道韓日親善協会	韓国	2008.07.01
27	第22回ブルネイ日本語弁論大会	ブルネイ教育省技術教育局生涯教育課	ブルネイ	2008.07.01
28	2008年度香港日本語弁論大会	香港日本文化協会	中国	2008.07.06
29	第40回日本大使杯日本語スピーチコンテスト	シンガポール日本文化協会	シンガポール	2008.07.06
30	A. C. T. 日本語弁論大会（ワラマンガ）	首都特別地域日本語教師会	オーストラリア	2008.08.01
31	マッセイ大学スピーチコンテスト	マッセイ大学言語学科東アジア・プログラム	ニュージーランド	2008.08.01
32	第38回日本語スピーチ大会（ブリスベン）	クィーンズランド言語教師協会	オーストラリア	2008.08.18
33	第2回ヤウンデにほんごコンテスト	アフリカにほんいえ	カメルーン	2008.08.28
34	第20回日本語スピーチコンテスト	パラグアイ日本人会連合会	パラグアイ	2008.09.06
35	第39回西豪州日本語スピーチコンテスト	イーデス・コーワン大学	オーストラリア	2008.09.14
36	第12回日本語弁論大会	エクアドル・カトリック大学	エクアドル	2008.09.20
37	第7回バクー日本語弁論大会	バクー国立大学	アゼルバイジャン	2008.09.20
38	第6回ベラルーシ日本語弁論大会	ベラルーシ日本語教師会	ベラルーシ	2008.09.26
39	第24回パラナ日本語スピーチコンテスト	クリチーバ日伯文化援護協会日本語講座	ブラジル	2008.09.27
40	第13回ウクライナ日本語弁論大会	ウクライナ日本語教師会	ウクライナ	2008.09.27
41	第2回ダナン日本語まつり	ダナン外国語大学	ベトナム	2008.09.30
42	第12回ロシア極東・東シベリア日本語教育セミナー、 第13回ロシア極東・東シベリア日本語弁論大会	サハリン国立総合大学付属経済東洋学大学	ロシア	2008.10.01

日本語事業費

	事業名	助成機関	対象国	期間
43	2008全ケニア日本語弁論大会	ケニア日本語教師会	ケニア	2008. 10. 04
44	第3回中国大学院生日本語スピーチ・討論コンテスト	第3回中国大学院生日本語スピーチ・討論コンテスト実行委員会	中国	2008. 10. 05
45	第27回日本語お話・弁論大会（ベレン）	汎アマゾン日伯協会	ブラジル	2008. 10. 05
46	第7回東北日伯日本語スピーチコンテスト サルバドル大会（バイア）	バイア日伯文化協会連合会	ブラジル	2008. 10. 05
47	第14回汎ブラジリア日本語スピーチコンテスト	ブラジリア日本語普及協会	ブラジル	2008. 10. 05
48	第18回コロンビアカリ日本語スピーチコンテスト	コロンビア日系人協会付属日本語学校	コロンビア	2008. 10. 11
49	第30回リオデジャネイロ弁論大会兼第14回3州地方予選	リオデジャネイロ日伯文化協会	ブラジル	2008. 10. 11
50	第18回日本語弁論大会	在ウルグアイ日本人会	ウルグアイ	2008. 10. 12
51	第29回サンパウロ日本語スピーチコンテスト	ブラジル日本語センター	ブラジル	2008. 10. 19
52	第27回日本語スピーチコンテスト	日智文化協会	チリ	2008. 10. 20
53	「こんにちは」日本語弁論大会	カシミア高校	ニュージーランド	2008. 10. 24
54	第8回日本語スピーチコンテスト	サモア国立大学	サモア	2008. 10. 25
55	第22回ボゴタ日本語弁論大会	ハベリアーナ大学	コロンビア	2008. 10. 25
56	第27回日本語弁論大会（ポルトアレグレ）	リオグランデドスールカトリック大学	ブラジル	2008. 10. 25
57	第28回全国日本語弁論大会	ペルー日系人協会	ペルー	2008. 10. 26
58	第21回CIS学生日本語弁論大会	CIS日本語教師会	ロシア	2008. 10. 27
59	第2回日本語スピーチコンテスト	ホンジュラス国立教育大学	ホンジュラス	2008. 11. 01
60	第16回日本語スピーチコンテスト	ハンガリー日本語教師会	ハンガリー	2008. 11. 01
61	第11回シリア日本語スピーチコンテスト	在シリア日本語教師会	シリア	2008. 11. 01
62	第35回日本語弁論大会（サンフランシスコ）	北加日米会	米国	2008. 11. 02
63	第21回北部地区日本語弁論大会（ニューデリー）	文部省留学生協会（モサイ）	インド	2008. 11. 03

日本語事業費

	事業名	助成機関	対象国	期間
64	第22回コロラド州日本語弁論大会	コロラド大学東アジア言語文明学部	米国	2008. 11. 08
65	第8回日本語弁論大会	コスタリカ日本人会	コスタリカ	2008. 11. 08
66	第16回日本語スピーチコンテスト	在亜日本語教育連合会	アルゼンチン	2008. 11. 09
67	第8回全国大学生日本語弁論大会	国立昌原大学校	韓国	2008. 11. 15
68	第5回日本語弁論大会（ラスベガス）	南ネバダ日本語教師会	米国	2008. 11. 15
69	第17回アンカラ日本語弁論大会	アンカラ日本語弁論大会実行委員会	トルコ	2008. 11. 16
70	第7回日本語スピーチコンテスト	モンゴル国立科学技術大学	モンゴル	2008. 11. 22
71	日本語スピーチコンテスト（チェンナイ）	印日商工会議所	インド	2008. 11. 22
72	第21回東インド弁論大会	印日福祉文化協会	インド	2008. 12. 01
73	第5回日本語スピーチコンテスト	イエメン・日本友好協会	イエメン	2008. 12. 01
74	第2回日本語コンクール	アフリカ高等経営学センター	セネガル	2008. 12. 06
75	第4回モルドバ日本語弁論大会	モルドバ日本交流財団	モルドバ	2008. 12. 13
76	第20回スペイン人による日本語弁論大会	日西文化協会TORA	スペイン	2009. 01. 16
77	第7回セブ日本語弁論大会	セブ日本人会	フィリピン	2009. 01. 31
78	第20回テキサス州日本語弁論大会	テキサス州日米協会連合	米国	2009. 02. 01
79	第11回日本語弁論大会	中米大学	ニカラグア	2009. 02. 01
80	第13回2009年日本語スピーチコンテスト	ガーナJICA研修生会	ガーナ	2009. 02. 14
81	第21回西インド地区日本語弁論大会	プネ印日協会	インド	2009. 02. 16
82	第12回日本語スピーチコンテスト	王立プノンペン大学外国語学部	カンボジア	2009. 02. 21
83	第24回カラチ日本語弁論大会	パキスタン・日本文化協会（シンド）	パキスタン	2009. 02. 22
84	第12回CSLA日本語スピーチコンテスト	カリフォルニア州立大学ロサンゼルス校	米国	2009. 02. 28

日本語事業費

	事業名	助成機関	対象国	期間
85	第21回ブリティッシュ・コロンビア州日本語弁論大会	ブリティッシュ・コロンビア州日本語弁論大会実行委員会	カナダ	2009. 03. 01
86	第11回アトランティック・カナダ日本語弁論大会	セント・トーマス大学	カナダ	2009. 03. 01
87	第20回ケベック州日本語弁論大会	マギル大学	カナダ	2009. 03. 01
88	第7回アイルランド日本語弁論大会	アイルランド日本語教師会	アイルランド	2009. 03. 01
89	第29回日本語弁論大会	ポーランド日本語教師会	ポーランド	2009. 03. 01
90	第8回日本語弁論大会	ラトビア日本語弁論大会実行委員会	ラトビア	2009. 03. 01
91	第12回日本語スピーチコンテスト	ヨルダン大学	ヨルダン	2009. 03. 01
92	第23回デューク大学日本語スピーチコンテスト	デューク大学	米国	2009. 03. 02
93	モンタナ第1回スピーチコンテスト「伝統と現代の日本文化の魅力」	モンタナ大学	米国	2009. 03. 06
94	第27回オンタリオ州日本語弁論大会	オンタリオ州日本語弁論大会実行委員会	カナダ	2009. 03. 07
95	第18回アルバータ地区日本語弁論大会	カルガリー大学	カナダ	2009. 03. 07
96	第20回マニトバ日本語弁論大会	マニトバ大学	カナダ	2009. 03. 07
97	第20回オタワ日本語弁論大会	オタワ日本語弁論大会準備委員会	カナダ	2009. 03. 07
98	2009年JASCO日本語スピーチコンテスト（コロンバス）	セントラル・オハイオ日米協会	米国	2009. 03. 07
99	第17回イスタンブール日本語弁論大会	イスタンブール日本語弁論大会実行委員会	トルコ	2009. 03. 08
100	第27回日本語弁論大会	ネパール日本語教師協会	ネパール	2009. 03. 10
101	第6回エストニア国内日本語弁論大会	エストニア日本語教師会	エストニア	2009. 03. 13
102	第11回カザフスタン日本語弁論大会	カザフスタン日本語教師会	カザフスタン	2009. 03. 14
103	第2回中南部日本語弁論大会（ニューオリンズ）	ルイジアナ日本語教師会	米国	2009. 03. 15
104	2008年秋期キルギス共和国日本語弁論大会	キルギス日本語教師会	キルギス	2009. 03. 15
105	第33回日本語スピーチコンテスト	ダッカ日本語教室同窓会	バングラデシュ	2009. 03. 20

日本語事業費

	事業名	助成機関	対象国	期間
106	第21回2009年度日本語弁論大会	スリランカ日本語教育協会	スリランカ	2009. 03. 21
107	第17回ウズベキスタン日本語弁論大会	ウズベキスタン日本語弁論大会実行委員会	ウズベキスタン	2009. 03. 21
108	第13回日本語弁論大会	ルーマニア日本語教師会	ルーマニア	2009. 03. 21
109	第6回ラオス日本語スピーチコンテスト	チャンパ日本語学校	ラオス	2009. 03. 22
110	第14回高校生のための日本語スピーチコンテスト (ニューヨーク)	米国北東部日本語教師会	米国	2009. 03. 25
111	第26回日本語スピーチ&スキットコンテスト(シアトル)	兵庫経済文化センター	米国	2009. 03. 28
112	2009年日本語スピーチコンテスト(アトランタ)	ジョージア日米協会	米国	2009. 03. 28
113	第6回アラスカ州日本語スピーチコンテスト	アラスカ日本語教師会	米国	2009. 03. 28
114	第24回日本語で語る会	フィンランド・日本語日本文化教師会	フィンランド	2009. 03. 28
115	第20回全カナダ日本語弁論大会	全カナダ日本語弁論大会実行委員会	カナダ	2009. 03. 29

日本語事業費

2. 日本語派遣・助成費 / (7) 日本語教育プロジェクト支援 (ネットワーク形成助成)

海外の日本語教師、日本語教育研究者、日本語教育機関のネットワーク化を促進することを目的に、各国の日本語教師会、日本語教育学会、高等教育機関、研究機関などに対し、日本語教育に関する学術会議、セミナー、ワークショップ、日本語教師研修会等のプロジェクト実施経費の一部を助成する。

合計額 14,819,083 円

	事業名	助成機関	対象国	期間	事業内容
1	第10回フランス日本語教育シンポジウム	フランス日本語教師会	フランス	2008.04.25 ~ 2008.04.26	テーマ「日本語・日本人・日本文化論—言語理論から教育現場まで」講演、ワークショップ、研究発表、実践報告を通して参加者たちに日本語と日本語教育についての知識・洞察を深め、意見交換をする場を提供する。時代に適った質の高い日本語教育に対応できるプログラムを組むことを目的として実施。
2	第12回中央アジア日本語教育セミナー	キルギス日本語教師会	キルギス	2008.05.02	中央アジア各地で活動している日本語教師が、招聘講師による講義やワークショップなどの研修に参加することによって、日本語教育の知識や教授技術、また日本語教師としての資質を磨き、自らの日本語教師としての専門性を高めることを目的として実施。
3	2008年日本語教育シンポジウム	モンゴル日本語教師会	モンゴル	2008.06.14 ~ 2008.06.15	モンゴルの日本語教師間のネットワークの促進及び日本語教育能力水準の向上を目的として実施。
4	日本語教育学会世界大会2008	大韓日語日文学会	韓国	2008.07.11 ~ 2008.07.13	「グローバル化時代に応えられる日本語教育の広域ネットワーク作り」をテーマとし、人的ネットワークおよび学問的ネットワークをキーワードに各国の現状および課題、今後の具体策について討論し、「日本語教育の広域ネットワーク」について考えることを目的として実施。
5	第4回ブルガリア日本語教育セミナー	ブルガリア日本語教師会	ブルガリア	2008.07.25 ~ 2008.07.27	ブルガリア及び東欧諸国の日本語教育水準の向上を図ると共に、当地域の日本語教師間の情報交換とネットワーク構築を促進することを目的として実施。
6	カナダ日本語教育振興会2008年度年次大会	カナダ日本語教育振興会	カナダ	2008.08.15 ~ 2008.08.18	大会のテーマは、「変わりゆく日本語と日本と教育の今」とし、基調講演、教師研修会、パネルディスカッションにおいては「外来語」そして「待遇表現とその多様性」という日本の柱を中心に実施。
7	日本語教育分野方針策定会議(米国日本語教師会連盟)	米国日本語教師会連盟	米国	2008.08.22 ~ 2008.08.23	米国における日本語教育界のリーダーを集めて、米国日本語教師会連盟の過去10年の活動評価を行うとともに、今後の役割・方針を決定。
8	第13回ヨーロッパ日本語教育シンポジウム	トルコ日本語教師会	トルコ	2008.08.27 ~ 2008.08.29	「多文化共生の時代と日本語教育」をテーマに、4つの講演、ワークショップ、フォーラムなどを組み、トルコおよび欧州の日本語教育関係者が自己研鑽・交流する場を提供。

日本語事業費

	事業名	助成機関	対象国	期間	事業内容
9	第11回BATJ大会	英国日本語教育学会 (BATJ)	英国	2008. 09. 05 ~ 2008. 09. 06	英国内の高等教育機関において日本語教育に携わっている者に対して研究発表の場および意見交換、情報交換の機会を提供する。さらに、日本語教育や言語、教育関連の専門家による講演・ワークショップを通じて会員の啓蒙と専門的知識の向上を目指すことを目的として実施。
10	トゥルク諸国日本語教育セミナー	アンカラ大学	トルコ	2008. 09. 08 ~ 2008. 09. 09	トゥルク諸国の日本語教育関係者間での意見・情報交換を通して、効果的な日本語教育とは何かを検討する。またトゥルク諸国内において、日本語教育関係者のネットワークを形成し、共同研究や、勉強会などが行える場を提供することを目的として実施。
11	第20回ドイツ語圏中等教育日本語教師研修会	ドイツ語圏中等教育日本語教師会	ドイツ	2008. 09. 12 ~ 2008. 09. 14	ドイツの中等教育における授業の中での添削、また統合卒業試験 (Zentral Abitur) または卒業試験 (Abitur) の評価基準を実現するための理論と実際について議論することを目的として実施。
12	第3回ルーマニア日本語教師会日本語教育・日本語学シンポジウム	ルーマニア日本語教師会	ルーマニア	2008. 09. 20 ~ 2008. 09. 21	ルーマニアの国内と隣国の日本語教育関係者 (教師・学生・院生) のネットワーク形成とその発展、および研修。日本語教師のモチベーションを高めることを目的として実施。
13	大学日語教学研究会第4回大会	大学日語教学研究会	中国	2008. 09. 27 ~ 2008. 09. 28	中国大学日語教学研究会日語分会と同会指導委員会日本語部主催の大学非専攻日本語教育を中心とする国際シンポジウム。「大学日語教学大綱」の修訂、教材の開発および大学日本語四級試験について国内外の日本語教師約100名が集まり、意見交換を行うことを目的として実施。
14	2008 清華大学日本語文化国際フォーラム	清華大学	中国	2008. 10. 10 ~ 2008. 10. 12	国内外の第一線で活躍している日本語・日本語教育研究者を集めて、学問的交流の促進を図り、新しい研究成果に発表の場を提供することによって、中国における日本語学と日本語教育研究の進展に貢献することを目的として実施。
15	日本語教育国際シンポジウム「東南アジアにおける日本語教育の展望」	タマサート大学教養学部日本語学科	タイ	2008. 10. 16 ~ 2008. 10. 17	2006年にインドネシアで開催された東南アジア日本語サミットに引き続き、日本語教育国際シンポジウムを開催。日本語教育に関する国際間の学術的交流、東南アジアにおける日本語教育ネットワーク構築、日本語教育力の向上を促進を目的として実施。
16	韓国西海岸 (全羅道) のキャリア日本語ネットワーク	国立群山大学校人文大学	韓国	2008. 11. 01	韓国西海岸地域の発展に対応した日本語教育の研究を即時共有化できるネットワーク形成と日本語関連人材活用情報発信。
17	ウズベキスタン日本語教育セミナー2008	ウズベキスタン日本語教師会	ウズベキスタン	2008. 11. 06 ~ 2008. 11. 08	現在ウズベキスタンで行われている日本語の研究の発表の場と、交流の機会を作り、日本語教育、日本研究機関のネットワークの形成を促進する目的で実施。

日本語事業費

	事業名	助成機関	対象国	期間	事業内容
18	フィリピン人日本語講師向けセミナー	フィリピン人日本語教師会 (AFINITE)	フィリピン	2008. 11. 15 ~ 2008. 11. 16	日本語教育普及のための国レベルでのアプローチを目的とし、フィリピンでの日本語教師のネットワーキングについてグループディスカッションとレクチャーを実施。
19	全米日本語教師会学会	全米日本語教師会	米国	2008. 11. 20 ~ 2008. 11. 23	米国の各地教師団体と全国教師団体とのネットワーク形成。ワークショップ、パネル討論会などの実施。日本語教育のインフラの強化をボトムアップのネットワークを通じ行う。本年はフロリダ州オーランドで開催。
20	「大学院における日本研究への道—日本語教育を踏まえて—」	ハノイ大学	ベトナム	2008. 11. 21	ベトナム国内をはじめ、アジア地域、外国の日本語教育・日本研究に携わる教育者・研究者と意見交換を行い、交流の場を設け、日本語教育を日本研究に繋げる役割を再び認識し、より効果を向上させることを目的として実施。
21	若手日本語教育研究者育成シンポジウム	ニューサウスウェールズ大学	オーストラリア	2008. 12. 12 ~ 2008. 12. 13	世界各地で行われている若手日本語教育研究者育成の努力を集結することで、より実りのあるものとし、国際的日本語教育研究者の育成、各地の大学院間の国際連携、日本語教育研究のさらなる発展を目標として実施。
22	中国日本語教育研究会2008年度年会	中国日本語教育研究会	中国	2008. 12. 12 ~ 2008. 12. 14	中国国内の日本語教育、日本学研究者間の学術、情報の交流の向上。中国日本語教育、日本学研究国際シンポジウム：中国の日本語教師間の情報交換、交流と共同研究の促進、及び日本語能力、日本語教育能力の向上を目指すことを目的として実施。
23	日本語教授法と評価法に関する全国ワークショップ	全インド日本語教師会	インド	2008. 12. 19 ~ 2008. 12. 21	様々な日本語教育機関からの教授法と評価方法の意見集約、新日本語能力試験について等の専門家からの講義、その記録の出版。
24	教育目的に沿ったペーパーテストの作成技術に関する発表と検討会およびワークショップ	インドネシア日本語教育学会ジャポタベック支部	インドネシア	2009. 02. 11 ~ 2009. 02. 12	2日間にわたり基金専門家を中心としたペーパーテストに関する基礎的なレクチャーやテスト作成の技術や留意点について学ぶワークショップを実施。また、選考を通った発表者に授業で実際に行ったペーパーテストについて、その内容や目的などについて発表してもらい、参加者と共に討議・検討。
25	2008年度 日本語教育シンポジウム	メキシコ日本語教師会	メキシコ	2009. 02. 27 ~ 2009. 03. 01	メキシコ日本語教師会設立の目的の一つである教師の質の向上に資するため、アメリカの「教師成長支援プログラム」の理論を学ぶことを目的として実施。
26	第19回全国定例研修会(2009)	社団法人ドイツ市民大学日本語講師の会	ドイツ	2009. 03. 13 ~ 2009. 03. 15	日本から日本語教育現場で活躍している現役の教師を招へいし、実践的な日本語教育法を講義するとともに日本における最新の日本語教授法を学ぶことを目的として実施。

日本語事業費

	事業名	助成機関	対象国	期間	事業内容
27	第15回ドイツ語圏大学日本語教育研究会シンポジウム	ドイツ語圏大学日本語教育研究会	ドイツ	2009.03.13 ～ 2009.03.15	過去15年間の日本語教育の推移を踏まえ、現在直面する問題を分析し、EU圏レベルでとらえたドイツ語圏における日本語教育の将来に備える。講師に日本語教育の原点に関わる講義をしてもらい、会員の実践報告・研究発表に対する示唆をうけることを目的として実施。
28	イタリア日本語教育協会研修会	イタリア日本語教師会	イタリア	2009.03.20 ～ 2009.03.21	日本から専門家の講師となる先生を招聘し、日本語学、日本語教育に関するセミナー、及びワークショップ形式の研修会。
29	日本語教育セミナー	スイス日本語教師の会	スイス	2009.03.21 ～ 2009.03.22	スイス及びリヒテンシュタインの日本語教師の能力向上、日本語教育に関する情報提供、教師間の情報交換。
30	第8回ウクライナ日本語教育セミナー	ウクライナ日本語教師会	ウクライナ	2009.03.21	ウクライナ全土の日本語教師および日本語教育のレベルアップと情報交換。

日本語事業費

2. 日本語派遣・助成費 / (8) 日本語教育専門家派遣 (JFボランティア・指導助手)

ジャパンファウンデーション・ボランティアのひとつとして、日本語教育ボランティアを海外の日本語教育機関に派遣。

合計額 39,865,717 円

	氏名	対象機関	対象国	期間
1	夷石 寿賀子	パリ日本文化会館	フランス	2006.06.12 ~ 2008.07.18
2	村中 雅子	パリ日本文化会館	フランス	2008.07.09 ~ 2010.07.08
3	岡田 叔子	ハノイ貿易大学 ベトナム日本人材協力センター	ベトナム	2006.07.22 ~ 2008.07.31
4	山本 真理	ハノイ貿易大学 ベトナム日本人材協力センター	ベトナム	2006.07.25 ~ 2008.07.24
5	中川 美保	カンボジア日本人材開発センター	カンボジア	2006.08.01 ~ 2008.07.31
6	倉持 和菜	チューバナン中学校	ベトナム	2006.08.03 ~ 2008.08.02
7	田淵 七海子	ラオス日本人材開発センター	ラオス	2006.09.01 ~ 2008.08.31
8	月森 育子	日本美術技術センター	ポーランド	2006.08.15 ~ 2008.08.31
9	中尾 有岐	ソフィア大学	ブルガリア	2008.08.16 ~ 2010.08.15
10	小林 ますみ	ダマスカス大学	シリア	2006.08.20 ~ 2008.07.31
11	富永 正人	ダマスカス大学	シリア	2008.08.20 ~ 2010.07.31
12	菅原 和未	キルギス日本人材開発センター	キルギス	2006.08.21 ~ 2008.07.31
13	砂金 里奈	カザフスタン日本人材開発センター	カザフスタン	2006.08.23 ~ 2008.06.30
14	小関 智子	ウズベキスタン人材開発日本センター	ウズベキスタン	2006.08.23 ~ 2008.07.31
15	福永 達士	ベトナム日本文化交流センター	ベトナム	2008.08.25 ~ 2010.08.24
16	宇都宮 絵理	ブカレスト大学	ルーマニア	2008.08.31 ~ 2010.08.31
17	角田 依子	ブダペスト日本文化センター	ハンガリー	2007.09.01 ~ 2009.08.31
18	岩崎 かほり	THE CENTER OF JAPANESE ART AND TECHNOLOGY "MANGGHA"	ポーランド	2008.09.10 ~ 2010.09.09

日本語事業費

3. 日本語能力試験費 / (1) 日本語能力試験実施

日本国内外において日本語を母語としない者を対象として、その日本語能力を測定し認定することを目的とする。国際交流基金は、このうち海外分（台湾を除く）を、各地の試験実施機関の協力を得て実施した。

合計額 252,745,779 円

	国・地域	都市	受験者数		国・地域	都市	受験者数		国・地域	都市	受験者数		国・地域	都市	受験者数	
1	韓国	ソウル	35,911	37	<台湾>	台北	35,760	73	ネパール	カトマンズ	849	109	ベネズエラ	カラカス	128	
2		釜山	22,430	38		高雄	12,488	74	パキスタン	イスラマバード	24	110	ペルー	リマ	296	
3		釜州	7,012	39		台中	10,938	75		カラチ	40	111	ボリビア	サンタクルス	234	
4			済州	1,176	40	モンゴル	ウランバートル	1,095	76	バングラデシュ	ダッカ	212	112		ラパス	61
5			仁川	15,210	41	インドネシア	ジャカルタ	3,390	77	オーストラリア	キャンベラ	61	113	イタリア	ローマ	324
6	中国	北京	17,496	42		バンドン	1,625	78		ブリスベン	210	114		ミラノ	319	
7		上海	35,534	43		スラバヤ	1,108	79		パース	126	115	英国	ロンドン	795	
8			長春	6,149	44		メダン	695	80		シドニー	385	116	ギリシャ	アテネ	292
9			大連	17,329	45		ジョグジャカルタ	790	81		メルボルン	205	117	スイス	ベルン	212
10			広州	13,199	46		パダン	449	82		アデレード	53	118	スペイン	バルセロナ	390
11			瀋陽	6,977	47		デンバサール	340	83	ニュージーランド	オークランド	312	119		マドリード	458
12			天津	10,224	48	カンボジア	プノンペン	799	84		ウェリントン	86	120	デンマーク	コペンハーゲン	84
13			ハルビン	4,603	49	シンガポール	シンガポール	4,994	85		クライストチャーチ	78	121	ドイツ	デュッセルドルフ	493
14			西安	6,925	50	タイ	バンコク	12,851	86	カナダ	バンクーバー	394	122		シュトゥットガルト	377
15			重慶	1,303	51		チェンマイ	1,852	87		トロント	361	123		ベルリン	275
16			済南	4,485	52		ソクラー	319	88		エドモントン	125	124	フィンランド	ヘルシンキ	112
17			武漢	9,111	53		コンケン	824	89	米国	ロサンゼルス	556	125	フランス	パリ	1,097
18			廈門	4,081	54	フィリピン	マニラ	2,020	90		シカゴ	442	126		リヨン	212
19			杭州	13,762	55		セブ	413	91		ニューヨーク	369	127	ウクライナ	キエフ	371
20			フフホト	1,485	56		ダバオ	290	92		ホノルル	114	128	ウズベキスタン	タシケント	299
21			洛陽	2,212	57	ブルネイ	バンダルスリブガワン	51	93		アトランタ	252	129	カザフスタン	アルマトイ	127
22			蘇州	7,434	58	ベトナム	ハノイ	5,806	94		サンフランシスコ	485	130	キルギス	ビシュケク	189
23			青島	3,833	59		ホーチミン	8,048	95		ワシントンD.C.	418	131	ハンガリー	ブダペスト	521
24			長沙	3,688	60	マレーシア	クアラルンプール	2,709	96		シアトル	290	132	ブルガリア	ソフィア	201
25			成都	2,092	61		ペナン	622	97		フェイエットビル	78	133	ポーランド	ワルシャワ	348
26		南京	10,924	62		イポー	131	98	メキシコ	メキシコシティ	1,177	134	ルーマニア	ブカレスト	340	
27		合肥	3,500	63		コタキナバル	235	99	アルゼンチン	ブエノスアイレス	700	135	ロシア	モスクワ	857	
28		深圳	4,572	64	ミャンマー	ヤンゴン	2,422	100	パラグアイ	アスンシオン	643	136		ウラジオストク	314	
29		南昌	4,549	65	ラオス	ビエンチャン	121	101	ブラジル	サンパウロ	2,181	137		ノボシビルスク	217	
30		石家荘	1,773	66	インド	ニューデリー	1,569	102		ロンドリーナ	436	138		ハバロフスク	211	
31		太原	1,602	67		ブネ	1,512	103		ベレーン	85	139		ユジノサハリンスク	145	
32		寧波	3,208	68		コルカタ	434	104		リオデジャネイロ	264	140		イルクーツク	111	
33		無錫	3,792	69		チェンナイ	1,497	105		ポルトアレグレ	94	141		サンクトペテルブルク	198	
34		貴陽	2,021	70		バンガロール	894	106		ブラジル	144	142	トルコ	アンカラ	266	
35		ウルムチ	101	71		ムンバイ	763	107		サルバドール	75	143	エジプト	カイロ	250	
36		香港	15,414	72	スリランカ	コロンボ	1,195	108		マナウス	113	144	ケニア	ナイロビ	83	
												受験者数合計		449,810		

※台湾での実施は、財団法人・交流協会が担当。

※ボゴタ（コロンビア）は、現地事情により、本年度日本語能力試験新規実施見送り。

日本語事業費

3. 日本語能力試験費 / (2) 評価開発

試験結果を分析し、報告書を作成した。また日本語に関する知識とともに、実際に運用できる日本語能力を重視する新しい日本語能力試験、「新試験」の開発を検討するための委員会を開催。模擬試験（モニター試験）も実施した。

合計額 97,206,289 円

	事業名	期間	事業内容
1	分析評価報告書作成	2008.04.01 ~ 2009.03.31	今後のより良いテスト問題作成に資するとともに、日本語教育の研究者等に日本語テスト研究用資料を提供するため、『平成18年度日本語能力試験 分析評価に関する報告書』を刊行するとともに、『平成19年度日本語能力試験 分析評価に関する報告書』の刊行準備を実施。
2	日本語能力試験 改善に関する検討会	2008.04.01 ~ 2009.03.31	新試験について検討する委員会を開催。
3	モニター試験	2008.04.01 ~ 2009.03.31	新試験の妥当性と信頼性を検証するために、11月に国内で模擬試験（モニター試験）を実施し、計2,256人が受験。また、日本国内で予備試験、香港、バンコク、ベトナムで模擬試験（モニター試験）を実施。

日本語普及事業に必要な経費

附属機関日本語国際センター事業費

1. 研修事業費

- (1) 指導的日本語教師の養成（日本語教育指導者）
- (2) 指導的日本語教師の養成（海外日本語教師上級研修）
- (3) 海外日本語教師研修（長期）
- (4) 海外日本語教師研修（短期）
- (5) 海外日本語教師研修（国別）
- (6) 日本語学習者訪日研修（大学生）（日本語国際センター）
- (7) 日本語学習者訪日研修（高校生）（日本語国際センター）
- (8) 受託研修（日本語国際センター）
- (9) 受託研修（日本語国際センター）〔アセアン〕
- (10) 受託研修（日本語国際センター）〔サーク〕
- (11) 地域交流研修（日本語国際センター）

2. 制作事業費

- (1) 日本語教材自主制作・普及
- (2) 日本語教材制作支援（助成）
- (3) 日本語教材寄贈
- (4) 図書館運営（日本語国際センター）

附属機関日本語国際センター事業費

1. 研修事業費 / (1) 指導的日本語教師の養成 (日本語教育指導者)

海外の日本語教育機関等の現職日本語教師もしくは日本語教授経験者を対象として、1年間で博士前期課程(修士)、3年間で博士後期課程(博士)を修了するのであり、各国における日本語教育指導者の養成を目的とする。

合計額 30,417,412 円

	事業名	対象国	人数	期間	事業内容
1	日本語文化研究プログラム(18年度博士課程)	インド	1	2007.03.26 ~ 2010.03.25	海外の日本語教育が盛んな国、若しくは今後盛んになると見込まれる国において、その国の日本語教育をリードする人材、つまりは日本語教育において優れた指導能力を有し、かつ日本の文化・社会全般に渡って知識と理解力を備えた、指導的な日本語教育分野関連での研究者、教師、及びその国の日本語教育施策の企画と推進の中心的な担い手となる実務者を養成する。本プログラムは国際交流基金日本語国際センター、国立国語研究所、政策研究大学院大学の3機関が連携して運営する3年間の博士課程。 パンダ PANDA, Nabin Kumar (デリー大学) は2007年4月に入学した4期生であり、引続き研究継続中。
2	日本語教育指導者養成プログラム(19年度修士課程)	カザフスタン タイ ドイツ ベトナム 韓国 中国	1 1 1 2 1 2	2007.09.27 ~ 2008.09.15	海外の日本語教育機関等の現職日本語教師もしくは日本語教授経験者を対象として、1年間で博士前期課程(修士)を修了するものであり、各国における日本語教育指導者の養成を目的とする。「国立国語研究所」及び「政策研究大学院大学」の2機関と連携し、3機関の指導講師による日本語教育における高度で実践的な学位プログラムとする。最終試験で所定の成績に達した者に対して、政策研究大学院大学の修士号(日本語教育)を授与する。今年度は、6か国より8名を招へい。
3	日本語文化研究プログラム(19年度博士課程)	モンゴル	1	2007.09.27 ~ 2010.09.26	海外の日本語教育が盛んな国、若しくは今後盛んになると見込まれる国において、その国の日本語教育をリードする人材、つまりは日本語教育において優れた指導能力を有し、かつ日本の文化・社会全般に渡って知識と理解力を備えた、指導的な日本語教育分野関連での研究者、教師、及びその国の日本語教育施策の企画と推進の中心的な担い手となる実務者を養成する。本プログラムは国際交流基金日本語国際センター、国立国語研究所、政策研究大学院大学の3機関が連携して運営する3年間の博士課程である。 ツェツェグ ULAMBAYAR, Tsetsegdulam (モンゴル科学技術大学) は、2007年9月に入学した5期生であり、引続き研究継続中。

附属機関日本語国際センター事業費

	事業名	対象国	人数	期間	事業内容
4	日本語教育指導者養成プログラム（20年度修士課程）	韓国 中国 フィリピン ベトナム ペルー	1 2 1 1 1	2008.09.25 ～ 2009.09.18	海外の日本語教育機関等の現職日本語教師もしくは日本語教授経験者を対象として、1年間で博士前期課程（修士）を修了するものであり、各国における日本語教育指導者の養成を目的とする。「国立国語研究所」及び「政策研究大学院大学」の2機関と連携し、3機関の指導講師による日本語教育における高度で実践的な学位プログラムとする。最終試験で所定の成績に達した者に対して、政策研究大学院大学の修士号（日本語教育）を授与する。2008年度は、5か国より6名を招へい。
5	日本言語文化研究プログラム（20年度博士課程）	インドネシア	1	2008.09.25 ～ 2011.09.30	海外の日本語教育が盛んな国、若しくは今後盛んになると見込まれる国において、その国の日本語教育をリードする人材、つまりは日本語教育において優れた指導能力を有し、かつ日本の文化・社会全般に渡って知識と理解力を備えた、指導的な日本語教育分野関連での研究者、教師、及びその国の日本語教育施策の企画と推進の中心的な担い手となる実務者を養成する。本プログラムは国際交流基金日本語国際センター、国立国語研究所、政策研究大学院大学の3機関が連携して運営する3年間の博士課程である。 NAJOAN, Franky Reymond（マナド国立大学）
6	修士修了者支援事業	中国 フィリピン		2008.04.01 ～ 2010.03.31	修士プログラム修了者の研究の発展と継続を奨励するため、（日本国内の）日本語関係の学会にて発表の機会を得た2名の修了生に対して、旅費を援助。

1. 研修事業費 / (2) 指導的日本語教師の養成（海外日本語教師上級研修）

日本語国際センター研修修了生の中で、より高度な専門知識、技能を求め、日本語教育実践において実現・解決したい具体的な課題を有する者を2ヶ月間招へいし、自立的な問題解決能力の育成を図ることを目的とする。

合計額 3,556,354 円

	事業名	対象国	人数	期間	事業内容
1	日本語教師上級研修 20年度	インドネシア ベトナム マレーシア ミャンマー イラン	1 2 1 1 1	2008.05.28 ～ 2008.07.25	日本語教師として豊富な知識と高い能力を持つ者を対象に、教育現場での専門的知識と実践能力の育成、および各自のプロジェクトの遂行による教師としての専門性の向上を目的とした集中研修を行う。5か国から6名を招へい。

1. 研修事業費 / (3) 海外日本語教師研修（長期）

海外の中・高等教育機関等の日本語教師養成を図るため、日本語教授経験の比較的小さい教師及び日本語教師となることが既に決まっている者を5カ月半招へいし、日本語運用能力の向上と基礎的な日本語教授法の研修を行う。

合計額 52,245,535 円

	事業名	対象国	人数	期間	事業内容
1	海外日本語教師 長期研修	韓国 モンゴル インドネシア タイ フィリピン ベトナム ミャンマー ラオス スリランカ ネパール キューバ チリ パラグアイ ブラジル ベネズエラ ウクライナ ウズベキスタン キルギス タジキスタン ルーマニア ロシア ケニア	1 2 6 2 2 3 1 1 2 1 1 1 1 1 2 1 1 1 1 2 1 1 4 1	2008.09.10 ~ 2009.03.06	22カ国、38名の外国人若手日本語教師を5カ月半招へいし、日本語運用能力の向上を図るとともに、教授活動、日本事情等を学習するための集中研修を実施。

附属機関日本語国際センター事業費

1. 研修事業費 / (4) 海外日本語教師研修（短期）

海外の初・中・高等教育機関等の日本語教師の教授能力の向上を図るため、日本語教師を2カ月間招へいし、日本語と日本語教授法及び日本事情の集中研修を実施する。

合計額 62,133,727 円

	事業名	対象国	人数	期間	事業内容
1	海外日本語教師短期研修（春期）	インドネシア タイ フィリピン マレーシア スリランカ オーストラリア ニュージーランド ウクライナ カザフスタン ロシア	5 6 1 10 3 1 1 1 1 1 1	2008.05.07 ~ 2008.06.26	日本語教師として2年以上の経験を持つ外国人日本語教師10カ国30名を2カ月間日本に招へいし、日本語、日本語教授法、日本事情等に関する集中研修を実施。
2	海外日本語教師短期研修（夏期）	モンゴル インドネシア タイ フィリピン ベトナム マレーシア ミャンマー ラオス インド スリランカ ネパール パキスタン オーストラリア メキシコ ブラジル ベネズエラ アイルランド ウクライナ ウズベキスタン カザフスタン ロシア アラブ首長国連邦 トルコ	3 4 1 1 6 1 1 1 4 1 1 1 1 1 4 1 1 1 2 1 4 1 1	2008.07.09 ~ 2008.08.29	海外教育機関等の日本語教師養成のため、海外23カ国から43名の日本語教師を2カ月間招へいし、日本語運用能力の向上を図るとともに、教授活動、日本事情等を学習するための集中研修を実施。

附属機関日本語国際センター事業費

	事業名	対象国	人数	期間	事業内容
3	海外日本語教師短期研修（冬期）	韓国 中国 モンゴル インドネシア タイ フィリピン ベトナム マレーシア インド ネパール バングラデシュ コロンビア ボリビア キルギス スロバキア ロシア	2 1 1 4 3 1 2 2 2 2 1 1 1 1 1 2	2009.01.28 ～ 2009.03.20	日本語教師として2年以上の経験を持つ外国人日本語教師16カ国27名を2カ月間日本に招へいし、日本語、日本語教授法、日本事情等に関する集中研修を実施。

1. 研修事業費 / (5) 海外日本語教師研修（国別）

非公募による国・地域別日本語教師研修として、当該国政府（教育部など）、国際交流基金海外事務所、在外公館等からの推薦により参加を決定する以下の研修を行う。

合計額 54,695,394 円

	事業名	対象国	人数	期間	事業内容
1	インドネシア中等教育日本語教師研修	インドネシア	20	2008.04.16 ～ 2008.06.06	インドネシア政府と基金ジャカルタ日本語センター共同でインドネシア国内において1年間の日本語教師養成講座を行っているが、この修了生20名を約2カ月間日本に招へいし、日本語力向上と日本事情の集中研修を実施。
2	北米・英国初中等日本語教師研修	米国 英国	5 2	2008.06.23 ～ 2008.07.18	米国、英国の初等・中等教育の日本語教師7名を約3週間招へいし、日本語、日本語教授法、日本文化に関する集中研修を実施。
3	大韓民国中等教育日本語教師研修	韓国	55	2008.07.23 ～ 2008.08.22	韓国政府教育部が選抜した高等学校の日本語教師55名を約1カ月間招へいし、日本語、日本語教授法、日本事情等に関する集中研修を実施。
4	中国大学日本語教師研修	中国	40	2008.09.17 ～ 2008.11.06	中国の大学等高等教育機関の日本語教師を40名を約2カ月間招へいし、現状とニーズに即した日本語、日本語教授法、日本事情の集中研修を実施。

附属機関日本語国際センター事業費

	事業名	対象国	人数	期間	事業内容
5	中国中等学校日本語教師研修	中国	20	2009.02.04 ~ 2009.03.19	中国の中等教育機関の日本語教師20名を招へいし、日本語運用能力の向上を図るとともに、教授活動、日本事情等を学習するための集中研修を実施。

1. 研修事業費 / (6) 日本語学習者訪日研修 (大学生) (日本語国際センター)

近年、日本語学習者数の大幅な増加が見られる地域における日本語教育の拠点機関から、その大学学部で日本語を学習している学生をグループで招へいし、日本語の学習及び日本文化・社会への理解を深める機会を提供する。

合計額 25,439,389 円

	事業名	対象国	人数	期間	事業内容
1	日本語学習者訪日研修 (大学生) 秋季	カンボジア ウクライナ ウズベキスタン カザフスタン キルギス セルビア チェコ ハンガリー ブルガリア ベラルーシ ポーランド ルーマニア サウジアラビア トルコ ケニア	1 2 1 1 1 1 1 1 1 2 1 1 1 2 1	2008.10.22 ~ 2008.12.03	近年日本語学習者数の大幅な増加が見られる地域における日本語教育の拠点機関から、その大学学部で日本語を専攻している大学生をグループで日本に招へいし、日本語の学習及び日本文化・社会の理解のための研修の機会を提供することにより、当該地域の大学生の日本語教育を奨励し、日本語教育の一層の進展を図る。
2	日本語学習者訪日研修 (大学生) 冬季	インドネシア ラオス アルゼンチン コロンビア チリ ブラジル イラン シリア トルコ エジプト	2 1 1 1 1 4 2 2 2 2	2009.01.14 ~ 2009.02.25	近年日本語学習者数の大幅な増加が見られる地域における日本語教育の拠点機関から、その大学学部で日本語を専攻している大学生をグループで日本に招へいし、日本語の学習及び日本文化・社会の理解のための研修の機会を提供することにより、当該地域の大学生の日本語教育を奨励し、日本語教育の一層の進展を図る。

附属機関日本語国際センター事業費

1. 研修事業費 / (7) 日本語学習者訪日研修 (高校生) (日本語国際センター)

海外の高等学校で日本語を学習し、優秀な成績を修めている者を2週間招へいし、日本語及び日本文化・社会への理解を深め、同世代の日本の若者と交流する機会を提供する。

合計額 4,855,334 円

	事業名	対象国	人数	期間	事業内容
1	李秀賢氏記念韓国青少年招へい研修	韓国	19	2009.02.10 ~ 2009.02.20	韓国で日本語を学習し日本の社会文化に関心を持つ韓国の高校生19名を日本に招へいし、日本語及び日本の文化、社会への理解を深めるとともに、日本の同世代の青少年との交流を行なう。本研修は、2001年に東京JR新大久保駅で線路に落ちた乗客を助けるため事故死した韓国人留学生：李秀賢（イ・スヒョン）氏の勇気ある行動を顕彰するために、国際交流基金と社団法人韓日協会が協同で実施。

1. 研修事業費 / (8) 受託研修 (日本語国際センター)

国際交流基金の業務趣旨に合致する日本語研修事業を外部から受託し実施する。

合計額 5,031,813 円

	事業名	対象国・地域	人数	期間	事業内容
1	台湾日本語教師訪日研修	東アジア地域区分困難	10	2008.07.16 ~ 2008.07.17	台湾との交流事業をおこなっている財団法人交流協会が主催し、杏林大学が受託する日本語教師の訪日研修の一部を受託。受託内容は宿舎の提供、当センター専任講師による講義、上級研修参加者との交流会。
2	日本語教師派遣事業	ロシア	20	2008.07.28 ~ 2008.08.06	日露青年交流センターが実施する青年日本語教師派遣事業の派遣前研修を受託した。 主な受託内容としては、宿舎提供、図書館利用及び説明、専任講師の講義、日本文化講師の紹介等。
3	博報財団	モンゴル 台湾 インドネシア タイ ベトナム マレーシア インド ハンガリー ルーマニア	4 1 2 3 2 2 3 1 1	2008.10.06 ~ 2008.10.20	博報堂が設立した財団法人博報児童教育振興会が実施する日本と海外の小中学校交流を目的とした事業のうち、モンゴル、インド、タイ、インドネシア、マレーシア、ベトナム、台湾、ハンガリー、ルーマニアの日本語教師の訪日研修を受託した。

附属機関日本語国際センター事業費

	事業名	対象国	人数	期間	事業内容
4	日本文化発信プログラム	ハンガリー ブルガリア ポーランド ルーマニア	26	2008.10.01 ~ 2008.12.20	外務省が実施する日本文化発信プログラムを受託した社団法人青年海外協力協会(JOCA)から同プログラムの派遣前国内研修部分を受託した。 主な受託内容としては、宿舎提供、日本語教育関係講義のコーディネート、図書館利用及び説明、専任講師の講義、日本文化講師の紹介等。
5	日本語教材中日共同会議の日本での実施協力	中国	5	2009.01.09 ~ 2009.02.15	北京日本学研究中心が笹川財団の助成を受けて実施する日本語教材中日共同会議の日本での実施への協力。 会議に参加する中国人研究者の施設(宿泊棟、会議室)や図書館の提供など。
6	大連市中学校日本語教師研修(財団法人国際文化フォーラム)	中国	4	2009.02.04 ~ 2009.03.19	財団法人国際文化フォーラムが1992年から行っている大連市の初中等教育の日本語教育機関整備協力事業の一つとして、新たにスターティーチャーの養成を目指して、大連市中学校日本語教員研修を行うこととなり、その事業を受託。「中国中等学校日本語教師研修」と合同で実施。

1. 研修事業費 / (9) 受託研修(日本語国際センター) [アセアン]

国際交流基金の業務趣旨に合致する日本語研修事業を外部から受託し実施する。

合計額 31,336,114 円

	事業名	対象国	人数	期間	事業内容
1	東アジア若手日本語教師特別招へいプログラム(JENESYS)	インドネシア カンボジア タイ フィリピン ベトナム マレーシア ミャンマー ラオス インド	7 1 10 4 7 6 2 1 2	2008.05.08 ~ 2008.07.18	東アジア地域にある日本語教育の拠点機関等から若手日本語教師を招へいし、日本語教育の普及および促進の担い手となる人材育成を行うプログラム。「21世紀東アジア青少年大交流計画(JENESYS Programme)」の一環として実施。

附属機関日本語国際センター事業費

1. 研修事業費 / (10) 受託研修 (日本語国際センター) [サーク]

国際交流基金の業務趣旨に合致する日本語研修事業を外部から受託し実施する。

合計額 15,228,311 円

	事業名	対象国	人数	期間	事業内容
1	19年度南アジア若手日本語教師特別招へいプログラム (JENESYS) 継続	スリランカ ネパール バングラデシュ	4 7 3	2008.03.12 ~ 2008.05.02	南アジア地域にある日本語教育の拠点機関等から若手日本語教師を招へいし、日本語教育の普及および促進の担い手となる人材育成を行うプログラム。「21世紀東アジア青少年大交流計画 (JENESYS Programme)」の一環として実施。
2	20年度南アジア若手日本語教師特別招へいプログラム (JENESYS)	インド スリランカ ネパール バングラデシュ モルディブ	6 5 6 4 2	2009.03.11 ~ 2009.05.01	南アジア地域にある日本語教育の拠点機関等から若手日本語教師を招へいし、日本語教育の普及および促進の担い手となる人材育成を行うプログラム。「21世紀東アジア青少年大交流計画 (JENESYS Programme)」の一環として実施。

1. 研修事業費 / (11) 地域交流研修 (日本語国際センター)

日本語国際センターの位置する埼玉県、ならびに全国各自治体の国際交流活動に対する協力の観点から、JETプログラム (語学指導等を行う外国青年招致事業) 参加者等に対して、日本語及び教授法の研修を行う。

合計額 28,000 円

	事業名	対象国	人数	期間	事業内容
1	JET青年日本語研修	韓国 中国 シンガポール インド オーストラリア ニュージーランド カナダ 米国 ブラジル 英国 ロシア	2 3 1 1 1 1 1 12 1 3 1	2009.03.25 ~ 2009.03.31	全国のJETプログラム参加者の中から希望者27名に対し、基礎的な日本語教授法研修を実施。

附属機関日本語国際センター事業費

2. 制作事業費 / (1) 日本語教材自主制作・普及

民間では未開拓であるが、必要な教材を基金で自主開発し、在外に配布ないし市販すると共に、各国語版への翻訳やテレビ日本語講座の放映を促進する事業。

合計額 70,606,114 円

	事業名	執筆者等	出版社	部数	期間	事業内容
1	みんなの教材サイト			インターネット公開	2008.04.01 ~ 2009.03.31	いつでもどこからでも利用できる教材用素材の提供を中心としたウェブサイト「みんなの教材サイト」の運営。平成20年度は、平成19年度に開始した再構築を完了させ、10月にリニューアルオープンした。また、利用者からの要望が多いイラスト素材を新規開発した。
2	教科書を作ろう	監修：佐久間勝彦 執筆：坪山由美子ほか			2008.04.01 ~ 2009.03.31	日本語版・英語版の配布及び在庫管理を実施。
3	日本語教育スタンダード				2008.04.01 ~ 2009.03.31	前年度に引き続き、国際交流基金関連日本語講座（ソウル日本文化センター、ケルン日本文化会館、日本語国際センター）での講座内容の再検討調査および日本語使用行動および意識調査を実施し、評価指標作成のためのデータを収集。また、専門誌や学会などを通じて、研究成果と開発の経過を発表。
4	日本語教授法シリーズ・レアリア・アイデア帖	①『国際交流基金日本語教授法シリーズ/教材開発』/島田徳子、柴原智代 ②『国際交流基金日本語教授法シリーズ 音声を教える』/磯村一弘	ひつじ書房	教授法シリーズ『教材開発』：5,000部 『音声を教える』：5,000部	2008.04.01 ~ 2009.03.31	新規日本語教材『国際交流基金 日本語教授法シリーズ』の制作を実施。また、同教材及び『日本語教師必携すぐ使える「レアリア・生教材」コレクションCD-ROMブック』の説明会を実施。
5	重点支援/インドネシア	インドネシア高校用教科書作成プロジェクトメンバー			2008.04.01 ~ 2009.03.31	インドネシア教育省との共同事業として「普通高校・専門高校選択必修科日本語教科書開発プロジェクト」を実施。
6	DVD・TV映像教材	国際交流基金			2008.04.01 ~ 2009.03.31	映像教材「エリンが挑戦！ にほんごできます。」に関し、国内外でのテレビ放映及び英語字幕版の制作を実施。また、DVD教材の広報活動を実施。
7	基礎日本語学習辞典	望月孝逸ほか			2008.04.01 ~ 2009.03.31	基礎日本語学習辞典英語版第二版に関し、アラビア語版及びフランス語版の翻訳出版に対する支援を実施。
8	「日本語教育通信」発行			61～63号：各6,500部	2008.04.01 ~ 2009.03.31	海外の日本語教師に役立つ情報や教材を掲載したニューズレター。日本語教育実践例、教材・図書を紹介、授業に使える素材等から成る。2008年度は61～63号を発行。ウェブサイトにも全文掲載。

附属機関日本語国際センター事業費

	事業名	執筆者等	出版社	部数	期間	事業内容
9	「国際交流基金 日本語教育紀 要」発行			950部	2008.04.01 ～ 2009.03.31	国際交流基金で日本語教育に携わる専門員、専門家、職員等の教育・研究活動の成果を発表するための論文・報告誌。ウェブサイトにも全文掲載。平成20年度は第5号を発行。

附属機関日本語国際センター事業費

2. 制作事業費 / (2) 日本語教材制作支援 (助成)

外国人のための日本語教材の出版に対し、制作経費の一部を助成する。市販される日本語教材で商業ベースに乗りにくいものを優先する。あらゆる媒体による教科書、辞書、副教材、教師用指導参考書等を対象とする。

合計額 2,923,298 円

	事業名	助成機関	対象国	期間	事業内容
1	みんなの日本語初級Ⅰ 翻訳・文法解説ウクライナ語版	リヴィウシカ・ポリテフニカ国立大学	ウクライナ	2008.04.01 ~ 2009.03.31	『みんなの日本語初級Ⅰ 翻訳・文法解説』（スリーエーネットワーク）のウクライナ語版。
2	みんなの日本語初級Ⅱ 翻訳・文法解説ウクライナ語版	リヴィウシカ・ポリテフニカ国立大学	ウクライナ	2008.04.01 ~ 2009.03.31	『みんなの日本語初級Ⅱ 翻訳・文法解説』（スリーエーネットワーク）のウクライナ語版。
3	日本語の省略がわかる本—誰が？誰に？何を？	明治書院	日本	2008.04.01 ~ 2009.03.31	日本語教師と中上級学習者を対象とした、日本語の項省略についての解説と実践練習の教材。正しい文法習得だけでなく文化的背景も理解することで、より自然で高度な日本語習得につなげることを目的とする。
4	らくらく日本語2	大連出版社	中国	2008.04.01 ~ 2009.03.31	『教科書を作ろう』をもとに、中国語の解説や「単語」「練習」などを加えた教材。新出単語には中国語訳とアクセント、品詞を、また、新出文法には中国語の解説と例文をつけた。音声ファイルの入ったCD付き。
5	KYOREN 初級 西和辞典	社団法人在亜日本語教育連合会	アルゼンチン	2008.04.01 ~ 2009.03.31	スペイン語を母語とする初級日本語学習者のための西和辞典。見出し語は約4,600語。主に日本語能力試験3・4級の語彙、及び2級に相当するが使用頻度の高い重要語を収録。用例や成句などもできるだけ収録し、本文の後には医学、料理、職業、スポーツなどのジャンル別語彙集を掲載。
6	日本語-モンゴル語、 モンゴル語-日本語 政治・経済用語辞典	モンゴル国立大学モンゴル言語・文化学部	モンゴル	2008.04.01 ~ 2009.03.31	日本の政治・経済用語辞典教材などから使用頻度の高いと思われる用語約9,000語を選び、一語一訳主義で編集された日本語-モンゴル語・モンゴル語-日本語辞書。政治・経済用語の他に会計学、経営学、貿易、株式、保険、社会保障、統計学、環境公害など関係する分野について最小限必要と思われる用語を収録し、原則としてすべての用語に説明を加えている。
7	日本語のエッセンス— ひとりでもなぶにほんご—	天野日本語センター	スペイン	2008.04.01 ~ 2009.03.31	まったくの初心者からある程度日本語の知識がある初級者まで、日本語能力試験の4級、3級レベルのスペイン語話者を対象に、文法解説を中心とした日本語自学自習本。基本的な文法項目をコンパクトにまとめた日本語入門書としてだけでなく、スペイン語との対比によって日本語の本質を直感できるように工夫されている。

附属機関日本語国際センター事業費

	事業名	助成機関	対象国	期間	事業内容
8	新日本語教科書	内蒙古教育出版社	中国	2008.04.01 ~ 2009.03.31	中国国内のモンゴル族の日本語学習初級者を対象とした、モンゴル文字で書かれた初めての教材。本文（会話文）、文法説明、練習問題、語彙リストから成り、モンゴル族学習者の関心を引くような日本文化の基本的な情報を取り入れた話題や語彙を厳選して編集していることが特徴。

附属機関日本語国際センター事業費

2. 制作事業費 / (4) 図書館運営 (日本語国際センター)

国際交流基金日本語国際センターが招へいする海外の日本語教師等、内外の日本語教育関係者の教育研究活動のための専門図書館として、資料を収集・整理し、閲覧・貸し出し・レファレンスサービスを行う。

合計額 31,581,420 円

	事業名	蔵書数	事業内容
1	図書館運営	図書 37,352点、視聴覚資料 6,210点、電子形態資料642点、絵教材317点、マイクロ資料 394点、計44,915点 雑誌・紀要・ニューズレター635誌、新聞12紙、計647タイトル	国内外における日本語教育の促進を目的として、日本語教科書・教材をはじめ、日本語教育、日本語、言語学、日本事情、外国語教育に関する資料や情報を収集・提供している専門図書館の運営。 年間利用者数 22,123名。

日本語普及事業に必要な経費

附属機関関西国際センター事業費

1. 運営諸費

- (1) 図書館運営（関西国際センター）

2. 研修事業費

- (1) 専門日本語研修（外交官）
- (2) 専門日本語研修（公務員）
- (3) 専門日本語研修（研究者・大学院生）
- (4) 日本語学習者訪日研修（各国成績優秀者）
- (5) 日本語学習者訪日研修（大学生）（関西国際センター）
- (6) 日本語学習者訪日研修（高校生）（関西国際センター）
- (7) アジア・ユースフェローシップ高等教育奨学金訪日研修
- (8) 地域交流研修（関西国際センター）
- (9) 在日外交官日本語研修
- (10) 受託研修（関西国際センター）
- (11) 受託研修（関西国際センター）〔アセアン〕
- (12) 受託研修（関西国際センター）〔サーク〕

附属機関関西国際センター事業費

1. 運営諸費 / (1) 図書館運営 (関西国際センター)

関西国際センターでの研修参加者の学習・研究をサポートするため、各分野の参考図書の充実と日本の文化・社会を広く紹介する各国語資料を収集、提供、レファレンスなどの各種図書館サービスを実施する。

合計額 18,616,596 円

	事業名	蔵書数	事業内容
1	図書館運営	図書45,836冊、ビデオ/DVD 1,207点、LD 6点、CD-ROM 61タイトル、マイクロフィルム 1,387リール 雑誌 282タイトル、新聞 18紙。	関西国際センターでの研修参加者の学習・研究をサポートするため、各分野の参考図書の充実と日本の文化・社会を広く紹介する各国語資料を収集、提供、レファレンスなどの各種図書館サービスを実施する。 年間利用者数 14,515名。

附属機関関西国際センター事業費

2. 研修事業費 / (2) 専門日本語研修 (公務員)

諸外国の政府・公的機関、日本政府の代表部が置かれている国際機関の公務員等で、業務上の目的で日本語の習得を必要とする者を、9カ月間日本に招へいして、日本語及び日本事情の長期集中研修を実施する。

合計額 10,797,229 円

	事業名	参加国	参加人数	期間	事業内容
1	専門日本語研修 (公務員) 19年度	インドネシア キューバ タジキスタン ニカラグア ネパール ベトナム モルディブ モンゴル ラオス	1 1 1 1 1 1 1 1 1	2007. 10. 03 ~ 2008. 05. 30	海外の公的機関に勤務し、業務上の理由で日本語の習得を必要としている者を日本に招へいし、日本語および日本事情の集中研修を実施
2	専門日本語研修 (公務員) 20年度	モンゴル インドネシア ラオス アルバニア イラク	1 1 1 1 1	2008. 10. 01 ~ 2009. 05. 29	海外の公的機関に勤務し、業務上の理由で日本語の習得を必要としている者を日本に招へいし、日本語および日本事情の集中研修を実施

2. 研修事業費 / (3) 専門日本語研修 (研究者・大学院生)

諸外国の研究者 (社会科学又は人文科学専攻) 及び海外の大学院で社会科学又は人文科学の分野を専攻し、将来日本研究関連の職業につくことを希望している大学院生で、研究活動上の目的で日本語の習得を望む者を対象に日本語の集中研修を実施する。

合計額 29,372,832 円

	事業名	参加国	参加人数	期間	事業内容
1	専門日本語研修 (研究者・大学院生) 19年度 (8カ月)	ウクライナ カナダ ハンガリー フィリピン ベトナム 韓国 中国 米国	1 1 1 1 2 2 3 3	2007. 10. 03 ~ 2008. 05. 30	研究活動上の目的で日本語の習得を必要とする海外の研究者・大学院生を招へいし、日本語の集中研修を実施

附属機関関西国際センター事業費

	事業名	参加国	参加人数	期間	事業内容
2	専門日本語研修（研究者・大学院生）20年度（2カ月）	韓国 中国 インドネシア ベトナム インド 米国 メキシコ イタリア 英国 オーストリア フィンランド ウクライナ カザフスタン クロアチア ハンガリー ロシア エジプト	2 5 1 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 3 1	2008.06.11 ～ 2008.08.06	研究活動上の目的で日本語の習得を必要とする海外の研究者・大学院生を招へいし、日本語の集中研修を実施
3	専門日本語研修（研究者・大学院生）20年度（8カ月）	韓国 中国 フィリピン 米国 イタリア スペイン ロシア	2 2 1 1 1 1 1	2008.10.01 ～ 2009.05.29	研究活動上の目的で日本語の習得を必要とする海外の研究者・大学院生を招へいし、日本語の集中研修を実施

附属機関関西国際センター事業費

事業名	参加国	参加人数	期間	事業内容
	バーレーン	1		
	ヨルダン	1		
	エジプト	1		
	チュニジア	1		
	モロッコ	1		
	ガーナ	1		
	ケニア	1		
	セネガル	1		
	マダガスカル	1		

2. 研修事業費 / (5) 日本語学習者訪日研修 (大学生) (関西国際センター)

近年、日本語学習者数の大幅な増加が見られる地域における日本語教育の拠点機関から、日本語を学習している大学生を6週間招へいし、日本語の学習及び日本文化・社会への理解を深める機会を提供する。

合計額 8,884,689 円

事業名	参加国	参加人数	期間	事業内容
1 日本語学習者訪日研修 (大学生) (春季)	タイ	2	2008. 05. 14 ~ 2008. 06. 25	日本語学習者数の大幅な増加が見られる地域における日本語教育の拠点機関から、その大学学部で日本語を学習している大学生をグループで招へいし、日本語の学習及び日本文化・社会への理解を深めることを目的とした研修を実施
	フィリピン	1		
	インド	5		
	スリランカ	1		
	メキシコ	2		
	アゼルバイジャン	1		
	ロシア	5		

2. 研修事業費 / (6) 日本語学習者訪日研修 (高校生) (関西国際センター)

海外の高等学校で日本語を学習し、優秀な成績を修めている者を2週間招へいし、日本語及び日本文化・社会への理解を深め、同世代の日本の若者と交流する機会を提供する。

合計額 13,591,368 円

	事業名	参加国	参加人数	期間	事業内容
1	日本語学習者訪日研修 (高校生)	中国 モンゴル インドネシア タイ フィリピン マレーシア スリランカ オーストラリア ニュージーランド カナダ 米国 パラグアイ ブラジル 英国 ドイツ フランス ロシア	4 2 2 2 1 2 2 3 2 2 3 1 1 2 1 1 1	2008.07.01 ~ 2008.07.15	海外の高等学校で日本語を学習し、優秀な成績を修めている者を2週間日本に招へいし、日本語及び日本の文化・社会への理解を深めること、同世代の日本の若者と交流すること、日本語の学習意欲を高めることを目的とした研修を実施

附属機関関西国際センター事業費

2. 研修事業費 / (7) アジア・ユースフェローシップ高等教育奨学金訪日研修

アジア各国の文化振興支援の一環として、アジア域内の将来を担う人材育成を支援するため、日本の大学院へ留学するアジア11カ国の大学卒業者を対象に大学院留学前予備教育事業を行なう。

合計額 45,204,004 円

	事業名	参加国	参加人数	期間	事業内容
1	アジア・ユースフェローシップ高等教育奨学金訪日研修	インドネシア カンボジア シンガポール タイ フィリピン ブルネイ ベトナム マレーシア ミャンマー ラオス バングラデシュ	2 2 1 2 1 1 2 1 2 2 2	2008.07.22 ~ 2009.02.24	アジア各国の将来を担う人材の育成支援のため、日本の大学院へ留学するアジア11カ国の大学卒業者を招へいし、日本での研究活動に必要な日本語の習得及び日本文化・社会への理解を深めることを目的とした、大学院留学前の長期集中研修を実施

2. 研修事業費 / (8) 地域交流研修（関西国際センター）

地域貢献の一環として、地方自治体等の機関が実施する事業のうち、主に日本語学習研修について、協力・共同実施する。

合計額 1,841,095 円

	事業名	参加国	参加人数	期間	事業内容
1	JET青年日本語研修	シンガポール オーストラリア ニュージーランド カナダ 米国 トリニダード・トバゴ 共和国 アイルランド 英国 ルクセンブルク	1 2 3 5 37 1 1 6 1	2008.08.11 ~ 2008.08.21	「語学指導等を行う外国青年招致事業」（略称：JETプログラム）で日本に既に1年間以上滞在しているJET青年に対して、日本語の集中研修を実施

附属機関関西国際センター事業費

	事業名	参加国	参加人数	期間	事業内容
2	大阪府JET青年日本語研修	オーストラリア ニュージーランド カナダ 米国 ジャマイカ アイルランド 英国	1 2 10 25 1 1 8	2008.08.25 ~ 2008.08.27	大阪府と共催で、同府に新規着任予定のJET青年のうち、小・中・高等学校において語学指導に従事する外国語指導助手（ALT）に対する来日時日本語研修を実施
3	大阪府クィーンズランド州日本語教師研修	オーストラリア	5	2009.01.05 ~ 2009.01.23	大阪府と共催で、同府の姉妹提携都市であるクィーンズランド州（オーストラリア）の日本語教師に対して、日本語及び日本事情の集中研修を実施

2. 研修事業費 / (9) 在日外交官日本語研修

在日外国公館のうち、独自で日本語学習環境を設けることが困難な公館に勤務する外交官を対象に、在日外交官の日本での生活および職場に必要な日本語の習得および日本語能力の向上のための研修を実施する。

合計額 2,575,500 円

	事業名	参加国	参加人数	期間	事業内容
1	在日外交官日本語研修	ラオス モルディブ ドミニカ共和国 メキシコ ウルグアイ エクアドル アゼルバイジャン タジキスタン イラク パレスチナ アルジェリア チュニジア	1 1 1 1 1 1 1 2 1 1 1 1	2008.07.01 ~ 2009.03.31	在日外国大使館に勤務している外交官を対象として、日本語研修を実施する。

附属機関関西国際センター事業費

2. 研修事業費 / (10) 受託研修 (関西国際センター)

国際交流基金の業務趣旨に合致する日本語研修事業を外部から受託し実施する。

合計額 109,786,001 円

	事業名	参加国	参加人数	期間	事業内容
1	タイ国日本語教師会 (JTAT) 訪日研修	タイ	18	2008. 04. 06 ~ 2008. 04. 19	タイ国日本語教師会 (JTAT) が企画する訪日研修について、施設の無償提供により協力。また、日本語授業、研修旅行、文化体験等を受託し実施。
2	ナポリ大学訪日研修	イタリア	26	2008. 04. 09 ~ 2008. 04. 11	ナポリ大学が企画する訪日研修について、施設の無償提供により協力。また、日本語の授業を受託し実施。
3	ニュージーランド日本語教師研修	ニュージーランド	4	2008. 04. 19 ~ 2008. 05. 01	ニュージーランド人日本語教師研修を受託し、日本語能力の向上、日本語教育リソースの紹介、現代日本事情紹介等を目的とした日本語研修を実施。
4	韓国慶尚南道日本語教員研修	韓国	20	2008. 07. 16 ~ 2008. 08. 04	韓国慶尚南道教育庁が、2008年7月～8月に実施した山口県教育委員会との交流事業に関連し、同庁管轄内の中等教育機関の日本語担当教員20名に対し、①正確さよりも流暢さを重視した、より実用的なコミュニケーション能力の養成、②インターネットを利用した、情報文化社会に対応した日本語能力の養成、等を目的とした日本語研修を受託し実施。
5	インドネシア人介護福祉士候補者日本語研修	インドネシア	56	2008. 08. 07 ~ 2009. 01. 28	日本とインドネシアとの間で締結された経済連携協定に基づき日本で受け入れることになったインドネシア人看護師・介護福祉士候補者のうち、介護福祉士候補者56名に対する事前日本語研修を外務省より受託し実施。
6	インドネシア大学生訪日研修	インドネシア	2	2008. 10. 22 ~ 2008. 12. 03	東南アジア及び大洋州地域の天然ガス産出国との相互理解を深め国際親善に資することを目的に、当該国における教育機材、研究、研修に関する助成や奨学金の支給を行っている大阪ガス国際交流財団が、2008年10月～12月に招へいしたインドネシアの日本語専攻大学生2名に対し、日本語能力の向上、日本文化・社会についての理解を深める等を目的とした「インドネシア大学生日本語研修」を受託し実施。

附属機関関西国際センター事業費

2. 研修事業費 / (11) 受託研修 (関西国際センター) [アセアン]

国際交流基金の業務趣旨に合致する日本語研修事業を外部から受託し実施する。

合計額 65,935,777 円

	事業名	参加国	参加人数	期間	事業内容
1	21世紀東アジア青少年大交流計画東アジア日本語移動講座プログラム(カレッジ・イン・ジャパン) 19年度	タイ	40	2008. 03. 31 ~ 2008. 04. 28	東アジア地域にある日本語教育の拠点機関等から、その機関で日本語を履修している青少年を招へいし、日本語の学習及び日本文化・社会への理解を深める機会を提供する。「21世紀東アジア青少年大交流計画(JENESYS Programme)」の一環として実施。
2	21世紀東アジア青少年大交流計画東アジア日本語履修大学生研修プログラム(春季コース) 19年度	シンガポール タイ フィリピン インド	5 5 5 5	2008. 05. 14 ~ 2008. 06. 25	東アジア地域にある日本語教育の拠点機関等から、その機関で日本語を履修している青少年を招へいし、日本語の学習及び日本文化・社会への理解を深める機会を提供する。「21世紀東アジア青少年大交流計画(JENESYS Programme)」の一環として実施。
3	21世紀東アジア青少年大交流計画東アジア日本語履修大学生研修プログラム(夏季コース) 19年度	カンボジア シンガポール ブルネイ ベトナム マレーシア ミャンマー ニュージーランド	2 5 1 7 7 5 3	2008. 06. 11 ~ 2008. 07. 23	東アジア地域にある日本語教育の拠点機関等から、その機関で日本語を履修している青少年を招へいし、日本語の学習及び日本文化・社会への理解を深める機会を提供する。「21世紀東アジア青少年大交流計画(JENESYS Programme)」の一環として実施。
4	21世紀東アジア青少年大交流計画東アジア日本語履修大学生研修プログラム(秋季コース) 19年度	インドネシア インド	5 5	2008. 10. 22 ~ 2008. 12. 03	東アジア地域にある日本語教育の拠点機関等から、その機関で日本語を履修している青少年を招へいし、日本語の学習及び日本文化・社会への理解を深める機会を提供する。「21世紀東アジア青少年大交流計画(JENESYS Programme)」の一環として実施。
5	21世紀東アジア青少年大交流計画東アジア日本語移動講座プログラム(カレッジ・イン・ジャパン) 20年度	インドネシア フィリピン ベトナム マレーシア	10 10 10 10	2009. 03. 30 ~ 2009. 04. 27	東アジア地域にある日本語教育の拠点機関等から、その機関で日本語を履修している青少年を招へいし、日本語の学習及び日本文化・社会への理解を深める機会を提供する。「21世紀東アジア青少年大交流計画(JENESYS Programme)」の一環として実施。

附属機関関西国際センター事業費

2. 研修事業費 / (12) 受託研修 (関西国際センター) [サーク]

国際交流基金の業務趣旨に合致する日本語研修事業を外部から受託し実施する。

合計額 26,851,622 円

	事業名	参加国	参加人数	期間	事業内容
1	21世紀東アジア青少年 大交流計画南アジア日 本語移動講座プログラ ム (カレッジ・イン・ ジャパン) 20年度	インド スリランカ ネパール パキスタン バングラデシュ モルディブ	10 7 9 3 6 3	2009. 02. 25 ~ 2009. 03. 25	「21世紀東アジア青少年大交流計画 (JENESYS Programme)」の一環として、南アジア地域にある日本語教育の拠点機関から、その機関で日本語を履修している青少年を、学生の指導教員を含めたグループとして招へいし、日本語の学習及び日本文化・社会への理解を深める機会を提供する。

日本研究・知的交流事業に必要な経費

企画開発費

1. 文化資料事業費
 - (1) 図書寄贈〔企画調整〕

企画開発費

1. 文化資料事業費 / (1) 図書寄贈 [企画調整]

日本研究関係の定期刊行物を買上げ、ODA地域を中心とした日本研究・教育機関に対して寄贈する。

合計額 1,359,480 円

	事業名	対象機関	対象国	期間	事業内容
1	日本研究資料購送	財団法人 東方学会 上智大学 モニュメン タ・ニッポニカ ワシントン大学 The Journal of Japanese Studies	日本 日本 米国	2008.04.01 ~ 2009.03.31	海外の日本研究振興に資する図書資料寄贈事業の一環として、日本研究分野で定評のある英文定期刊行物3誌 (ACTA ASIATICA、Monumenta Nipponica、The Journal of Japanese Studies) を購入し、ODA諸国を中心とする各国日本研究機関へ寄贈した。

日本研究・知的交流事業に必要な経費

日中交流センター事業費

1. 人物交流事業費

- (1) 受託事業（日中交流センター）
- (2) 高校生等招へい事業

2. 催し等事業費

- (1) ネットワーク整備事業（催し・主催）
- (2) 交流拠点設置運営事業（催し・主催）
- (3) 交流拠点設置運営事業（催し・助成）

3. 文化資料事業費

- (1) ネットワーク整備事業（文化資料）

日中交流センター事業費

1. 人物交流事業費 / (1) 受託事業 (日中交流センター)

日中交流の分野で、国際交流基金の業務趣旨に合致する事業を外部から受託し実施する。

合計額 28,395,732 円

	事業名	期間	事業内容
1	中国高校生長期招へい(第二期生)	2007.09.04 ~ 2008.07.26	中国の高校生に11カ月間の日本滞在の機会を提供し、その生活を通して日本の社会と文化を知ること、同時に彼らを取り巻く日本人々にも中国人と直接交流する機会を提供すること、これらにより”人”と”人”の心のつながりをつくり、日中両国の長期的な関係発展の基礎となる信頼関係を築くことを目的とする。第二期生は計37名を招へい。
2	コミュニティサイト運営	2008.04.01 ~ 2009.03.31	日本と中国の市民間の交流が続くよう、交流事業を通じて生まれた友情の輪をつなぎ、広げていくために、インターネット上で、「心連心コミュニティ・サイト」を運営。

日中交流センター事業費

1. 人物交流事業費 / (2) 高校生等招へい事業

中国の高校生を招へいし、日本の社会と文化を知る機会を提供するとともに、日本の人々にも中国人と直接交流し、中国の文化を知る機会を提供する。

合計額 50,021,879 円

	事業名	人数	期間	事業内容
1	中国高校生長期招へい (第二期生)	37	2007.09.04 ~ 2008.07.26	中国の高校生に11カ月間の日本滞在の機会を提供し、その生活を通して日本の社会と文化を知ること、同時に彼らを取り巻く日本の人々にも中国人と直接交流する機会を提供すること、これらにより”人”と”人”の心のつながりをつくり、日中両国の長期的な関係発展の基礎となる信頼関係を築くことを目的とする。第二期生は計37名を招へい。
2	中国高校生長期招へい (第三期生)	26	2008.09.02 ~ 2009.07.25	中国の高校生に11カ月間の日本滞在の機会を提供し、その生活を通して日本の社会と文化を知ること、同時に彼らを取り巻く日本の人々にも中国人と直接交流する機会を提供すること、これらにより”人”と”人”の心のつながりをつくり、日中両国の長期的な関係発展の基礎となる信頼関係を築くことを目的とする。第三期生は計26名を招へい。
3	長期 (第一期生フォローアップ)	37	2007.07.28 ~ 2009.03.31	長期招へい事業で招へいした生徒が帰国した後、大学進学などのバックアップを含めたフォローを行う。また、連絡先を常に更新できるよう、つながりを持続する。

日中交流センター事業費

2. 催し等事業費 / (1) ネットワーク整備事業 (催し・主催)

将来にわたり日中間のかけ橋となり得る人々のネットワークを構築し、日中交流の基盤強化を図る。

合計額 890,879 円

	事業名	協力機関	期間	事業内容
1	高校生招へい事業フォローアップ	中国教育部	2008.04.01 ~ 2009.03.31	2006年の高校生招へい事業開始以来、同事業で招へいした中国青少年との交流を継続し、関係をつなぐ目的で出張訪問及び面談、交流会等を実施する。

日中交流センター事業費

2. 催し等事業費 / (2) 交流拠点設置運営事業 (催し・主催)

現代日本の最新情報に接する機会が比較的限られる中国の地方都市において、日本情報を発信し、中国の市民、とりわけ青少年層の日本文化や社会に対する関心を喚起する。

合計額 30,147,739 円

	都市	共催・協力機関	期間	事業内容
1	南京	金陵図書館	2008.04.01 ~ 2009.03.31	共同設置型の「ふれあいの場」を中国江蘇省南京市の金陵図書館内に設置。2008年12月に開館。「ふれあいの場」では、日本の書籍、漫画や雑誌の閲覧、音楽の視聴ができる他、日中文化交流イベントを定期的に開催。
2	成都	広島・四川中日友好会館	2008.04.01 ~ 2009.03.31	2007年4月に、中国四川省成都市の広島・四川中日友好会館内に共同設置型の「ふれあいの場」が開館。「ふれあいの場」では、日本の書籍、漫画や雑誌の閲覧、音楽の視聴ができる他、日中文化交流イベントを定期的に開催。
3	長春	長春図書館	2008.04.01 ~ 2009.03.31	共同設置型の「ふれあいの場」を中国吉林省長春市の長春図書館内に設置。2008年5月に開館。「ふれあいの場」では、日本の書籍、漫画や雑誌の閲覧、音楽の視聴ができる他、日中文化交流イベントを定期的に開催。

日中交流センター事業費

2. 催し等事業費 / (3) 交流拠点設置運営事業 (催し・助成)

現代日本の最新情報に接する機会が比較的限られる中国の地方都市において、日本情報を発信し、中国の市民、とりわけ青少年層の日本文化や社会に対する関心を喚起する。

合計額 3,451,417 円

	都市	助成機関	期間	事業内容
1	延吉	延辺大学	2008.04.01 ~ 2009.03.31	平成20年度の助成型「ふれあいの場」として、中国吉林省延吉市にある延辺大学を助成。「ふれあいの場」では、日本の書籍、漫画や雑誌の閲覧、音楽の視聴ができる。
2	南通	南通職業大学	2008.04.01 ~ 2009.03.31	平成20年度の助成型「ふれあいの場」として、中国江蘇省南通市にある南通職業大学を助成。「ふれあいの場」では、日本の書籍、漫画や雑誌の閲覧、音楽の視聴ができる。

日中交流センター事業費

3. 文化資料事業費 / (1) ネットワーク整備事業 (文化資料)

将来にわたり日中間のかけ橋となり得る人々のネットワークを構築し、日中交流の基盤強化を図る。

合計額 27,935,642 円

	事業名	期間	事業内容
1	「心連心日中交流コミュニティ・サイト」 運営	2008.04.01 ~ 2009.03.31	日本と中国の市民間の交流が続くよう、交流事業を通じて生まれた友情の輪をつなぎ、広げていくために、インターネット上で、「心連心コミュニティ・サイト」を運営。このサイトでは、日本、中国に留学した高校生のブログや、多様なコンテンツによる日本文化紹介情報を発信。
2	ラジオ番組制作・放送事業	2008.04.01 ~ 2009.03.31	日本の「流行音楽」と「流行情報」を中国語で紹介するラジオ番組を制作し、現代日本文化に関する情報が比較的少ない中国国内地域での放送を行った。平成20年度は、株式会社ナレッジ・アンド・メディアに業務委託を行ない、延べ25カ所の放送局で放送。

日本研究・知的交流事業に必要な経費

米州交流事業費

1. 日本研究事業費

- (1) 日本研究組織強化支援（助成）〔米州〕
- (2) 日本研究機関支援〔米州〕

2. 人物交流事業費

- (1) 小渕フェローシップ（派遣）
- (2) 日本研究フェローシップ（学者・研究者）〔米州〕
- (3) 日本研究フェローシップ（論文執筆）〔米州〕
- (4) 日本研究フェローシップ（短期）〔米州〕
- (5) 知的リーダー交流（派遣）〔米州〕

3. 催し等事業費

- (1) 知的交流会議（主催）〔米州〕
- (2) 知的交流会議（助成）〔米州〕

米州交流事業費

1. 日本研究事業費 / (1) 日本研究組織強化支援 (助成) [米州]

国境・学問分野を越えた日本研究者・研究機関間の連携、相互協力を推し進めるべく、学会の横断的な組織化を支援する。

合計額 1,781,642 円

	助成機関	対象国	期間	事業内容
1	カナダ日本研究学会	カナダ	2008. 04. 01 ~ 2009. 03. 31	日本研究に関するカナダ唯一の学際的な学会であるカナダ日本研究学会(JSAC)の2008年次総会『日本の最先端：近代日本のイノベーション』を支援。幹事校ウォータールー大学において2008年10月3日より3日間の日程(本会議部分)で開催。カナダ、米国、日本等から75名以上が参加。各地から集まった様々な専門を持つ日本研究者のネットワーキングの機会となった。

米州交流事業費

1. 日本研究事業費 / (2) 日本研究機関支援 [米州]

各国において日本研究の中核的役割を担うべき単一・少数の機関に対し、日本研究事業の拡充・発展に必要な様々な支援を、包括的、集中的且つ中長期的に行い、当該国の日本研究基盤となる拠点機関の整備を進める。

合計額 70,359,233 円

	機関	対象国	期間	事業内容
1	アメリカ・カナダ大学 連合日本研究センター	米国・カナダ	2008.04.01 ~ 2009.03.31	米国・カナダの加盟大学により組織するコンソーシアム「アメリカ・カナダ大学連合日本研究センター」が実施する日本専門家の養成を目的とした10カ月間の専門日本語研修事業。基金は同事業の一部（研修奨学金）を支援。平成20年度は参加した55名の大学院生に対し将来の専門活動に資する上級日本語教育研修を実施した。
2	京都アメリカ大学コン ソーシアム	米国	2008.04.01 ~ 2009.03.31	全米14の加盟校による京都アメリカ大学コンソーシアムは、「京都上級・古典日本語サマープログラム」と題する、夏期短期集中日本語プログラムとして歴史的文献などの研究を行う学生・研究者を対象とした「古文コース」及び上級レベルの学生ニーズに応える「上級日本語コース」を計画した。初年度となる平成20年度は、準備年度として、宣伝活動、講師・授業内容の決定、宿泊施設の準備、受講者選抜等を実施。30名の定員に対して45名の応募があった。
3	ブリティッシュ・コロ ンビア大学	カナダ	2008.04.01 ~ 2009.03.31	①同大学アジア学科主催により日本文学研究会第17回年次総会をバンクーバーにおいて3日間の日程で実施した。総会は4人のスピーカーによる12パネルと2名のキーノートスピーカーにより構成され、日本やアジアからも参加者を招いた。②同大学日本研究センター主催により、北米西岸6機関による情報交換を目的とするワークショップを実施した。米国からはハワイ大学、UCバークレー、ポートランド、UCLA、ワシントンの各大学の付属日本研究センター（又は日本研究学科）の代表が参加して、日本研究センター運営や日本研究の将来について議論を深めた。
4	エル・コレヒオ・デ・ メヒコ	メキシコ	2008.04.01 ~ 2009.03.31	①研究会議助成：「第2回日墨教育改革シンポジウム」と題し、公教育の問題について比較分析を行う日墨二国間学術交流会議をメキシコシティにて2008年9月に開催した（3日間）。佐藤学（東京大学教授）、小国善弘（早大准教授）がゲストスピーカーとして招へいされ、日墨及び北米南米地域より計140名以上の協力者、参加者を得た。②修士課程学生訪日研修：修士学生7名と引率教員1名により、2008年6月14日から7月14日の日程で訪日し、東京、関西等を訪問して研究資料収集等の活動を行った。③日本研究分野の図書資料拡充支援（和書・洋書）を実施し、同大学の基盤整備を行った。
5	ハワイ大学マノア校	米国	2008.06.01 ~ 2009.05.31	「米国における沖縄研究」と題し、国際会議、出版、カリキュラム開発、教員研究、図書資料拡充等による3カ年の総合的な沖縄研究プログラムを開始。初年度の平成20年度は、沖縄研究国際シンポジウムを2009年3月に開催し、日米より主要参加者計41名、全体で200名が参加した。また、南米で開催された沖縄日系移民100周年事業に大学関係者が参加（2008年8月-9月）し人的ネットワークを構築した。また、沖縄関連図書資料の拡充を図った。

米州交流事業費

	機関	対象国	期間	事業内容
6	五大湖周辺私立大学連盟 (GLCA)	米国	2008.07.01 ~ 2009.03.31	五大湖周辺12私立大学によるコンソーシアムである五大湖周辺私立大学連盟 (GLCA) は、「米国リベラル・アーツ・カレッジによる現代日本への取り組み」と題し、様々な分野・教科の非日本専門教員に対する日本理解セミナーと訪日プログラムを実施し、各大学内における日本理解と日本関連講座の拡充を目指す3ヵ年事業を実施した。平成20年度は2週間の訪日研修事業を実施。5大学6分野より計9名が参加し、大阪、京都、広島、名古屋、東京を訪問し、テーマに沿った視察や関係者との意見交換を実施し、加盟大学間の人脈形成を図った。
7	北米日本研究資料調整協議会 (NCC)	米国	2008.07.01 ~ 2009.06.30	「利用者中心の情報資源共有のための国籍を越えた戦略展開」と題し、北米日本研究資料調整協議会 (NCC) は、日本研究者向けの情報活用支援目的の各種事業を実施した。2008年度においては、「イメージ・ユーズ・プロトコル (画像利用規約)」「国際的な図書館相互貸借フレームワーク」「NCC教員フォーラム」「デジタルリソースワークショップ」等の事業を実施した。
8	モンタナ州立大学	米国	2008.07.01 ~ 2009.06.30	同大学における文化人類学助教授ポストの新規創設のための給与支援 (給与・社会保障費の一部) を実施した。担当教員はヤマグチ・トモミであり、平成20年度は「日本の伝統と文化」「日本文化の愛と力のイメージ」など、日本の文化・社会に関連する計7コースを担当し、延べ239名の学生が受講した。
9	ミシシッピ大学	米国	2008.07.01 ~ 2009.06.30	同大学における日本史分野の助教授ポストを新規創設するための給与支援 (給与・社会保障費の一部) を実施。担当教員はNoell H. Wilsonであり、平成20年度には、近代日本史など3コースを担当し、延べ52名の学生が受講した。
10	フロリダ国際大学	米国	2008.07.01 ~ 2009.06.30	同大学における社会学助教授ポストを新規創設するための給与支援 (給与・社会保障費の一部) を実施した。雇用教員はMatthew Marrであり、平成20年度において担当教員は、「日本の都市化問題」「ジェンダー問題」「高齢化社会の影響」「日本の外国人コミュニティ」など4講座を担当し、延べ61名の学生が受講した。
11	イリノイ大学	米国	2008.08.01 ~ 2009.07.31	「中西部日本研究セミナー」と題し、中西部地域の大学に所属する様々な分野の教員を対象とした日本研究セミナーを、域内大学が持ち回りで年5回行う事業。平成20年度は、歴史・文学・宗教・政治などをテーマとしたセミナーを5校において実施し、合計100名以上の参加者を集めた。
12	コロラド大学ボルダー校	米国	2008.08.01 ~ 2009.07.31	「日本研究大学院課程及び教員向けアウトリーチ事業の拡充」と題し、江戸文学・言語学・日本専門司書・歴史の教員ポスト新設とともに図書資料拡充を行い、新たに大学院博士課程の認可を目指すための3ヵ年事業を開始。初年度となる平成20年度は、基金の支援により、図書資料拡充、研究会議事業 (宗教、中世文学)、客員招へいによる日本講義、教員向け研修事業等の様々な拡充事業を実施した。

米州交流事業費

	機関	対象国	期間	事業内容
13	ケンタッキー大学	米国	2008.09.01 ~ 2009.06.30	「日本研究集中拡充プログラム」と題し、日本語及び視覚芸術の教員2ポスト新設により、全学部及び大学院の横断的な日本関連プログラム拡充をはかり、教員資格取得コース開設を通じて初中等教育への波及効果を目指す3カ年事業を開始。初年度となる平成20年度は次年度からの新規雇用教員の募集を開始し、古典文学の図書資料拡充を実施した。また、日本映画上映事業を行い学内外より400名以上の参加者を得た。
14	モントリオール大学	カナダ	2008.09.01 ~ 2009.05.31	日本研究修士課程設立を目指し、年々増加する日本語学習ニーズに対応するため、担当講師Jacynthe Tremblayの給与・社会保障費の一部を基金が支援し、日本語及び日本文化（歴史、文化、社会、映画、文学）に関する4講座を開講。延べ63名の学生が修了した。
15	バージニア大学	米国	2009.02.01 ~ 2009.06.30	「国際的な文脈における日本理解」と題し、歴史、メディア研究、人類学の3分野で教員ポストを拡充し、日本と世界の比較・関係に関する研究を深化させるため、対象分野の図書館資料を充実し、博士課程における研究者の育成と学部教育の充実を図るという3カ年事業を開始。初年度の平成20年度は歴史分野の新規教員の確保と歴史分野の図書資料拡充を実施した。
16	メキシコ工科大学	メキシコ	2009.02.01 ~ 2009.03.31	メキシコにおける日本研究の中核的機関として発展が期待されるメキシコ工科大学に対し、日本研究分野の図書資料拡充促進のため経費支援を行い、100点以上の日本研究関連資料（洋書）が拡充され同大学の日本研究基盤の整備に役立てられた。
17	グアダハラ大学 太平洋地域研究科	メキシコ	2009.02.01 ~ 2009.03.31	メキシコにおける日本研究の中核的機関として発展が期待されるグアダハラ大学太平洋地域研究科に対し、日本研究分野の図書資料（図書26点、DVD25点）を調達・送付し、同大学の日本研究基盤整備に役立てられた。
18	コリマ大学太平洋研究センター	メキシコ	2009.02.01 ~ 2009.03.31	メキシコにおける日本研究の中核的機関として発展が期待されるコリマ大学太平洋研究センターに対し、日本研究分野の図書資料（洋書32点）を調達・送付し、同大学の日本研究基盤整備に役立てられた。
19	サンパウロ大学哲学・文学・人間科学部附属 日本文化研究所	ブラジル	2009.02.01 ~ 2009.03.31	ブラジルにおける日本研究の中核的機関として重要な、サンパウロ大学哲学文学人間科学部附属日本文化研究所に対する図書拡充支援として図書326点（和書、洋書）を寄贈し、同大学の日本研究分野の基盤整備を図った。
20	オレゴン大学	米国	2009.02.01 ~ 2009.12.31	オレゴン大学が実施する1カ年の調査及びプログラム開発プロジェクト「オレゴン日本語フラッグシップ事業：K-16日本語イマージョン教育モデルの開発」に対する支援を実施した。同事業は、全米K-12日本語教育イマージョンプログラムと同大学が連携し、連続性のあるK-16日本語教育プログラムとして高度な日本語学習者を対象とする教育プログラムを開発するというものであり、平成20年度はその事前調査とプログラム開発を実施した。
21	日本研究巡回セミナー アルバータ大学 コンコルディア大学 ライオンソン大学	カナダ	2009.03.01 ~ 2009.03.08	日本国内の研究者Jaqueline Berndt（横浜国立大学教育人間科学部准教授）、森川嘉一郎（明治大学国際日本学部准教授）をカナダに派遣し「アニメと現代日本社会」についてトロント、エドモントン及びモントリオールで講演会及びパネル・ディスカッションを実施。

米州交流事業費

2. 人物交流事業費 / (1) 小渕フェローシップ (派遣)

日米両国政府の合意に基づく「小渕沖縄教育研究プログラム」の一環として、米国の東西センター（ハワイ州）を受入機関として人文・社会科学分野に係る研究活動を行う沖縄県内の研究者等に対しフェローシップを支給する。

合計額 4,834,460 円

	氏名	現職	期間	事業内容
1	宮里 由紀子	(有) エグゼカティブリンク会長	2008.10.01 ~ 2009.03.31	「アジア太平洋地域におけるクルーズ客船寄港地としての沖縄の可能性」のテーマによりハワイ州東西センターにおいて研究を実施。
2	赤嶺 守	琉球大学法文学部教授	2009.03.28 ~ 2009.09.27	「琉球大学とハワイ大学との連携による沖縄学研究環境の構築とネットワーク形成」のテーマによりハワイ州東西センターにおいて研究を実施。

米州交流事業費

2. 人物交流事業費 / (2) 日本研究フェローシップ (学者・研究者) [米州]

諸外国の優れた日本研究者に日本で研究・調査活動を行う機会を提供する。

合計額 39,345,937 円

	氏名	現職	対象国	受入機関	期間	研究テーマ
1	SHOJI, Rafael	サンパウロカトリック大学 研究員	ブラジル	南山大学	2007.05.27 ~ 2008.05.25	日系ブラジル人のキリスト教：国際ネットワークと日本における社会的な統合
2	PORTILLO RODRIGUEZ, Manuel	モンテレイ工科大学 メキシコシティ校 教授	メキシコ	東京大学	2007.06.02 ~ 2008.05.27	日本の都市開発への市民社会の参加について
3	LIPPIT, Miya Elise Mizuta	南カリフォルニア大学 美術史学科 非常勤講師	米国	東京大学 大学院人文社会系研究科	2007.06.08 ~ 2008.06.07	影からイルミネーションへ：美術・文学と近代日本の電化
4	ABI-SAMARA, Raquel	ブラジル国立科学技術開発評議会 研究者	ブラジル	国際日本文化研究センター	2007.07.02 ~ 2008.06.01	都市風景と現代日本詩
5	YANG, X. Jie	カルガリー大学 教授	カナダ	立教大学文学部	2007.08.22 ~ 2008.04.21	絵巻音読に関する基礎研究
6	HELLYER, Robert Ingels	ウェイクフォレスト大学 助教授	米国	東京大学史料編纂所	2007.08.30 ~ 2008.08.08	緑茶：日本の産業化や国際化
7	WHITE, Merry Isaacs	ボストン大学 教授	米国	金沢大学	2008.02.15 ~ 2008.06.14	社会的空間と変化する都市生活：日本のカフェ社会
8	SANTANA, Martin	経営管理大学院 教授	ペルー	早稲田大学	2008.03.26 ~ 2009.03.09	Eガバメントへの道：ペルーにおけるガバナンス及びパブリック・マネジメントの向上
9	DVORAK, Gregory Eric	オーストラリア国立大学 アジア太平洋研究科 研究員	オーストラリア	東京大学	2008.06.01 ~ 2008.09.25	南洋ノスタルジア～日本の太平洋における過去の記憶と「環礁」～
10	NEGAWA, Sachio	ブラジリア大学 助教授	ブラジル	早稲田大学大学院	2008.07.13 ~ 2009.02.26	日本的教育文化の越境・再創・展開ーブラジルにおける日系教育機関を中心にー
11	WHITMAN, John Bradford	コーネル大学 教授	米国	東京大学大学院人文社会系研究科	2008.08.16 ~ 2009.07.21	平安初期訓点資料の比較研究

米州交流事業費

	氏名	現職	対象国	受入機関	期間	研究テーマ
12	HORI, Genichi Victor	マギル大学 准教授	カナダ	南山大学	2008.08.23 ~ 2008.12.15	翡翠：禅における言語・経験そして研究
13	ZAMBRANO MEZA, Gregory Simon	ロス・アンデス大学 教授	ベネズエラ	東京大学	2008.09.06 ~ 2009.09.05	「個人という概念の危機－安部公房とガブリエル・ガルシア・マルケスの小説世界」
14	TIAMPO, Ming	カールトン大学 准教授	カナダ	慶応大学	2008.10.01 ~ 2009.09.30	具体のカルトグラフィ（活動地図）
15	KAWANO, Satsuki	グエルフ大学 准教授	カナダ	早稲田大学	2008.12.28 ~ 2009.04.27	現代日本における家族形成過程の社会文化的分析：未就学児のいる両親が第二子を授かろうとする際に利用可能なリソースの認知
16	ANDERSON, David	ブリティッシュ・コロンビア大学 准教授	カナダ	神戸学院大学	2009.01.01 ~ 2009.06.30	2005年愛知万博訪問者の記憶：長期間にわたる記憶の心理学的研究
17	MURPHY, Joseph A.	フロリダ大学 准教授	米国	横浜国立大学	2009.01.06 ~ 2009.08.13	無用/有用-日本近代における「戯れ」と文学
18	KATADA, Saori	南カリフォルニア大学 准教授	米国	早稲田大学	2009.03.20 ~ 2009.07.19	つぎはぎ地域主義？日本と東アジアの新しい経済関係
19	WALTHALL, Anne	カリフォルニア大学アーバイン校 教授	米国	国際基督教大学	2009.03.30 ~ 2009.07.29	信仰の実施-平田家の歴史（1800-1945）
20	SAITO, Satoru	ラトガース大学 助教授	米国	早稲田大学	2009.03.31 ~ 2010.01.06	十九世紀末・二十世紀初における日本の連載小説と文学の消費

米州交流事業費

2. 人物交流事業費 / (3) 日本研究フェローシップ (論文執筆) [米州]

人文・社会科学の研究者で博士論文作成のため来日する必要があるものを招へいする。

合計額 74,015,721 円

	氏名	現職	対象国	受入機関	期間	研究テーマ
1	KUNIMOTO, Thalia Namiko Athena	カリフォルニア大学 バークレイ校 博士課程	カナダ	上智大学	2007.06.15 ~ 2008.08.14	太陽の肖像：具体派の美術における暴力と国民性
2	PITA CESPEDES, Gustavo	エル・コレヒオ・デ・ メヒコ 博士課程	キューバ	筑波大学	2007.07.28 ~ 2008.09.27	明治から昭和にかけての日本社会の発展に武士道精神が与えた影響
3	MENDEZ VAZQUEZ, Marcela Ines	エル・コレヒオ・デ・ メヒコ アジア・アフリカ研究センター日本科 博士課程	アルゼンチン	慶應義塾大学	2007.08.04 ~ 2008.09.01	多様性の調整—現代日本におけるラテンアメリカの日系人および政治的想像体
4	PALMER, Jesse D.	カリフォルニア大学 アーバイン校 博士課程	米国	東京大学史料編纂所	2007.08.30 ~ 2008.08.29	円仁：日本の学問僧と平安時代に於ける唐文化
5	HOFER, Franz D.	コーネル大学 博士課程	カナダ	名古屋大学学院	2007.09.04 ~ 2008.11.03	歴史の事実を作る：戦後日本とドイツのトラウマ的な過去のビジュアル表現
6	WALLEY, Akiko	ハーバード大学 博士課程	米国	東京大学史料編纂所	2007.09.11 ~ 2008.08.28	法隆寺西院伽藍再考—伽藍配置及び堂内総力の意義について
7	NANTAIS, Simon Michel	ビクトリア大学 博士課程	カナダ	立命館大学	2007.09.28 ~ 2008.08.31	米軍占領下の在日韓国人
8	YOSHITAKE, Mika Monique	カリフォルニア大学ロサンゼルス校 博士課程	米国	多摩美術大学	2007.12.02 ~ 2008.07.01	太陽へのレクイエム：戦後日本における「もの派」「美共闘」の活動 (1968-1974)
9	O' DAY, Robin	ブリティッシュ・コロンビア大学 博士課程	カナダ	上智大学	2007.12.31 ~ 2009.02.28	日本再構築：若年層における雇用率の低下と社会運動の出現
10	BLACK, Matthew Douglas	コロンビア大学 博士課程	米国	一橋大学	2008.03.16 ~ 2009.03.14	解明の9か条：日本の社会運動
11	TONGU, Erica Ayaco Sacata	サンパウロ州 教育監理官	ブラジル	上智大学	2008.05.17 ~ 2009.05.14	学校組織における民族性・国民性：日本におけるブラジル人学校とブラジルにおける日本人学校の比較研究

米州交流事業費

	氏名	現職	対象国	受入機関	期間	研究テーマ
12	COOPER III, Tim Ervin	カリフォルニア大学 バークレー校 博士課程	米国	東京大学資料編 纂所	2008.06.24 ~ 2008.12.28	” The Making of a Shogun” の博士論研究
13	JACOBSON, Justin Price	ミネソタ大学 博士課程	米国	東京大学	2008.07.07 ~ 2009.07.06	日本の公共交通志向型都市開発：形式化されたマーケットと他の土地活用方法
14	TURINO RAMOS Liset	エル・コレヒオ・デ・メ ヒコ アジア・アフリ カ研究科 博士課程	メキシコ	立命館大学	2008.07.16 ~ 2009.09.15	狂言と笑いの世界：16世紀日本の滑稽の研究
15	KAFFEN, Philip James	ニューヨーク大学 博 士課程	米国	立教大学	2008.08.18 ~ 2009.08.10	終末論的なイメージの時代における暴力の働き：文化政治と現代日本の映画
16	KAMEI-DYCHE, Andrew Terence	南カリフォルニア大学 博士課程	米国	埼玉大学	2008.08.24 ~ 2009.08.23	近代日本思想文化の形成における岩波書店の 役割：1913-1965
17	LINDSAY, Ethan Claude	プリンストン大学 博 士課程	米国	関西大学 国際 部	2008.09.01 ~ 2009.05.31	平安末期と鎌倉時代における高野山
18	EASON, Paul Vincent	プリンストン大学 博 士課程	米国	九州大学	2008.09.04 ~ 2009.09.03	福岡の創造と製造：二十世紀日本の地方と発 展
19	FLEMING, William David	ハーバード大学 博士 課程	米国	大阪商業大学	2008.09.10 ~ 2009.08.24	近代初頭日本における平賀源内（1728- 1780）、森島忠料（1754-1810）及び戯作と 蘭学の交差
20	BRONSON, Adam Paul	コロンビア大学 博士 課程	米国	東京大学大学院	2008.09.14 ~ 2009.09.13	民主主義・科学・日常性：思想の科学研究会 と戦後日本、1946-1996
21	DOWDLE, Brian C	ミシガン大学 博士課 程	米国	日本大学	2008.09.18 ~ 2009.09.17	歴史再認識：明治日本における時代小説と歴 史認識
22	SHOCKEY, Nathan Powell	コロンビア大学 博士 課程	米国	早稲田大学	2008.10.01 ~ 2009.09.30	1920-1950年の日本における読む技術と文学 上の暴力
23	KHARIN, Ilya Nikolayevich	プリンストン大学 博 士課程	米国	大阪大学	2008.10.02 ~ 2009.09.30	日本正教会の発生
24	KELLEY, Erin Eileen	ペンシルバニア州立大 学 博士課程	米国	学習院大学	2008.10.07 ~ 2009.04.06	近代との葛藤：雑誌「白樺」と日本の前衛芸 術
25	GLADE, Jonathan	シカゴ大学 博士課程	米国	東京大学	2008.10.16 ~ 2009.10.15	文学の戦場—社会統制と戦う日本語文学 1937-1953
26	NETTLETON, Taro Edward Fergus	ロチェスター大学 博 士課程	米国	多摩美術大学	2008.10.31 ~ 2009.10.30	書を捨てよ、町へでよう：1960年代日本の 前衛芸術における主体性と空間の関係性につ いて

米州交流事業費

	氏名	現職	対象国	受入機関	期間	研究テーマ
27	BUSHNELL, Cade Conlan	ハワイ大学 博士課程	米国	筑波大学	2008.11.05 ~ 2009.11.04	「日本人」としてのアイデンティ構築：超級日本語非母語話者における相互作用の会話分析
28	LAW, Ricky Wai-Kei	ノースカロライナ州立大学 博士課程	米国	東京大学	2009.01.10 ~ 2010.01.09	両大戦の間の日独関係
29	GEDACHT, Anne Gibling	ウィスコンシン大学 博士課程	米国	早稲田大学	2009.01.17 ~ 2010.01.15	東北移民の社会ネットワーク
30	LAZOPOULOS, George	カリフォルニア大学 博士課程	米国	上智大学	2009.03.24 ~ 2010.03.23	第二の維新：昭和の進歩的なナショナリズム
31	YOKOTA, Ryan Masaaki	シカゴ大学 博士課程	米国	早稲田大学	2009.03.25 ~ 2010.03.24	沖縄のナショナリズム：独立と自治、ディアスポラと先住民主義
32	STARLING, Jessica Dawn	バージニア大学 博士課程	米国	大谷大学	2009.03.29 ~ 2010.01.15	寺の女性：現代日本仏教における伝統と変容
33	LANDIS, Andrea Kay	ミシガン大学 博士課程	米国	日本大学	2009.03.30 ~ 2010.03.29	19世紀終わりから20世紀初頭にかけての東京の書籍市場地図

2. 人物交流事業費 / (4) 日本研究フェローシップ（短期） [米州]

諸外国の優れた日本研究者に日本で研究・調査活動を行う機会を提供する。

合計額 11,087,277 円

	氏名	現職	対象国	受入機関	期間	研究テーマ
1	JESSAMYN, Abel	ボーリンググリーン州立大学 准教授	米国		2008.05.23 ~ 2008.07.21	平和の国際主義-バンドン会議と東京オリンピック
2	ZIMMERMAN, Eve Kathleen	ウェルズリー大学 准教授	米国		2008.05.26 ~ 2008.07.19	現代女性文学における少女のイメージ：ウチとソト
3	MENDOZA MARTINEZ, Emma	コリマ大学 教授	メキシコ	宇都宮大学	2008.06.21 ~ 2008.08.14	日本における政治参加の代替的形態
4	EVERETT, Yayoi Uno	エモリー大学 准教授	米国		2008.07.30 ~ 2008.08.19	戦後前衛芸術音楽及び映画
5	ALEXANDER, Jeffrey William Scott	ウィスコンシン大学 准教授	カナダ		2008.07.02 ~ 2008.07.31	ビール醸造の成功：戦後復興と日本ビール会社の成長

米州交流事業費

	氏名	現職	対象国	受入機関	期間	研究テーマ
6	PHILIPS, Quitman E.	ウィスコンシン大学 教授	米国		2008.08.15 ~ 2008.10.13	酒呑童子と十六世紀から十七世紀までの日本の妖怪についての解釈
7	KRAUSS, Ellis S.	カリフォルニア大学サン ディエゴ校 教授	米国		2008.09.28 ~ 2008.11.01	総理－日本の総理大臣の役割
8	KIM, Marie Seong-Hak	セントクラウド州立大 学 教授	米国		2008.12.06 ~ 2009.02.02	二つの民法典編纂：明治日本と韓国での梅謙次郎の法制度改革
9	ONO, tsuyoshi	アルバータ大学東アジア 学科 准教授	カナダ		2008.12.10 ~ 2009.01.17	池間プロジェクト：音声・映像による文法と談話の記録
10	TOKU, Masami	カリフォルニア州立大 学チーコ校 助教授	米国		2008.12.27 ~ 2009.01.27	日本ポップカルチャーパワー：近代若者社会におけるヴィジュアルリテラシーへの影響と貢献
11	TAKEDA, Kayoko	モントレイ国際大学 翻訳通訳大学院 助教 授	米国		2009.01.05 ~ 2009.01.25	東京裁判における通訳
12	LEE, Sonya Sum-yin	南カリフォルニア大学 教授	米国		2009.01.24 ~ 2009.02.23	生き残る涅槃：中国芸術における仏陀の死と変容
13	MORIMOTO, Risa	エッジウッドピック チャズ 監督	米国		2009.03.29 ~ 2009.04.27	イサム・ノグチ

米州交流事業費

2. 人物交流事業費 / (5) 知的リーダー交流（派遣） [米州]

日本と諸外国の知的対話の推進と、知的リーダー間のネットワーク構築・強化を推進するため、日本から知的リーダーを海外に派遣し、関係者との意見交換、当該分野での状況視察等の機会を提供する。

合計額 813,627 円

	氏名	現職	対象国	対象機関	時期	事業内容
1	大原 盛樹	日本貿易振興機構アジア経済研究所副主任調査研究員	カナダ	センター・フォー・インターナショナル・ガバナンス・イノベーション (CIGI)	2008.10.23 ~ 2008.10.28	カナダ・ウォータールー市で開催される国際会議「変化する世界秩序における中国」に大原盛樹（アジア経済研究所副主任研究員）をディスカッサントとして派遣

米州交流事業費

3. 催し等事業費 / (1) 知的交流会議 (主催) [米州]

日本と諸外国の相互理解の促進と、より緊密な関係の構築、世界の知的交流の推進を目的とした国際的な知的共同事業 (国際会議、セミナー、ワークショップ等) を開催する。

合計額 3,560,006 円

	事業名	対象国	会場	期間	事業内容
1	米国における日本美術シンポジウム	米国	ニューヨーク・ジャパン・ソサエティ	2009.03.16	ジャパン・ソサエティとの共催により「米国における日本美術；新しい時代のために」と題するシンポジウムを開催。計110名が参加。日本側からは国立新美術館館長、文化庁専門官等が参加。米国からはニューヨーク近代美術館主任キュレーター、フィラデルフィア美術館、ボストン美術館、スミソニアン内フリーア・ギャラリー、サンフランシスコ美術館、ポートランド美術館、ピーボディ美術館、イサム・ノグチ美術館等全米有数の美術館の専門家が出席。

米州交流事業費

3. 催し等事業費 / (2) 知的交流会議 (助成) [米州]

日本と諸外国の相互理解の促進と、より緊密な関係の構築、世界の知的交流の推進を目的とした国際的な知的共同事業（国際会議、セミナー、ワークショップ等）を開催する。

合計額 18,323,376 円

	助成機関	対象国	期間	事業内容
1	サンパウロ・カトリック大学	ブラジル	2008.08.24 ~ 2008.08.27	日本移民百周年を記念するプログラム。日本、メキシコ、米国及び欧州から学者を招へいし、アカデミックなレベルでブラジルにおける日本の宗教の100年史とその過去、現在、未来を分科会方式で検証。
2	リオデジャネイロ連邦大学文学部	ブラジル	2008.08.28 ~ 2008.08.29	日本語・日本文学・日本文化の研究に携わる教師、研究者、学生を対象に実施。最新の知識を得、日本語教授法・日本語学習・日本文学や日本文化についての批判的な分析に関わる最新の概念や潮流についての知識の交換し、斬新な考察や、より専門的な知見を深めるために討論。
3	サンパウロ州立カンピーナス大学倫理学センター	ブラジル	2008.09.05 ~ 2008.09.06	科学は人類に多くの利点をもたらしたが、同時に多くの問題も発生させた。この点に関し、ブラジル、日本、ドイツから学者を招へいし、日本と他国の哲学思想を比較研究。日・ブラジル交流100周年を記念して実施。
4	日伯文化協会	ブラジル	2008.09.24 ~ 2008.09.26	自然環境の価値について、日本、ブラジルを中心に、社会学、経営学、倫理学といった多様な側面において研究者が研究報告を行うことによって、地球規模の環境問題を解決する上で必要な価値観を共有。
5	ブラジリア大学	ブラジル	2008.09.24 ~ 2008.09.26	日本・ブラジル関係をマルチディシプリンの視点から検証する。日本・ブラジル両国間の相互理解とより緊密な関係を促進。
6	源氏物語千年紀委員会	全世界区分困難	2008.11.02 ~ 2008.11.04	源氏物語が宿す日本文化の美と思想を改めて広く分かち合い後世に伝えるために、海外から研究者を招へいして会議を開催。
7	コリマ大学政治社会学部	メキシコ	2008.11.09 ~ 2008.11.13	メキシコ現代社会の中でも重要性を増してきた政策決定プロセスへの市民（主にNGO）参加に関する研究。日本、米国、メキシコの大学が参加。研究者同士が情報交換のために相互利用するwebサイトを構築。

日本研究・知的交流事業に必要な経費

アジア・大洋州交流事業費

1. 日本研究事業費

- (1) 日本研究調査〔アジア・大洋州〕
- (2) 東南アジア元日本留生活動支援
- (3) 北京日本学研究センター派遣（北京外国語大学）
- (4) 北京日本学研究センター派遣（北京大学）
- (5) 北京日本学研究センター招へい（北京外国語大学）
- (6) 北京日本学研究センター招へい（北京大学）
- (7) 北京日本学研究センター研究支援（北京外国語大学）
- (8) 北京日本学研究センター研究支援（北京大学）
- (9) 日本研究機関支援〔アジア・大洋州〕
- (10) 日本研究組織強化支援（助成）〔アジア・大洋州〕

2. 人物交流事業費

- (1) 受託事業（アセアン）
- (2) 日本研究フェローシップ（学者・研究者）〔アジア・大洋州〕
- (3) 日本研究フェローシップ（論文執筆者）〔アジア・大洋州〕
- (4) 日本研究フェローシップ（社会科学院研究生院）
- (5) 日本研究フェローシップ（短期）〔アジア・大洋州〕
- (6) 日本研究フェローシップ（高砂熱学工業）
- (7) 知的リーダー交流（招へい）〔アジア・大洋州〕
- (8) 知的リーダー交流（派遣）〔アジア・大洋州〕
- (9) 知的交流フェローシップ（招へい）〔アジア・大洋州〕

3. 催し等事業費

- (1) 知的交流会議（助成）〔アジア・大洋州〕
- (2) 知的交流会議（企画参画助成）〔アジア・大洋州〕
- (3) 知的交流会議（主催）〔アジア・大洋州〕
- (4) アジア地域研究センター支援（催し等）

4. 文化資料事業費

- (1) 図書寄贈〔アジア・大洋州〕

アジア・大洋州交流事業費

1. 日本研究事業費 / (1) 日本研究調査 [アジア・大洋州]

世界の主要な地域の日本研究機関調査を実施し、日本研究機関と研究者のディレクトリーを作成する。

合計額 8,743,805 円

	事業名	対象国	期間	事業内容
1	中国日本研究調査	中国	2008.04.01 ~ 2009.03.31	中国における日本研究機関・日本研究者の現状を把握するため、アンケート調査を行い、分析を行うとともに、データベースを作成
2	韓国日本研究調査	韓国	2008.04.01 ~ 2009.03.31	韓国における日本研究機関・日本研究者の現状について調査を行い、出版物として刊行

アジア・大洋州交流事業費

1. 日本研究事業費 / (2) 東南アジア元日本留生活動支援

元日本留学生の対日理解促進を目的として、ASEAN諸国の元日本留学生協会9団体に対し、集会施設借料等を助成する。

合計額 15,509,894 円

	事業名	対象国	期間
1	元日本留学生フィリピン連盟 (PHILFEJA)	フィリピン	2008.04.01 ~ 2009.03.31
2	シンガポール元日本大学卒業生協会 (JUGAS)	シンガポール	2008.04.01 ~ 2009.03.31
3	インドネシア元日本留学生協会 (PERSADA)	インドネシア	2008.04.01 ~ 2009.03.31
4	マレーシア元留日学生協会 (JAGAM)	マレーシア	2008.04.01 ~ 2009.03.31
5	東方政策留学生同窓会 (ALEPS)	マレーシア	2008.04.01 ~ 2009.03.31
6	タイ国元日本留学生協会 (OJSAT)	タイ	2008.04.01 ~ 2009.03.31
7	ミャンマー日本留学者協会 (MAJA)	ミャンマー	2008.04.01 ~ 2009.03.31
8	カンボジア元日本留学生同窓会 (JAC)	カンボジア	2008.04.01 ~ 2009.03.31
9	ベトナム元日本留学生会 (JAV)	ベトナム	2008.04.01 ~ 2009.03.31

アジア・大洋州交流事業費

1. 日本研究事業費 / (3) 北京日本学研究センター派遣 (北京外国語大学)

北京外国語大学で実施される現代日本研究講座に対し、専門家、行政官等有識者を派遣する。

合計額 33,398,882 円

	氏名	現職	期間	事業内容
1	小幡 敏行	横浜市立大学国際総合科学部 准教授	2008/04/01 ~ 2009/03/31	日本側主任教授として北京日本学研究センター運営を行うと共に、「日中文化比較」の講義を担当。
2	畔上 和子	北京日本学研究センター 日本側事務主任	2008/04/01 ~ 2009/03/31	日本側主任教授を補佐し、北京日本学研究センター内日本側事務局の運営業務に従事。
3	安藤 宏	東京大学大学院人文社会系研究科 准教授	2008/06/01 ~ 2008/06/14	北京日本学研究センターにおいて、日本文学の集中講義を担当。
4	池田 玲子	東京海洋大学海洋科学部海洋政策 文化学科 教授	2008/09/05 ~ 2008/10/02	北京日本学研究センターにおいて、言語コースの講義・学生指導を担当。
5	篠崎 美生子	恵泉女学園大学人文学部 准教授	2008/09/07 ~ 2008/10/01	北京日本学研究センターにおいて、文学コースの講義・学生指導を担当。
6	馬場 芳	鳥取大学地域学部 講師	2008/10/05 ~ 2008/11/23	北京日本学研究センターにおいて、社会コースの講義・学生指導を担当。
7	小峯 和明	立教大学文学部 教授	2008/10/06 ~ 2008/11/05	北京日本学研究センターにおいて、文学コースの講義・学生指導を担当。
8	青木 直子	大阪大学大学院文学研究科 教授	2008/12/08 ~ 2008/12/31	北京日本学研究センターにおいて、言語コースの講義・学生指導を担当。
9	細川 英雄	早稲田大学大学院日本語教育研究 科 教授	2009/02/28 ~ 2009/03/20	北京日本学研究センターにおいて、言語教育学コースの講義・学生指導を担当。
10	佐藤 道生	慶應義塾大学文学部 教授	2009/03/11 ~ 2009/04/09	北京日本学研究センターにおいて、文学コースの講義・学生指導を担当。
11	田野村 忠温	大阪大学大学院文学研究科 教授	2009/03/23 ~ 2009/04/21	北京日本学研究センターにおいて、言語コースの講義・学生指導を担当。

アジア・大洋州交流事業費

1. 日本研究事業費 / (4) 北京日本学研究中心派遣 (北京大学)

北京大学で実施される現代日本研究講座に対し、専門家、行政官等有識者を派遣する。

合計額 4,063,599 円

	氏名	現職	期間	事業内容
1	樋原 伸彦	立命館大学経営学部 准教授	2008.04.06 ~ 2008.04.09	「金融制度」の講義
2	中谷 吉彦	立命館大学COE推進機構 教授	2008.04.13 ~ 2008.04.16	「松下の技術戦略」の講義
3	角南 篤	政策研究大学院大学 准教授	2008.04.20 ~ 2008.04.23	「環境と科学技術」の講義
4	角南 篤	政策研究大学院大学 准教授	2008.09.01 ~ 2009.08.31	日本側主任教授として現代日本研究センター運営等を行う。
5	添谷 芳秀	慶應義塾大学法学部 教授	2008.11.09 ~ 2009.11.11	日本のアジア外交と安全保障 (博士第4期) の講義
6	石 弘之	東京農業大学生物産業学部 教授	2008.11.12 ~ 2009.11.15	日本における環境問題の経験 (博士第4期) の講義
7	原 洋之介	政策研究大学院大学 教授	2008.11.24 ~ 2009.11.27	日本における農業発展と農業経済学の歩み (博士第4期) の講義
8	吉野 直行	慶應義塾大学経済学部 教授	2008.12.09 ~ 2008.12.12	金融論 (博士第4期) の講義
9	堀江 正弘	政策研究大学院大学 教授	2009.03.16 ~ 2009.03.19	「国・地方関係と地方自治」 (博士第4期) の講義
10	永野 博	政策研究大学院大学 教授	2009.03.22 ~ 2009.03.25	科学技術政策 (博士第4期) の講義

アジア・大洋州交流事業費

1. 日本研究事業費 / (5) 北京日本学研究中心招へい (北京外国語大学)

北京外国語大学で実施される北京日本学研究中心事業に関し、日本研究者の招へいを行う。

合計額 38,520,630 円

	事業名	氏名	現職	参加人数	受入機関	期間	事業内容
1	07年度現地博士フェロー	白 暁光	北京日本学研究中心 博士課程	1	独立行政法人国立国語研究所 日本語教育基盤情報センター	2007.04.08 ~ 2008.04.07	北京日本学研究中心博士課程の学生に対して、博士論文執筆のための訪日研究フェローシップを供与。
2	07年度選任スタッフフェロー	施 建軍	北京日本学研究中心 教授	1		2008.02.12 ~ 2008.06.11	北京日本学研究中心専任スタッフに対し、研究能力向上のため日本での研修を行う。
3	修士第22期生訪日研究	修士課程学生	北京日本学研究中心 修士課程第22期生	23		2008.03.27 ~ 2008.07.31	北京日本学研究中心修士課程の学生に対し、論文草稿作成・資料収集のための訪日研究を実施。23名が個別に日本の大学・研究機関等に在籍。
4	08年度現地博士フェロー	李 珍	北京日本学研究中心 博士課程	1	大阪大学大学院 文学研究科	2008.04.01 ~ 2009.03.31	北京日本学研究中心博士課程の学生に対して、博士論文執筆のための訪日研究フェローシップを供与。
5	08年度現地博士フェロー	梁 爽	北京日本学研究中心 博士課程	1	創価大学	2008.04.01 ~ 2009.03.31	北京日本学研究中心博士課程の学生に対して、博士論文執筆のための訪日研究フェローシップを供与。
6	修士第23期生訪日研究	修士課程学生	北京日本学研究中心 修士課程第23期生	20		2009.03.30 ~ 2009.08.04	北京日本学研究中心修士課程の学生に対し、論文草稿作成・資料収集のための訪日研究を実施。20名が個別に日本の大学・研究機関等に在籍。

アジア・大洋州交流事業費

1. 日本研究事業費 / (6) 北京日本学研究中心招へい (北京大学)

北京大学で実施される北京日本学研究中心事業に関し、日本研究者の招へいを行う。

合計額 11,107,293 円

	事業名	参加人数	期間	事業内容
1	博士第3期生訪日研修	24	2008.05.14 ~ 2009.05.28	北京大学現代日本研究センターの講座受講生（第3期博士課程20名、その他随行4名）に対して、北京で受けた講義の定着を目的に訪日研修を実施。
2	博士第4期生訪日研修（招へい準備）	24	2008.04.01 ~ 2009.03.31	北京大学現代日本研究センターの講座受講生（第4期博士課程20名、その他随行4名）に対して、北京で受けた講義の定着を目的に実施する訪日研修の準備。

アジア・大洋州交流事業費

1. 日本研究事業費 / (7) 北京日本学研究中心研究支援 (北京外国語大学)

北京外国語大学北京日本学研究中心の日本研究者育成を支援する。

合計額 18,140,066 円

	事業名	期間	事業内容
1	現地経費 (教育・研究)	2008.04.01 ~ 2009.03.31	北京日本学研究中心が発行する紀要「日本学研究」ほか日本研究図書出版、研究プロジェクト及び同センター教授による地方講演にかかる経費等の支援。
2	教材等購送	2008.04.01 ~ 2009.03.31	北京日本学研究中心に対し講義用教材、図書館資料を購送。
3	文献複写	2008.04.01 ~ 2009.03.31	北京日本学研究中心図書資料館が日本国内の図書館に対して文献複写依頼を行う経費を支援。
4	図書館システム	2008.11.26 ~ 2009.03.31	北京日本学研究中心図書資料館で使用中の図書館情報システム・ソフトウェアの移設および保守管理に係る経費の支援。

1. 日本研究事業費 / (8) 北京日本学研究中心研究支援 (北京大学)

北京大学北京日本学研究中心の日本研究者育成を支援する。

合計額 352,420 円

	事業名	期間	事業内容
1	教材等購送	2008.04.01 ~ 2009.03.31	北京大学現代日本研究センターに対して講義用教材、図書館資料を購送。

アジア・大洋州交流事業費

1. 日本研究事業費 / (9) 日本研究機関支援 [アジア・大洋州]

各国において日本研究の中核的役割を担うべき単一・少数の機関に対し、日本研究事業の拡充・発展に必要な様々な支援を、包括的、集中的且つ中長期的に行い、当該国の日本研究基盤となる拠点機関の整備を進める。

合計額 73,784,450 円

	機関	対象国	期間	事業内容
1	ソウル大学校	韓国	2008.04.01 ~ 2009.03.31	ソウル大学校日本研究所が実施する日本専門家によるセミナー開催、訪日研修(学部生)、訪日資料調査(大学院生)、図書拡充の4事業に対して支援
2	高麗大学校	韓国	2008.04.01 ~ 2009.03.31	高麗大学校日本研究センターに対し、人文科学系の図書を寄贈
3	全南大学校	韓国	2008.04.01 ~ 2009.03.31	全南大学校日本文化研究センターが実施する国際学術シンポジウム「韓国人は日本をどうみてきたか」の開催経費支援と、研究図書の寄贈
4	東北師範大学	中国	2008.04.01 ~ 2009.03.31	東北師範大学日本研究所が実施する客員教員(日本及び中国)による集中講義、学術書出版、定期学術誌「日本学論壇」の刊行、大学院生訪日調査などを支援
5	南開大学	中国	2008.04.01 ~ 2009.03.31	南開大学日本研究院が実施する客員教員による集中講義、大学院生訪日調査などを支援
6	浙江工商大学	中国	2008.04.01 ~ 2009.03.31	浙江工商大学日本文化研究所が実施する国際会議「東アジア文化交流—人物往来の研究」、調査事業「四庫全書(集部)における日本史料」の収集と整理、大学教員研修、学術書出版を支援するとともに、研究図書を寄贈
7	遼寧大学	中国	2008.04.01 ~ 2009.03.31	遼寧大学日本研究所に対し研究図書を寄贈。また同研究所が所蔵する日本研究関係資料(古文書)の修復経費を支援
8	復旦大学	中国	2008.04.01 ~ 2009.03.31	復旦大学日本研究センターが実施する国際会議「直接投資・技術移転と地域協力」、学術書出版などを支援するとともに、研究図書を寄贈
9	四川外語学院	中国	2008.04.01 ~ 2009.03.31	四川外語学院が実施する国際会議「詩人黄瀛と多文化間アイデンティティ」の開催を支援するとともに、研究図書を寄贈
10	南開大学(評価)	中国	2008.04.01 ~ 2009.03.31	2005(平成17)年度~2007(平成19)年度の3カ年の国際交流基金支援事業について、外部の専門家を派遣し評価を実施

アジア・大洋州交流事業費

	機関	対象国	期間	事業内容
11	社会科学院研究生院	中国	2008.04.01 ~ 2009.03.31	社会科学院研究生院の日本研究関連博士論文集「日本問題研究博士論叢」の出版助成。
12	モンゴル国立大学	モンゴル	2008.04.01 ~ 2009.03.31	モンゴル国立大学が日本の研究者と共同実施する「日本語言語及び歴史・文化・経済・政治リンクの総合研究」を支援するとともに研究図書を寄贈
13	インドネシア大学（大学院日本地域研究科）	インドネシア	2008.04.01 ~ 2009.03.31	インドネシア大学大学院日本地域研究科の修士・博士課程運営経費の支援と、客員教授2名の派遣を実施
14	インドネシア大学（日本研究センター）	インドネシア	2008.04.01 ~ 2009.03.31	インドネシア大学日本研究センターが実施する国際シンポジウム「日本に学ぶ：インドネシアの都市交通の新しい可能性を求めて」の開催支援
15	タマサート大学（大学院日本研究科）	タイ	2008.04.01 ~ 2009.03.31	タマサート大学大学院日本研究科に対し、客員教員の謝金助成、大学院生訪日研修への支援、研究図書の寄贈を実施
16	タマサート大学（東アジア研究所）	タイ	2008.04.01 ~ 2009.03.31	タマサート大学東アジア研究所による日本研究ジャーナル（紀要）の発行支援
17	チュラロンコン大学	タイ	2008.04.01 ~ 2009.03.31	チュラロンコン大学文学部東洋言語学科（日本語学・日本文学専攻修士課程）に対し、大学院生訪日研修実施を支援するとともに、客員教授を派遣
18	アテネオ・デ・マニラ大学	フィリピン	2008.04.01 ~ 2009.03.31	アテネオ・デ・マニラ大学（社会科学部日本研究プログラム）が実施する国際会議「アジアにおける紛争の表象と歴史の創造」の開催支援及び研究図書の寄贈
19	フィリピン大学アジアセンター	フィリピン	2008.04.01 ~ 2009.03.31	フィリピン大学アジアセンターが実施する国際会議「世界と東アジアにおける日比外交」への開催支援と研究図書の寄贈
20	ハノイ国家大学人文社会科学大学	ベトナム	2008.04.01 ~ 2009.03.31	ハノイ国家大学人文社会科学大学（東洋学部日本学科）が実施する日本学集中講座の実施支援
21	貿易大学	ベトナム	2008.04.01 ~ 2009.03.31	貿易大学（ハノイ校）に対し客員教授を派遣
22	マラヤ大学	マレーシア	2008.04.01 ~ 2009.03.31	マラヤ大学（人文社会科学部東アジア研究学科）が実施する調査研究事業2件を支援
23	ジャワハルラル・ネルー大学	インド	2008.04.01 ~ 2009.03.31	ジャワハルラル・ネルー大学（日本・韓国・東アジア研究科）が実施する教員セミナー「インドの日本語教育における文字テキストの役割」開催支援、客員教授の派遣、研究図書の寄贈を実施

アジア・大洋州交流事業費

	機関	対象国	期間	事業内容
24	デリー大学	インド	2008.04.01 ～ 2009.03.31	デリー大学（東アジア研究科）に対し客員教授の派遣、研究図書の寄贈を実施
25	オーストラリア国立大学	オーストラリア	2008.04.01 ～ 2009.03.31	博士課程学生及び若手研究者向けの集中研修事業への支援

アジア・大洋州交流事業費

1. 日本研究事業費 / (10) 日本研究組織強化支援 (助成) [アジア・大洋州]

国境・学問分野を越えた日本研究者・研究機関間の連携、相互協力を推し進めるべく、学会の横断的な組織化を支援する。

合計額 10,595,660 円

	機関	対象国	期間	事業内容
1	大韓日語日文学会	韓国	2008.04.01 ~ 2009.03.31	韓国の5つの日本研究関連学会の上部組織である韓国日本学連合会の定期学会。2008年7月10～12日に、釜山外国語大学において「日本学における日本語教育学の位置」というテーマで実施
2	インドネシア日本研究学会	インドネシア	2008.11.01 ~ 2008.11.02	インドネシアと日本の学術協力、日本と世界等4つのテーマで実施した日本研究国際シンポジウム。 日・インドネシア国交樹立50周年記念行事実行委員会が主催した合同学術シンポジウムのうち「人文社会・政治学における日本研究」のセッションという位置づけで実施
3	タイ日本研究ネットワーク	タイ	2008.04.01 ~ 2009.03.31	タイ全土から選抜された日本研究者による研究発表会、翌年度年次学会の準備、WEBサイト・ディレクトリーの更新を実施
4	ハノイ国家大学人文社会科学大学	ベトナム	2008.04.01 ~ 2009.03.31	ベトナム国内の日本研究者が一堂に会し、ベトナムにおけるこれまでの日本研究の成果と課題について共有・討議し、今後の日本研究の発展のための方向性や取り組みを展望する会議を実施
5	香港大学日本研究科	中国	2008.04.01 ~ 2009.03.31	日本語教育及び日本研究関連のコースが開講されている香港の大学関係者のネットワークである香港日本語教育研究会の研究大会を実施

アジア・大洋州交流事業費

2. 人物交流事業費 / (1) 受託事業 (アセアン)

国際交流基金の業務趣旨に合致する日本研究・知的交流分野の事業を外部から受託し実施する。

合計額 83,190,566 円

	事業名	氏名	現職	対象国	受入機関	期間	事業内容
1	JENESYS 東アジア大学院生日本研究特別招へいプログラム	YUEN, Shu Min	シンガポール国立大学日本研究学科 助手	シンガポール	東京大学大学院総合文化研究科	2008.05.02 ~ 2008.08.08	「21世紀東アジア青少年大交流計画 (JENESYS Programme)」の一環として実施。アジア・大洋州地域で日本研究 (東アジア研究を含む) を専攻中の、今後の活躍が期待される大学院生に対し、1~3カ月間にわたり日本の大学院・研究機関等で研究・調査活動を行う機会を提供。
PURNOMO, Rowsalind		シンガポール国立大学日本研究学科 修士課程	シンガポール	日本女子大学	2008.05.11 ~ 2008.08.08		
BENNETT, Alexander Campbell		カンタベリー大学現代言語学部 博士課程	ニュージーランド	国士舘大学	2008.05.28 ~ 2008.08.27		
NEW NI AYE		ヤンゴン大学 歴史学部 講師	ミャンマー	岡山大学アジア歴史学部	2008.06.09 ~ 2009.09.09		
PHAM, Hoang Hung		ハノイ国家社会科学・人文科学大学東洋学部日本研究学科 教員	ベトナム	早稲田大学文学芸術院	2008.06.15 ~ 2008.09.11		
POBSAMAI, Natthapong		チュラロンコン大学経済学部 大学院生	タイ	大阪大学経済学研究科	2008.06.15 ~ 2008.09.14		
HJ. SAIM, Salwah		シティーバンク銀行国際金融部門マネージャー	ブルネイ		2008.06.17 ~ 2008.07.20		
WHITNEY, Justin Robert		オーストラリア国立大学アジア太平洋研究学部 日本センター 博士課程	オーストラリア	早稲田大学 国際教養学部	2008.07.01 ~ 2008.08.29		
SANI, Audriane Ferdiani		インドネシア大学大学院社会学専攻 大学院生	インドネシア	早稲田大学大学院 アジア太平洋研究科	2008.07.05 ~ 2008.09.05		
MAHER, Sasha		オークランド大学経営・国際ビジネス学科	ニュージーランド	上智大学	2008.07.21 ~ 2008.09.20		
AUNGTRAKUL, Atchara		ナレースワン大学人文学部日本語学科 講師	タイ	国際交流基金 日本語国際センター	2008.07.27 ~ 2008.09.10		
LIEW, Nyin Tet	Chong Hwa高校 教員	マレーシア		2008.07.28 ~ 2008.10.25			
TAN, Swee Ean	マレーシア科学大学地理学部 人文学科 助手	マレーシア		2008.07.29 ~ 2008.10.28			

アジア・大洋州交流事業費

	事業名	氏名	現職	対象国	受入機関	期間	事業内容
		DANG, Thi Hoai	ホーチミン市教育大学 講師	ベトナム	早稲田大学大学院アジア太平洋研究科	2008.07.30 ~ 2008.10.28	
		KAUSHIKI, Nishtha	ジャワハルラル・ネルー大学 日本研究学科 東アジア研究センター 研究生	インド	法政大学大学院環境マネジメント研究科	2008.07.30 ~ 2009.10.29	
		DUGAY, Mary Christine Pesigan	デ・ラ・サール大学国際研究学 科 修士課程	フィリピン		2008/07/31 ~ 2008.10.30	
		Ocaya, Raissa Faye Ozaraga	フィリピン大学 社会科学・哲学 部社会科学 修士課程	フィリピン		2008/07/31 ~ 2008.10.30	
		ENVERGA, Hansen Manuel Constantino Iwan Setiya Budi	デ・ラ・サール大学国際研究学 科 修士課程 ディアン・ヌスワントロ大学文学部日本語学科 講師	フィリピン インドネシア	早稲田大学大学院日本語教育研究科 上越教育大学	2008.07.31 ~ 2008.10.30 2008.07.31 ~ 2008.10.31	
		BOUNLAVONG Sengsadon	ラオス国立大学 経済・経営学部 講師	ラオス	広島大学	2008.07.31 ~ 2008.10.31	
2	JENESYS 次世代リーダー招へいプログラムグループA	YU, Xiaomin SENG, Hun WIDAYANI, Ida EDMUND, Ng Hoi Pin KETUNUTI, Vipunjit FONBUENA, Carmela MUSDI, Zasika	北京師範大学 講師 名古屋大学大学院法学研究科 博士課程 インドネシア経営者連盟地域エンパワーメント・国際関係課 課長 シンガポール全国労働組合評議会 建築・林業組合シニア産業担当オフィサー 国際移住機関プログラム・マネージャー ニューズ・ブレイク誌 記者 Borneo Bulletin 新聞社 記者	中国 日本 インドネシア シンガポール タイ フィリピン ブルネイ		2008.07.17 ~ 2008.07.27	「21世紀東アジア青少年大交流計画 (JENESYS Programme)」の一環として実施。東アジアコミュニティの異なる国々の若者が一堂に会し、寝食を共にしながら文化的背景などの差異を乗り越えて、地域に共通の課題について話し合い、思索する訪日研修を実施し、その成果をグループ発表。グループAのテーマは「アジア大洋州地域におけるヒトの移動～送出国―受入国及び当事者自身の利益を目指して」。

アジア・大洋州交流事業費

	事業名	氏名	現職	対象国	受入機関	期間	事業内容
		HUNG, Nguyen Trung	労働社会研究所 研究員	ベトナム			
		MALIAMAUV, Katrina Jorene	TENAGANITAプログラムオフィサー	マレーシア			
		WIN, Khin Thida	ミャンマー連邦 商工会議所連合 スタッフ・オフィサー	ミャンマー			
		THAMMAVONG, Douangsy	労働社会福祉省 国際協力課 課長補佐	ラオス			
		AHMED, Kazimuddin	Panos South Asia アシスタント・プログラムマネージャー	インド			
		DALEY, Peter	オーストラリア 政府移民局政策プロジェクト課 戦略政策グループ	オーストラリア			
		PARASNIS, Jaai	アシスタント・ディレクター モナシユ大学 講師	オーストラリア			
		WILLIAMS, Emma Joy	RSVPプロダクションズ 研究員兼ディレクター	ニュージーランド			
3	JENESYS 次世代リーダー招へいプログラム グループB	LIN, Lan	上海社会科学院 都市化研究センター リサーチ・フェロー	中国		2008.07.29 ~ 2008.08.07	「21世紀東アジア青少年大交流計画 (JENESYS Programme)」の一環として実施。東アジアコミュニティの異なる国々の若者が一堂に会し、寝食を共にしながら文化的背景などの差異を乗り越えて、地域に共通の課題について話し合い、思索する訪日研修を実施し、その成果をグループ発表。 グループBのテーマは「文化によるまちづくり：クリエイティブ・シティの可能性」。
		KEO, Sar	Chief of Cadastral Office Affair, Cadastral Office Affair, Siem Reap Provincial Hall	カンボジア			

アジア・大洋州交流事業費

事業名	氏名	現職	対象国	受入機関	期間	事業内容
	KLINKAJORN, Karin	King Mongkut's Institute of Technology Ladkrabang (KMITL), Department of Urban and Regional Planning 講師	タイ			
	ZAPANTA-BATATE, Maria Silvana	Secretary, Neo-Angono Artists Collective	フィリピン			
	IDRIS, Zul' Amali	Arkitek Idris シニアアーキテクト	ブルネイ			
	VO, Dang Phong	Chief of Relics Restoration Division, Hoi An Center for Monuments Management and Preservation	ベトナム			
	PANG, Khee Teik	The Annexe, Central Market アーツプログラムディレクター	マレーシア			
	Than Htike Oo	Myanmar Consolidated Media 記者	ミャンマー			
	PHETSIENGDA, Saysana	Housing and Town Planning Division, Department of Public Works and Transport, Vientiane Capital アカデミック・オフィサー	ラオス			
	AMUJURE, Vijaya	INTACH (Indian National Trust for Art and Cultural Heritage) 文化保存建築家	インド			

アジア・大洋州交流事業費

	事業名	氏名	現職	対象国	受入機関	期間	事業内容
		COTTER, Leanne	Green Room & Student Tix Coordinator, Adelaide Festival Centre, South Australia	オーストラリア			
		KIM, Jang Un	光州ビエンナーレ2008キュレーター	韓国			
		LEE, Young Mi	The Hope Instituteフェロー	韓国			
		NELSON, Sarah Margaret	New Zealand Planning Institute 政策アドバイザー	ニュージーランド			
4	JENESYS 次世代リーダー招へいプログラムグループC	KIM, Seonyeong	失業克服国民財団青年事業チーム 職員	韓国		2008. 12. 09 ~ 2008. 12. 19	「21世紀東アジア青少年大交流計画 (JENESYS Programme)」の一環として実施。東アジアコミュニティの異なる国々の若者が一堂に会し、寝食を共にしながら文化的背景などの差異を乗り越えて、地域に共通の課題について話し合い、思索する訪日研修を実施し、その成果をグループ発表。グループCのテーマは「社会包摂的アプローチにおける貧困の克服～グローバル経済におけるアジア・大洋州地域の現状」。
		LI, Jing	北京師範大学社会開発公共政策学部 戦略企画アドバイザー	中国			
		SHOBIRIN, Ahmad M. Si	インドネシア社会省企画部NGO協力課長	インドネシア			
		WISBEN, Arde	ソーシャル・ワーカー・プラクティス・リソース・センター ソーシャルワーカー	インドネシア			
		CHHUN, Chhim	カンボジア開発資源研究所リサーチアシスタント	カンボジア			
		ALI, Norhayati Binte Mohammad	ムンダキ財団プログラム・マネージャー	シンガポール			
		LUANSANG, Chawanad	オープンスペース・コミュニティー・アーキテクト主宰	タイ			
		CRUZ, Mark Lawrence B.	Gawad Kalinga ナショナル・コーディネーター	フィリピン			

アジア・大洋州交流事業費

	事業名	氏名	現職	対象国	受入機関	期間	事業内容
		GANI, Sandra Puliran RSW	CFSIシニア・コミュニティ・ オーガナイザー	フィリピン			
		AMIT, Haji Mohammad Sofian	文化・青年・ス ポーツ省青年・ スポーツ局職員	ブルネイ			
		Bin Haji DANG, Huong, Giang	アクション・ フォー・ザ・シ ティ 代表	ベトナム			
		KOYA, Latheefa Beebi	Messrs Daim & Gamacy法律事務 所 弁護士	マレーシア			
		LAI, Wan Teng	マレーシア科学 大学女性開発研 究センター講師	マレーシア			
		HTET, Myo Tha	7 Day News Journal紙 副編集長	ミャンマー			
		VANXAY, Souvannamethy	ラオス社会保険 機構 次長	ラオス			
		SINHA, Minati	インド・リハビリ テーション協議 会 研究員	インド			
		ALY, Waleed	モナシュ大学 政治社会学科 講師	オーストラリア			
		DE VRIES, Alaina Jay	家族・住宅・コ ミュニティサー ビス・先住民省 課長	オーストラリア			
		STARRENBURG, Caleb	ジャーナリスト	ニュージーラン ド			
5	JENESYS 次世代 リーダー招へい プログラム グループD	JEONG, Narae LI, Jing PATUNRU, Arianto A.	韓国環境運動連 合コーディネー ター China Daily記者 Institute for Economic and Social Change アソシエート ディレクター	韓国 中国 インドネシア		2009. 03. 03 ~ 2009. 03. 14	「21世紀東アジア青少年大交流計画 (JENESYS Programme)」の一環として 実施。東アジアコミュニティの異なる 国々の若者が一堂に会し、寝食を共に しながら文化的背景などの差異を乗り 越えて、地域に共通の課題について話 し合い、思索する訪日研修を実施し、 その成果をグループ発表。 グループDのテーマは「《生物多様

アジア・大洋州交流事業費

事業名	氏名	現職	対象国	受入機関	期間	事業内容
	CHANN, Rithy	Quality Engineer, Pasteur Institute of Cambodia	カンボジア			性》を通じた環境保全ー持続可能な発展を目指して」。
	JEREMY, Ang Eng Hu	National Park Board, Conservation Officer	シンガポール			
	SUKPONG, Petchrung	International Unions for Conservation of Nature プロジェクトオフィサー	タイ			
	OLIVEROS, Vincent John D.	Palawan Conservation Corps 修復コーディネーター	フィリピン			
	ZAINAL, Norkhatijah Binti Haji	University of Brunei Darussalam 修士課程学生	ブルネイ			
	QUAN, Chu Ngoc	農業地方開発省 森林保護部職員	ベトナム			
	UDIN, Saidal	KOPEL Bhd. アシスタントマネージャー	マレーシア			
	HEIN, Haymar	Ministry of Agriculture and Irrigation 副プログラムオフィサー	ミャンマー			
	BOUAHOM, Bounthanom	National Agricultural and Forestry Research Institute 天然資源調査ユニット長	ラオス			
	NAYAK, Bibhu Prasad	Institute for Social and Economic Change 助教授	インド			
	BURTON, Tegan	Department of Environment and Climate Change, NSW 公園保護官	オーストラリア			

アジア・大洋州交流事業費

	事業名	氏名	現職	対象国	受入機関	期間	事業内容
		KEATING, Rebecca Marney	Department of Sustainability and Environment, Victoria 水中 生物多様性プロ ジェクトオフィ サー	オーストラリア			
		FULLER, Rebekah J. M.	ハワイ大学マノ ア校植物学部 Ph. D candidate	ニュージーラン ド			
6	JENESYS 次世代 リーダー招へい プログラム第1 回(報告書)					2008. 04. 01 ~ 2009. 03. 31	2007年12月に実施したJENESYS次世代 リーダー招へいプログラム第1回目 (テーマ「東アジアの異なる文化・社 会・宗教間対話」)の報告書作成・配 布及び増刷。同プログラムは「21世紀 東アジア青少年大交流計画 (JENESYS Programme)」の一環。

アジア・大洋州交流事業費

2. 人物交流事業費 / (2) 日本研究フェローシップ (学者・研究者) [アジア・大洋州]

諸外国の優れた日本研究者に日本で研究・調査活動を行う機会を提供する。

合計額 96,754,917 円

	氏名	現職	対象国	受入機関	期間	研究テーマ
1	YAP, Yuet Ngor	翻訳家	マレーシア	東京大学大学院 人文社会系研究 科・文学部	2007.05.26 ~ 2008.05.25	村上春樹のマレーシア、シンガポールにおける受容に関する研究
2	PHAR, Kim Beng	ダマンサラウタ マ・カレッジ 上級専任講師	マレーシア	早稲田大学アジ ア太平洋研究科	2007.05.31 ~ 2008.05.30	日本と中国におけるソフトパワーの形態と要素の分析的 解釈
3	KYAW, Daw Mi Mi	SEAMEO-CHAT リサーチ・フェ ロー	ミャンマー	千葉大学文学部	2007.06.09 ~ 2008.06.08	第二次世界大戦中における日本・ミャンマー関係
4	CHEN, Yuping	中国国家労働与 社会保障部国際 劳工研究所 副主任	中国	独立行政法人 労働政策研究・ 研修機構	2007.08.01 ~ 2008.04.30	日本の労働紛争解決システム
5	SONG, Zaixin	四川大学外国語 学院日本語科 教授	中国	東京大学大学院 人文社会系研究 科	2007.08.01 ~ 2008.05.31	日本古代文化特質の形成の研究—古代和歌における四季 と恋との関係を中心に
6	TEEHANKEE, Julio Cabral	デ・ラ・サール 大学政治学部 学部長	フィリピン	東京大学大学院 法学政治学研究 科	2007.08.15 ~ 2008.06.14	憲法における継続性と変容 日比比較研究
7	WU, Haihang	北京師範大学法 学院 助教授	中国	首都大学東京 都市教養学部	2007.08.20 ~ 2008.08.19	東京都・北京市における少年犯罪の予防対策の比較研究
8	CHOI, Wan Kyu	慶南大学校北韓 大学院大学校 大学院長/教授	韓国	慶応義塾大学法 学部	2007.09.01 ~ 2008.06.30	北朝鮮の体制変換に対する韓国と日本の研究動向の比較 分析
9	LEE, Geun	ソウル大学校外 交学科 准教授	韓国	政策研究大学院 大学	2007.09.20 ~ 2008.07.19	ソフトパワーの理論化：日本の場合
10	SETISARN, Chomna rd	チュラーロン コーン大学文学 部東洋言語学科 日本語講座 助教授	タイ	国立民族学博物 館民族社会研究 部	2007.09.29 ~ 2008.09.28	日本の家畜をめぐる民族と信仰

アジア・大洋州交流事業費

	氏名	現職	対象国	受入機関	期間	研究テーマ
11	NGUYEN, Minh Van	ベトナム社会科学 学院人類学院	ベトナム	東京大学東洋文 化研究所	2007. 10. 02 ～ 2008. 10. 01	伝統的宗教振興からキリスト教及び新興宗教への変遷と その社会文化生活への影響—1945年～2006年における日 本・ベトナム間の比較研究
12	HARTLEY, Barbara Toni	タスマニア大学 アジア言語・研 究学部	オーストラリア	北海道大学大学 院文学研究科	2007. 11. 01 ～ 2008. 07. 06	武田泰淳の文学：20世紀の日本における自己、他者そし て国家
13	XU, Jinlong	中国社会科学院 外国文学研究所 教授	中国	東京大学大学院 人文社会系研究 科	2007. 11. 17 ～ 2008. 09. 16	大江健三郎評伝
14	OKAYAMA, Emiko	シドニー大学日 本韓国文化研究 学科 博士課 程・非常勤講師	オーストラリア	名古屋大学大学 院国際開発研究 科	2007. 11. 29 ～ 2008. 05. 28	日本の芸術・文学・E-メディアにおけるテキストと イメージの関係
15	JEON, Jinho	光云大学日本学 科教授	韓国	防衛省防衛研究 所	2007. 12. 01 ～ 2008. 09. 30	21世紀の日米同盟と米韓同盟
16	LIU, Ping	中国社会科学院 文学研究所研究 員（教授）	中国	摂南大学外国語 学部	2007. 12. 15 ～ 2008. 10. 14	中国話劇に対する日本現代演劇の影響および日中文化 交流
17	JANG, In-Sung	ソウル大学校外 交学科教授	韓国	東京大学大学院 法学政治学研究 科	2007. 12. 16 ～ 2008. 08. 27	戦後日本の国際政治思想にみる普遍性と特殊性—理想 主義-現実主義論争を中心に
18	CHO, Yong Rea	国民日報論説委 員	韓国	慶應義塾大学商 学部	2008. 03. 01 ～ 2008. 12. 31	高齢人力活用政策の韓日比較：日本の経験の韓国への 適用可能性
19	MEHDI, Syed Sikander	カラチ大学国際 関係学科教授	パキスタン	立命館大学国際 平和ミュージア ム	2008. 03. 02 ～ 2009. 01. 01	パキスタンにおける平和記念館の設立—日本の平和記念 館との関連性について
20	LIM, Kim Hui	マレーシア国民 大学リサーチ フェロー	マレーシア	上智大学	2008. 03. 27 ～ 2009. 03. 26	日本とマレーシアの文化的規範に関する言説の比較 研究：日本人論とマレー人の精神性
21	YUN, Hyekyung	慶尙大学嬰幼兒 保育科 助教授	韓国	東京学芸大学	2008. 05. 10 ～ 2009. 03. 09	少子化社会において日本と韓国の保育政策の比較—子育 てを支援する新しいシステムの提案
22	BARKE, Andrew John	ヴィクトリア大 学ウェリントン 校アジア欧州言 語文化学部上級 講師	ニュージーラン ド	東京外国語大学 留学生日本語教 育センター	2008. 05. 12 ～ 2009. 01. 10	日本語会話における丁寧表現と非丁寧表現

アジア・大洋州交流事業費

	氏名	現職	対象国	受入機関	期間	研究テーマ
23	SUBANDI	国立スラバヤ大学言語芸術学部日本語学科日本語講師	インドネシア	名古屋大学大学院文学研究科	2008.06.08 ～ 2009.04.07	日本語の女性語に対する日本社会の評価
24	CHEN, Xiuwu	東北師範大学日本研究所助教授	中国	一橋大学社会学部	2008.06.08 ～ 2009.06.07	坂本龍馬の国家意識について
25	ATHAMBAWA, Azeez Abdul	コロンボ大学経営学部 上級講師	スリランカ	早稲田大学	2008.06.23 ～ 2009.04.22	スリランカにおける日本の外国直接投資：アメリカと日本の外国直接投資の影響の比較
26	SEONG, Seunghyeon	全南大学校法科大学教授	韓国	京都大学大学院法学研究科	2008.07.01 ～ 2009.01.31	積極的契約侵害論と債務不履行類型論に関する比較法史的再検討
27	LEE, Eugene	淑明女子大学校政治外交学科教授	韓国	慶応義塾大学法学部	2008.07.07 ～ 2009.03.06	移住外国人社会統合韓日比較研究：多文化社会の可能性
28	WOLFF, Leon Thomas	ニューサウスウェールズ大学准教授	オーストラリア	立命館大学	2008.07.21 ～ 2009.03.20	法的観点から見た終身雇用制度の変化の見通し
29	LAWANDA, Ike Iswary	インドネシア大学人文学部情報・図書館学科講師	インドネシア	東北大学大学院文学研究科	2008.08.01 ～ 2008.09.30	グローバリゼーション時代における日本企業の創業者崇拜：企業文化の象徴としての創業者信仰
30	ZHOU, Yongsheng	外交学院大学国際関係研究所教授	中国	政策研究大学院大学	2008.08.05 ～ 2009.06.04	日本のソフトパワーに関する研究
31	TRINIDAD, Dennis D.	デ・ラ・サール大学国際関係学部准教授	フィリピン	立命館アジア太平洋大学	2008.09.01 ～ 2009.06.29	日本と東南アジアの統合
32	KIM, Jung-rye	全南大学校人文学部日語日文学科 教授	韓国	京都大学大学院人間・環境学研究科	2008.10.01 ～ 2009.05.30	韓・日定型詩歌における「笑い」の研究
33	ATSUTI, Meta Sekar Puji	ハサヌディン大学日本文化研究所 日本語講師	インドネシア	慶應義塾大学経済学部	2008.10.09 ～ 2009.03.10	1942年以前における日本・蘭領東インド（インドネシア）関係

アジア・大洋州交流事業費

	氏名	現職	対象国	受入機関	期間	研究テーマ
34	TECHAKANONT, Kriengkrai	タマサート大学 経済学部 助教授	タイ	広島大学	2008.10.27 ~ 2009.05.26	タイ自動車産業の製造技術発展に果たす日本企業の役割
35	SUN, Jing	デンバー大学政治学部 助教授	中国	早稲田大学国際教養学部	2008.11.24 ~ 2009.04.15	魅力の競り合う一国際競争における中国と日本の新しい対策
36	PARK, Young-goo	釜山外国語大学 校商経大学経済学科教授	韓国	拓殖大学	2009.01.07 ~ 2009.11.06	日本と韓国の重化学工業化比較研究
37	STAVROS, Matthew	シドニー大学日本研究学科 助教授	オーストラリア	東京大学史料編纂所	2009.01.11 ~ 2009.06.10	前近代京都の空間構造史-中世を中心に-
38	KIM, Hosup	中央大学校社会科学大学国際関係学科 教授	韓国	慶應義塾大学法学部	2009.01.12 ~ 2009.11.11	日本の対中国ODAの政策決定
39	JANG, Yong Geoll	慶南大学校師範大学日本語教育科 副教授	韓国	大阪大学大学院人間科学研究科	2009.01.13 ~ 2009.11.12	日本における韓国ポピュラー文化の受容と変容についての考察

2. 人物交流事業費 / (3) 日本研究フェローシップ (論文執筆者) [アジア・大洋州]

人文・社会科学の研究者で博士論文作成のため来日する必要があるものを招へいする。

合計額 59,754,697 円

	氏名	現職	対象国	受入機関	期間	研究テーマ
1	PARK, Doyoung	イリノイ大学歴史学部博士課程	韓国	東京大学大学院法学政治学研究科	2007.09.15 ~ 2008.09.14	儒学転換：徳川初期の禅僧と儒学
2	HO, Chiew Hui	スタンフォード大学宗教学科博士課程	シンガポール	東京大学大学院人文社会系研究科・文学部	2007.09.25 ~ 2008.09.24	安然-台密の系統化
3	DU, Yang	北京大学外国語学院日本語文化学部日本文化研究室博士課程	中国	東京大学大学院人文社会系研究科	2007.10.02 ~ 2008.10.01	上田秋成思想研究

アジア・大洋州交流事業費

	氏名	現職	対象国	受入機関	期間	研究テーマ
4	ZHUANG, Na	北京大学国際関係学院博士課程	中国	成蹊大学法学部	2007. 10. 02 ～ 2008. 10. 01	日本の国体論
5	LIU, Fang Liang	山東大学文学与新聞伝播学院博士課程	中国	成蹊大学文学部 日本文学科	2007. 10. 04 ～ 2008. 08. 03	受容と変容—日本江戸漢詩と明代の詩学の関係についての研究
6	GU, Hongyan	シドニー大学芸術社会科学学部政治・国際関係学科 博士課程	中国	名古屋大学大学院環境学研究科	2007. 11. 01 ～ 2008. 05. 31	継続的な協働型アドボカシーを目指して—中国と日本において政府と環境非政府組織の関係についての比較研究
7	RYU, Yongwook	ハーバード大学政治学部 博士課程	ニュージーランド	慶應義塾大学法学部政治学科	2007. 11. 01 ～ 2008. 08. 31	国家アイデンティティと領土紛争の過熱化：日本のアイデンティティの変容が東北アジアの領土紛争に与える影響
8	FULORIA, Deepika	ジャワハルラル・ネルー大学東アジア研究センター 研究員	インド	愛媛大学法文学部	2008. 02. 19 ～ 2009. 02. 18	東アジアの発展：1990年-2005年の日中関係の変遷を事例として
9	YOON, Jee-Young	延世大学校大学院地域学科 博士課程	韓国	東京大学大学院総合文化研究科	2008. 03. 16 ～ 2009. 03. 15	近代日本の「国家」認識—1868～1945—
10	CHANDRA SETH, Janashruti	ジャワハルラル・ネルー大学 助教授	インド	大阪大学大学院言語文化研究科	2008. 06. 01 ～ 2009. 05. 31	丁寧さの曖昧表現—日本とヒンディーにおける控えめなほめ言葉の類型研究
11	CATALINAC, Amy Louise	ハーバード大学政治学部 博士課程	ニュージーランド	東京大学社会科学研究所	2008. 06. 27 ～ 2009. 06. 28	外交・防衛政策の選挙政治：自衛隊の役割・任務拡大を説明する
12	LEE, Jun Kyu	慶南大学校北韓大学院大学校 博士課程	韓国	明治学院大学国際学部	2008. 07. 07 ～ 2009. 07. 06	脱冷戦期日朝関係に関する研究：正体性と利益の相互作用
13	SA, Rina	中国人民大学環境学院 博士課程	中国	名古屋大学	2008. 07. 31 ～ 2009. 07. 30	中国における循環経済の構築に向けたグッドガバナンスの研究
14	LI, Jiadong	上海大学大学院文学研究科中国近現代史専攻 博士課程	中国	中央大学総合政策学部・同大学院総合政策研究科	2008. 08. 01 ～ 2009. 01. 31	近代上海における日本人社会—文化事業を中心に

アジア・大洋州交流事業費

	氏名	現職	対象国	受入機関	期間	研究テーマ
15	SHU, Fanghong	中国社会科学院 研究生院日本研 究科 博士課程	中国	法政大学国際日 本学研究所	2008.08.01 ~ 2009.07.31	戦後日本における平和主義思想の研究
16	KASIM, Zainol Abidin Bin	マラヤ大学予備 教育課程 (AAJ) 日本語講師	マレーシア	杏林大学外国語 学部	2008.08.26 ~ 2009.06.25	東方政策プログラムにおける自己アイデンティティの研究：マレー人と日本人の自己アイデンティティの比較研究
17	OH, Younjung	南カリフォルニ ア大学美術史学 科 博士課程	韓国	東京大学人文社 会系研究科	2008.09.11 ~ 2009.09.10	日本の百貨店が近代的「美術」概念の認識に与えた影響
18	YU, Ying	オハイオ州立大 学東アジア言語 文学科 博士課 程	中国	国際日本文化研 究センター	2008.09.16 ~ 2009.09.15	1960年代及び1970年代の日本ファンタジー文学
19	XU, Lin	中国社会科学院 研究生院 博士 課程	中国	早稲田大学社会 科学総合学術院	2008.09.23 ~ 2009.09.22	行政権力の配分について——日本における経済規制改革の視点から
20	HAN, Dan	四川大学文学与 新聞学院 博士 課程	中国	国文学研究資料 館	2008.09.29 ~ 2009.09.28	『風姿花伝』研究—江戸時代文学理論への影響および『閑情偶寄』との比較
21	MANCHERI, Nabeel Ajmal	ジャワハルラル ネルー大学日本 研究学科 博士 課程	インド	広島大学	2008.10.02 ~ 2009.09.30	インド、日本、オーストラリア間の貿易と通商協定：優遇措置と競争力
22	GONG, Lili	復旦大学国際関 係公共政策学院 博士課程	中国	慶應義塾大学	2008.10.03 ~ 2009.10.02	日中戦略的互惠関係の構築—環境協力の観点から
23	CHO, Jung Yun	高陽市文化芸術 課 / 成均館大学 博士課程	韓国	社団法人全国公 立文化施設協会	2009.02.01 ~ 2009.11.30	地域文化財団の効率的運営管理方法：韓国と日本の地域文化財団の比較研究
24	PARK, Myunghee	梨花女子大学大 学院政治外交学 科 博士課程	韓国	慶應義塾大学大 学院 政策・メ ディア研究科	2009.03.01 ~ 2010.02.28	日本のODA政策過程とNGOの役割
25	HAMZAH Nusyirwan	インドネシア大 学大学院日本地 域研究科 職員	インドネシア	東京大学東洋文 化研究所	2009.03.22 ~ 2009.10.21	小泉純一郎首相 日本の政治リーダーシップの研究 2001-2006

アジア・大洋州交流事業費

2. 人物交流事業費 / (4) 日本研究フェローシップ (社会科学院研究生院)

中国社会科学院研究生院の博士課程在籍者に博士論文執筆のための日本研究フェローシップを供与する。

合計額 1,088,422 円

	氏名	現職	対象国	受入機関	期間	研究テーマ
1	馮 維江	博士課程	中国	桜美林大学大学院国際学研究科	2007.05.31 ~ 2008.05.30	不完全契約理論による国際紛争解決構造研究-東シナ海における日中の領海紛争を事例として
2	周 傑	博士課程	中国	学習院大学法学部	2007.05.31 ~ 2008.05.30	日本の選挙制度改革

アジア・大洋州交流事業費

2. 人物交流事業費 / (5) 日本研究フェローシップ (短期) [アジア・大洋州]

諸外国の優れた日本研究者に日本で研究・調査活動を行う機会を提供する。

合計額 7,327,211 円

	氏名	現職	対象国	受入機関	期間	研究テーマ
1	MAHAKHAN, Nanchaya	プーラーパー大学人文社会学部 講師	タイ	神戸大学大学院 人文学研究科	2008.06.08 ~ 2008.08.07	日本文化における「間」の意義
2	LI, Yan Nan	華南師範大学外国言語文化学院 副教授	中国	神戸女子大学文 学部	2008.06.20 ~ 2008.08.10	現代日本文学における「中国像」
3	KULSRISOMBAT, Niramon	チュラロンコン大学建築学部 都市・地域計画学科 講師	タイ		2008.10.06 ~ 2008.12.04	パートナーシップによる都心部再生： 日本の経験から学ぶ
4	GAVIN, Masako	ボンド大学人文科学部 助教授	オーストラリア	早稲田大学文学 学術院	2008.11.23 ~ 2008.12.22	グローバルな日本を目指して：安部 磯雄の思想と生涯
5	PATCHELL, Gerald Roe	香港科学技術大学社会科学学部 准教授	中国		2008.12.05 ~ 2009.01.30	産業生態系の地理的制限
6	SIAMPUKDEE, Usamard	チェンマイ大学政治行政学部 講師	タイ		2009.01.25 ~ 2009.03.25	外国人ケアワーカーと日本の高齢化危 機：政策の変化とASEANとの経済連携 協定
7	TIAN, Ming	中国外交学院 外国語学部 副教授	中国	跡見学園女子大 学	2009.03.28 ~ 2009.05.26	大庭みな子研究 — 60年代の初期作品 から80年代の後期作品における「家 族」のモチーフ及びその変容について

アジア・大洋州交流事業費

2. 人物交流事業費 / (6) 日本研究フェローシップ (高砂熱学工業)

インドネシア、フィリピン、マレーシア、ベトナムの日本研究専攻の学生に奨学金を供与する。

合計額 4,070,630 円

	氏名	現職	対象国	受入機関	期間	研究テーマ
1	HANDAYANI, Christina Siwi	サナタ・ダーマ大学 講師	インドネシア	京都大学	2007.08.01 ~ 2008.05.30	消費を通じた自己の存在：東方の文化-日本（京都）とインドネシア（ジョグジャカルタ）における若者の自己叙述における対話アプローチ
2	NGUYEN, Luong Hai Khoi	ホーチミン市教育大学 文学・言語科 教師	ベトナム	日本大学文理学部 哲学科	2008.06.01 ~ 2009.05.31	ベトナム人作家ゲェントウンの美意識との比較にみる川端康成の美意識

アジア・大洋州交流事業費

2. 人物交流事業費 / (7) 知的リーダー交流 (招へい) [アジア・大洋州]

諸外国の政治、経済、労働、メディア、教育等の各分野で影響力を有する人材を招へいし、日本側関係者との意見交換、当該分野での状況視察等の機会を提供する。

合計額 19,932,950 円

	事業名	氏名	現職	対象国	期間	事業内容
1	アジア・リーダーシップ・フェロー・プログラム	KIM, Hae Chang	希望製作所 副所長	韓国	2008.05.01 ~ 2009.03.25	日本を含むアジア諸国において社会的影響力の大きい知識人（パブリック・インテレクチュアルズ）7名を、2カ月間日本に招へい。セミナー、ワークショップ、地方視察などの知的共同作業を通して、アジア域内の人的ネットワーク形成を図るとともに、地域が直面する様々な課題に対する共通の問題意識を醸成し、解決に取組むための知的基盤作りを促進。
		GU, Yi An	上海戯劇学院演劇部門 役者・演出家・教授	中国		
		LEE, Soo Im	龍谷大学経営学部 教授	日本		
		ACHAKULWISUT, Atiya	バンコク・ポスト オピニオン欄編集者	タイ		
		GASCON, Jose Luis Martin C.	LIBERTAS（自由のための弁護士同盟） 会長	フィリピン		
		SHARMA, Jyotrimaya	ハイデラバード大学 政治学教授	インド		
		LAL, Chandra Kishour	コラムニスト、コメンテーター	ネパール		

2. 人物交流事業費 / (8) 知的リーダー交流 (派遣) [アジア・大洋州]

日本と諸外国の知的対話の促進と、知的リーダー間のネットワークの構築・強化を推進するため、日本から知的リーダーを海外に派遣し、関係者との意見交換、当該分野での状況視察等の機会を提供する。

合計額 1,209,810 円

	事業名	氏名	現職	対象国	受入機関	期間	事業内容
1	核不拡散・核軍縮に関する国際委員会	阿部 信泰	財団法人日本国際問題研究所軍縮・不拡散促進センター 所長	米国	核不拡散・核軍縮に関する国際委員会	2009.02.12 ~ 2009.02.22	2008年の日豪首脳会談を契機に設置された「核不拡散・核軍縮に関する国際委員会」の第2回会合に、本分野での国際施策に日本の立場を反映させるため専門家を派遣。

アジア・大洋州交流事業費

2. 人物交流事業費 / (9) 知的交流フェローシップ (招へい) [アジア・大洋州]

日本において人文・社会科学分野の研究を行う諸外国の研究者にフェローシップを供与する。

合計額 8,218,095 円

	氏名	現職	対象国	受入機関	期間	研究テーマ
1	AHN, Byung-Jik	ソウル大学西洋史学科 教授	韓国	大阪大学大学院 言語文化研究科	2008.05.13 ~ 2008.08.26	平和のために思い返すこと：戦後日本における戦争と戦没者の記憶
2	HE, Guangwen	中国農業大学経済管理学院金融系主任教授	中国	農林中央金庫 総合研究所	2008.08.20 ~ 2008.09.19	日本の農家及び中小企業に対する金融サービスと中国への政策面での示唆
3	MYOE, Maung Aung	シンガポール国立大学アジア研究所 ポスト・ドクトラル・フェロー	シンガポール	国際大学	2008.10.01 ~ 2009.07.31	台頭する中国、「普通」化する日本、東南アジアの安全保障：ミャンマーへの影響
4	PABOTTINGI, Mochtar	インドネシア科学研究所政治学センター シニア・リサーチャー	インドネシア	東京大学大学院 総合文化研究科	2009.03.01 ~ 2010.02.28	日本における国家民主主義共生の展望-予備研究
5	XU, Shu	吉林省延吉市延辺歌舞団 監督	中国	日本舞踊振興財団	2009.03.21 ~ 2009.04.28	日本伝統舞踊研究

アジア・大洋州交流事業費

3. 催し等事業費 / (1) 知的交流会議 (助成) [アジア・大洋州]

日本と諸外国の相互理解の促進と、より緊密な関係の構築、世界の知的交流を推進することを目的とした国際的な知的共同事業（国際会議等）に対し、経費の一部を助成する。

合計額 49,662,134 円

	事業名	助成機関	対象国	期間	事業内容
1	国際共同報道を通じたコミュニティのエンパワーメント	世界コミュニティラジオ放送連盟日本協議会	アジア地域区分 困難	2008.04.01 ~ 2008.12.31	G8をはさんでおよそ10日間、世界のコミュニティ・ラジオと呼ばれる市民地域に根ざし、地域の課題解決のために活動する非営利放送局の関係者約20名（アジア・太平洋地域中心）を札幌等に招き、G8や関連イベント等を国内のジャーナリストらと共同で取材し、多言語で世界に報道する事業を実施
2	ソーシャルワークにおけるイスラム的思考の統合に向けて	フィリピン大学発展のための社会行動・研究財団	フィリピン	2008.04.01 ~ 2009.02.28	フィリピン・ムスリムの社会における周縁化という問題を背景に、イスラム文化・慣習に配慮したイスラム的な教義・精神に基づく社会福祉活動教育・カリキュラムを国内に導入するために、現状の把握や課題の発掘を行う会議を実施。2日間の国内会議を実施後、マレーシア、インドネシア、ブルネイから社会福祉関係者を招へいし、2日間の国際会議を実施
3	近代東アジア連帯論と東アジア国際理解教育	帝塚山学院大学国際理解研究所	アジア地域区分 困難	2008.04.01 ~ 2009.03.31	日中韓の代表的な文化人が参加し、「東アジア連帯論の系譜」（対馬）と、「東アジア国際理解教育」（北京）をテーマに国際会議を実施
4	東アジア文学フォーラム	東アジア文学フォーラム日本委員会	アジア地域区分 困難	2008.04.01 ~ 2009.03.31	日中韓の文学者が「東アジアの文学」をテーマに、2008年10月にソウルおよび春川にてシンポジウムを開催。シンポジウムの他に一般向けの作品朗読会や講演会、公開討論会なども実施
5	東アジアの自閉症児のための治療教育プログラム開発に関する国際共同研究	立命館大学	アジア地域区分 困難	2008.04.01 ~ 2009.03.31	自閉症児を中心とした発達障害児の治療教育に関し、東アジア地域の生活環境・文化・社会に適合した教育プログラムの開発をめざし、ベトナム・中国・日本の研究者や障害児教育関係者の研究交流を実施
6	セックスツーリズムに関する東南アジア会議	子供の保護・研究センター	インドネシア	2008.04.01 ~ 2009.03.31	インドネシアのメダンにて、児童買春旅行をテーマに9名の講演者を迎えて国際会議を実施。行政（州政府、法務層、警察、観光局、入国管理局）、業界団体（ホテル・旅行業）、NGO、国際機関等の関係者約150名が参加

アジア・大洋州交流事業費

	事業名	助成機関	対象国	期間	事業内容
7	国際会議「高齢化社会におけるジェンダーとセクシュアリティ」	クイーンズランド大学	オーストラリア	2008.04.01 ~ 2009.03.31	高齢化社会における女性のジェンダーと性的問題を、日本の文学や芸術作品中での「女性の老い」の表象に着目し、検討。具体的には(1)映画『百合祭』の上映、監督講演、(2)国際会議「高齢化社会におけるジェンダーとセクシュアリティ」で構成され、2008年9月29日～10月1日にブリスベンのクイーンズランド大学で開催された「第9回アジア女性会議」(豪アジア研究学会主催)のパネルの一つとして実施
8	21世紀の日本の対中戦略について	財団法人世界平和研究所	アジア地域区分困難	2008.04.01 ~ 2009.03.31	日中両国の政治、経済、学術関係者が、今後20～30年の日中関係を外交、安全保障、経済・社会にわたる幅広い観点から検討し、提言としてまとめる国際会議を実施
9	日・韓次世代学術フォーラム ソウル大会	東西大学校	韓国	2008.04.01 ~ 2009.03.31	人文・社会科学分野における日韓両国及び中国の大学院生が東アジアに共通の関心事をテーマに採り上げ、研究発表と交流を行う学術大会の第5回目。第3回目以降の開催地は主管機関である東西大学日本研究センターの所在地(韓国・釜山)を離れ、今次大会はソウル大学(韓国・ソウル)で2008年6月に実施
10	外交文書公開に伴う日韓会談の国際比較研究	国民大学校	韓国	2008.04.01 ~ 2009.03.31	国民大学校日本学研究所が2005年12月～08年11月に韓国学術振興財団の支援で「日韓会談外交文書公開に伴う基礎資料研究」を実施した成果を、日本側の「日韓会談外交文書研究グループ」と米・中の参加者各2名が、一般に広く発表する国際会議を2009年2月に実施。成果は単行本として出版。また、日韓会談に関わった主要人物の証言を聴取したオーラルヒストリーを作成・出版
11	中国の調和ある経済社会発展と中日韓協力に関するシンポジウム	中国社会科学院日本研究所	中国	2008.04.01 ~ 2009.03.31	中国社会科学院日本研究所と九州大学アジア総合政策センター、韓国の東国大学日本研究所が共同で行なうシンポジウムの3回目。「医療・生命倫理」、「産業連携」、「高齢化社会」、「ポピュラーカルチャー」、「環境」といった比較的身近な5つの切り口から日中韓協力の可能性について議論する。2008年10月18日、19日の2日間にわたり中国・青島で開催。
12	21世紀における日・中哲学の可能性	香港教育学院	中国	2008.04.01 ~ 2009.03.31	西欧哲学の影響を受けながらも独自に発展した、日本の西田哲学(京都学派)と中国のNew Confucianismの比較検討を行う会議を開催。西田哲学は、欧米では広く研究されているが中国ではまだそれほど研究が進んでいないため、中国の哲学研究者に紹介する側面も持った。2008年12月13、14日の2日間、香港にて公開シンポジウムを開催。この会議に集まった学者により、国際日本哲学学会の設立についても協議

アジア・大洋州交流事業費

	事業名	助成機関	対象国	期間	事業内容
13	移住の時代、アジアの家族構造の変動と国家別政策比較のための国際学術交流	アジア女性学センター	韓国	2008.05.01 ~ 2008.10.30	90年代以降急激に増加したアジア女性たちの移住を通して見える家族構造および社会構造の変化をテーマに、アジア各国・地域（韓国、日本、中国、インドネシア、フィリピン、ベトナム、タイ、台湾）の研究者、NGO活動家、政策担当者を交えて議論する専門家ワークショップおよび国際シンポジウムを実施。問題を把握するとともに、アジア域内専門家・活動家のネットワーク化を目指す。2008年10月に梨花女子大学にて実施
14	東南アジアにおける高等教育に関する国際会議	東南アジア教育省連合/高等教育・開発センター	タイ	2008.05.01 ~ 2008.11.30	東南アジア諸国（主としてタイ、マレーシア、インドネシア、フィリピン）における高等教育システムに共通の枠組みを構築し、域内の学位や人材の互換性、補完性を高めていくことを目指す会議。各国で準備会合を開催後、リソースパーソンとして日本、オーストラリア、ニュージーランドから開発教育に関する専門家を招へいし、政府関係者や国際関係機関を交えて10月にバンコクにて国際会議を開催
15	インドネシアの貧困層に対する社会経済制度の改革に関する国際セミナー	ジャンパー・ステート・ポリテクニク	インドネシア	2008.05.01 ~ 2008.12.31	2008年5月28日～29日にインドネシア・東ジャワのジェンベルにて、インドネシアの貧困層に対する小規模融資制度をテーマとする国際会議を実施
16	教員セミナー オーストラリアの大学教育における魅力ある日本文学教授法の開発	タスマニア大学	オーストラリア	2008.05.01 ~ 2009.01.31	オーストラリアの大学で、より魅力的な日本文学関連講義を実施するために、大学教員によるワークショップを2008年9月12～14日の3日間、タスマニア大学にて開催。古典～近代文学のみならず、現代文学・文化までを対象とし、かつ歴史・社会・文化など隣接学問分野との接続をも視野に入れたモデル授業・教材を開発
17	血液管理・HIV/AIDS問題に関する国際比較研究-シンポジウム&ワークショップ-	学習院女子大学	アジア地域区分 困難	2008.05.01 ~ 2009.03.01	中国でAIDS/HIV問題に取り組む研究者やNPO関係者、弁護士等を日本に招へい、中国における事例や課題の報告とともに、日本を中心にインドや南アフリカ、米国、カナダ等での取り組みや経験を共有することにより、中国における血液管理やAIDS関連の法整備と制度建設、感染者支援に役立てる。2008年11月に2日間のシンポジウムと2日間のワークショップを実施
18	高齢者の保護促進のための年金制度導入に関する研修・ワークショップ	ヘルプ・エイジ・インターナショナル	タイ	2008.05.01 ~ 2009.03.31	東南アジア・南アジア諸国6カ国の高齢者問題に携わる行政担当者18名を対象に、タイ、日本、インド、南アフリカからリソースパーソンを迎えて、アジアの社会文化に適した社会保障制度導入に関する理論・実務に関する5日間の研修をチェンマイにて実施。6日目には、タイの学識者や専門家を交え、タイにおける社会保障制度をケーススタディとして議論を行うワークショップを開催

アジア・大洋州交流事業費

	事業名	助成機関	対象国	期間	事業内容
19	アジア太平洋におけるグローバル化の影響	ボンド大学	オーストラリア	2008.07.01 ~ 2008.12.31	2008年9月26日・27日の2日間、豪・クィーンズランド州のボンド大学にて「グローバル化はアジア・大洋州地域をいかにかたちづくるか：多様な学問分野からの分析」と題して国際会議を実施。グローバル化のうち、経済・金融・貿易などの制度変革が各国の産業・労働市場・法制度、国際関係、安全保障などに与えた影響について議論
20	東アジア環境食料エネルギー共同体を創る-非伝統的安全保障共通政策の形成と日本の役割	国際アジア共同体学会	アジア地域区分困難	2008.08.01 ~ 2009.03.31	食料・エネルギー危機、気候変動や砂漠化、SARSや鳥インフルエンザなど、非伝統的安全保障領域における東アジア域内共通リスクの増大に対して、アセアン諸国と日中韓3国が構想する解決策やその制度化への道筋について、環境、食料、エネルギーの3分野を軸に、研究者と実務家が議論する国際会議を実施
21	現代イスラム研究における日本の貢献-井筒俊彦の功績	イスラム国際大学イスラム教義・人間科学部	マレーシア	2008.08.05 ~ 2008.08.07	日本のイスラム研究のパイオニアである井筒俊彦の業績に焦点をあて、日本、米国、マレーシアのイスラム研究者が、井筒氏の業績や今日的意味に焦点をあてた論文発表を行いながら、日本と諸外国のイスラム研究者の交流を深化させることを目的とする国際会議。マレーシア国内からも研究者、外交官、NGO、宗教団体、学生、メディアなどから200名が参加し、8月5-7日の3日間、助成機関にて実施。
22	マレーシア国際法シンポジウム-アジアにおける国際法と外交政策の適用に関する再評価	マラヤ大学法学部	マレーシア	2008.08.07 ~ 2008.08.08	アジアでは、国際法の整備と国内適用が遅れていることから解決をみない問題が多い事情に鑑み、実効性のある法という側面から諸課題解決を推進すべく、アジア14カ国から約20名の国際法の専門家、弁護士、外交官らが集まり、国際法の適用状況や阻害要因について議論し、日本の経験・政策から学ぶ2日間の国際会議を実施。8月7-8日クアラルンプールにて実施
23	第4回 東アジア環境市民会議	東アジア環境情報発信所	アジア地域区分困難	2008.10.10 ~ 2008.10.14	北東アジアにおける環境問題、特に中国の河川・水質汚染が水俣病の公害経験に酷似して進行している現状に鑑み、日中韓の環境NGO、研究者、市民団体が集まり、日本における公害経験に学びながら予防策と対策を検討し、具体的な協力の推進にむけて討議する国際会議・視察事業を実施
24	メコン流域における経済成長とコミュニティ創造	オークランド大学 ニュージーランド・アジア研究所	ニュージーランド	2008.10.17 ~ 2008.10.19	ラオス・ルアンプラバンのスパノボン大学にて「メコン流域における経済成長とコミュニティ創造」をテーマに国際会議を実施。会議に先立ち、メコン流域内の経済開発や灌漑が地域の信頼醸成や共同体意識にどのような影響を与えているかの事例研究を行い、その成果を会議で発表。その上で学術的な成果物を書籍として刊行

アジア・大洋州交流事業費

	事業名	助成機関	対象国	期間	事業内容
25	報道写真に関する国際シンポジウム	パキスタン・日本文化協会（シンド）	パキスタン	2008. 11. 06 ～ 2008. 11. 12	報道写真家の社会的地位、認知度を高めることを目的とする国際会議及び展示会を実施。南アジア地域協力連合（SAARC）諸国および日本から報道写真家が参加
26	東アジア協力フォーラム 2008 中国の改革開放と東アジア：回顧と展望	中国人民大学東アジア研究センター	中国	2008. 11. 29 ～ 2008. 11. 30	2005年以来東アジア各国の協力のあり方に取り組んできた東アジア協力フォーラムの4回目。中国の改革開放30周年にあたることを受けて中国の改革開放と東アジアの協力についての回顧と展望を行った。中国、日本、アメリカ、韓国、モンゴル、ロシア、アセアン諸国の学者80名が参加。2008年11月29日、30日の2日間にわたって北京にて開催

3. 催し等事業費 / (2) 知的交流会議（企画参画助成）〔アジア・大洋州〕

日本と諸外国の相互理解の促進と、より緊密な関係の構築、世界の知的交流を推進することを目的とした国際的な知的共同事業（国際会議等）に対し、経費の一部を助成する。

合計額 37,959,923 円

	事業名	助成機関	対象国	期間	事業内容
1	ミンダナオ伝統文化記録プロジェクト	ミンダナオ文化芸術センター	フィリピン	2008. 07. 01 ～ 2009. 03. 31	フィリピン・ミンダナオ地方のマギンダナオ族が伝承する祖先との交霊儀礼「イパット」を映像で記録すると同時に、学術比較研究のため関連調査を実施
2	アジアにおける日米同盟－課題と展望	Observer Research Foundation	インド	2008. 07. 24 ～ 2008. 07. 29	大阪大学大学院国際公共政策研究科のロバート・エルドリッジ准教授を招へいし、インド国内の研究者を対象に、日米同盟とそのアジア諸国への影響、および今後の課題と展望をテーマにセミナーを実施
3	第18回世界翻訳大会	清華大学外国語学部	中国	2008. 08. 04 ～ 2008. 08. 07	上海で開かれる第18回世界翻訳者連盟大会で日本と中国の翻訳者・研究者を招き、日中間の翻訳について多様な角度から分析・討論するワークショップを開催。大衆文学の翻訳から日中間の文化交流を捉える試み
4	アチェの児童による文化祭	Kommunitas Tikar Pandan	インドネシア	2008. 08. 16 ～ 2008. 08. 20	国際交流基金では、文化・芸術による紛争地の復興支援事業として、紛争被害の経験を持つ中学生・高校生を対象とした「アチェの子どもたちと創る演劇ワークショップ」を2007年4月に開催したが、そのフォローアップ事業として前回ワークショップに参加した生徒を再び集め、2008年8月に「アチェ子ども会議」を開催

アジア・大洋州交流事業費

	事業名	助成機関	対象国	期間	事業内容
5	アジアの民間伝承：平和への道	国際民間芸術機関フィリピン支部	フィリピン	2008.10.01 ～ 2009.03.31	アジア各国の文化人類学、民族学、民俗学、民族音楽学の専門家、またそのドキュメンターなどが一堂に会し、各国・地域の民間伝承の歴史やアイデンティティ形成との関連性を検討しながら、民間伝承に表現されている平和のメッセージを共有し、調和と平和を基調とする市民社会形成の端緒とする国際会議を実施
6	研究会議「日本近代の形成」	シドニー大学言語・文化学部日本研究学科	オーストラリア	2008.10.01 ～ 2009.07.31	1920-50年代に都市インテリ層を読者とした雑誌「新青年」について思想・文学・ジェンダーの観点から検討を行った。研究者によるワークショップの後、概要を英文学術書として出版
7	インド経営学院ラクナウ校	インド経営大学ラクナウ校	インド	2008.11.01 ～ 2009.03.31	東アジア（日本、中国、台湾、韓国）、タイ、シンガポール、オーストラリア、スウェーデン、インドの研究者を招き、欧米とは異なるアジア型のビジネスモデルについての国際会議を実施
8	韓日連帯21 2008年度ワークショップ	韓日・連帯21	韓国	2008.11.08 ～ 2008.11.10	「韓日・連帯21」は新たな日韓関係構築のために、両国ナショナリズムを超えての理解や対話が必要であると考える両国の有志によって2004年度より活動。今回は、これまでの試みに対して自ら点検を行うワークショップを行い、日韓の「戦後」を振り返り、ポストコロナリズムとジェンダーの視点から現状を分析し、日韓の和解のための思考と行動について考察を行った。
9	中国四川大地震復興訪日視察計画	中国四川大地震復興支援委員会兵庫神戸事務局	アジア地域区分困難	2008.12.14 ～ 2009.01.17	中国四川大地震の被災地から市・県レベルの地方行政トップ（市長・県長）および中国建設部、地震局などの中央政府関係者計160名が2回に分けて、日本の兵庫県、新潟県等の被災地を訪問し、震災復興の経験・ノウハウの交流、防災対策の学習・施設の視察などを行った
10	台湾における日本研究調査	早稲田大学台湾研究所	アジア地域区分困難	2008.12.01 ～ 2009.06.30	台湾の日本研究機関及び日本研究者に対しインタビューを行い、インタビューの結果に基づいて、台湾における日本研究の現状を分析する論文を執筆
11	第5回「北京-東京フォーラム」プレセミナー	特定非営利活動法人言論NPO	アジア地域区分困難	2009.01.01 ～ 2009.03.31	金融危機に対処するために、日中両国が協力する可能性及び具体的な方法論などについて日中両国の各分野の知識人が協議し、第5回北京-東京フォーラムの実施を準備
12	学際的視点から読む日本とASEANの関係	デ・ラ・サール大学日本研究センター	フィリピン	2009.01.01 ～ 2009.06.30	文学、文化研究、移民、自由貿易をキーワードに、日本とASEANが共有する現代の課題について、学際的かつ多角的に議論する国際会議を実施。日本からは、作家／翻訳家と、移民問題の専門家などが参加。

アジア・大洋州交流事業費

	事業名	助成機関	対象国	期間	事業内容
13	日中社会起業家交流プロジェクト：被災地再建の過程での社会起業家の役割	グローバル・リンクス・イニシアティブ	中国	2009.01.13 ～ 2009.01.18	四川大震災の復興活動において、中国の民間組織、特に社会起業家の役割が期待されている。日本（特に関西地域）の経験を現場で学ぶために、2009年1月13日から18日まで中国の社会起業家ら関係者11名が大阪、神戸、京都、横浜、東京を訪問。日中の社会的企業の担い手が現場での経験と知恵を共有し、日中連携による社会的企業の育成を支援
14	変革期の北東アジアと日韓関係	慶應義塾大学東アジア研究所	日本	2009.02.04 ～ 2009.02.06	日韓両国の実務者や研究者が集まり、東アジア地域の緊急の課題である北朝鮮の非核化や国際金融危機に対する日韓の協力の方策について議論するシンポジウムを開催
15	世界における日本研究：変り行く日本研究のグローバル・プロフィール	ジャワハルラル・ネルー大学	インド	2009.03.06 ～ 2009.03.08	日本研究の分野における海外の著名な学者、教育者を招き、日本研究者間の情報共有、ネットワーク形成に資する会議を実施。世界各国における日本研究の現状、世界における日本研究の普及を妨げる要因、外国で実施されている慣習的、また非慣習的な日本研究の手法、インドを含めた途上国における日本研究の普及、日本研究者間のグローバルネットワークの形成などについて議論
16	現代日本セミナー：現代に生きる口承伝統とその現代的意味	フィリピン大学国際研究センター	フィリピン	2009.03.12 ～ 2009.03.13	口承伝統について、特に東南アジアと日本の天女/天人伝説の比較とその現代的意味に焦点をあてて検証するワークショップ・会議
17	2008年度日本文学・日本文化招待講演	韓南大学校文科大学日本語日文学科	韓国	2009.03.16 ～ 2009.03.19	日本古典文学研究者の増田繁夫を招へいし、韓国大田広域市、全羅北道益山市の主要3大学で講演会を実施し、講演者と韓国の日本文学研究者間で、日本文学の現在の研究動向とともに、日本古典文学研究と日本文化研究との関連についての学術交流を実施

アジア・大洋州交流事業費

3. 催し等事業費 / (3) 知的交流会議 (主催) [アジア・大洋州]

日本と諸外国の相互理解の促進と、より緊密な関係の構築、世界の知的交流を推進することを目的とした国際的な知的共同事業 (国際会議、セミナー、ワークショップ等) を開催する。

合計額 28,807,260 円

	事業名	対象国	共催機関	期間	事業内容
1	日中韓次世代リーダーフォーラム2008	中国 韓国	中華全国青年連合会 韓国国際交流財団	2008.07.10 ~ 2008.07.20	日中韓の次世代リーダー (政治家、行政官、ジャーナリスト、企業人、研究者等) 計17名が各国の諸都市 (南通、上海、東京、金沢、釜山、ソウル) で合宿を行いながら討論、専門家との意見交換、文化施設の見学や企業訪問等を行い信頼感を醸成
2	インドにおける日本研究促進事業「アジアにおける日米同盟：課題と展望」	インド	デリー大学 ジャワハルラール・ネルー大学	2008.07.28 2008.07.28	インド国内の研究者を対象に、日米同盟とそのアジアへの影響及び今後の課題と展望をテーマにセミナーをデリー大学、ネルー大学でそれぞれ実施
3	アチェの児童による文化祭	インドネシア	Kommunitas Tikar Pandan	2008.08.14 ~ 2008.08.22	文化・芸術による紛争地の復興支援事業として、紛争被害の経験を持つ中学生・高校生を対象に2007年4月に開催した「アチェの子どもたちと創る演劇ワークショップ」のフォローアップ事業。同ワークショップに参加した生徒を再び集め、2008年8月に開催した「アチェ子ども会議」に花崎攝 (教育演劇専門家) を派遣
4	四川地震復興支援事業調査	中国	兵庫県立舞子高校環境防災科、神戸学院大学防災・社会貢献ユニット	2008.10.22 ~ 2008.10.29	兵庫県立舞子高校環境防災科と神戸学院大学防災・社会貢献ユニットの合同チーム (教員・学生計8名) が阪神淡路大震災の経験を携えて中国・四川大地震の被災地を訪問、被災者を励ますとともに現地の状況を調査
5	日中韓文化交流フォーラム	韓国	韓日文化交流会議	2008.11.26 ~ 2008.11.28	東北アジア地域で、民間主導の文化交流を積極的に展開・支援し、この地域の共同繁栄と発展に寄与することを目的とする会議の第4回目。本年度は、韓日文化交流会議が韓国・済州島にて主催、国際交流基金が日本側事務局として共催

アジア・大洋州交流事業費

	事業名	対象国	共催機関	期間	事業内容
6	四川地震復興支援調査報告会	アジア地域区分困難	兵庫県立舞子高校環境防災科、神戸学院大学防災・社会貢献ユニット	2009. 01. 24 2009. 02. 28	文化交流による災害復興への貢献の一環として、2008年10月に中国・四川大地震の被災地に派遣した兵庫県立舞子高校環境防災科および神戸学院大学防災・社会貢献ユニットの合同チーム（教員・学生計8名）による帰国報告会を実施
7	中国人研究者グループ招へい	アジア地域区分困難		2009. 02. 15 ～ 2009. 02. 22	中国の各分野の中堅研究者・知識人8名をグループで約1週間日本へ招へい。日本の社会と文化を理解してもらい、日中協力ネットワークの構築
8	社会的企業に関する日韓会議	アジア地域区分困難		2009. 03. 01 ～ 2009. 03. 31	日韓両国の社会的企業（社会的な目的のために事業を行う非営利企業）の専門家・実践者による専門家会議と公開シンポジウム。日韓の社会的企業をとりまく状況の相違点と類似点を認識したうえで、社会的企業の発展に向けた日韓双方、あるいは共同での取り組みのあり方を報告・提言化する2年継続事業
9	日中科学フォーラム「2008四川大地震と自然災害防災」	中国	日本学術振興会 中国地震局	2009. 03. 09 ～ 2009. 03. 10	2008年5月に発生した四川大地震を契機に「地震学的・地質学的特徴」、「構造物被害および斜面崩壊と復旧」、「被災地社会の復旧・復興」等の分野で研究実績を有する日中の研究者が集まり最新の成果を報告するとともに、中長期的観点から今後の共同研究の方向を議論するフォーラムへ日本人研究者、専門家を派遣
10	中国人研究者個人招へい	アジア地域区分困難		2009. 03. 18 ～ 2009. 03. 31	中国の各分野の指導的な研究者・知識人5名を1カ月から半年までの期間日本に招へい。日本滞在を通じて、等身大の日本を理解してもらい、日中学術交流のネットワークを構築

3. 催し等事業費 / (4) アジア地域研究センター支援 (催し等)

東南アジア諸国における東南アジア研究の促進と各機関の学術ネットワークの構築を目的として、東南アジアの研究者を支援する助成プログラムの運営と、東南アジア研究の基盤強化事業を実施する。

合計額 19,313,428 円

	事業名	期間	事業内容
1	東南アジア研究地域交流プログラム	2008.04.01 ~ 2009.03.31	東南アジア人による東南アジア研究を促進するため、国際交流基金とトヨタ財団とが共同でSEASREP財団（本部：マニラ）に対して支援を実施している。 東南アジア研究者間の相互理解の促進とネットワーク構築を支援することにより、東南アジア地域における東南アジア研究を推進。

アジア・大洋州交流事業費

4. 文化資料事業費 / (1) 図書寄贈 [アジア・大洋州]

海外の日本研究・教育機関の図書館及び大規模公共図書館に対し、日本関係図書を寄贈する。

合計額 609,906 円

	事業名	対象国	対象機関	部数	期間	事業内容
1	渡辺健基金記念 図書寄贈	中国	天津社会科学院	195	2008.04.01 ~ 2009.03.31	渡辺健基金の運用益にて、中国天津の社会科学院に対して日本研究関連図書を寄贈

日本研究・知的交流事業に必要な経費

欧州・中東・アフリカ交流事業費

1. 日本研究事業費

- (1) 日本研究調査〔欧州・中東・アフリカ〕
- (2) 日本研究組織強化支援（助成）〔欧州・中東・アフリカ〕
- (3) 日本研究機関支援〔欧州・中東・アフリカ〕

2. 人物交流事業費

- (1) 日本研究フェローシップ（学者・研究者）〔欧州・中東・アフリカ〕
- (2) 日本研究フェローシップ（論文執筆）〔欧州・中東・アフリカ〕
- (3) 日本研究フェローシップ（短期）〔欧州・中東・アフリカ〕
- (4) 知的リーダー交流（招へい）〔欧州・中東・アフリカ〕
- (5) 知的リーダー交流（派遣）〔欧州・中東・アフリカ〕
- (6) 知的交流フェローシップ（招へい）〔欧州・中東・アフリカ〕

3. 催し等事業費

- (1) 知的交流会議（主催）〔欧州・中東・アフリカ〕
- (2) 知的交流会議（助成）〔欧州・中東・アフリカ〕

欧州・中東・アフリカ交流事業費

1. 日本研究事業費 / (1) 日本研究調査 [欧州・中東・アフリカ]

世界の主要な地域の日本研究機関を調査し、日本研究機関と研究者のディレクトリーを作成する。

合計額 4,194,807 円

	事業名	対象国	期間	事業内容
1	ディレクトリー出版	欧州地域区分困難	2008.04.01 ~ 2008.12.31	欧州日本研究調査に関する結果を報告書にまとめ刊行。

1. 日本研究事業費 / (2) 日本研究組織強化支援 (助成) [欧州・中東・アフリカ]

国境・学問分野を越えた日本研究者・研究機関間の連携、相互協力を推し進めるべく、学会の横断的な組織化を支援する。

合計額 32,851,272 円

	対象機関	対象国	期間	事業内容
1	英国日本研究協会	英国	2008.04.11 ~ 2008.04.12	英国日本研究協会の年次総会開催経費を支援。
2	ヨーロッパ日本研究協会 (EAJS)	欧州地域区分困難	2008.04.01 ~ 2009.03.31	欧州随一の日本研究者の協会。事務局経費、ホームページ経費、会報発行経費などの経常費を支援。そのほか、3年に一度の総会開催 (2008年9月、サレント大学 (イタリア・レッツェ市)) 経費の一部を支援。
3	トルコ日本研究学会	トルコ	2008.04.01 ~ 2009.03.31	日本及びトルコ国内からスピーカーを招き、全4回の日本研究学会を実施。
4	フランス日本研究学会	フランス	2008.04.01 ~ 2009.03.31	フランス唯一の日本研究学会による2年に1度の会議で、フランス内外の日本研究ネットワーク (日本研究者、研究機関間) の一層の強化を図る。今回は「多角的視座から見た日本の近代」という全体テーマのもと、共同研究によるパネル発表、シンポジウム等を実施。
5	ロシア日本研究者協会	ロシア	2008.04.01 ~ 2009.03.31	事務局経費、紀要編集・出版、教科書作成、ウェブサイト運営経費等を含む支援。
6	日本資料専門家欧州協会 (EAJRS)	欧州地域区分困難	2008.04.01 ~ 2009.03.31	日本資料に携わる司書・学芸員・研究者の協会。日本関連資料の情報を収集し、ネットワーク化を図る。毎年総会でテーマが設定され、今回のテーマは、イベリア半島 (ポルトガル) にある資料や関係者の情報共有化、及び日本近隣 (韓国、台湾) での日本資料・関係者の情報共有化。

欧州・中東・アフリカ交流事業費

	対象機関	対象国	期間	事業内容
7	ジャパン・ライブラリー・グループ天理ワークショップ準備委員会	英国	2008.04.01 ~ 2009.03.31	2007年度より天理大学において、海外の日本研究司書を対象に古典籍を中心とする3年継続の研修を実施。海外の司書約20名が参加。

1. 日本研究事業費 / (3) 日本研究機関支援 [欧州・中東・アフリカ]

各国において日本研究の中核的役割を担うべき単一・少数の機関に対し、日本研究事業の拡充・発展に必要な様々な支援を、包括的、集中的且つ中長期的に行い、当該国の日本研究基盤となる拠点機関の整備を進める。

合計額 45,650,234 円

	事業名	機関所在国	期間	事業内容
1	アイスランド国立大学	アイスランド	2008.04.01 ~ 2009.03.31	日本研究関連の図書寄贈。
2	ヴェネチア大学	イタリア	2008.04.01 ~ 2009.03.31	古典日本語授業担当講師の人件費助成、集中講座「漢学教育：その過去と未来」への助成、及び日本研究関連の図書寄贈。
3	ミラノ国立大学	イタリア	2008.04.01 ~ 2009.03.31	現代日本政治外交研究者への給与助成、及び日本研究関連の図書寄贈。
4	マンチェスター大学	英国	2008.04.01 ~ 2009.03.31	日本研究関連の図書寄贈。
5	シェフィールド大学	英国	2008.04.01 ~ 2009.03.31	ミュンヘン大学、ライデン大学、リーズ大学、シェフィールド大学の4機関による「現代日本研究ネットワーク」事業への助成、及び日本研究関連の図書寄贈。
6	リーズ大学	英国	2008.04.01 ~ 2009.03.31	ミュンヘン大学、ライデン大学、リーズ大学、シェフィールド大学の4機関による「現代日本研究ネットワーク」事業への助成。
7	ライデン大学	オランダ	2008.04.01 ~ 2009.03.31	ミュンヘン大学、ライデン大学、リーズ大学、シェフィールド大学の4機関による「現代日本研究ネットワーク」事業への助成、及び日本研究関連の図書寄贈。
8	ミュンヘン大学	ドイツ	2008.04.01 ~ 2009.03.31	ミュンヘン大学、ライデン大学、リーズ大学、シェフィールド大学の4機関による「現代日本研究ネットワーク」事業への助成、及び日本研究関連の図書寄贈。
9	バルセロナ自治大学	スペイン	2008.04.01 ~ 2009.03.31	日本研究関連の図書寄贈。

欧州・中東・アフリカ交流事業費

	対象機関	対象国	期間	事業内容
10	サラマンカ大学	スペイン	2008.04.01 ~ 2009.03.31	国際関係論分野の客員教授を日本から派遣。日本研究関連の図書寄贈。
11	国立政治学院	フランス	2008.04.01 ~ 2009.03.31	日本から客員教授の派遣。
12	ルーヴァン・カトリック大学	ベルギー	2008.04.01 ~ 2009.03.31	日本研究関連の図書寄贈。
13	タシケント国立東洋学大学	ウズベキスタン	2008.04.01 ~ 2009.03.31	思想文化史専門の客員教授を日本から派遣。
14	ザグレブ大学哲学部	クロアチア	2008.04.01 ~ 2009.03.31	日本文学専門の客員教授を日本から派遣。日本研究関連の図書寄贈。
15	コメンスキー大学	スロバキア	2008.04.01 ~ 2009.03.31	日本研究関連の図書寄贈。
16	ソフィア大学	ブルガリア	2008.04.01 ~ 2009.03.31	言語学・日本語学の授業を担当する助教授の人件費助成。
17	極東国立総合大学東洋学大学	ロシア	2008.04.01 ~ 2009.03.31	日本の大学・研究機関における資料収集への支援。
18	北東アジア諸国現代研究センター	ロシア	2008.04.01 ~ 2009.03.31	日本研究関連の図書寄贈。
19	ヘブライ大学東アジア学科	イスラエル	2008.04.01 ~ 2009.03.31	「第7回イスラエル・アジア研究学会」への助成、及び日本からの客員教授の派遣。
20	バグダッド大学	イラク	2008.04.01 ~ 2009.03.31	日本史関係を中心とした日本研究関連の図書寄贈。
21	テヘラン大学	イラン	2008.04.01 ~ 2009.03.31	日本文学及び文学史授業を担当する日本人講師の人件費助成、及び日本研究関連の図書寄贈。
22	ダマスカス大学	シリア	2008.04.01 ~ 2009.03.31	日本から客員教授を派遣し日本研究方法論に関する講義を実施、及び日本研究関連の図書寄贈。
23	ボアジッチ大学	トルコ	2008.04.01 ~ 2009.03.31	日本研究関連の図書寄贈。
24	アインシャムス大学外国語学部	エジプト	2008.04.01 ~ 2009.03.31	日本から客員教授を派遣し日本文化論の講義及び論文指導を実施。日本研究関連の図書寄贈。
25	エオトヴェシ・ロラーンド大学 (ELTE)	ハンガリー	2008.04.01 ~ 2009.03.31	国文学者の故福田秀一氏の遺族から寄贈された蔵書約2,000冊の送料の助成。

2. 人物交流事業費 / (1) 日本研究フェローシップ (学者・研究者) [欧州・中東・アフリカ]

諸外国の優れた日本研究者に日本で研究・調査活動を行う機会を提供する。

合計額 49,321,367 円

	氏名	現職	対象国	受入機関	期間	研究テーマ
1	MWAIGOMOLE, Emmanuel Asukenye	ダルエスサラーム大学開発研究所	タンザニア	神戸大学	2007.05.29 ~ 2008.04.28	経済発展のための公私協働
2	SHEVTSOVA, Galyna Viktorovna	キエフ国立建設・建築大学建築 助教授	ウクライナ	近畿大学	2007.06.28 ~ 2008.06.26	日本・ウクライナの木造建築の技法と初期形成過程の比較研究
3	RASULOV, Abdujabar	世界経済外交大学数理経済学科教授 (副学長兼務)	ウズベキスタン	早稲田大学	2007.08.15 ~ 2008.07.14	中央アジアにおける実証経済分析のための数学的手法の応用研究
4	MADSEN, Yasuko	イェーテボリ大学東洋アフリカ言語学科 教授 (文学博士)	スウェーデン	琉球大学	2007.09.01 ~ 2008.08.31	琉球方言におけるイントネーション体系の研究
5	PIERCONTI, Jong Kuk Mauro	ヴェネチア建築大学 博士課程	イタリア	東京大学	2007.09.02 ~ 2008.08.29	白井晟一と日本現代建築 (1905-1983)
6	DOMENIG, Roland	ウィーン大学東アジア研究所 講師	オーストリア	明治学院大学	2008.02.03 ~ 2009.01.31	日本におけるスクリーンプラクティス (映写文化活動) 1800~1920
7	BREEN, John Lawrence	ロンドン大学 SOAS 日本研究センター 教授	英国	京都大学人文科学研究所	2008.03.03 ~ 2008.07.22	日吉大社：近世、近代現代日本における神社と神道を吟味する
8	VOROS, Mihaly Laszlo	近代経営学術大学国際経済学科 教授	ハンガリー	早稲田大学	2008.03.18 ~ 2009.03.17	日本における農村社会の形成に関する研究：中東欧の持続可能な農村開発に対する政策的含意
9	KOMORI, Naoko	英国マンチェスター・ビジネス・スクール (投資リスク研究所) 会計・財務 研究員	英国	同志社大学ワールドワイドビジネス研究センター	2008.03.30 ~ 2008.09.29	グローバリゼーションの日本企業・社会の影響；会計基準調和化が日本企業のコーポレート・ガバナンスに与える影響とグローバリゼーションによる金銭教育 (フィナンシャル・リテラシー) の重要性

欧州・中東・アフリカ交流事業費

	氏名	現職	対象国	受入機関	期間	研究テーマ
10	RAKOTOMANANA, Solofoniaina Ambinintsoa	アンタナナリボ 大学 日本語教師	マダガスカル	広島大学	2008.06.04 ~ 2009.03.16	日本のテレビコマーシャルとマダガスカルテレビコマーシャルから見たコミュニケーションの比較研究
11	KORDZINSKA- NAWROCKA, Iwona	ワルシャワ大学 東洋学研究所 准教授	ポーランド	信州大学	2008.06.15 ~ 2008.09.29	日本古典文芸における人間像の研究
12	SIDERER, Yona	ヘブライ大学東 アジア学科 上級講師	イスラエル	東京工業大学	2008.07.04 ~ 2009.01.03	近代日本化学史の研究
13	MALININA, Elizaveta Evgenyevna	ノボシビルスク 国立総合大学 助教授	ロシア	花園大学	2008.08.01 ~ 2009.03.31	禅の世界観の構造における芸術の意義と役割
14	LEINSS, Gerhard	チューリッヒ大 学 講師	ドイツ	京都大学	2008.08.28 ~ 2009.08.06	日本の暦の文化史的研究
15	PESTUSHKO, Yuri Sergeevich	極東国立人文大 学 准教授	ロシア	名古屋大学大学 院国際開発研究 科	2008.09.01 ~ 2009.08.31	20世紀初頭の日露関係史
16	LESHCHENKO, Nelli Fedorovna	ロシア科学アカ デミー東洋学研 究所 上級研究員	ロシア	早稲田大学	2008.09.28 ~ 2009.03.26	徳川将軍15代、時代背景を映し出す肖像画
17	SZOMMER, Gabor	アレクサンドラ 出版社 編集者	ハンガリー	中央大学	2008.10.01 ~ 2009.03.31	日本におけるオランダ商館の情報システム (1608-1641)
18	KLIMOV, Vadim Yurievich	サンクトペテル ブルク大学 助教授	ロシア	東京大学	2008.10.03 ~ 2009.08.02	19世紀初めのロシアと日本に関する史料の研究
19	BREZANI, Peter	スロバキア外交 政策協会研究セ ンター アナリスト	スロバキア	東京大学	2009.01.16 ~ 2009.03.15	北朝鮮の未来に対する日本の役割は何か? 6カ国協議とその後

2. 人物交流事業費 / (2) 日本研究フェローシップ (論文執筆) [欧州・中東・アフリカ]

人文・社会科学の研究者で博士論文作成のため来日する必要があるものを招へいする。

合計額 41,775,202 円

	氏名	現職	対象国	受入機関	期間	研究テーマ
1	KOZIOL, Gabriele	マックス・プランク外国法・国際私法研究所 博士課程	オーストリア	京都大学	2008.03.15 ~ 2008.11.21	担保としての知的財産ライセンス
2	SCHERLING, Johannes	グラーツ大学 博士課程	オーストリア	南山大学	2008.05.13 ~ 2008.11.07	日本語における英語由来外来語の語用論
3	STEVENS, Merieke	ケンブリッジ大学 博士課程	オランダ	東京大学	2008.06.01 ~ 2008.10.01	供給者関係の原動力：日産とルノーにおけるSCM (サプライ・チェーン・マネジメント) への集中
4	HAFEZ, Naglaa Fathy	芸術アカデミー 言語翻訳研究センター 日本研究科 准講師	エジプト	東京大学	2008.06.02 ~ 2009.08.01	近代日本演劇における『千夜一夜物語』 (戦後演劇について)
5	PUTNAM, David Jerome	チューリッヒ大学 博士課程	スイス	立命館大学	2008.06.17 ~ 2009.08.16	道成寺伝説の様々な実体化において「変身」という概念
6	PATARI, Juho Matti	ヘルシンキ大学 アジア・アフリカ研究所 大学院生	フィンランド	明治学院大学	2008.08.05 ~ 2009.04.15	東京のホームレスの社会相関学
7	GRIKUN, Yuliya	キエフ国立原語大学哲学部 大学院生	ウクライナ	国際基督教大学	2007.08.29 ~ 2008.10.28	グローバル社会における異文化コミュニケーションに関する日本とウクライナの比較研究：国際化の時代において伝統主義や民族意識はいかに保たれるのか
8	KARPOLUK, Jakub Aleksander	ポーランド国立学問学院芸術研究所 博士課程 学生	ポーランド	早稲田大学	2007.08.31 ~ 2008.07.31	日本演劇の日本映画への影響
9	EHLERS, Maren Annika	プリンストン大学 東アジア研究	ドイツ	大阪市立大学	2007.09.01 ~ 2008.08.15	徳川時代の貧民救済：大野藩の事例
10	CIUBANCAN, Magdalena	バベシュ・ボヨイ大学言語学 講師補助	ルーマニア	神戸大学	2007.09.04 ~ 2008.06.30	日本のメディアにおける使役の表現

欧州・中東・アフリカ交流事業費

	氏名	現職	対象国	受入機関	期間	研究テーマ
11	KASZA, Justyna Weronika	リーズ大学 博士課程学生	英国	上智大学	2008.09.18 ~ 2009.09.15	遠藤周作の文学における悪の問題
12	TUCK, Robert James	コロンビア大学 大学院生	英国	早稲田大学	2008.09.25 ~ 2009.11.23	明治時代における詩歌、小説とジャンル：鷗外、漱石、子規
13	WOLSKA- LENARCZYK, Joanna Kamila	ヤギェウオ大学 文献学部東洋学 研究所日本中国 学科 博士論文執筆者	ポーランド	東京大学文学 部・大学院人文 社会系研究科	2007.09.28 ~ 2008.11.27	三島由紀夫の『豊饒の海』における美学と道徳の規範
14	GAITANIDIS, Ioannis	ロンドン大学 博士課程学生	英国	駒沢大学	2008.09.30 ~ 2009.11.29	宮崎県におけるシャーマンの社会医療的な役割
15	MAJSTORAC KOBILJSKI, Aleksandra	ニューヨーク市 立大学大学院セ ンター 博士課程	セルビア	同志社大学	2008.10.01 ~ 2009.09.23	京都とバイロイトにおける近代化～キリスト教の大学を 事例として
16	EL-AMIR, Nilly, Kamal	カイロ大学政治 経済学部アジア 研究センター 研究者	エジプト	早稲田大学	2007.10.29 ~ 2008.12.29	環境安全保障に対する見解：日米対照研究
17	SWITEK, Beata	ロンドン大学 博士課程学生	英国	早稲田大学	2008.11.27 ~ 2010.01.26	在日インドネシア系移民の社会政治学的アイデンティ ティ

2. 人物交流事業費 / (3) 日本研究フェローシップ(短期) [欧州・中東・アフリカ]

諸外国の優れた日本研究者に日本で研究・調査を行う機会を提供する。

合計額 6,025,900 円

	氏名	現職	対象国	受入期間	期間	研究テーマ
1	GALAN, Nataliya	ドニエプロペトロフスク国立大学国際経済学部准教授	ウクライナ		2008.05.20 ~ 2008.06.21	日本における知識ベース企業家精神
2	MOGHADDAM KIYA, Reza	テヘラン大学外国語学部日本研究学科長	イラン	大阪大学	2008.07.03 ~ 2008.08.29	日本人のペルシア語学習者およびイラン人の日本語学習者の発音誤用の比較研究
3	MANSOURI, Mabrouk	スース大学人間社会科学学科准教授	チュニジア		2008.07.21 ~ 2008.08.31	チュニジアと日本における宗教とアイデンティティ：イスラムと神道を中心に
4	BAR-ON COHEN, Einat	ヘブライ大学社会学人類学部	イスラエル		2008.10.01 ~ 2008.11.29	ヘリーゲルの足跡：現代日本の弓道
5	DIMITROVA, Stefania Todorova	文化交流学「Madara-Bulgaria」基金会長	ブルガリア		2008.12.23 ~ 2009.02.20	日本の高校生の社会的能力
6	HENNART, Jean-François	ティルブルフ大学 教授	オランダ		2009.03.05 ~ 2009.05.03	米国製造業に対する日本の直接投資の歴史

2. 人物交流事業費 / (4) 知的リーダー交流 (招へい) [欧州・中東・アフリカ]

諸外国の政治、経済、労働、メディア、教育等の各分野で影響力を有する人材を招へいし、日本側関係者との意見交換、当該分野での状況視察等の機会を提供する。

合計額 3,686,760 円

	氏名	現職	対象国	期間	事業内容
1	ESTERHÁZY, Péter	作家	ハンガリー	2009.02.04 ~ 2009.02.12	ハンガリー文学を代表する作家であるエステルハージ・ペーテル及びヴィクトリア・エシュバツハ・サボー (Viktoria Eschbach=Szabo: テュービンゲン大学日本学科教授) を招へいし、東京 (2月11日) 及び大阪 (2月8日) において東欧文学に関するシンポジウムを実施。
2	Dr. AMELI, Saied Reza	テヘラン大学 副学長	イラン	2009.02.22 ~ 2009.03.02	テヘラン大学大学院にて日本研究コースの開設に向けて準備作業が進展する中で、同コース開設における最高責任者であるアーメリー副学長を日本に招へいし、日本の研究機関や研究者との知的ネットワーク構築を支援。

2. 人物交流事業費 / (5) 知的リーダー交流 (派遣) [欧州・中東・アフリカ]

日本と諸外国の知的対話の促進と、知的リーダー間のネットワークの構築、強化を推進するため、日本から知的リーダーを海外に派遣し、関係者との意見交換、当該分野での状況視察等の機会を提供する。

合計額 6,039,934 円

	事業名	氏名	現職	対象国	対象機関	期間	事業内容
1	IISSグローバル・ストラテジック・レビュー2008	宮家 邦彦 村田 晃嗣	AOI外交政策研究所 代表 同志社大学法学部 教授	スイス	国際戦略問題研究所 (IISS)	2008.09.11 ~ 2008.09.16	国際戦略問題研究所 (IISS) 主催の会議。各国閣僚、政府関係者、有識者が参加し「グローバル・パワーの変容と紛争解決」について討議。
2	東アジア戦略セミナー	浦田 秀次郎 神保 謙 田中 均	早稲田大学大学院アジア太平洋研究科 教授 慶應義塾大学准教授 財団法人日本国際交流センター シニア・フェロー	フランス	国防高等研究所 (IHEDN)	2008.11.12 ~ 2008.11.13	国防高等研究所 (IHEDN) 主催。日本、東アジア、欧州の専門家が一同に会し、東アジアの戦略的開発、アジアの経済的挑戦や安全保障、地域組織の役割などについて討議。
3	日英気候変動セミナー「気候変動：新たな展望」	藤野 純一	国立環境研究所 主任研究員	英国	クライメート・ストラテジーズ	2008.12.15	気候変動問題について、交渉関係者、専門家等がCOP14終了直後の国際交渉の現状を確認し、COP15に向けた国際交渉の展望、排出削減の中長期目標のあり方等に関して意見交換。
4	国際会議「途上国におけるシンクタンクの役割：課題と解決策」	加藤 普	総合研究開発機構 (NIRA) 理事	エジプト	情報・政策決定支援センター	2009.01.15 ~ 2009.01.20	途上国による新たなイニシアティブとして、途上国のシンクタンク間の連携を深化すると同時に、先進国や国際機関からも参加者を迎え、シンクタンクの抱える課題や問題点について討議。

2. 人物交流事業費 / (6) 知的交流フェローシップ (招へい) [欧州・中東・アフリカ]

日本において人文・社会科学分野の研究を行う諸外国の研究者にフェローシップを供与する。

合計額 36,343,306 円

	氏名	現職	対象国	期間	研究テーマ
1	RATZ, Tamara	コドラーニィ・ヤーノシュ大学 学部長	ハンガリー	2008.03.17 ~ 2008.04.18	健康志向レジャーの社会経済的環境の 側面
2	BEN HAJ REHAIEM, Jalel	ガベス大学 准教授	チュニジア	2008.08.11 ~ 2008.09.24	北東アジアにおける日本の安全保障上 の役割：台湾交流協会日本事務所を中 心に
3	RANDRIANARY, Alice Marie Jocelyne	週刊MIDI 編集長	マダガスカル	2008.08.12 ~ 2008.09.29	観光の潜在性：日本のケース
4	SABIROV, Farkhod	社会経済研究センター 国際関係 課長	ウズベキスタン	2008.08.15 ~ 2008.10.08	国際安全保障と核・生物・化学 (NBC) テロリズム
5	RADHI, Sameer Jasam	バグダッド大学 教授	イラク	2008.08.21 ~ 2008.10.09	イラク復興への日本の役割の研究
6	BUTROS, Raghda Albert	ルワッド 所長	ヨルダン	2008.09.06 ~ 2008.10.08	日本における変化の担い手としての社 会企業家：アラブ世界との経験の共有
7	AHOURE, Alban Alphonse Emmanuel	国立ココディ大学 准教授	コートジボワール	2008.09.14 ~ 2008.11.12	外国人労働者の送金と経済発展および 日本の賃金制度と労働者の内発的・外 発的満足度の研究
8	RASULOV, Ulugbek Abdujabarovich	ウズベキスタン民族大学 講師	ウズベキスタン	2008.10.20 ~ 2008.11.20	農・産業クラスターをベースにした経 済発展問題 (日本の経験から)
9	POPOV, Andrei Mihai	モルドバ外交政策協会 理事	モルドバ	2008.10.27 ~ 2008.12.15	トランスニストリアの紛争解決に向け て
10	RAHMANI, Abdul Latif	カブール大学 准教授	アフガニスタン	2008.10.30 ~ 2008.12.13	日本の現行憲法制度とアフガニスタン における制度との比較研究

欧州・中東・アフリカ交流事業費

	氏名	現職	対象国	期間	研究テーマ
11	【中東グループ研修】 Ali Ali ABDULLAH Mohammad DADKHAH TEHRANI Mostafa MEHRAEEN Mohammed Shaaban EL-SAYYID Vivian TURK Ozgun SARI Amna Hamad AL-ROMAIHI Majeed Safar JASIM Sam A.F. ALFOQAHA Raed Fawzi IHMOUD Tayseer Yousef ABU ODEH Lara Mansour CHAHOUD Aomar MOHELLEBI Sidi Mohammed MOHAMMEDI Abdelhamid ADDI	国家開発計画省モニタリング評価 部長 テルビヤット・モダッレス大学 工学研究科 博士課程 ホメイニー研究センター社会科学 部局 教授 オプシオンワン・インターナシヨ ナル 建築士 ダマスカス大学言語研究所 講師 中東工科大学社会学部 ティーチ ングアシスタント バーレーン研究センター准研究員 バーレーン大学化学工学部准教授 ナジャフ大学マーケティング学部 経済行政学科 講師 アラブ戦略研究所 研究員兼副所 長 ヨルダン大学文学部英文学科 講師 レバノン大学 社会調査員 レクスプレッション紙 記者 社会文化人類学研究センター 研究員 ムハンマド5世大学経済学部 修士課程	イエメン イラン イラン クウェート シリア トルコ バーレーン バーレーン パレスチナ ヨルダン ヨルダン レバノン アルジェリア アルジェリア モロッコ	2008. 11. 10 ～ 2008. 11. 29	「開発と社会」をテーマに中東・北ア フリカより研究者・行政官・ジャーナ リスト等を15名招へいし、3週間の訪日 グループ研修を実施。日本における戦 後の貧困克服や外交政策、日本の経済 思想の形成、現在の高齢化社会への取 り組み、またそれらに影響を与える日 本人の宗教観と国家観を学ぶことによ り、日本社会への包括的な理解を深 め、中東・北アフリカ地域における日 本研究促進へ寄与。
12	ABBASOVA, Sabina Kilindjkan	科学的調査・訓練センター 上級主専門家	アゼルバイジャン	2009. 01. 10 ～ 2009. 02. 21	人口学的発展及び可視的傾向
13	BAYER, Judit	King Sigismund College 准教授	ハンガリー	2009. 01. 26 ～ 2009. 03. 09	日本におけるモバイルコンテンツの 利用と法規制
14	SERFATI, Chakib	農業・海洋漁業省海洋漁業庁 漁業調査官	モロッコ	2009. 01. 31 ～ 2009. 03. 10	モロッコの沿岸地域管理政策:モロッ コ・日本の比較研究
15	BORSI, Balazs	GKI経済研究所 主任研究員	ハンガリー	2009. 02. 01 ～ 2009. 03. 08	日本の技術開発研究所の運営における よい事例
16	MAHGOUB, Mohamed Elamin Elbushra	内務省刑事裁判大学 コンサルタント	アラブ首長国連 邦	2009. 02. 23 ～ 2009. 04. 14	「国際テロリズムの中のジハード」研 究
17	REPECKAITE, Daiva	アドジママス ウィークリー 特派員・編集員	リトアニア	2009. 03. 03 ～ 2009. 05. 01	日本人の移民及びその空間、ジェン ダー、危険の認知
18	LAUFER, Laszlo	ブダペスト工業経済大学 講師助手	ハンガリー	2009. 03. 20 ～ 2009. 05. 18	介助器具利用に関する心理学的、文化 的側面

欧州・中東・アフリカ交流事業費

	氏名	現職	対象国	期間	研究テーマ
19	HYNEK, Nikola	国際関係研究所 リサーチフェ ロー	チェコ	2009.03.26 ~ 2009.04.27	日本における人間の安全保障のパラ ダイム-戦略、問題、履行-

3. 催し等事業費 / (1) 知的交流会議（主催）〔欧州・中東・アフリカ〕

日本と諸外国の相互理解の促進と、より緊密な関係の構築、世界の知的交流の推進を目的とした、国際的な知的共同事業（国際会議、セミナー、ワークショップ等）を開催する。

合計額 40,224,704 円

	事業名	対象国	共催・協力機関	期間	事業内容
1	ゲーテ・インスティトゥート主催会議「国独自の文化」	ドイツ	ゲーテ・インスティトゥート	2008.04.24 ～ 2008.04.26	ゲーテ・インスティトゥート主催の会議「国民文化再考—国境の中の文化の現代的理解に向けて」の中の1フォーラム「フォーラムⅢ：アジアにおける国民文化と地域統合」の準備とパネリストの派遣。 同会議では、現代の人々のアイデンティティが、地方や国、文化との関係でどのように形成されているかという問題を、西欧・東欧やアジアから識者が集まり様々な角度から討議。
2	「オルハン・パムクとの対話」講演会	日本	青山学院大学総合文化政策学部	2008.05.15	世界的に著名なトルコ人作家で、2006年にノーベル賞を受賞したオルハン・パムク来日の機会を捉え、文学の分野において日・トルコ間の交流及び相互理解を促進するため、青山学院大学にて講演会と辻井喬との対談を実施。
3	日露知的対話事業	日本	社会計画研究所 日本放送協会	2008.05.22	メドベージェフ大統領によるロシア新政権のブレイン集団である「11月4日クラブ」の主要メンバーが来日する機会を捉え、日本国内で知的対話を行うことにより新政権の方向性につき聴取すると共に、現代日本の状況を理解する機会を提供し、日露の新たな知的交流のネットワークを構築。
4	アルザス日欧知的交流事業／日本研究セミナー「江戸2」	フランス	アルザス・欧州日本学研究所（CEEJA）	2008.09.26 ～ 2008.09.27	欧州域内若手日本研究者による合宿形式のセミナー。アルザス欧州日本学研究所（CEEJA）との共催。欧州内日本研究者のネットワーク構築と当該テーマにおける汎領域的研究の深化を目指す。本年度のテーマとして「江戸」を設定、講師として田中優子（法政大学教授）を派遣。
5	中東巡回知的交流セミナー	イラン シリア ヨルダン		2008.10.19 ～ 2008.10.26	中東各国の関心層（研究者、ビジネスマン、学生）を対象に、日本の労働問題・家族政策・男女共同参画・少子化対策等をテーマとする研究者2名、および中東の女性問題に詳しい研究者1名を日本から派遣し、セミナーを実施。

欧州・中東・アフリカ交流事業費

	事業名	対象国	共催・協力機関	期間	事業内容
6	日ロ文学対談	ロシア	光文社 毎日新聞社	2008.10.24 ～ 2008.10.25	亀山郁夫（東京外国語大学学長）をモスクワに派遣し、講演会とロシア人作家ボリス・アクーニンとの公開対談を実施。「グローバル化時代に生きつづけるドストエフスキー」をテーマに、日本でのロシア文学の受容の歴史と、現代日本におけるドストエフスキー熱について討議。
7	アニメ・シンポジウム	ドイツ	35MM（映画館） ベルリン日独センター	2008.10.30 ～ 2008.10.31	ドイツのベルリン日独センターと共催で、国際シンポジウム「グローバル文化としてのアニメ」を開催。グローバルな規模でもっとも普及しているアニメであるセル・アニメーションを技法的基盤としてきた映像メディアを取り上げる。制作および鑑賞のグローバル化、「日本性」の役割を、日独両国の研究者、アニメ製作関係者が多角的に議論。
8	中東欧日本研究巡回セミナー	クロアチア スロベニア ポーランド		2008.11.13 ～ 2008.11.22	中東欧諸国では未だ発展途上の社会科学分野の日本研究に知的刺激を与えるべく、2008年11月13日～22日の10日間、スロベニア・クロアチア・ポーランドの4大学に政治学、社会学の学者を派遣し、各地で講演・質疑応答を実施。
9	ザルツブルク・グローバルセミナー報告研究会	日本	ザルツブルクセミナー	2008.12.05	オーストリアの代表的知的交流機関であるザルツブルク・グローバルセミナーのセッション455「平和創造と平和構築：女性とシビル・ソサエティの貢献の確保」に企画参画型助成で支援し、日本から専門家3名を派遣した。帰国後、参加者が基金本部において公開のセミナーを開催し、成果を発表。
10	ラウンドテーブル「文化が創る平和」	日本	ゲーテ・インスティトゥート	2008.12.08 ～ 2008.12.09	国際交流基金およびゲーテ・インスティトゥートの過去数年の事業の中から紛争地における活動を洗い出し、「国際文化交流事業が平和構築において果たし得る役割」を積極的に評価し、議論を行う。2009年5月の公開シンポジウムの準備会合として、今年度は非公開ラウンドテーブルを東京にて開催。
11	モスクワ日本研究講演会	ロシア		2008.12.18	ヨーゼフ・クライナー（法政大学特任教授）と田中優子（法政大学教授）をモスクワに派遣し、古代日本人、帰化人、アイヌや琉球・沖縄民族などにみられる日本文化の中の様々な「異文化」の諸相や、異質に見えつつも現代日本文化の基層を成す江戸時代におけるポップカルチャーなどを紹介。またロシア日本研究者協会のドミトリー・ストレリツォフ会長も交えて討議。

欧州・中東・アフリカ交流事業費

	事業名	対象国	共催・協力機関	期間	事業内容
12	多元性へーグローバルゼーションとアイデンティティ	日本		2009. 02. 06	ミッテラン大統領政権を通じて文化大臣を務め、21世紀の今日も現代社会について積極的な発言・活動を繰り広げているジャック・ラングを日本に招へい。グローバルゼーション、伝統文化、文化的多様性、地域・国・地方のアイデンティティ、多極化する世界、などのテーマをめぐり、芳賀徹(京都芸術造形大学名誉学長)、小倉和夫(国際交流基金理事長)等とのパネル・ディスカッションを実施。
13	知的交流セミナー：女性をめぐる問題について	オマーン	スルタンカブース大学	2009. 02. 13 ～ 2009. 02. 21	遠山敦子(新国立劇場運営財団理事長)を講師として派遣し、スルタンカブース大学の協力のもと、日本の教育制度や文化、女性の社会進出に関して自身の体験もふまえた講義を実施。オマーンの女性指導者との会談や知的交流機関を訪問する機会を設け、両国の知的交流に関して意見交換を実施。
14	日本・アフリカ報道関係者会議 ― 日本・アフリカ関係の新たな展望：さらなる相互理解に向けての課題と報道の役割	カメルーン		2009. 03. 04	日・アフリカ双方の報道関係者及び学者が、両国の報道、さらには今後の日・アフリカの相互理解に向けた課題と報道の役割について議論する国際会議を実施。また会議終了後には、日本側参加者による特別講義を現地大学にて実施。
15	ロシア日本理解講座	ロシア	ロシア国立外国文献図書館	2009. 03. 04 ～ 2009. 03. 25	在ロシアの日本研究者、日本文化専門家等に依頼し、一般市民を対象に日本に関する講義を実施。
16	人の移動と文化的アイデンティティ	日本	アデナウアー財団 関西国際交流団体協議会	2009. 03. 11 ～ 2009. 03. 12	アジアとヨーロッパにおける「人の移動」に関するシンポジウムを、ドイツのコンラッド・アデナウアー財団との共催により開催。日本とドイツにおける移民受入政策の違い、多文化共生の課題などの共通課題を取り上げ、アジアとヨーロッパにおける地域主義の今後の展望を議論。

3. 催し等事業費 / (2) 知的交流会議 (助成) [欧州・中東・アフリカ]

日本と諸外国の相互理解の促進と、より緊密な関係の構築、世界の知的交流の推進を目的とした、国際的な知的共同事業（国際会議等）に対し、経費の一部を助成する。

合計額 50,851,253 円

	事業名	助成機関	対象国	期間	事業内容
1	想像の日本：現代視聴覚文化における日本的なるものとファンタジー	フィンランド映画研究協会	フィンランド	2008.04.01 ~ 2008.10.31	フィンランドの若者の中で急速に人気を得た日本の映像文化のグローバル化について、日本とヨーロッパの研究者が議論。特に日本的なるものや日本が生み出しているファンタジーの特質とは何かという点に焦点を当て、学者のみならず幅広い関心層が参加。
2	ウィルトン・パーク・カンファレンス「日本：グローバル経済における挑戦と機会」	ウィルトン・パーク	英国	2008.04.01 ~ 2008.11.30	「日本：グローバル経済における挑戦と機会」と題し、3日間集中的に行なわれる会議。9つのセッションそれぞれに日本の学会・産業界等から1~2人が参加。
3	多文化主義・多言語主義と言語学習日伊比較	トゥーシャ大学	イタリア	2008.04.01 ~ 2008.12.31	現代における多言語・多文化を背景に、外国語や外国文化がどのように学ばれるか、また本国語や本国文化にどのような影響（外来語など）を与えるか、という問題について日欧の研究者が探る学術会議。
4	国際会議：生物文化多様性の保護—グローバルな課題	ウィーン農芸大学	オーストリア	2008.04.01 ~ 2008.12.31	ウィーン農芸大学環境保護・自然保護研究センターが主催する国際会議。日本の里山というモデルを取り上げ、人間と自然との共存の可能性を議論。
5	日蘭外交関係150周年に関するシンポジウム	オランダ・クリンゲンダール国際関係研究所	オランダ	2008.04.01 ~ 2008.12.31	日蘭修交通商条約締結150周年を記念して行われる、日蘭外交関係に関するシンポジウム。歴史を振り返るとともに、より広い文脈で日蘭の果たしうる未来を討議。
6	アジアにおける安全保障と開発	安全保障・開発政策研究所	スウェーデン	2008.04.01 ~ 2009.02.28	2008年6月にストックホルムで、国際政治学者や政策決定者等を集め、北東アジア及び東南アジア地域が直面する安全保障の「新たな脅威」について幅広く議論。
7	国際シンポジウム「日仏芸術交流の150年」	日仏美術学会	日本	2008.04.01 ~ 2009.03.31	豊かな日仏文化交流の中でもとりわけ実りの多い美術分野の交流についての国際シンポジウム。日仏友好150周年記念。1日目は19世紀後半を対象に、ジャポニスムやパリに学んだ日本人洋画家について、2日目は20世紀前半を対象に、日本のフランス美術受容や両大戦間のパリでの日仏芸術交流について、日仏の研究者が集い考察。
8	第6回日・ロ学術・報道関係者会議	日本対外文化協会	ロシア	2008.04.01 ~ 2009.03.31	「ユーラシアの発展の道を模索する」というテーマのもと、安全保障、資源獲得競争等の問題につきロシアの政治家、評論家、ジャーナリストとの会見及び現地視察、討議等を実施。また学生や一般市民向けの公開討論会を実施。

欧州・中東・アフリカ交流事業費

	事業名	助成機関	対象国	期間	事業内容
9	「検閲・自主検閲・禁忌」国際会議	ストラスブール大学 日本学科	フランス	2008.04.01 ～ 2009.03.31	古今東西の検閲・自主検閲・禁忌の起源や形式を分析し、ひいては「自由」や「表現の自由」の概念を再検討する会議。
10	第2回国際華厳学会	フランス極東学院	フランス	2008.04.01 ～ 2009.03.31	仏教のみならず西側の諸宗教にも広く影響を与えた華厳思想をめぐって、その哲学的・歴史的研究成果を深めるとともに、現代の自然と社会の問題について、心理学・社会学・宗教学それぞれに対して華厳思想の果たす役割を検討する国際会議。
11	越境する映画文化—異文化間対話促進における映画の役割	欧州評議会	フランス	2008.04.01 ～ 2009.03.31	欧州評議会による、コーカサス・黒海諸国間の文化協力推進を目指す「キエフ・イニシアティブ」プログラムの「越境する映画文化」企画による会議。同諸国と欧州・日本の映画関係者がエレバンの国際映画祭に集い、異文化間対話・関係構築のためのツールとしての映画について討議。
12	社会政治学的に見た徳川時代の思想	ケンブリッジ大学 東アジア研究所	英国	2008.04.01 ～ 2009.03.31	2009年3月にケンブリッジにおいて4日間にわたり徳川時代の思想や宗教に関する研究について議論を行うための会議を開催。とくに仏教、神道、国学、儒学などに焦点を絞り、過去20年の研究成果を発表。徳川時代の研究に関する会議は40年ぶり。ヨーロッパ各国から著名な日本研究者が参加。
13	国際会議「アジアのソフトパワー」	フランクフルト大学 経済学部	ドイツ	2008.04.02 ～ 2009.03.30	本会議の実施にはフランクフルト大学東アジア研究所が深く関与し、同研究所が開催する初の国際会議として、東アジアにおけるソフトパワーについて討議。様々な専門家の視点を取り入れ、各国のソフトパワーの生産、用法および影響力を考察。
14	研究交流：前1千年紀前半のアナトリアとシリア	財団法人中近東文化センター	日本	2008.04.19 ～ 2008.04.27	前鉄器時代の解明に向け、アナトリア考古学研究所が従来より発掘調査してきたトルコ共和国のカマン・カレホユック遺跡に加え、当時のもう一つの中心地であるカルケミシュの成果を参照しながら、国境にあるため発掘に制約がある同地に関し、シリア側でのこれまでの調査研究の成果を共有するための、講演会やセミナーを実施。
15	国際会議「日本・欧州・アジア～戦略的パートナーシップと地域統合」	ブリュッセル自由大学	ベルギー	2008.05.01 ～ 2008.11.30	ブリュッセル自由大学を中心に、ベルギーのシンクタンクであるTEPSAや国際基督教大学などの協力を得て開催する国際会議。日EU間の戦略的協力関係を深めるべく、アジア欧州の両地域が直面する諸問題について幅広く議論。
16	持続可能な開発に関する社会科教科書づくりに向けた日独ワークショップ	ベルリン日独センター	ドイツ	2008.05.01 ～ 2008.10.31	持続可能な開発について、どのように教育し、そのためには、どのような教材が求められているかを考察、議論する日独教師のワークショップを実施。

欧州・中東・アフリカ交流事業費

	事業名	助成機関	対象国	期間	事業内容
17	国際ワークショップ「十字路口にたつロシアのヴォルガ・ウラル地域：帝国・イスラーム・ナショナリティ」	「十字路口にたつロシアのヴォルガ・ウラル地域」実行委員会	日本	2008.05.01 ～ 2009.03.31	日本・欧米・ロシアから専門家がカザンに集まり、沿ヴォルガ・ウラル地域に着目し、「境界」の視点からロシアとイスラーム世界の関わりについて研究した成果を報告するワークショップを実施。
18	国際会議「グローバル・ガバナンスー日米英独のアプローチ比較」	ベルリン日独センター	ドイツ	2008.06.01 ～ 2009.02.28	日米関係を、英米、独米等の外国関係と比較・考察する会議をベルリンにて開催。二国間関係の比較にとどまらず、グローバルガバナンスという視点からも討議。
19	国際会議「日本の文化の伝統と現在」	ウクライナ国立科学アカデミーイルスキー芸術学・民族・民俗学研究所	ウクライナ	2008.06.01 ～ 2009.03.31	日本を特集した紀要の刊行に合わせ、紀要の執筆者をキエフに招へいして「日本文化の伝統と現在」と題する講演会と学術会議を実施。
20	「生への存在」シンポジウム	フランス国立社会科学高等研究院日本研究所	フランス	2008.08.23 ～ 2008.08.30	和辻哲郎の「生への存在」という概念を軸に、現代社会が陥っている袋小路（例えば環境問題）を打開する方途につき、西欧の「個人」重視の思想と日本の「場」重視の思想の相互補完性をめぐる会議。
21	社会起業とソーシャル・イノベーションに関する日英研究会議	リンクス・ジャパン	英国	2008.09.01 ～ 2008.11.30	2008年11月に英国の社会起業家および社会起業に関する研究者が日本を訪問し、日本のカウンターパートと共に社会起業家を訪問して意見交換を実施。合わせてワークショップを開催し、日英両国の現状と問題点を検証。
22	ザルツブルク・グローバル・セミナー	ザルツブルクセミナー	オーストリア	2008.09.07 ～ 2008.09.12	平和構築における市民社会の役割というテーマのもと、50人の知的リーダーを集め、5日間にわたりワークショップおよび会議を実施。
23	「途上国の法制度改革における慣習法と制定法の制度的優位比較」ワークショップ	ルーヴァン・カトリック大学	ベルギー	2007.10.01 ～ 2009.12.31	日独仏米等の国から専門家が集まり「途上国の法制度改革における慣習法と制定法の制度的優位比較」について討議するワークショップを実施。
24	国際会議「少子化問題と格差社会ー日独比較」	ドイツ-日本研究所	日本	2007.11.01 ～ 2008.12.01	ドイツも日本も直面している少子化問題をテーマとした会議。社会階層化と少子化との関係を分析する、という新しいアプローチである。社会階層化という問題における地域・教育・職種など様々なファクターを考察。
25	国際シンポジウム「現代における価値観の変容」	青山学院大学	全世界区分困難	2008.11.08	国内の複数の大学、研究所が、海外研究機関との連携により現代における価値の変容、価値観の国際比較調査の方法論、社会調査のインフラストラクチャー構築を視野に、今後の世界における価値観の変化の方向性を探求。

欧州・中東・アフリカ交流事業費

	事業名	助成機関	対象国	期間	事業内容
26	国際ワークショップ「長期的アラブ諸国研究ネットワークの構築—グローバル化時代における相互理解と共同研究のために」	中東統計データ・アーカイブ・フォーラム	日本	2008. 12. 05 ～ 2008. 12. 08	日本独自の社会科学的アラブ地域研究を構築するために国際ワークショップを開催。同ワークショップでは研究者・実務家間で意見交換を行い、今後の日本とアラブ諸国の社会科学における調査・連携のあり方について討論。
27	国際会議「翻訳とトランスカルチュラル研究」	テュービンゲン大学	ドイツ	2009. 03. 01 ～ 2009. 03. 31	異文化研究における「翻訳」のあり方につき、ドイツ、日本、韓国の研究者が集い、国際会議を開催。成果はウェブサイトにて公開。
28	異文化間都市会議	欧州評議会	フランス	2009. 03. 01 ～ 2009. 04. 30	異なる文化的背景を持つ人々の社会統合を、価値創造も含めて、都市レベルで探る試みとしての「インターカルチュラル・シティ・プログラム」の一環として、ティルブルク市（オランダ）にて開催される国際会議。同プログラム参加都市の代表のほか、米豪南アなどから研究者が参加。日本からは、北脇保之（東京外国語大学教授）、桜井啓子（早稲田大学教授）が出席。
29	国際会議「国の栄光の時代の想起」	ゲント大学	ベルギー	2009. 03. 18 ～ 2009. 03. 20	歴史的・社会的・民俗学的、またスポーツ研究をベースにしたアプローチにより、日欧米の著名な研究者が集い、スポーツと国民のアイデンティティの関係を討議。

日本研究・知的交流事業に必要な経費

日米センター運営管理費

1. ニューヨーク日米センター事業費
 - (1) 知的交流小規模助成
 - (2) 市民交流小規模助成
 - (3) 教育アウトリーチ小規模助成
 - (4) 日米協会支援
 - (5) 企画開発事業

日米センター運営管理費

1. ニューヨーク日米センター事業費 / (1) 知的交流小規模助成

米国内の新たなニーズに対応した先駆的事業や、米国内の大学・シンクタンク・政府・財団関係者等のアジェンダ・セッティングやネットワーク会合などに機動的に対応し、通常の助成事業の企画開発へとつなげていくために小規模の助成を実施。

合計額 12,381,096 円

	事業名	助成機関	期 間	事業内容
1	坂茂：紙の家、建築による災害救援	メリディアン・インターナショナルセンター	2008.04.01 ~ 2008.05.31	建築家・坂茂氏の取組みをケーススタディとして、持続可能な環境および災害救援における、建築家やデザインの役割に関して議論するシンポジウム
2	第60回日米学生会議	国際学生会議 (ISC)	2008.04.01 ~ 2008.08.31	第60回記念の日米学生会議開催。ラウンドテーブル、パネルディスカッションその他のイベントを通じて日米双方の将来リーダー層の間に相互信頼関係を醸成
3	2008 北東アジア・ジャーナリスト・ダイアログ	東西センター (EWC)	2008.07.01 ~ 2008.11.30	日本、アメリカ、中国、韓国のジャーナリストが北東アジア外交、オリンピック後の中国、6者協議等の動向について議論
4	エネルギーと環境問題：日米関係への示唆	全米日米協会連合 (NAJAS)	2008.11.01 ~ 2009.01.31	米国南部三州において、エネルギーと環境問題が生み出しうる経済機会と日米協働の可能性についてキャラバンセミナーを実施
5	北東アジアの安定確保に向けて	外交問題評議会 (CFR)	2009.02.01 ~ 2009.05.31	北東アジアの安全保障情勢を巡る日米関係者間の意見交換およびそれに基づく報告書の作成
6	日米関係におけるアジェンダの拡大 (成果普及フェイズ)	日本国際交流センター (JCIE米国)	2009.02.01 ~ 2010.09.30	日米の若手研究者による政策提言プロジェクトの成果普及フェイズとして政策提言のディセミネーションを実施
7	日米コーポレートガバナンス会議	北カリフォルニア日本協会	2009.03.01 ~ 2010.02.28	日米の産官学関係者が集まり、日本のコーポレートガバナンスに関する最新動向について議論
8	核の無い世界構築に向けて：日米若手専門家ダイアログ	ヘンリー・スティムソンセンター	2009.03.01 ~ 2009.03.31	日米同盟/不拡散問題の若手研究者によるアジェンダ設定会議の開催
9	太平洋の友情：日米関係の過去・現在・未来	バンダービルト大学	2009.03.01 ~ 2009.05.31	安全保障を巡る環境の大きな変化の中、海賊対策等新しい課題を巡る日米協力のあり方についてセミナーを開催
10	日本-NATO協力関係構築に向けた次のステップ	プロジェクト2049・インスティテュート	2009.03.01 ~ 2010.05.31	NATOと日本の将来連携可能性についての日米欧ダイアログ常設化に向けた調査
11	グローバルな衝撃波：アジア太平洋対話	ノースカロライナ大学チャペルヒル校	2009.03.01 ~ 2009.10.31	京都大学との共同による金融危機メカニズムに関する共同研究立ち上げに向けた準備会合の実施
12	金融危機がアジア及び米国のフィランソロピー・市民社会に及ぼす影響の検証	ジョンズホプキンス大学・第三セクター研究国際協会 (ISTR)	2009.03.01 ~ 2009.11.30	金融危機によるフィランソロピー、市民社会への影響を検討するワークショップの開催

日米センター運営管理費

	事業名	助成機関	期 間	事業内容
13	沿岸マネジメントにおける合意形成過程に関するグローバル・ダイアログ	キーストン・センター	2009.03.01 ~ 2009.12.31	沿岸・海洋資源のマネジメントに関する日米共同研究の実施
14	グローバリゼーション・雇用保護と格差問題	ハーバード大学	2009.03.01 ~ 2010.02.28	雇用法制、規制緩和等をめぐる日本とその他のOECD加盟国間の比較研究を実施
15	バブルと銀行救済、自動車産業の今後：日米比較	ミシガン大学	2009.03.01 ~ 2010.03.31	金融危機対応を巡る日米比較。自動車産業の今後を占うセミナーの実施
16	国際的な債務に対する国際的対応枠組について	カリフォルニア州立大学アーバイン校	2009.03.01 ~ 2010.09.30	米国の過剰債務と金融危機に関するマネジメントの研究（パイロットフェイズ）

1. ニューヨーク日米センター事業費 / (2) 市民交流小規模助成

米国内で開催される日米間の地域・草の根レベルでの交流事業に対し、小規模の助成を実施。

合計額 3,814,520 円

	事業名	助成機関	期 間	事業内容
1	持続可能な姉妹都市交流のために：日米パートナーシップ・モデルを考える	シスターシティ・インターナショナル	2008.06.01 ~ 2008.12.31	米国において、姉妹都市交流の促進活動を行っているシスターシティ・インターナショナルが、日米の持続可能な姉妹都市交流のパートナーシップモデルを構築するため、日本から専門家を招いてパネル・ディスカッションを開催
2	新潟非営利アクション・ツアー	ペンシルヴァニア非営利団体協会 (PANO)	2008.09.01 ~ 2008.11.30	ペンシルヴァニア非営利団体協会が、新潟県の非営利団体を視察すると共に各地で非営利団体の運営・資金調達に関するセミナーを開催
3	「グローバル・ガバナンスの根幹としての市民社会」日米交流及びシンポジウム	ネイバーフッドUSA (NUSA)	2009.03.01 ~ 2009.10.31	住民参加によるコミュニティの活性化に取り組んでいる全米組織のネイバーフッドUSAが、日本に新たに設立された日本コミュニティ政策学会との交流を通じて、日米両国における住民参加の活性化を目指すプロジェクト
4	「居住空間とデザインのスタンダード再考」日米交流プロジェクト	住宅政策市民協議会	2009.03.01 ~ 2009.12.31	ニューヨークの住宅問題解決のために、アドボカシーや政策提言を行っている住宅政策市民協議会が、コンパクトで効率的な居住空間及びデザインを追求している日本の事例に学び、これを米国に普及するための各種イベントを開催

日米センター運営管理費

	事業名	助成機関	期 間	事業内容
5	グローバル・ボランティア交流のための訪日調査	ユナイテッド・プラネット	2009.03.31 ～ 2010.03.31	海外とのボランティア交流やコミュニティレベルの異文化理解事業を行っており、CNNのBeTheChangeプログラムにも紹介された実績のあるユナイテッド・プラネットが日米両国の協力によるグローバルなボランティア交流を促進するため、訪日調査を実施

1. ニューヨーク日米センター事業費 / (3) 教育アウトリーチ小規模助成

米国内で開催される日本理解に資する教育アウトリーチ事業（日本講座や教員向けセミナー等）に対し、小規模の助成を実施。

合計額 8,201,289 円

	事業名	助成機関	期 間	事業内容
1	国連国際映画祭	インターナショナル・シネマ・エデュケーション	2008.05.01 ～ 2008.05.31	ニューヨーク近郊の恵まれない高校生を国連での映画上映会に招待し、国際理解を深めるという「グローバル・クラスルーム」活動の一環として、日本映画「ハンナリ芸者モダン」の上映会に高校生114名を招待。映画上映にあわせて、国連見学ツアーも実施
2	俳句コンテスト	北東部日本語教師協議会	2008.05.01 ～ 2008.08.31	北東部日本語教師協議会が、国連インターナショナル・スクール、国連日本代表部の協力を得て児童・生徒を対象に俳句コンテストを実施。日本語231、英語217、計488作品の応募があり、小、中、高校各分野でそれぞれ賞を授与
3	メンフィス・ボタニカル・ガーデン ジャパン・フェスティバル	メンフィス・ボタニカル・ガーデン	2008.08.01 ～ 2008.10.31	メンフィス・ボタニカル・ガーデン内の日本庭園を利用し、ジャパン・フェスティバルを開催。和太鼓公演や茶道のデモンストレーションを行うと共に、児童・生徒向けのアウトリーチとして、折り紙、紙芝居、俳句などのレクチャーを実施
4	ジャパン・フェスティバル2008	ハート・オブ・アメリカ、カンザス日米協会	2008.09.01 ～ 2008.11.30	日本文化に触れる機会の少ないカンザス市において日本文化を総合的に紹介するジャパン・フェスティバルを開催。フェスティバルでは、太鼓や落語公演等を行うと共に、児童を対象とした折り紙のレクデモや、一般を対象とした現代美術の講演会などのアウトリーチ事業を実施
5	青空劇場	ピエモント芸術協会	2009.01.01 ～ 2009.08.31	ヴァージニア州マーティンズ・ヴィル郡とヘンリー郡において、ピエモント芸術協会が日本の凧及び版画の展示会を開催するにあたり、現地の、主に低所得者層の中・高校生を対象に、日本の凧及び版画制作に関するワークショップを開催

日米センター運営管理費

	事業名	助成機関	期 間	事業内容
6	新しい日本の構築：世紀の変わり目の激動の時代を振り返る	デトロイト&ウィンザー日米協会	2009.01.12 ～ 2009.04.30	幕末から明治にかけて、新しく発行された新聞に掲載された木版画やリトグラフ作品の展覧会をデトロイトで開催するのに合わせて、専門家を招いて一般向けレクチャーを開催
7	桜の植樹と椎茸の植付を通じたアウトリーチ・プロジェクト	ハリファックス郡公立学校グループ	2009.01.05 ～ 2009.05.31	ヴァージニア州ハリファックス郡の児童、農民、一般を対象に、日本の環境を志向した営林・農業技術を伝えるため、桜の植樹と椎茸の植え付けイベントとレクチャーを実施
8	ジャパン・プロジェクト	プライマリー・ソース	2009.02.01 ～ 2009.03.31	主としてニューイングランド地域において、12歳以下の児童を対象に異文化理解事業を行っているプライマリー・ソースが、2009年の京都・ボストン姉妹都市交流50周年記念事業の一環として、ボストン周辺の教師を対象に、日本のアウトリーチに関するトレーニング・ワークショップを開催
9	未来へのチームワーク：チャールストン日本文化紹介事業	チャールストン・カレッジ	2009.02.01 ～ 2009.05.31	チャールストン・カレッジの年少児童能力開発センターの主導により、サウス・キャロライナ州チャールストンの小学校でジャパン・フェスティバルを開催。同時に、日本アウトリーチに関する教師ワークショップ、カリキュラム開発などを実施
10	第一回ヘンドリックス小学校桜祭り	ヘンドリックス小学校	2009.02.01 ～ 2009.05.31	サウスキャロライナ州のヘンドリックス小学校と岐阜県和泉中央幼稚園との交流の成果を踏まえ、同小学校で桜祭りを実施。ゆかたやはっぴの試着、児童との交流事業、北斎複製画の展示等の様々なイベントを通じて、児童のみならず、コミュニティ・レベルでのアウトリーチ事業を展開
11	アニメ・プロジェクト：アニメを活用した日本の教育事業	イリノイ大学東アジア・太平洋研究センター	2009.02.21 ～ 2009.06.30	アジアに関する教育アウトリーチ活動の促進のための研究・教育活動を行っているイリノイ大学東アジア・太平洋研究センターが、日本のアニメーションを活用した教育アウトリーチ・カリキュラムの開発を目的に、教師を対象としたワークショップを開催
12	グローバル・コネクション：日米教育交流事業	コミュニティ・ワークス	2009.02.21 ～ 2009.05.31	第2次世界大戦中の日系人収容キャンプの歴史に対する理解を深めるため、ニューヨークの高校生を対象にワークショップを開催すると共に、日本の高校生との交流事業を実施。同時に、日系人収容キャンプに関するパネル展示を開催
13	第15回ホノルル・フェスティバル	ホノルル・フェスティバル財団	2009.03.01 ～ 2009.04.30	ハワイ州ホノルル市でホノルル・フェスティバルを開催するのにあわせ、アニメ大使のドラえもん映画の上映と縁日紹介イベントを実施。アウトリーチ活動として、現地の12歳以下の児童・生徒を主な対象とするイメージョン・プログラムを用意

日米センター運営管理費

	事業名	助成機関	期 間	事業内容
14	和風と共に新たな高みへ	ローレンス中学校	2009.03.01 ~ 2009.06.05	米国在住の日本人アーティストが、サウス・キャロライナ州ローレンス郡に滞在し、現地の中学校の生徒を対象に、墨絵、折り紙、和風制作に関するワークショップを開催。制作された作品は、凧揚げ大会の際に展示され、広く一般に公開される予定
15	日本の芸術文化アウトリーチ・プロジェクト	マーキス・スタジオ	2009.03.01 ~ 2009.12.31	ニューヨーク在住のアーティストが、多様な人種を抱えるニューヨークのジャクソン・ハイツの公立小学校を対象に、太鼓演奏を中心とした日本文化に関するワークショップを開催
16	放課後日本文化探検プログラム	ニューヨークでボランティア	2009.03.06 ~ 2009.06.30	ニューヨークの日本人コミュニティが参加するボランティア組織である「ニューヨークでボランティア」が、主にワシントン・ハイツの障害を持った児童を対象に、放課後の課外活動時間を利用して、日本文化・社会に関するアウトリーチ活動を実施
17	サクセス・イン・ジャパニーズ	ヒルズボロ郡公立学校グループ	2009.03.09 ~ 2010.03.09	フロリダ州ヒルズボロ郡の公立学校の教師を対象に、日本語・日本文化についての教育アウトリーチ手法に関するトレーニング・ワークショップを開催
18	ピース・プロジェクト	ワールド・トレード・センター記念ビジター・センター	2009.03.15 ~ 2010.03.15	9.11同時多発テロにより破壊されたワールド・トレード・センターの記憶を伝えるために設立されたワールド・トレード・センター記念ビジター・センターが、佐々木貞子の折鶴の寄贈を受けたことを機に、9.11テロや広島への原爆投下のような惨事を二度と起こさないよう平和教育を進めるためのカリキュラム及び教材を開発
19	文楽キャンプ	アイオワ大学国際プログラム	2009.03.31 ~ 2009.07.31	毎年、小中学生を対象に異文化理解のためのサマーキャンプを実施しているアイオワ大学が、プログラムの一環として、アメリカ人の文楽演者を招き、レクチャー・デモンストレーションを行うことによって、日本文化の理解促進を目指すプロジェクト

1. ニューヨーク日米センター事業費 / (4) 日米協会支援

米国における日米協会のネットワーク化とキャパシティ・ビルディングを図り、日米間の地域・草の根交流の担い手としての日米協会を育成するために支援を実施。

合計額 13,409,776 円

	事業名	助成機関	期 間	事業内容
1	地域アウトリーチ&活動センター設立を通じたキャパシティ・ビルディング (第1年次)	テネシー日米協会	2008.07.01 ~ 2009.06.30	テネシー州内での活動を広域化するため、新たにメンフィスとメリーヴィルに地域アウトリーチ&活動センターを設立

日米センター運営管理費

	事業名	助成機関	期 間	事業内容
2	組織評価に基づく中長期戦略の立案	ダラス・フォート・ワース日米協会	2008.08.01 ~ 2009.10.31	外部コンサルタントに依頼し、組織及び活動の現状と課題を分析、これに基づいて中長期戦略及び実行計画を策定
3	メンバーシップ&コミュニケーション・マネージャー確保を通じたキャパシティ・ビルディング (第1年次)	サンディエゴ・ティファアナ日米協会	2008.09.01 ~ 2009.08.31	会員数の拡大及び他団体との連携を強化するため、メンバーシップ&コミュニケーション・マネージャーを新たに採用
4	TRIAJE：日本語教育アウトリーチ・イニシアチブ (第1年次)	ペンシルベニア日米協会	2008.09.01 ~ 2009.08.31	日本語弁論大会、スカラシップ、ジャパン・イン・スクール・プログラムなどの日本語を通じたアウトリーチ・プログラムを強化するため、専属コーディネーターを新たに採用
5	日本フェスティバルの企画・運営に関するベスト・プラクティスの共有とネットワーキング	ワシントンDC日米協会	2008.10.01 ~ 2009.03.31	各地の日米協会が実施している日本関連フェスティバルの企画・運営に関するベスト・プラクティスを収集し、これを共有するためにマニュアルを作成
6	中西部日米協会のネットワーキング	中部オハイオ日米協会	2008.10.01 ~ 2009.09.30	定期会合の開催、共有ウェブサイトの立ち上げ、情報共有等を通じた中西部日米協会のネットワーク形成
7	事業開発ディレクター確保を通じたキャパシティ・ビルディング (第1年次)	ジョージア日米協会	2008.10.01 ~ 2010.06.30	アトランタ市周辺の都市に活動範囲を拡大し、会員数の拡大を図るため、事業開発ディレクターを新たに採用

1. ニューヨーク日米センター事業費 / (5) 企画開発事業

日米間の知的交流・市民草の根交流を促進し、米国内での関係団体とのネットワークを形成し、新たなニーズに即した事業を積極的に企画・開発してゆくために、ニューヨーク日米センターのイニシアチブにより各種事業を実施。

合計額 865,307 円

	事業名	期 間	事業内容
1	南部地域日米協会向けインフォメーション・セッション	2008.01.30 ~ 2008.01.31	南部地域の日米協会関係者が一堂に会し、様々な経験やグッド・プラクティス事例の共有を行うとともに、事業実施の際の相互協力を含むネットワーク形成の可能性を討議

日本研究・知的交流事業に必要な経費

日米交流推進費

1. 人物交流事業費

- (1) 安倍フェローシップ
- (2) 日米センターNPOフェローシップ
- (3) 市民交流支援（日米草の根交流コーディネーター派遣／JOI）

2. 催し等事業費

- (1) 日米交流支援（助成）
- (2) 日米交流支援（主催）

日米交流推進費

1. 人物交流事業費 / (1) 安倍フェローシップ

社会科学・人文科学の分野における質の高い政策研究を促進し、日米の専門家間の新しい協働関係とネットワーク形成を推進するため、学術研究者、各分野の専門家に対しフェローシップを供与する。

合計額 164,695,479 円

	氏名	現職	研究テーマ
■安倍フェロー (13名)			
1	マルガリータ・エステベス-アベ	ハーバード大学行政学部准教授	既婚女性労働の比較政治経済
2	有田 伸	東京大学大学院総合文化研究科准教授	ポスト産業国家における雇用構造変動と社会的不平等：日本・韓国・米国の比較
3	ローレン・イーストウッド	ニューヨーク州立大学ブラッツバーグ校社会学・刑法学部助教授	グローバルな環境ガバナンスにおける市民社会：国連の環境政策審議におけるNGOの参画に関する比較分析
4	エリン・チュン	ジョンズ・ホプキンス大学政治学部助教授	民族民主主義社会における移民の取り込み：オーストリア・ドイツ・日本・韓国における市民権制度と外国籍居住者の政治参画について
5	彦谷 貴子	防衛大学校公共政策学科准教授	多国間軍事作戦における政軍関係
6	上田 路子	カリフォルニア工科大学人文社会科学部助教授	マイノリティーの議会進出とその効果
7	大久保 祐子	シンガポール国立大学博士後研究員	多文化教育のローカル化と中国・ベトナム移民二世－日米比較
8	イン・ホア	コーネル大学デザイン環境学部助教授	ポスト京都時代の低炭素な建設セクター：政策フレームワークの日米比較と排出削減における政策の影響についての研究
9	ロバート・クナップ・ジュニア	エバグリーン州立大学講師	持続可能な商業等施設に関する比較研究
10	三浦 俊章	朝日新聞論説委員	東アジアにおける歴史摩擦－日米関係からの視点
11	サリル・メーラ	テンプル大学ビーズリー法科大学院教授	法に関する文化的認識：インタラクティブなマンガによる実験
12	清水 美香	東西センター客員研究員	アジアにおけるグローバルリスクマネジメント・アプローチのための機構設計：日米のイニシアチブから
13	増島 健	神戸大学大学院法学研究科教授	地域主義のための開発-ヨーロッパ(EU)・南アメリカ(メルコスール)における地域開発政策の政治的動態とそのアジアへの含意

日米交流推進費

	氏名	現職	研究テーマ
■安倍ジャーナリスト・フェロー（4名）			
1	ステファニー・ジリ	「フォーリン・アフェアーズ」誌副編集長	エネルギーを巡る日本・中国・ロシアの三角関係
2	ロブ・シュミッツ	KQEDラジオ ロサンゼルス支局長	より良いエネルギー効率への道：カリフォルニアが日本から学ぶこと
3	布施 哲	テレビ朝日政治部記者	中国海軍の近代化と日米同盟への影響
4	ゴードン・フェラー	フリーランス	アジアの地方自治体による地球温暖化に対する革新的な都市レベルの対策

日米交流推進費

1. 人物交流事業費 / (2) 日米センターNPOフェローシップ

日米間の架け橋となり国際的に活躍できる次世代の人材の育成と、日米両国の非営利セクター間の相互理解の促進とネットワークの拡大強化、国内の非営利セクターの人的基盤強化を目的として、日本の民間非営利セクターに従事する中堅層に、米国のNPOでの中長期の現場経験を通じ、非営利組織のマネジメントに関する研修を行う機会を提供する。

合計額 7,278,852 円

	事業名	現職	受入機関	期間	事業内容
1	鈴木 歩 (第8期)	シーズ=市民活動を支える制度をつくる会 事務局次長	United Way of Central Indiana	2007.08.15 ~ 2008.05.14	ファンドレイジングを実践するための組織運営のあり方を米国の非営利セクターに学ぶ
2	藤原 航 (第8期)	市民社会研究所研究員	Common Ground Community	2007.10.01 ~ 2008.06.30	自立的なNPOセクターの環境整備に関して学ぶ
3	第8期NPOフェロー 帰国報告会			2008.04.01 ~ 2009.03.31	NPOフェロー帰国後、日米センター職員や外部NPO関係者の前で研修の報告を行うとともに、今後の活動について意見交換を実施。各フェローに義務として課し、フェローシップの成果の定着・向上を図るもの。
4	シンポジウム			2008.04.01 ~ 2009.03.31	NPOフェローシップ・プログラムを通じて米国のNPOで研修を積み、帰国後も日本の非営利セクターの第一線で主導的役割を担っているNPOフェローを講師とし、それぞれの経験から米国NPOの知見を複数の地域（名古屋、神戸、和歌山、上越）に紹介するシンポジウムを開催

日米交流推進費

1. 人物交流事業費 / (3) 市民交流支援 (日米草の根交流コーディネーター派遣/JOI)

日本との交流の機会が比較的少ない地域における対日関心の喚起や日本理解の促進、 および、草の根交流の担い手育成を目的に、ボランティアとして草の根交流のコーディネーターを米国に派遣する。コーディネーターは、主に米国南部の日米協会や大学等の地域交流活動の拠点に配置され、学校やコミュニティで、日本の文化、社会、生活、日本語に関する知識や情報を提供し、また日米交流を深めるための活動を展開する。

合計額 30,356,456 円

		派遣者氏名	派遣先機関	派遣期間
1	第5期	小島 祥子	アラバマ日米協会	2006.08.01 ~ 2008.07.31
2	第5期	織田 美千子	ベサニー大学	2006.08.01 ~ 2008.07.31
3	第5期	木谷 公子	モリカミ博物館	2006.08.01 ~ 2008.07.31
4	第6期	山田 悠花子	クロフト・インスティテュート・フォー・インターナショナル・スタディース	2007.08.01 ~ 2008.07.31
5	第6期	西脇 笑子	ウェスタン・カロライナ大学	2007.08.01 ~ 2008.07.31
6	第6期	松下 佐智子	メンフィス大学国際プログラム&サービスセンター	2007.08.01 ~ 2008.07.31
7	第6期	山崎 和子	ハリファックス公立学校区	2007.08.01 ~ 2008.07.31
8	第6期	増田 環	多文化教育のローカル化と中国・ベトナム移民二世－日米比較	2007.08.01 ~ 2008.07.31
9	第7期	鈴木 和子	バージニア大学東アジア言語文学文化学部	2008.07.29 ~ 2009.02.28
10	第7期	服部 聖	ジョージア大学アジア研究センター	2008.07.29 ~ 2009.07.28
11	第7期	萩島 光男	南フロリダ大学国際センター	2008.07.29 ~ 2009.07.28
12	第7期	福崎 恵子	ケンタッキー大学アジアセンター	2008.07.29 ~ 2009.07.28

日米交流推進費

2. 催し等事業費 / (1) 日米交流支援 (助成)

日米両国の研究機関、大学等が行う政策指向の共同研究や、セミナー、シンポジウム等の知的対話を支援する。

合計額 183,034,403 円

	事業名	助成機関	期間	事業内容
1	「日本史をイメージする」教材開発・普及事業 (2年目)	コロラド大学ボルダー校	2008.03.01 ~ 2009.06.30	中等教育レベルを対象とした日本に関する教材開発・普及事業。世界のナショナル・スタンダードに合わせ、歴史と社会科のカリキュラムに芸術史を組み込み、世界史の授業で使用可能な教材を開発。日本の6つの時代 (平安、中世、徳川、明治、20世紀初頭、戦後) のアートが対象
2	「認知症患者と介護者へのケアの質的向上：日米草の根交流ネットワーク構築」 (2年目)	ミシガン大学老年医学センター	2008.04.01 ~ 2009.03.31	認知症患者と介護者をめぐる環境の改善を目指し、日米の介護関係者が知見を交換し、認知症ケアに関する日米草の根パートナーシップを構築するプロジェクト。2007年8月に1週間、米国 (アンアーバー) に日米の専門家・実務者が集い、認知症政策に関する情報交換会議を実施。2008年10月には東京で同様の会議とサイトビジット・シンポジウムを開催。会議結果は政策提言としてまとめ、政策立案者、関係機関に冊子を配布
3	「平成20年度安全保障研究奨学プログラム」	財団法人 平和・安全保障研究所 (RIPS)	2008.04.01 ~ 2009.03.31	日本における若手の安全保障専門家の育成を目的として、選考された奨学プログラム生に対して、夏期集中セミナー、定例セミナー、合同セミナーの実施を内容とする教育プログラム。プログラム終了後は、研究論文を執筆し、最終論文発表会で発表
4	「エネルギー安全保障イニシアチブ及び客員フェロープログラム」 (1年目)	ブルッキングス研究所	2008.07.01 ~ 2009.06.30	日米共同で主要国のエネルギー利用による温室効果ガスの排出に伴う気候変動を分析。中国の急速な経済成長に焦点を当て、エネルギー資源の確保と温室効果ガス排出抑制のために中国が果たすべき役割と政策を提言。また日本人1名を客員フェローとして招へいし、論文を執筆し、発表。3年計画事業の1年目
5	名古屋アメリカ研究夏期セミナー	南山大学	2008.07.01 ~ 2009.03.31	グローバル化が急速に進展する今日的な問題の共有と解決の共同作業、また来るべき地球化社会で真に共有されるべき倫理構築の共同作業の必要性に鑑み、日米を機軸に好ましい国際関係を築き得る人材育成を急務と捉え、米国、アジア、オセアニア諸国の研究者及び大学院生による討論、発表会を通じ米国研究の国際化と将来の指導的人材の国際的ネットワークを構築

日米交流推進費

	事業名	助成機関	期間	事業内容
6	「大戦略の中の日米同盟が近隣諸国との関係で果たす役割」	中央大学	2008.09.01 ～ 2009.03.31	対近隣諸国外交で日米同盟が果たすべき役割を提言する事業。近隣諸国を①中国、台湾、②韓国、北朝鮮、③ロシア、④アセアン諸国と限定した上で、日米同盟の性格づけを(a)同盟終焉、(b)和而不同、(c)有志連合、(d)運命としての同盟と4通り設定して分析。2009年1月に専門家会議を開催
7	「パブリック・ドメイン資料のフェア・ユース促進のための研究フォーラム・クリエイティブ・ソサエティの持続的発展を支えるために」	慶應義塾大学デジタルメディア・コンテンツ統合研究機構	2008.09.01 ～ 2009.03.31	日本やアジア諸国で遅れているとされる「パブリック・ドメイン」や「フェア・ユース」の定義明確化およびガイドラインの設定を目指し、2009年1月に日米に加え韓国などから関係者を招き、東京で公開シンポジウムを行なうプロジェクト
8	「日・米国際ワークショップ『核の脅威の低減にむけて：日米協力の可能性』」	明治学院大学国際学部附属研究所	2008.09.01 ～ 2009.03.31	核廃絶への具体的な道筋模索のため、日米の科学者、国際政治学者、政策担当者、実務家、NGO関係者らを集め、核兵器に依存しない安全保障に移行するための条件や道筋、原子力平和利用をめぐる新たな多国間管理構想等について検討、極東地域版「フーバープラン」作成を目指す事業。2009年1月に専門家会議を開催
9	「21世紀の日米韓中関係」	太平洋フォーラム（戦略・国際問題研究所）	2008.09.01 ～ 2009.08.31	日米韓中間の更なる相互信頼の構築を可能とする、実践的な提言及びアプローチの発展を目的として、四カ国間の対話構築を行い、相互不信の原因分析を図るプロジェクト。専門家による会議に加えて、米国及びアジアの学生・若手研究者を参加させ、人材育成も図る事業
10	「難民支援に関する日米・アジア・オセアニアのネットワーク作り～難民の自立支援を中心に～」	特定非営利活動法人難民支援協会	2008.09.01 ～ 2009.11.30	これまで難民支援ネットワークが希薄であったアジア太平洋地域における市民主導の難民自立支援のあり方を検討し、NGO/NPO、法律家、難民等多様な関係者間でベストプラクティスの共有やネットワーク構築を目指すプロジェクト。2009年6月に東京でシンポジウムを、10月にバンコクでワークショップを実施
11	「文化資産を活用した災害復興・経済再建」	神戸とニューオーリンズのジャズ交流実行委員会	2008.10.01 ～ 2009.03.31	大規模な都市災害を経験した神戸市とニューオーリンズ市がジャズという共通の音楽文化を用いて被災地の再活性化や人々の心の癒しに取り組んだ経験や災害復興過程における文化芸術の役割について2008年10月から2009年2月にかけて両市のコミュニティリーダー、市議員、芸術家、学者など様々な立場の関係者による対話を行なうプロジェクト
12	「復興支援日米市民交流会議」	復興支援コンサート実行委員会	2008.10.01 ～ 2009.03.31	阪神淡路大震災の被災体験及びその復興過程から学んだ創造的まちづくりや被災者の心の癒しを支援する「こころの復興」について、2008年11月にサンフランシスコにて講演会及びワークショップを、2009年1月に日米中の関係者によるシンポジウムを神戸で開催

日米交流推進費

	事業名	助成機関	期間	事業内容
13	「日米国際貿易の新展開様式の数量的分析」(1年目)	ミシガン大学	2008.10.01 ~ 2009.03.31	多国籍企業が生産工程のうち組み立て作業など労働集約的な部分を開発途上国に輸出(外注)する日米にも共通して見られる国際貿易形態の構成要素を定量的に測るためのメソッドとデータの開発に新たに取り組む、世界貿易や海外直接投資の将来発展の予測、自由貿易協定の影響力の測定、効果的な貿易政策の策定などに役立てることを目指す日米共同研究。2年計画事業の1年目。
14	「ローカルフードネットワークによる地域社会醸成」(1年目)	カンザス・ルーラル・センター	2008.10.01 ~ 2009.09.30	「有機農業」を切り口に日米双方の地域社会が直面する持続可能性の問題に取り組む日米NP0の交流プロジェクト。カンザスと埼玉の農業関係者および専門家による相互訪問、知見の交換ならびにワークショップ等を実施。2年計画事業の1年目。
15	「建築の専門性および専門教育に対するグローバル・プレッシャーへの対応」	カリフォルニア大学ロサンゼルス校	2008.10.01 ~ 2009.09.30	グローバリゼーションの影響によって専門教育に欧米主導のスタンダード化が推進されている建築分野の課題について、グローバリゼーションと建築、文化、専門教育の関係を検証し、各分野の専門家によるパネル形式で2009年7月に東京で国際会議を実施
16	「紛争後の安全保障と外交の強化：日米の平和構築戦略における資源管理・インフラ再整備」(1年目)	エンバイロンメンタル・ロー・インスティテュート	2008.10.01 ~ 2009.09.30	紛争収拾後の、関係当事者間による天然資源マネジメントおよびインフラ整備事業を融合させることで平和構築プロセスにどのように効果的に寄与するか、ケーススタディに基づき共同研究・政策提言を行う3年間プロジェクト。ニューヨークと東京で研究成果や提言をテーマにした国際シンポジウムを開催。1年目は2009年5月にニューヨークで国際シンポジウムを開催。3年計画事業の1年目。
17	「海上キャパシティ・ビルディングについての国際会議」	ミシシッピ州立大学(CISS)	2008.10.01 ~ 2009.09.30	貿易やエネルギー輸送のための海上水路の安全確保のため、海洋安全保障をテーマに、インド洋～西太平洋沿岸諸国の国際協調や海上警備のあり方、課題・対策について日・米・豪・中・韓・シンガポール等の専門家を集結して2009年6月にミシシッピ州立大学にて2日間にわたる国際シンポジウムを開催
18	「アジアをつなぐ：アジアにおける協調的フレームワークのための米日戦略」(1年目)	米国戦略国際問題研究所	2008.10.01 ~ 2009.03.31	アジア太平洋諸国の地域秩序と日米関係について分析、政策提言を目指す。広範なコンセンサスや将来の組織的枠組み議論の推進、地域枠組み及びモデルを提案。日・印・米3カ国戦略対話のアイデアを紹介し、アジアの政治の安定、経済の開放、民主主義、法の支配、グッド・ガバナンス、アジアにおける民主主義の機能形成の鍵となる行動指針を提案。3年計画事業の1年目。

日米交流推進費

	事業名	助成機関	期間	事業内容
19	「社会起業の地域モデルの拡散を通じた、社会イノベーションの普及に関する研究プロジェクトおよびシンポジウム—日米事例の比較を通じて」	慶應義塾大学	2008.10.01 ~ 2010.02.28	社会起業（ソーシャル・イノベーション）の分野において特定地域での成功事例を他地域に現地適合させ展開・普及（スケールアウト）させる上での課題と対策を検討するプロジェクト。
20	「アジア安全保障におけるロシアの役割：日米対話」	ニクソン・センター	2008.11.01 ~ 2009.03.31	オイル景気を背景にしたロシアの強気の外交や中露の接近がアジアの安定における日米関係にも影響を与える可能性があるなかで、中露関係、上海協力機構における参画、六者会議における関与、アジアにおけるロシアの役割などを検証し、対露関係における日米協力のアプローチの提案を目的とするプロジェクト
21	HIV/AIDSの治療や予防に取り組む人々の日米草の根交流プロジェクト(2年目)	パブリック・ヘルス・インスティテュート	2007.11.01 ~ 2009.03.31	日米でHIV/AIDSの治療や予防に取り組む、研究者や実践家たちによる2年間の交流事業。日米の研究者とNPO関係者等実践者の知見の交換を実施
22	「日米の計量モデルによる政策分析」	日米・世界モデル研究所	2008.11.01 ~ 2009.10.31	米国のサブプライムローンによる金融不安や日本のデフレによる不安定な世界経済の景気後退に政策的に対応し、再活性化に貢献するため、日米の計量モデル（データベース）を補強・改善して、為替レート変動、貿易自由化、財政・金融政策等のシミュレーション分析を行う事業。専門家会合やシンポジウムを2009年1月と9月の2回東京で開催
23	「精神保健福祉政策の形成及び実施においてNPOが果たすべき役割と日米のNPOの相互連携がもたらす効果についての国際比較研究」（1年目）	特定非営利活動法人自律支援センターさぼーと	2008.11.01 ~ 2009.10.31	精神障害者の権利擁護や生活・社会参加支援を目的として、どのような発言や運動を行うことが公共政策に有意義な影響を与えることができるかの解明を目指すプロジェクト。日米比較調査・資料収集、シンポジウム・ワークショップ、NPOの社会的認知度の向上とスタッフ養成の実践的試行、提言のまとめ、成果発表を行なう2年計画事業の1年目。
24	「台頭する中国とインド：日米にとって挑戦か好機か」（1年目）	外交問題評議会	2008.12.01 ~ 2009.11.30	グローバルな課題における中国とインドの台頭を分析し、両国が国際関係マネジメントに及ぼす影響を解明。さらに、現代の国際的なパワーシフトと、日米の政策選択のリンクを研究。日米の官民両セクター方針決定者に、協力の機会に関する政策関連指針を提供することを目指す事業。3年計画事業の1年目。
25	「アジアの海洋安全保障：挑戦と選択」（1年目）	アメリカン・エンタープライズ研究所	2008.12.01 ~ 2009.11.30	アジアにおける海洋環境の変化と、そうした変化が日米の地域力学にもたらすインパクトを検証。アジア諸国の海洋安全における潮流や課題を認識し、海軍能力の情報提供や技術革新の調査、海洋保全を促進する政策提言を行う事業。2年計画事業の1年目。

日米交流推進費

	事業名	助成機関	期間	事業内容
26	「中国・広東省の持続可能な発展に向けた教育」(1年目)	インスティテュート・フォー・サステイナブル・コミュニティズ	2008.12.01 ~ 2009.11.30	中国における持続可能な発展に向けた教育(Education for Sustainable Development)の開発・普及を目的とする3年間プロジェクト。日米のNPOが主体となり、相互訪問・相互学習を通じて日米中のネットワークを形成し、広東省に適したカリキュラムを開発・試行し実践モデルを提案する協働事業。3年計画事業の1年目。
27	CARTプロジェクト	カートプロジェクト事務局	2009.03.01 ~ 2009.03.31	日本、米国、中国、東南アジアから第一線のジャーナリスト、メディア関係者、研究者が会し、日米関係の強化に資する重要な政策課題や問題領域に関して、トラックII形式で会議を実施。中国やインドの台頭を念頭にアジアを舞台にした日米共通の課題を見出し、その解決についてジャーナリスト的な視点で討議
28	日米研究インスティテュート設立国際シンポジウム	日米研究インスティテュート	2009.03.05 ~ 2009.04.30	「日米研究インスティテュート」設立にあたり、日米間の課題を広く問題提起し、その解決策・日本の取るべき道などにつき京都大学、慶應義塾大学、東京大学、立命館大学、早稲田大学の日米研究者たちによる基調講演、意見交換、マスメディア報道を通じて、当インスティテュートの設立意義を広める会議を2009年3月に日本で開催
29	ブリュッセル・フォーラム	ジャーマン・マーシャル・ファン ド	2009.03.01 ~ 2009.06.30	米欧を中心としたハイレベルの政府関係者や有識者、グローバル企業経営陣等が参加する、非常に発信力の高いフォーラム。本年のフォーラムでは、米新政権と欧州、ロシアとの対話、移民問題、気候変動問題、テロ対策、食料安全保障、新たな金融体制、金融危機、エネルギー安全保障、ボスニア情勢、ウクライナ情勢、アフリカ情勢等について討論
30	「グローバル経済の開放性と日米間のパートナーシップ」(1年目)	ランド研究所	2009.03.01 ~ 2010.02.28	地球規模の信用収縮に直面する世界経済において、とくに多角的開放性(multilateral openness)という観点から、開かれた貿易・投資政策を構築するための日米の環境整備や、ワールドワイドにも有益な両国の協力体制につき研究提言する。省エネ自動車など、日米で開放性や経済競争力を維持することにより技術開発が促進される可能性のある分野にフォーカスすると同時に、貿易のマイナス面を緩和する施策を模索。2年計画事業の1年目。
31	「太平洋エネルギー・サミット」	全米アジア研究所	2009.03.01 ~ 2010.03.31	拡大するエネルギー需要とそれに伴う環境問題への対策をテーマに、日米ならびにアジア太平洋諸国から専門家や有識者を集めた「太平洋エネルギーサミット」を2009年11月に東京で実施

日米交流推進費

2. 催し等事業費 / (2) 日米交流支援 (主催)

日米間の知的交流を推進するために、セミナー・シンポジウム等を開催する。

合計額 44,453,964 円

	事業名	共催・協力機関	期間	事業内容
1	マンスフィールド財団との協働事業評価	モーリーン・アンド・マイク・マンスフィールド財団	2008.04.01 ~ 2008.09.30	日米センターは、マンスフィールド財団と共催で過去3回(平成17年度~19年度)にわたりシンポジウムを実施。今後の関与・継続の是非を検討するにあたり、日米の外部専門家に評価を依頼し、インタビュー・ヒアリング調査等を実施。
2	日本-日系人交流促進プロジェクト		2008.04.01 ~ 2009.03.31	在米日系人社会と日本との相互理解を促進し、日米の長期的な関係強化を目的に、全米各地から、多様な分野で活躍する在米日系人13名を2~3月に10日間招聘。外務省との共催により、東京、京都、沖縄にて各界の日本人との対話、歴史文化視察、公開シンポジウムを実施。前年度(2008年3月)に福岡市で開催のシンポジウムの報告書を日・英両語で作成し、関係機関に配布
3	米国の東アジア専門家との対話と日米関係の将来的展望	財団法人日本国際交流センター	2008.07.01 ~ 2009.03.31	米国知識層におけるアジアへの関心がどの程度米国政策形成に影響を与えているか、日米が共同でアジアに関与してゆく上での主要課題について考察。成果については報告書を刊行
4	日米青年政治指導者交流プログラム	財団法人日本国際交流センター	2008.08.01 ~ 2009.03.31	日米の若手政治家、政治家政策秘書、政党スタッフ等、両国の将来の政治指導者となる人材の交流を行ない、政策形成過程と密接に関わる政治の世界における日米理解と対話を促進し、二国間関係の基盤を整備する。日米の共催・協力機関との連携の下、超党派による米国人青年政治指導者(8名)の本邦への招へいを実施
5	第4回日米中会議	外務省	2008.09.21 ~ 2008.09.24	本会議は、米国の外交政策研究所ならびにニュー・ワールド・インスティテュート、中国の上海国際問題研究所、そして日本国際問題研究所が共催して、2004年から行なっている会議。今回で4回目となる本会議は、変貌していく世界に噴出する問題群に対し、日、米、中の3カ国が如何に強制的に対処していくことができるか、そのための関係を如何に築いていくことができるかを検討することを目的として実施

日米交流推進費

	事業名	共催・協力機関	期間	事業内容
6	米国若手指導者ネットワーク・プログラム	外務省	2008.10.04 ～ 2008.10.11	日米知的交流事業の一環として、将来、米国の外交政策及び世論形成過程に関与し得る、次世代の対日関心層の拡大を目的とした本邦招へい・対話事業。米国の若手・中堅パブリック・インテレクチュアル6名を日本に8日間招へいし、政・官・財・学・メディア等各界リーダーとの意見交換や、ネットワーク形成の機会を提供。最新の日本の政治経済社会に関するレクチャーや歴史文化に触れる地方視察も実施
7	新米国安全保障研究所 (CNAS) セミナー	外務省	2008.10.14 ～ 2008.10.15	本ワークショップは、カート・キャンベル元国防次官補等が中心となって設立した新米国安全保障研究所 (CNAS) が7月に立ち上げた「日米同盟タスクフォース」が報告書を執筆するに当たり、日米二国間関係のみならず、国際社会が直面する幅広い課題について意見交換を行なうことを目的として開催
8	日米韓トラック1.5会議	外務省	2008.11.20 ～ 2008.11.21	日米韓それぞれで、可能な限り政府と一定の関係を持っているシンクタンク (米国：平和研究所 (USIP)、韓国：外交安保研究院 (IFANS)、日本：財団法人世界平和研究所 (IIPS)) が共催者となり、日米韓各国の議会関係者並びに各国政府 (国防・外交関係省庁) の課長級の参加を得て、国際情勢、外交、安全保障等についてトラック1.5レベルでワシントンD.C.において意見交換を行うことを目的に会議を開催
9	米国における日系企業の社会貢献活動 (CSR) の調査	特定非営利活動法人パブリックリソースセンター	2007.12.04 ～ 2009.03.31	日本及び日系企業に対するイメージ向上と親日層の拡大を目的として2006年より開始した調査事業。これまで中国、韓国、インド、マレーシア、メキシコ、英国、フランス、ドイツにて在外日系企業が行っている社会貢献活動に関する調査を実施。民間企業との連携強化および日米交流事業の新たなアイデア構想と一層の拡充のため、在米日系企業の社会貢献活動の実態把握をするべく、今般米国においても調査を実施
10	文化による災害からの復興・防災に関する日米協力事業		2009.02.01 ～ 2009.02.08	2009年2月、防災教育・心のケアなどに焦点を当てて、アート等を用いて斬新な取り組みを行ってきた日本のNGO、教育者やメディア関係者を、ニューオリンズ及び、防災分野で米国をリードしてきた西海岸 (ベイエリア) に1週間程度派遣。2005年のハリケーン・カトリーナに端を発する復興交流の発展形として、日米の専門家・市民団体が、双方の教訓やクリエイティブな知見を学び合い、今後の協力の可能性を探るために対話を実施

日米交流推進費

	事業名	共催・協力機関	期間	事業内容
11	パシフィック・カウンシル2009 メンバーズ・ウィークエンド 「米国新大統領の外交政策課題」	外務省	2009.03.06 ～ 2009.03.07	1995年に外交問題評議会の米国西海岸におけるパートナーとして設立されたパシフィック・カウンシルのメンバー向け会合として開催される2日間にわたる催し。メンバーは西海岸のみならず、米国全土、カナダ、メキシコ及び太平洋沿岸諸国に広がっており、政策決定者、オピニオン・リーダー等約300名が参加

調査研究および情報提供事業等に必要経費 情報センター事業費

1. 催し等事業費
 - (1) 国内連携促進

2. 文化資料事業費
 - (1) 定期刊行物
 - (2) 年次報告
 - (3) インターネット
 - (4) JFサポーターズクラブ

3. 調査研究費
 - (1) JFIC事業
 - (2) 国際交流顕彰事業（基金賞・奨励賞）
 - (3) 国際交流顕彰事業（地球市民賞）

4. その他
 - (1) 後援名義の付与

情報センター事業費

1. 催し等事業費 / (1) 国内連携促進

国内の国際交流活動の振興と国際交流団体のネットワーク化を目的とした各種セミナーを開催する。

合計額 1,492,461 円

	事業名	共催・協力機関	期間	事業内容
1	仙台クリエイティブフォーラム 「交差するクリエイティブ・パワー」	仙台市経済局、宮城県立美術館	2008.04.01 ~ 2009.03.31	国際交流基金の国内連携事業の一環として、海外のメディア・フェスティバル関係者を招へいして国際フォーラムを開催。仙台市とその隣接する地域では、映像メディア、現代アート、建築、デザインなどのクリエイティブな活動を軸に、街を再生しようとする動きが高まっており、仙台を拠点とするクリエイターたちが世界に進出し始めている。同様な活動を行っている海外のネットワークとつながり、情報やノウハウの共有とともに人的なネットワークを広げることを目的として開催。
2	フェスティバル参加	あーすフェスタかながわ実行委員会、グローバルフェスタ2008実行委員会、ワン・ワールド・フェスティバル実行委員会、ワールド・コラボ・フェスタ実行委員会	2008.04.01 ~ 2009.03.31	全国各地で開催される国際交流フェスティバルにてブース出展、セミナーを実施。神奈川（あーすフェスタかながわ）、東京（グローバルフェスタ）、大阪（ワン・ワールド・フェスティバル）、名古屋（ワールド・コラボ・フェスタ）に協力。

情報センター事業費

2. 文化資料事業費 / (1) 定期刊行物

国際文化交流に関する専門誌『をちこち（遠近）』（和文）を、隔月にて発行する。

合計額 40,760,106 円

	事業名	部数	事業内容
1	をちこち（遠近）22号	7,000	テーマ「遠くて近い ブラジル」 2008年4月1日発行
2	をちこち（遠近）23号	7,000	特集テーマ「翻訳がつくる日本語」 2008年6月1日発行
3	をちこち（遠近）24号	7,000	特集テーマ「変わりゆくインドネシア」 2008年8月1日発行
4	をちこち（遠近）25号	7,000	特集テーマ「世界を結ぶアート」 2008年10月1日発行
5	をちこち（遠近）26号	7,000	特集テーマ「イギリスの底力」 2008年12月1日発行
6	をちこち（遠近）27号	7,000	特集テーマ「世界の研究者が見つめるNIPPON」 2009年2月1日発行
7	をちこち（遠近）28号	7,000	特集テーマ「多様性を繋ぐドナウ」 2009年4月1日発行
8	をちこち（遠近）29号	7,000	特集テーマ「世界と出会う歌舞伎」の刊行準備（2009年6月1日発行）

情報センター事業費

2. 文化資料事業費 / (2) 年次報告

年度ごとに国際交流基金の活動について総括・報告する年報を発行する。

合計額 15,993,342 円

	事業名	事業内容
1	和文・英文年報2007	国際交流基金の2007年度（平成19年度）事業に関する和文年報（9,000部）および英文年報作成（5,000部）の作成、送付。
2	事業実績	国際交流基金2006年度（平成18年度）事業に関する事業実績の作成

2. 文化資料事業費 / (3) インターネット

ウェブサイト、eメールマガジンを通じて、公募プログラムガイドライン等も含めた国際交流基金の各種事業や、国際文化交流に資する情報提供を行う。

合計額 18,110,421 円

	事業名	事業内容
1	国際交流基金ウェブサイトの運営	国際交流基金の事業に関する情報、公募事業の案内および申請書類、その他お知らせ等をインターネット上で提供。 URL : http://www.jpfi.go.jp/
2	メールマガジン	国際交流基金の事業に関する情報をメールマガジン（和・英）で配信。
3	ブログ	国際交流基金の事業に関する告知や報告をブログで公開。
4	動画配信	ウェブサイト上で国際交流基金の実施した公演、展覧会、セミナー・シンポジウム等の映像ファイルを公開。

情報センター事業費

2. 文化資料事業費 / (4) JFサポーターズクラブ

国際交流基金事業への支援者を対象として、国際文化交流事業に参加してもらうことを目的としたJFサポーターズクラブを運営する。

合計額 4,363,306 円

	事業名	事業内容
1	JFサポーターズクラブの運営及びイベントの実施	JFサポーターズクラブ会員への広報をする場として、また新規会員獲得の場として、国際交流基金事業に関連するトークイベント、講演会、コンサート、国際交流基金附属日本語国際センター授業見学会などを実施。

3. 調査研究費 / (1) JFIC事業

国際文化交流に関する情報の照会及び日本に関する情報の照会に対応するための情報センターを運営する。

合計額 45,678,489 円

	事業名	事業内容
1	JFICライブラリーの運営	国際交流基金の実施事業に関する出版物や事業ファイル、国際文化交流・文化政策に関する図書資料、外国語で書かれた日本紹介図書・映像資料などを所蔵（図書32,454冊、雑誌300冊、視聴覚資料618点、マイクロ資料1,738点）。研究者はもとより国際文化交流に関心のある幅広い利用者に情報を提供している。国際交流基金本部の移転に伴い、2008年7月22日より再開。

3. 調査研究費 / (2) 国際交流顕彰事業 (基金賞・奨励賞)

学問、芸術その他の文化活動を通じて、国際文化交流に特に顕著な貢献があった個人、団体等に対しその功績を顕彰する。

合計額 22,899,985 円

	種別	受賞者	現職	対象国	受賞理由
1	国際交流基金賞 (文化芸術交流部門)	マルコ・ミュラー	ヴェネチア国際映画祭 ディレクター	イタリア	欧州の主要な国際映画祭のディレクターとして、日本をはじめとするアジアの優れた映画を見出して積極的に紹介し、日本映画の豊かさを広く海外に知らせることにより、世界の新たな文化創造に大きく貢献した功績を称え、国際交流基金賞(文化芸術交流部門)を授与。
2	国際交流基金賞 (日本語部門)	アンジェラ・ホンドゥル	ヒペリオン大学言語学部 日本語・日本文学科 教授	ルーマニア	ルーマニアにおける日本語教育の草創期より長年にわたり、教師、教科書執筆者、研究者として日本語普及を積極的に行うとともに、日本の近現代文学のルーマニア語への翻訳を通して日本文化の紹介に大きく貢献した功績を称え、国際交流基金賞(日本語部門)を授与。
3	国際交流基金賞 (日本研究部門)	ケネス・パイル	ワシントン大学歴史学部 同大ヘンリー・ ジャクソン・スクール 教授	米国	日本近・現代史を中心とした学術研究において多大な業績を挙げるとともに、日本研究学術誌の編集委員長や日米関係の各種委員会の要職を務め、米国における対日理解、日本研究の発展と日米の学術交流に大きく貢献した功績を称え、国際交流基金賞(日本研究部門)を授与。

3. 調査研究費 / (3) 国際交流顕彰事業 (地球市民賞)

国内各地で行われている地域に根ざした国際文化交流活動のモデルとして、広く参考になる先導的な活動を行なっている国内団体、個人を顕彰する。

合計額 11,180,414 円

	受賞者	都市	受賞理由
1	特定非営利活動法人 S-AIR	北海道札幌市	1999年の創設以来これまでに世界27カ国から57名の若手芸術家などを受け入れ、地域に滞在しながら創作活動を行う「アーティスト・イン・レジデンス」事業を毎年継続して実施し、地域に世界のアートを紹介するとともに、国内外のアーティストとの独自のネットワークを築いてきている。またアーティストが小学校に滞在しながら創作し、アートを教育の現場に持ち込むことによって子どもたちの感性をはぐくむ「アーティスト・イン・スクール」事業、「冬」を取り上げたアート・フェスティバルの企画など、子どもたちや市民とのつながりを重視しながら、地域に根ざした文化交流事業の先進的な例となる活動を行っている。
2	特定非営利活動法人 大泉国際教育技術普及 センター	群馬県大泉町	人口の約1割がブラジル人という大泉町において、ブラジル人学校に通う子どもたちが自信をつけられるよう、学習成果と自分の得意な演奏やパフォーマンスを発表するブラジル青少年フェスティバルを開催。ブラジル人と地域住民が相互に文化を教えあう事業など交流促進と相互理解を深める事業や、日本語学習の支援事業なども展開し、ブラジル人の子どもたちの健全な育成のために日本での生活に必要な言語、習慣、文化の習得を図り、また多文化の共生を積極的に生かすコミュニティの実現に向けて活動を行っている。
3	スキヤキ・ミーツ・ ザ・ワールド実行委員 会	富山県南砺市	地域の若者を中心に、普段なかなか触れる機会のないアジア、アフリカ、中南米などの音楽を紹介する「スキヤキ・ミーツ・ザ・ワールド」フェスティバルを1991年より毎年開催し、海外アーティストと地域の住民や子どもたちが交流する体験型のワークショップも企画するなど、異文化とのさまざまな出会いの場を意欲的につくりだし発展させてきている。このような活動のなかから、地域住民による世界の民族音楽を演奏するグループも誕生し、海外にも派遣されるなど、地域を拠点に世界への発信をもめざした国際的な広がりをもった文化活動を地域に根付かせてきている。

4. その他 / (1) 後援名義の付与

合計額 0 円

	承認年度	事業名	実施国	主催者	期間	事業内容
1	19	第3回 中国日本語スピーチコンテスト	日本、中国	日本経済新聞社	2008. 04. 01 ~ 2008. 07. 14	日本語スピーチコンテスト。中国の8都市で予選を行い、中国人大学生16人を選び、日本に招いて本選を実施。同時に日本の政界・財界人や大学生たちとの交流を実施。
2	19	日本さくら (SAKURA) in Vietnam	ベトナム	財団法人日本・ベトナム文化交流協会	2008. 04. 05 ~ 2008. 04. 06	「よさこいストリートパフォーマンス」、春、桜をテーマにした絵画、写真、展示、日本の観光ポスター展示、伝統芸コーナー等ベトナム国民に日本文化体験の機会を提供。
3	19	第4回香港中高生日本語スピーチコンテスト	香港	香港日本語教育研究会	2008. 04. 13	香港の中高校生の日本語学習を奨励するために行なう日本語スピーチコンテスト。優勝者を、7月に日本のNPOが行う海外高校生日本語スピーチコンテストへ派遣。
4	19	第14回日本・インドネシア美術文化展覧会 (東京展)	日本	インドネシア美術研究会	2008. 04. 18 ~ 2008. 04. 24	インドネシアと日本の相互理解を深め、両国作家の相互研鑽と交流を図る目的で行う国際美術展。ジャカルタと東京で隔年に実施し、2008年は、東京で開催。
5	19	愛知県立芸術大学アーティスト・イン・レジデンス「『メンデルスゾーン・スペシャル2008』<2009メンデルスゾーン誕生200年に先駆けて、J. ヴォルフガング・ヤーン氏とともに>」	日本	愛知県立芸術大学	2008. 04. 20 ~ 2008. 05. 01	アーティスト・イン・レジデンスプログラムで滞日中のJ. ヴォルフガング・ヤーンが中部地域および愛知県立芸術大学生に向けてメンデルスゾーン作品鑑賞の機会を提供。
6	19	ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン	日本	東京国際フォーラム	2008. 04. 29 ~ 2008. 05. 06	「シューベルトとウィーン」をテーマに、シューベルトおよび彼と同時代のウィーンで活躍した作曲家たちを特集したコンサートを開催。
7	19	世界麺フェスタ 2008 in さぬき	日本	世界麺フェスタ 2008 in さぬき実行委員会	2008. 05. 02 ~ 2008. 06. 15	「シルクロードは麺ロード」をキーワードに、観光振興、文化振興および国際交流を目的に、シルクロード沿いの国々の食、音楽、民族舞踊などの専門家を招いて市民との交流の機会を提供。
8	19	あーすフェスタかながわ 2008	日本	あーすフェスタかながわ2008実行委員会	2008. 05. 17 ~ 2008. 05. 18	神奈川県在住の外国人およびNGO等が企画運営し、ディスカッション、ワークショップ、公演等を通じて「多文化共生・国際理解」について考える機会を提供。

情報センター事業

	承認年度	事業名	実施国	主催者	期間	事業内容
9	19	平山郁夫シルクロード展	日本	読売新聞東京本社	2008.05.21 ~ 2008.06.28	日仏修好通商条約締結150周年を記念して、日本画壇を代表する平山郁夫の個展を開催。
10	19	第29回世界アマチュア囲碁選手権	日本	財団法人日本棋院	2008.05.28 ~ 2008.05.31	69カ国・地域から69名の代表選手が参加し、スイス・システムによる個人対局を行い、世界アマチュア・ナンバー・ワンを決定。
11	19	第9回大阪国際音楽コンクール	日本	大阪国際音楽振興会	2008.06.01 ~ 2008.10.13	ピアノ・弦楽器を学ぶ小学校3年生以上、管楽器・声楽を学ぶ中学生以上の者の音楽コンクールを実施。ファイナルでは、賞を付与すると共に、演奏の場を提供。
12	19	日中平和条約締結30周年記念 日中友好・女声合唱団「黎明」公演	中国	日中友好・女声合唱団「黎明」	2008.06.04 ~ 2008.06.10	中国・済南において開催される国際女性文化フェスティバル（一般市民2万人が集うパレード、交流音楽会）で、「黎明」が公演。
13	19	ブラジル映像祭&ハイビジョン機器展	ブラジル	NHKインターナショナル	2008.06.06 ~ 2008.06.22	「日伯交流年」および地上デジタル放送開始年を記念して、映像祭による日本文化の紹介と、機器展による日本のハイビジョン技術をブラジル国民に広く紹介。
14	19	ミュージック・マスタートーズ・コースinかずさ2008	日本	ミュージック・マスタートーズ・コースinかずさ実行委員会	2008.06.08 ~ 2008.06.27	講師陣が世界各国の受講生と合宿生活を送り、国際交流をしながら、室内楽を中心としたクラシック音楽の国際集中セミナーを実施。
15	19	和リーグ「タタク旋律 弾むオトダマ」	日本	株式会社インベックス	2008.07.17	世界各国の打楽器により新たなリズムの融和を図ることで、国際文化交流や異文化理解を促進。
16	19	第29回霧島国際音楽祭	日本	財団法人ジェスク音楽文化振興会	2008.07.18 ~ 2008.08.03	日本およびアジアの若手音楽家を対象とした、マスタークラスと演奏会を開催。
17	19	第1回とやま世界こども舞台芸術祭	日本	とやま世界こども演劇祭実行委員会	2008.07.31 ~ 2008.08.05	子供の創造性を陶冶し、国際的な文化交流と友好親善に資することを目的に、子供のための芸術研修（舞台公演及び研究・討論）を実施。異文化の尊重と、芸術の共感・感動を通して人間性の育成を図った。
18	19	第12回広島国際アニメーションフェスティバル	日本	広島国際アニメーションフェスティバル実行委員会	2008.08.07 ~ 2008.08.11	国境や言語を越えて人類共通のメディアであるアニメーション芸術を通じ、「愛と平和」を希求する祭典。コンペティション（公開審査）、作品上映会、アニメーション関連の展示等を行った。
19	19	こどもとおとなへの音楽の贈り物 バルトーク・ベーラ作曲『児童と女声のための合唱曲集』全曲演奏会	日本	福島コダーイ合唱団	2008.08.11 ~ 2008.08.12	バルトーク・ベーラ『児童と女声のための合唱曲集』が日本でも多くの人々によって歌われることを願って、全曲演奏会を行った。

情報センター事業

	承認年度	事業名	実施国	主催者	期間	事業内容
20	19	日韓若手音楽家交流コンサート	日本	日韓若手音楽家交流コンサート from Switzerland	2008.08.27 ~ 2008.09.01	日本人、韓国人の若手音楽家によるパイプオルガン等のコンサートを行ない、両国間の更なる理解、文化交流を図った。
21	19	平成20年度日本語教育能力検定試験	日本	財団法人日本国際教育支援協会	2008.10.19	日本語教員となるために学習している者、日本語教員として教育に携わっている者等を対象に、その知識および能力が日本語教育の専門家として必要とされる基礎的水準に達しているかどうかを検定する試験を実施。
22	19	日仏交流150周年・源氏物語千年紀公演「GENJI（六條御息所）」	フランス、日本	関西テレビ放送株式会社	2008.10.29 ~ 2009.02.22	源氏物語千年紀（2008年11月）に際し、日本の伝統芸能である能楽と邦楽の共演による新作舞台芸術をパリで紹介。演目は世界最古の小説である源氏物語にちなんだ新作「GENJI（六條御息所）」。京都、東京でも上演。
23	20	『昆虫記』刊行100年記念日仏共同企画『フェアブルにまなぶ』展	日本	日仏共同企画『フェアブルにまなぶ』展実行委員会	2007.07.01 ~ 2008.11.30	仏昆虫学者フェアブルによる『昆虫記』刊行後100年を機に、フェアブルの業績紹介とこの100年間の昆虫学および関連分野の研究の進展と現状を概観する展示会を日仏共同開催。国際交流および自然科学の啓発と普及に貢献することを目的に実施。日本の博物館5館（北海道大学総合博物館、国立科学博物館、北九州市立いのちのたび博物館、滋賀県立琵琶湖博物館、兵庫県立・人と自然の博物館）で開催。
24	20	クムホ・アジアナ杯「話してみよう韓国語」高校生大会	日本	財団法人国際文化フォーラム	2008.06.14	日本の高校生が韓国語と韓国文化に対する関心を高め、韓国語による表現力や伝達力を向上させることを目的としたスピーチ・コンテストを開催。
25	20	2008金沢工業大学/米国図書館・情報振興財団 図書館・情報科学に関する国際ラウンドテーブル会議	日本	学校法人金沢工業大学	2008.07.10 ~ 2008.07.11	「e-サイエンス」を主題に、この領域で最も先進的な活動を行っている米国議会図書館、大学図書館および研究調査図書館における事例を中心にした会議を開催。
26	20	渋沢栄一賞実施事業	日本	埼玉県	2008.07.01 ~ 2009.02.28	多くの企業の設立や育成に携わる一方で、福祉や教育などの社会事業にも尽力した渋沢栄一翁の業績をたたえ、渋沢栄一翁の精神を今に受け継ぐ健全な企業活動を営むとともに社会貢献活動が顕著な企業または企業経営者に渋沢栄一賞を授賞。

情報センター事業

	承認年度	事業名	実施国	主催者	期間	事業内容
27	20	国際将棋フェスティバル2008 in 天童	日本	社団法人日本将棋連盟	2008.11.07 ~ 2008.11.09	天童市市制50周年の祝賀行事として「国際将棋フェスティバル」を天童市と共催。国際観光都市としての一面を持つ天童市より将棋を世界に発信し、国際交流と国際親善を進めていくため、「将棋の日」と「国際将棋トーナメント」を中核とした記念行事を実施。
28	20	日本中国写真文化交流協会展「2008中国」	日本	NPO法人日中写真文化交流協会	2008.06.26 ~ 2008.12.20	日中文化交流促進のため、2008年に日中の写真家が世界遺産・故宮（北京）で撮影した作品による共同写真展を開催。
29	20	中国5大学への朝日新聞記事データベース無償提供事業	中国	社団法人日本中国友好協会	2008.06.30 ~ 2010.06.30	中国の主要5大学（北京大学、精華大学、北京外国語大学、中国人民大学、北京師範大学）の日本語学科で学ぶ大学生たちに朝日新聞記事データベース「聞蔵（きくぞう）」を2年間無償で提供。
30	20	第2回日比NGOシンポジウム「ミレニアム開発目標に向けてのフィリピン貧困層のエンパワメント～日比NGOのパートナーシップ構築～」	日本	アジア・コミュニティーセンター 21	2008.07.17 ~ 2008.07.19	日比両国のNGOをはじめとする市民社会セクター間のパートナーシップ関係を構築し、長期協働計画をたて、フィリピン社会の貧困層のエンパワメント（地位向上）に寄与することを目的に、本シンポジウムを東京で開催。
31	20	第1回 日本語体験コンテスト in ホーチミン	ベトナム	財団法人共立国際交流奨学財団	2008.08.30	ベトナムのホーチミン市近郊で日本語を学習する大学・高校生を対象に、日本の地理・政治等に関するクイズを行い、予選通過者に即興で日本語でスピーチ(3分間)を行ってもらい、入賞者を「夢・日本体験賞（6泊7日）」に招待
32	20	第49回海外日系人大会	日本	財団法人海外日系人協会	2008.10.01 ~ 2008.10.03	海外在住日系人が母国で一堂に会し、居住国の実情を日本に知らせ、併せて国際交流、国際理解、国際親善を深め、世界の対日理解の促進と強化を図った。
33	20	第30回記念 日本文化デザイン会議 2008	日本	日本文化デザインフォーラム	2008.06.14 ~ 2008.07.14	第30回記念日本文化デザイン会議2008の開催
34	20	上海民族楽団日本公演	日本	株式会社NHKプラネット中部	2008.11.11 ~ 2008.11.15	上海民族楽団の日本初公演に際し、5年間に渡り同楽団の精鋭6人とユニットを組んでコンサート活動を開催してきた雅楽師東儀秀樹を特別ゲストに迎えて実施。
35	20	第30回びあフィルムフェスティバル	日本	びあ株式会社	2008.07.19 ~ 2008.07.25	「映画の新しい才能の発見と育成」をテーマに全国の映画監督を目指す、アマチュアを対象に1997年から継続して開催している映画祭

情報センター事業

	承認年度	事業名	実施国	主催者	期間	事業内容
36	20	第5回「国際理解短歌コンテスト」	日本	中部大学国際関係学部	2008.07.01 ~ 2008.09.30	中部大学国際関係学部では「世界の平和を人々の幸せ」をテーマに、2004年から毎年度「コンテスト」を実施し、これまでに18,903首の応募があった。2008年も引続きコンテストを開催し、日本の真の国際化に向けた更なる貢献を行う。
37	20	ノーベル文学賞受賞者 オルハン・パムク氏講演会「表現の可能性」 —京都精華大学 人文 学部総合人文学科開設 記念—	日本	京都精華大学	2008.05.18	オルハン・パムクの独自の表現世界を高校生や一般市民に広く公開し、国境や言語の枠組みを越えた普遍的な文学表現の可能性について考える機会を設けることを目的とする。 自著の随筆集『Other Colors』をトルコ語で朗読の後、文学表現とイメージ表現との関係に関する講演を実施。
38	20	日仏友好コンサート	日本	日仏友好コンサートを 開催する会	2008.09.12 ~ 2008.09.13	日仏修好通商条約（1858）及び横浜開港（1859）150周年を祝い、更なる文化創造のため、日本とフランスの演奏家による友好コンサートを開催。
39	20	夏期教員ワークショップ	日本	武蔵野市国際交流協会	2008.07.29 ~ 2008.07.31	「学校と地域をつくる国際理解教育」をテーマに、地域に暮らす外国人やNGOとの協働での授業づくりを推進することを目的に、国際理解教育の理念・理論および参加型学習の手法や実践事例を紹介しながら、教員が授業実践のイメージを獲得できる場を提供。
40	20	“サムルノリ”誕生30周年 記念・日本公演	日本	有限会社 プラネット アーツ	2008.06.25 ~ 2008.07.04	韓国が誇る世界的な打楽器集団「サムルノリ」の誕生30周年を記念した日本公演
41	20	第21回 JAPAN TENT —世界留学生交流・い しかわ2008—	日本	JAPAN TENT開催委員会	2008.08.21 ~ 2008.08.27	国際社会の未来を担う世界各国・地域からの留学生を石川県に招き、国際交流を図るとともに、若者達の夢と希望、そして日本の社会・文化・生活などについて意見を交換する
42	20	チャイニーズ・ドリーム in 丸の内 - 中国 現代美術展	日本	株式会社ツァイト・ フォト	2008.08.08 ~ 2008.08.21	8月に開催される北京五輪に合わせ、世界の注目を集めている中国現代美術を、油絵を中心にした約30点の作品で紹介。
43	20	第45回全国国際教育研究 大会 埼玉大会	日本	全国国際教育研究協 議会	2008.08.21 ~ 2008.08.22	「持続可能な発展のための教育活動（Education for Sustainable Development）」を大会テーマに、基調講演、研究発表「留学生への日本語指導～持続的発展を支える地球人の育成」、「NHK教育テレビ『エリンが挑戦！にほんごできます』を通して」、分科会「埼玉県高校生世界円卓会議」「日本人としてどう生きるか」に加え、高校生英語弁論大会、留学生日本語弁論大会を実施。

情報センター事業

	承認年度	事業名	実施国	主催者	期間	事業内容
44	20	ヘレニズムの華ペルガモンとシルクロード	日本	財団法人 中近東文化センター	2008.09.06 ~ 2009.06.15	ベルリンのペルガモン博物館所蔵の作品を中心に、ヘレニズム文化の最も栄えた都市の一つペルガモン（トルコ北西部）、特に大祭壇、そしてドイツのカール・フーマンによるペルガモン発掘に焦点を当てた展示会。同時に平山郁夫コレクションのガンダーラ仏教美術の優品や平山氏の水彩画を展示、遠く日本にまで影響を及ぼした世界文化ヘレニズムの東漸の流れ、そのダイナミズムを追う。
45	20	丹波の森国際音楽祭 シューベルティアード たんば 2008	日本	丹波の森国際音楽祭 シューベルティアード たんば実行委員会	2008.09.07 ~ 2008.11.09	丹波地域からシューベルトの音楽を通じた地域交流・国際交流のなお一層の推進を図るため、音楽祭を開催。
46	20	第34回全国語学教育学会年次国際大会	日本	特定非営利活動法人 全国語学教育学会	2008.10.31 ~ 2008.11.03	第二言語・外国語としての言語教育の理論と実践を様々な角度から大会参加者と共に考える。語学教育専門家を招へいし、大会テーマに沿った基調講演を行う
47	20	第10回語学留学生の祭典「進学・就職・国際フェア」	日本	日本語学校ネットワーク	2008.10.22	大学・専門学校の学校紹介ブース、企業ブース、各国の文化紹介ブースを設け、日本語学校卒業後の進路を広く学生に紹介。また、国際交流および日本を理解する場を提供。
48	20	第24回東京千楽会定期演奏会	日本	東京千楽会	2008.09.27	地歌箏曲の普及とその発展を目的とする演奏会。2008年度の国際交流基金内田フェローシップのフェロー、ロージー・リー博士作曲の作品を初演。
49	20	福岡県民セミナー「日韓文化紹介の軌跡—5年間の歩み—」	日本	九州大学韓国研究センター	2009.01.30	過去5年間実施してきた県民セミナーに区切りをつけることとなり、今後の更なる日韓文化交流及び相互理解の促進を期して、これまでに紹介してきた様々な日韓共通の文化を一堂に集めて紹介した。
50	20	福岡県民セミナー「韓の国、風の舞」	日本	九州大学韓国研究センター	2008.10.24	伝統音楽と結合して成立している舞踏の紹介は、日本における韓国文化理解の上でも極めて重要であると考えた。日韓の舞踏講師を迎え、舞踏を通して日韓の文化をより身近に感じてもらおうと、今回のテーマを選んだ。
51	20	第30回ぎふアジア映画祭	日本	ぎふアジア映画祭実行委員会	2008.11.29 ~ 2008.12.06	アジア各国の映画を上映することによって、その国の文化風習などに触れる機会を提供し、アジアの文化交流を深める場とした。また、上映作品の関係者によるゲストトーク等の企画も合わせて実施。

情報センター事業

	承認年度	事業名	実施国	主催者	期間	事業内容
52	20	芸術と生活の根—李朝の興—	日本	京都造形芸術大学	2008. 11. 28 ～ 2008. 12. 23	比較芸術学研究センターのテーマである「芸術と生活」から、韓国文化に焦点をあてて展示、研究を行う。財団法人出羽桜美術館所蔵作品の中から〔白磁・文具・酒器・虎と生物〕に関係する約65点を展示し、李朝時代に生きた人々の芸術と生活に触れ、その時・その場所に生きた人の思想を探る機会を提供。
53	20	第15回大阪ヨーロッパ映画祭	日本	大阪ヨーロッパ映画祭実行委員会	2008. 11. 01 ～ 2008. 11. 30	15周年目の大阪ヨーロッパ映画祭を開催。これまで延べ30カ国の制作国が参加し、ヨーロッパの現在を伝え、映像技術面や内容の充実した作品を上演してきた。映画上映の他、ヨーロッパの映画関係者をゲストとして招き、観客との交流の場を設けた。
54	20	第21回東京国際映画祭	日本	財団法人日本映像国際振興協会	2008. 10. 18 ～ 2008. 10. 26	日本の映画・映像分野における文化と産業の発展への寄与と国際交流の促進を目的としており、上映企画としてコンペティション部門、アジアの風部門、日本映画・ある視点部門などが行われ、シンポジウム、セミナー等も開催。
55	20	第33回ジャパンウィーク 2008年フランス・ストラスブール	フランス	財団法人国際親善協会	2008. 11. 22 ～ 2008. 11. 27	市民レベル、地域レベルでの文化・スポーツをはじめとする多岐にわたる交流を通じて、日本とフランスとの友好親善、相互理解を促進し、さらに両国の地域社会づくりへの貢献を目指した。
56	20	池田卓アコースティックライブ in 吉祥寺	日本	有限会社古典空間	2008. 09. 22	八重山諸島・西表島出身の唄者・池田卓による島唄、及びオリジナル曲のライブ。国際交流基金主催事業として派遣された中東公演の報告ライブとしても位置づけ、都会で暮らす人たちに、離島の生活や人々の想いを”音楽というフィルター”を通して伝え、現代社会と未来への光明を見出す一助となることを目指した。
57	20	第15回陝西省大学生日本語弁論大会（第5回日本語教育セミナーイン西安；第4回日本企業説明会）	中国	社団法人全国日本学生会	2008. 10. 18 ～ 2008. 10. 19	国際交流と日本語普及事業を目的に、西安の著名大学の代表者の参加を得て陝西省政府と共催で行う中国・西北地域唯一の日本語弁論大会。日本から水谷修（名古屋外国語大学学長）始め審査員4名を派遣。3部門の優勝者3名を2009年4月14日～23日、日本に招へい。併せて、派遣教授による西安地域の日本語教師を対象とした日本語教育セミナーも開催。

情報センター事業

	承認年度	事業名	実施国	主催者	期間	事業内容
58	20	第24回北太平洋国際フォーラム	日本	社団法人北太平洋地域研究センター	2008. 10. 06	「北太平洋地域協力の行方-ロシアの新政権と極東戦略」と題して公開フォーラムを実施。パネリストとして谷内正太郎（外務省顧問）、袴田茂樹（青山学院大学教授）等を迎え、モデレーターは木村汎（拓殖大学客員教授）が務めた。
59	20	第7回 大垣国際招待ポスター展	日本	日本国際ポスター美術館	2008. 10. 25 ～ 2008. 12. 20	ポスターを通じ、世界の最近のポスター文化に接し、国際親善・文化理解に役立つことを目的として開催。世界で活躍中のアーティスト68人（18カ国）から最新作のポスターを収集し寄せられた作品218点の中から142点を厳選して展示。
60	20	2008 東京・中国映画週間	日本	日中友好映画祭実行委員会	2008. 10. 18 ～ 2008. 10. 22	東京国際映画祭の提携企画として映画祭「2008 東京・中国映画週間」を開催。中国映画の新作・話題作 8本をシネマメディアージュと東京都写真美術館ホールの2会場で上映。併せてセミナー・講演等を開催。
61	20	第20回留学生秋のスポーツフェア	日本	特定非営利活動法人留学生スポーツ交流協会	2008. 10. 13 ～ 2008. 11. 24	日本滞在中の外国人留学生と日本人青年・学生が一堂に会し、スポーツ及び文化の紹介を通じて交流し合い、国際理解を深め、留学生等の日本滞在を支援。
62	20	第95回日本エスペラント大会	日本	財団法人日本エスペラント学会	2008. 10. 11 ～ 2008. 10. 13	一つの言葉による対等な国際（民族）交流を目指し、国際共通語エスペラントの実践者である日本のエスペランチストが年に一度集まり、過去、現在、未来の活動について討論し、交流・親睦を深める催し。 国内・外からの外国人の参加者も交え、国際交流、地域との交流に努めた。
63	20	第11回京都国際学生映画祭	日本	財団法人大学コンソーシアム京都	2008. 11. 22 ～ 2008. 11. 28	国内外の学生映画を発掘・上映して、学生映画をより一般市民に広めたいというコンセプトを基に学生が企画運営を行っているイベント。今回は、国内外の学生映画を紹介するコンペティションプログラムと現役のプロ映画監督の学生時代の作品を上映する特別プログラムを実施。
64	20	ドメスティックアートプロジェクト四方山荘成果展覧会『自家生成美術醸造展』	日本	ドメスティックアートプロジェクト四方山荘実行委員会	2008. 11. 01 ～ 2008. 11. 11	今回はキューバとアメリカからアーティストをレジデンシーアーティストとして招へいし、約1カ月間の滞在制作を経た後、成果物による展覧会を開催。家におけるアートの在り方を軸に、招へいアーティストの滞在制作、アーティストトークやワークショップを実施。 レジデンシープロジェクト終了後にドキュメントアーカイヴとしてカタログを制作。

情報センター事業

	承認年度	事業名	実施国	主催者	期間	事業内容
65	20	第3回中国語スピーチコンテスト	日本	特定非営利活動法人立命館孔子学院	2008. 12. 07	中国語教育の促進、中国文化の理解の促進及び奨学生派遣のための選考の機会としてスピーチコンテストを開催。高等生、大学生及び一般部門を設け、中国語学習者の持続的な努力を励まし、中国語運用能力の一層の向上を図った。
66	20	エイズ・アウェアネス・ジャズ・コンサート2008	日本	レッド・シューズ・ファンデーション	2008. 11. 30 ~ 2008. 12. 03	エイズに携わる医師・医療関係者、国際協力NGO、国際機関、アフリカ大使などによる講演・パネル討論（第1部）と、中村照夫&ライジング・サン・バンドによるジャズライブ演奏（第2部）を東京都、愛知県、大阪府、山口県で実施。若者にエイズについてのアウェアネス（気づき）の機会を提供。国連大学・世界銀行が共催。
67	20	第24回北方圏国際シンポジウム『オホーツク海と流氷』	日本	北方圏国際シンポジウム実行委員会	2009. 02. 15 ~ 2009. 02. 20	「オホーツク海と流氷」、「地球温暖化と海況、漁況」に関する国際的研究発表の他、市民向けの森林や農業を軸とした環境問題についての公開講座も開催。
68	20	文化遺産を通じて国際貢献を推進するシンポジウム「私の文化遺産再発見」	日本	文化遺産国際協力コンソーシアム	2009. 01. 18	市民向けの国際シンポジウムを開催し、我が国の文化遺産国際協力の内容、その効果等について周知し、国民の理解促進を図った。
69	20	第18回 日中友好の声 日本語中国語弁論大会 / 第4回 日中友好の声 日本語弁論グランドチャンピオン大会	中国	日中友好の声日本語・中国語弁論大会 実行委員会	2009. 02. 28 ~ 2009. 03. 01	日中両国の若者たちがお互いの国の言葉を理解することで友好を促進することを目的に、大学生による日本語・中国語の弁論大会を実施。「私の大事なもの」をテーマに、北京・天津首都圏大会および全中国日本語弁論グランドチャンピオン大会を天津外国語学院で開催。

調査研究および情報提供事業等に必要経費

企画・評価費

1. 調査研究費

- (1) 調査研究
- (2) 事業評価（企画評価）

企画・評価費

1. 調査研究費 / (1) 調査研究

国際交流の促進に資する各種調査研究を行ない、成果を広く内外に公開する。

合計額 66,666 円

	事業名	期間	事業内容
1	シンポジウム「今日の世界における国際文化交流の意義」	2009. 1. 26	英国と日本の公的な国際文化交流機関であるブリティッシュ・カウンシルのチーフエグゼクティブの来日を機に、国際交流基金理事長による基調講演、専門家とのパネルディスカッションを通して、日英のこれまでの取組みをレビューし、今後の国際文化交流のあり方を議論。

1. 調査研究費 / (2) 事業評価（企画評価）

国際交流の促進に資する各種調査研究を行ない、成果を広く内外に公開する。

合計額 1,944,062 円

	事業名	期間	事業内容
1	評価に関する有識者委員会	2008. 04. 01 ~ 2009. 03. 31	国際交流基金の業務について、各年度終了後に行う自己評価の妥当性、評価方針、方法ならびに評価結果を踏まえた基金の業務の改善について、有識者の助言を得るための委員会を開催。
2	専門評価	2008. 04. 01 ~ 2009. 03. 31	平成19年度業務実績報告書の客観性と信頼性を高め、改善点等を把握するため、事業プログラムごとに外部専門家による評価を実施。
3	横浜トリエンナーレ評価	2008. 04. 01 ~ 2009. 03. 31	横浜トリエンナーレ2008に関する来場者アンケートを実施し、その結果を分析。

調査研究および情報提供事業等に必要な経費

文化事情調査費

1. 調査研究費

(1) 文化事情調査

文化事情調査費

1. 調査研究費 / (1) 文化事情調査

国際交流基金の総合的企画立案機能強化の一環として、相手国別に文化事情を調査し、また、当該国と日本との文化交流において国際交流基金が果たすべき役割等につき、方針を策定する。

合計額 3,222,789 円

	事業名	対象国	期間	事業内容
1	海外アドバイザー	韓国 イラン 南アフリカ	2008.04.01 ~ 2008.05.31	韓国、南アフリカ、イランのアドバイザーに対して、文化情報収集業務を委託。
2	日越文化交流フォーラム報告書作成	ベトナム	2008.04.01 ~ 2009.03.31	対ベトナム文化交流事業の基礎的資料とするため、2008年3月にベトナムで開催された日越文化交流フォーラム（日越の政府関係者、文化関係者が集まり日越文化交流について議論）の会議議事録および関連資料を報告書にまとめて印刷し、関係者に配布。

調査研究および情報提供事業等に必要経費
国際文化交流研究センター事業費

1. 調査研究費
 - (1) 調査研究

国際文化交流研究センター事業費

1. 調査研究費 / (1) 調査研究

国際文化交流研究センターを設置し、国際文化交流に関する基礎的・理論的研究、実証的研究、情報の収集等の事業を実施するために基盤・体制を整備し、主要プロジェクトを軌道に乗せる。

合計額 17,289,182 円

	事業名	期間	事業内容
1	国別評価手法開発	2008.04.01 ~ 2009.03.31	国際文化交流事業の成果、課題、今後のニーズ等を国別の観点から評価する手法を研究。平成20年度は、ドイツにおける評価調査を実施するとともに、データを各種の計量的、定性的分析技法で分析。
2	「平和構築と文化」研究	2008.07.10 ~ 2009.03.31	青山学院大学と国際交流基金との提携により、同大学内に設置した「国際交流共同研究センター」において、研究員を中心に「平和構築と文化」をテーマに研究活動を行い、有識者による講演会（ランチタイムセミナー）（7回）、ゲーテ・インスティトゥートとのラウンドテーブル、及び、有識者による文化イニシャティブ・ラウンドテーブルを開催。また、平和構築アクター調査結果に基づき「平和の為の文化イニシャティブの役割（中間研究報告）」を作成。
3	「地域活性化と国際交流」研究	2008.07.10 ~ 2009.03.31	青山学院大学と国際交流基金との提携により、同大学内に設置した「国際交流共同研究センター」において、研究員を中心に「地域活性化と国際交流」をテーマに研究活動を行い、有識者によるシンポジウム「国際文化フェスティバルと地域社会へのインパクト」を開催。
4	「主要文化交流機関の比較」研究	2008.07.10 ~ 2009.03.31	青山学院大学と国際交流基金との提携により、同大学内に設置した「国際交流共同研究センター」において、研究員を中心に「主要文化交流機関の比較」をテーマに研究活動を行い、ブリティッシュ・カウンシル及びゲーテ・インスティトゥートを取り上げ、先行研究調査や海外出張によるインタビュー調査を実施。また、両機関に関する専門家によるランチタイムセミナーを2回開催。
5	研究紀要刊行	2008.07.10 ~ 2009.03.31	青山学院大学と国際交流基金との提携により、同大学内に設置した「国際交流共同研究センター」において、研究員を中心に行う国際交流研究プロジェクトの成果及び外部専門家による論文・報告を掲載した紀要「Peace and Culture」を500部作成。

在外事業に必要な経費

京都支部

1. 京都支部

海外事務所

1. ローマ日本文化会館
2. ケルン日本文化会館
3. パリ日本文化会館
4. ソウル日本文化センター
5. 北京日本文化センター
6. ジャカルタ日本文化センター
7. バンコク日本文化センター
8. マニラ日本文化センター
9. クアラルンプール日本文化センター
10. ニューデリー日本文化センター
11. シドニー日本文化センター
12. トロント日本文化センター
13. ニューヨーク日本文化センター
14. ロサンゼルス日本文化センター
15. メキシコ日本文化センター
16. サンパウロ日本文化センター
17. ロンドン日本文化センター
18. ブダペスト日本文化センター
19. モスクワ日本文化センター
20. カイロ日本文化センター

※ベトナム日本文化交流センターの事業費については「日本語普及事業に必要な経費／日本語事業費／1. 日本語企画調整費／
(4) ベトナム日本文化交流センター」(147ページ) 参照

京都支部

京都支部

合計額 19,478,535 円

(1) 主催・共催事業

【公演】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	トラディショナル・シアター・トレーニング2008	京都市	大江能楽堂	京都芸術センター	2008.08.11	日本の伝統芸能を象徴する能、狂言、日本舞踊の習得を志して京都を訪れる海外の演劇分野の日本研究専門家や学生を対象として、京都芸術センターが毎年夏に行っている日本の伝統芸能集中講座。3週間にわたる集中的な稽古指導を受けた参加者たちが、その成果を市民に披露する発表会を京都支部が京都芸術センターと共催で実施。
2	国際交流のタペー能と狂言の会	京都市	京都観世会館	財団法人 片山家能楽・京舞保存財団 社団法人 京都観世会	2008.10.24	京都をはじめとする関西地域に滞在中の外国人（国際交流基金フェロー、関西国際センター研修生、海外からの留学生、関西の各国総領事館員等）に、日本の伝統文化にふれてもらう機会を提供することを目的として、毎年秋に開催。1974年から実施し、2008年度で第35回目。演目は、狂言/大蔵流 茂山 千五郎「濯ぎ川」、能/観世流 片山 清司「葵上 梓之出 空之祈」

【講演・シンポジウム】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
3	2008年度 第1回フェローセミナー	京都市	京都国立近代美術館	京都国立近代美術館	2008.06.14	国際交流基金フェローのGalyna SHEVTSOVA（ガリーナ・シェフツォバ：ウクライナ/2007年度基金フェロー）が日本滞在中の研究成果をセミナー形式で発表。テーマは「ウクライナと日本の木造建築の系譜と共通点」
4	2008年度 第2回フェローセミナー	京都市	財団法人京都府国際センター	財団法人京都府国際センター	2008.07.02	国際交流基金フェローのJohn BREEN（ジョン・ブリーン：英国/2007年度基金フェロー）が日本滞在中の研究成果をセミナー形式で発表。テーマは「近江・日吉大社山王祭」
5	2008年度 第3回フェローセミナー	京都市	京都精華大学交流センター	京都精華大学	2008.07.11	国際交流基金フェローのChomnard SETISARN（チョムナード・シティサン：タイ/2007年度基金フェロー）が日本滞在中の研究成果をセミナー形式で発表。テーマは「闘牛とクモ合戦にみる日本人の動物遊戯の文化」
6	2008年度 第4回フェローセミナー	京都市	アーバネックス御池ビル東館2階		2008.11.21	国際交流基金フェローのRAKOTOMANANA, S. Ambinintsoa（ラクトマナナ・アンビニンツァ：マダガスカル/2008年度基金フェロー）が日本滞在中の研究成果をセミナー形式で発表。テーマは「日本のテレビCMとマダガスカルのテレビCMの比較」

京都支部

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
7	2008年度 第5回フェローセミナー	京都市	アーバネックス御池ビル東館2階		2008. 11. 25	国際交流基金フェローのMEHDI, Syed Sikander (サイド・シカンダール・メイディ: パキスタン/2007年度基金フェロー) が日本滞在中の研究成果をセミナー形式で発表。テーマは「イスラム社会における平和の構築: 平和博物館の潜在的な役割」

【映画】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
8	外国語字幕付き日本映画上映会	大阪市	財団法人大阪国際交流センター	財団法人大阪国際交流センター	2009. 01. 16 ~ 2009. 03. 20	日本の生活や文化を映画を通して外国人に紹介することを目的として日本の劇映画の名作をシリーズで上映。2009年1月16日に『東京物語』、2月20日に『嫌われ松子の一生』、3月20日に『男はつらいよ望郷篇』を上映。

【図書館運営】

	事業名	期間	事業内容
9	国際交流情報コーナー (図書室を含む) 運営	2008. 04. 01 ~ 2008. 12. 19	外国語による日本研究書ならびに基金刊行物を中心に収集、提供。利用者は関西地区在住の外国人日本研究者、芸術家など。2008年12月19日にて閉館。所蔵図書に関しては、国際交流基金本部JFICライブラリー、国際交流基金関西国際センター図書館、京都市国際交流会館図書館、龍谷大学図書館等に移管及び寄贈。

(2) 助成・協力事業

【後援事業】

	事業名	実施国	主催機関	期間	事業内容
10	若者と学ぶ源氏物語とその世界	日本	京都文化創生実行委員会	2008. 06. 01 ~ 2008. 11. 29	大学と地域の連携・交流を図りながら、若者と他世代府市民が、日本が世界に誇る文学作品「源氏物語」とその背景となる社会的・文化的状況に関する理解を深めるために開催。講座/全8回: 2008. 6. 1~9. 28 (会場: 同志社大学、同志社校友会新島会館、平安会館)、シンポジウム/1回: 2008. 10. 12 (会場: 新島会館)、公演/3回: 2008. 11. 28、29 (会場: 京都府立府民ホールアルティ)
11	国際文化フォーラム	日本	財団法人京都府国際センター	2008. 07. 05	日本の国際協力活動を広く一般市民に紹介する催し。(二部構成) 映像、音楽、語りを融合させたパフォーマンスにより幅広い一般市民を対象に国際協力についての理解を深めること、また、活動への参加の契機となりうることを目的として開催。第一部: 地球のステージ「医師の目から見た世界の現実と希望」講師: 桑山紀彦 第二部: パネルディスカッション 各パネラーの国際協力活動について語るとともに、今後の国際協力のあり方についての意見交換。

京都支部

	事業名	実施国	主催機関	期間	事業内容
12	京都市日中青少年交流 京都市少年合唱団・杭州市愛楽天使合唱団交流演奏会	日本	特定非営利活動法人立命館孔子学院	2008.07.30	日中の青少年交流を目的とし、杭州市より愛楽天使合唱団50名を招いて、京都市少年合唱団との合唱交流会を開催。2008年「日中青少年友好交流年」認定事業。
13	第60回毎日書道展関西展外国人作品解説会	日本	財団法人 毎日書道会関西支部	2008.08.09	書の国際化の流れを受け、2008年8月6日～8月10日に開催する第60回毎日書道展関西展において、8月9日に外国人を対象として英語を交えた作品解説会を開催。関西在住の外国人留学生、研究者等が、日本の伝統文化の一つである書を理解する一助とすることを目的に実施。
14	第3回『チェロ&ピアノ デュオリ サイタル京都公演』	日本	京都国際交流フォーラム	2008.09.07	京都市・パリ市との姉妹都市50周年を記念して、パリ在住の音楽家夫妻を招へいし、両市の文化的な交流を深めるために開催。
15	2008京都国際文化協会エッセーコンテスト《私の見た日本》	日本	財団法人京都国際文化協会	2008.09.28	日本に在住する外国籍の人々から、日本やその文化、社会、習慣、人々との交流などについて、自らの文化との対比、あるいは経験に基づいたエッセーを国際交流団体や大学、専門学校を通じて全国から募集。多様な環境にある人々からの応募に対応するため、エッセーは日本語の部と英語の部に分けて実施。優秀作品の作者6名を京都に招き、登壇発表とフォーラムを行って表彰し、一般参加者との交流を深める。
16	嶋田しづ展 一漂えど沈まずー	日本	特定非営利活動法人 京都藝際交流協会	2008.10.01 ～ 2008.10.26	第15回井上靖文化賞の受賞者である嶋田しづの京都初展。女子美術大学を卒業し、早稲田大学文学部芸術科にて會津八一（東洋美術史）に私淑する。以降パリにて20年に渡る活動実績を持つ。国内外で高く評価された画家「嶋田しづ」の軌跡を辿る展覧会。
17	京に舞ふ 日韓伝統芸能の真髄	日本	韓国伝統舞研究会京都支部	2008.10.07	源氏物語千年紀を機会に日本と韓国の伝統芸術を通して日韓親善を行うことを目的に実施。韓国の伝統舞とともに源氏物語にちなんだ創作を上演。また能の観世流シテ方、片山清司による源氏物語の演目もあわせて上演。
18	京都市国際交流会館2008年度「外国人のための日本語弁論大会」	日本	京都市 国際化推進室	2008.11.22	世界文化自由都市宣言を行った京都市が、その理想実現のための具体的施策として、1987年以来毎年行っている事業。本年度で22回目。「日本での経験を生かすため」をテーマに相互理解と国際親善の更なる促進を目的に開催。
19	第9回LAMP展	日本	特定非営利活動法人 京都藝際交流協会	2008.12.12 ～ 2008.12.25	「富者の万灯より貧者の一灯」をモットーとし活動を行う京都藝際交流協会の通年の企画展。灯りをテーマに照明作家、画家、彫刻家等、様々なジャンルの作家作品を紹介。平和や希望を主題とした作品を展示。展覧会の収益の一部はアフガン難民支援基金として中村哲のベシヤワール会へ送金。今回は軍港としての歴史を持つ舞鶴市まいづる智恵蔵との共同開催。

京都支部

	事業名	実施国	主催機関	期間	事業内容
20	第6回書と非書の際	日本	特定非営利活動法人 京都藝際交流協会	2009.01.09 ～ 2009.01.18	「書と絵画の違い」を探る企画展覧会の第6弾。故中村二柄先生の呼びかけで始まった展覧会。墨から生まれる造形の面白さから、文学芸術、絵画的表現へとひろがり、様々な反響が寄せられている。既成概念にとらわれず、再度『書く（描く）こと』を展覧会形式で検証。会期中作家によるワークショップを開催。NPO法人赤煉瓦倶楽部舞鶴との共催、巡回展実施。
21	国際理解講座 '09 変貌する東ヨーロッパ	日本	財団法人京都府国際センター	2009.02.07 ～ 2009.02.28	国際化に関する分野の第一線で活躍している大学教授や専門家などを招いて、最新の世界情勢や国際関係、地域の国際化に関わる問題について分かり易く解説する講座を実施。2/7(土)「東欧へ拡大するEU」講師：須藤眞志（京都産業大学教授）、2/14（土）「プラハから来た大和撫子～和敬静寂に魅せられて～」講師：ナデジダ・ウィリアムス（裏千家淡交会チェコ協会会員）、2/21（土）「ブルガリアの市場経済移行～市民生活を中心に～」講師：ディミター・ヤルナゾフ（京都大学経済学部専任講師）、2/28（土）「ポーランドの文化～アイデンティティーとその行方～」講師：タデウシュ・オジュグ（有限会社ニッポ代表取締役）
22	きょうと北部21世紀セミナー（国際情勢講演会）	日本	財団法人京都府国際センター	2009.03.08	地域の国際化を巡る諸課題や海外事情、海外文化を知る機会が十分でない京都府北部において、世界情勢や国際関係についての講演会を開催することで、地域の国際化の促進と次代の国際社会を担う人材の育成を図る。講演会テーマ「世界遺産と文化交流」、講師：門司健次郎（外務省広報文化交流部長）、対談：白幡洋三郎（国際日本文化研究センター教授）ほか、コーディネーター：須藤眞志（京都産業大学教授）

ローマ日本文化会館

合計額 122,892,002 円

(1) 主催・共催事業

【展示】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	ふりかえる人形 大野初子 作品展	ローマ、 ヴェネチア	ローマ日本文化会館、 ヴェネチア大学		2008.05.29 ~ 2008.06.28	アンジェイ・ワイダ監督が「立体浮世 絵」と表現した、大野初子による繊細 さと表情や姿などのしなやかさを追求 した作品約30点を紹介。キュレーター は森美可
2	北陸の伝統工芸・現代ガラ ス展	ローマ	ローマ日本文化会館	富山市、イセ文化基金	2008.10.11 ~ 2008.11.21	人間国宝等著名作家の作品を含む工芸 作品56点・ガラス工芸作品21点を展示 北陸の高い美意識と洗練された感性に 支えられた工芸、そこから生まれた新 たな現代ガラス工芸等、日本の優れた 地域文化の魅力を紹介
3	日本の現代書道展（平安か な書道レクチャーデモン ストレーション関連イベント）	ローマ	ローマ日本文化会館		2008.12.05 ~ 2009.01.16	ローマ日本文化会館所蔵作品の展覧 会。本年度は源氏物語千年紀である ことから、高木厚人（大東文化大学教 授）の平安かな書道の掛け軸作品2巻 および色紙10枚も展示。12月4日オープ ニング当日は同氏による平安かなレク チャー・デモンストレーションを開催
4	東京・江戸展	ローマ	ローマ日本文化会館、 ヒルトンホテル	東京都	2009.01.21 ~ 2009.02.02	2016年東京オリンピック招致に向けた PRパネルや、東京観光名所の写真展を 展示。広重の浮世絵を通じた江戸の町 並みから、世界にそのテクノロジーや 機能性を誇る現代東京の写真を対比さ せ、江戸から東京へと伝わる文化の流 れを豊富なヴィジュアル素材を用いて 紹介
5	篠田桃紅展	ローマ、ミ ラノ	ローマ日本文化会館、 ミラノトリエンナーレ	伊日財団	2009.02.07 ~ 2009.03.03	墨を用いた独特の造形で知られる篠田 桃紅の絵画作品を、イタリア収集家の 個人コレクションを中心に展示（海外 展助成事業）

【公演】						
	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
6	自然の声 II 邦楽コンサート	ローマ	ローマ日本文化会館、 ローマ日本人学校		2008.04.23	前年度の邦楽コンサート『自然の声』 に引き続いて行なわれた、尺八と三弦 のコンサート 尺八は 田嶋謙一、三 弦・唄は菊央雄司
7	つるとかめ・坂田明 コンサート	ローマ	ローマ日本文化会館		2008.06.10	祭りや日本舞踊で使われる日本の民謡 を、津軽三味線・津軽民謡のユニット 「つるとかめ」が演奏。特別ゲストと してサクソ奏者の坂田明も参加。 唄・津軽三味線は澤田勝秋、唄・太鼓は 木津茂理（海外公演助成事業）
8	ピアノ・バイオリンデュオ コンサート	ローマ	ローマ日本文化会館、 マルチェッロ劇場	テンピエット国際音楽 祭	2008.06.20	意欲的な演奏活動により、多くの受賞 歴をもち、国際的に活躍するヴァディ ム・チジク氏（バイオリン）と船越清 佳氏（ピアノ）が日本と西洋の音楽を 演奏
9	Jazz From Japan ジャズ コンサート XUXU	ローマ	ローマ日本文化会館	全日空	2008.06.24	2001年に結成された、4人の日本人女性 から成るアカペラグループXUXU(しゅ しゅ)による、高度なヴォイス・パ フォーマンス
10	ジャズグループ・サルガ ヴォ コンサート	ローマ	サン・ロレンツォロー マの夏ジャズフェス ティバル、カーサ・デ ル・ジャズ		2008.09.05 ～ 2008.09.06	ジャズグループ・サルガヴォによる ジャズ演奏会（海外公演助成事業）
11	狂言と現代詩による源氏 物語	ローマ	ローマ日本文化会館		2008.09.16	源氏物語をテーマに活動してきたパ フォーマンス・ユニット「chori/童 司」が、千年の昔と現代の時間を超え て織り成される男女の恋を表現。詩の 朗読（chori）と狂言（茂山童司）の 融合するユニークな舞台
12	いちひめ雅楽会公演	ローマ、 フィレン ツェ、ラ ヴェンナ	ローマ日本文化会館、 サント・ステファノ・ デル・ポンテ、アリギ エリ劇場		2008.11.10	ローマ音楽財団の「カリオペ・プロ ジェクト」の一環として実施した雅楽 公演。ローマ・ラ・サピエンツァ大学 にて雅楽についてのシンポジウムも開催 ローマ公演では雅楽のレパートリーに 加えて、武満徹作曲の「秋庭歌」も演 奏（海外公演助成事業）

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
13	サキタハジメのこぎり音楽コンサート	ローマ、フィレンツェ	ローマ日本文化会館、サンステファノ教会		2008.11.17	独学でのこぎり演奏を習得し、アメリカ・サンタクルズで開催されたミュージカルソウ・フェスティバル（のこぎり音楽世界大会）で2度優勝したサキタハジメ氏と、ピアノの山下憲治氏のコンサート
14	森山開次・津村禮次郎ダンス公演	ローマ	グレコ劇場		2008.12.03	コンテンポラリーダンサー森山開次と観世流能楽師津村禮次郎による「OKINA」等の上演
15	尺八・箏コンサート	ローマ、モデナ、サンマリノ	ローマ日本文化会館、サピエンツァ大学東洋学部、バルアルド・デッラ・チッタデッラ、ティターノ劇場		2009.02.25	尺八と箏による演奏会。楽器の歴史や音の特徴についての説明を交えながら、邦楽の魅力を伝える企画。尺八は米澤浩、箏は熊沢栄利子

【講演・シンポジウム】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
16	笠井勲舞踏ドキュメンタリー上映・シンポジウム	ローマ	ローマ日本文化会館、フリオ・カミッロ劇場	国際舞踏フェスティバル「Trasform' azioni 08」	2008.06.03	日本を代表する舞踏家の笠井勲とジャーナリストで演劇史専門のマリア・ピア・ドラツィが、ジャーナリストで舞踏批評家のロッセツラ・バッティステイの進行で対談。併せてイタリアでは初上映となるドキュメンタリー映画を上映。イタリア人写真家2名による舞踏写真展示も同時に実施
17	マッドハウス アニメ特集 映画上映会および講演会	ローマ	ローマ日本文化会館		2008.10.07 ~ 2008.10.28	アニメ制作で知られるMad Houseの丸山正雄と小島正幸監督による講演会。併せて同社の代表的な作品『ユニコ』『東京ゴッドファーザーズ』『パブリカ』『ピアノの森』を4週にわたって上映。講演会のモデレーターはフューチャー・フィルム・フェスティバルのルカ・デッラ・カーサ (Mad House丸山・小島は、国際交流基金日本研究・知的交流部主管アニメーション専門家派遣事業での派遣)
18	狂言レクチャーデモンストレーション	ローマ、アクアペンデンテ、ボルセーナ	ローマ日本文化会館、ボニ劇場、聖フランチェスコ劇場		2008.11.24	小笠原匡（和泉流狂言師）が、狂言の起源について解説し、その技術や表現方法についてデモンストレーションを交えて紹介

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
19	書道レクチャーデモンストレーション	ローマ	ローマ日本文化会館		2008. 12. 04	源氏物語千年紀関連事業。高木厚人（大東文化大学教授）による平安かなレクチャー・デモンストレーション。同時にローマ日本文化会館所蔵作品による展覧会も開催
20	源氏物語レクチャー・リーディング	ローマ	ローマ日本文化会館		2008. 12. 11	源氏物語を翻訳中のマリア・テレーザ・オルシ（ローマ・ラ・サピエンツァ大学教授）による源氏物語の本質とその魅力についての講演。また、片桐弥生（静岡文化芸術大学教授）による源氏物語絵巻の映像に合わせ、俳優のステファニア・ミケリスが一節を朗読。
21	源氏物語絵巻講演会	ローマ、フィレンツェ	ローマ日本文化会館、ガビネット・ビッサー	ガビネット・ビッサー	2009. 02. 20	源氏物語千年紀関連事業の一環として、四辻秀紀（徳川美術館副館長）による源氏物語絵巻及び源氏絵の由来とその美術史的意義、さらに現代日本のアニメーション文化との関連についてのレクチャーを実施。日立デジタルイメージシステム社の協力を得て、五島美術館所蔵の源氏物語絵巻のデジタル復元製品の展示も実施
22	現代日本文学講演シリーズ	ローマ	ローマ日本文化会館		2009. 03. 06 ～ 2009. 03. 16	第一線で活躍している日本の近・現代文学に関するイタリア人研究者、翻訳者による講演。第1回は「森鷗外と日本の古典の世界」をテーマに、マティルデ・マストラランジェロ（サピエンツァ・ローマ大学）が講演、第2回は村上春樹、よしもとばななの翻訳で知られるナポリ東洋大学のジョルジョ・アミトラノが「マンガ時代の日本文学」をテーマに講演
23	香道デモンストレーション 源氏物語と香	ローマ	ローマ日本文化会館		2009. 03. 09	茶道・華道とならぶ三道の1つとされている香道のデモンストレーション。源氏千年紀にちなみ宗家三條西堯水が源氏物語と香の関係について解説

【映画】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
24	「エキセントリック ビジョン」日本映画上映会	ローマ	ローマ日本文化会館	ミネルバ ラロビデオ出版グループ	2008.02.12 ~ 2008.04.08	平成19年度からの継続事業。ラロビデオ社の協力により実施した日本映画上映会。北野武、吉田喜重、小津安二郎等の作品11本を上映。20年度は溝口健二『歌麿をめぐる五人の女』、野村芳太郎『事件』を上映。映画評論家・ローマ第三大学教授アドリアーノ・アブラ教授によるトークも実施
25	新着映画特集	ローマ	ローマ日本文化会館		2008.05.06 ~ 2008.05.27	ローマ日本文化会館主管フィルムライブラリーに新たに加わった『春の雪』（行定勲監督）、『HINOKIO』（秋山貴彦監督）『パッチギ！』（井筒和幸監督）のほか、本部所蔵の『ベアテの贈りもの』（藤原智子監督）を上映。『ベアテの贈りもの』の上映にあわせ、ローマ・ラ・サピエンツァ大学ダニエーラ・デ・パルマ教授が日本国憲法と日本の女性の社会的立場や法的権利について講演し、上映後には、栗崎（製作委員会）及び石橋（イタリア語字幕翻訳者）によるティーチインを実施

【日本語教育】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
26	日本語講座運営	ローマ	ローマ日本文化会館		2008.04.01 ~ 2009.03.31	ローマ在住の日本語学習者のために、日本語講座を運営。4年制コース（初級I、II、中級I、II）、2年制夜間コース（I、II）、入門コース（木I、II、土I、II、III）、中・上級コースを開講
27	日本語会話会	ローマ	ローマ日本文化会館		2008.04.01 ~ 2009.03.31	ローマ在住の日本語学習者のために、在住日本人と日本語で日伊の文化について語り合う機会を設定。本年度は4、11、1、3月に実施
28	欧州日本語教師研修	コルマル（フランス）	アルザス日本学研究所	アルザス日本学研究所	2008.06.30 ~ 2008.07.12	アルザス日本学研究所（フランス）で行なわれた欧州の日本語教師研修会に日本語教師を派遣
29	ロンバルディア州高等学校日本語教育セミナー	ミラノ	ロンバルディア州ミラノ県中等教育監理監督局		2009.02.04 ~ 2009.03.31	ロンバルディア州で行なわれている、高校での日本語教育を支援するため、教師向けセミナーを実施

【図書館運営】

	事業名	期間	事業内容
30	図書館運営	2008.04.01 ~ 2009.03.31	ローマ日本文化会館図書館は、イタリアの日本研究図書館およびインフォメーション・センターとしての役割を担う。日本文学、演劇、社会科学、歴史などの分野を中心とした、大学講座関係の洋書の収集に重点を置き、一般和書については、最新の日本文学の潮流や社会事情を知ることのできる書籍の充実も目指す。インフォメーション・センターとしては、辞書・事典・辞典・人名録・各種年鑑や団体便覧等の参考資料の収集と同時に、有料データベースやCD-ROM、インターネットなどの検索ツールの積極的な活用を目指す。蔵書数は、日本語 20,093冊、外国語 13,102冊、視聴覚資料 1,735 登録会員数 6,014名、来館者数 4,747名

【出版・広報】

	事業名	期間	事業内容
31	事業案内	2008.04.01 ~ 2009.03.31	会館事業を紹介するプログラム（事業案内）を年3回、各回3,000部を発行
32	ウェブサイト運営管理	2008.04.01 ~ 2009.03.31	会館案内ウェブサイトの運営管理 URL: http://www.jfroma.it/
33	年報	2008.04.01 ~ 2009.03.31	平成19年度の会館事業を総括する年報を作成

【本部事業受入】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
34	川喜多かしこ生誕100周年記念日本映画上映会	ローマ	ローマ日本文化会館	川喜多かしこ記念財団	2008.01.08 ~ 2008.03.19	川喜多記念映画文化財団が選ぶ日本の代表的映画監督の作品21本を上映。関連企画としてマルコ・ミュラーによる講演会も実施。日本映画の素晴らしさを世界に知らしめるために尽力した、川喜多かしこおよび和子の足跡を紹介し、海外における日本映画の受容の歴史についても紹介（本部主催事業）

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
35	日本の現代写真 1970年代から今日まで - 同時代へのまなざし	ローマ	ローマ日本文化会館		2008.04.04 ~ 2008.05.17	23人の写真家による60年代末から70年代以降の作品76点を展示(巡回展)
36	邦楽巡回公演	ローマ、パレッタ(マルタ)	ローマ日本文化会館、フェニキアホテル・ホール	マルタ日本友好協会	2008.10.24	市川慎、山野安珠美(箏)、田野村聡(尺八)による邦楽コンサート

(2) 助成・協力事業

【後援事業】

	事業名	主催機関	期間	事業内容
37	HIGAN 2008	彼岸文化協会	2008.05.06 ~ 2008.06.02	座禅に関する会議等、総合的な日本文化紹介イベント
38	日本の日「こどもの日」	ローマ子供博物館	2008.05.10	こどもの日にちなんで、日本文化・日本社会を紹介するイベント
39	世界のざわめき	Museo Laboratorio di Arte Contemporanea, Università di Roma La Sapienza	2008.06.03 ~ 2008.06.27	Silvia Stuckyによる日本の写真とビデオの展覧会
40	写真展「ディアリオ・ジャポネーゼ(日本日記)」	伊日財団	2008.06.18 ~ 2008.07.31	Andrea Quattriniによる日本の写真展
41	TANABATA	あじさい交流会	2008.07.12	日本人画家タメイ・ユウコが参加する他、総合的に日本を紹介するイベント
42	第8回国際盆栽・水石会議	Crespi盆栽協会	2008.09.12 ~ 2008.09.21	盆栽と水石に関する第8回国際会議
43	道場から家族、社会へ	Yoshokan	2008.09.19 ~ 2008.09.21	武士、空手についての会議他日本紹介イベント
44	第12回欧州日本研究学会	サレント大学	2008.09.20 ~ 2008.09.23	第12回欧州日本研究学会
45	日本の精神、書道	楊心流	2008.09.24 ~ 2008.09.28	書道展および会議、ワークショップを実施
46	BCI-IBS 2008	Collegio Nazionale Istruttori del Bonsai e del Suiseki	2008.09.24 ~ 2008.09.28	盆栽と水石に関する会議
47	木版画の展覧会	シンバレン文化協会	2008.10.17 ~ 2009.01.09	浮世絵の展覧会
48	セカンドライフ	ローマ第三大学	2008.10.09	セカンドライフ：ヴァーチャルリアリティを題した国際会議

海外事務所

	事業名	主催機関	期間	事業内容
49	源氏物語展	ヴェネチア東洋美術館	2008. 09. 11 ~ 2008. 11. 09	ヴェネチア東洋美術館所蔵のコレクションによる源氏物語の展覧会
50	東アジアのアイデンティティ：東洋と西洋の境の日本	カタールニア大学	2008. 11. 24	東アジアのアイデンティティ：東洋と西洋の境の日本と題した会議
51	琳派と広重-ガラスアート展	琳派と広重展実行委員会	2008. 11. 28 ~ 2009. 10. 25	ガラス作家黒木国昭が琳派と広重の感性をガラスで表現した作品による展覧会
52	第11回フューチャーフィルムフェスティバル	フューチャー・フィルム・フェスティバル	2009. 01. 27 ~ 2009. 02. 01	第11回フューチャーフィルムフェスティバルにおける中川信夫監督特集
53	桃の節句祭り	いろは協会	2009. 03. 03 ~ 2009. 03. 16	ひな祭りの機会にコンサート、会議等総合的に日本を紹介するイベント
54	山中千尋公演	フリーフロムジャズ・プロダクション	2009. 03. 27	ジャズミュージシャン山中千尋によるコンサート
55	Karate	FIKTA協会	2009. 03. 31 ~ 2010. 12. 31	空手の写真コンクール

【会場提供】

	事業名	主催機関	期間	事業内容
56	俳句賞授賞式	イタリア俳句友の会、裏千家ローマ出張所	2008. 05. 29	イタリア俳句友の会及び裏千家ローマ出張所による第22回俳句賞授賞式。イタリア国内でイタリア語による俳句を公募し、優秀作品を式典にて発表

ケルン日本文化会館

合計額 136,623,114 円

(1) 主催・共催事業

【展示】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	京都の庭園展	ケルン	ケルン日本文化会館		2008.04.11 ~ 2008.05.30	ケルン日本文化会館所蔵巡回展「京都の庭園展」をドイツお披露目として当館で開催。
2	対話展「Raum und」	ケルン	ケルン日本文化会館		2008.06.11 ~ 2008.07.31	日本とドイツの新進アーティストが共通のテーマで展覧会を開催する対話展。平成20年度第1回はKeiko KoanaとAnette Hurstによる空間をテーマにした展覧会。
3	日本のこども60年	ケルン	ケルン日本文化会館		2008.09.12 ~ 2008.10.31	基金海外巡回展。子どもの日常をとらえて撮影された写真100点を通じて、戦後から今日に至る60年間の日本社会の変遷を紹介。
4	日独対話展” Zwei Voegel Eine Klappe”	ケルン	ケルン日本文化会館		2008.11.21 ~ 2009.01.23	ドイツのアーティストJohannes Jensenと日本のアーティストTaka Kagitomiによる対話展。デュオとしてすでに活動実績がある二人のアーティストによる大規模なインスタレーション作品に加えて、ドローイングやオブジェなどを展示。
5	川喜多かしこ生誕100年記念映画祭上映作品ポスター展	ケルン	ケルン日本文化会館	財団法人川喜多記念映画文化財団	2009.02.09 ~ 2009.03.31	川喜多かしこ生誕100年を記念して映画祭を実施し、上映映画作品の貴重なポスターを展示。

【公演】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
6	コンサート「Not I, but the wind...」	ケルン	ケルン日本文化会館	ケルン現代音楽協会、WDR放送局	2008.04.22	日本の現代音楽作曲家6人の作品をドイツのアンサンブルeccoが演奏。
7	コンサート「Folk Song meets Jazz」	ケルン	ケルン日本文化会館		2008.06.13	澤田勝秋（唄、津軽三味線）と木津茂理（唄、太鼓）によるユニット「つるとかめ」が、ジャズミュージシャン坂田明（唄、サクソ）と共演。

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
8	コンサート「XuXu (しゅしゅ)」	ケルン	ケルン日本文化会館	ANA	2008. 06. 20	女性アカペラグループ「XuXu (しゅしゅ)」。クラシック、ジャズ、ポップスと様々なジャンルの歌を素晴らしいハーモニーで披露。
9	福間洗太郎ピアノリサイタル	ケルン	ケルン日本文化会館	ケルン現代音楽協会、Deutschlandfunk放送局	2009. 02. 27	ベルリン在住の福間洗太郎のコンサート。1982年生まれと若手でありながらすでに米国・欧州で活躍中。「ピアノによる武満徹へのオマージュ」と題したコンサートでは、ドビュッシー、メシアン、ケージ、バッハなど武満が影響を受けたとされる作曲家の作品も取り上げた。

【講演・シンポジウム】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
10	ぬちマースとオオニシ恭子によるヨーロッパ薬膳料理	ケルン	ケルン日本文化会館	JETRO デュッセルドルフ事務所 Coral Tree Okinawa Trade KG 株式会社ぬちマース	2008. 06. 06	ぬちマース (命の塩) とオオニシ恭子によるヨーロッパ薬膳料理。高安正勝 (ぬちマース社長) が製造法等について講演し、ヨーロッパ薬膳を発展させた料理研究家オオニシ恭子がぬちマースを利用した料理について講演、その後実演を披露。
11	アニメーションを作ろう	ケルン	ケルン日本文化会館	スタジオきんぎょ	2008. 07. 23 ~ 2008. 07. 31	アニメーションスタジオ「スタジオきんぎょ」のツジシンヤを招待し講演会およびワークショップを開催。7月23日から25日は子供向け、7月28日から31日は一般向けワークショップ。制作された作品は7月31日に上映。
12	シンポジウム「高齢者の再出発 - 高齢期をどうデザインするか：日独比較」	ケルン	ケルン日本文化会館	ケルン大学人文学部 教育研究所 デュッセルドルフ大学 現代日本研究科 Toyota Deutschland GmbH	2008. 11. 21 ~ 2008. 11. 22	高齢化が著しいスピードで進む日本とドイツをさまざまな切り口で比較するシンポジウム。ケルン、デュッセルドルフ両大学ほかとの共催。高齢者が積極的に社会参加し、充実した高齢期を送るための様々な論点や方策について、両国の学者が議論。さらに高齢者のネットワーク活動など実際の例を実践団体自らが紹介。

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
13	アニメと失われた子供時代： 1945年以降の日本の家族危機の鏡としてのアニメーション映画」	ケルン	ケルン日本文化会館	ボン大学	2008. 10. 22	ボン大学日本学科のツェルナー (Zoellner) 教授を講師に迎えた「日本の子供60年展」関連企画。1945年以降根本的に変化した日本の家族像と子供たちが失なったものをテーマに、宮崎駿、高畑勲らがアニメーション映画の中でどのような視点から子供たちを捉えているかを考察。
14	大江健三郎朗読会	ケルン	ケルン日本文化会館	ケルン文学館、フィッシャー出版社	2008. 11. 04	著書「さようなら、私の本よ！」のドイツ語訳出版を機に、ノーベル賞作家大江健三郎を迎えての朗読会。
15	武者小路千家若宗匠千宗屋講演会「日本文化における茶道について」	ケルン	ケルン日本文化会館	武者小路千家	2008. 11. 25	武者小路千家の若宗匠であり日本美術史家でもある千宗屋が、日本文化における茶道について講演。ベルリン・アジア美術館とケルン日本文化会館にて講演会及びデモンストレーションを実施。
16	岡田利規講演会「私にとっての演劇と小説の違い」	ケルン	ケルン日本文化会館		2008. 11. 28	岡田利規（劇作家・小説家）が、自分の作品づくりについて講演。演劇と小説という異なる分野での作品創作における独自の的方法論、アプローチやそのアウトプットについて、映像資料なども用いて語った。
17	伊藤比呂美朗読会	ケルン、トリアー、フランクフルト・アム・マイン、ライプチヒ、ベルリン	ケルン日本文化会館	ベルリン日独センター	2009. 01. 12 ~ 2009. 01. 16	米国カリフォルニア州を拠点に活動する作家伊藤比呂美の作品から、「カノコ殺し」、「とげぬき」等を朗読。司会は、日地谷・キルシュネライト（ベルリン自由大学教授）。

【映画】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
18	五所平之助特集	ケルン	ケルン日本文化会館		2008. 03. 03 ~ 2008. 06. 30	五所平之助監督24作品の特集上映。
19	天野喜孝特集	ケルン	ケルン日本文化会館	Amano Yoshitaka, Yoshi Camui, Office Art Cologne Galerie Michael Janssen ケルン見本市会社	2008. 04. 18	2008年4月16日から20日までケルンで開催される国際アートフェア「ART COLOGNE」の特別企画で天野喜孝の作品が展示される。日本文化会館ではケルンメッセとの協力で天野のフィルム3点を紹介。

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
20	アートアニメ上映会	ケルン	ケルン日本文化会館		2008.07.10 ~ 2008.07.28	たむらしげる、村田朋泰、伊東存、青木陵子、東芋、様々なジャンルで活躍するアーティストによる珍しいアニメ映像作品を上映。
21	バルトの楽園	ケルン	ケルン日本文化会館	ケルン独日協会	2008.07.11	第一次世界大戦中の徳島県鳴門市の板東俘虜収容所が舞台で、収容所所長・松江豊寿の活躍や、俘虜となったドイツ兵と地元の住民の交流などを描いた作品を上映。
22	ドキュメンタリー映画特集 「小川紳介・土本典昭・原一男監督特集」	ケルン	ケルン日本文化会館		2008.10.02 ~ 2008.12.22	日本のドキュメンタリー映画を代表する3名の監督の特集上映。60年代後半から90年代までの日本社会の記録ともいうべき映像作品を紹介。
23	フラガールズ	ケルン	ケルン日本文化会館	Koeln Comedy Film Festival	2008.10.17	ケルンコメディ主催、ケルン日本文化会館共催の特別映画上映会。常盤ハワイアンセンターの誕生を支えた人々の笑いと感動の物語。日本アカデミー賞など数々の賞を受賞。李相日監督作品。
24	川喜多かしこ生誕100年記念映画祭	ケルン	ケルン日本文化会館	財団法人川喜多記念映画文化財団、国立フィルムセンター	2009.01.05 ~ 2009.03.05	川喜多かしこ生誕100年を記念し、川喜多賞を受賞した映画監督の24作品を上映。

【日本語教育】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
25	日本語講座	ケルン	ケルン日本文化会館		2008.04.01 ~ 2009.03.31	初級～上級まで9レベル11クラス（半期制）の講座を開講。
26	Expedition Colonia	ケルン	ケルン日本文化会館	Expedition Colonia	2008.03.28 ~ 2008.04.11	毎年4月に開催される「Expedition Colonia（ケルン市探検フェスティバル）」に今年も参加。事前に申込みのあった参加者に折り紙と日本の歌を紹介。

【図書館運営】

	事業名	期間	事業内容
27	図書館運営	2008.04.01 ~ 2009.03.31	ケルン日本文化会館図書館は、日本に興味のある人々すべてに日本に関する情報を提供している。その目的は、ドイツ語圏における日本文化の理解及び日本語学習者や日本学研究者の拡大と支援であり、日本の伝統文化から現代社会事情まで日本全般に渡る資料（主に日本語、ドイツ語、英語）を収集し利用に供している。 蔵書数：20,979冊 視聴覚資料数：7,394点 会員数：4,641名 来館者数：3,408名

【出版・広報】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
28	KulturSonntag in Koeln	ケルン	ケルン日本文化会館		2008.06.01	ケルン市の「文化事業に触れる日曜日」と題したこの行事、今回は1960年から1970年代にかけて建てられた建築物を訪問する企画。1969年建造の日本文化会館もその対象になり、館内設備および図書館が紹介された。

【その他】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
29	ケルン市美術館の長い夜	ケルン	ケルン日本文化会館		2008.11.01 ~ 2008.11.02	ケルン市およびKoelner Stadt Revueの主催で開催され、40以上の施設が参加する「ケルン市美術館の長い夜」に参加。21時と23時に日本のバンド「たそがれワールド」が演奏、1時にはツジシンのアニメが上映された。

【本部事業受入】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
30	日本のこども60年展	ケルン	ケルン日本文化会館		2008.09.12 ~ 2008.10.31	子どもの日常をとらえて撮影された写真100点を通じて、戦後から今日に至る60年間の日本社会の変遷を紹介する。国際交流基金の海外巡回展。

(2) 助成・協力事業

【助成事業】

	事業名	助成機関	期間	事業内容
31	Eriko Nagai展	Handwerkskammer fuer Muenchen und Oberbayern	2008.06.13 ~ 2008.07.26	ミュンヘン在住のジュエリーデザイナー、永井えりこの作品展示会。このほか独日の陶芸家の作品も展示。
32	ハイデルベルク大学日独通訳ゼミ	ハイデルベルク大学日本学科、ベルリン日独センター	2008.09.11 ~ 2008.09.20	通訳の基礎を理論、方法論の両面から学ぶ10日間の集中ゼミ。
33	Masao Yamamoto展 "Kawa"	Galerie la-condition-japonaise, Berlin	2008.10.03 ~ 2008.11.02	アメリカでも活躍中の日本人写真家山本昌男の個展。
34	Experimenta Folklore	Frankfurter Kunstverein	2008.12.12 ~ 2009.03.01	民族性（フォークロア）と音楽をテーマに、各国の作家20名を紹介。日本からは島袋道浩がサンパウロなどで制作したビデオ作品を紹介。
35	Asia Hot Shots 映画祭	asian hot shots berlin	2009.01.13 ~ 2009.01.18	アジアの映画、ビデオアートを紹介する映画フェスティバル。
36	PICTOPIA 展	ベルリン世界文化の家	2009.03.03 ~ 2009.05.03	ゲームやアニメなどのポップカルチャーに関わる展覧会及びシンポジウムの開催。

パリ 日本文化会館

合計額 564,290,072 円

(1) 主催・共催事業

【展示】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	『現代日本建築展1996-2006 《パラレル・ニッポン》』	パリ	パリ 日本文化会館	日本建築学会	2008.04.16 ~ 2008.06.21	日本建築学会の協力を得て、過去10年（1996年～2006年）に日本の地で竣工した建築と、日本人が海外で実現させた建築を対象として、安藤忠雄、伊東豊雄、隈研吾、妹島和世、坂茂などの110作品を選び、日本の社会文化状況と対比させながら、写真や模型の展示を通じて紹介。
2	『富岡製糸場とフランス』 展	パリ	パリ 日本文化会館	富岡市	2008.09.30 ~ 2008.10.04	ユネスコ世界文化遺産の暫定リストに載った群馬県富岡市にある富岡製糸場にまつわる錦絵複製や写真を展示、日本の近代化の過程における同製糸場とフランスとの関係への理解を深める。
3	『WA-現代日本のデザインと 調和の精神』展	パリ	パリ 日本文化会館		2008.10.22 ~ 2009.01.31	本部主催展。日本のプロダクトデザインのさまざまなフィールドから優れたデザイン161点を選び出して紹介し、現代日本デザインのダイナミックな動きとその背景となる事象を展観。

【公演】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
4	能オペラ『隅田川』	パリ	パリ 日本文化会館		2008.04.03 ~ 2008.04.05	吉田進作曲による仏政府委嘱作品能・オペラ『隅田川』。観世元雅の古典「隅田川」を下敷きに、好評だったカンパール、ナント、レンヌ、アンジェでの公演に続き、パリでの初公演となる。ミッシェル・ロスタン演出、カレン・ヴィエルバ（ソプラノ）、アルマンド・ノゲラ（バリトン）、パーカッショングループ《リゾーム》が音楽を担当。

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
5	現代演劇『EXCHANGE』	パリ	パリ日本文化会館	指輪ホテル	2008.04.17 ~ 2008.04.19	日本の演劇シーンで異彩を放つ、指輪ホテルの新作「EXCHANGE」。「交換 (EXCHANGE)」をテーマに、言葉、記憶、コンタクト、ムーブメントが錯綜する「イメージの洪水」が、舞台上で繰り広げられた。
6	水曜のミニ・コンサート	パリ	パリ日本文化会館		2008.04.23 ~ 2009.03.31	在仏日本人音楽家による定期コンサート。2年前より実施。広いジャンルにわたって (クラシック、ジャズ、ロック、邦楽) 在仏のアーティストに発表の機会を与えるとともに、手ごろな値段で定期的なコンサートを提供することで会館の会員や近隣住民へのコンサートの定着を狙う。
7	コンテンポラリーダンス『彩-巡る季節の中で』	パリ	パリ日本文化会館	カンパニー・フォレスト・ビーツ	2008.05.15 ~ 2008.05.16	フランスで活躍する日本人ダンサー、竹井豊率いる「カンパニー・フォレスト・ビーツ」によるダンス公演。「四季」をテーマに、自然と人間のふれあいを創造性豊かなコンテンポラリーダンスを通して模索した。
8	コンサート『みやざき・えみことヴォチェ・ヴェント』	パリ	パリ日本文化会館		2008.06.07	在仏の音楽家 みやざき・みえこの琴演奏とコルシカのボーカルグループ、ヴォチェ・ヴェントのコラボレーション。コルシカのハーモニーに乗せて奏でられる日本のメロディーが、新たな世界へと誘うコンサート。
9	コンサート『HALCALI』	パリ	パリ日本文化会館	ハルカリ	2008.06.20 ~ 2008.06.21	若い世代を中心に圧倒的な支持を集める女性ラップデュオ「HALCALI」のパリでは2回目となるコンサート (日本文化会館で初。現代の若者が親しみ易い歌詞に合わせたメロディーで歌われるラップは、「脱力ラップ」との異名も。
10	狂言『茂山家狂言公演』	パリ	パリ日本文化会館	ARTA 茂山家	2008.07.01 ~ 2008.07.03	茂山家によるパリ狂言公演。今回は『伯母ケ酒』『棒縛り』の二曲を公演。狂言の魅力を現代に伝えるべく、精力的に活躍する茂山家は公演の度に新たな観客層を掘り起こしている。

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
11	JAZZ IN JAPAN 08	パリ	パリ 日本文化会館		2008.09.25 ~ 2008.09.27	5年以上続く会館のジャズ・フェスティバルの2008年企画。今年もジャズ評論家の草分け、副島輝人をアーティストック・ディレクターに迎え、知られざる日本のジャズシーンを伝えるようなユニットを紹介する。今回はSalle Gaveau、今田勝トリオ、大友良英トリオの3組のコンサートを実施。
12	クラシック・コンサート (工藤重典、Clement Dufour)	パリ	パリ 日本文化会館	ヤマハ・フランス	2008.10.10	エコール・ノルマル音楽院教授で世界的にも有名なフルート奏者工藤重典とフランスのフルート奏者クレモン・デュフルの競演。日仏コラボレーションでクラシック界を印象付けるほか、ヤマハとも協力して実施した。
13	J-Danse 08 『翁』	パリ	パリ 日本文化会館		2008.11.28 ~ 2008.11.29	日本のコンテンポラリー・ダンスを紹介する企画。今回はコンテンポラリーダンスと伝統舞踊の融合というテーマで日本のダンス新世代を代表する森山開示と能楽の津村禮次郎のコラボレーション作品を紹介。
14	J-Danse 08 『鬼』	パリ	パリ 日本文化会館		2008.12.05 ~ 2008.12.06	日本のコンテンポラリー・ダンスを紹介する企画。今回はコンテンポラリーダンスと伝統舞踊の融合というテーマで、舞踏の大門四郎と鼓の大倉正之助のコラボレーション作品を紹介。

【講演・シンポジウム】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
15	日本企業における社会貢献活動に関するシンポジウム	パリ	パリ 日本文化会館		2008.04.10	CSRは持続可能な社会を目指すために企業も責任を持つべきであるという考えのもとに成立した概念であるが、国によってその考え方やアプローチの仕方には相違がある。同シンポジウムでは、日仏のパネリストを招き、CSRに関してディスカッションを実施。
16	レクチャー・デモンストラーション『日本文化としての将棋』	パリ	パリ 日本文化会館		2008.04.12	文化庁文化交流使としてパリに派遣された本間博による将棋に関する講演会。

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
17	食文化シリーズ『家庭で作る和食の基本の味付け：味噌』	パリ	パリ 日本文化会館	Miyasaka Brewery Co., Ltd. 味の素ヨーロッパ	2008.04.18	2007年10月に味の素との協力の下、「和食入門」デモンストレーションを実施し、大変好評を得た。その続きとして、「これさえあれば和食ができる」をテーマに、毎回取り上げる食品を替え、多様な和食レシピを紹介。他の企業からも協賛を得た。
18	第3回小山裕久デモンストレーション&講演会『日本の食文化を探る』	パリ	パリ 日本文化会館		2008.05.22 ~ 2008.05.24	平成19年度に引き続き小山裕久を迎え、聴衆に日本の食文化の素晴らしさと奥深さを理解して貰う。シリーズ制とし、5月、11月、2月に各1回、計年3回実施する。
19	シンポジウム『日本の現代建築を考える』	パリ	パリ 日本文化会館		2008.05.31	4月16日から開催のパラレルニッポン展に合わせ、日本の建築に関する講演会を実施。
20	食文化シリーズ『家庭で作る和食の基本の味付け：醤油』	パリ	パリ 日本文化会館	キッコーマン・ヨーロッパ 味の素ヨーロッパ	2008.06.13	2007年10月に味の素との協力の下、「和食入門」デモンストレーションを実施し、大変好評を得た。その続きとして、「これさえあれば和食ができる」をテーマに、毎回取り上げる食品を替え、多様な和食レシピを紹介。他の企業からも協賛を得た。
21	『日本酒利き酒会』	パリ	パリ 日本文化会館	日本八壺会	2008.06.19	老舗蔵元の若手が結成した八壺会の協力を得て、毎年好評を博している日本酒セミナー。プレス対象試飲会も継続して実施。
22	日仏海洋学シンポジウム	パリ	パリ 日本文化会館	日仏海洋学会	2008.09.12	日仏海洋学会及び日仏海洋学会のイニシアティブの下、パリ日本文化会館大ホールにて「人と海の関係をめぐる考察」をテーマに社会学的、環境学的等様々なアプローチで人と海の関係について日仏パネリスト6名が意見交換。
23	第4回小山裕久デモンストレーション&講演会『日本の食文化を探る』	パリ	パリ 日本文化会館		2008.09.18 ~ 2008.09.20	平成19年度に引き続き小山裕久を迎え、聴衆に日本の食文化の素晴らしさと奥深さを理解して貰う。シリーズ制とし、5月、11月、2月に各1回、計年3回実施。

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
24	食文化シリーズ『家庭で作る和食の基本の味付け：米酢』	パリ	パリ 日本文化会館	味の素ヨーロッパ	2008. 10. 10	2007年10月に味の素との協力の下、「和食入門」デモンストレーションを実施し、大変好評を得た。その続きとして、「これさえあれば和食ができる」をテーマに、毎回取り上げる食品を替え、多様な和食レシピを紹介。他の企業からも協賛を得た。
25	レクチャー・デモンストレーション『武道・武士道・サムライ2008』	パリ	パリ 日本文化会館		2008. 10. 28	日本の武道に関する講演会及びデモンストレーションを実施。基調講演として在仏大使館の飯村大使（当時）が武道に関する歴史や哲学を講演し剣術、合気道、拳法のデモンストレーションを順番に実施。
26	ギメ美術館『金毘羅展』関連シンポジウム	パリ	パリ 日本文化会館	金刀比羅宮展実行委員会	2008. 10. 30	2008年10月15日～12月8日までギメ美術館で開催の「金刀比羅宮展」に併せ、当館でシンポジウムを開催。モデレーターは同展監修者である高階秀爾、ほか日仏パネリスト6名が参加。
27	基金元フェロー懇親会	パリ	パリ 日本文化会館		2008. 10. 31	国際交流基金元フェローの懇親会。日本研究、文化人の元フェロー及び関係者22名が参加。館内開催中の展覧会見学と懇親会を行った。
28	虎屋主催・和菓子デモンストレーション&講演会	パリ	パリ 日本文化会館	株式会社虎屋	2008. 11. 13 ～ 2008. 11. 15	和菓子の老舗虎屋の協力を得て、パリ日本文化会館で和菓子のデモンストレーションと講演会を実施。テーマは「和菓子と日本の四季」。虎屋の職人による和菓子デモンストレーションを2日間厨房で実施し、最終日は大ホールで虎屋文庫の学芸員が講演。
29	志野流香道デモンストレーション	パリ	パリ 日本文化会館	株式会社松栄堂	2008. 11. 20 ～ 2008. 11. 22	2006年に引続き松栄堂との共催で香道デモンストレーションを実施。同社の畑社長による組香の説明、蜂谷若宗匠によるデモンストレーションを行う。会場の参加者も組香ゲームに参加し結果を競い合う。1日3回、計3日間実施。
30	俳句香/子供向け香道・墨絵 レクチャー・デモンストレーション	パリ	パリ 日本文化会館	日本雅藝倶楽部	2008. 12. 05 ～ 2008. 12. 06	俳句を黛まどか（俳人）に、香を日本雅藝倶楽部の講師に依頼し俳句香を実施。また子供向け香道デモンストレーション、書道デモンストレーションも実施。対象年齢は8-14、15歳。

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
31	「フランスにおける日本研究の現状と展望」シンポジウム	パリ	パリ 日本文化会館	大学都市日本館	2008. 12. 06	大学都市日本館で2008年の1年間をかけて行った、在フランス日本研究者9人による全9回の講演会シリーズを総括するシンポジウム。参加者は、ヨーロッパ日本研究学会会長及びフランスの日本研究者5人。 フランスにおける日本研究の歴史と近年の研究の潮流、今後の課題を討議。フランスにおける日本学の伝統とは何か、国際的な日本研究に対して発信できるもの、アジアへの関心が高まる中での「日本学」の位置づけの変化などを討議。

【映画】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
32	ドキュメンタリー特集上映会	パリ	パリ 日本文化会館		2008. 05. 31 ~ 2008. 06. 21	「原爆の傷跡」「河村勇樹監督特集」「ツヒノスミカ」「大衆演劇の世界」4種のドキュメンタリー映画を上映。
33	日本映画回顧：松竹の歴史	パリ	パリ 日本文化会館	アミアン映画祭	2008. 09. 09 ~ 2008. 10. 04	日本映画の歴史を作った大手映画会社6社の1つである松竹の歴史を、無声時代から現代まで各時代を彩った名作23作品を上映して全体的に紹介する特集。平成19年度に実施した「日活の歴史」特集から始めた日本映画史回顧シリーズの第2弾。
34	外国文化週間・オーソン・ウェルズ「マクベス」と黒澤明「蜘蛛巣城」の比較上映	パリ	パリ 日本文化会館		2008. 09. 27	オーソン・ウェルズ「マクベス」と黒澤明「蜘蛛巣城」の比較上映を実施。
35	黒澤明没後10周年記念小特集	パリ	パリ 日本文化会館		2008. 10. 24 ~ 2008. 10. 28	「一番美しく」、「明日を創る人々」等、フランスでは未公開の初期映画を加え、プリントの現地調達可能な作品を上映。
36	第3回KINOTAYO映画祭	パリ	パリ 日本文化会館	KINOTAYO映画祭事務局	2008. 11. 18 ~ 2008. 11. 22	2007年または2008年に製作された作品を中心に紹介し、日本の現在を肌で感じさせるという理念に基づいて開催されるKINOTAYO映画祭との、3回目の共催事業。日仏交流150周年記念の主要事業の1つ。

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
37	現代映画小特集	パリ	パリ 日本文化会館		2009.01.17 ~ 2009.03.28	2000年代に日仏で制作された映画の中から話題の作品を紹介。フランス人研究者による関連トーク等も実施。
38	ビデオクリップSHOW by PROTOCLIP	パリ	パリ 日本文化会館	PROTOCLIP	2009.03.13 ~ 2009.03.14	ビデオクリップの国際フェスティバル PROTOCLIPによる、日本を題材とした作品集の上映会を実施。ビデオクリップの作り方ワークショップもあわせて実施。

【教室事業】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
39	折り箱教室	パリ	パリ 日本文化会館		2008.04.01 ~ 2009.03.31	平成19年度秋期から実施している折り箱教室。講師はパリ日本文化会館で書道講師としても協力を得ている大島妙子。
40	茶道デモンストレーション	パリ	パリ 日本文化会館	パリ 裏千家	2008.04.01 ~ 2009.03.31	日本文化の代表の一つである茶道・お茶席の一部を見学した後、参加者も実際に体験。毎週水曜日。
41	茶道入門教室	パリ	パリ 日本文化会館	パリ 裏千家	2008.04.02 ~ 2009.03.31	茶道の基本となる立ち居振る舞い、道具の扱いを学びつつ、茶道の精神に触れ、実際にお点前を学ぶ。每期2カ月、2コース。
42	書道教室	パリ	パリ 日本文化会館		2008.04.03 ~ 2009.03.31	漢字を基本とした指導を行い、書を通じた日本文化に触れてもらう。毎週木曜日、各期10回。
43	囲碁教室	パリ	パリ 日本文化会館	財団法人日本棋院、フランス囲碁連盟、イル・ド・フランス囲碁リーグ	2008.04.05 ~ 2009.03.31	フランス囲碁連盟、イル・ド・フランス囲碁リーグ、日本棋院の協力で継続している囲碁教室。毎週土曜日、各期10回。
44	MANGA入門講座	パリ	パリ 日本文化会館		2008.04.05 ~ 2009.03.31	14歳から受講可、最大20名クラス。3時間授業で全8回。イラストの描き方やストーリーボードの作り方など、漫画の基礎を学習する漫画入門講座。

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
45	生花教室	パリ	パリ日本文化会館	イケバナ・インターナショナル	2008.04.08 ～ 2009.03.31	小原・草月・池坊流から講師を迎え、生花を通して日本文化を体験。毎期初めに館内での展示会・デモンストレーションを開催。展示会では広く一般に生花を鑑賞して貰い、デモンストレーションではそれぞれの流派の特徴を理解し、流派選択の一助とする。火・木曜日、各流派各期6回。
46	折り紙アトリエ	パリ	パリ日本文化会館		2008.04.09 ～ 2009.03.31	平成18年度秋期以降開催し、好評を得ている子供向け・大人向け折り紙教室。講師は折り紙アーティストとしてフランスの各地で活躍しているエリック・ジョワゼル。

【その他】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
47	在欧日本専門家中東・北アフリカ派遣プログラム(チュニジア)	カルタゴ	アクロポリウム・カルタージュ	在チュニジア大使館 第14回カルタゴ音楽祭 実行委員会	2008.10.23 ～ 2008.10.26	在チュニジア大使館の要望により、「第14回カルタゴ音楽祭」へ邦人ピアニストを派遣。同音楽祭にてリサイタルを実施。
48	在欧日本専門家中東・北アフリカ派遣プログラム(アルジェリア)	アルジェ	アルジェ国立劇場	在アルジェリア大使館 アルジェリア国立交響楽団	2009.03.10 ～ 2009.03.19	在アルジェリア大使館の要望により、同国国立交響楽団へ邦人指揮者およびバイオリニストを派遣し、演奏指導およびコンサートを実施。

【図書館運営】

	事業名	期間	事業内容
49	図書館運営	2008.04.01 ～ 2009.03.31	日本文化、日本語教育関係書籍・資料、視聴覚資料を備えた図書館の運営。 (1) 所蔵資料数 (2009.03.31現在) 図書資料 24,181冊 視聴覚資料 2,418点。 (2) 入館者数：13,231名 会員数：167名。 (3) 貸し出し数：3,826点 (図書資料 2,418冊、視聴覚資料 1,743点) (4) レファレンス件数：4,152件 (5) 「図書館便り」(各1,500部を年3回、累計4,500部を作成・配布)

【出版・広報】

	事業名	期間	事業内容
50	ウェブサイト運営管理	2008.04.01 ~ 2009.03.31	パリ日本文化会館の施設案内、事業紹介、イベント告知、実施報告等を掲載。 URL: http://www.mc.jp.fr/

(2) 助成・協力事業

【助成事業】

	事業名	助成機関	期間	事業内容
51	PAJ : The Diver	Soho Theatre	2007.10.01 ~ 2008.07.19	野田秀樹がアイルランド出身の作家・演出家Colin Teevanと源氏物語をベースにした舞台作品を共同制作。2008年7月にロンドン公演、9月に東京にて公演。
52	PAJ : Exchange European Tour, Spring 2008	Chapter(Cardiff)Ltd.	2008.03.24 ~ 2008.04.20	指輪ホテルの新作Exchangeの3カ国巡回公演。カーディフでは現地のアーティストと7日間のワークショップを開催。国際交流基金はパリを除く3都市での公演のみ助成。
53	PAJ : Free Time, Air-Conditioner	Associazione med Kunstenfestival des arts	2008.05.17 ~ 2008.06.08	岡田利規の新作Free TimeのKunsten Festival(ブリュッセル) およびWiener Festwochen(ウイーン)での公演。Uovo performing arts festival(ミラノ)ではAir-Conditionerを上演。
54	PAJ : A Flight of songs -Europe Tour May 2008 -	GMKonzerte	2008.05.21 ~ 2008.05.25	谷川俊太郎の詩にスイス人作曲家ワルター・ギーガーがつけた曲を、河村典子(ヴァイオリン)、白土文雄(コントラバス)、荒牧小百合(ソプラノ)が演奏し、谷川俊太郎自身も朗詩を行い3カ国を巡回するコンサートツアー。
55	PAJ : Zensor	Public Art Lab / Weigner & Pop GbR	2008.05.21 ~ 2008.05.30	メディアパフォーマンス・アーティスト山川冬樹、藤本隆行、飯名尚人、真鍋大度と、ヨーロッパのダンサー、デザイナー、DJ、ミュージシャンら約20人が、ワークショップを通してメディアテクノロジーパフォーマンスを共同制作。ベルリンにて公演。

海外事務所

	事業名	助成機関	期間	事業内容
56	PAJ : Sonore Komponent Scandinavian Tour 2008	Jaapan Sarl	2008.05.22 ~ 2008.05.28	DJ・電子音楽家の永田一直 (Organization) やCarre、Jon the dog、Busratchによる北歐3都市ツアー。
57	PAJ : Andersens European Tour	Switchico Records	2008.06.28 ~ 2008.07.20	東京を拠点に活動する小野崎清一を中心としたグループAndersensが12都市、3カ国で14日間の公演を行うコンサートツアー。
58	PAJ : Ohayo, Japan! 2008	Lindenfels Westflugel	2008.07.01 ~ 2008.11.30	舞踏カンパニー金沢舞踏館、百鬼どろ、劇団解体社メンバー等、総勢8グループのアーティストがコンテンポラリーダンスフェスティバルOhayô! , Japan! 2008 (ライブツイヒ) をはじめ、各地フェスティバル (ドレスデン、ボーフム) 等で公演。
59	PAJ : Toujours plus a l'Est	centre national de danse contemporaine	2008.09.22 ~ 2009.04.30	舞踏ダンサー笠井叡、室伏鴻がCentre National de Danse Contemporaineにてそれぞれ2カ月、2週間のワークショップを実施。

ソウル日本文化センター

合計額 186,667,175 円

(1) 主催・共催事業

【展示】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	北斎・広重、浮世絵の中の風景画展	ソウル	ソウル日本文化センター		2008.06.04 ~ 2008.07.04	ソウル日本文化センター所蔵の浮世絵（葛飾北斎作「富岳三十六景」、歌川広重作「東海道五拾三次」）を73点展示
2	浮世絵で見る川辺風景展	ソウル	ソウル歴史博物館清溪川文化館	ソウル歴史博物館清溪川文化館	2008.06.10 ~ 2008.08.31	ソウル日本文化センター所蔵の浮世絵のうち、川辺風景を描いた作品57点を清溪川文化館にて展示
3	19世紀日本彩色木版画-浮世絵展	全州	全羅北道道庁企画展示室	全羅北道道立美術館	2008.09.16 ~ 2008.10.10	19世紀後半の印象派画家たちに及ぼした影響を再考するため、全羅北道道民を対象に江戸時代の浮世絵を紹介。ソウル日本文化センター所蔵作品約70点を展示
4	永井 一正グラフィックポスター展	ソウル	ソウル日本文化センター		2008.09.24 ~ 2008.11.01	日本のグラフィック・デザイナーを紹介するシリーズ。田中一光、福田繁雄、中村誠、横尾忠則に続いて、永井一正の動物画を展示。オープニングでは、「永井一正の作品世界」と題して片岸昭二（富山県立近代美術館学芸員）とジョン・ビョンギョ（韓国視覚情報デザイン協会会長）による講演会も実施
5	韓日Cartoon Match展 & 読売国際漫画大会受賞作特別展	ソウル	ソウル日本文化センター	韓国Cartoon協会 韓日Cartoon Match展 準備委員会	2008.11.11 ~ 2008.11.28	韓国と日本で活躍中の作家10人によるCartoon展。Cartoon公募大会として世界的に有名な読売漫画展で受賞経歴のある作家たちの作品を紹介
6	ロッテギャラリー大田店新年特別展示-日本伝統文化の象徴-浮世絵の世界展	大田	ロッテギャラリー大田店	ロッテギャラリー大田店	2009.01.08 ~ 2009.02.04	日本の伝統美術を世界に知らせる機会となった浮世絵の展示を通して、大田および忠清南道地域の住民に日本の伝統文化と美術を紹介
7	カズマサ・ショック展	ソウル	ロッテアートギャラリー	韓国ロッテ・ショッピング株式会社	2009.03.13 ~ 2009.04.01	ソウル日本文化センター所蔵の永井一正ポスター100点を用いて日本のグラフィックデザインを紹介

【公演】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
8	日韓若手音楽家交流コンサート	ソウル	聖公会教会大聖堂、ヨンサン・アートホール	日韓若手音楽家交流委員会	2008.08.27	スイスのバロック音楽学校で学ぶ日韓の若手音楽家による演奏会をそれぞれの母国である韓国と日本で開催。14時より聖公会大聖堂で学生向けに無料公演（主催）、19時30分よりヨンサン・アートホールで有料公演（後援）を実施。8月29日から9月1日にかけては日本でも開催

【講演・シンポジウム】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
9	第2回国際交流基金ボラナビ 著作・翻訳賞	ソウル	教保文庫本社	教保文庫 大山文化財団	2009.03.29 ~ 2009.03.31	日本に関する著述・翻訳活動を行っている韓国の若手・中堅の著述家および翻訳家を支援する顕彰事業。今回は現代日本小説の翻訳家を対象とし、吉田修一の『悪人』『ひなた』を翻訳した李英美が授賞。吉田修一も出席し、サイン会、記者発表、授賞式、作品朗読会など多彩なイベントを開催。日韓マスコミが多数の記事を掲載

【映画】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
10	日本映画上映会（日本学入門）	ソウル	ソウル日本文化センター	延世大学校国際学大学院	2008.04.11	延世大学校国際学大学院で日本学入門を受講している学生を対象に、日本の多様な姿を理解してもらうため、図書館案内と映画『ゆきゆきて、神軍』を使った授業を実施
11	JF未公開日本映画上映会	ソウル	ソウル日本文化センター		2008.04.14 ~ 2008.04.18	ソウル日本文化センター所蔵フィルムライブラリーから、『警察日記』、『土と兵隊』、『紅の流れ星』、『山びこ学校』、『邂逅』の5作品を上映
12	日本アンダーグラウンド映画傑作選『ゆきゆきて、神軍』特別無料上映会	ソウル	ソウルアートシネマ	韓国シネマテーク協議会	2008.04.23	ソウル日本文化センター所蔵の『ゆきゆきて、神軍』を上映。上映後は日本のドキュメンタリー監督の特徴およびドキュメンタリーの美学についてジョン・ヨンジュ（映画監督）と観客とのシネトークを開催

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
13	日本映画の集い	安養	ソウル日本文化センター	安養知識産業振興院	2008.04.25	延世大学校政治外交学部同期入学者の定期的な同窓会にて、ソウル日本文化センター所蔵『海女のリャンさん』を上映。同作品を通じて「日韓文化意識の差異」について討論
14	極東大学校日本映画上映会	陰城	極東大学校観光館	極東大学校社会福祉学科	2008.04.28 ~ 2008.04.29	2008年7月からの長期老人療養保険制度導入に合わせて、老人性の病気である「認知症」をより身近な問題として理解するため、ソウル日本文化センター所蔵の『花いちもんめ』上映会を実施
15	Invest KOREA Movie Night 「5月家庭の月」日本映画上映会	ソウル	Invest Korea Plaza	KOTRA（大韓貿易投資振興公社）	2008.05.27	KOTRA（大韓貿易投資振興公社）が所有する施設を活用し、地域住民を対象にソウル日本文化センター所蔵の、日本アカデミー賞13部門受賞作『Always 三丁目の夕日』を上映
16	祥明大学校日本映画上映会	ソウル	祥明大学校人文社会学部	祥明大学校日語教育学科	2008.05.27 ~ 2008.05.29	祥明大学校の学園祭に合わせて日本映画上映会を実施。上映作は『長靴をはいた猫』、『クラブ進駐軍』、『風音』、『わたしのグランパ』の4作品
17	江南大学校日本映画上映会	龍仁	江南大学校シャロム館	江南大学校シルバー産業学部	2008.06.05	認知症高齢者やその家族、そして認知症高齢者を取り巻く社会問題について理解する機会を提供し、高齢者の健康増進および療養保護サービス分野における介護のあり方を模索するため、ソウル日本文化センター所蔵の『折り梅』を上映
18	韓国痴呆家族協会日本映画上映会①	ソウル、水原	ソウル市立中溪老人福祉館、水原三一ホール、松坡老人福祉館	韓国痴呆家族協会	2008.06.19 ~ 2008.06.26	認知症高齢者やその家族、そして認知症高齢者を取り巻く社会問題について理解する機会を提供し、高齢者の健康増進および療養保護サービス分野における介護のあり方を模索するため、ソウル日本文化センター所蔵の『折り梅』を上映
19	韓国痴呆家族協会日本映画上映会②	ソウル	ハンアルム福祉館、龍頭山協会	韓国痴呆家族協会	2008.07.11 ~ 2008.07.25	認知症高齢者やその家族、そして認知症高齢者を取り巻く社会問題について理解する機会を提供し、高齢者の健康増進および療養保護サービス分野における介護のあり方を模索するため、ソウル日本文化センター所蔵の『折り梅』を上映

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
20	「2008シネバカンス・ソウル」日本映画傑作定期無料上映会	ソウル	ソウルアートシネマ	韓国シネマテーク協議会	2008.07.21 ~ 2008.08.11	日本映画の新黄金期にあたる1960年代の傑作の中から同時期の代表作『拳銃は俺のパスポート』、『砂の女』を上映
21	韓国痴呆家族協会日本映画上映会③	蔚山	慶熙医療院、蔚山中区保健所、蔚山広域市老人福祉館、蔚山マダス病院ゴダンホール	韓国痴呆家族協会	2008.08.10 ~ 2008.08.18	認知症高齢者やその家族、そして認知症高齢者を取り巻く社会問題について理解する機会を提供し、高齢者の健康増進および療養保護サービス分野における介護のあり方を模索するため、ソウル日本文化センター所蔵の『折り梅』を上映
22	韓国痴呆家族協会日本映画上映会④	ソウル、木浦	ソウル大学、チョダン大学、木浦大学、木浦カトリック大学、国立木浦病院、ソウル市立西部老人専門療養センター	韓国痴呆家族協会	2008.09.02 ~ 2008.09.23	認知症高齢者やその家族、そして認知症高齢者を取り巻く社会問題について理解する機会を提供し、高齢者の健康増進および療養保護サービス分野における介護のあり方を模索するため、ソウル日本文化センター所蔵の『折り梅』を上映
23	ソウルアートシネマ日本映画傑作定期無料上映会①	ソウル	ソウルアートシネマ	韓国シネマテーク協議会	2008.09.22 ~ 2008.12.22	ソウル日本文化センターが所蔵するフィルム・ライブラリーを毎月1回無料上映。上映作は『飢餓海峡』、『日本侠客伝』、『大殺人』、『紅の流れ星』の4作品
24	『海女のリャンさん』日本映画上映会	済州	済州海女博物館	済州海女博物館	2008.10.01 ~ 2008.12.31	毎週土曜日に主に近隣の高校生を対象に『海女のリャンさん』上映会を開催。海女社会や在日コリアンたちの生き方を通じて日本文化理解を促進
25	祖国近代化を遊覧-京釜高速道路から大阪'70万博まで	ソウル	韓国映像資料院シネマテック (KOFA)	韓国映像資料院	2008.10.16 ~ 2008.10.26	映像を通じて60年代から70年代の産業近代化に光を当てる企画として、大阪で開催された万国博覧会を色濃く反映している映画『家族』を上映
26	小栗康平監督企画展	ソウル	アートハウス・モモ	白頭大幹映画社	2008.11.06 ~ 2008.11.12	小栗康平監督企画展と題して、今まで公開された映画『泥の河』、『伽耶子のために』、『死の棘』、『眠る男』、『埋もれ木』5作品を上映。付帯行事として、韓国のイ・チャンドン（監督）やアン・ソンギ（俳優）との対談を実施

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
27	韓国痴呆家族協会日本映画上映会⑤	ソウル	麻浦区痴呆支援センター	韓国痴呆家族協会	2008.11.24 ~ 2008.11.25	認知症高齢者やその家族、そして認知症高齢者を取り巻く社会問題について理解する機会を提供し、高齢者の健康増進および療養保護サービス分野における介護のあり方を模索するため、ソウル日本文化センター所蔵の『折り梅』を上映
28	私たちはいつも青春—日本映画上映会	ソウル	東大門区庁講堂	東大門区痴呆支援センター	2008.12.11	認知症高齢者や家族そして認知症高齢者を取り巻く社会問題を理解する機会を提供するため、ソウル日本文化センター所蔵の『花いちもんめ』を上映
29	痴呆サポーターズ養成教育—日本映画上映会	ソウル	松坡老人総合福祉館、麻浦区庁大講堂	韓国痴呆家族協会	2008.12.11 ~ 2008.12.12	痴呆サポーターズ養成教育の一環として『折り梅』を上映。痴呆に対する認識改善およびネットワークを構築し、お互いが助け合う地域社会を模索
30	Invest KOREA Movie Night 年末日本映画上映会	ソウル	Invest Korea Plaza (IKP)	KOTRA (大韓貿易投資振興公社)	2008.12.22	KOTRA (大韓貿易投資振興公社) 所有のIKPプラザを活用し、地域住民を対象にソウル日本文化センター所蔵の『私のグランパ』を上映
31	ソウルアートシネマ日本映画傑作定期無料上映会②	ソウル	ソウルアートシネマ	韓国シネマテーク協議会	2009.01.12 ~ 2009.03.16	ソウル日本文化センターが所蔵するフィルム・ライブラリーを毎月1回無料上映。上映作は『につつまれて』、『かたつもり』、『13人の刺客』、『八月の濡れた砂』の4作品
32	JF日本映画特別展	ソウル	ソウル日本文化センター		2009.02.16 ~ 2009.02.27	ソウル日本文化センターが所蔵する、フィルム・ライブラリーを用いて、家族、子どもを対象とした日本映画上映会を実施
33	市立仁川短期大学日本映画無料上映会	仁川	市立仁川短期大学	市立仁川短期大学日語科	2009.03.09 ~ 2009.03.30	地方大学と共催し、ソウル日本文化センター所蔵フィルム・ライブラリーの中から『十三人の刺客』『ながぐつ三銃士』『長靴をはいた猫—80日間の世界一周』を上映
34	韓国痴呆家族協会日本映画上映会⑥	咸平	咸平エキスポ内上映館、草堂大学校、イルロ第一教会、エデン院大講堂	韓国痴呆家族協会	2009.03.10 ~ 2009.03.12	認知症高齢者やその家族、そして認知症高齢者を取り巻く社会問題について理解する機会を提供し、高齢者の健康増進および療養保護サービス分野における介護のあり方を模索するため、ソウル日本文化センター所蔵の『折り梅』を上映

【日本語教育】						
	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
35	平成20年度前期日本語講座	ソウル	ソウル日本文化センター		2008.03.03 ~ 2008.05.26	一般学習者向けに9コース、週2コマ（総コマ数各20コマ）を開講。開講コースは、翻訳A、翻訳B、日本文化、対話技術1、対話技術2、テーマ討論1、テーマ討論2、作文、聴解
36	ウェブサイト連載企画	ソウル	ソウル日本文化センター		2008.04.01 ~ 2009.03.31	初級を修了した頃から難しいと感じる日本語の表現を月2回1つずつ取り上げ、例文を中心に使い方を解説するコーナー「今すぐ使える日本語」と、授業中に短い時間でできる日本事情クイズとその解説からなるコーナー「一口文化クイズ」をウェブサイトに掲載
37	留学生ボランティア派遣プログラム	ソウル、京畿道、仁川	ソウル、京畿道、仁川の高校および中学校		2008.04.01 ~ 2009.03.31	ソウルに日本から留学している日本語ネイティブ留学生を、ソウル首都圏の中学・高校にボランティアとして派遣し、日本語教師と一緒に授業を実施。20人のボランティアを15校に延べ300回派遣
38	日本語教師サロン	ソウル	ソウル日本文化センター		2008.04.01 ~ 2009.03.31	毎月1回、資格や経歴を問わず広く日本語教師を対象として開催する日本語教授法についてのワークショップ。日本語教授法に関して、教材および授業内容等について講義
39	釜山在勤日本語教育専門家事業	釜山、蔚山、大邱、慶尚北道、慶尚南道	在釜山総領事館、釜山韓日文化交流協会等	在釜山総領事館、釜山韓日文化交流協会等	2008.04.01 ~ 2009.03.31	日本語教師対象日本語講座（年間のべ6クラス、各クラス全30時間）を開講したほか、地方教師会等への出講、各種日本語学習者奨励事業（日本語コンテストなど）への協力活動等を実施
40	日本語教育研究講座平成20年度前期中学・高校日本語教師研修コース	ソウル	ソウル日本文化センター		2008.04.16 ~ 2008.06.18	中学校・高等学校日本語教師対象の教授法講座。週1回、全11回（総30時間）実施
41	日本語教師チームティーチング情報交換会	ソウル	ソウル日本文化センター		2008.07.22	韓国の外国語学校でチームティーチングを実施しているネイティブ教師と韓国人教師のネットワーク形成のための情報交換会を開催

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
42	夏季中等日本語教師集中研修（釜山）	釜山	釜山韓日文化交流協会	在釜山総領事館 釜山韓日文化交流協会	2008.07.28 ～ 2008.08.01	「自分の授業を振り返り、第七次教育課程に沿った授業の目標および活動を再考する」、「コミュニケーション能力を伸ばす授業方法を具体的に考える」、「参加者間の情報および意見交換を促進し、ネットワークの構築を図る」を目標として、中等日本語教師を対象とした教授法中心の集中研修を1日6時間計30時間実施
43	夏季中等日本語教師集中研修（ソウル）	ソウル	ソウル日本文化センター		2008.08.04 ～ 2008.08.08	「自分の授業を振り返り、第七次教育課程に沿った授業の目標および活動を再考する」、「コミュニケーション能力を伸ばす授業方法を具体的に考える」、「参加者間の情報および意見交換を促進し、ネットワークの構築を図る」を目標として、中等日本語教師を対象とした教授法中心の集中研修を1日6時間計30時間実施
44	平成20年度後期日本語講座	ソウル	ソウル日本文化センター		2008.09.01 ～ 2008.11.21	一般学習者向けに9コース、週2コマ（総コマ数各20コマ）を開講。開講コースは、翻訳A、翻訳B、日本文化、対話技術1、対話技術2、テーマ討論1、テーマ討論2、作文、聴解
45	全国学生日本語演劇発表大会	ソウル	在韓国大使館公報文化院	韓国三井物産株式会社 韓国日本語教育研究会 在韓国大使館公報文化院	2008.09.06	中等教育日本語学習者の学習意欲向上のため、日本語演劇発表大会を開催。参加校は約90校
46	日本語教育研究講座平成20年度後期中学・高校日本語教師研修コース	ソウル	ソウル日本文化センター		2008.10.08 ～ 2008.12.10	中学校・高等学校日本語教師対象の教授法講座。週1回、全11回（総30時間）実施
47	中等日本語教師集中研修プログラム5（釜山）	釜山	釜山韓日文化交流協会	在釜山総領事館、釜山韓日文化交流協会	2009.01.05 ～ 2009.01.09	「自分の授業を振り返り、第七次教育課程に沿った授業の目標および活動を再考する」、「コミュニケーション能力を伸ばす授業方法を具体的に考える」、「参加者間の情報および意見交換を促進し、ネットワークの構築を図る」を目標として、中等日本語教師を対象とした教授法中心の集中研修を1日6時間計30時間実施

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
48	中等日本語教師集中研修プログラム5 (ソウル)	ソウル	ソウル日本文化センター		2009.01.12 ~ 2009.01.16	「自分の授業を振り返り、第七次教育課程に沿った授業の目標および活動を再考する」、「コミュニケーション能力を伸ばす授業方法を具体的に考える」、「参加者間の情報および意見交換を促進し、ネットワークの構築を図る」を目標として、中等日本語教師を対象とした教授法中心の集中研修を1日6時間計30時間実施
49	平成21年度前期日本語講座	ソウル	ソウル日本文化センター		2009.03.02 ~ 2009.05.26	一般学習者向けに9コース、週2コマ（総コマ数各20コマ）を開講。開講コースは、翻訳、対話技術1、対話技術2、テーマ討論1、テーマ討論2、作文1、作文2、聴解、待遇表現

【図書館運営】			
	事業名	期間	事業内容
50	図書館運営	2008.04.01 ~ 2009.03.31	蔵書合計：19,416点（書籍13,325点、雑誌62種・1,894点、その他661点、ビデオ・DVD・CD等視聴覚資料3,536点）、会員数：11,361名（2009年3月31日現在）
【出版・広報】			
	事業名	期間	事業内容
51	ニューズレター作成・発行	2008.04.01 ~ 2009.03.31	インターネット上で韓国の日本語学習者を対象としたニューズレター『カチの声』を配信。8月分の第19号より改編し、ソウル日本文化センターのニューズレターと統合する形で月1回発行
52	ウェブサイト運営	2008.04.01 ~ 2009.03.31	ソウル日本文化センターを紹介するウェブサイトを運営管理。ウェブサイトは事業案内、特集記事、連載企画等で構成。主な使用言語は韓国語で、一部は日本語と英語でも掲載 URL: http://www.jpfc.or.kr/
53	連合ニュース有料ニュース配信	2008.08.13 ~ 2009.08.12	広報強化を目的として「連合ニュース」を通じてマスコミ各社に情報を配信するサービスに加入
54	ニュースアドカムによるオンライン広報	2008.09.04 ~ 2009.09.03	広報強化を目的としてオンライン広報代理業者であるニュースアドカム社による報道資料の作成およびマスコミ各社への配信サービスに加入
55	MBC文化放送社ウェブサイト（iMBC）上でのセンター広報	2009.03.05 ~ 2010.03.04	MBC文化放送社のウェブサイトにソウル日本文化センター事業情報提供ページを開設。センター施設や事業案内動画などを含む様々な事業情報を提供

【その他】						
	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
56	海外アドバイザー運営	全羅南北道、光州			2008.04.01 ～ 2008.05.31	全羅南北道、光州市を管轄地域とする海外アドバイザー（池 炯源特別委員）を5月末日まで委嘱
57	日韓交流ネットワーク事業	ソウル	ソウル日本文化センター		2008.04.01 ～ 2009.03.31	日本と韓国の交流事業活性化のため、助成プログラムや交流相手など実際の事業実施に必要なさまざまな情報を提供するサイトを、ウェブサイトリニューアルの一部として設置。サイトの管理にあたる臨時職員を雇用
58	聖公会大学校学部生訪問	ソウル	ソウル日本文化センター	聖公会大学校	2008.06.10	聖公会大学校の学部生20名の訪問にあたり、ソウル日本文化センターの紹介、「北斎・広重、浮世絵の中の風景画」展の観覧、文化情報室の見学を実施
59	李 秀賢氏記念韓国青少年招へい事業参加者同窓会	ソウル	ソウル日本文化センター		2008.07.04	李 秀賢氏記念韓国青少年招へい事業に参加したOB、OGおよび同氏のご両親を招待して同窓会を実施
60	江原道人材開発院研修員訪問	ソウル	ソウル日本文化センター	江原道人材開発院	2008.08.25	江原道人材開発院で研修を受けている公務員19名がセンターを見学。ソウルセンター広報用DVD等によりセンターを紹介、文化情報室を案内
61	瑞逸大学日本語科学生訪問	ソウル	ソウル日本文化センター		2008.09.10	瑞逸大学の日本語科学生90名と教授3名がセンターを見学。ソウルセンター広報用DVD等によりセンターを紹介、文化情報室を案内
62	セムンギル博物館祝祭	ソウル	ソウル歴史博物館等	ソウル歴史博物館	2008.10.09 ～ 2008.10.15	新門通りに所在する博物館等が合同で開催する文化イベント。ソウル日本文化センターも、日本の凧作り体験や永井一正グラフィックポスター展を実施

(2) 助成・協力事業

【助成事業】

	事業名	助成機関	期間	事業内容
63	次世代日本専門家ネットワーク月例会	次世代日本専門家ネットワーク	2008.04.01 ~ 2009.03.31	国民大学校、ソウル大学校、高麗大学校、ソウル市立大学校、韓国外国語大学校の日本研究専攻の大学院生による研究成果と情報を共有するためのネットワーク。2008年度を通して合計6回の月例会に対して助成、会場提供。日本研究分野の教授による講演と参加者による発表・討論を実施
64	2008年春季学術大会「日本近代文学と都市」	韓国日本近代文学会	2008.04.03	文学において最も重要な舞台・背景の一つと言える「都市」をテーマに、作品の中で描かれた都市の重要性、文学との関係性について発表と討論を実施。日本から平野 芳信（山口大学教授）が基調講演者として参加
65	全国女性教授連合会10周年記念国際学会	全国女性教授連合会	2008.06.20	韓国全国の女性教授により組織される連合会の10周年記念学会。日本からは板東真理子（昭和女子大学長）、水田宗子（城西国際大学理事長）、江尻美穂子（日本YWCA元会長）が出席し、「世界女性リーダーの責任とリーダーシップ」をテーマに米国、中国などの参加者とともに講演、討論会を実施
66	2008年韓国日語日文学会夏季学術大会	韓国日語日文学会	2008.06.21	2008年韓国日語日文学会夏季学術大会の基調講演で、日本の脱亜論について、福沢諭吉の朝鮮とのかかわりを中心に飯田泰三（島根大学教授）が発表したほか、日本文学・日本学分野の64の個別発表を実施
67	2008光州ビエンナーレ	財団法人光州ビエンナーレ	2008.09.05 ~ 2008.11.09	単純な展示の枠を越え、議論のための現場と芸術文化を生産するための革新的な交流の場として展示会を開催。世界各国から100名の作品を展示。日本からの作品輸送費を助成

海外事務所

	事業名	助成機関	期間	事業内容
68	コミュニティー・ビジネス 韓日国際フォーラム	希望製作所	2008. 09. 18	「コミュニティー・ビジネス」に関する日本の事例発表、日韓両国の専門家による討論などを通じて、今後「コミュニティー・ビジネス」を韓国において広げるにあたり、必要な要件や示唆点を明示
69	多文化共生政策の日韓比較セミナー	社団法人韓日未来フォーラム	2008. 09. 23	韓国内に居住する外国人が急増する今日、1990年代以後に政府および地方が進めてきたグローバル化対策を振り返り、今後の新しい改善策について議論
70	新日韓関係パートナーシップ共同宣言10周年記念国際シンポジウム	高麗大学校日本研究センター	2008. 10. 07 ～ 2008. 10. 08	1998年の「日韓関係共同宣言」により日韓関係における新たなビジョンが提示されてから10周年を記念し、日韓両国の学者・言論人・文化人・政界人を中心に、共同宣言の成果と今後の方向性、更に東アジア地域における社会・文化・経済面での共同体構築について議論。テーマは「回想、懸案、ビジョン」
71	2008公演ジャーナリズム・ソウルフォーラム	国際舞踊協会 (CID-UNESCO) 韓国本部	2008. 10. 11 ～ 2008. 10. 14	日本をはじめ世界各国の著名な公演芸術専門ジャーナリストを招き、「今日の舞踊批評の危機」をテーマに意見交換会を開催。ソウル日本文化センターは武藤大祐の旅費を助成
72	2008全南日本語教育研究会教室授業改善事例発表大会	全南日本語教育研究会	2008. 10. 25	全羅南道地域の中等学校の韓国人日本語教師およびネイティブ教師42名が集まり、チームティーチングの問題点を診断し、改善案を模索
73	第6回アジアナ国際短編映画祭	社団法人アジアナ国際短編映画祭	2008. 11. 05 ～ 2008. 11. 10	多様なジャンル、テーマと文化を取り上げた韓国最大の国際短編映画祭。世界30カ国が参加。審査委員長を務めた小栗康平（映画監督）の旅費を助成
74	2008学年度コミュニケーション能力向上のための日本語教師職務研修	韓国教員大学校総合教育研修院	2009. 01. 05 ～ 2009. 01. 09	2001、2002年度に研修を受け、フランス語・ドイツ語の教育免許を有したまま日本語の副専攻免許を取得した中等教師を対象に、日本語運用能力の向上を目的とする5日間の集中研修を実施。教授法授業に日本語教育専門家も派遣

海外事務所

	事業名	助成機関	期間	事業内容
75	第12回韓日漫画家年賀状交流展	社団法人韓国漫画家協会 韓国Cartoon協会	2009.02.02 ～ 2009.02.13	日韓の漫画家による年賀状漫画交流展。韓国だけでなく日本の川口市、広島市、別府市でも開催
76	カガクするココロ3-バルカン動物園	トゥサンアートセンター 第12言語演劇スタジオ	2009.03.24 ～ 2009.04.12	日本現代演劇界を代表する平田オリザ(劇作家)の『カガクするココロ』シリーズ作品である『バルカン動物園』を翻訳・上演。平田オリザとのフォーラムや観客との対話も実施

【後援事業】

	事業名	主催機関	期間	事業内容
77	韓・日・中・ロ Main Artist展	NEMAO(North East Main Artist Organization)	2008.05.19 ～ 2008.05.30	韓国・日本・中国・ロシア4カ国間の持続的な美術文化交流の協力関係の増進を図り、4カ国間の交流システムの構築を目的とした合同展示会。ソウル日本文化センターは後援名義付与および会場提供で協力
78	「焼肉ドラゴン」ソウル公演	芸術の殿堂 新国立劇場	2008.05.20 ～ 2008.05.25	新国立劇場設立10周年と芸術の殿堂設立20周年を記念して制作された日韓共同演劇。焼肉屋を営む家族を中心とした在日コリアンの生活を表現した悲喜劇。ソウル日本文化センターは後援名義を付与し韓国公演の広報に協力
79	第5回釜山広域市大学生日本語弁論大会	釜山外国語大学校ビジネス日本語学部	2008.06.05	釜山外国語大学校と長崎外国語大学が共同主催した釜山の大学生を対象にした日本語弁論大会
80	2008日本留学総合説明会	ライセンス・アカデミー	2008.06.21 ～ 2008.06.22	韓国の学生および一般人を対象に、日本の大学、専門学校、日本語学校等の情報を提供する日本留学説明会を釜山とソウルで開催
81	わが心に映る山	日本山岳写真同人四季	2008.07.10 ～ 2008.07.14	日本山岳写真同人「四季」の40周年記念韓日親善写真展。約55点を展示。ソウル日本文化センターは後援名義付与と施設貸出で協力
82	第1回日本語・日本文化キャンプ	千駄ヶ谷日本語教育研究所	2008.07.23 ～ 2008.07.25	日本に関心のある韓国の若者を対象に日本文化体験および日本語授業を行うプログラム。両国の若者の交流の場になることを目的として日本人学生も参加

海外事務所

	事業名	主催機関	期間	事業内容
83	Invest KOREA Concert 2008:BATI-HOLIC OVER THE OCEAN	KOTRA (大韓貿易投資振興公社)	2008. 07. 24	KOTRA (大韓貿易投資振興公社) が所有する施設を活用し、地域住民を対象に日本伝統の和太鼓公演を実施
84	日韓青少年リコーダー演奏会 in Seoul	ソウルリコーダー音楽教育研究会	2008. 08. 02	韓国青少年リコーダー合奏団と、その定期演奏会に招待された神戸ジュニアリコーダー「wink」との共同演奏会。ソウル日本文化センターは後援名義付与と施設貸出で協力
85	2008年全国中・高等学生日本語競試大会	社団法人韓日協会	2008. 08. 19	中等教育の学生を対象とする韓国で最大規模の弁論大会。後援名義付与のほか、賞状への名義付与、日本語教育専門家を審査員として派遣
86	カガクするココロ2-北限の猿	第12言語演劇スタジオ	2008. 08. 01 ~ 2008. 09. 07	芸術と科学の交流および日本演劇と韓国演劇の交流に寄与するため、日本現代演劇界を代表する平田オリザ(劇作家)のシリーズ作『カガクするココロ』のうち『北限の猿』を翻訳・上演
87	「悔しい女」ソウル公演	劇団展望	2008. 09. 04 ~ 2008. 09. 14	2007年にソウル日本文化センターの助成で開催された「現代日本戯曲リーディング」で題材となった「悔しい女」を公演
88	第8回ソウル国際公演芸術祭	社団法人ソウル国際公演芸術祭	2008. 09. 18 ~ 2008. 10. 19	「衝突と調和、SPAf is SPArk」をモットーに演劇、舞踊、複合ジャンルなど、13カ国39団体の38作品を公演
89	バチ・ホリック大邱公演	啓明大学校	2008. 09. 24	太鼓演奏グループ「バチ・ホリック」による大邱・啓明大学校での公演に協力
90	日本伝統演劇狂言公演・講演	中央大学校韓日文化研究院	2008. 10. 01	日本の舞台芸術文化に対する理解を深めるため、「狂言」の公演及び講演を実施
91	第11回ソウル世界舞踊祭	国際舞踊協会 (CID-UNESCO) 韓国本部	2008. 10. 10 ~ 2008. 10. 30	韓国内における舞踊の大衆化および舞踊を通じた国際交流の実現と発展を目指し、16カ国から39団体が参加、計26回の公演を実施

海外事務所

	事業名	主催機関	期間	事業内容
92	ソウル国際版画写真アートフェア SIPA2008	社団法人韓国版画写真振興協会	2008. 10. 18 ~ 2008. 10. 22	レベルの高い文化的サービスの提供、優秀な人材への積極的な支援（国際舞台への進出機会の提供）、一般大衆のための教育の場の設置を目的としてソウルで開催される版画・写真専門のアートフェア
93	紀尾井シンフォニエッタ東京 来韓公演	株式会社クレディア	2009. 01. 16	日本国内最高のチェンバーオーケストラとして高く評価されている「紀尾井シンフォニエッタ東京」の韓国初公演。本公演では、韓国の新鋭バイオリニスト、チャン・ユジンが共演
94	London-Tokyo-Seoul tour show 2008: Floating Odyssey	ロンドン・ソウル・東京3カ国ツアー展実行委員会	2009. 01. 31 ~ 2009. 02. 22	東洋と西洋の文化を融合させることにより、お互いを高め合い、芸術作品の質をより高めることを目的とした、日本、中国、イギリス出身のアーティストによるインターナショナルツアー展。ロンドンよりスタートし、東京、ソウルに巡回

【会場提供】

	事業名	主催機関	期間	事業内容
95	日本社会文化研究会月例発表会	日本社会文化研究会	2008. 04. 01 ~ 2008. 12. 31	イ・ジョング（聖公会大学校社会学教授）を代表に、韓国内の大学で日本地域学を主な専門とする研究者12名が発足させた研究会。月例発表会では日本社会の動向と文化的特性を研究し、必要に応じ、公開セミナーも実施
96	韓日メディアフォーラム「韓日メディア選挙比較」	社団法人韓日未来フォーラム	2008. 04. 03	2008年4月9日の韓国国会議員総選挙を念頭に日韓の選挙報道を比較し、両国の差異を探るフォーラムを開催。1部では韓日メディアの選挙報道比較、2部では韓日メディアの市民教育的機能について発表が行われ、3部で総合討論を実施
97	日本語教師資格基準開発と評価領域詳細化のためのセミナー	韓国教育課程評価院	2008. 04. 26	韓国教育課程評価院が2009年度から中等教師新規任用候補者を選定する競争試験の出題および採点方式を変更するにあたり、各専攻別の基準開発を各学会に依頼。このうち日本語部門の公開セミナーをソウル日本文化センターで開催

海外事務所

	事業名	主催機関	期間	事業内容
98	八田りチングのチンチャトーク	吉本興業株式会社	2008. 05. 13	日本と韓国でお笑い芸人として活動しているチングと、八田靖史（コリアンフードコラムニスト）の3人によるトークライブを開催
99	韓日メディアフォーラム「李明博大統領の実用外交と日韓関係」	社団法人韓日未来フォーラム	2008. 05. 15	「日韓新時代」における日韓関係の位置付けについて、対日外交政策の中核にいる朴ジュヌ（外交通商部企画調整室長）が講演、討論会も実施
100	韓国日語教育学会学術発表会	韓国日語教育学会	2008. 05. 17	韓国日語教育学会の会員の研究活動の方向性を提示するとともに韓国の日本語教育学研究の活性化を目的として、「日本語教育に占める日本文化教育の実像と課題」というテーマで発表会およびセミナーを実施
101	第27回韓日メディアフォーラム	韓国老人人力開発院 社団法人韓日未来フォーラム	2008. 07. 24	日韓両国の言論人、大学教授、企業人、文化人が参加する月例討論の場。「韓国と日本の高齢化対策比較」をテーマに現実的な対策を比較・討論
102	韓日交流展	韓日婦人会	2008. 12. 08 ～ 2008. 12. 12	韓国の「三星レポート婦人会」と「SJC婦人会」の会員が作品（水墨画、陶磁器等）を出品する交流展覧会。出品作家は全員アマチュア
103	京畿道外国語教育研修院中等日本語教師海外専門課程第2次協議会	京畿道外国語研修院	2008. 12. 09	京畿道外国語教育研修院主催の中等日本語教師訪日研修の参加者13名による訪日準備会議のためソウル日本文化センターの講義室を提供
104	韓国日語教育学会教員研修会	韓国日語教育学会	2008. 12. 13	「体験学習活用を通じた日本語教育」というテーマによる韓国日語教育学会主催の第14回目の教員研修会。発表会の会場としてソウル日本文化センターのホールおよび講義室を提供
105	県民ジュニア第2回ソウル展	神奈川県美術家協会	2008. 12. 15 ～ 2008. 12. 19	2008年に日本で開催された第32回県展ジュニア展に韓国より入選した作品と日本、アジアの参加作品を展示
106	X JAPAN映像会&写真展	X JAPAN KOREA FAN CLUB WEEKEND	2008. 12. 20	J-POPの代表格であるX JAPANのファンクラブであるKOREA FAN CLUB WEEKEND主催のイベント

海外事務所

	事業名	主催機関	期間	事業内容
107	ソウル日本語教育研究会主催2008冬季 職務研修	ソウル日本語教育研究会	2009.01.05 ~ 2009.01.09	中等日本語教師40名を対象とした「新しいパラダイムの日本語教授学習方法」というテーマの冬季職務研修の実施会場としてソウル日本文化センターの施設を提供
108	時越サランバン	時越サランバン実行委員会	2009.01.16 ~ 2009.01.30	日本で活躍している多様なジャンルの韓国人新人芸術家の作品を日本に紹介するプロジェクト「時越サランバン」に出品された作品の一部を展示する展覧会。プロジェクトについての報告会も実施
109	二人展（書の軌跡及び油彩画）	長 敦子	2009.03.23 ~ 2009.03.27	古代文字から現代まで甲骨文、金文、カナ、子供の書による金文作品20~30点、掛軸20点、油彩画10点の展示と「女」という文字の変遷を映像で表した国際交流展

【文化備品・視聴覚資料貸出】

	事業名	主催機関	期間	事業内容
110	河瀬直美企画展	映画社ジンジン	2008.04.17 ~ 2008.04.27	ソウル日本文化センター所蔵フィルム・ライブラリーの中から、『にっつまれて』および『かたつもり』を上映

【その他】

	事業名	主催機関	期間	事業内容
111	忠清北道日本語教育研究会セミナー出 講	忠清北道日本語教育研究会	2008.04.11	中等学校日本語教育研究会セミナーで「楽しい会話指導法」として会話指導の方法および国際交流基金開発教材『エリンが挑戦』を紹介
112	又石大学校特別講義	又石大学校	2008.05.01	又石大学校の学部学生・院生・研究員等約550名を対象にソウル日本文化センター所長による国際交流基金事業に関する講演を実施。講演会終了後は、聴衆との意見交換会も開催
113	高麗大学校講演会	高麗大学校	2008.05.14	高麗大学校の学部学生・院生・研究員等約150名を対象にソウル日本文化センター所長による国際交流基金事業に関する講演を実施。講演会終了後は、聴衆との意見交換会も開催

海外事務所

	事業名	主催機関	期間	事業内容
114	全羅北道日本語教育研究会ワークショップ	全羅北道日本語教育研究会	2008. 05. 23	全羅北道日本語教育研究会が主催するワークショップに、ソウル日本文化センター日本語教育アドバイザーが出講し、会話文に現れる表現の使用場面を考えさせるワークショップを実施。約70名が参加
115	ソウル大学校師範大学特別講義	ソウル大学校外国語教育研究所	2008. 05. 29	ソウル大学校師範大学大学院に所属する、英語教育、ドイツ語教育、フランス語教育を専攻する大学院生および教員に対し、ソウル日本文化センター日本語・日本研究部長が国際交流基金の日本語事業に関する特別講義を実施
116	蔚山大学校講演会	蔚山大学校	2008. 06. 03	蔚山大学校学生および国立放送通信大学校・蔚山市受講生を合わせた約240名を対象にソウル日本文化センター所長による国際交流基金事業に関する講演を実施。講演会終了後は、蔚山大学校の学生・院生・助教など16名との交流会も開催
117	大田中等日本語教育研究会セミナー	大田中等日本語教育研究会	2008. 06. 03	大田中等日本語教育研究会が実施するセミナーでの講義および大田高等学校での日本語公開授業の見学。ソウル日本文化センター日本語教育アドバイザーが「楽しい会話指導法」として会話指導の方法を講義し、国際交流基金開発教材『エリンが挑戦』も紹介
118	全南第1高等学校公開授業視察	全羅南道教育庁	2008. 06. 26 ～ 2008. 06. 27	木浦地域の中等日本語教員を対象とした教授法セミナーにソウル日本文化センター日本語教育アドバイザーが出講。全羅南道教育庁が開催する日本語公開授業も視察
119	京畿道中等日本語教育研究会夏期セミナー	京畿道中等日本語教育研究会	2008. 07. 05	京畿道の中等学校で日本語を教える教師のための研修会。ソウル日本文化センター日本語教育アドバイザーが「コミュニケーションのための教室活動を考える」というテーマで講義。約50名が参加

海外事務所

	事業名	主催機関	期間	事業内容
120	2008年度第2外国語専門課程オンライン研修特別講演	京畿道外国語研修院	2008. 07. 17	京畿道外国語研修院で実施している日本語教師対象の研修会で、ソウル日本文化センター日本語教育アドバイザーが「覚えるための教室活動を考える」というテーマで講演
121	仁川日本語教育研究会夏期セミナー	仁川日本語教育研究会	2008. 07. 24	仁川特別市の中等学校日本語教育研究会でのセミナー。ソウル日本文化センター日本語教育アドバイザーが「コミュニケーションのための教室活動を考える」というテーマで講演
122	2008年度忠南日本語教科教育研究会教員特殊分野日本語会話職務研修	忠南日本語教科教育研究会	2008. 07. 31	「グローバル人材育成のための日本語教育教科（意思疎通能力の向上）」 「先端マルチコンテンツ制作を通じたe-Learning教育の強化」を目的とした研修。ソウル日本文化センター日本語教育アドバイザーが「多様な学習方法～文型ドリルについて考える～」というテーマで講演
123	京畿道外国語教育研修院主催中等日本語教師深化課程	京畿道外国語教育研修院、筑波大学留学生センター	2008. 08. 27 ～ 2008. 09. 26	京畿道外国語教育研修院が筑波大学と共催で京畿道地域の高校日本語教師48名に日本語と教授法の研修を実施。ソウル日本文化センター日本語教育アドバイザーが教授法科目および日本語科目を担当
124	順天高校ワークショップ	順天高校	2008. 10. 01 ～ 2008. 10. 02	全羅南道の順天高校で行われ、近隣高校を含む日本語教師10名が参加したワークショップに、ソウル日本文化センター日本語教育アドバイザーが出講。講義テーマは「ひらがなの注意点とひらがなゲーム体験」および「口頭ドリルについて考える」
125	全羅南道中等日本語教育研究会セミナー	全羅南道日本語教育研究会	2008. 10. 25	全羅南道日本語教育研究会が主催するセミナーにソウル日本文化センター日本語教育アドバイザーが出講し、「楽しい会話指導について考える」をテーマに講義
126	2008年度済州道日本語教科研究会セミナー	済州道日本語教科研究会	2008. 10. 30 ～ 2008. 10. 31	済州地域の会員たちによるセミナーの一環として、ソウル日本文化センター日本語教育アドバイザーが日本文化としての俳句の指導方法および会話力向上のための練習方法等について講義

海外事務所

	事業名	主催機関	期間	事業内容
127	2008年度江原道日本語教育研究会セミナー	江原道日本語教育研究会	2008.12.06 ～ 2008.12.07	研究会の会員40名が参加したセミナーの一環として、ソウル日本文化センター日本語教育アドバイザーが「聴解活動について考える」というテーマで講義
128	京畿道中等日本語教育研究会2008年度冬季研修会	京畿道中等日本語教育研究会	2008.12.13 ～ 2008.12.14	研究会の会員55名が集まり、「多様媒体を活用した学習資料開発」というテーマでセミナーを実施。ソウル日本文化センター日本語教育アドバイザーが出講、「画像素材等の教材としての利用法について」というテーマで講義
129	全羅南道中等日本語教師職務研修	全羅南道教育研修院	2009.01.07 ～ 2009.01.08	全羅南道地域の中等日本語教師を対象にした教師職務研修に、ソウル日本文化センター日本語教育アドバイザーが出講、「日本語教授法」科目を担当

北京日本文化センター

合計額 110,314,233 円

(1) 主催・共催事業

【公演】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	J-Meeting 2008	北京	クンルン飯店	財団法人音楽産業・文化振興財団	2008.06.21	株式会社ジェネオンエンタテインメント制作プロデューサーの川村明廣による「アニメ音楽の多様な楽しみ方」をテーマとした講演会及び中国でも知名度のある若手歌手タイナカサチのコンサートとファン交流会。
2	J-pop Concert in Beijing	北京	北京外国語大学千人礼堂	在中国大使館、財団法人音楽産業・文化振興財団、北京外国語大学日本語学部	2008.11.28	「日中青少年友好交流年」を記念して、中国の青少年の間で人気が高い日本のアニメ・J-pop音楽を通じて日本理解・日中交流を促進するため、北京の若者を対象に日本のアニメソング歌手によるコンサート・交流会を実施。

【講演・シンポジウム】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
3	アジア国際将棋交流 (AISEP 将棋大会)	北京	北京日本文化センター多目的ホール	AISEP	2008.05.30 ~ 2008.06.02	羽生善治 (棋士) が北京にて講演会、各国大学生と交流を実施。また、東アジア各国及び地域の大学生代表 (中国、日本、中国香港、シンガポール、マレーシア) が将棋を通じて交流を行い、将棋を軸に、各国の文化や歴史、社会の比較討論を実施。
4	日中平和友好条約締結30周年 関西・湖北友好週 文化フォーラム「中国人作家の眼に映った日本・関西」	武漢	華中師範大学	関西広域機構、華中師範大学	2008.10.25	日中間の相互理解、友好親善を目的として、武漢の日本語専攻大学生に対し、日本在住中国人作家の毛丹青 (2008年6月ようこそ日本親善大使に任命)、中国南京在住作家の蘇童 (2008年4月に訪日) の両氏に、日本・関西の旅、生活風景、心情等を語ってもらう講演会を実施。
5	講演会「JENESYS環境」	北京	北京日本文化センター多目的ホール		2008.11.22	平成20年度JENESYSプログラム環境グループ (市民青少年交流課実施分) の参加者、NGO組織「自然之友」の胡卉哲を迎え、訪日報告会として、ゴミ問題をめぐり、講演会を開催。

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
6	鈴木貞美講演会	北京、上海	北京第二外国語大学、北京日本文化センター多目的ホール、上海外国語大学	中国日本語教学研究会	2008.12.17	中国日本語教学研究会主催の日本学研究国際学術研討会にゲストスピーカーとして招聘された鈴木貞美教授を講師に招き、北京日本文化センターに加え、中国社会科学院外国文学研究所、北京第二外国語学院と復旦大学と上海外国語大学において、「新たな生命観が問われている」というテーマで講演を実施。
7	本田雅俊講演会	北京、武漢	北京日本学研究センター、北京日本文化センター多目的ホール、武漢大学	武漢大学日本研究センター	2009.01.09 ~ 2009.01.13	中国の青少年層の日本理解促進のため、主に大学生、大学院生を対象とした日本政治に関する講演会を北京及び武漢において開催。講演会においては、議院内閣制に基づく現代日本の政治制度の概要をわかりやすく解説した上で、現在、日本の政治が直面する課題や今後の展望などについて説明。
8	李鋭・毛丹青講演会「中国人作家の眼に映った日本」	北京	北京日本文化センター多目的ホール		2009.02.06	2007年、国際交流基金は中国人作家の李鋭を日本に招聘し、「中国と私の文学の道」と題した巡回講演を実施。その旅の中で、当該事業のコーディネーターである毛丹青等と意見を交わし、日本文化について考察した内容が、広西師範大学出版社から「焼夢」と題して出版されたことを記念し、李鋭と毛丹青による講演会を実施。
9	漫画賞受賞者 尹川講演会	北京	北京日本文化センター多目的ホール		2009.03.21	2008年度国際漫画賞銀賞受賞者の尹川（漫画家）と、馬桂林（漫画雑誌編集者）を招き、日本の漫画が中国の漫画に与えた影響や中国の漫画の現状について講演会を実施。併せて尹川の受賞作品をギャラリーにて展示。
10	日系企業の社会貢献活動講演会	昆明	雲南大学	雲南大学	2009.03.21	中国における日系企業の社会貢献活動について、北京日本文化センターが中国日本商会等と協力して実施したアンケート調査報告をもとに分析結果を紹介。

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
11	日本文化紹介講座「日本のポップカルチャー」	北京	北京日本文化センター多目的ホール	日中文化交流推進会	2009.03.28	日本文化に触れる機会が比較的少ない若者や、日本に対する関心がそれほど高くない若者に対し、衣食住や娯楽といった身近なテーマの日本文化を紹介し、日本に対する関心と理解を深めてもらうことを目的とした講演会シリーズ。

【日本語教育】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
12	2008年春季遼寧省初級高級中学校進学検討会	瀋陽	中国遼寧省瀋陽市基礎教育教研培训中心	中国遼寧省瀋陽市基礎教育教研培训中心	2008.04.03 ~ 2008.04.06	遼寧省内の中学・高校の日本語教師を対象に、高校入試、大学入試の日本語科目の過去問題の分析を中心とした教師研修会。
13	第3回全国大学日本語教師研修会（広州）	広州	広東省広州市華南農業大学	高等教育出版社	2008.07.19 ~ 2008.07.24	中国の日本語教師とりわけ若手の日本語教師の日本語能力および日本語教授能力を高めることを目的に、全国の大学の日本語教師を対象に開催。
14	遼寧省高級中学校新教材研修会	瀋陽	中国遼寧省瀋陽市基礎教育教研培训中心	中国遼寧省瀋陽市基礎教育教研培训中心	2008.07.20 ~ 2008.07.23	遼寧省内の高校日本語教師を対象に、新しい高校日本語教育シラバスと教科書の関係、また新しい教科書を使ってどのように授業を進めていくかを中心とした研修会を実施。
15	2008年夏季全国中等日本語教師研修会（長春）	長春	吉林省長春市日章学園	教育部人民教育出版社、日章学園	2008.07.26 ~ 2008.07.30	全国の高校で日本語を教える教師を対象にした教師研修会。2007年から順次刊行されている高校指定日本語教科書の教授法について派遣専門家による講義とワークショップを中心に実施。
16	第3回中国中等日本語教師研修参加者同窓会	北京	北京日本文化センター		2009.02.15 ~ 2009.02.16	1999年から日本語国際センターで実施している中国中等日本語教師研修に過去参加した日本語教師を集め、帰国後のフォローアップミーティングとワークショップを実施。
17	2008年度さくらネットワーク中核事業：第2回大学日本語教師同窓会	北京	北京日本文化センター		2009.03.07 ~ 2009.03.08	1993年から毎年40名日本語国際センターに招へいする本研修のこれまでの修了生を対象にした同窓会。谷部弘子東京学芸大学教授による特別講演のほか、参加者座談会を実施。また、西安市でも大学日本語教師を対象にした巡回講演会を開催。

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
18	2009年春季全国中等日本語教師研修会（北京）	北京	北京市華育賓館	教育部人民教育出版社	2009.03.13 ～ 2009.03.15	中等教育の第一線で活躍している日本語教師を対象に日本語教授法、日本語、日本事情の3分野に関する研修会を実施。
19	遼寧省小学校日本語コンテスト	阜新	佛寺鎮中心小学	遼寧省基礎教育教研培訓中心、阜新市進修学校、阜新県進修学校	2009.03.20	阜新地区の小学校で使用されているテキスト「小学用日本語教材」第1冊～第4冊を使用した、テスト式による小学生対象の日本語学習奨励コンクールを実施。
20	2009年春季遼寧省初級高級中学校進学検討会	瀋陽	中国遼寧省瀋陽市基礎教育教研培訓中心	中国遼寧省瀋陽市基礎教育教研培訓中心	2009.03.27 ～ 2009.03.29	遼寧省内の中学・高校の日本語教師を対象に、高校入試、大学入試の日本語科目の過去問題の分析を中心とした教師研修会。

【教室事業】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
21	2009年春季日本語教育研究講座	北京	北京日本文化センター		2009.02.27 ～ 2009.05.17	北京市内の若手大学日本語教師を対象にした定期講座を試験的に開講。毎週金曜日の夜2時間、北京日本文化センター内で日本語教授法と日本語の2本立てによる講座を実施。

【その他】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
22	留華ネット	北京、天津、上海、瀋陽、成都、南京、西安、大連、広州、昆明	北京日本文化センター		2008.04.01 ～ 2009.03.31	日本人留学生のネットワーク「留華ネット」は、2009年02月現在、10都市に代表があり、現地の日本人コミュニティや日本語・日本文化に関心を持つ中国の学生等と交流イベントを企画したり、各地方の文化交流イベントに関する情報交換を行っている。6月、9月、3月に北京日本文化センターで全体ミーティングを行って活動報告等を行った他、12月には成都ふれあいの場で現地学生との交流会を実施。

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
23	在外日本文化専門家第三国間派遣（モンゴル／華道）	ウランバートル	在モンゴル大使館、モンゴル日本センター、自然史博物館	在モンゴル大使館	2008.10.14 ～ 2008.10.19	在モンゴル大使館からの要請に基づき、在北京の大坪光泉（華道家）をウランバートルに派遣。ウランバートルの在モンゴル大使館、モンゴル日本文化センター、自然史博物館にて生け花のデモンストレーションとレクチャーを実施。
24	日中交流大学サークル交流会	北京			2008.12.13	北京市内の大学にある日中交流サークルの代表者を集め、国際交流基金事業について紹介するとともに、相互の活動紹介や活動を進める上での課題等について意見交換を実施。

【本部事業受入】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
25	Soothe北京公演	北京	民族文化宮、MAO、長富宮飯店		2008.10.09 ～ 2008.10.12	三味線、和太鼓、現代楽器を組み合わせたバンド(Soothe)によるコンサートを、北京日本文化センターの文化センター設置式典とも合わせて実施。

【図書館運営】

	事業名	期間	事業内容
26	図書館運営	2008.04.01 ～ 2009.03.31	日本文化、日本語教育関係書籍・資料、視聴覚資料を備えた図書館の運営。 (1) 所蔵資料数 (2009.03.31現在) 日本語図書 11,025冊、中国語、英語図書2,793冊、DVD 104点、ビデオ 428本、CD 545本を所蔵。 (2) 入館者数：7,557名。 (3) 貸し出し数：6,250点。 (4) レファレンス件数：50件 (5) 図書館用リーフレット作成 2,000部

【出版・広報】

	事業名	期間	事業内容
27	ウェブサイト運営管理	2008.04.01 ～ 2009.03.31	北京日本文化センターの事業紹介、イベント告知、実施報告等を、豊富な画像と共に掲載。 URL: http://www.jpfbj.cn/

海外事務所

	事業名	期間	事業内容
28	215教師ウェブサイト運営管理	2008.04.01 ~ 2009.03.31	公募プログラムお知らせ、研修会・セミナー報告、日本語教師のためのリンク集、当北京日本文化センターからのお知らせや日本語スピーチコンテスト、シンポジウム等の情報も掲載。 URL: http://www.jfb215kyooshi.com/
29	ニューズレター作成・配布	2008.04.01 ~ 2009.03.31	事業の広報や報告、日本語教育情報等を掲載。「てふてふ」を年3回、各3,000部を作成・配布

(2) 助成・協力事業

【助成事業】

	事業名	助成機関	期間	事業内容
30	魯東大学第1回日本文化祭	魯東大学	2008.05.10	剣道、華道のレクチャーデモンストラーションのほか、煙台市内の4つの大学生によるひらがな書道大会、日本料理展示等の日本文化祭に対する助成。
31	北京大学中日文化節	北京大学中日交流協会	2008.05.10 ~ 2008.06.01	北京大学学生および日本人留学生の主催で「交流・青年・文化」をテーマとした文化祭を実施。文化展示会、中日合作映画上映会、カラオケ大会、サッカー親善試合、日中著名人シリーズ講演会などを開催。
32	合肥地区職業学院第1回日本文化祭	安徽中澳科技職業学院	2008.05.31	安徽省合肥市の単科大学で日本語を専攻する学生を対象とした、日本知識クイズ大会、日本語寸劇、朗読コンテストなどの日本文化祭に対する助成。
33	広東省中山市小欖実験高級中学第8回日本語スピーチ大会	中山市小欖実験高級中学	2008.06.21	中山市小欖実験高級中学の校内日本語スピーチコンテストに対する助成。
34	「日本語教育と日本学研究論叢 第三集」出版助成	北京師範大学外文学院日本語学科	2008.08.01 ~ 2008.09.31	2006年に北京師範大学外国語学院日本語学部が開催した「東アジアの中の日本文学」国際学術会議の成果を広く社会へ還元させるため、この大会の発表内容と一部の日本語言語教育の研究成果を「日本語教育と日本学研究論叢」として出版。

海外事務所

	事業名	助成機関	期間	事業内容
35	第11回日本文学全国大会国際学術シンポジウム	中国外国文学学会日本文学研究会	2008.08.18 ～ 2008.08.21	中国日本文学研究会が「文化交流視野における日本文学」というテーマで全国的な学術シンポジウムを開催。日本、韓国、ロシア、中国など国内外の学者、およそ100人が参加。
36	2008 China Trip	復旦大学中日学生サロン	2008.08.25 ～ 2008.08.31	日本の大学生12名を上海に招へいし、上海側メンバー（日本語を学ぶ中国人大学生及び日本人留学生）計29名が、5日間の合宿形式で討論会、料理大会、スポーツ大会を通じて交流。
37	学術講座「文化対話の根源探求」	厦門大学文学院日本語教育研究センター	2008.09.01 ～ 2008.11.31	アモイ大学外文学院日本語教育研究センターが9月から11月にかけて、日本から著名な学者を招へいし、「文明対話の根源探求」をテーマとしたシリーズ講演を開催。文明対話の可能性と未来について検討し、日中両国の文化対話と学術交流を促進することを目的としたもの。
38	京論壇	北京大学学生国際交流協会	2008.09.08 ～ 2008.09.14	東京大学と北京大学の学生による交流事業で本年度3年目。「企業文化と業務方式」「食品安全問題」「歴史教育」「公衆の日中軍事問題に関する見方」の4つのテーマで、日中の学生が英語で討論。
39	切り絵交流展	陝西・乾県剪纸協会	2008.09.12 ～ 2008.09.15	2001年より日本東京切り絵会と交流を続けている陝西省の切り絵協会が日中の切り絵作品の展覧会を開催。
40	ボイド眞理子講演会	青年戯劇節「電の駅」劇組	2008.09.12 ～ 2008.09.15	「北京青年演劇祭」で日本の劇作家・演出家の太田省吾の一周忌を記念して制作した作品「電の駅」が上演されるのにあわせ、演劇研究者のボイド眞理子（上智大学教授）による講演会を実施。
41	第三回中国SGRA論壇	延辺大学アジア研究センター	2008.09.26	アジア学生文化協会の工藤正司常務理事が、同協会の創設者穂積五一の思想と、アジア学生文化協会を通して見た日本とアジアのつながり、民間人による活動の意義等について講演を実施。

海外事務所

	事業名	助成機関	期間	事業内容
42	日本漫画交流会@瀋陽	一墨千寧書芸院	2008.10.10 ～ 2008.10.11	日本漫画学院長および日本の漫画家3名を招き、現地漫画学校関係者等との交流会（ワークショップ）を実施。あわせてアニメ学校学生を対象とした漫画教室を開催。
43	2008中日青少年花芸文化交流展覧	広東花卉文化学会	2008.10.11 ～ 2008.10.12	日中青少年の華道コンテストを行うと同時に、日本・中国・香港・台湾の華道家による華道展を実施。また、華道家・水上雅夫氏を招聘し、デモンストラーションを実施。デモンストラーションには約400名が来場。広州ジャパンディ事業。
44	日本漫画交流会@ハルビン	黒龍江省人民政府外事弁公室日本処	2008.10.11 ～ 2008.10.13	日本漫画学院長および日本の漫画家3名を招き、現地漫画学校関係者等との交流会（ワークショップ）を実施。あわせてチャリティサイン会、原画展、アニメ学校学生を対象とした漫画教室等を開催。黒龍江ジャパンウィーク事業。
45	日本語演劇祭（内蒙古大学）	内蒙古大学外国語学院日本語学部	2008.10.12	内蒙古大学2008年日本文化祭日本語演劇大会で、日頃の日本語学習成果を披露すべく、学生たちの日本語演劇の公演を実施。
46	大道芸交流会	黒龍江省人民政府外事弁公室日本処	2008.10.14 ～ 2008.10.16	日本の大道芸人を黒龍江省・ハルピンに招き、現地の学校（小・中・大学、福祉施設）を訪問して、大道芸実演およびからくり人形を使った遊びを紹介。黒龍江ジャパンウィーク事業。
47	人民大学日本文化祭	中国人民大学中日交流協会	2008.10.18	中国人民大学の学生サークル「中日交流協会」が、同大学の日本人留学生会と連携し、中日両国の文化を展示することを通して、学生たちが日中文化を体験する文化祭を実施。
48	昆明卓球大会	日中昆明卓球交流会実行委員会	2008.10.26	日本人留学生が中心となり、日中の若者たちが気軽に楽しく参加できる卓球大会を実施。
49	二高派遣	二高表演	2008.10.28 ～ 2008.11.02	財団法人福岡市文化芸術振興財団が実施する「アジア・コンテンポラリーダンス・ナウ」にて中国人ダンサー二高の公演を実施。

海外事務所

	事業名	助成機関	期間	事業内容
50	貴州大学第4回アニメソング大会	貴州大学外国語学院	2008. 11. 07	貴州市内にある大学の学生たちによるアニメソングの歌唱大会を実施。
51	重慶大学外語文化節	重慶大学外国語学院	2008. 11. 09 ～ 2008. 11. 29	重慶大学外国語学院が実施する第8回外語文化節において、市内他大学や在重慶総領事館が共催して、専門家による和服講座、学生による演劇「大正四谷怪談」公演、近隣大学生による日本語朗読コンテスト・日本語作文コンテストを実施。大学生約200名が参加。重慶ジャパンウィーク事業。
52	「日中韓地域協力と国民相互理解」国際シンポジウム	同済大学アジア太平洋研究センター	2008. 12. 13 ～ 2008. 12. 14	中国、日本及び韓国の国際問題研究者が集まり、東アジア地域における共同繁栄の経済基礎と各国国民間の相互認識を促進させる交流メカニズムの設立等について議論を実施。
53	貴州大学茶道ワークショップ	貴州大学外国語学院	2008. 11. 19 ～ 2008. 11. 20	裏千家北京駐在員によるデモンストレーションおよびワークショップを実施。貴州市内にある大学の学生等約200名が参加。
54	北京科技職業学院日本語学院 日本語スピーチコンテスト	北京科技職業学院	2008. 11. 21	北京科技職業学院の第1回校内日本語スピーチコンテストに対する助成。
55	パードハウスプロジェクト	2008 “地球新巢” 国際設計大賽組織委員会	2008. 11. 28 ～ 2008. 12. 14	「未来の住環境・未来の地球環境」をテーマに、世界的な建築家・スペースデザイナー等と世界各地の小中高大学生たちがテーマにちなんだ作品を作成し、展示すると同時に、日本からの学生等も参加して環境問題のシンポジウムを実施。
56	語言大学紅白歌合戦	北京語言大学日語協会	2008. 12. 19	音楽を通し、日中両国の学生の文化交流を促進すべく、北京語言大学の学生サークル「日語協会」が、同大学の日本人留学生会と連携し紅白歌合戦を実施。
57	北京理工大学 北京市大学2年生日本語スピーチ大会	北京理工大学	2008. 12. 19	北京市内の9校の大学で日本語を専攻として学ぶ大学2年生を対象にした、日本語スピーチコンテストに対する助成。
58	海南省第2回日語戯劇大会	海南大学外国語学院	2008. 12. 20	海南大学にて、海南省の大学で日本語を学ぶ学生たちによる日本語演劇の大会を実施。

海外事務所

	事業名	助成機関	期間	事業内容
59	秋元珠江+小阪淳展	「秋元珠江+小阪淳展」実行委員会	2008. 12. 20 ～ 2009. 02. 15	日本人アーティスト秋元珠江+小阪淳の個展を798芸術区内の東京画廊にて開催。
60	瀋陽文化祭	遼寧大学日本人会	2008. 12. 21	瀋陽大学にて、留学生が中心となって、もちつきや浴衣ファッションショー、ダンス、クイズなどの文化祭を実施。
61	日本ドキュメンタリー映画交流会2008 REAL	中央戯劇学院	2008. 12. 22 ～ 2008. 12. 24	日本のドキュメンタリー映画作品を通して、現代日本を紹介すると共に、日本より映画監督を招へいし、中国の監督、研究者、学生との交流会を開催。
62	黒龍江省第2回中等日本語スピーチコンテスト	黒龍江省教育学院	2008. 12. 25 ～ 2008. 12. 26	黒龍江省内の朝鮮族の中学・高校生を対象にした日本語スピーチコンテストに対する助成。
63	演劇公演「杏仁豆腐のココロ」	Office30	2008. 12. 25 ～ 2008. 12. 27	『杏仁豆腐のココロ』の作家、演出家である鄭義信と舞台美術家の池田ともゆき、舞台監督の吉木均を日本から香港に招聘し、香港スタッフと共に作品作りをし、香港の観客に提供。
64	上海同済大学作文コンテスト	同済大学	2008. 12. 26	中国全土で日本語を学ぶ大学生を対象にした、オンラインによる作文コンクールへ助成。
65	大連餅つき大会	大連留学生社団 D. I. S. A	2009. 01. 10	大連留学生社団 (DISA) が、「餅つき」を中心に、ソーラン節、和太鼓、浴衣ファッションショーなどのステージ企画を通し、日本人学生と日本に関心のある中国人との文化交流及び相互理解を図るイベントを実施。
66	東アジア武士道の研究 国際シンポジウム	中華日本哲学会	2009. 02. 15	日中韓の日本武士道に関する研究者が参集し、同分野の研究者や大学院生を対象に、アジアにおける日本武士道研究の展開と日本思想理解の深化等について基調講演と一般報告を実施。
67	日台震災後における住宅再建融資メカニズム講演会	中国社会科学院社会学研究所	2009. 02. 25 ～ 2009. 03. 02	日本及び台湾の専門家を招き、震災後の融資及び支援基金の設立方法について、北京及び成都で講演会を行うと同時に、関係者が被災地を視察。

海外事務所

	事業名	助成機関	期間	事業内容
68	「中日友好杯」バドミントン大会	中国人民大学中日交流協会	2009.03.20 ～ 2009.03.29	中国人民大学中日交流協会が北京の他大学と連携し、日中大学生が参加するバドミントン大会を実施。
69	雲南大学日本文化週	雲南大学外国語学院東語系	2009.03.21 ～ 2009.03.28	雲南大学にて北京日本文化センター所長藤田安彦のCSR講演会、日本のポスター展を実施。
70	漢字文化圏近代言語文化交流研究	天津外国語学院	2009.03.26	中国、台湾、韓国などの有名な学者を40名招聘し、漢字文化圏の近代語研究におけるさまざまな共通テーマについて発表と討議を実施。

【後援事業】

	事業名	主催機関	期間	事業内容
71	日中交流フォーラム	中国日企ネット	2008.06.19	日中の政府、学者、企業、メディア代表が日中関係、日中青少年交流、日系企業の社会貢献、双方の情報発信などについて議論。
72	大学・語学学校対抗 小倉百人一首かるた 北京大会	北京鵲橋かるた会	2008.07.05	北京近郊の大学や語学学校において、日本語を学習する中国人参加の百人一首かるたゲーム大会（日本人小学生による対抗戦も含む）を北京日本文化センター多目的ホールにて実施。日本語学習初級者でも楽しめる「小倉百人一首かるたゲーム」の普及が目的。
73	大連日中学生合同緑化運動inホルチン沙漠	大連留学生社団	2008.07.17 ～ 2008.07.18	日中の学生が参加するホルチン砂漠での植林、緑化活動。
74	「草擲」（くさむすび）日中国際交流展示会	『草擲』（くさむすび）日中国際交流展示会実行委員会	2008.08.22 ～ 2008.09.05	日中の若手アーティストによる展示会を当センター多目的ホールにて実施。
75	「中国の改革開放と日本」論壇	中国中日関係史学会	2008.09.19	日本政府及び日本経済界が中国の改革開放の各時期に果たした役割及び中国の改革開放に寄与した日本人関係者の貢献について再検討。
76	2008中日文化観光交流ウイーク	北京漫歩广告有限公司	2008.09.29 ～ 2008.10.05	2008年北京朝陽国際旅行フェスティバルの一環として、北京漫歩广告有限公司が主催する、ブース出展、ステージイベント等を含むイベント。

海外事務所

	事業名	助成機関	期間	事業内容
77	四川大地震チャリティコンサート	四川大地震チャリティコンサート実行委員会	2008. 10. 15	四川省出身の二胡演奏家 羅紅を中心とする演奏会を実施。第1部は羅紅と中国民族楽器演奏者による中国古典音楽、第2部は日本人の二胡学習者も加わり、日本の曲、クラシックなどを交えた演奏で日中の文化交流を図る。
78	Japan-China ONEASIA Rock Concert #1 四川大地震チャリティ in Beijing	ONE ASIA	2008. 11. 01	バンド「GYPSY QUEEN」「氏神一番（カブキロックス）」「Peaceful Clover」の演奏および現地アーティストとの共演を主体とした公演を実施。収益の一部は四川大地震の被災地へ寄附。
79	2008日中コミュニケーションフォーラム	中日伝播中心	2008. 11. 03	中日伝播中心が「これからの日中コミュニケーションのあり方とメディアの課題」と題したフォーラムを実施。各方面の専門家を交えて日中コミュニケーション学の構築、日中メディア報道の状況について議論・検討。
80	「独語」-アジア青年芸術家試験展第一回	画廊網・当代芸術	2008. 11. 30 ~ 2008. 12. 10	アジアの若手アーティストによる展覧会を草場地芸術区にて実施。

【文化備品・視聴覚資料貸出】

	事業名	主催機関	期間	事業内容
81	人民大学日本語学部新入生歓迎会	人民大学日本語学部	2007. 09. 18 ~ 2008. 09. 20	中国人民大学の日本語学科新入生歓迎会。
82	対外経済貿易大学運動会	対外経済貿易大学	2008. 04. 25 ~ 2008. 04. 28	北京にある対外経済貿易大学にて学生たちの運動会を実施。
83	北京郵電大学 国際文化祭	北京郵電大学	2008. 04. 26	大学内の行事として、諸外国の文化紹介や知識を競うクイズ大会などを開催。
84	国際関係学院日本文化祭	国際関係学院	2008. 05. 07	国際関係学院の日本語学科の学生が、日本とフランスをテーマにした文化祭で日本の玩具や浴衣を展示。
85	北京大学日中文化祭	北京大学	2008. 05. 09 ~ 2008. 05. 10	北京大学学生および日本人留学生の主催で「交流・青年・文化」をテーマとした文化祭を実施。文化展示会、中日合作映画上映会、カラオケ大会、サッカー親善試合、日中著名人シリーズ講演会などを開催。

海外事務所

	事業名	助成機関	期間	事業内容
86	北京第二外国語学院 演劇大会	北京第二外国語学院	2008.05.12 ～ 2008.05.14	北京第二外国語学院にて、学生たちが日頃の語学学習成果を発表する演劇大会を実施。
87	安徽大学日本文化祭	安徽大学	2008.05.20 ～ 2008.05.29	安徽省合肥市において、複数の日本語学科が集まって開催する日本文化祭。
88	VOLVO(中国) 日本紹介イベント	VOLVO(中国)	2008.08.22 ～ 2008.08.29	VOLVO(中国) 社内にて日本文化紹介イベントを実施。
89	「2008中日文化観光交流ウイーク」	北京漫步广告有限公司	2008.09.26 ～ 2008.10.07	2008年北京朝陽国際旅行フェスティバルの一環として、北京漫步广告有限公司が主催する、ブース出展、ステージイベント等を含むイベント。
90	中国人民大学中日文化祭	中国人民大学中日交流協会	2008.10.08 ～ 2008.10.20	中国人民大学の学生サークル「中日交流協会」が、同大学の日本人留学生会と連携し、中日両国の文化を展示することを通して、学生たちが日中文化を体験する文化祭を実施。
91	北京理工大学文化祭	北京理工大学	2008.12.16 ～ 2008.12.26	北京理工大学文化祭にて、日本の世界遺産パネルを展示。

ジャカルタ日本文化センター

合計額 117,161,893 円

(1) 主催・共催事業

【展示】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	「Jepang」写真展	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター		2008.04.01 ~ 2008.04.11	巡回展「スピリトを写すー現代日本写真」展に併せて公募した写真展を行った。「日本」をテーマに全国から募集し、日・インドネシア友好50周年記念にちなみ、優秀作品50点を選出
2	いけばな展	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター	いけばなインターナショナルジャカルタ支部	2008.04.17 ~ 2008.04.18	いけばなインターナショナルジャカルタ支部と共催でいけばな展を開催し、池坊・一葉式・小原流・桂古流・草月・未生流・松風花道会流の所属全7派から約60点を展示
3	「あたまのなかのすきま」アカデミサマリ展	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター	漫画学校アカデミサマリ	2008.06.09 ~ 2008.06.20	漫画学校アカデミサマリと共催で総合美術展を開催し、絵画・写真・マンガ・アニメーション・インスタレーション作品など約40点を展示
4	「アルタイラソルジャーズ」リズキ=ムストハファ=アリスン展	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター		2008.06.20 ~ 2008.07.04	若手芸術家支援を目的として実施する「ネオピオン」の一事業として、ジャカルタ出身の若手芸術家リズキ=ムストハファ=アリスンの漫画イラスト展を開催
5	もしもしスマラン	スマラン	ルマー・スニ・ヤイトゥ、ディポネゴロ大学他	漫画学校アカデミサマリ	2008.07.04 ~ 2008.07.09	漫画学校アカデミサマリと共催し総合美術展を開催。普段、日本文化に接する機会の少ない中部ジャワ州スマランで漫画などの作品を展示するほか、漫画ワークショップ、日本をテーマにした写真展や日本映画上映、折り紙ワークショップを実施

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
6	「ワリ・ソング」 セノ=グミラ=アジダルマ写真展	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター		2008.09.08 ~ 2008.09.19	ヒンズー王国が栄えたインドネシアにイスラム教を広めた伝説の導師9人ワリ・ソングをテーマに写真家セノ=グミラ=アジダルマの写真展を開催した。また、開会式当日には、ヘンリー=チャンバート=ロワー（歴史家）とセノ=グミラ=アジダルマを招いて「ジャワにおける巡礼の伝統」をテーマに講演会も開催
7	ネオ・ピオン バフルディン展	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター		2008.11.03 ~ 2008.11.07	若手芸術家支援を目的とした「ネオピオン」シリーズで、新聞紙を使用し独特なタッチで立体作品を創作しているバフルディンの作品展を開催。また、11月5日には一般向けにワークショップを開催し、新聞紙で写真立てなどを製作
8	ネオ・ピオン ムンチャン展	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター		2008.11.14 ~ 2008.11.28	若手芸術家支援を目的とした「ネオピオン」シリーズで、ジャワの伝統・古典美術をモチーフとしたドローイングを創作しているムンチャン（ヘリー・ノバント）の作品展を開催
9	第13回日イ児童画展	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター	ジャカルタジャパンクラブ、ジャカルタ日本人学校	2009.01.23 ~ 2009.02.01	「地球を救え！」をテーマにジャカルタジャパンクラブとの共催（協力：ジャカルタ日本人学校）で、日本人とインドネシア人児童の絵画展覧会を実施
10	バーリ・アート・スタジオ 作品展 「Symphony Parahyangan」	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター		2009.02.06 ~ 2009.02.18	「バーリ・アート・スタジオ」創設者である画家・故バーリ・サスマタウィナタの2周忌を記念したスタジオ作品展を開催した。同氏の妻、弟子、スタジオ講師など22名の画家の作品を展示した。2月12日には一般向けにワークショップを3回（ガラス絵、陶器絵付け、パティック）行い、日イ約100人が参加

【公演】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
11	「踊りに行くぜ！」インドネシア公演	バリ、ジャカルタ、ジョグジャカルタ、バンドン	クシナルワナ文化センター（バリ）、ゲーテ・インスティテュート（ジャカルタ）、タマン・ブダヤ（ジョグジャカルタ）、インドネシア芸術大学バンドン校	クロラ財団、ゲーテ・インスティテュート、インドネシア芸術大学バンドン校、アルティ財団、ジョグジャカルタ・アートフェスティバル	2008.06.09 ～ 2008.07.01	ジャパン・コンテンポラリー・ダンス・ネットワーク（JCDN）が主催するコンテンポラリー・ダンス紹介事業。バリ、ジャカルタ、ジョグジャカルタ及びバンドンで合計5公演を実施するとともに、ジャカルタ及びジョグジャカルタにおいては、地元のダンサーとの共同制作も実施
12	アートトライジャカルタ公演	ジャカルタ	ジャカルタ芸術劇場		2008.09.16 ～ 2008.09.17	4組のパフォーマーを招聘し、ジャカルタ芸術劇場で開催される国際舞台芸術フェスティバル「ショウブルグフェスティバル」にて2日間に渡り日本のコンテンポラリー・パフォーマンスを紹介
13	テアトルKAMI公演「狂人教育」	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センターホール	テアトルKAMI	2008.10.30 ～ 2008.10.31	日本が誇る劇作家、演出家、映画監督、歌人である寺山修司没後25年を記念して、寺山修司が1962年に書き下ろした唯一の人形劇「狂人教育（Educating Mad Persons）」を、テアトル KAMIが上演
14	クダン・プロジェクト公演「BIGEIKOH」	バンドン	インドネシア芸術学院バンドン校	インドネシア芸術学院バンドン校	2008.11.18 ～ 2008.11.20	筒井康隆の小説「美藝公」を二人芝居ユニットKUDAN Projectが舞台化し、脚本・演出の天野天街（少年王者館）と小熊ヒデジ（てんぷくプロ）らが演ずる作品を、インドネシア芸術学院バンドン校で上演
15	テアトル・ガラシ 「その男はジャマルという」	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター他		2008.11.28 ～ 2008.11.29	2006年日本のク・ナウカ・シアターとの共作などでも知られる、劇団テアトル・ガラシのモノログ作品を2回にわたって上演した。これはテアトル・ガラシが、11月にモノログ4作品をインドネシア各都市で上演する「名前の物語」というソロ・プロジェクトの一環として実施
16	福田千栄子 地歌・箏曲レクチャー・デモンストレーション	ジャカルタ、バンドン	ジャカルタ芸術大学、インドネシア大学、インドネシア芸術学院バンドン校	在インドネシア大使館、インドネシア大学、インドネシア芸術学院バンドン校、ジャカルタ芸術大学、コモン・ルーム	2009.02.18 ～ 2009.02.23	文化庁より文化交流使として任命を受けた地歌・箏曲演奏家の福田千栄子がインドネシア、フィリピンを巡回し、レクチャーデモンストレーション及び小公演を実施した。インドネシアにおいては、ジャカルタ及びバンドンの大学を巡回

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
17	テアトル・スندیリ 結成25周年公演	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター他		2009.02.25 ~ 2009.02.27	ジャカルタの老舗劇団であるテアトル・スندیリが結成25周年公演として、3日間にわたり「テロリスト」「羅生門」「ダグ・ディグ・ドゥグ」を上演した。公演に合わせて、ミニ・ギャラリーでは、公演写真、チラシ、ステージ衣装などを展示した。また、受付ホールでは、国立第3高等専門学校の舞台芸術専攻の生徒が、最終日のプロローグに出演するためにワークショップを行った。

【講演・シンポジウム】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
18	ジャカルタ南極教室	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター		2008.05.25	南極観測に従事したOBを中心とするボランティア団体「南極教室」と共催で、第34次日本南極観測隊員として越冬した西分竜二による講演会を実施
19	インドネシア社会文化講座 バクティアル=アラム講演会	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター		2008.05.26	インドネシアン・ヘリテイジ・ソサエティと共催で、インドネシア日本研究学会会長のバクティアル=アラムによるインドネシア社会文化講座を実施。インドネシア社会の最新事情を政治・社会・文化面から解説
20	日本研究関連の奨学金・助成金に関するワークショップ	ジャカルタ	アル・アザール インドネシア大学	インドネシア日本研究学会、アル・アザールインドネシア大学	2008.06.16	インドネシア日本研究学会等と共催で「日本研究分野の助成及び奨学金を取得する秘訣」と題したワークショップを行い、国際交流基金の日本研究分野のフェローシップやグラント・プログラムを紹介
21	茶の湯レクチャーデモンストレーション	デポック	インドネシア大学日本研究センター	インドネシア大学日本研究センター、裏千家淡交会インドネシア支部	2008.06.24	インドネシア大学日本研究センター及び裏千家と共催で、鵬雲斎千玄室大宗匠を招いて茶の湯のレクチャーと裏千家によるデモンストレーションを実施
22	アートポリス 2	バンドン	バンドン工科大学	バンドン工科大学	2008.08.08 ~ 2008.08.10	“Creative Communities and Making of Place: Sharing Creative Experiences”と題してバンドン工科大学が国際会議及びワークショップを行った。日本からスピーカーとして招待される佐々木雅幸（大阪市立大学教授）の旅費の一部を負担

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
23	日本研究関連の奨学金・助成金に関するワークショップ	バンドン	ウィドヤタマ大学	インドネシア日本研究学会、ウィドヤタマ大学	2008.08.12	インドネシア日本研究学会等と共催で「日本研究分野の助成及び奨学金を取得する秘訣」と題したワークショップを行い、国際交流基金の日本研究分野のフェロシップやグラント・プログラムを紹介
24	公開講演会「インドネシアとイスラーム」	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター	東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所	2008.09.02	東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所と共催で、「インドネシアとイスラーム」と題して2名の講演者を招き、イスラームの一般的な知識とインドネシアにおけるイスラームと政治についての講演会を行った。国交樹立50周年を迎える日本-インドネシア両国間の理解促進を目的として、主に現地の在留邦人を対象に開催
25	日本料理レクチャー・デモンストレーション	ジャカルタ	日本料理「basara」		2008.11.22	小山裕久（日本料理専門家）がインドネシア来訪に際し、料理専門学校及び料理教室の教師及び生徒を対象として、日本料理に関するレクチャー・デモンストレーションを実施
26	幼稚園教諭向けセミナー「子どもと本とお話の世界」	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター		2009.03.03	ジャカルタにおいて活動しているNGO「J2ネット」と共催で、同団体が実施している文庫設置活動の一環として「幼児期の子ども達に必要な絵本とお話の世界」についてのセミナーを開催

【映画】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
27	シネマ・キャラバン	ジャカルタ首都圏	ジャカルタ首都圏内高校		2008.04.01 ~ 2009.03.31	普段日本映画を見る機会のない地方都市やジャカルタ周辺の高校・大学へ出向き映画の上映会を行うとともに折り紙などの日本文化紹介を行った
28	シネマ・キャラバン	アチェ、カリマンタン	サレー・スクール（バング・アチェ）、ボンティアナック市内4高校（カリマンタン）	コミュニタス・ティカール・パンダン（アチェ）	2008.04.01 ~ 2009.03.31	日本文化が紹介されることが稀な地域にジャカルタ日本文化センター・スタッフが赴き、映画を上映すると共に折り紙の実演、日本に関する質疑応答などの文化紹介イベントを実施する。今年度はアチェ及びボンティアナック（カリマンタン）にて実施

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
29	映画上映会	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター		2008.04.01 ~ 2009.03.31	ジャカルタ日本文化センター所蔵のフィルム・ライブラリーより作品を選定し、定期的に映画上映会を実施
30	『その月が満ちるまで』上映会	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター		2008.08.15	8月7日からジャカルタで開催された第7回Q!フィルムフェスティバル参加作品『その月が満ちるまで』をジャカルタ日本文化センターで上映。また、上映の後にはインドネシア人映画監督ルキのトークショーも開催

【日本語教育】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
31	日本語弁論大会一般の部 (地区予選会)	メダン バンドン ジョグジャカルタ スラバヤ バリ マナド	北スマトラ大学 パジャジャラン大学 ガジャマダ大学 ノボテル サラスワティ外国語大学 サムラトランギ大学		2008.04.01 ~ 2008.06.30	日本語を学ぶインドネシアの大学生及び社会人に日頃の学習の成果を発揮する機会を提供し、学習意欲を高めることを目的に開催している日本語弁論大会(一般の部)全国大会出場を目指した地区予選をスマトラ地区、ジャボデタベック地区、西ジャワ地区、中部ジャワ・ジョグジャカルタ地区、東ジャワ地区、スラウェシ地区及びバリ地区で実施
32	高校日本語教師会支援(北スラウェシ州)	北スラウェシ州	マナド国立第1高校 他		2008.04.01 ~ 2009.03.31	インドネシア教育省語学教員研修所から承認を受けた高校日本語教師会(北スラウェシ州)に対する年間を通じた支援。ジャカルタ日本文化センターと共催で各種活動(勉強会等)を実施
33	インドネシア普通高校選択科目日本語教科書作成プロジェクト	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター	インドネシア教育省 普通中等教育局	2008.04.01 ~ 2009.03.31	インドネシアでは中等教育機関における日本語学習者が急増しているが、最も学習者が増えた選択必修外国語として日本語を勉強する高校生及び日本語を教える高校教師向けの適切な教科書が存在しないことから、教育省普通中等教育局と共催して高校における選択必修外国語科目授業用教科書を製作するプロジェクトを実施。本年度は試用版作成のための会議を2回実施、試用版の発行、試用版の試用結果の中間報告会議を実施

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
34	高校日本語教師会支援 (ジャボデタベック地区)	ジャカルタ 首都圏			2008.04.01 ~ 2009.03.31	インドネシア教育省語学教員研修所から承認を受けた高校日本語教師会(ジャボデタベック地区)に対する年間を通じた支援を実施。ジャカルタ日本文化センターと共催で各種活動(勉強会等)を実施し、ジュニア専門家を通じた支援も実施
35	高校日本語教師会支援(北スマトラ州)	北スマトラ州			2008.04.01 ~ 2009.03.31	インドネシア教育省語学教員研修所から承認を受けた高校日本語教師会(北スマトラ州)に対する年間を通じた支援。ジャカルタ日本文化センターと共催で各種活動(勉強会等)を実施
36	高校日本語教師会支援(西スマトラ州)	西スマトラ州			2008.04.01 ~ 2009.03.31	インドネシア教育省語学教員研修所から承認を受けた高校日本語教師会(西スマトラ州)に対する年間を通じた支援。ジャカルタ日本文化センターと共催で各種活動(勉強会等)を実施
37	高校日本語教師会支援(西ジャワ州)	西ジャワ州			2008.04.01 ~ 2009.03.31	インドネシア教育省語学教員研修所から承認を受けた高校日本語教師会(西ジャワ州)に対する年間を通じた支援。ジャカルタ日本文化センターと共催で各種活動(勉強会等)を実施
38	高校日本語教師会支援(中部ジャワ州・ジョグジャカルタ特別州)	中部ジャワ州、ジョグジャカルタ特別州			2008.04.01 ~ 2009.03.31	インドネシア教育省語学教員研修所から承認を受けた高校日本語教師会(中部ジャワ・ジョグジャカルタ特別州)に対する年間を通じた支援。ジャカルタ日本文化センターと共催で各種活動(勉強会等)を実施
39	高校日本語教師会支援(東ジャワ州)	東ジャワ州			2008.04.01 ~ 2009.03.31	インドネシア教育省語学教員研修所から承認を受けた高校日本語教師会(東ジャワ州)に対する年間を通じた支援。ジャカルタ日本文化センターと共催で各種活動(勉強会等)を実施
40	高校日本語教師会支援(バリ州)	バリ州			2008.04.01 ~ 2009.03.31	インドネシア教育省語学教員研修所から承認を受けた高校日本語教師会(バリ州)に対する年間を通じた支援。ジャカルタ日本文化センターと共催で各種活動(勉強会等)を実施

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
41	日本語講座	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター		2008.04.01 ~ 2009.03.31	一般社会人向けに中級レベル（1クラス/定員25名）及び上級レベル（2クラス/定員各25名）のコースを開講した。ジャカルタ近郊には民間日本語学校が35機関前後存在しているが、上級クラスを運営しているのはジャカルタ日本文化センター講座に限られている。本年度も引き続き質の高い授業を提供した。
42	教師研修講座	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター		2008.04.01 ~ 2009.03.31	中級レベルの日本語を教えることのできる教師を育てることを目的とした講座を実施した。当該講座には、ジャカルタ近郊の大学教師、中学教師、高校教師及び民間日本語学校教師等が参加しており、質の高い授業を提供
43	大学教員向教授法訪問指導	ジャカルタ首都圏			2008.04.01 ~ 2009.03.31	ジャカルタ日本文化センター所属派遣専門家による首都圏地区所在大学への定期訪問。期待される教師を効率的に育成するために、指導すべき教師を選定し、2週間に1回程度、1シメスター（6カ月）連続して当該教師の授業を見学し、助言・指導を実施
44	インドネシア日本語教育研究会				2008.04.01 ~ 2009.03.31	ジャカルタ日本文化センターが母体となって設立したインドネシア日本語教育研究会において、高等教育機関日本語教師向けに日本語及び日本語教授法の研究会を実施
45	第7回高校生日本語弁論全国大会	ジャカルタ		インドネシア教育省 初等中等教育局	2008.04.05	インドネシア教育省初等中等教育局と共催し、日本語を学習している高校生の学習意欲向上及びレベルアップを目的とした弁論大会を実施。ジャボデタベック地区、北スマトラ、西スマトラ、西ジャワ、中部ジャワ、東ジャワ、バリ、北スラウェシ8地方大会優秀者13名をジャカルタに集め競い合った。本大会の上位入賞者3名が基金主催の高校生日本語学習者奨励研修へ、1名が「海外高校生による日本語スピーチコンテスト（JSA）」の参加資格を得て訪日

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
46	普通・宗教高校日本語教師基礎研修（ジャカルタ/第1回）	ジャカルタ		国家教育省初等中等教育局語学教師研修所	2008.04.28 ～ 2008.05.09	国家教育省初等中等教育局語学教師研修所と共催して実施する普通・宗教高校教員向け基礎研修。ジャカルタ日本文化センターからは専門家1名、ジュニア専門家2名、インドネシア人専任講師（センターから）2名が出講。日本語能力試験4級程度の教師20名に対し日本語運用能力及び教授法の向上を目指す研修会を実施
47	インドネシア日本語教育学会（南スラウェシ州支部支援）	マカッサル	ハサヌディン大学		2008.05.23	ハサヌディン大学にて南スラウェシ州の高校、大学、民間日本語学校の教師を対象に、「日本文字学習法」に関するセミナーを実施。ジャカルタ日本文化センターから吉田裕子専門家が出講し、「日本語の文字」及び「ひらがなとカタカナの指導」をテーマに講演を実施
48	日本語弁論大会一般の部（首都圏地区大会/主催）	ジャカルタ 首都圏			2008.05.24	日本語を学ぶインドネシアの大学生及び社会人に日頃の学習の成果を発揮する機会を提供し、学習意欲を高めることを目的に開催している日本語弁論大会（一般の部）全国大会出場を目指したジャボデタベック地区予選を実施。当該地区から3名が全国大会へ出場
49	第1回インストラクター候補者研修（TOT教師研修）	ジャカルタ		国家教育省初等中等教育局語学教師研修所	2008.05.26 ～ 2008.06.07	国家教育省初等中等教育局語学教師研修所との共催で実施。高校日本語教師の地方研修を企画・運営できるインストラクターを養成することを主目的とする研修会。研修期間は2週間。授業時間は140時間。ジャカルタ日本文化センターから専門家1名、ジャボデタベック地区ジュニア専門家1名、インドネシア人専任講師1名が出講
50	普通・宗教高校日本語教師基礎研修（ジャカルタ/第2回）	ジャカルタ		国家教育省初等中等教育局語学教師研修所	2008.06.09 ～ 2008.06.21	国家教育省初等中等教育局語学教師研修所との共催して実施する普通・宗教高校教員向け基礎研修を実施。ジャカルタ日本文化センターからはジュニア専門家2名、インドネシア人専任講師（センターから）2名が出講。日本語能力試験4級程度の教師20名に対し日本語運用能力及び教授法の向上を目指す研修会を実施

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
51	日本語弁論大会一般の部(全国大会)	ジャカルタ			2008.07.05	日本語を学ぶインドネシアの大学生及び社会人に日頃の学習の成果を発揮する機会を提供し、学習意欲を高めることを目的に開催した日本語弁論大会(一般の部)を実施。今年度で37回目を迎える。インドネシア各地(スマトラ、ジャカルタ、西ジャワ、中部ジャワ、東ジャワ、バリ、スラウェシの7地域)での予選を勝ち抜いた14名がジャカルタで競い合った。日本語の流暢さのみならず、テーマや考え方も採点の対象となり、回を重ねるごとに出場者のレベルは上がっている。1、2位入賞者は社団法人在外企業協会主催のアセアンスピーチコンテスト(日本で実施)に参加
52	インドネシア日本語教育学会(ジャボデタベック支部)	ジャカルタ首都圏	ドクター・ムハマッド・ハムカ大学		2008.08.09	ドクター・ムハマッド・ハムカ大学にて第9回支部セミナーを実施。参加者数は70名。テーマは「通信と会話の授業」とし、午前中のセッションはジャカルタ近郊の大学の文書の書き方についての授業がどのように行われているかの調査発表を行い、午後はロールプレイを中心の授業をどのように行うか、ワークショップと模擬授業を中心に参加型の活動を実施
53	第2回インストラクター候補者研修(TOT教師研修)	ジャカルタ		国家教育省初等中等教育局語学教師研修所	2008.08.11 ~ 2008.08.23	国家教育省初等中等教育局語学教師研修所との共催で実施。高校日本語教師の地方研修を企画・運営できるインストラクターを養成することを主目的とする研修会。研修期間は2週間。授業時間は140時間。ジャカルタ日本文化センターから専門家1名、インドネシア人専任講師が出講
54	ジャボデタベック地区初級教授法研修	ジャカルタ首都圏			2008.08.15 ~ 2008.08.18	ジャボデタベック地区の高等教育機関・民間講座講師向けに初級教授法研修を行う。当地講師が発表原稿を準備して講演する形式。発表原稿作成の際にはジャカルタ日本文化センター派遣専門家が随時助言を実施

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
55	インドネシア日本留学フェア	ジャカルタ	ジャカルタ・コンベンション・センター		2008.08.31	独立行政法人日本学生支援機構（JASSO）が主催するインドネシア人向け日本留学フェアに参加。インドネシアの学生が日本留学を志し、かつ、留学希望にあった大学等を選択し、実りのある留学を達成できるよう情報提供することを目的とする。当該フェアには日本から17大学、6専門学校の他、在インドネシア大使館、インドネシア元日本留学協会、インドネシア大学日本研究センターなどのブースが設けられた。ジャカルタ日本文化センターも知名度向上のためブースを設け、事業活動の紹介や日本文化紹介事業を実施
56	インドネシア外務省入省日本語試験	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター		2008.10.11	インドネシア外務省より入省試験のうち、外国語部門日本語試験問題（日本語能力試験2級程度）を作成し、ジャカルタ日本文化センターで実施
57	普通・宗教高校日本語教師継続研修（ジャカルタ）	ジャカルタ	国家教育省初等中等教育局語学教師研修所	国家教育省初等中等教育局語学教師研修所	2008.10.13 ～ 2008.10.24	国家教育省初等中等教育局語学教師研修所と共催して実施する普通・宗教高校教員向け継続研修。ジャカルタ日本文化センターからはジュニア専門家2名、インドネシア人専任講師（センターから）2名が出講。日本語能力試験3級程度の教師21名に対し日本語運用能力及び教授法の向上を目指した
58	日本語教材寄贈授与式（ジャボデタベック地区）	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター		2008.10.22	ジャカルタ近郊の日本語教材寄贈プログラムの採用機関を集め、ジャカルタ日本文化センターホールにて教材授与式を実施
59	ジュニア専門家会議	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター		2008.10.27 ～ 2008.10.28	インドネシア各地に派遣されているジュニア専門家5名がジャカルタに集まり、各地域における中等教育レベルの日本語教育事情に関する報告、及び今後の中等教育レベルにおける日本語教師業務方針に関する討議を実施
60	日本語教育専門家会議	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター		2008.10.29 ～ 2008.10.30	インドネシア各地に派遣されている専門家6名がジャカルタに集まり、各地域における高等教育レベルの日本語教育事情に関する報告、及び今後の日本語教師業務方針に関する討議を実施

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
61	インドネシア日本語教育学会（東ジャワ州支部支援）	スラバヤ	11月10日工科大学		2008. 11. 29	日本研究（日本語・日本文学教育）に携わるインドネシア人の知識・見識を高めることを目的とした国際セミナーをスラバヤの11月10日工科大学にて実施。同セミナーには講演者として藤田秀雄（文化人類学研究者）を招聘し、「オーストロネシア語は日本語の起源」というテーマで講演を行った。またワークショップには山下美紀専門家が参加
62	日本語能力試験	メダン、パダン、ジャカルタ、バンドン、ジョグジャカルタ、スラバヤ、バリ			2008. 12. 07	インドネシア7都市（メダン、パダン、ジャカルタ、バンドン、ジョグジャカルタ、スラバヤ、バリ）で実施される日本語能力試験の共催者に対し、指導や助言などの協力を実施
63	インドネシア日本語教育学会（北スマトラ州支部支援）	メダン	北スマトラ大学		2008. 12. 13	北スマトラ地域における日本語教育の質の向上のため、1日セミナーを北スマトラ大学で行った。午後のワークショップでは木谷専門家がエリンを使った授業と題し、ワークショップを実施
64	ジャボデタベック地区文法一日セミナー	ジャカルタ首都圏			2008. 12. 20	ジャカルタ首都圏（ジャボデタベック）の日本語教員を対象に、テーマを「わかりやすく教えるための動詞の分類」と題し、文法分析力の向上及び知識の拡充を目指すための1日セミナーを実施
65	2009年度インドネシア中等教育日本語教師研修事前研修	ジャカルタ			2009. 01. 12 ～ 2009. 01. 24	インドネシア教育省との共催で、2006年度から5カ年計画で計100名の高校日本語教師を日本に送り、国際交流基金日本語国際センターで約7週間の日本語・日本事情研修を行うプログラム。今年は4年目にあたる。各地域から選抜された30名の高校教師がジャカルタに集まり、2週間にわたって事前研修を行った。30名の事前研修参加者から最終的に20名が選抜され、4月中旬に日本で研修を受講

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
66	第8回高校生日本語弁論大会 (地区予選会/計8地区)				2009.01.13 ~ 2009.02.07	日本語を学習している高校生の日本語学習意欲向上、日本文化紹介の一環として、高校生日本語弁論大会を実施した。インドネシアの8地区で開催される予選に勝ち抜いた優秀者がジャカルタで実施される全国大会に出場できる。この予選は文化祭の中の行事として、書道大会などと一緒に実施
67	インドネシア日本語教育学会 (西スマトラ州支部支援)	パダン	ブンハッタ大学		2009.01.15	ブンハッタ大学にて大学教員及び日本語教師を対象に、日本語教授法に関するセミナーを実施
68	インドネシア日本語教育学会 (西ジャワ州支部支援)	西ジャワ州	マラナタ・キリスト教 大学		2009.01.17	マラナタ・キリスト教大学にて、西ジャワ州の大学教師、高校教師及び大学生を対象に、テーマを「実践報告－運用力育成のためのトレーニング」と題し、西ジャワ支部セミナーを実施。当該セミナーには山本晃彦専門家もキーノートスピーカーとして参加
69	初級教授法研修	ジャカルタ			2009.02.09 ~ 2009.02.14	「授業項目を中心に授業を考えることができること」等を目標に、ジャボデタベック地区の大学教員及び民間講座講師を対象とした研修会を実施。研修期間は6日間、当該研修には16名の日本語教師が参加
70	インドネシア日本語教育学会 会支援 (本部/学会支部長会議)	スマラン	ディポネゴロ大学		2009.02.18	インドネシア日本語教育学会本部が実施する全国セミナーの機会を利用し、ディポネゴロ大学にて学会役員及び各支部幹部(支部長)を集め会議を実施。今後の学会運営及び方針について意見交換を実施

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
71	第8回高校生日本語弁論全国大会			インドネシア教育省 初等中等教育局	2009. 02. 21	インドネシア教育省初等中等教育局と共催し、日本語を学習している高校生の学習意欲向上及びレベルアップを目的として実施する弁論大会。ジャボデタベック地区、北スマトラ、西スマトラ、西ジャワ、中部ジャワ、東ジャワ、バリ、北スラウェシの8地方大会優秀者13名をジャカルタに集め競い合った。本大会の上位入賞者3名が基金主催の高校生日本語学習者奨励研修へ、1名が「海外高校生による日本語スピーチコンテスト（JSA）」の参加資格を得て訪日した
72	第7回スラバヤ漢字カップ	スラバヤ		在スラバヤ総領事館、 元日本留学生協会東 ジャワ支部、国際文化 交流センターじゃすみ ん	2009. 03. 01	東ジャワ州スラバヤで、在スラバヤ総領事館、国際交流基金、元留学生協会東ジャワ支部、国際文化交流センター、じゃすみんが共催して実施。同州各地やジャカルタ、バンドン、ジョグジャカルタなどから日本語を学習するインドネシア人学生、130名が参加し、早押しクイズや書き取り問題で漢字能力を競った。
73	平成20年度第1回日本語履修高校生向け進路推進フェア	ジャカルタ			2009. 03. 10	日本語を履修している高校生（27校/122名）の参加を得て日本語関連進路推進フェアを実施した。同フェアでは、現在、日本関係の仕事に就いている日本語履修者OB/OGが体験を語り、また、日本語学科を有するジャカルタ近郊10大学の日本語学科長等が資料配布・大学案内を行って、大学進学後も日本語学習を継続する意義を説明した。プログラムの最後には、茶道・裏千家の協力により日本文化紹介事業も実施

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
74	平成20年度第2回日本語履修高校生向け進路推進フェア	ジャカルタ			2009.03.19	日本語を履修している専門高校の生徒（25校/102名）向けに日本語関連進路推進フェアを実施。同フェアでは、日本語履修卒業生（労働移住省職員）による体験談、三菱自動車総務部日本人社員による「日系企業で仕事をする上での心構え及び慣習」に関する講演、現役の観光ガイドによる「日本人観光客に対するサービスの心得」に関する講演を行った。また、プログラムの最後には、日本食レストラン「BASARA」の協力により日本文化紹介事業も実施
75	インドネシア日本語教育学会（北スラウェシ州支部支援）	マナド	マナド国立大学		2009.03.20 ～ 2009.03.21	北スラウェシ州の大学教員及び日本語教師の能力向上を目的としたセミナーをマナド国立大学にて実施。また、同セミナーには山下美紀専門家（スラバヤ国立大学）が出講し「日本語の表現・日本人の習慣」というテーマで講演を実施

【図書館運営】

	事業名	期間	事業内容
76	図書館運営	2008.04.01 ～ 2009.03.31	書籍38,841点、オーディオビジュアル等資料3,444点、併せて42,285点の整理、貸し出しを実施。また、インターネットサービスも行った。 年間利用者数：17,072名

【出版・広報】

	事業名	期間	事業内容
77	ニュースレター『NUANSA』	2008.04.01 ～ 2009.03.31	ジャカルタ日本文化センターの文化事業関連ニュースレターを年4回発行
78	ニュースレター『EGAO』	2008.04.01 ～ 2009.03.31	ジャカルタ日本文化センターの日本語事業関連ニュースレターを年4回発行

【教室事業】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
79	囲碁教室	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター		2008.04.01 ～ 2009.03.31	インドネシア人囲碁愛好家や初心者向けに毎週金曜日に囲碁教室を開き、センター職員が指導を行った。

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
80	スクールビジット	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター		2008.04.01 ~ 2009.03.31	地元高校や大学からセンター見学を受け入れ、図書館案内や映画鑑賞、着付けや折り紙などの日本文化の体験、また、日本人職員との質疑応答を通し日本紹介を行った
81	茶の湯教室	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター		2008.04.01 ~ 2009.03.31	裏千家インドネシアの協力を得て、受講生15名、3ヵ月間の初心者向け茶の湯教室を、平成20年度より開設
82	生け花教室	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター		2008.05.16 ~ 2008.08.29	一葉式の免状を持つインドネシア人師範による初心者向けの生け花教室を実施すると共に、教室の成果発表の場として生徒の作品の展覧会を実施

【その他】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
83	第5回フレンドシップカップ囲碁大会	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター	ジャカルタ囲碁将棋クラブ	2008.08.24	ジャカルタ囲碁将棋クラブと共催で日・インドネシア親善囲碁大会を開催し、囲碁を通じての友好親善を図った
84	第6回4か国対抗国際親善囲碁大会	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター		2008.12.12 ~ 2008.12.14	日本棋院から向井梢恵初段を審査委員長に迎え、インドネシア人・日本人・中国人・韓国人囲碁愛好家による4か国・国際親善囲碁大会、インドネシア人若手囲碁愛好家向けの囲碁教室を開催

(2) 助成・協力事業

【文化備品・視聴覚資料貸出】

	事業名	対象機関	期間	事業内容
85	各種文化備品貸出		2008.04.01 ~ 2009.03.31	インドネシア国内の各種機関に、ジャカルタ日本文化センターが所蔵する日本映画（インドネシア語字幕付き）、展示セット等を貸出

バンコク日本文化センター

合計額 142,338,257 円

(1) 主催・共催事業

【展示】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	日本庭園写真展	バンコク	バンコク日本文化センターアートスペース		2008.05.06 ~ 2008.06.23	バンコク日本文化センター所蔵写真パネルの展示。水野克比古が春夏秋冬それぞれのテーマのもとに撮影した日本庭園の風景、計40点の作品展
2	タイ児童俳句絵画展	バンコク	バンコク日本文化センターアートスペース	JAL	2008.07.01 ~ 2008.07.26	今年のテーマは「風」。全国192の中等学校から応募のあった延べ1,700点の俳句作品中から、優秀作品50点を、本人が描いた絵と共に当センターのアートスペースにて展示
3	映像作家 早川貴泰作品展	バンコク	バンコク日本文化センターアートスペース		2008.09.04 ~ 2008.10.22	新進の若手映像作家早川貴泰の作品4点「KASHIKOKIMONO」、「阿吽二字」、「雲散霧消」、「えん」を展示

【公演】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
4	第1回ハウスコンサート	バンコク	バンコク日本文化センターホール	Children and Youth Development Association	2008.07.26	2006年度にシリーズ化を目指して開始したハウスコンサート（自前の会場で行う音楽会）の第1回目。タイの著名なクルイ（タイのフルート）奏者であるタニット・シークリンディーを迎え、日・タイの伝統楽器である箏、クルイと、西洋楽器（チェロ、バイオリン、ピアノ）との共演
5	第2回ハウスコンサート	バンコク	バンコク日本文化センターホール		2008.10.18	2006年度にシリーズ化を目指して開始したハウスコンサート（自前の会場で行う音楽会）の第2回目。「Voice」をテーマに、タイで30年以上もの歴史を持つ日本人会女声コーラス部が、日・タイの民謡から、ジブリ作品「となりのトトロ」や「千と千尋の神隠し」のテーマ曲まで、日タイ双方で人気の高い曲目を披露

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
6	キン・シオタニ「ライブ・ドローイング・パフォーマンス&ワークショップ」	バンコク	The Style by TOYOTA	AGGS	2008.10.23	セレクトショップ「ビームス」での個展や、落語家立川志の吉とのコラボなど、多方面で活躍する日本人イラストレーター、キン・シオタニが、「Konnichiwa My Friends」を合言葉に、ポップアートに関心のあるタイの若者と「ともだち」になる一日を演出した、ライブ・ドローイング・パフォーマンス及びワークショップを実施
7	「トリオ・コンサートー日本の伝統音楽からクラシックまで」	バンコク	タイ・カルチャー・センター	タイ・カルチャー・センター	2009.01.12	水野信行（ホルン）、松岡美絵（ピアノ）、佐份利恭子（バイオリン）によるクラシック音楽のトリオ・コンサート。ホルン三重奏曲のほか、「さくらさくら」「赤とんぼ」等、日本の伝統曲も交えたプログラムを実施

【講演・シンポジウム】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
8	四方田犬彦講演会	チェンマイ	チェンマイ大学人文学部	チェンマイ大学（日本研究センター国際交流・研究課）、在チェンマイ総領事館、チュラーロンコーン大学アジア研究所API Fellowships Program	2008.04.01	「日本映画が描く女性について」と題し、四方田犬彦明治学院大学教授による講演（日本語。タイ語通訳）を4者共催で実施。聴衆約70人。チェンマイ大学日本研究センター初の公開事業
9	宮田亮平講演会	バンコク	シラパコン大学	シラパコン大学、電通	2008.06.12	宮田亮平東京藝術大学学長の講演。聴衆は、シラパコン大学学長、教員・学生を中心に約100名。昨年120周年を迎えた東京藝大の学長としての取組みなど伝統と革新の融合がもたらす創造をテーマに講演
10	岩井成昭 作品上映会&スペシャルトーク	バンコク	バンコク日本文化センターホール	APIフェローシッププログラム	2008.08.28	日本財団APIフェローシップで来タイ中の岩井成昭（美術家）による、アート関係者を主対象とした講演会を実施。タイで制作した『Kiku Sadud Rak』（2005）、オーストラリアの日本人墓地を舞台とした『In Repose』（2007）の2本の短編映像作品を上映後、氏による解説及び質疑応答を実施

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
11	野田秀樹 パブリック・トーク	バンコク	The Style by TOYOTA	The Style by TOYOTA, 東京芸術劇場	2009.03.18	野田秀樹（作家・演出家）によるパブリック・トークを開催。パーウィット・マハサリナンドをモデレーターに迎え、プラディット・プラサートング（マカンボン財団ディレクター）と対談。現代演劇事情、タイとのかかわりが野田氏の創作活動に与えた影響、今後の展開等について討論

【映画】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
12	JFシアター	バンコク	バンコク日本文化センターホール		2008.04.01 ~ 2009.03.31	毎月テーマを定め、毎週金曜日及び第1・第3火曜日に日本映画の上映会を定期的に開催。原則として、タイ語字幕付きのフィルムを上映
13	北部タイ日本映画祭2008	チェンマイ	チェンマイ大学人文学部	パヤップ大学タイ日センター、チェンマイ大学日本研究センター	2008.11.21 ~ 2008.11.23	ランナー・ジープン交流祭の一環として実施。「We Shall Overcome…」をテーマに、戦争が引き起こした辛い過去や歴史、世代間のギャップ等々、さまざまな課題とそれを乗り越える人々の姿を描いた映画に焦点を当てて上映
14	北部タイ巡回日本映画上映会	クンユアム郡、メーホンソン市、ピサヌローク市、チェンマイ	クンユアム郡、メーホンソン市、ナレースワン大学、パヤップ大学	クンユアム市、メーホンソン県、ナレースワン大学元日本留学生会・ナレースワン大学人文学部	2009.02.28 ~ 2009.03.07	バンコク日本文化センターで保有しているタイ語字幕付き日本映画（16ミリフィルム）を有効活用し、普段日本映画が上映される機会の少ない北部都市にて上映会を実施
15	プーケット日本人祭・日本映画上映会	プーケット	プーケットタウン・王妃記念公園	プーケット日本人会	2009.03.07	プーケット日本人祭に際し、バンコク日本文化センターで保有しているタイ語字幕付き日本映画（16ミリフィルム）を使用した日本映画上映会を実施。通常日本映画が商業上映される機会の少ないプーケットで対日理解を促進
16	バンコク日本映画祭2009「Celebration of SAKURA and Japanese Spring」	バンコク	SFワールドシネマ (Central World)	日本政府観光局 (JNTO)、SFワールドシネマ	2009.03.20 ~ 2009.03.22	時代・ジャンルを超えて、「桜」または「日本の春」を映像美で感じられる6作品を上映。タイ人及びタイに住む外国人の、日本に対する多面的な理解を促進

【日本語教育】						
	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
17	日本語教育通信教育講座	バンコク	バンコク日本文化センター		2008.04.01 ~ 2009.03.31	中等学校現職教員日本語教師新規養成講座第11期生を対象に、フォローアップ研修として日本語能力試験3級対策講座を実施
18	教材普及事業	バンコク	バンコク日本文化センター		2008.04.01 ~ 2009.03.31	タイの日本語教育事情に合わせた教材開発を実施
19	日本語教育広報誌『タウン』の発行	バンコク	バンコク日本文化センター		2008.04.01 ~ 2009.03.31	タイ日本語教育機関及び日本語教師向けニューズレターを年4回作成・配布。印刷部数は各1,850部
20	紀要発行	バンコク	バンコク日本文化センター		2008.04.01 ~ 2009.03.31	タイの日本語教育に関する研究結果を共有するため、タイの日本語教育に特化した紀要を年1回発行。本年度は、9月に「日本語教育紀要第5号」を750部印刷し、タイの日本語教育関係者に配布
21	日本語教育コンサルティング	バンコク	バンコク日本文化センター		2008.04.01 ~ 2009.03.31	コース運営やシラバス策定など、日本語教育に関する相談を随時実施
22	日本語教育セミナー	バンコク	バンコク日本文化センター、泰日経済技術振興協会		2008.04.01 ~ 2009.03.31	国内外の著名な講師を招き、タイの日本語教師を対象に、教授法や日本語学などに関する専門性の高いセミナーを年4回実施。
23	北部タイ中等日本語教師研修会	チェンマイ	ユバラート高校	ユバラート高校	2008.04.01 ~ 2009.03.31	北部タイに派遣中の日本語教育専門家（ジュニア専門家）による周辺のタイ人日本語教師向け週末セミナーを実施。受講者の事情に合わせ、金曜日と土曜日の2日開講。通年で各16回実施
24	派遣専門家定期連絡会	バンコク	バンコク日本文化センター		2008.04.01 ~ 2009.03.31	タイ国内で活動する国際交流基金派遣の日本語教育専門家及びジュニア専門家が一堂に会し、活動報告と計画を発表するとともに、情報交換や問題共有・解決を図る
25	講師室図書整備	バンコク	バンコク日本文化センター		2008.04.01 ~ 2009.03.31	タイ国内の日本語教師への情報提供を目的に、主に日本で発行される日本語教育関連書籍を収集

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
26	日本語教師集中研修会	バンコク	バンコク 日本文化センター		2008.04.21 ~ 2008.10.10	バンコクでの教師研修に参加が困難な地方在住の日本語教師を主な対象に、学期休みの4月及び10月を利用した短期集中型の研修を実施。前期研修会は4月21日～5月2日に、後期研修会は9月29日～10月10日に開講
27	日本語教師邦人研修会	バンコク	泰日経済技術振興協会	泰日経済技術振興協会	2008.05.12 ~ 2008.05.23	タイ国内の公的教育機関において日本語教育に携わることが決定している日本人で、教授経験1年未満の経験の浅い日本語教師に対する研修会。タイにおける日本語教授法の基礎習得を目的とした、日本語教授法の基礎やタイの日本語教育に関する講義を実施
28	中等学校現職教員日本語教師新規養成講座	バンコク	バンコク 日本文化センター		2008.05.26 ~ 2009.03.31	タイの高校で日本語教師が不足している状況を解決するため、他教科の高校教師を対象に、日本語と日本語教授法の習得を目的とした研修を実施
29	日本語講座運営(一般講座)	バンコク	バンコク 日本文化センター		2008.06.03 ~ 2008.09.13	日本語中・上級レベルの学生・一般社会人を対象とした日本語講座。本年度は、通訳・翻訳コースなどの専門的なコースと、総合的な能力向上を目指すコースなど合計18コース19クラスを設定
30	日本語教師水曜研修会	バンコク	バンコク 日本文化センター		2008.06.04 ~ 2009.02.27	日本語能力が比較的高いタイ人日本語教師を主な対象に、教授法に重点をおいた研修会を実施。前期は6月4日～9月12日、後期は11月14日～2月27日に開講。前後期各15回実施
31	日本語教師金曜研修会	バンコク	バンコク 日本文化センター		2008.06.06 ~ 2009.03.06	日本語能力試験3・4級のタイ人日本語教師を主な対象に、総合日本語と教授法の研修会を実施。前期は6月6日～9月19日、後期は11月7日～3月6日に開講。前後期各15回実施
32	日本語弁論大会	バンコク	バンコク 日本文化センター	在タイ大使館、タイ国元日本留学生協会	2008.08.31	在タイ大使館やタイ国元日本留学生協会などとの共催で、タイ国全土を対象とした弁論大会を実施
33	JENESYS/若手日本語教師派遣	バンコク	バンコク 日本文化センター		2008.10.14 ~ 2008.10.15	若手日本語教師の中間報告会を実施

【図書館運営】						
	事業名			期間	事業内容	
34	図書館運営			2008. 04. 01 ~ 2009. 03. 31	日本語・英語・タイ語の日本関係図書22,796冊(この他に視聴覚資料等2,668点)。月間平均入館者約5,348人(2009年3月現在)	
【出版・広報】						
	事業名			期間	事業内容	
35	季刊広報誌『Japan Letter』発行			2008. 04. 01 ~ 2009. 03. 31	本広報誌は文化交流に関する記事や事業の活動報告。季刊、英語・タイ語、1,600部。2007年度は58号(4-6月)、59号(7-9月)、60号(10-12月)、61号(1-3月)を発行	
【その他】						
	事業名			期間	事業内容	
36	広域活動強化事業(日本語)			2008. 04. 01 ~ 2009. 03. 31	バンコク日本文化センターの広域活動対象国であるラオス、カンボジア、ミャンマー、ベトナムの各国に対する事業として、タイへの①「教師研修への招へい」、②「セミナーへの招へい」、③「講師の派遣」などを実施	
【本部事業受入】						
	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
37	第11回アジア漫画展(巡回展)	バンコク、ナコーンラチャシマー	バンコク日本文化センターアートスペース、ナコーンラチャシマー・ラチャパッド大学	ナコーンラチャシマー・ラチャパッド大学	2008. 07. 31 ~ 2008. 09. 21	1995年以降毎年開催しているアジア漫画展の第11回の展示。「アジアの若者文化」をテーマに、アジア各国の第一線で活躍する10名の漫画家の作品77点を紹介
38	UNIT ASIA ジャズコンサート2008	チェンマイ	パヤップ大学E. C Court Auditorium	パヤップ大学	2008. 11. 08	日本のジャズ、フュージョン、ポップスなど多様な音楽ジャンルで活躍する3人の気鋭のミュージシャン・三好功郎、則竹裕之、一本茂樹を中心に、アジア各地で活躍する優れたミュージシャンの参加を得て、このツアーの為に新たに編成するグループ「UNIT ASIA」の巡回公演

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
39	歌舞伎錦絵展覧会&歌舞伎舞踊レクチャーデモンストラーション	バンコク	ミュージアム・オブ・サイアム	ミュージアム・オブ・サイアム	2008. 12. 08 ~ 2008. 12. 20	国立劇場所蔵の歌舞伎錦絵の展覧会のオープニングにあわせ、歌舞伎舞踊レクチャーデモンストラーション公演を実施。単に錦絵を展示するだけでなく、錦絵で表現された歌舞伎の世界を踊り手が実際に演じることで、歌舞伎及び日本文化に対するより深い理解を促進
40	米田知子・須田悦弘「場が物語るもの」展	バンコク	100 TONSON Gallery	100 TONSON Gallery	2009. 03. 03 ~ 2009. 03. 29	日メコン交流年2009記念事業として、「第13回アジア・アート・ビエンナーレ・バングラデシュ2008」に出品された米田知子、須田悦弘の作品を紹介する展覧会をバンコクにて開催
41	カワイイ・フェスタ～Meet the Kawaii Ambassador～	バンコク	Center Point @Central World	在タイ大使館、Qawaii	2009. 03. 28	我が国の「カワイイ」文化を、特に若者に対して紹介することで、日本のポップカルチャーに対する関心を高め、ひいては対日関心を高めることを目的とした事業。カワイイ大使である藤岡静香によるアニメ&制服講演のほか、当地人気アイドルNEKO JUMP によるミニ・コンサートやフォトコンテストなどを実施

(2) 助成・協力事業

【助成事業】

	事業名	会場	期間	事業内容
42	トムヤム・プラーディップ展関連シンポジウム 「Japanese Art and Culture: Inside Out/ Outside In」	ジム・トンプソン・アートセンター	2008. 04. 24	長谷川祐子（東京都立現代美術館）、片岡真美（森美術館）、黒田雷児（福岡アジア美術館）を招へいし、日本の現代アートシーンの様々な側面について紹介し、討議、意見交換を実施
43	The Workshop for Weaving Silk Textiles 2008	マハサラカム大学 シルク・イノベーション・センター	2008. 08. 28 ~ 2008. 08. 29	東南アジア他近隣地域における絹織業の伝統支援やテクノロジー開発を支援する目的で、内外の研究者を集め、ファッションショーやワークショップ、展覧会などを開催。ワークショップで講演を行う吉本忍（国立民族学博物館民族文化研究部教授）の航空賃を助成

海外事務所

	事業名	会場	期間	事業内容
44	ラチャパット日本語主専攻スピーチコンテスト	ラチャパットの日本語教育を考える会・主専攻会	2009. 01. 11	ラチャパット日本語専攻大学生を対象にした日本語コンテストに対する経費助成を実施
45	北部タイ日本語教育ネットワークセミナー	パヤップ大学	2009. 02. 23	パヤップ大学が実施する日本語教育セミナーの経費助成
46	地唄舞プロジェクト	ダーマ ファウンデーション(パトラワディー・シアター)	2009. 02. 27 ~ 2009. 03. 07	バンコク郊外のラチャブリ県で開催されたFRINGE・フェスティバルの一環として、地唄舞の踊り手である花井粹蓮(俵野枝)のパフォーマンス&トークと、スペイン人写真家ザビエ・コマスによる写真展を同時開催
47	JTAT日本語ドラマコンテスト	タイ国日本語日本文化教師協会 (JTAT)	2009. 03. 28	タイ国日本語日本文化教師協会 (JTAT) が実施する、タイの高校生・大学生による日本語ドラマ(日本語劇)コンテストに対する経費助成
48	さくらネットワーク中核事業 (JTATセミナー)	タイ国日本語日本文化教師協会 (JTAT)	2009. 03. 28	タイ国日本語日本文化教師協会 (JTAT) が実施する日本語教育セミナーに対する経費助成

【会場提供】

	事業名	会場	期間	事業内容
49	施設開放	バンコク日本文化センター	2008. 04. 01 ~ 2009. 03. 31	日本語教育に関するセミナー等への教室貸出

マニラ日本文化センター

合計額 33,916,808 円

(1) 主催・共催事業

【展示】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	J-POP Anime Matsuri	マニラ	シャングリラ・プラザモール	在フィリピン大使館	2008.07.26 ~ 2008.07.27	日比友好月間の一環として、在フィリピン大使館広報文化センターと共催で日本のポップカルチャー紹介のために、アニメ映画の上映やコスプレイベント等を実施。
2	マルチメディア・アート展『Designing Peace』	マニラ	デ・ラ・サール大学現代美術及びデザイン美術館	デ・ラ・サール大学現代美術及びデザイン美術館	2009.02.05 ~ 2009.03.31	フィリピンを含む東南アジア諸国のアーティストによる紛争をテーマとした美術展を開催。
3	エコプロダクツ展	マニラ	SMXコンベンション・センター	アジア生産性機構	2009.03.19 ~ 2009.03.22	アジア生産性機構が主催するエコ・プロダクツ展に、世界遺産写真展を出展。また、『アボン小さな家』など環境関連の映画4作品を上映。

【公演】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
4	Wifi Body 3 コンテンポラリー・ダンス・フェスティバル	マニラ	フィリピン文化センター	フィリピン文化センター	2008.06.10 ~ 2008.06.16	北村成美を招へいし、公演やワークショップを実施。また、同氏が審査員を務めたコンペティションの優勝者1名を、横浜ダンスコンペティションに派遣。
5	ヴァージン・ラブ・フェスト	マニラ	フィリピン文化センター	THE WRITER'S BLOC, INC.	2008.06.26 ~ 2008.07.06	各国の劇作家による未発表短編作品を上演。日本からは吉田智久（演出家）が参加。
6	沖縄舞踊公演	マニラ	フィラムライブ劇場、フィリピン大学劇場	沖縄文化民間交流協会 フィリピン大学 在フィリピン大使館	2008.07.03 ~ 2008.07.05	沖縄文化民間交流協会の協力で、組踊の人間国宝2名（喜舎場盛勝、喜瀬慎仁）を含む、沖縄舞踊の公演とワークショップ。日比友好月間関連行事。

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
7	舞踏家ビサヤ派遣	イロイロ、セブ	SMセブシティ・アートセンター	ビサヤ諸島ビジュアルアート展・会議	2008.11.25 ~ 2008.12.02	日本人舞踏家の西尾純をビサヤ地方に派遣し、イロイロ市（パナイ島）及びセブ市で公演とワークショップを実施。セブではビサヤ地方の代表的アートフェスティバルであるVIVA-EX-CON（第10回ビサヤ諸島ビジュアルアート展・会議）に参加。
8	福田千栄子・琴公演	マニラ	SMモールオブアジア、フィリピン大学劇場、マンダリン・オリエンタル・ホテル	フィリピン大学	2009.02.26 ~ 2009.02.28	文化交流使の福田千栄子（箏曲演奏家）によるワークショップ、レクチャー、演奏会を実施。

【映画】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
9	第2回国際サイレント映画祭	マニラ	シャングリラ・プラザモール	アリアンス・フランセーズ インスティテュート・セルバンテス ゲーテ・インスティテュート 在フィリピン・イタリア大使館 在フィリピン・フランス大使館 在フィリピン・チェコ共和国大使館	2008.08.26 ~ 2008.09.14	日独西仏伊チェコの文化交流団体等6機関共催によるサイレント映画祭。日本は『瀧の白糸』を上映
10	日本映画祭（ビコール地方巡回）	タバコ、レガスピ	タバコ国立高校、アクイナス大学	タバコ国立高校、アクイナス大学	2008.09.24 ~ 2008.09.26	ビコール地方の2都市を巡回し、『火垂るの墓』、『たそがれ清兵衛』などを上映。
11	姫田忠義ドキュメンタリー映画上映会	マニラ	ブラック・テント		2009.03.28	映像民俗学者の姫田 忠義を招き、『イヨマンテー熊送り』、『越後奥三面』の上映と講演会を実施。

【日本語教育】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
12	ウィークリーワークショップ	マニラ	マニラ日本文化センター		2008.04.01 ~ 2009.03.31	毎週金曜日夕方に開催する日本語教師向けのワークショップ。
13	ニューズレター『みりえんだ』発行				2008.04.01 ~ 2009.03.31	マニラ日本文化センターが発行する日本語教師向けニューズレター。年2回発行。発行部数は2,000部。

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
14	日本語教育研究交流会	マニラ	マニラ日本文化センター		2008.04.01 ~ 2009.03.31	日本語教育およびその周辺領域における分野の実践/研究月例報告会を実施。
15	日本語キャラバン	マニラ	ケソンシティ・サイエンス・ハイスクール、パラニャケ・サイエンス・ハイスクール、ヴァレンズエラ・サイエンス・ハイスクール、サウヨ・ハイスクール、タギグシティ・サイエンス・ハイスクール		2008.04.01 ~ 2009.03.31	中等教育レベルにおける日本語教育の振興を目的に、日本文化紹介及び簡単な日本語講座をパッケージ化した巡回事業。
16	第7回フィリピン日本語教師フォーラム	マニラ	JICAフィリピン事務所 オーディトリウム		2008.05.16 ~ 2008.05.17	フィリピン国内の日本語教師のネットワーク形成と強化を目的に、日本語教師を対象としたフォーラムを開催。「Jポップカルチャーと日本語教育」をテーマに、日本語教育におけるポップカルチャーの活用について、日本語教育専門等による講演や討議を実施。
17	研究者のための読み会	マニラ	マニラ日本文化センター		2008.10.01 ~ 2009.03.31	日本語教育の研究者や研究者を目指す者のネットワーク形成支援を目的に、日本語教育に関する研究会を実施。
18	第8回フィリピン日本語教師フォーラム	タガイタイ	キャニオンウッズ	フィリピン人日本語教師会	2008.11.15 ~ 2008.11.16	フィリピン国内の日本語教師間のネットワーク強化を目的に、タガイタイにて1泊2日の合宿形式のフォーラムを開催。
19	第7回セブ日本語弁論大会	セブ	SMセブシティ	セブ日本人会、セブ日本人商工会議所	2009.01.31	セブ日本人会等が主催する日本語弁論大会に審査員1名を派遣。
20	日本語フィエスタ	マニラ	SMモールオブアジア		2009.02.28	マニラ、セブ、ダバオで予選を勝ち抜いた出場者による第36回日本語弁論大会、日本語学習者などによるパフォーマンスコンテストをメインとした日本文化紹介事業。

【図書館運営】

	事業名	期間	事業内容
21	図書館運営	2008.04.01 ~ 2009.03.31	年間利用者数3,258人。レファレンス件数2,953件。貸出点数1,643点。

【出版・広報】

	事業名	期間	事業内容
22	ウェブサイト運営	2008.04.01 ~ 2009.03.31	マニラ日本文化センターのイベント、グラントなどを紹介するサイト。年間アクセス件数26,421件。 URL: http://www.jfmo.org.ph/
23	ニューズレター『SUKI』発行	2008.04.01 ~ 2009.03.31	マニラ日本文化センターの文化・芸術交流、日本研究・知的交流に関するニューズレター。年3回発行。発行部数6,000部。

【教室事業】

	事業名	都市	会場	期間	事業内容
24	先生の日本語2 (SN2)	マニラ	マニラ日本文化センター	2008.04.09 ~ 2008.07.30	日本語能力検定4級以上の日本語教師対象の日本語運用力向上を目的とする講座。計64時間。
25	上級者日本語演習 (SNA)	マニラ	マニラ日本文化センター	2008.04.12 ~ 2008.08.09	日本語能力検定2級以上の日本語教師対象の日本語運用力向上を目的とする講座。計48時間。
26	日本語教師のための日本語指導法講座 (RC2)	マニラ	マニラ日本文化センター	2008.07.10 ~ 2008.09.02	日本語能力試験3級以上の日本語教師向け教授法講座。日本語教育の基礎的技術の整理、その発展/応用について理論、実習の両面から学習。計32時間。
27	日本語教育実習講座 (PT-b)	マニラ	マニラ日本文化センター	2008.08.04 ~ 2008.09.03	日本語能力検定3級以上の日本語教師向け教授法講座。日本語教授法の基礎を学習。計16時間。
28	先生の日本語3 (SN3)	マニラ	マニラ日本文化センター	2008.10.08 ~ 2009.12.15	日本語能力検定3級以上の日本語教師対象の日本語運用力向上を目的とする講座。計32時間。
29	上級者日本語演習 (SNA)	マニラ	マニラ日本文化センター	2008.10.11 ~ 2009.12.13	日本語能力検定2級以上の日本語教師向け教授法講座。時事問題等に関する文章読解、作文を学習。計18時間。
30	先生の日本語1 (SN1)	マニラ	マニラ日本文化センター	2009.02.03 ~ 2009.05.26	日本語能力試験4級以上の日本語教師向け日本語講座。
31	日本語教育実習講座 (PT)	マニラ	マニラ日本文化センター	2009.02.07 ~ 2009.03.28	日本語能力試験4級以上の日本語教師向け教授法講座。計24時間。

海外事務所

【本部事業受入】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
32	日本映画祭	マニラ、セブ、ダバオ	シャングリラ・プラザ・モール、フィリピン大学フィルムセンター、フィリピン文化センター、アヤラ・センター・セブ、ガイサノ・サウス・シティモール	フィリピン大学フィルムセンター フィリピン文化センター アヤラ・センター・セブ シャングリラ・プラザ・モール セブ日本人商工会議所 セブ駐在官出張事務所 セブ日本人会 ダバオ駐在官出張事務所	2008.07.08 ～ 2008.08.16	アニメ『時をかける少女』、『パッチギ!』など日本映画8作品の上映。日比友好月間関連行事。

(2) 助成・協力事業

【助成事業】

	事業名	助成機関	期間	事業内容
33	小規模助成（文化・芸術）第2回マンガホリック会議	GROUNDBREAKERS, INC.	2008.05.31	コスプレコンテストやアニメ、マンガに関するクイズショーなど、マンガをテーマにした会議の開催経費の一部を助成。
34	小規模助成（日本研究・知的交流）フィリピン地理学会	フィリピン地理学会	2008.06.03 ～ 2008.06.08	東南アジア地理学会2008年国際会議の開催経費の一部を助成。
35	小規模助成（文化・芸術）バギオ日系人写真展	Baguio Benguet Studies	2008.06.20 ～ 2008.08.30	バギオ市創設100周年を記念し、今日のバギオ発展に寄与した日系人の歴史についての写真展を開催。開催経費の一部を助成
36	小規模助成（文化・芸術）フィリピン大学言語学部	フィリピン大学	2008.07.01 ～ 2008.07.31	日比友好月間期間中に、日本文化及び日本語紹介のために、生け花、着付け、折り紙体験や相撲大会、日本語学科の学生が制作した日本に関するショートフィルムの上映、アニメ等に関する展示を実施。
37	小規模助成（日本研究・知的交流）KAPWAセミナー	Heritage and Arts Academies in the Philippines, Inc.	2008.07.26 ～ 2008.07.28	日本、フィリピン、韓国などアジア各国の民俗学者等がグローバル化社会における地域固有の知識や慣習、伝承の妥当性について報告・討議する国際シンポジウムの実施。開催経費の一部を助成。

海外事務所

	事業名	助成機関	期間	事業内容
38	小規模助成（日本語）JFCフォーラム	フィリピン大学アジアセンター メグミアカデミー	2008.08.24 ～ 2008.08.25	UPアジアセンター及びメグミアカデミー主催の、日比混血児童の日本語教育に関する公開フォーラム。フォーラム実施経費の一部を助成。
39	小規模助成（文化芸術）トスカ公演	フィリピン教育演劇協会（PETA）	2008.08.29 ～ 2008.08.30	黒テント（日本）、PETA（フィリピン）、実践劇場（韓国）が共同プロジェクトで、『トスカ』を題材に3作品を上演。開催経費の一部を助成。
40	小規模助成（文化・芸術）第4回フィリピン児童伝統演劇祭	International Organization of Folk Arts Philippines Foundation, Inc.	2008.09.14 ～ 2008.09.20	第4回フィリピン児童伝統演劇祭の開催経費の一部を助成
41	小規模助成（日本研究・知的交流）アジア民族音楽研究機関フォーラム	フィリピン大学民族音楽学センター	2008.10.12 ～ 2008.10.15	関係者間のネットワーク構築及び技術・情報交流を目的に、アジア各国の民族音楽研究機関の関係者が、民族音楽研究の方法論や各機関の活動状況について発表、討論を実施。実施経費の一部を助成。
42	小規模助成（文化芸術）ネオアングノ・フィエスタ	Neo-Angono Artists Collective	2008.11.11 ～ 2008.11.25	毎年アングノで開かれる芸術祭「5th Public Art Festival Residency Program」に、舞踏家・西尾 純を招へいし、公演やワークショップを実施。
43	小規模助成（日研・知的）ACASジャパン・サミット	ACAS	2008.11.22	高校生を対象とした日本の文化、社会、政治、経済について紹介・討議するサミットの開催経費の一部を助成。
44	小規模助成（文化芸術）モスレム女性訪日研修報告会	ピース・ウーマン・パートナーズ	2008.11.24 ～ 2008.11.25	ミンダナオ地域で活動する女性のイスラム知識人グループによる訪日研修の成果報告会実施経費の一部を助成。
45	小規模助成（文化芸術）日比混血児童のための演劇ワークショップ	女性のための行動ネットワーク (Development Action for Women Network (DAWN))	2009.03.01 ～ 2009.04.30	日比混血児童を対象にした演劇ワークショップ。児童20名程度が参加し、5月にはワークショップの成果を披露するミュージカル公演を実施。開催経費の一部を助成。
46	小規模助成（文化芸術）日比平和国際演劇祭ワークショップ	日比平和国際演劇祭実行委員会	2009.03.10 ～ 2009.05.06	バギオ市制100周年の歴史と日系人社会について、日比の演劇人等による演劇ワークショップ、研究会実施に係る経費の一部を助成。
47	小規模助成（文化芸術）琴ワークショップ	フィリピン大学音楽学部	2009.03.18 ～ 2009.03.21	矢野守彦を招へいし、琴の修繕技術に関するワークショップを実施。招へい旅費の一部を助成。

海外事務所

	事業名	助成機関	期間	事業内容
48	小規模助成（文化芸術）MC2ダンス フォーラム	Dance Forum	2009.03.20 ～ 2009.03.22	横浜ダンスコンペティションで優秀賞を受賞したローサム・プルデンシアド・ジュニアの帰国公演の開催経費の一部を助成。

クアラルンプール日本文化センター

合計額 114,981,149 円

(1) 主催・共催事業

【展示】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	Dr. Kamaruddin 写真展	バンギ	マレーシア国民大学	マレーシア国民大学	2008.07.04 ~ 2008.08.03	Dr. Kamaruddin (マレーシア国民大学) が日本滞在中に撮影した日本の風景写真の展覧会。クアラルンプール日本文化センターはオープニングレセプション実施 (茶道デモンストレーション等) 部分を担当
2	「こけしの世界」展	ペナン	ペナン州立博物館	ペナン州立博物館	2009.03.01 ~ 2009.04.30	クアラルンプール日本文化センター所蔵の「こけしの世界」展セットの展示

【公演】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
3	早稲田プラスアンサンブルコンサート	クアラルンプール	Istana Budaya (国立劇場) 小ホール	Istana Budaya (国立劇場)	2008.11.23	早稲田大学交響楽団のOBが結成している金管合奏団、早稲田プラスアンサンブルによるクアラルンプール公演。クアラルンプール日本文化センターは共催者として広報実施。
4	Kudan Project 「美藝公」	クアラルンプール	Black Box Theatre (ASWARA内)	国立芸術文化遺産アカデミー (ASWARA) 文化庁	2008.11.23 ~ 2008.12.01	Kudan Projectによる『美藝公』公演。文化庁助成事業。
5	水野信行 ホルントリオコンサート	クアラルンプール	Kuala Lumpur Performing Arts Centre		2009.01.09 ~ 2009.01.10	ホルン奏者水野信行をリーダーに、バイオリン、ピアノのトリオ編成でコンサートを実施。コンサートの翌日には若手ホルン奏者を対象にしたワークショップも実施。観客数331名

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
6	文化交流使 福田千栄子ツアー	クアラルンプール ペタリン ジャヤ ペナン シャーアラム	Orchestra Hall (ASWARA内) 在マレーシア大使公邸 在マレーシア・フランス公使公邸 ntv7 (テレビ局) チュンリン高校 マレーシア科学大学 在ペナン総領事公邸 マラ工科大学	国立芸術文化遺産アカデミー (ASWARA) 在マレーシア大使館 在ペナン総領事館 文化庁	2009.03.03 ~ 2009.03.22	文化交流使である福田千栄子によるマレーシア国内ツアー。ペナン及びクアラルンプール地域において、様々な教育機関でのワークショップ、テレビ局での実演、公館でのミニコンサート、一般向けリサイタルなど、計12回のイベントを実施
7	コンドルズ現代舞踊公演	クアラルンプール	Kuala Lumpur Performing Arts Centre	Kuala Lumpur Performing Arts Centre 文化庁	2009.03.17 ~ 2009.03.22	コンテンポラリーダンスグループ「コンドルズ」による公演。21日には公演前に日本のコンテンポラリーダンスに関するトークも開催。3回公演で観客1,529名
8	野田秀樹ワークショップ、パブリックトーク	クアラルンプール	Black Box Theatre (ASWARA内) Lecture Hall (ASWARA内)	国立芸術文化遺産アカデミー (ASWARA) 東京芸術劇場	2009.03.20 ~ 2009.03.22	野田秀樹 (劇作家、演出家、俳優) によるワークショップ、及びパブリックトークを実施。

【講演・シンポジウム】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
9	日本研究巡回講演会 添谷芳秀	クアラルンプール コタキナバル	マラヤ大学 サバ大学	マラヤ大学 サバ大学 マレーシア日本研究会 (MAJAS)	2008.07.28 ~ 2008.08.01	日本外交論の専門家である添谷芳秀 (慶応大学教授) を招へい。「日本のミドルパワー外交とアセアン」というタイトルで講演会を実施。2回講演で300名が参加
10	現代日本セミナー	クアラルンプール ペナン バンドルス リブガワン	マラヤ大学 マレーシア科学大学 ブルネイ大学	マラヤ大学 マレーシア科学大学 マレーシア日本研究会 (MAJAS) ブルネイ大学	2009.03.11 ~ 2009.03.17	吉野耕作 (上智大学教授)・岩淵功一 (早稲田大学教授) によるポップカルチャーに関する講演会。吉野教授は "Nationalism and Sport in Contemporary Japan"、岩淵教授は "Media Globalization and Trans-Asian Cultural Dialogue" をタイトルに講演。参加者数397名

【映画】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
11	定期日本映画上映会	クアラルン プール	マレーシア観光セン ター マレーシアフィルム開 発公社	マレーシア観光セン ター、マレーシアフィ ルム開発公社、在マ レーシア大使館	2008.04.01 ~ 2009.03.31	東アジアフィルムライブラリー所蔵の 16mmフィルムを使用した日本映画上映 会。4月はマレーシア観光センター、5 月以降はマレーシアフィルム開発公社 にて実施。年間を通し、全18回実施
12	日本映画祭	クアラルン プール ペタリン・ ジャヤ ペナン	Golden Screen Cinemas Mid-Valley Golden Screen Cinemas One Utama Golden Screen Cinemas Gurney Plaza	Golden Screen Cinemas Sdn. Bhd.	2008.07.15 ~ 2008.07.27	近年に制作された日本映画7本と、2007 年に逝去した市川崑監督作品3本の追悼 上映。公式映画チャンネルASTRO KIRANA、公式ラジオ局MYFMなどが広報 を援助。ウルトラマンメビウス&ウル トラ兄弟の上映関連イベントとして、 写真撮影会やラッキードローも開催。 入場者3,501名

【日本語教育】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
13	学校・機関訪問	マレーシア 全土	各機関		2008.04.01 ~ 2009.03.31	日本語国際センター教材寄贈やクアラ ラルンプール日本文化センター小規模日 本語教材寄贈の寄贈先機関を訪問し教 材の使い方等を指導するとともに、過 去にも寄贈を行なった機関で教材の利 用方法や管理状況などについてモニタ リングを実施。その他、日本語教育機 関が行なう日本文化の日などのイベン ト等の機会も利用し、学校長や日本語 教師と面談して日本語教育の意義をア ピールしたりニーズ調査を実施。
14	小規模日本語教材寄贈	プトラジャ ヤ ポートディ クソン クチン	SMK Putrajaya SMK Tinggi Port Dickson Kolej Datu Patinggi Abang Haji Abdillah	SMK Putrajaya SMK Tinggi Port Dickson Kolej Datu Patinggi Abang Haji Abdillah	2008.04.01 ~ 2009.03.31	日本語教育を始めたばかりで教材もな く日本語国際センターの教材寄贈プロ グラムを待っていたのでは授業が立ち 行かないような機関・学校に対し、緊 急に基本教材の寄贈をおこなう立ち上 げ支援事業。

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
15	浦和研修事前オリエンテーション	クアラルンプール	クアラルンプール日本文化センター		2008.04.01 ~ 2009.03.31	日本語国際センターの海外日本語教師研修に参加する教師に対して事前オリエンテーションを行い研修内容の説明をおこなうとともに、帰国後の報告会を視野に Personal Mini Projectを設定させて事前準備を支援するなど、研修をより実り多いものとしてもらうための手助けとして実施。
16	シンガポール・ブルネイネットワーク形成	シンガポール	各機関		2008.04.01 ~ 2009.03.31	シンガポールおよびブルネイとのネットワークを強化し、クアラルンプール日本文化センターの行なうセミナーなどの教師支援事業や日本語能力試験をはじめとする各種本部事業をより一層有効なものとするため、両国の日本語教育機関の訪問や日本語関係事業を視察、関係者と懇談。
17	高校生日本語弁論大会	クアラルンプール	クアラルンプール日本人会	在マレーシア大使館、マレーシア日本人商工会議所、クアラルンプール日本人会	2008.04.27	2004年から開始し今年で5回目。全寮制中等学校、一般中等学校、民間日本語学校などで日本語を学習している15歳から18歳までの高校生（13名が出場）により実施。「東京賞」1名は、日本のNPO「エデュケーション・ガーディアンシップ・プログラム」主催の第13回JASスピーチコンテストに、「関西賞」2名は関西国際センターの「日本語学習者訪日研修（高校生）」に参加。
18	Japanese Language Resources Development Course	クアラルンプール	クアラルンプール日本文化センター、クアラルンプール日本人会、在マレーシア大使館、日系企業	マレーシア教育省、クアラルンプール日本人学校、在マレーシア大使館	2008.05.07 ~ 2008.07.02	中等教育日本語教員養成プログラム参加者のうち、JENESYS若手日本語教師招へいプログラムに参加できなかった教師3名を対象に、日系のスーパードヤや日本人学校の訪問など、マレーシアで体験・収集できる日本文化リソースに関して実習を実施。

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
19	日本語教育地域セミナー (北部)	ペナン	ペナン日本語協会	ペナン日本語協会	2008.05.03 ~ 2008.05.04	マレーシアの日本語教師を対象に、国内を北部、東海岸-南部-中部、東マレーシアの3ブロックに分け、それぞれ年1回実施しているセミナー。教授法をとりあげる1日目(ネイティブ・ノンネイティブの両方が対象)と、日本語力向上を目的とした2日目(主にノンネイティブが対象)に計32名が参加。
20	日本語教育地域セミナー (東マレーシア)	コタキナバル	Imperial International Hotel Kota Kinabaru		2008.06.28 ~ 2008.06.29	マレーシアの日本語教師を対象に、国内を北部、東海岸-南部-中部、東マレーシアの3ブロックに分け、それぞれ年1回実施しているセミナー。教授法をとりあげる1日目(ネイティブ・ノンネイティブの両方が対象)と、日本語力向上を目的とした2日目(主にノンネイティブが対象)に計14名が参加。
21	日本語弁論大会 予備教育 の部	スランゴール州	スランゴール産業大学 (UNISEL)	在マレーシア大使館、 マレーシア日本人商工 会議所、クアラルン プールの日本人会	2008.07.05	日本語弁論大会一般の部から独立して13回目。日本の大学・高専に留学するための予備教育機関で日本語を勉強している学生(2年次まで)を対象に実施。12名(クアラルンプール日本文化センターを含む共催機関4機関が各々3名を選出)が出場。優勝者には在マレーシア大使館から大使杯を授与。約500名が来場。
22	日本語弁論大会 一般の部 (クアラルンプール地区大会)	クアラルンプール	クアラルンプール日本人会	在マレーシア大使館、 マレーシア日本人商工 会議所、クアラルン プールの日本人会	2008.07.20	1985年に始まってから24回目。平成20年度は前年度に引き続き日マレーシア友好年を記念して、出場者の日本滞在期間を90日以内に限定した「General Class」に加え、滞日歴無制限の「Special Class」を実施。各クラスの上位入賞者が全国大会にすすむ。14名が会場(General 9名、Special 5名)、55名が来場。

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
23	風呂敷ワークショップ	クアラルンプール	クアラルンプール日本人会	クアラルンプール日本人会	2008.07.20	日本語弁論大会の幕間に行なう小規模イベントシリーズの5回目。平成20年度日本語弁論大会一般の部（クアラルンプール大会）の審査会議の間に実施。風呂敷に関するミニレクチャーの後、参加者上限の20名が、実際に「すいか包み」や「ツインタワー包み」などに挑戦。
24	みんなの日本語フェスティバル	クアラルンプール	マラヤ大学言語学部	マラヤ大学言語学部、マレーシア日本語協会、在マレーシア大使館	2008.07.26 ~ 2008.07.27	マレーシア日本語協会、マラヤ大学言語学部、在マレーシア大使館、クアラルンプール日本文化センターの共催による日本語および日本文化紹介のイベント。年1回開催、平成20年度は3回目。在マレーシア大使による日本語及び日本文化に関するレクチャーのほかレベル別日本語講座など日本語を使った活動、浴衣着付や風呂敷ワークショップなどの文化体験を実施。ボランティア教師85名、参加者437名。
25	日本語弁論大会 イポー大会	イポー	Hotel Excelsior	ペラ馬日友好協会、在ペナン総領事館	2008.08.02	平成20年度は22回目。出場者6名。上位入賞者2名が全国大会に出場。
26	日本語教育地域セミナー（東海岸-南部-中部）	クアラルンプール	クアラルンプール日本文化センター		2008.08.02 ~ 2008.08.03	マレーシアの日本語教師を対象に、国内を北部、東海岸-南部-中部、東マレーシアの3ブロックに分け、それぞれ年1回実施しているセミナー。教授法をとりあげる1日目（ネイティブ・ノンネイティブの両方が対象）と、日本語力向上を目的とした2日目（主にノンネイティブが対象）で構成。
27	日本語弁論大会 ペナン大会	ペナン	The Caring Society Complex	ペナン日本語協会、在ペナン総領事館、日本マレーシア協会	2008.08.16	平成20年度で29回目。出場者は学生の部1名、一般の部General Class 14名。ペナン大会General Classの上位入賞者2名は全国大会に出場。

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
28	日本語弁論大会一般の部 (全国大会)	クアラルン プール	クアラルンプール日本 人会	在マレーシア大使館、 マレーシア日本人商工 会議所、クアラルン プール日本人会	2008.08.23 ～ 2008.08.24	1985年に始まってから24回目。前年度 につづき平成20年度も日本滞在期間90 日以内に限定した「General Class」に 加え、滞日歴無制限の「Special Class」を実施。地区予選の上位入賞者 がスピーチを行ない、General Class の優勝・準優勝者は社団法人在外企業 協会が招へいする日本研修旅行に参 加。Special Class 優勝者には大使杯 と副賞授与。出場者数はGeneralに7名 (クアラルンプール3名、ペナン2名、 イポー2名)、Specialに3名(クアラル ンプール)。
29	日本語スキットコンテスト	クアラルン プール	クアラルンプール日本 人会	在マレーシア大使館、 マレーシア日本人商工 会議所、クアラルン プール日本人会	2008.08.24	初めて実施する平成20年度は大学生を 対象に実施。日本語でスキットを演じ る様子をビデオやDVDなどで撮影して応募、日本語弁論大会の共催4機関で審査の結果、上位入賞グループが日本語弁論大会一般の部(全国大会)で実際に上演。
30	日本語教育研究発表会・浦 和研修報告会	クアラルン プール	マラヤ大学言語学部	マラヤ大学言語学部	2008.10.11	マレーシアにおける日本語・日本語教 育(学)に関する研究発表および日本語 国際センターの海外日本語教師研修 の参加者による報告をおこなうセミ ナー。年1回開催、平成20年度は5回 目。研究発表会では公募による口頭発 表2件とポスター発表3件、研修報告 会では研修参加者による口頭発表2件 およびポスター発表(展示含む)9件 を実施した。研究発表会に102名、研修 報告会には108名が参加。
31	日本語教育セミナー	クアラルン プール	マラヤ大学予備教育部 日本留学特別コース (AAJ)	マラヤ大学予備教育部 日本留学特別コース (AAJ)	2009.02.28 ～ 2009.03.01	毎年1回、マレーシア全域の日本語教 師を対象に実施。2008年度のテーマは 「日本語音声教育を考えよう」。講師 は松崎寛(広島大学准教授)及び磯村 一弘(国際交流基金日本語国際セン ター専任講師)。2日間で263名が参 加。

【図書館運営】

	事業名	期間	事業内容
32	図書館運営	2008.04.01 ~ 2009.03.31	蔵書数18,218点、年間利用者数6,502名、年間貸出点数8,687点

【出版・広報】

	事業名	期間	事業内容
33	広報誌『TEMAN BARU』発行	2008.04.01 ~ 2009.03.31	クアラルンプール日本文化センターのニュースレターを隔月で発行。平成20年度は13,500部を発行
34	日本語教育広報誌（『ブンガラヤ』）	2008.04.01 ~ 2009.03.31	日本語教育専門のニューズレター。平成20年度は4,000部発行

【教室事業】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
35	一般日本語講座	クアラルンプール	クアラルンプール日本文化センター		2008.04.01 ~ 2009.03.31	中上級レベルの学習者を対象とした日本語講座を運営。1年間のコースを基本に、平成20年度は「ビジネス場面で学ぶ日本語とマナー」「日本語能力試験（JLPT）1級対策」の2種類の短期コースを実施。受講者は、延べ131名。
36	日本語教師養成理論実習講座	クアラルンプール	クアラルンプール日本文化センター		2008.04.01 ~ 2008.06.18	日本語能力試験1級程度の日本語力を有する日本語学習者および永続的にマレーシアに在住する日本人に対し、初級日本語講座で教えることができる程度の教授能力を獲得させることを目標とする。前々年度から始まった2年コースの2年目後半。2年目に継続登録した受講者は11名。全員が修了。
37	ちりめん小物作りワークショップ（1）	クアラルンプール	クアラルンプール日本文化センター		2008.07.05	ちりめん織りの布地を使用したポケットティッシュ入れ作り。参加者35名。

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
38	アニメトーク	クアラルン プール サイバー ジャヤ	クアラルンプール日本 文化センター マルチメディア大学	マルチメディア大学	2009.02.11 ~ 2009.02.12	イギリスのアニメ専門家ヘレン・マッ カーシーによる日本のアニメに関する トーク。11日は手塚治虫に関する“Who is Osamu Tezuka?”、12日はアニメの歴史 に関する“The History of Anime since 1950, and Its Spread across the World”をタイトルに講演
39	ちりめん小物作りワーク ショップ（2）	クアラルン プール	クアラルンプール日本 文化センター		2009.02.14	ちりめん織りの布地を使用した髪飾り 作り。参加者49名。

【その他】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
40	和風作りワークショップ （プルリス）	カンガ	プルリス州立ホール	在ペナン総領事館	2008.07.20	参加者自らが和風を作り、実際にあげ るワークショップ。在ペナン総領事館 がプルリスで実施した日本文化紹介イ ベントの一環として実施。
41	和風作りワークショップ （シャーアラム）	シャーアラ ム	スランゴール州立博物 館	スランゴール州立博物 館	2008.08.27	参加者自らが和風を作り、実際にあげ るワークショップ。同博物館が実施し た和風展覧会の機会を捉え、オープニ ング記念事業として実施。障害者学校、 小学校、中学校の生徒60名が参加。
42	文化人第三国派遣（ミャン マー・折り紙）	ヤンゴン	在ミャンマー大使館ア センブリーホール	在ミャンマー大使館	2008.10.21 ~ 2008.10.24	クアラルンプール在住の日本人折り紙 専門家である須部久子、宮内明美の2名 をミャンマーに派遣。デモンストレー ション、ワークショップを実施。計3回 で353名が参加
43	事務所移転記念レセプショ ン	クアラルン プール	クアラルンプール日本 文化センター		2008.12.01	2008年9月の事務所移転に伴い、レセプ ションを開催。ウンクアジズ・元マラ ヤ大学学長による記念レクチャー「俳 句とパントウン」や茶道デモンスト レーションを披露。参加者は大学関係 者、関係省庁、外国文化機関、日系団 体、アーティスト等。

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
44	文化人第三国派遣（ブルネイ・和太鼓）	バンドルシリブガワン	ガドン・ショッピング・モール ジェルドン・インターナショナル・スクール 国際会議場	在ブルネイ大使館	2008.12.03 ～ 2008.12.06	クアラルンプール在住の日本人和太鼓チーム（和太鼓3名+笛1名）をブルネイに派遣。大型商業施設や学校で公演・ワークショップを実施
45	サラワク日本文化祭	クチン	サラワク州立図書館	サラワク州立図書館	2009.02.20 ～ 2009.02.21	巡回展「現代日本の陶磁器」展開催に合わせ、日本文化祭を開催。日本映画（「ドラえもん：のび太の恐竜2006」、「ウォーター・ボーイズ」）上映のほか、折り紙ワークショップ、伝統玩具デモンストレーション、浴衣ワークショップなどのイベントを実施

【本部事業受入】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
46	矢沢専門家シンガポール日本語教師の会セミナーへの出講	シンガポール	シンガポール日本人会館	シンガポール日本語教師の会	2008.08.15 ～ 2008.08.16	シンガポール日本語教師の会主催のセミナーにクアラルンプール日本文化センター講師が出講。「言葉の学習に文化学習を取り入れよう」をテーマに実施。77名が受講

(2) 助成・協力事業

【助成事業】

	事業名	助成機関	事業内容
47	SYBIL-Theatre Performance	The Actors Studio Sdn. Bhd.	第2次世界大戦において看護師として従事したMs. Sybil Kathigasuの回顧録をもとに、日本の占領下にあったマレーシア ペラ州イポーを舞台にした演劇公演。日本人俳優1名分の謝金、国際航空賃を助成
48	Kajang Community Art Carnival (KCAC) 2008-Revive Our Culture Town	New Era College	カジャンのコミュニティにおける芸術振興のための教育プロジェクト。キュレーターはDr. Wong Oi Min。日本のPUK Puppet Theatreからアーティスト2名を招へい。日本からのアーティストにかかる国際航空賃、謝金、通訳費を助成

海外事務所

	事業名	助成機関	期間	事業内容
49	Ikebana's Public Demonstration and Workshop: "Ever Green"	Ikebana International KL Chapter 72	2008.06.23 ~ 2008.06.27	日本（沖縄）からの講師2名による生け花のワークショップ及び展示会。日本からの講師にかかる国際航空賃・宿泊費を助成
50	3rd International Language Learning Conference	Centre for Languages and Translation, Universiti Sains Malaysia (USM)	2008/10/29 ~ 2008/10/31	マレーシア科学大学言語翻訳センター主催の国際会議。「Current Practices in Curriculum and Materials Development」をテーマとして、日本語教育をはじめ、各外国語教育、外国語の研究者、教師が会議を通して意見交換、情報の共有を行った。近藤彩（政策研究大学院大学准教授）の招へいにあたり、謝金および旅費を助成。参加者約350名。
51	Animation Nation Seminars	Singapore Film Society	2008.10.30 ~ 2008.11.03	シンガポールにおいて開催された世界各国の優れたアニメを紹介するイベントで、今回は日本のアニメを特集。日本から招へいされた山村浩二（アニメ作家）、森田修平（アニメ作家）、松下日出男（プロデューサー）についての謝金、国際航空賃、宿泊費、通訳費を助成
52	Centre for Language Studies International Conference	Centre for Language Studies, National University of Singapore (NUS)	2008/12/04 ~ 2008/12/07	シンガポール国立大学語学教育センター主催の国際会議。「Media in Foreign Language Teaching and Learning」をテーマに日本語教育をはじめ、外国語教育の研究者、教師がお互いに情報・意見を交換、共有。基調講演者の一人であるリチャード・ハリソン（神戸大学准教授）の招へいにあたり、旅費について助成を行った。

海外事務所

	事業名	助成機関	期間	事業内容
53	A Light Sleep (M1 Singapore Fringe Festival 2009: Art and Family)	The Necessary Stage Ltd.	2008.12.10 ~ 2009.01.18	世界各国の演劇、ダンス、インスタレーション、フィルムなど、様々な分野の先鋭的な芸術を紹介するフェスティバル。その目玉作品として、日本から現代アーティスト岩井成昭を招へいし“A Light Sleep”を制作。国際航空賃を助成
54	KARAOKE	Tanjung Aru Pictures	2008.12.10 ~ 2008.12.21	テキストや字幕を視覚的に用いた、マレー語による実験的/物語的映画作品(新作)プロジェクト。日本よりサウンドエンジニア1名を招へいし、制作準備を行った。日本からの招へい旅費、謝金を助成
55	KL Design Week 2009	KL Design Week Festival Committee	2009.03.28 ~ 2009.04.04	世界各国からのデザイン、インスタレーションの展覧会で、同種のイベントではマレーシアにおいて過去最大。各国から招へいされたアーティストのうち、日本からのアーティスト2名の旅費を助成

【文化備品・視聴覚資料貸出】

	事業名	対象機関	期間	事業内容
56	文化備品貸出	Radio Televisyen Malaysia (RTM)	2008.04.14	ドラマ“Namaku Bukan Setsuko”撮影に対し、文化備品を貸出
57	文化備品貸出	INTI International University Collge, Nilai, Negri Sembilan	2008.05.15 ~ 2008.05.21	“Kaisouki Matsuri 2008”イベントに対し、文化備品を貸出
58	文化備品貸出	Kuen Cheng Girls' High School, Kuala Lumpur	2008.05.22 ~ 2008.06.10	“Kuen Cheng Co-Curriculum and Cultural Exhibition Fair-100 Years Celebration”イベントに対し、文化備品を貸出
59	文化備品貸出	Pentas Project Theatre Production	2008.05.23 ~ 2008.05.26	“REPOT [MIND+MINE]” 2008 Malaysia Tour 舞台公演に対し、備品を貸出
60	文化備品貸出	PTA of Sekolah Kebangsaan USJ 12, Subang Jaya, Selangor	2008.06.20 ~ 2008.06.25	“Family Carnival”イベントに対し、文化備品を貸出
61	文化備品貸出	Ikebana International KL Chapter 72	2008.06.25 ~ 2008.06.26	“Evergreen” Ikebana Demonstration イベントに対し、文化備品を貸出
62	文化備品貸出	Sekolah Menengah Kebangsaan St. John, Kuala Lumpur	2008.06.26 ~ 2008.07.03	“International Understanding Day” イベントに対し、文化備品を貸出

海外事務所

	事業名	対象機関	期間	事業内容
63	文化備品貸出	The Instant Café Theatre Company	2008.06.27 ~ 2008.07.11	"AIRCON"舞台公演に対し、備品を貸出
64	文化備品貸出	Universiti of Malaya, Kuala Lumpur	2008.07.07 ~ 2008.07.09	学生への日本文化紹介の一環(Japan Day Event)として、文化備品を貸出
65	文化備品貸出	Sekolah Menengah Kebangsaan Perempuan Methodist, Klang, Selangor	2008.07.11 ~ 2008.07.22	"Japanese Carnival Day 2008"イベントに対し、文化備品を貸出
66	文化備品貸出	Unibersiti Malaysia Terengganu, Terengganu	2009.08.02 ~ 2009.08.18	"Language Festival 2008"イベントに対し、文化備品を貸出
67	文化備品貸出	Universiti Pendidikan Sultan Idris, Perak	2009.08.19 ~ 2009.09.02	"International Language Festa 2008"イベントに対し、文化備品を貸出
68	文化備品貸出	Universiti Kebangsaan Malaysia, Selangor	2008.09.10 ~ 2008.09.19	"Pesta Tanglung UKM 2008"イベントに対し、文化備品を貸出
69	文化備品貸出	Pentas Project Theatre Production	2008.09.22 ~ 2008.09.29	"Breaking/ Ka Si Pe Cah"舞台公演に対し、備品を貸出
70	文化備品貸出	Institut Bahasa Teikyo Malaysia	2009.01.06 ~ 2009.01.07	学生への日本文化紹介の一環として、文化備品を貸出
71	文化備品貸出	Kolej Universiti Islam Antarabangsa, Selangor	2009.02.03 ~ 2009.02.13	"Japan Day 2009"イベントに対し、文化備品を貸出
72	文化備品貸出	Universiti Malaysia Sabah, Sabah	2009.03.02 ~ 2009.03.27	"Japanese Cultural Week"イベントに対し、文化備品を貸出
73	文化備品貸出	UCSI University, Kuala Lumpur	2009.03.02 ~ 2009.03.27	"Bunkasai Night"イベントに対し、文化備品を貸出
74	文化備品貸出	Universiti Malaysia Terengganu, Terengganu	2009.03.27 ~ 2009.04.07	"Japanese Cultural Week"イベントに対し、文化備品を貸出

ニューデリー日本文化センター

合計額 96,158,579 円

(1) 主催・共催事業

【展示】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	生け花ワークショップ	パロ（ブータン）	国立博物館		2008.07.20 ～ 2008.07.21	インド人講師による生け花の紹介。ブータンの政府関係者、一般市民を対象に実施。
2	写真展「日本の世界遺産」	デリー	ニューデリー日本文化センター		2008.11.01 ～ 2008.11.15	日本の世界遺産を三好和義（写真家）が撮影した写真展。展示作品はニューデリー日本文化センター所蔵。デリー日本文化月間の行事の一つ。
3	善光寺上人展	デリー	国立博物館	善光寺上人展実行委員会	2008.11.11 ～ 2008.12.10	善光寺（長野）の所蔵する宝物展。デリー日本文化月間の行事の一つ。
4	写真展「日本のイメージ」	ムンバイ	ムンバイ競馬場	マイド・インディア	2008.11.14 ～ 2008.11.16	インド人写真家シャントナー・ダス氏が訪日し撮影した現在の日本人や風景についての写真。ムンバイで行なわれた日本紹介イベント「Japan Festival in India」にて展覧会を実施。ニューデリー日本文化センターは、作品の額装を手配。
5	折り紙展・ワークショップ	デリー	ニューデリー日本文化センター	デリー折り紙クラブ	2008.11.19 ～ 2008.11.26	折り紙愛好家、および生徒たちによる折り紙作品の展覧会。ワークショップも実施。デリー日本文化月間の行事の一つ。
6	書と能面展	デリー	ニューデリー日本文化センター		2009.04.06 ～ 2009.04.10	書と能面の展示。またネルー大学芸術専攻の学生によるインド舞踊も披露。

【公演】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
7	クラシック音楽／トリオ・コンサート	デリー	India International Centre		2009.01.06	ホルン、ヴァイオリン、ピアノの日本人演奏家によるトリオ・コンサート。日本の曲、西洋の曲を紹介。

海外事務所

【講演・シンポジウム】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
8	児童労働に関するワークショップ	デリー	ニューデリー日本文化センター	特定非営利活動法人ACE (Action against Child Exploitation)	2008.09.06	インドの児童労働に関する説明会を実施。対象層はデリー在留邦人。日本政府系機関の連携モデル事業の一つ。
9	国際石川啄木学会	デリー	ニューデリー日本文化センター	国際石川啄木学会	2008.11.28 ~ 2008.11.29	国際石川啄木学会を平成20年度はインドで開催。石川啄木に関する研究発表、詩の朗読会、絵画や写真の展覧会を実施。
10	日本研究セミナー「日本文学における夢と幻想」	デリー	ニューデリー日本文化センター	国文学研究資料館 ネルー大学	2009.03.04	国文学研究資料館の伊藤鉄也教授はじめ研究者による研究集会。デリー大学、ネルー大学の研究者および学生が参加。

【映画】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
11	定期映画上映会	デリー	ニューデリー日本文化センター		2008.04.01 ~ 2009.03.31	週一回、劇映画又は現代日本紹介ドキュメンタリー映画を上映。
12	オシアン・シネファン・アジア&アラブ国際映画祭	デリー	Shri Fort Auditorium	オシアン・シネファン・アジア&アラブ国際映画祭	2008.07.10 ~ 2008.07.20	ニューデリー日本文化センターでは、若松孝二監督の当地受入及び通訳手配。
13	ドキュメンタリー映画上映会	グルガオン	Epi Centre		2008.11.04	ドキュメンタリー映画「ベアテの贈り物」の上映。

【日本語教育】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
14	日本語教育アドバイザー事業	デリー	ニューデリー日本文化センター		2008.04.01 ~ 2009.03.31	現地日本語教育関係者に対する教授法等に関する指導、各地の日本語教育関係者とのネットワーク形成、コンサルティング等を実施。
15	日本語教育ネットワーク構築事業	デリー	ニューデリー日本文化センター	全インド日本語教師会(JALTAI)、中央政府中等教育委員会(CBSE)	2008.12.19 ~ 2008.12.20	インド国内の日本語教育関係者が一同に集い、日本語教育事情報告及び教授法関連の発表を実施。
16	さくらネットワーク日本語教材購入	デリー	ニューデリー日本文化センター		2009.03.01 ~ 2009.03.31	日本語教育に資する図書、資料、物品の購入。

【図書館運営】

	事業名	期間	事業内容
17	図書館運営	2008.04.01 ~ 2009.03.31	日本語教育教材をはじめ、日本に関する図書、参考書籍、視聴覚資料を配架する専門図書館を運営。

【出版・広報】

	事業名	期間	事業内容
18	ニューズレター発行	2008.04.01 ~ 2009.03.31	主に日本語学習者及び日本語教育関係者に向けた、日本語教育に関する情報等を発信。
19	ウェブサイト運営	2008.04.01 ~ 2009.03.31	国際交流基金及びニューデリー日本文化センターの紹介、主催、共催事業等の案内、公募事業の案内、日本に関する情報発信を実施。 URL: http://www.jfindia.org.in/
20	日本発信スペース制作	2008.11.01 ~ 2009.03.31	日本の伝統的な雰囲気有する空間を設け、日本文化紹介等に資する映像発信や資料配布を実施。

【教室事業】

	事業名	都市	会場	共催団体	期間	事業内容
21	中等教育現職日本語教師研修	デリー	ニューデリー日本文化センター	中央政府中等教育委員会 (CBSE)	2008.07.03 ~ 2009.01.29	日本語運用能力及び教授能力の向上を目的として、デリー近郊の初中等教育機関に属する現職日本語教師を対象に、教科書による指導方法や文化紹介の手法等の講義を全16回実施。
22	現職他科目中等教育教師の日本語教師コンバート研修	デリー	ニューデリー日本文化センター	中央政府中等教育委員会 (CBSE)	2008.12.01 ~ 2008.12.05	前年度開講コースの参加教師に対するフォローアップ研修。日本語能力試験対策講座。

【本部事業受入】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
23	21世紀東アジア青少年大交流事業計画（JENESYS）プログラム若手日本語教師派遣（第一期）	プネ チェンナイ		プネ印日協会 ABK-AOTS同窓会タミ ルナドセンター 印日商工会議所	2008.06.23 ～ 2009.04.20	平成20年度は3名の若手日本語教師が訪 印し、それぞれ日本語教育機関に所属 して活動。
24	インド巡回日本映画祭	チャンディ ガル	Govt. Polytechnic for Women	チャンディガル映画ソ サエティ	2008.11.15 ～ 2008.11.21	国際交流基金本部のフィルムライブラ リーから木下恵介監督35mm作品7本の インド巡回。ニューデリー日本文化セ ンターはチャンディガル市での上映を 実施。
25	知的交流公募助成事業申請 案件コンサルタント	デリー	ニューデリー日本文化 センター		2008.12.01 ～ 2009.02.02	本部・知的交流公募助成申請案件に対 する客観的な審査コメントを当国各分 野の専門家から聴取。
26	海外巡回展「写楽再見」	デリー	Lalit Kara Akademi		2009.03.27 ～ 2009.04.09	本部海外巡回展の受入。写楽作品のほ か、写楽をモチーフとした現代美術作 品の展示。

（2）助成・協力事業

【助成事業】

	事業名	助成機関	期間	事業内容
27	知的交流会議「Marriage in Globalizing Contexts」	インド工科大学（IIT, Delhi）	2008.09.11	南アジアにおける婚姻の変化と継続性 について、観察できる変化と社会に与 える影響を考察。日本を含む7カ国から の発表者の招へいに対する助成。
28	バンガロール日本語弁論大会	バンガロール日本語教師会	2008.11.02	バンガロール市内及び周辺地域で学ぶ 日本語学習者によるスピーチコンテス ト実施に対する助成。
29	ボンベイ室内オーケストラ・ムンバイ公 演	ボンベイ室内オーケストラ・ソサエティ	2008.11.23	室内オーケストラのムンバイ公演に対 し、日本人指揮者とフルート奏者（ソ リスト）の渡航費の一部を助成。
30	デリー・48℃パブリック・環境アー ト・フェスティバル	コージ・インターナショナル、デリー市、 ゲーテ・インスティテュート	2008.12.12 ～ 2008.12.21	デリー市内各所の公共スペースを用い た環境アート・フェスティバルの実施 に対する助成。日本からはアーティスト 池田一が参加。

海外事務所

	事業名	助成機関	期間	事業内容
31	日印演劇交流／エレファント・プロジェクト『山脈の子』	ルーツ&ウイングス劇団	2008.12.19 ～ 2008.12.21	ニナサム演劇祭（於カルナータカ）における「山脈の子」上演に対する助成。「山脈の子」は、前々年度及び前年度基金本部の実施事業、「演じる女たち」のフォローアップ的事業。
32	南インド巡回舞踏公演	ナタナカイラリ・伝統芸術研究センター	2009.01.14 ～ 2009.01.29	田中泯・舞踏公演の南インドツアーの実施に対する助成。
33	グルガオン・生け花インターナショナル展覧会	生け花インターナショナル・グルガオン支部	2009.01.31	生け花展覧会の実施に対する助成。於グルガオン。
34	『中村屋のボース』図書出版	ビブリオフィル・サウス・アジア出版社	2009.02.01 ～ 2009.03.31	「中村屋のボース」の当地翻訳出版に対する助成。
35	折り紙ワークショップ	アクリティ・クリエイションズ	2009.02.25 ～ 2009.03.09	当地在住日本人折り紙専門家による、デリー及びノイダ各都市での折り紙ワークショップの実施に対する助成。
36	ネルー大学日本文化祭「絆」	ジャワハルラル・ネルー大学	2009.03.23 ～ 2009.03.24	デリー日本文化祭の実施に対する助成。日本語・日本研究専攻のインド人学生、日本人留学生らによる出し物のほか、盆踊り大会も実施。

【後援事業】

	事業名	対象機関	期間	事業内容
37	デリー福岡フェア	福岡県	2008.10.17 ～ 2008.10.18	デリー市民に向けて福岡を紹介する産業物産展ならびに留学フェアの実施。福岡県とデリー州は友好姉妹都市。

【会場提供】

	事業名	期間	事業内容
38	デリー盆栽協会	2008.04.01 ～ 2009.03.31	会員の定例会ならびに作品鑑賞会の実施。（隔月1回）
39	生け花インターナショナル・デリー支部	2008.04.01 ～ 2009.03.31	会員の定例会ならびに作品鑑賞会の実施。（隔月1回）
40	生け花草月流デリー支部	2008.04.01 ～ 2009.03.31	会員の定例会ならびに作品鑑賞会の実施。（毎月1回）
41	生け花小原流デリー支部	2008.04.01 ～ 2009.03.31	会員の定例会ならびに作品鑑賞会の実施。（隔月1回）

海外事務所

	事業名	期間	事業内容
42	JICA同窓会インド支部	2008. 08. 10	会員相互親睦のための文化イベントを実施。

【文化備品・視聴覚資料貸出】

	事業名	対象機関	期間	事業内容
43	凧独楽展	在ムンバイ総領事館	2009. 01. 08 ~ 2009. 01. 15	展覧会の実施。於アーメダバード。

シドニー日本文化センター

合計額 195,593,972 円

(1) 主催・共催事業

【展示】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	Facetnate!	シドニー	シドニー日本文化センター		2008.04.01 ~ 2008.09.30	日本から影響を受けた若手・新人アーティストを公募により選び、シドニー日本文化センターで個展の機会を提供する連続展覧会シリーズ。前年度の審査により選ばれた5人のアーティストの個展を2008年4月～9月まで順次開催し、最優秀者には“Japan Foundation Award”を授与。
2	井上靖写真展	シドニー	シドニー日本文化センター	シドニー大学、井上靖記念文化財団	2009.03.16 ~ 2009.03.31	第3回井上靖賞の授賞式の開催に合わせて、井上靖文学とシルクロードをテーマにした写真展とミニ・シンポを開催。写真展では井上靖がシルクロードで自ら撮影した写真数千点の中から約30点を選び、ネガからパネルを製作・展示。

【公演】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
3	書道デモンストレーション	キャンベラ	キャンベラ・ナラ公園	ACT州政府	2008.09.20	キャンベラ市と奈良市の姉妹都市交流を記念して開催される「キャンドル・フェスティバル」にREN（書家）を派遣し、書道のデモンストレーションを実施。

【講演・シンポジウム】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
4	第2回井上靖賞授賞式	シドニー	シドニー日本文化センター	シドニー大学、井上靖記念文化財団	2008.06.06	井上靖記念文化財団によりシドニー大学に設けられた日本文学研究奨励のための井上靖賞の第2回授賞式。授賞式、受賞者による記念講演、故井上靖の次男・井上卓也による講演、及び映画『風林火山』の上映をシドニー大学との共催で開催。

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
5	トム・ヘネガン講演会	シドニー	シドニー日本文化センター	シドニー大学	2008.09.19	巡回展「くまもとアートポリス」の開催にあわせ、くまもとアートポリス参加者でもある建築家トム・ヘネガン（シドニー大学教授）の講演会を開催。
6	源氏物語千年紀記念講演会及び映画上映	シドニー	ニューサウスウェールズ州立美術館	ニューサウスウェールズ州立美術館	2008.11.29	源氏物語千年紀を記念して、ニューサウスウェールズ州立美術館が、源氏物語展を開催するのに合わせて、源氏物語に関する講演会および映画上映会を開催。講師は、平成19年度の国際交流基金賞受賞者であるロイヤル・タイラー（元オーストラリア国立大学教授）。
7	Sayuki講演会「Inside the flower and Willow World」	シドニー	シドニー日本文化センター		2009.02.16	西洋人として初めて芸者となったDr. Fiona Graham（沙幸）による講演会。
8	第3回井上靖賞記念シンポジウム「井上靖とシルクロード」	シドニー	シドニー日本文化センター	シドニー大学、井上靖記念文化財団	2009.03.20	第3回井上靖賞の授賞式の開催に合わせて、井上靖文学とシルクロードをテーマにした写真展とミニ・シンポジウムを開催。シンポジウムでは、日本とシルクロードの交流について、美術・文学・歴史の観点から専門家による報告と討論を行った。

【映画】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
9	水曜映画会	シドニー	シドニー日本文化センター		2008.04.01 ～ 2009.03.31	フィルムライブラリーの所蔵作品を利用して、隔週水曜日に英語字幕付き日本映画の無料上映会を開催。
10	大洋州フィルムライブラリー	シドニー			2008.04.01 ～ 2009.03.31	日本映画の16ミリフィルムを所蔵するフィルムライブラリーの運営。在豪大使館及び各州の総領事館、在フィジー大使館、在ニュージーランド大使館及び総領事館など9公館に貸し出しを行う。

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
11	第12回巡回日本映画祭	シドニー、メルボルン、キャンベラ、ブリスベン、パース	Greater Union, ACMI, National Film & Sound Archive, Regent Cinema, Alexander Library		2008.11.12 ~ 2008.12.09	第12回目となる巡回日本映画祭。シドニー、メルボルン、キャンベラ、ブリスベン、パースを巡回。シドニーとメルボルンの2都市においては、映画祭の規模を拡大、21作品を上映して1万人超の観客を動員。上映作品は、「おくりびと」、「アフタースクール」、「続・Always-3丁目の夕日」「ICHI」など。
12	第7回日豪学生映画フォーラム	シドニー	Greater Union	日本映画学校, AFTRS, COFA, SCA, Sydney Film School, VCA, WA Screen Academy	2008.12.08	日豪の映像学校の学生卒業作品をセレクトし、両国の受賞作品を決定し、その上映会及び受賞式を開催。第12回巡回日本映画祭の期間中にあわせて開催する。

【日本語教育】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
13	地方日本語教育研修会支援	全豪各地			2008.04.01 ~ 2009.03.31	各州の日本語教師会等が主催する日本語教師向けの研修会に、シドニー日本文化センターの講師が出張し、講義等を行う。平成20年度中に7回派遣。
14	オンライン日本語講座	全豪各地			2008.04.01 ~ 2009.03.31	オーストラリアおよびニュージーランドの非日本語母語話者である日本語教師向けに日本語運用力向上を目的としたオンライン講座を開発。
15	日本語賞品寄贈	全豪各地			2008.04.01 ~ 2009.03.31	日本語学習奨励の一環として、各地で行われる弁論大会や発表会に対して図書・文房具などの賞品を寄贈。(約120校)
16	日本語教師向け短期集中研修会(2008年4月)	シドニー	シドニー日本文化センター		2008.04.14 ~ 2008.04.17	オーストラリア及びニュージーランドの日本語教師を対象とした短期集中研修会。
17	ニューサウスウェールズ州日本語弁論大会	シドニー	シドニー日本文化センター		2008.09.13	10月に行う「全豪日本語弁論大会」へのニューサウスウェールズ州予選大会。高校生、大学生、一般の約70人が4部門にわかれて、スピーチを競い合う。各部門の優勝者は「全豪日本語弁論大会」への出場権を獲得する。

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
18	全豪日本語弁論大会	シドニー	ニューサウスウェールズ州立図書館		2008. 10. 18	第39回目を迎える全豪日本語弁論大会。各州の予選大会で選出された約20名が4部門にわかれて、オーストラリアNo. 1を競い合う。
19	評価委員会	シドニー	シドニー日本文化センター		2008. 11. 07	オーストラリア各州の教育省関係者及び大学関係者によるシドニー日本文化センターの日本語事業に関する評価委員会を開催。各州の日本語教育の最新事情などを報告してもらうとともに、関係者とのネットワークを強化する目的も兼ねる。
20	日本語教師向け短期集中研修会（2009年1月）	シドニー	シドニー日本文化センター		2009. 01. 19 ～ 2009. 01. 22	オーストラリア及びニュージーランドの日本語教師を対象とした短期集中研修会。
21	高等教育支援（共同研究）				2008. 04. 01 ～ 2009. 03. 31	ニュー・サウス・ウェールズ大学と共同で、オーストラリアにおける日本語教育事業と日本語教授法に関する研究を行う。特に、各教育段階間での日本語教育の連携について調査を行う。4年計画事業の2年目。

【図書館運営】

	事業名	期間	事業内容
22	図書館運営	2008. 04. 01 ～ 2009. 03. 31	図書館運営。月曜から金曜まで毎日開館。月2回週末（土曜日）開館。図書貸し出し、レファレンスサービス、Web-OPACなどのサービスを提供。

【出版・広報】

	事業名	期間	事業内容
23	ニューズレター発行（ペーパー）	2008. 04. 01 ～ 2008. 07. 31	季刊ニューズレター『OMUSUBI』を発行する。紙媒体は7月発行の第16号をもって終了し、オンラインのニューズレターに完全移行。
24	オンライン・ニューズレターの発行	2008. 04. 01 ～ 2009. 03. 31	従来の紙ベースでの季刊ニューズレターを廃刊し、Eメールによるニューズレター“Omusubi”を発行する。月1回の定期版と、最新情報を随時伝える臨時版の2種類を発行。

海外事務所

	事業名	期間	事業内容
25	ウェブサイト運営	2008.04.01 ~ 2009.03.31	シドニー日本文化センターのウェブサイト (URL: http://www.jpfa.org.au/) を運営する。
26	学術ジャーナル「New Voices」の刊行	2008.04.01 ~ 2009.03.31	2006年に第1号を刊行した、若手研究者育成のための学術ジャーナル「New Voices」の第2号。優等学士 (Honours) の学位論文の中から優れた論文を公募し、オンラインと印刷媒体の両方で刊行した。

【教室事業】

	事業名	都市	会場	期間	事業内容
27	日本語講座	シドニー	シドニー日本文化センター	2008.04.01 ~ 2009.03.31	一般向けに日本語講座を開講。一般向けに日本語講座を開講。平成20年度は、初級Ⅰ、初級Ⅱ、中級Ⅰ、上級の4レベルの講座を提供し、205人が受講した。

【その他】

	事業名	共催機関	期間	事業内容
28	Jシネマプロジェクト	松竹株式会社、MADMAN Entertainment	2008.12.01 ~ 2009.03.31	職員からの公募による新規企画事業。日本映画を題材として、日本語教育と日本文化・社会紹介の教材を開発し、元となった映画とともにDVDパッケージにして販売する。日本の松竹株式会社及びオーストラリアの配給会社MADMAN Entertainmentとの共同事業。第1弾の作品は、『しあわせ家族計画』。平成20年度に着手、21年度中の完成・販売開始を目指す。

(2) 助成・協力事業

【助成事業】

	事業名	都市	会場	助成機関	期間	事業内容
29	地方日本語研修会助成				2008.04.01 ~ 2009.03.31	オーストラリアの各地で開催される日本語教育に関する学会、研修会、ワークショップなどへの助成。平成20年度は3件を実施。

海外事務所

	事業名	都市	会場	助成機関	期間	事業内容
30	Oscillating Landscape	メルボルン	West Space	West Space	2008.05.22 ~ 2008.06.14	メルボルン在住のビジュアルアーティスト進藤詩子のコンテンポラリー・アートの祭典「ネクスト・ウェーブ・フェスティバル」への参加経費を助成。
31	大正シック（伊澤朝子パフォーマンス）	シドニー	ニューサウスウェールズ州立美術館	ニューサウスウェールズ州立美術館	2008.07.02 ~ 2008.07.30	ニューサウスウェールズ州立美術館で開催される「大正シック展」に合わせ、大正時代のモガをイメージしたパフォーマンスの実施経費を助成。
32	よさこいソーラン	キャンベラ	キャンベラ・ナラ公園	北海あほんだら会	2008.09.20	キャンベラで行われたキャンドルフェスティバルに参加する「よさこいソーラン」のグループの参加費用に対する助成。
33	Shakuhachi Concert	シドニー	Melba Hall	Shakuhachi Flutes	2008.12.13	メルボルン在住のアンドリュー・マクレガー（尺八演奏家）主宰による「尺八チェンバー作曲コンペティション」の受賞コンサート。
34	草間弥生展	シドニー	Museum of Contemporary Art	Museum of Contemporary Art	2009.02.14 ~ 2009.06.06	現代美術館で開催された「草間弥生展」のオープニングに合わせて、展示関係者を日本から招へいするための経費を助成。
35	第20回日英・英日翻訳国際会議 IJET-20	シドニー	Harbour View Hotel	Japan Association of Translators	2009.02.14 ~ 2009.02.15	シドニーで開催される第20回日英・英日翻訳国際会議に対する助成

【後援事業】

	事業名	対象機関	期間	事業内容
36	国連環境親善大使・加藤登紀子チャリティ・コンサート	シドニー日本クラブ	2008.08.20	国連環境親善大使・加藤登紀子のチャリティコンサートをシドニー市内で開催する。実行委員会に参加するとともに、後援名義を付与。
37	日本の祭り	シドニー日本クラブ	2009.02.07	シドニー日本クラブ主催による、「日本の祭り」に対する協力。

【会場提供】

	事業名	対象機関	期間	事業内容
38	初心者向け盆栽体験講座	シドニー日本人会	2008.04.19	日本人会主催で行われた盆栽の体験講座に協力。（会場提供、広報）

海外事務所

	事業名	対象機関	期間	事業内容
39	JETAAキャリアセミナー	JETAA	2008. 10. 24	語学指導等を行う外国青年招致事業（JETプログラム）参加者の同窓会組織JET Alumni Association（JETAA）が開催する帰国者向けの就職ガイダンスセミナーに協力。
40	「料理人の書」レクチャー&デモンストレーション	シドニー日本人会	2008. 11. 05	日本人会主催で行われた、日本料理人による伝統的な書のレクチャー・デモンストレーションに協力。

【その他】

	事業名	対象機関	期間	事業内容
41	OzAsia Festival	Adelaide Festival Centre	2008. 09. 24	アデレードで開催されたOzAsia Festivalでの言語教育関係のシンポジウムにシドニー日本文化センター講師を派遣。

トロント日本文化センター

合計額 115,852,572 円

(1) 主催・共催事業

【展示】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	武谷大介展「KARA」	トロント	トロント日本文化センター		2008.03.11 ~ 2008.05.09	トロント在住日系人アーティストによる美術展。日加米の空（そら・から）をテーマにした作品を約40点展示。
2	ダレンヘイスティング写真展「光のイメージ」	トロント	トロント日本文化センター図書館		2008.05.09 ~ 2008.07.25	カナダ人写真家による日本を題材とした写真展。日本の伝統建築及び祭りの写真を図書館内に展示。
3	和紙展「時を越える和紙」	トロント	トロント日本文化センター	ジャパニーズ・ペーパープレース	2008.05.23 ~ 2008.07.10	ワールド和紙サミットの中核企画として、ジャパニーズ・ペーパープレースと共同して当センターで和紙を総合的に紹介する展覧会を実施。
4	「ドアーズオープン・トロント」への参加	トロント	トロント日本文化センター	トロント市役所	2008.05.24 ~ 2008.05.25	トロント市が主催する文化イベント「ドアーズオープン・トロント」に参加。和紙展及び図書館の特別オープンを実施。
5	片岡紫江書道展「日加文化交流」	トロント	トロント日本文化センター	アルバータ大学高円宮日本研究センター他	2008.07.16 ~ 2008.08.22	アルバータ大学高円宮日本研究センター他との共催で、書道家片岡紫江の書道作品展を開催。書道デモンストラーションもあわせて開催。
6	「日本の染色—能装束の美」展	トロント	トロント日本文化センター図書館他	山口能装束研究所	2008.10.01 ~ 2008.10.10	本部日本文化紹介派遣助成事業を受けて来加した山口能装束研究所所長及び専門家による能装束の展示を図書館で開催。山口憲所長による講演会をテキスタイル博物館他計4箇所で開催。
7	木版画展「Water, Wood, Paper」	トロント	トロント日本文化センター		2008.10.03 ~ 2008.11.15	日本の浮世絵以来の伝統的版画としての木版画を京都で学んだカナダ人アーティスト及び世界各国の木版画家9人のグループ展。
8	トロント市現代芸術祭ヌイブロンシュへの当センターの参加	トロント	トロント日本文化センター	トロント市役所	2008.10.04 ~ 2008.10.05	現代芸術祭ヌイブロンシュにトロント日本文化センターが参加。「現代版画展」及び「東京スカナー」（押井守監修）の上映を行った。

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
9	前田典子氏書道展覧会「円相」	トロント	トロント日本文化センター		2008.11.25 ~ 2009.02.26	世界各地で活躍する日本人書道家の「円」のみで構成する書道作品展。映像や照明器具なども展示されたほか、日加各界を代表する人物の手による「円相」も展示された。
10	ケイリーラモス写真展「Then and Now; Tradition in Today's Japan」	トロント	トロント日本文化センター図書館		2009.01.09 ~ 2009.02.07	カナダ人写真家ケイリーラモスが日本滞在中に撮影した写真を図書館で展示。
11	日加修好80周年記念写真展「80Years of Japan Canada Relations Miles Apart, Minds Together」	トロント	トロント日本文化センター	在トロント総領事館	2009.02.17 ~ 2009.02.27	日加修好80周年を記念して、日加交流の80年を概観する写真展をトロント日本文化センターで企画・制作。外務省の発案をセンターが実現に協力した。
12	日加修好80周年記念写真展「80Years of Japan Canada Relations Miles Apart, Minds Together」	オタワ	在カナダ大使館	在カナダ大使館	2009.03.03 ~ 2009.03.13	上記写真展をオタワ大使館に巡回展示。3月4日にはオープニング式典を大使館と共催で開催し、150人を超える政界官界リーダーが参加。
13	日加修好80周年記念写真展「80Years of Japan Canada Relations Miles Apart, Minds Together」	バンクーバー	バンクーバー・ペンデュラムギャラリー	在バンクーバー総領事館	2009.03.23 ~ 2009.04.04	上記写真展をバンクーバーに巡回展示。3月26日にはオープニング式典が同地総領事館により開催され、約50名のカナダおよび日系社会要人が参加した。

【公演】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
14	日本人・カナダ人グループによるポップコンサート	トロント	トロント日本文化センター	アシュレイ・イングラム音楽院	2008.05.02	トロント在住の音楽家アシュレイ・イングラムと若手音楽家（日本人、日系カナダ人、アジア人）によるコンサート
15	アユリシアター「或る阿呆の一生」シアタープレゼンテーション	トロント	トロント日本文化センター	アユリシアター	2009.01.26 ~ 2009.01.31	当地を拠点に、日加他のアーティストによる国際劇団アユリシアターが、芥川龍之介の作品をベースに作品創作を行う過程をサポート。制作結果を3回にわたって公演の形で発表した。
16	シネマ歌舞伎上映事業（先駆的創造的事業）	トロント	スコシアバンクシアター		2009.03.26 ~ 2009.03.28	当地映像プロダクション会社と共催で、シネマ歌舞伎3本を商業館で上映。チケットを販売し、計717枚を売り上げたほか、計879名が参加した。

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
17	「かたり」ストーリーテリング	トロント	トロント日本文化センター	トロント・ストーリーテリング・フェスティバル	2009.03.28	当地ボランティアグループと共催で、日本の物語や音楽を紹介するイベント。トロントのストーリーテリングフェスティバルの参加事業。

【講演・シンポジウム】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
18	日系カナダ人作家ジョイ・コガワと挿絵画家オオイによるブックトーク	トロント	トロント日本文化センター	Fizhenry & Whiteside 出版社	2008.05.08	日系カナダ人コガワ（作家）とオオイ（挿絵画家）による「ナオミの樹」出版を記念して、両氏による講演会・ワークショップを開催。
19	平田オリザ講演会「日本の近現代演劇史」	トロント	トロント日本文化センター	カナダ日本語教育振興会及び国際表現言語学会	2008.08.15	カナダ日本語教育振興会及び国際表現言語学会と共催で、講演会を実施。
20	トロント大学MUNKセンター主催大原盛樹JETRO副主任研究員の講演会	トロント	トロント大学MUNKセンター	トロント大学MUNKセンター	2008.10.24	MUNKセンターが主催する講演会を共催。講演タイトルは「中国、インド、日本における工業高度化の異なる道筋～モーターサイクル産業の比較研究」
21	ルネ・ド・セカティ講演会	トロント	トロント日本文化センター	在トロント・フランス総領事館	2009.02.26	在トロント・フランス総領事館と共催で、フランス人の文学者で日本文学紹介・翻訳を行っているセカティの講演会を開催。
22	日加80周年記念シンポジウム及び五百旗頭教授講演会	トロント	トロント大学及びトロント日本文化センター	トロント大学財団法人渋沢栄一記念財団	2009.03.13	日加交流の80周年を学術的観点から概観・分析し今後への課題を探るシンポジウム。トロント大学、渋沢栄一記念財団と共催。日加双方の学会官界のリーダーが多数参加。

【映画】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
23	トロント国際映画祭でのアジア映画紹介のためのAFINナイトレセプション開催	トロント	トロント日本文化センター	トロント国際映画祭、JETRO、KOFIC、UNI JAPAN	2008.10.21	トロント国際映画祭開催期間に、日本の参加映画監督をはじめ、韓国他アジアの監督、映画関係者及びプレス関係者を招いて、交流及びプロモーションのためのレセプションを開催。JETRO、KOFIC、UNI JAPANと共催。
24	アニメ文化大使「ドラえもん」上映	トロント	セネカ・カレッジ	セネカ・カレッジ	2008.10.28	セネカ・カレッジ図書館と共催で、「ドラえもん のび太の恐竜2006」を上映。トロント日本文化センター図書館の新設マンガコーナーのPRも実施。

海外事務所

【日本語教育】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
25	アルバータ州教育省日本語教育専門家派遣	エドモントン	アルバータ州教育省	アルバータ州教育省	2008.04.20 ~ 2009.03.31	アルバータ州内及びカナダ全土で日本語教育振興活動を行う日本語教育専門家を国際交流基金本部からアルバータ教育省へ派遣。
26	宇佐美まゆみ東京外国語大学教授講演会「自然会話を用いた会話教育～教材作成法とその使い方～」	トロント	トロント日本文化センター		2008.06.01 ~ 2008.08.01	宇佐美教授による、日本語教師を対象とした日本語教育セミナーを開催。別途ヨーク大学にてもディスコースポライトネス理論についての講演会を開催。
27	カナダ日本語教育振興会2008年年次大会開催	トロント	トロント日本文化センター	カナダ日本語教育振興会	2008.08.15 ~ 2008.08.18	カナダ日本語教育振興会 (CAJLE) の年次大会 (学術シンポジウム) をトロント日本文化センターで開催。カナダ全土及び世界各国から約80名の日本語教育関係者が参加。トロントビジネス界との懇談会も実施。
28	「にほんごアートコンテスト」 展覧会	トロント	トロント日本文化センター	にほんごアートコンテスト実行委員会	2008.09.16 ~ 2008.09.26	日本語の文字を織り込んだ子供たちによるアート作品のコンテスト及び展覧会。会場提供及び審査への協力。
29	ヒルフィールド・ストラランカレッジ高校生に対する日本紹介事業	トロント	トロント日本文化センター	ヒルフィールド・ストラランカレッジ	2009.03.04	ハミルトン市にある同高校で日本語を履修する生徒を当センターに招き、日本の都市の様子や伝統文化 (歌舞伎) を紹介

【図書館運営】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
30	図書館運営				2008.04.01 ~ 2009.03.31	トロント日本文化センター図書館は日本に関する英語および日本語の書籍等約16,000点を所蔵する図書館であり、登録会員数約12,000人、年間利用者数は22,973人であり、前年度利用者数18,890人に対して、4,083人、約22%の増加となっている。土曜開館日を増やしたり、マンガコーナーの新規開設、図書館内で各種のイベントを開催するなど、利用者サービスの向上に努めている。

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
31	日本の図書館司書のための トロント市内図書館ツアー	トロント	トロント市内図書館	国際図書館連盟	2008.08.09 ~ 2008.08.16	ケベック市で開催された国際図書館連盟総会に日本から参加した各地方自治体図書館や大学図書館の司書グループに対し、トロントの図書館の多言語政策に関するツアーをアレンジし、意見交換の場を設定した。
32	源氏物語千年紀記念展示 「A Millenium of the Tale of Genji; Colour and Four seasons in Japan a thousand years ago」	トロント	トロント日本文化センター図書館		2008.10.27 ~ 2008.12.19	源氏物語千年紀を記念し、カナダの人々に源氏物語に対する理解を深めてもらうことを目的として、図書館内で、十二単の重ねの袖、染料サンプル、絵巻物の複製などの展示を実施。

【その他】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
33	トロント地区中学高校教員招へい事業参加者帰国報告会	トロント			2008.07.17	中学高校教員招へい事業でトロント地区から参加した3名を招き、総領事館広報文化センター所長とともに、帰国報告を聞く機会を設定した。
34	カナダ日本研究学会2008年年次大会夕食会	ウォータールー	ウォータールー大学	カナダ日本研究学会	2008.10.04	ウォータールー大学において、カナダ日本研究学会年次総会が開催され、カナダ及び日本から日本研究者が多数集まった機会を捉えて、交流及びネットワーク形成のための意見交換会を主催。
35	トロント地区中学高校教員招へい事業参加者帰国報告会（第2回）	トロント			2008.12.15	平成20年度中学高校教員招へい事業に参加した教員の帰国報告及びフォローアップのための意見交換会。総領事館広報センター所長にも参加を求め、ネットワーク形成を行った。

【本部事業受入】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
36	邦楽カナダ公演	トロント	CBCグレン・ゲールド・スタジオ		2008.04.25 ~ 2008.04.28	同公演受入実施（2回公演）。

(2) 助成・協力事業

【助成事業】

	事業名	都市	会場	助成機関	期間	事業内容
37	国際難民法の課題に関する リサーチワークショップ	トロント	ヨーク大学	ヨーク大学	2008.05.01 ~ 2008.05.02	ヨーク大学難民研究センターが主催する国際難民法の課題に関するワークショップに日本の新垣関西学院大学教授が参加。渡航費を助成。
38	「写真に関する映像」プロ ジェクト	トロント	ナショナルフィルム ボード映写室	CONTACTトロント写真 フェスティバル	2008.05.09 ~ 2008.05.11	当地最大の写真フェスティバルの一環として開催された同プロジェクト（写真を題材とした映像作品の上映）について、上映権料を在外助成により支援。来加した高橋監督への各種サポートも行った。
39	東アジア言語シンポジウム	エドモン トン	アルバータ大学	アルバータ大学	2008.06.19 ~ 2008.06.20	アジア言語の会話研究の現状及び今後の共同作業の可能性を探る国際シンポジウムに対し助成を実施。北米各地、日本から日韓中国語の専門家が参加。
40	モビリティと環境 輸送・ 交通・移動歴史学会国際シ ンポジウム	オタワ	カナダ科学技術博物館	モビリティと環境 輸 送・交通・移動歴史学 会	2008.09.18 ~ 2008.09.21	輸送、交通、移動に関する専門家による国際会議。日本から参加した東洋大学太田教授の旅費の一部を助成。
41	パワートーク2008 南條史 夫講演会	トロント	パワープラント美術館	パワープラント美術館	2008.10.03 ~ 2008.10.07	トロント市ダウンタウンにある現代美術専門美術館で、世界の有力なキュレーター3名を招いた連続講演会を開催。当センターは南條史夫（森美術館館長）の渡航費の一部を助成。同氏はあわせてヌイブロンシュなど、トロントの現代アートを視察。美術関係者との意見交換会を当センターで主催。
42	トロント市現代芸術祭ヌイ ブロンシュでの日本現代 アート展示プロジェクト	トロント	トロント市内	トロント市役所	2008.10.04 ~ 2008.10.05	トロント市が中心となって毎年開催している現代アートのフェスティバル「ヌイブロンシュ」に、日本の現代アート作家藤原隆洋の作品Into the Blueを展示するための作品輸送費を助成。そのほか、連絡調整や展示サポートを行う。
43	第6回トロントジャパニー ズ・ショートフィルムフェ スティバル	トロント	イニスタウンホール劇 場	トロントジャパニー ズ・ショートフィルム フェスティバル	2008.10.07 ~ 2008.10.10	日本のショートフィルム28作品を上映する映画祭。日本から4名の監督を招いてオープニングが行われた。福井監督の旅費の一部を助成。

海外事務所

	事業名	都市	会場	助成機関	期間	事業内容
44	源氏物語千年紀記念「源氏物語と現代日本の女性像」(講演と音楽)	バンクーバー及びバーナビー	ブリティッシュコロンビア大学(UBC)及び日系ヘリテージセンター	ブリティッシュコロンビア大学(UBC)及び日系ヘリテージセンター	2008.10.19 ~ 2008.10.25	源氏物語千年紀を記念し、UBCのモストウ教授による講演会及び着物の展示、源氏物語関連図書の展示を行った。在外公館日本週間等支援事業。
45	モンリオールアジア若手音楽家の夕べ	モンリオール	Chapelle historique de Bon Pasteur	Theatre Lyricoregra	2008.11.11 ~ 2008.11.18	モンリオール市で開催されるイベントに、日本の若手オペラ歌手・ピアニスト3名が参加する旅費の一部を助成。在外公館日本週間等支援事業。
46	White Moon Dance Nights	トロント	Young Centre for the Performing Arts	AKA Dance	2009.02.25 ~ 2009.02.28	日本とカナダのダンスの伝統を融合する作品を発表するカンパニーのトロントにおける公演について、旅費の一部を助成。
47	映画『カブールの手品師』日本語字幕作成	モンリオール	InformAction	InformAction Productions	2009.03.01 ~ 2009.03.31	カナダ人映画監督Philippe Baylaucq制作による、9.11テロで息子を亡くした日本人を主人公とした映画作品の日本語字幕作成経費の一部を助成。
48	トロント交響楽団日本人作曲家作品紹介事業	トロント	ロイトムソンホール	トロント交響楽団	2009.03.05 ~ 2009.03.11	トロントシンフォニーの毎年恒例の事業である現代作品紹介シリーズにおいて、武満徹の作品の紹介等を行った。楽譜借料・上映権料の一部1,500カナダドルを助成。

【後援事業】

	事業名	都市	会場	主催機関	期間	事業内容
49	吉田兄弟津軽三味線公演への協力	トロント	エンウエイブシアター	Domo Music Group	2008.05.25	吉田兄弟(津軽三味線奏者)のトロント公演に際し、チラシの配布やウェブ広報協力等の協力を行った。
50	ワールド和紙サミット	トロント	トロント市内主要アートギャラリー及びトロント日本文化センター	ジャパニーズ・ペーパープレース	2008.06.07 ~ 2008.06.15	トロント市内35のアートギャラリー及び当センターにおいて、和紙を総合的に紹介しつつ、和紙を利用したアートの作品展を多角的に開催した。
51	植民地時代の朝鮮半島における日本語による文化活動(詩、演劇、文学等)についての国際シンポジウムへの協力	トロント	ヨーク大学	ヨーク大学	2008.09.25	植民地時代の朝鮮半島における日本語による文化活動(詩、演劇、文学等)についての国際シンポジウム開催にあたり、主催者(テッドグーセン教授)より協力を求められ、参加者のネットワーク・意見交換を図るための意見交換会を開催した。
52	カナダ日本書道公募展	トロント	トロント日系文化会館	書道カナダ	2008.11.23 ~ 2008.12.06	カナダ及び北米の書道愛好家の公募展開催に後援・協力。

【会場提供】

	事業名	都市	会場	対象機関	期間	事業内容
53	折り紙ソサエティへの協力	トロント	トロント日本文化センター	トロント折り紙ソサエティ	2008.04.01 ~ 2009.03.31	トロント折り紙ソサエティの月例会への会場提供による協力。同協会は折り紙の技術研修及び普及活動を行っている。
54	ロイヤルオンタリオ博物館ビショップホワイト委員会への協力	トロント	トロント日本文化センター	ロイヤルオンタリオ博物館ビショップホワイト委員会	2008.05.22	日本の美術工芸品等を膨大に所蔵しているロイヤルオンタリオ博物館のファンディング委員会への協力として、日本専門キュレーターのためのファンディング完了のプレス発表の会場提供を行った。
55	ワールドワイド・ショートフィルム・フェスティバル (WWSFF)	トロント	トロント日本文化センター	ワールドワイド・ショートフィルム・フェスティバル	2008.06.10 ~ 2008.06.15	本部助成を受けて日本から新進アニメ作家の作品15本が参加して開催されたWWSFFの開催にあたり、映画祭事務局と共催で日本人アニメ作家と映画祭関係者、映画関係者、ジャーナリスト等を招いてレセプションを開催し、交流の場を提供した。
56	「語学指導等を行う外国青年招致事業 (The Japan Exchange and Teaching Programme) (略称: JET) 」渡航者オリエンテーションセミナー	トロント	トロント日本文化センター	在トロント総領事館、トロントJETアラムナイアソシエーション	2008.06.21 ~ 2006.06.22	総領事館が実施するJET事業で訪日するカナダ人若者に対するオリエンテーションセミナー。日本人ボランティアによる演劇セッションなど多彩な企画あり。
57	「語学指導等を行う外国青年招致事業 (The Japan Exchange and Teaching Programme) (略称: JET) 」帰国者リエントリーセミナー	トロント	トロント日本文化センター	トロントJETアラムナイアソシエーション	2008.09.27	JET事業で日本に滞在したカナダ人若者のカナダ帰国後のリエントリーセミナーを開催。JETのOB・OGはカナダ各地で日本文化の紹介者として活躍する者が多く、そのためのネットワーク作りも行われた。
58	「語学指導等を行う外国青年招致事業 (The Japan Exchange and Teaching Programme) (略称: JET) 」帰国者対象のキャリアフェア	トロント	トロント日本文化センター	トロントJETアラムナイアソシエーション	2008.10.17	JET事業で日本に滞在したカナダ人若者のカナダ帰国後の日系企業等への就職のためのキャリアフェア。当地日系企業も参加した。
59	REEL ASIAN FILM FES プレスローンチ開催	トロント	トロント日本文化センター	トロント・リアルアジア映画祭	2008.10.21	トロント市で開催されるアジア系映画作家の作品を集めた大規模な映画祭のプレスローンチのため会場を提供。

【文化備品・視聴覚資料貸出】

	事業名	都市	会場	対象機関	期間	事業内容
60	展覧会「版画からマンガへ」	トロント	トロント・リファレンス・ライブラリー	トロント市公共図書館	2008.04.19 ~ 2008.06.28	トロントの公共図書館の中心的存在であるトロント・リファレンス・ライブラリーにおいて、「版画からマンガへ」と題する展覧会を開催した。当センターから蔵書の貸出、企画協力を行った。基金招へい者が企画立案。
61	JETRO対日投資セミナー会場での庭園写真展の展示	トロント	インターコンチネンタルホテル	日本貿易振興機構 (JETRO)	2008.10.23	オンタリオ州のカナダ企業の幹部を対象とした日本への投資促進及び日加ビジネス関係強化のためのシンポジウム会場において、当センター所蔵の「京都庭園の四季」写真パネルを展示した。

【その他】

	事業名	都市	会場	対象機関	期間	事業内容
62	丸井ファッションコンテストへの協力	カナダ全国	カナダ全国	株式会社丸井グループ	2008.07.15 ~ 2008.09.15	丸井が実施する日本語ファッションコンテストに関し、一般向けの広報等の協力を行ったほか、カナダの日本語教育関係者に対して告知を行った。働きかけの結果、カナダから応募した学生が、優勝者となった。
63	モントリオールでの舞台芸術ショーケース (CINARS) への参加協力	モントリオール	Fairmont The Queen Elizabeth	CINARS	2008.11.17 ~ 2008.11.23	モントリオールで開催される国際的な舞台芸術ショーケースであるCINARSに日本の公演団及び東京芸術見本市 (TPAM) の代表者とともに参加し、日本の舞台芸術公演団の紹介を行った。

ニューヨーク日本文化センター

合計額 96,872,108 円

(1) 主催・共催事業

【展示】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	生け花デモンストレーション及び展示	ニューヨーク	United Nations Plaza	国連代表部	2008.11.12	国連におけるボランティア指導10周年記念として、宮内流華道家、宮内信江師範による生け花に関するデモンストレーション及び展示を実施。
2	JAPANESE MOOD - Portraits of Contemporary Choreographers	ニューヨーク	日本クラブギャラリー	日本クラブ	2009.01.08 ~ 2009.01.14	ニューヨークの写真家ペギー・カプランがこれまで撮影した日本現代舞踊振付家・舞踊家のポートレート写真展を実施。

【公演】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
3	加藤幸子&吉岡愛理サロンコンサート	ニューヨーク	ソニッククラブ	ソニー	2008.06.18	平成19年度ブラジルに派遣した、加藤幸子（ピアノ）&吉岡愛理（ヴァイオリン）の凱旋コンサートをニューヨークにおいて主催。
4	西陽子サロンコンサート	ニューヨーク	ソニッククラブ	ソニー、パソナ	2008.10.03	西陽子（邦楽演奏家）の米国公演のうち、ニューヨーク公演を主催。
5	在米日本文化専門家中南米派遣（ジャズ）	サンサルバドル（エルサルバドル） サンホセ、カルタゴ（コスタリカ）、 サントドミンゴ（ドミニカ共和国）	CENAR, FEPADE Cartago City Hall, Teatro Popular Melico Salazar Teatro Nacional	在エルサルバドル大使館 在コスタリカ大使館 在ドミニカ共和国大使館	2008.10.07 ~ 2008.10.10 2008.10.10 ~ 2008.10.13 2008.10.13 ~ 2008.10.15	在エルサルバドル大使館、在コスタリカ大使館、および在ドミニカ共和国大使館からの要請に基づき、ニューヨークに活動拠点を置くジャズピアニスト、なら春子（コロンビア大学教育学部助教授）とジャズギタリスト、増尾秋好、及びカメルーン出身のヴォーカリスト、ジーノ・シトソンを派遣し、公演およびレクチャー・デモンストレーションを実施。

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
6	在米日本文化専門家中南米派遣（邦楽）	キングストン（ジャマイカ） マナグア（ニカラグア）	Mico University College Courtleigh Auditorium Palacio Nacional	在ジャマイカ大使館 在ニカラグア大使館	2008.11.08 ～ 2008.11.13 2008.11.13 ～ 2008.11.16	在ジャマイカ大使館、および在ニカラグア大使館からの要請に基づき、ニューヨークに活動拠点を置く篠笛奏者、渡辺薫とハワイに活動拠点を置く和太鼓奏者、ケニー遠藤を派遣し、公演およびレクチャー・デモンストレーションを実施。
7	在米日本文化専門家中南米派遣（華道）	ポート・オブ・スペイン（トリニダード・トバゴ）	ノルマンディーホテル、西インド諸島大学語学センター	在トリニダード・トバゴ大使館	2008.11.25 ～ 2008.11.28	在トリニダード・トバゴ大使館からの要請に基づき、宮内流華道家、宮内信江師範を派遣し、いけばなに関する講演会、およびデモンストレーションを実施。

【映画】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
8	南部大学巡回映画祭	ゲインズビル、セント・ピーターズバーグ、アテンズ、ダーラム	フロリダ大学 エッカード・カレッジ ジョージア大学 デューク大学	フロリダ大学 エッカード・カレッジ ジョージア大学 デューク大学	2009.01.27 ～ 2009.03.18	日本映画を上映する機会の少ない南部の大学において、日本文化紹介のために基金所蔵の35mmフィルムを使用した上映会を実施。

【出版・広報】

	事業名	期間	事業内容
9	広報資料作成	2008.04.01 ～ 2009.03.31	米国内における国際交流基金のプレゼンスを高めるため、ロサンゼルス日本文化センターと協力し、基金の米国における活動を紹介する広報資料を作成、配布。
10	ウェブサイト運営	2008.04.01 ～ 2009.03.31	米国向けに国際交流基金及びニューヨーク日本文化センターの活動を紹介するため、ウェブサイトを運営。本年度は既存のサイトを全面改訂しニュースレター配信を開始（年14回発行）。 URL : http://www.jfny.org/

【その他】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
11	全米アジア学会	シカゴ	シェラトン・ホテル	全米アジア学会	2009.03.27	全米アジア学会に参加する日本研究者間のネットワーク構築、意見・情報交換を目的として懇談会を開催。

(2) 助成・協力事業

【助成事業】

	事業名	助成機関	期間	事業内容
12	PAJ (パフォーミング・アーツ・ジャパン事業) : 『trxfr→transfer』	ペイントッド・ブライド・アートセンター	2008.04.01 ~ 2008.04.30	ニューヨークを拠点に国際的に活躍する舞踏家、山崎広太 (Fluid hug-hug) がフィラデルフィアを根拠とするアフリカ系アメリカ人振付家、チャールズ・アンダーソン (dance theatre X) と共同レジデンシーを行い、新作を共同創作。同事業に対して助成。
13	PAJ : 『わが先祖の足跡をたどって』	ポートランド太鼓	2008.04.01 ~ 2008.09.30	日系米国人による太鼓パフォーマンスグループ、ポートランド太鼓が菊池正平 (万踊衆主宰。元劇団わらび座メンバー) を迎え、日本の民俗芸能を取り入れた分野横断的な新作『わが先祖の足跡をたどって』を創作。同事業に対して助成。
14	PAJ : 『スヴァ (生命力)』全米5都市ツアー	ラガマラ・ミュージック・ダンス・シアター	2008.04.01 ~ 2008.11.25	ラガマラ・ミュージック・アンド・ダンスシアターと和太鼓アンサンブルTOKARAの共同作品『スヴァ (生命力)』の全米5都市ツアー実施に対して助成。
15	PAJ : バン・オン・ア・カンと坂本龍一によるコラボレーション	バン・オン・ア・カン	2008.04.01 ~ 2009.03.31	ニューヨークに本拠を置く先鋭的音楽アンサンブル、バン・オン・ア・カンと坂本龍一の新作の共同創作事業に対して助成。
16	PAJ : 『ジャック・ヴィトロローロによるゴスペル』	HEREアーツセンター	2008.04.01 ~ 2009.03.31	キャメロン・スティール率いる劇団サウスウィングと矢内原美邦率いるニブロールの新作の共同創作事業に対して助成。
17	PAJ : 米の女神ヴァリエーション	クメール芸術アカデミー	2008.04.01 ~ 2009.06.30	ソピリン・チアム・シャピロ (カンボジア系アメリカ人振付家) と峯岸一水 (清虚洞一絃琴宗家四代) が、米の神に対する日本とカンボジアの様々な信仰を探る新作の共同創作事業に対して助成。
18	PAJ : スポットライト・ジャパン第2フェーズ	インターナショナル・ワウ・カンパニー	2008.04.01 ~ 2009.03.31	2007年にニューヨーク市立大学 (CUNY) 大学院演劇センターが主催した現代日本戯曲リーディング・シリーズ「スポットライト・ジャパン」の第2段階として、日米両国の参加アーティストが本格的な舞台化に取り組む事業に対して助成。英訳上演作品は『青の鳥』 (矢内原美邦作、ダン・セイファー演出)、『アウト・ダ・フェ』 (松田正隆作、ジョッシュ・フォックス演出)、『ニュータウン入口』 (宮沢章夫作、ジェイ・シャイブ演出)。
19	PAJ : 『エンジョイ』	ザ・プレイカンパニー	2008.04.01 ~ 2009.03.31	外国現代戯曲の英訳上演で定評のある在ニューヨークの劇団プレイカンパニーの岡田利規作『エンジョイ』の舞台化に取り組む事業に対して助成。

海外事務所

	事業名	助成機関	期間	事業内容
20	PAJ：日本の現代戯曲の英訳普及事業	プレイライツ・センター	2008.04.01 ～ 2009.03.31	演劇の研究と開発に取り組むミネアポリスのプレイライツセンターが、倉持裕と深津篤史の作品の英訳リーディングを実施。同事業に対して助成。
21	PAJ：『私の広島モナムール』	ヴォイス・アンド・ヴィジョン	2008.04.01 ～ 2009.03.31	女性の多様な声の紹介に重きを置く在ニューヨークの劇団ヴォイス・アンド・ヴィジョンが、宮川ちおりの新作『I Have Been to Hiroshima Mon Amour』の舞台化に取り組む事業に対して助成。
22	PAJ：大駱駝艦コラボレーション	アメリカン・ダンス・フェスティバル	2008.07.05 ～ 2008.07.18	鷹赤兒率いる舞踏集団、大駱駝艦とアメリカン・ダンス・フェスティバル（ADF）参加ダンサーがロバート・カプラン（作曲家）とともに新作の創作に取り組み、ADF75周年記念シーズンにおいて初演する事業に対して助成。
23	PAJ：ダムタイプ米国2都市ツアー	ニュージャージー州立モンクレア大学	2008.10.03 ～ 2008.10.18	ダムタイプが『ヴォヤージュ』の米国2都市ツアーを実施。モンクレアでは公開ワークショップも実施。
24	PAJ：チェルフィッチュ北米6都市ツアー	ジャパン・ソサエティー	2009.01.09 ～ 2009.02.20	劇団チェルフィッチュが『三月の5日間』（作・演出：岡田利規）の北米6都市ツアーを実施。
25	PAJ：ジャパン・ダンス・ナウ	シカゴ・コロンビアカレッジ付属ダンスセンター	2009.01.29 ～ 2009.02.21	コンテンポラリー・ダンスショーケースの全米3都市ツアーを実施。出演はニプロール、新上裕也、千日前青空ダンス倶楽部、BABY-Q。
26	PAJ：淡路人形座全米5都市ツアー	ロサンゼルス市文化事業局	2009.02.17 ～ 2009.03.08	淡路人形座が全米5都市においてツアーを実施。
27	PAJ：日米振付家交換レジデンスプロジェクト	ダンス・シアター・ワークショップ	2009.03.01 ～ 2009.04.30	日米両国の4人の振付家が日米4都市で各2週間の共同レジデンスを行い、地元の観客やダンス専門家との交流を通じて、将来のプロジェクトやコラボレーションの可能性を探求。参加アーティストは鈴木ユキオ、きたまり、エイミー・オニール（シアトル）、カイル・エイブラハム（ニューヨーク）。
28	PAJ：『あるハパ・カウガールの回想』米国5都市ツアー	ODCシアター	2009.03.31 ～ 2009.06.30	ダンデライオン・ダンスシアター、劇団Fe' LIX、カラン・ニシモト（作曲家）、土居由里子・波吉雅之（能楽師）の共同作品『あるハパ・カウガールの回想』の米国4都市ツアーを実施。
29	「前栽—日本の園芸」展	クリーブランド植物園	2008.04.05 ～ 2008.06.29	クリーブランド植物園にて開催された大規模な日本祭。森上日本庭園美術館が所蔵する日本園芸をテーマとした大橋治造写真展巡回、動植物園の岩流邸公開、民芸品の芹沢銈介のステンシルも展示。こどもの日を祝した行事や一般市民を対象とする茶道、生け花、太鼓公演／ワークショップ、証城寺ダンスなど様々な教育プログラムを実施。

海外事務所

	事業名	助成機関	期間	事業内容
30	落語ボストン公演	ボストン日本人会	2008.04.15 ~ 2008.04.19	ボストン市内のノースイースタン大学にて三遊亭亭楽による落語公演を開催。アメリカ人にも分かりやすく、また聾啞者にも対応するよう字幕を付随。関連企画として、タフツ大学にてワークショップも実施。
31	日本の太鼓—公演と文化	ローズ・ハルマン工科大学	2008.04.20 ~ 2008.04.27	インディアナ州テレ・ハーテ市にあるローズハルマン工科大学では石川県金沢市を中心に活動する女性4人のアマチュア邦楽グループゆずり葉を招へいし、コンサートを実施。和太鼓を中心に、篠笛、津軽三味線を取り入れ、日本の伝統的な民謡やそれをもとに作成した曲、現代的な要素のある楽曲を演奏。
32	本谷有希子『乱暴と待機』英語上演	パフォーマンス・スペース122	2008.04.25 ~ 2008.05.04	本谷有希子作『乱暴と待機』をアメリカ人キャストがニューヨークを代表する前衛パフォーマンス・スペースPS122にて全6回公演。演出家や翻訳者なども含め、アーティストによるトーク・セッションも実施。
33	桂 勘『奇妙な魚』	ヴァンジェリン・シアター	2008.05.24 ~ 2008.05.25	国際的に活躍する舞踏家、桂勘主演・演出による水俣病をテーマにした作品『奇妙な魚』をニューヨーク・タイムズスクエア所在のチャシヤマ劇場にて公演。
34	伊藤さちよ舞踊団サロン・シリーズ10周年記念	伊藤さちよ舞踊団	2008.05.24 ~ 2008.11.23	今年10周年を迎える伊藤さちよの『さろんシリーズ』では、日本舞踊に重点を置きながら、日本伝統芸能に対する理解を深める事を目的に年3回レクチャー・デモンストラーション及び公演を開催。舞踊と詩歌をテーマにし、5月に『耳なし芳一』、6月に『即興の午後：連句と舞踊』、そして11月に音楽、舞踊及び詩歌を融合した公演を実施。
35	加藤文子振付『夢十夜』	ダンス・シアター・ワークショップ	2008.06.06 ~ 2008.06.08	ダンサー/振付家の加藤文子がChicago Dancemakers Forumのラボ・アーティストとして2007年から取り組んだ作品『おととうごきの曼荼羅・夢十夜』をシカゴ市内エピスコパル教会にて発表。国内外の多様なジャンルの音楽家・アーティスト・ダンサーとコラボレートし、サイトスペシフィックな即興パフォーマンスを展開。現代舞踊と音楽に見る日本美学をトピックとしたレクチャーや夏目漱石研究者によるディスカッションも実施。
36	Beyond Imagination: Satoshi Kon	Film Society of Lincoln Center	2008.06.27 ~ 2008.07.01	映画監督今敏を招へいし、作品上映及び講演会を実施。
37	「ジェームズ・ミッチナー浮世絵コレクション」展	テキサス大学オースチン校	2008.06.29 ~ 2008.08.24	ホノルル美術館所蔵作品を展示。浮世絵展に合わせ浮世絵の歴史や木版画の変遷に関する講演を実施。その他日本文学や映画、絵画に関する講演会も実施。

海外事務所

	事業名	助成機関	期間	事業内容
38	エイコ&コマによる公演、レジデンシーおよびアウトリーチ	コンコード・アカデミー	2008.07.14 ~ 2008.07.15	エイコ&コマによるサマーステージ公演、レジデンシー、アウトリーチのプログラム。マサチューセッツ州コンコード市にて公演、ブルックライン市ではアーティスト・トーク、ボストン市ではワークショップを実施。
39	「バンター中川 治」展	コールマン芸術文化センター	2008.08.01 ~ 2008.10.15	オサム・ジュームズ・ナカガワの沖縄を題材とする写真展を開催。ナカガワによるアーティスト・トークの他に、西アラバマ大学や地元の高校歴史教師が連携し、約300校によるフィールド・トリップを実施。
40	「中空一山本 昌男」展	プリント・センター	2008.09.10 ~ 2008.11.26	プリント・センターにおいて、山本昌男が写真のインスタレーション作品を作成、アーティスト・トークも実施。
41	「ワン・サード」展	伊勢文化財団ギャラリー	2008.09.19 ~ 2008.11.07	新鋭写真家の相沢玄と齋木克裕による作品と、ニューヨークの柳ギャラリー所蔵の骨董品を1/3ずつ展示。現代美術と古美術を対置させ、時の流れ、歴史と現在をテーマとした同展では、両アーティストと骨董品ディーラー柳氏によるパネル・ディスカッションも実施。
42	日本の民俗文化・伝統の変化	ミシガン州立大学	2008.09.26	東北地方のマタギや沖縄文化、あるいは演歌など、日本の民俗文化を取り上げ、その変化について議論。
43	Japanese Film Series	Kent State University	2008.10.23 ~ 2008.10.26	Kent State Universityにおいて日本映画を特集した映画祭を開催。アニメから最新の映画まで、計6本の映画上映を実施。
44	DO ENKA	ニュー・ヘリテージ・シアター	2008.11.01	ハーレムを代表する文化機関のニュー・ヘリテージ・シアター・グループと日本人プロデューサー阿部勝弥とのチームワークの下、ニューヨーク市立美術館にて演歌、ブルース、ジャズの歴史とコラボレーションをテーマとしたコンサートを開催。小田裕一郎、セロニアス・モンク Jr.、サージオ・サルバトアーらが出演。
45	Prospect.1 New Orleans	米国ビエンナーレ事務局	2008.11.01 ~ 2009.01.18	ニューオリンズにて開催された国際ビエンナーレ。世界30カ国以上、アーティスト81名の作品をニューオリンズ市内にて展示。日本からは宮島達男、森村泰昌、ニューヨーク在住の堀崎剛志が参加。
46	「Current Work」レクチャー・シリーズ 隈研吾講演会	ニューヨーク建築協会	2008.11.03	ニューヨーク建築協会による「Current Work」レクチャー・シリーズの一環として、日本から隈研吾（建築家）を招へいし、ニューヨーク市内クーバーユニオンにて講演会を実施。
47	日本コンテンポラリー・ダンス・アンド・アート展	Dance New Amsterdam	2008.11.03 ~ 2008.11.28	舞踊家の山崎広太による『Chamisa 4℃』の公演とワークショップの関連企画として、日本コンテンポラリー・ダンスの歴史に関する展覧会を開催。

海外事務所

	事業名	助成機関	期間	事業内容
48	Unwrapped!:クリスト&ジャンヌ＝クロードと日本文化	フィリップス・コレクション	2008.12.04	ワシントンDCのフィリップス・コレクションにて開かれる『クリスト&ジャンヌ＝クロード:Over the River』の関連特別事業として、風呂敷ワークショップや映画上映を実施。
49	郡裕美『うたたね』展	ムーア造形芸術大学ギャラリー	2009.01.21 ~ 2009.03.14	建築家の郡裕美を日本から招へいし、アーティスト・イン・レジデンスの後、インスタレーションを実施。美術大学生との交流、地元高校訪問、及び講演会を実施。
50	能公演・ワークショップ	ジョージタウン大学	2009.01.27 ~ 2009.02.01	ケンタッキー州ジョージタウン大学にて観世流能楽師4名による5日間のワークショップ実施の後、一般向けの公開リサイタルを開催。イェール大学でもワークショップとデモンストレーションを実施。
51	世界遺産写真展	南フロリダ大学	2009.02.09 ~ 2009.02.19	ニューヨーク日本文化センター所蔵の世界遺産写真パネルをタンパ市に所在する南フロリダ大学ビジネス・スクール講堂にて展示。
52	日本の現代思想の軌跡を追う	ペンシルバニア州立大学	2009.02.20 ~ 2009.04.03	東浩紀と宮台真司による日本の現代思想に関する講演を、アジア学会(シカゴ)、ペンシルバニア州立大学、テキサス大学、ミシガン大学にて開催。
53	アジア系アメリカ人美術シンポジウム2009:アジア系アメリカ人美術の世紀	ニューヨーク大学アジア・パシフィック・アメリカン協会	2009.03.06	アジア系アメリカ人美術シンポジウムおよび懇談会を開催。6時間にわたった同シンポジウムには著名なアジア美術専門家15名がパネリストとして招かれ、米国におけるアジア美術のあり方を討議。
54	ワシントンDC桜祭り2009	National Cherry Blossom Festival	2009.03.26 ~ 2009.03.29	ワシントンDC桜祭りの開会式にて人気演歌歌手ジェロが演歌を披露。

【後援事業】

	事業名	主催機関	期間	事業内容
55	いけばなインターナショナルニューヨーク支部創立50周年および草月創流70周年記念行事	いけばなインターナショナル・ニューヨーク支部	2008.04.16	コロンビア大学アルフレッド・ラーナーホールにていけばなインターナショナル・ニューヨーク支部の50周年と草月流80周年を記念した合同行事を開催。
56	英語寄席興行『ニューヨーク繁昌亭』	ニューヨーク繁昌亭プロジェクト	2008.09.17	日本大衆娯楽の代表である『寄席演芸』を全編英語にて実施。
57	国際七五三	インターナショナル・シントウ・ファウンデーション	2008.10.25 ~ 2008.10.26	日米両国間のより深い相互理解に寄与することを目的として、子供の成長を感謝し、将来の幸福を祈るという日本古来の伝統文化行事である七五三をニューヨーク日米協会にて開催。

海外事務所

	事業名	主催機関	期間	事業内容
58	『オールド・ノリタケ 美の架け橋』展	日本ポーセリン協会	2009.01.29 ~ 2009.02.25	一世紀以上も前に太平洋を渡り、日本からアメリカに輸出されてきた「オールド・ノリタケ」の選りすぐりの名品や佳品を集めた「オールド・ノリタケ名品展」をニューヨークに所在する日本クラブギャラリーにて開催。
59	『グローバル・コンテキストにおける現代日本美術』講演会シリーズ	ヴィルチェック財団 (The Vilcek Foundation)	2009.03.12 ~ 2009.05.15	ヴィルチェック財団にて3月中旬から約2か月間開催された『Ryo Toyonaga: Mephistophelean』展に関連した講演会シリーズ。ニューヨーク在住の著名な日本美術専門家3名が隔週約1時間にわたって講義を実施。

【文化備品・視聴覚資料貸出】

	事業名	対象機関	期間	事業内容
60	文化映画貸し出し	The Getty Foundation University of Pittsburgh- Hillman Library	2008.08.18 ~ 2008.08.19 2008.10.02 ~ 2008.10.30	ニューヨーク日本文化センター所蔵の文化映画（16mmフィルム）、「山中漆器」、「平家物語の世界」、及び「文楽・曾根崎心中-天神森の段-」の貸し出し。
61	世界遺産写真展	南フロリダ大学	2009.02.09 ~ 2009.02.19	ニューヨーク日本文化センター所蔵の世界遺産写真パネルをタンパ市に所在する南フロリダ大学ビジネス・スクール講堂にて展示。

ロサンゼルス日本文化センター

合計額 130,365,884 円

(1) 主催・共催事業

【講演・シンポジウム】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	富田きものショウ	ロサンゼルス	在ロサンゼルス総領事公邸		2008.10.28	きものスタイリストの富田伸明によるきものショウを在ロサンゼルス総領事公邸にて開催。ハリウッド関係者等を招待し、着物についての知識や美しさを紹介。
2	能楽レクチャー・デモンストラーション	ロサンゼルス／サンフランシスコ／ポートランド／シアトル／デンバー	アラタニ日米劇場／サンフランシスコ大学／ドローズウィングスタッド劇場／シアトル美術館／コロラド大学デンバー校	日米文化会館／サンフランシスコ大学／ポートランド州立大学／シアトル美術館／コロラド大学デンバー校	2009.02.06 ～ 2009.02.14	伝統芸能である能楽を分かりやすく解説する文化イベント。味方玄（観世流能楽師）を中心に、京都で活躍中の能楽師5名が米国西部5都市を巡回し、講演と実演で能楽の魅力を紹介。

【日本語教育】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
3	日本語教育リーダー育成研修（DC・指導者の人材育成）	ワシントンDC	在米国大使館広報文化センター		2008.06.27 ～ 2008.06.28	これから国際交流基金ならびに日本政府の米国側カウンター・パートとして日本語教育を牽引できる指導者の人材を育成することを目的とした研修。指導法・研究発表等を主眼とする従来型の研修会とは異なり、教師間の横の連携の強化、さらにはその力を結集して教育省等の上部組織に「日本語教育の重要性」を政策的に訴えること等を重点に研修内容を構成。
4	中学高校教員交流（招へい）事業（米国教育関係者グループ）事前オリエンテーション	ロサンゼルス	都ホテル／ロサンゼルス日本文化センター		2008.07.01	米国における初中等レベルの日本語教育拡充等を主な目的として、米国の初中等教育機関の校長および教育行政担当官を日本へ招へいする事業の参加者に対する、米国内での事前オリエンテーション。ロサンゼルス日本文化センタースタッフによるレクチャー、在ロサンゼルス総領事館や日本貿易振興機構等関係機関による講演のほか、ロサンゼルス日本文化センター視察を実施。

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
5	日本語教育シンポジウム	ロサンゼルス	在ロサンゼルス総領事公邸	オーロラ日本語奨学金基金 在ロサンゼルス総領事館	2008. 10. 04	「日本語教育の課題と展望」をテーマにロサンゼルス日本文化センター、オーロラ日本語奨学金基金、在ロサンゼルス総領事館の共催でシンポジウムを開催。日本語教師会関係者、日本語教師、外国語教育専門家を招き、これからの日本語教育の発展を目指して建設的な討論を展開。
6	日本語教育リーダー育成研修（カリフォルニア教師会情報交換会）	ロサンゼルス	日米文化会館		2008. 11. 16	国際交流基金や日本政府の米側カウンターパートとして日本語普及に取り組むことができるリーダー的人材を育成する、米国日本語教育リーダー研修の一環として、カリフォルニア州の教師会代表者を集めての情報交換会を実施。
7	米国外語教育協会日本語教師会活動支援	オーランド	ウォルト・ディズニー・ワールド・ドルフィン・アンド・スワン・リゾート	在ニューヨーク総領事館	2008. 11. 20 ～ 2008. 11. 23	米国外語教育協会（ACTFL）年次総会期間内に全米日本語教師会（NCJLT）が主催する日本パビリオンにブースを出すことにより、各地から参加する日本語教師の交流および情報交換の場を提供。
8	日本語教育コンサルティング委員会（予備審査会）	ロサンゼルス	ロサンゼルス日本文化センター		2009. 01. 17	平成21年度対米日本語関係公募プログラムの予備審査過程として、米国在住日本語専門家3名による委員会を開催。
9	日本語教育専門家会議	シカゴ	ディポール大学	ディポール大学	2009. 03. 26	米国日本語教育が現在抱える問題を取り上げ、日本語教育指導者および関連分野に精通する専門家と討議する会議を開催。日頃交流の薄れがちな日本語教育と日本研究の連携強化を図ること目的に、日本研究と日本語教育の連携とコラボレーションを実践している両分野の専門家を16名招集し、実践報告と現状と課題について意見交換を実施。

【図書館運営】						
	事業名			期間	事業内容	
10	図書館運営			2008.04.01 ~ 2009.03.31	ロサンゼルス日本文化センターに併設されている図書館の運営。日本語教育専門図書館であり、主な利用者層は日本語教師。一部、日本研究、日本文化・芸術に関する書籍も所蔵。蔵書は7,914点、視聴覚教材は1,741点。会員数は1,068名、利用者(入館者・郵送貸出利用者)数は延べ618名。	
【出版・広報】						
	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
11	ウェブマガジン管理及び編集				2008.04.01 ~ 2009.03.31	全米の日本語教育関係者によるエッセイや、米国における日本語教育事情の調査結果等を報告する情報誌をオンラインで刊行。
12	広報用ビデオ作成費				2008.04.01 ~ 2009.03.31	国際交流基金事業全般の広報を強化するため、事務所主催イベント(能楽レクチャー・デモンストレーション)を紹介するビデオを制作。
13	「東洋宮武のカメラ」特別試写会と記者会見	ロサンゼルス	ロサンゼルス日本文化センター	UTB	2009.01.29	平成20年度映画テレビ番組制作助成作品「TOYO's CAMERA(邦題:東洋宮武のカメラ)」のメディアと日系人諸団体への特別試写会と記者会見を実施。記者会見では在ロサンゼルス総領事とロサンゼルス日本文化センター所長が挨拶をし、すずきじゅんいち(監督)、寺坂重人(UTBプロデューサー)、アーチャー・宮武、音楽を担当した喜多郎が質疑応答に対応。その後、図書館スペースを利用した意見交換会を実施。

【その他】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
14	日本食と酒のフェスティバル2009	アナハイム	ハイアット・リージェンシー・ホテル	日本食文化振興協会／日本貿易振興機構ロサンゼルス	2009.03.05	健康志向食品業者が集まる全米見本市ナチュラルフードエキスポにあわせて、農林水産省、日本貿易振興機構が民間団体である日本食文化振興協会と中心になり、日本食を提供する官民合同イベントを開催。第1部は食品卸売り業者、レストラン業者、メディア、第2部は一般客を対象に、日本食体験を提供。ロサンゼルス日本文化センターはイベントの文化発信コンテンツとして、津軽三味線奏者とお茶会の手配に協力。広報ブースも出展。

(2) 助成・協力事業

【助成事業】

	事業名	助成機関	期間	事業内容
15	文化・芸術ミニグラント（60年代日本アクション映画上映会）	アメリカンシネマティーク	2008.04.25 ～ 2008.04.26	ハリウッドの映画団体アメリカンシネマティークが企画し、小林旭、渡哲也、宍戸錠主演の1960年代のヤクザをテーマにした選りすぐりのアクション映画6作品を上映。
16	文化・芸術ミニグラント（クレスト日本映画上映会）	ユナイテッドメソジスト教会	2008.05.16 ～ 2008.05.17	サクラメントの地元社会が中心となり、文化交流と教育促進を目的として開催された文化イベント。日本映画『ALWAYS三丁目の夕日』とともにアジア系学生による自主制作映画も上映。
17	文化・芸術ミニグラント（活花展示会）	全米日系人博物館	2008.06.15 ～ 2008.09.07	現代芸術をコンセプトにしたいけばな展。長年いけばなをロサンゼルスで伝えてきた華道の三流派、池坊、大原、草月の共同プロジェクトとして米国におけるいけばなの歴史や日系人の役割を伝えた企画。デモンストレーションイベントも同時開催。
18	文化・芸術ミニグラント（凧、凧、もつと凧）	ヒュイ・ノ・エウラ・ビジュアルアートセンター	2008.06.22 ～ 2008.07.05	30人の凧職人の凧展覧会と日本から招いた吉住のぶひこ（凧職人）のワークショップ。日本凧イベントを多く行っているドラクチェン財団（ワシントン州）との共催事業。

海外事務所

	事業名	助成機関	期間	事業内容
19	文化・芸術ミニグラント(映画「眉山」上映とオーロラファンタジーショー)	オーロラ日本語奨学金基金	2008.06.29	オーロラ日本語奨学金基金10周年記念事業の一環として、さだまさし(歌手)原作の映画『眉山』の上映と中垣哲也(写真家)によるオーロラ写真スライドショーを開催。
20	文化・芸術ミニグラント(日本の童話語り部ツアー)	文化芸術協会	2008.10.09 ~ 2008.10.27	キャシィ・スパグノリ(ストーリーテラー)をゲストスピーカーとして招待し、日本の童話(桃太郎や宮沢賢治作品)を紙芝居や語りなどで紹介する巡回イベント。オアフ、マウイ、カウアイ島の3島、17会場で開催。ハワイ地区では20年間ホノルル市の主催で開催しているトークストーリー・フェスティバルに参加。
21	文化・芸術ミニグラント(大和田葉子フルートコンサート)	コミュニティースクール	2008.10.10	大和田葉子(フルート奏者)を日本から招き、西洋のものから日本の童謡までさまざまな曲を奏でるフルートコンサート。シリコンバレー地域の音楽学校で開催。
22	文化・芸術ミニグラント(黒澤明映画上映会)	サンディエゴ日米協会	2008.12.05 ~ 2008.12.11	黒澤明(映画監督)作品の映画上映会。『用心棒』『隠し砦の三悪人』『天国と地獄』『生きる』『七人の侍』『羅生門』の6作品を1週間に渡ってサンディエゴ郊外で上映。
23	文化・芸術ミニグラント(お正月・イン・リトル東京)	南加日系商工会議所	2009.01.01	ロサンゼルス在地元コミュニティーと日系コミュニティーが協力して行うお正月イベント。在ロサンゼルス総領事からの新年の挨拶に始まり、餅つき、凧づくり、太鼓演奏、日本舞踊のパフォーマンス等、日本の伝統的正月の祭りをリトル東京に再現。
24	文化・芸術ミニグラント(事始)	日米文化会館	2009.01.04	リトル東京で行なう日本の正月イベント。日本舞踊や弓を使ったパフォーマンスに加え地元ダンス学校のカルバン・ダンススクールがモダンダンスを披露。地元コミュニティーと日系コミュニティーとの共催文化イベント。
25	文化・芸術ミニグラント(ジャパニーズヒュージョン)	グランドビジョン財団	2009.01.24 ~ 2009.02.21	ヒダノ修一(太鼓奏者)の太鼓と民謡ステーションによる2つのパフォーマンス。伝統的な日本の芸能に現代的な感覚を取り入れた新しい構成の事業。同時に教育的効果の高いワークショップも開催。
26	文化・芸術ミニグラント(鼓童)	ワシントン大学財団	2009.01.30 ~ 2009.01.31	ワシントン大学のワールドパフォーマンスシリーズの1つとして、日本から太鼓グループ鼓童を招き、2日間の日程でパフォーマンスと無料ワークショップを開催。
27	文化・芸術ミニグラント(禅と能)	レーン・コミュニティー・カレッジ	2009.02.26	禅の庭と能の舞台に関してデザインの観点で捉えた講演会。レーン・コミュニティー・カレッジとオレゴン大学の共催で建築学部、芸術学部の学生や一般を対象にオレゴン在住で京都出身の元氏智子教授を招き、カルチャークラス形式で開催。

海外事務所

	事業名	助成機関	期間	事業内容
28	文化・芸術ミニグラント（日本映画祭）	ワイオミング日米協会	2009.02.28 ～ 2009.03.07	ワイオミング日米協会がここ数年日本文化紹介イベントとして開催しているワイオミング州ララミーとチェイニーにおける無料日本映画上映会。『フラガール』と『続・三丁目の夕日』を上映。
29	文化・芸術ミニグラント（黒沢清作品上映会）	センター・フォー・アジアアメリカンメディア	2009.03.12 ～ 2009.03.22	サンフランシスコ国際アジア映画祭で黒沢清（映画監督）の7作品を上映。最新映画『東京ソナタ』も米国公開され、黒沢監督も出席。サンフランシスコ、バークレー及びサンノゼの3都市で開催。
30	日本語教育ミニグラント（米国北東部日本語教師会およびニューイングランド日本語教師会による合同研修会）	米国北東部日本語教師会	2008.06.14	初中等教育レベルの教師を中心とする米国北東部日本語教師会、および高等教育レベルの教師を中心とするニューイングランド日本語教師会による合同研修会。幼稚園から大学まで、全ての教育レベルの教師が一堂に会し、縦の繋がりの強化を念頭に置いて実施。
31	対米日本語特別助成（現職教師資格取得研修助成）カリフォルニア州日本語教師養成夏期セミナー	加州外国語教育プロジェクト	2008.06.23 ～ 2008.06.27	カリフォルニア州外国語教育プロジェクト主催の、日・仏・西の3つの外国語を対象にした5日間の教師養成夏期セミナー。日本語教師向けのセミナーでは、日本のポップカルチャーをテーマにした教案作りについて実践的な指導を実施。
32	日本語教育ミニグラント（継承日本語教師夏期研修）	ATJ（日本語・日本文学学会）	2008.06.30 ～ 2008.07.08	継承日本語学校の教師を対象とした7日間に亘る夏期集中研修。片岡裕子（カリフォルニア州立大学ロングビーチ校教授）、ダグラス昌子（同大学准教授）および知念聖美（同大学講師）が講師陣となり、継承日本語学習者向けのカリキュラムや指導案、および学習効果の高いアクティビティー等を紹介。
33	日本語教育ミニグラント（フランク安田没後50年記念事業）	クルイックシャンク学校	2008.08.20 ～ 2008.08.25	アラスカ州ビーバー村建設に尽力した石巻出身のフランク安田（本名：安田恭輔）の没後50周年を記念し、故郷石巻市からの訪問団が50回忌法要に参列。記念事業の一環として、ビーバー村の児童などに対する日本語および日本文化の授業を実施。
34	日本語教育ミニグラント（『げんき ボリューム2』視聴覚教材制作）	バックネル大学	2008.09.01 ～ 2008.12.31	米国で広く利用されている日本語教材『げんき（Vo1.2）』の指導案に沿った視聴覚教材（ウェブ動画）の制作。完成した動画は『げんき』公式ホームページにて平成21年度中に配信開始の予定。
35	日本語教育ミニグラント（グアム日本語ガイドラインの改定およびサイパンとの日本語教育ネットワーク促進）	グアム日本語教師会	2008.09.01 ～ 2009.03.15	グアムとサイパンは地理的には近いが、日本語教育の分野では、これまで一度も両地域の交流を試みたことがなく、今回初めてグアム日本語教師会主催研修会にサイパンの日本語教育関係者がゲストスピーカーとして参加。双方のネットワーク強化が促進され、また現在最終段階にあるグアムの日本語ガイドラインの改定プロジェクトの情報を共有。

海外事務所

	事業名	助成機関	期間	事業内容
36	日本語教育ミニグラント（コロラド日本語教師会セミナー）	コロラド日本語教師会	2008.09.27	コロラド州およびワイオミング州の日本語教師を対象に、鈴木シゲ（コロラド大学ボールダー校教授）を招いて日本のポップカルチャーに焦点をあてた教授法ワークショップを開催。同地域の教師間ネットワークの強化にも一助。
37	日本語教育ミニグラント（オハイオ日本語教師研修会）	オハイオ日本語教師会	2008.11.01	オハイオ日本語教師会主催によるネットワーク強化を念頭においた勉強会。古幡浜子（マウント・ユニオン大学教授）をゲストに招き、日本語教育におけるアニメ・漫画の活用方法を言語学の理論に基づいて考察。
38	対米日本語特別助成（現職教師資格取得研修助成） ミシガン州の現職日本語教師向け教師養成コース 受講料支援プロジェクト	イースタン・ミシガン大学	2009.01.31 ～ 2009.03.11	イースタン・ミシガン大学教師養成プログラムの正規の日本語教師養成講座。ミシガン州の現職日本語教師および教師候補者、合わせて15名が参加。同講座を通して、現職日本語教師はProvisional Certificateの更新、あるいはProfessional Certificateへのアップグレードに必要な単位が、また教師候補者は教職課程の必須単位が3単位取得可能。
39	対米日本語特別助成（現職教師資格取得研修助成） オレゴン州日本語教師養成セミナー	オレゴン日本語教師会	2009.02.06	オレゴン州の日本語教師を対象とした勉強会。3人の高校教師が、各自の効果的なレッスンプランを共有し、加えて、参加者でアイデアを出し合いながら、今後の授業で活用できる新しいレッスンプランを作成。参加者は本セミナーを通して、教師資格免許の更新に必要なPDU（Professional Development Unit）が6ユニット取得可能。
40	対米日本語特別助成（現職教師資格取得研修助成） 米国北東部日本語教師養成セミナー	米国北東部日本語教師会	2009.02.14 ～ 2009.02.15	米国北東部の日本語教師を対象とした勉強会。参加者は2日間のセミナーを通して、教師資格免許の更新に必要なProfessional Development Unit（PDU）を12ユニット取得できることとなっており、加えてニューヨーク州立大学からのクレジット（1単位）も取得可能。
41	日本語教育ミニグラント（継承日本語レクチャー&ワークショップ）	加州日本語学園協会	2009.02.21	片岡裕子（カリフォルニア州立大学ロングビーチ校教授）およびダグラス昌子（同大学准教授）を招き、継承日本語学校の教師を対象に、ナショナル・スタンダードに沿った日本文化の指導法についての基調講演を実施。
42	対米日本語特別助成（現職教師資格取得研修助成） カリフォルニア州の2009年改訂版「スタンダード」に基づいた外国語教師総会	カリフォルニア外国語教師会	2009.02.26 ～ 2009.03.01	カリフォルニア州外国語教師会の年次総会において、日本語教師養成セミナーを実施。総会参加者数は約750名、そのうち日本語教育関係者は50名程度。本総会のセッション・セミナー等は全て2009年1月から施行された州の改訂版スタンダードに沿った内容となっており、同セミナー参加者は教師資格免許の更新に必要な単位やPDH（Professional Development Hours）が取得可能。

海外事務所

	事業名	助成機関	期間	事業内容
43	日本語教育ミニグラント（継承日本語カリキュラム開発）	イリノイ日本語教師会	2009.02.28	イリノイ教師会主催による日本語教師ワークショップ。継承日本語教育の専門家であるダグラス昌子（カリフォルニア州立大学ロングビーチ校准教授）をゲストスピーカーに招き、継承日本語教育に特化したカリキュラム開発についての講義を実施。
44	日本語教育ミニグラント（第24回米国南東部教師会総会）	ウェイクフォレスト大学	2009.03.21 ～ 2009.03.22	森順子（ウィスコンシン大学マディソン校准教授）を基調講演者に招いた研修会。第2言語習得理論などの言語学の最新情報を紹介するとともに、日本語教育への実践方法を参加者と一緒に考察。

メキシコ日本文化センター

合計額 32,114,318 円

(1) 主催・共催事業

【展示】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	日墨400周年記念講演（大垣喜志郎氏）	メキシコ市	メキシコ連邦下院「Auditorio Norte」	在メキシコ大使館	2009.02.24	日墨交流400周年記念事業の一環として日本とメキシコおよび中南米との交流を専門とする日本の学者による日墨関係の過去と未来についての講演会。
2	ボゴタ国際図書展講師派遣	ボゴタ（コロンビア）	博覧会場（ボゴタ）	在コロンビア大使館、コロンビア図書基金、博覧会基金	2009.04.30 ～ 2009.05.08	日本を招待国としているボゴタ国際図書展（コロンビア）に、日本文学に関する講演会を実施するため、エル・コレヒオ・デ・メヒコのギジェルモ・クアルトゥッチ教授を派遣。

【日本語教育】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
3	日本語教師短期集中講座	メキシコ市	在メキシコ大使館広報文化センター	社団法人メキシコ日本語教師会	2008.06.30 ～ 2008.07.01	メキシコ日本語教師会との共催により、経験の浅い日本語教師を対象に、すぐに教室活動に使える「授業の進め方（導入から指導）」をテーマにセミナーを実施。
4	メールによる作文講座	メキシコ市		社団法人メキシコ日本語教師会	2008.08.01 ～ 2008.11.30	非母語話者日本語教師を対象にしたメールによる作文講座。「作文力」、「語彙力」、「漢字力」のレベルアップをはかることで、高度な作文技術を身につける。受講者は2週間に1度課題の提出が義務付けられ、10名の母語話者教師が添削指導と評価を行う。

【図書館運営】

	事業名	期間	事業内容
5	図書館運営	2008.04.01 ～ 2009.03.31	蔵書合計：合計10,247点（日本語書籍5,332点、その他外国語書籍3,807点、雑誌361点、その他視聴覚747点）会員数：1,063名（2009年3月31日現在）

【出版・広報】

	事業名	期間	事業内容
6	広報誌の発行	2008.04.01 ~ 2009.03.31	メキシコの日本語教師を対象にした日本語教育ニュースレター。年3回発行（7月、11月、3月）し、全8ページ2色刷り（500部発行）。
7	ウェブサイト運営	2008.04.01 ~ 2009.03.31	メキシコ日本文化センターを紹介するウェブサイトの運営。各種事業案内、日本のアート等を、主にスペイン語で紹介。年間アクセス数は、103,506件。URL： http://www.fjmex.org/
8	情報発信機能強化	2008.04.01 ~ 2009.03.31	メキシコ日本文化センターを紹介するウェブサイトへ日本語関連記事を翻訳し公表。
9	広報資料翻訳	2008.04.01 ~ 2009.03.31	広報用資料の翻訳

【本部事業受入】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
10	小津安二郎映画祭（開会式）	メキシコ市	国立シネテカ	国立シネテカ	2008.09.02	小津安二郎監督作品を特集上映の開会式を実施。
11	中高教員訪日（オリエンテーション）	メキシコ市	メキシコ日本文化センター		2008.10.04	メキシコの中学・高校の社会科教師3名を約2週間日本に招へいし、文化、社会、教育事情を視察してもらうためのオリエンテーションを実施。
12	巡回展「武道の精神展」（開会式）	メキシコ市	国立文化博物館	国立文化博物館	2008.10.22	国際交流基金本部所有の巡回展「武道の精神展」の開会式を国立文化博物館で実施。

(2) 助成・協力事業

【助成事業】

	事業名	都市	会場	助成機関	期間	事業内容
13	(映画) ショートフィルムフェスティバル「ショートショート2008」	メキシコ市	シネメックス映画館(3会場)、国立シネテカ	プロモフィルムフェスト	2008.09.04 ~ 2008.09.10	日本から始まったショートフィルムフェスティバルの第3回目。インターナショナル、アジア、日本のプログラムを特集上映。
14	(公演事業) 詩の祭典	メキシコ市	カサ・デル・ラゴ	カサ・デル・ラゴ	2008.09.25 ~ 2008.10.11	詩の朗読フェスティバルに、日本より野村貴和夫（詩人）、斉藤徹（コントラバス奏者）を招へい。

海外事務所

	事業名	都市	会場	助成機関	期間	事業内容
15	第4回メキシコ中部地方日本語弁論大会	サポパン	モンテレイ工科大学 グアダラハラ校	グアダラハラ日本語 教師勉強会	2008. 10. 11	地方の日本語教育機関の活性化と教師間の連携強化を図ることを目的に、メキシコ4州（グアナファト州、ハリスコ州、サンルイスポトシ州、ケレタロ州）にある日本語教育機関が合同で実施。
16	(公演事業) 建築講演会	メキシコ市	アナウアック大学	アナウアック大学	2008. 10. 16	アナウアック大学建築学科で行われた建築講演会に日本より原広司（建築家）を招へい。
17	(公演事業) 電子音楽、Multimedia フェスティバル「インター フェイス」	プエブラ、 メキシコ市	現代アートギャラリー 他5カ所	プエブラ・オリソンテ 財団	2008. 11. 21 ~ 2008. 11. 24	プエブラ市で行われた電子音楽フェスティバルに、日本より川端竜太（俳優）、ひでかずわか林（ボーカリスト）を招へい。
18	(公演事業) 箏箏会（かそうかい） キューバ公演	ハバナ （キューバ）	サンフランシスコ礼拝 堂	在キューバ大使館、 ハバナ歴史事務所、 キューバ日系人欄楽 会、箏箏会（かそうか い）	2009. 01. 07 ~ 2009. 01. 10	日本・キューバ外交関係樹立80周年記念新年演奏会にメキシコ市在住の西村佳子（箏奏者）を派遣。
19	(展示事業) ビデオ・写真展 プロジェ クト「JAPON」	レオン	エロイサ・ヒメネス ギャラリー	インスティテュート・ クルトゥラル・デ・レ オン	2009. 02. 22 ~ 2009. 03. 30	メキシコで活躍する芸術家・萩野美穂、ソリージャ太郎（建築家）が111名の日本在住日本人、メキシコ在住日本人及び日系人へのインタビューをドキュメントビデオ及び肖像写真で記録。2009年3月よりメキシコ国内5カ所を巡回予定。
20	(公演事業) メキシコ剣道協会	メキシコ市	メキシコオリンピック 協会	メキシコ剣道協会	2009. 03. 13 ~ 2009. 03. 17	メキシコ剣道協会が日本から山中氏、藤原氏を招待し、実技講演やセミナー講演を実施。
21	(公演事業) ノイズ・実験音楽フェス ティバル「Rader8」	メキシコ市	国立劇場	メキシコ市セントロイ ストリコ芸術祭	2009. 03. 13 ~ 2009. 03. 23	Rader（ノイズ・実験音楽フェスティバル）に、日本より音楽家灰野敬二を招へい。

【文化備品・視聴覚資料貸出】

	事業名	都市	会場	対象機関	期間	事業内容
22	(展示事業) 「日本の世界遺産」	ヌエボレオン 州	ヌエボレオン州立大学	ヌエボレオン州立大学	2008. 04. 07 ~ 2008. 04. 25	ヌエボレオン州立大学で開催された「ヌエボレオン州日本語弁論大会」、「日本文化祭」にメキシコ日本文化センターの文化備品を貸し出し。
23	(展示事業) 「日本の生活写真パネ ル」、「ふろしき」	メキシコ市	パンアメリカ大学	パンアメリカ大学	2008. 04. 14 ~ 2008. 04. 28	パンアメリカ大学で開催された「多文化フェスティバル」にメキシコ日本文化センターの文化備品を貸し出し。

海外事務所

	事業名	都市	会場	対象機関	期間	事業内容
24	(展示事業) 「日本の生活写真パネル」	サン・ミゲル・デ・アジェンデ	ソシエダ・シビル・エン・マルチャ	ソシエダ・シビル・エン・マルチャ	2008.05.13 ~ 2008.05.30	グアナファト州サンミゲルデアジェンデ市で開催された「第9回国際フェスティバル」にメキシコ日本文化センターの文化備品を貸し出し。
25	(展示事業) 「日本の世界遺産」、 「日本の生活写真パネル」	メキシコ市	ラサージェ大学	ラサージェ大学	2008.06.02 ~ 2008.06.27	ラサージェ大学で開催された「多文化フェスティバル」にメキシコ日本文化センターの文化備品を貸し出し。
26	(展示事業) 「日本の世界遺産」	テスココ	ペドロ・デ・ガテン大学	ペドロ・デ・ガテン大学	2008.06.11 ~ 2008.06.16	メキシコ州テスココ市のペドロ・デ・ガテン大学にて開催された「日本文化週間」イベントに、メキシコ日本文化センターの文化備品を貸し出し。
27	(展示事業) 「日本の世界遺産」	メキシコ市	社会保険庁舎ロビー	社会保険庁	2008.07.10 ~ 2008.07.30	メキシコ市の社会保険庁舎ロビーで開催された日本文化紹介イベントにメキシコ日本文化センターの文化備品を貸し出し。
28	(展示事業) 「原田泰治絵画」	クエルナバカ	ホテル・ミッション	ホテルミッション	2008.07.31 ~ 2008.08.11	モレロス州クエルナバカ市の「ホテル・ミッション」を会場に開催された日本文化月間のイベントにメキシコ日本文化センターの文化備品を貸し出し。
29	(展示事業) 「日本のおもちゃ」	クエルナバカ市	モレロス州立大学	モレロス州立大学/箕面クラブ	2008.07.31 ~ 2008.08.11	クエルナバカ市と大阪箕面市が姉妹都市であることから同市のモレロス州立大学が同大学内の親睦団体「箕面クラブ」と共催で実施した日本文化紹介イベント。メキシコ日本文化センターは文化備品を貸し出し。
30	(展示事業) 「原田泰治絵画」	メキシコ市	ENP (国立中学・高等学校)	ENP (国立中学・高等学校)	2008.09.24 ~ 2008.10.9	開校140周年を迎えたENP (国立中学・高等学校) の年間行事として開催された「日本文化週間」に、メキシコ日本文化センターの文化備品を貸し出し。
31	(展示事業) 「ふるしき」	メキシコ市	ENP (国立中学・高等学校) オリエンテ校	ENP (国立中学・高等学校) オリエンテ校	2008.10.17 ~ 2008.10.31	ENP (国立中学・高等学校) オリエンテ校で開催された「日本文化週間」にメキシコ日本文化センターの文化備品を貸し出し。
32	(展示事業) 「茶道道具セット」	メキシコ市	国立文化博物館	国立文化博物館	2008.10.21 ~ 2008.12.20	国立文化博物館で開催された巡回展「武道の精神」展の装飾品の一部としてメキシコ日本文化センターの文化備品を貸し出し。

海外事務所

	事業名	都市	会場	対象機関	期間	事業内容
33	(展示事業) 「日本のおもちゃ」	メキシコ州	メトロポリタン自治大学ソチミルコ校	メトロポリタン自治大学ソチミルコ校	2008.11.03 ~ 2008.12.12	メトロポリタン自治大学ソチミルコ校で開催された「日本文化月間」イベントにメキシコ日本文化センターの文化備品を貸し出し。
34	(展示事業) 「日本の世界遺産」、「ふるしき」	メキシコ州	メキシコ国立自治大学クアウティトラン校	メキシコ国立自治大学クアウティトラン校	2008.11.07 ~ 2008.11.14	メキシコ国立自治大学クアウティトラン校で開催された「日本文化週間」にメキシコ日本文化センターの文化備品を貸し出し。
35	(展示事業) 「日本の世界遺産」	メキシコ市	ENP (国立中学・高等学校) 第3キャンパス	ENP (国立中学・高等学校) 第3キャンパス	2008.11.27 ~ 2008.12.11	ENP (国立中学・高等学校) 第3キャンパスで開催された「日本文化週間」にメキシコ日本文化センターの文化備品を貸し出し。
36	(展示事業) 「茶道道具セット」、「ふるしき」	メキシコ市	ラ・サージェ大学	ラ・サージェ大学	2009.02.10 ~ 2009.03.06	ラ・サージェ大学で開催された「多文化フェスティバル」にメキシコ日本文化センターの文化備品を貸し出し。

サンパウロ日本文化センター

合計額 196,118,648 円

(1) 主催・共催事業

【展示】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	ジャパン・フェスティバル	サンパウロ	イミгранテス見本市会場	ブラジル日本都道府県人会連合会	2008.07.18 ~ 2008.07.20	イミгранテス見本市会場にて開催されるジャパン・フェスティバル会場内の在サンパウロ総領事館ブースに、サンパウロ日本文化センターの展示スペースを設置。日本文化紹介ビデオ放映や文化備品を展示。

【講演・シンポジウム】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
2	研究発表会「新たな日本研究」	サンパウロ	サンパウロ日本文化センター	ブラジル日本研究学会	2008.10.30	大学院修士課程・博士課程の研究者4名による各自の日本研究の発表。各研究テーマは「観音の面-今昔物語の三説話に存在する象徴的巡歴」、「日本人アスリートの身体的イメージに及ぼす故障の心理的影響」、「宗教におけるカリスマと権力-谷口雅春氏（生長の家）の遺産」、「在日ブラジル人の中での宗教の意義」。
3	研究発表会「新たな日本研究」（第2回目）	サンパウロ	サンパウロ日本文化センター	ブラジル日本研究学会	2009.03.18	大学院修士課程・博士課程の研究者4名による各自の日本研究の発表。各研究テーマは「ブラジル・日本間の報道：ブラジルでの日本アイデンティティーの形成と日本でのブラジルアイデンティティーの形成」、「大学の外国語教育の副材料としての漫画」、「BPIの道場：道を切り開く場所」、「Entry Strategy and Performance of Japanese Subsidiaries in Brazil」。

【出版・広報】

	事業名	期間	事業内容
4	機関紙「TOBIRA」発行	2008.04.01 ~ 2009.03.31	各事業の事前広報用機関紙「TOBIRA」の発行。ブラジル全国へ配布。

海外事務所

	事業名	期間	事業内容
5	ウェブサイト運営	2008.04.01 ~ 2009.03.31	ウェブサイトを通じてサンパウロ日本文化センターの事業、図書館ほか各種日本文化関連情報を紹介した。ウェブサイト使用言語はポルトガル語。 URL: http://www.fjsp.org.br/

【映画・テレビ番組制作】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
6	定例映画上映会	サンパウロ	サンパウロ日本文化センター		2008.05.15 ~ 2009.03.17	ブラジルフィルムライブラリー所蔵映画の定例上映会。隔週火曜日（夜）と木曜日（午後）に実施。平成20年度には35回の上映会を実施。
7	テレビ番組制作「味覚の知恵」	サンパウロ	全国放送	JBNテレビ	2008.11.06 ~ 2009.03.16	サンパウロ日本文化センター企画「味覚の知恵」シリーズのテレビ番組化。全10回にわたり、和食の基本を紹介。全国で放送を実施、ウェブテレビでも無料で配信。30分番組を全10巻収録。
8	テレビ番組制作「ペンタトニカ」	サンパウロ	全国放送	JBNテレビ	2008.11.26 ~ 2009.03.31	日本の音楽（民謡からロックまで）を紹介するテレビ番組の制作及び放送。全国で放送を実施、ウェブテレビでも無料で配信。30分番組を全10巻収録。
9	日本文化紹介テレビ番組制作「浮世絵の世界」	サンパウロ	全国放送	JBNテレビ	2009.02.15 ~ 2009.03.31	浮世絵専門家マダレーナ橋本（サンパウロ大学教授）によるテレビ向け講座。30分番組3回分によって構成。全国で放送を実施、ウェブテレビでも無料で配信。
10	日本文化紹介テレビ番組制作「建築・デザイン」	サンパウロ	全国放送	JBNテレビ	2009.03.17 ~ 2009.03.30	日本の建築様式の影響を受けた作品（建物、室内やデザイン）を紹介するテレビ番組の制作及び放送。30分番組を全10巻収録。
11	日本文化紹介テレビ番組制作「日本の舞踊史」	サンパウロ	全国放送	JBNテレビ	2009.03.26 ~ 2009.03.31	日本研究者のクリスティーネ・グライナー（サンパウロカトリック大学教授）による日本の舞踊の歴史を紹介するテレビ番組の制作及び放送。30分番組3本によって構成。全国で放送を実施、ウェブテレビでも無料で配信。30分番組を全10巻収録。

【日本語教育】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
12	VIVA JAPAN 日本に関する作文コンクール				2008.04.01 ~ 2008.06.22	日本人移住100周年を記念する事業の一環として、サンパウロ州教育局が運営する州立学校を対象とした日本に関する作文コンクールを実施。
13	CEL・CELEM教師研修（初任者）	サンパウロ	サンパウロ日本文化センター	サンパウロ州教育局／パラナ州教育局	2008.05.19 ~ 2008.05.21	サンパウロ及びパラナ両州教育局の運営する州立学校（中等教育課程）の課外講座としての日本語講座の奨励協力事業として、教師の定期的研修（初任者レベル）を実施。
14	CEL・CELEM学生研修	サンパウロ	サンパウロ日本文化センター	サンパウロ州教育局／パラナ州教育局	2008.07.18 ~ 2008.07.19	サンパウロ、パラナ両州教育局運営の中等教育課程日本語講座の学習者支援、学習奨励として、成績優秀な学習者を選抜して、サンパウロで研修を実施。
15	公教育日本語支援事業（ポスターコンクール）	サンパウロ	サンパウロ日本文化センター		2008.07.21 ~ 2008.11.10	サンパウロ、パラナ両州教育局運営の日本語講座（CEL・CELEM）を中心として、中等教育課程で日本語講座を有する学校に対し、日本語講座の広報・学習奨励として、日本語学習呼びかけのポスター・絵のコンクールを行ない、優勝者をはじめとする入賞作品の絵をカレンダーにして、参加校を含め、全国の日本語学校に配布した。
16	ブラジル・カラオケ日本語学習キャラバン	リオデジャネイロ、フォルタレーザ、ベレン、サンレオポルド、サンパウロ、ロンドリーナ、ブラジリア、マナウス			2008.09.07 ~ 2009.02.08	ブラジル国内数カ所の拠点地域へ出かけて行き、ブラジルで日本語を学ぶ学習者の大多数を占める中学生・高校生および大学生の若者に対し、日本の若者の歌を通じて日本語を学ぶ楽しさを伝え、現場の先生方へは歌を通じた教授活動のデモンストレーションを行った。あわせて現地で「ブラジルの若者による日本の歌カラオケコンテスト」及び「教授活動デモンストレーションコンテスト」を実施し、優秀者数名ずつを選抜し、サンパウロで全国大会を実施。
17	日本語スピーチコンテスト全国大会	サンパウロ			2008.11.22	ブラジル各州（全8地区）で行なわれる弁論大会で優秀な成績を修めた者を招き、全国大会を実施。一部の地区大会の支援も実施。

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
18	CEL・CELEM教師研修(上級)	サンパウロ	サンパウロ日本文化センター	サンパウロ州教育局、パラナ州教育局	2008.11.24 ~ 2008.11.25	サンパウロ及びパラナ両州教育局の運営する州立学校(中等教育課程)の課外講座としての日本語講座の奨励協力事業として、教師の定期的研修(上級レベル)を実施。
19	公教育日本語支援事業(全国大学生)	サンパウロ	サンパウロ日本文化センター		2009.01.12 ~ 2009.01.23	ブラジル全国23の大学日本語講座より各1名を選抜してサンパウロ日本文化センターでのグループ集中講座に参加してもらい最新の教材と自律学習への指針を与えると同時に、各地大学日本語講座の交流と活性化を図った。

【図書館運営】

	事業名	期間	事業内容
20	図書館運営	2008.04.01 ~ 2009.03.31	図書館における閲覧、貸し出し、各種リファレンスサービス、文化芸術事業など基金事業の展開に合わせた所蔵資料の展示を行った。年間入館者数11,394名、貸出し冊数17,496冊。会員数1,612名。

(2) 助成・協力事業

【助成事業】

	事業名	都市	会場	助成機関	期間	事業内容
21	箏曲宮城会演奏会	サンパウロ	SESC(商業連盟社会サービス)ピラ・マリアナ文化センター	SESC(商業連盟社会サービス)	2008.05.03 ~ 2008.05.04	SESC(商業連盟社会サービス)および日本国内の箏曲宮城会との共催で、SESCピラ・マリアーナ支部にて同会代表者15名編成による演奏会を実施。曲目は宮城道雄の作品を中心に紹介。
22	世界無声映画祭	サンパウロ	ブラジル・シネマテーク	ブラジルシネマテーク財団、ブラジル文化省	2008.08.08 ~ 2008.08.17	ブラジル・シネマテーク主催で同会場にて行われる世界の無声映画を紹介する上映会。日本の作品には音楽演奏者が参加、また溝口健二作品「愛の街」は弁士付きで上映。サンパウロ日本文化センターは弁士のサンパウロ宿泊費を助成。

海外事務所

	事業名	都市	会場	助成機関	期間	事業内容
23	寄席ブラジル公演	サンパウロ カンピナス	ブラジル日本文化福祉協会 カンピナス大学 劇場	ブラジル日本文化福祉協会	2008.08.17 ~ 2008.08.24	ブラジル国内の主に日系コミュニティを対象に、落語、紙切り及び局独楽のデモンストレーションを披露。8月17日はマリンガ市文化体育協会、20日はカンピナス大学芸術学部にてワークショップ及びカンピナス市日本文化協会にて公演、24日にサンパウロ市内ブラジル日本文化福祉協会（小講堂）にて公演。
24	国際会議（ブラジルにおける日本の精神的遺産について）	サンパウロ	サンパウロ日本文化センター	サンパウロ・カトリック大学	2008.08.24 ~ 2008.08.27	宗教学が盛んなサンパウロカトリック大学が、日本移民百周年を記念する企画として、ブラジルにおける日本の宗教の100年史の中で、その過去から現在にかけての影響を検証するとともに、今後の展望を討論。
25	第6回エレクトロニカ国際電子音楽フェスティバル	ペロ・オリゾンテ市（ミナス・ジェライス州）	ペロ・オリゾンテ市パラシオ・ダス・アルテス文化センター	ペロ・オリゾンテ市文化局、ウジミナス製鉄所文化センター	2008.08.28 ~ 2008.08.31	ウジミナス製鉄所およびオイ電話会社の主催でペロ・オリゾンテ市パラシオ・ダス・アルテス文化センターにて行われる世界の現代電子音楽及びアヴァンギャルド・アートの紹介イベント。サンパウロ日本文化センターは作曲リビオ・トラテンベルグによる音響インストール設置費用を助成。
26	日本音楽集団公演	サンパウロ	SESC（商業連盟社会サービス） ピラ・マリアナ文化センター劇場	SESC（商業連盟社会サービス）	2008.08.30 ~ 2008.08.31	SESC（商業連盟社会サービス）の主催で同団体ヴィラ・マリアーナ劇場にて行われた日本の伝統邦楽器による現代音楽公演。サンパウロ日本文化センターは広報資料作成費を助成。
27	客員教授招へい	サンパウロ		サンパウロ大学日本文化研究所	2008.09.02 ~ 2008.10.10	サンパウロ大学日本文化研究所に稲賀繁美国際日本文化研究センター教授を短期招へい。大学院生らを対象に近代日本文化史の講義を実施。また、他大学との学術交流にも参加。
28	「魅力的な日本文化」展	サンパウロ	ブラジル日本文化福祉協会	ブラジル日本文化福祉協会	2008.09.06 ~ 2008.09.07	ブラジル裏千家の主催でブラジル日本文化福祉協会にて行われる陶芸・茶道・活花の展示会。サンパウロ日本文化センターは基調講演の通訳謝金を助成。

海外事務所

	事業名	都市	会場	助成機関	期間	事業内容
29	大総合美術展	サンパウロ	ブラジル日本文化福祉協会	ブラジル日本文化福祉協会	2008.10.08 ~ 2008.10.18	ブラジル日本文化福祉協会の主催で同協会にて行われる総合展示事業。サロン文協、文協美術工芸展、絵画具象グループの作品を一室に展示。サンパウロ日本文化センターはカタログ作成費を助成。
30	100周年記念国際シンポジウム「日本・ブラジル文化交流—言語・歴史・移民」	サンパウロ		サンパウロ大学日本文化研究所	2008.10.14 ~ 2008.10.16	サンパウロ大学日本文化研究所の教授や学生らを対象に、ブラジル日系社会の将来を見据えた多様な分野の専門家による講演、ラウンドテーブル、大学院生報告セッション等を実施。
31	創造する伝統	サンパウロ、クリチバ、ブラジリア、ベロ・オリゾンテ、リオ・デ・ジャネイロ	ブラジル日本文化福祉協会、「創造する伝統実行委員会」	ブラジル日本文化福祉協会（11月27、28日）、クリチバ・ポジチーボ劇場（12月1日）、ブラジリア・フナルテ劇場（12月2日）、ベロ・オリゾンテ（12月4日）、リオ・デ・ジャネイロ（12月5日）	2008.11.27 ~ 2008.12.05	日伯交流年記念事業として「曼荼羅舞楽法会／日伯恒久平和・地球環境保全祈願」の公演。出演者は天台聲明音律研究会（10名）、真言法響会（11名）、東京楽所（16名）によって構成。文化庁主催事業。
32	ジャパン・エキスペリエンス	サンパウロ		ブラジル日本文化福祉協会		体験型複合日本文化紹介事業に対する助成。ワークショップ謝金に対して援助。
33	日本思想に関する第3回討論会	サンパウロ	サンパウロ日本文化センター	カンピーナス大学 倫理学センター	2008.11.28 ~ 2008.11.29	サンパウロ・カトリック大学、カンピーナス大学で教鞭をとるZeljko Loparic教授を中心に活動している日本思想研究者グループによる第3回討論会。海外から3名のパネリストを招へい。

【後援事業】

	事業名	都市	会場	主催機関	期間	事業内容
34	徳江陽子ピアノリサイタル	サンパウロ	サンパウロ美術館、ヘブライカ・コンサートホール	在サンパウロ総領事館	2008.05.25 ~ 2008.06.15	サンパウロ美術館およびヘブライカ・コンサートホールにて日本人ピアニスト徳江陽子のリサイタルを実施。日本とブラジル両国の曲を演奏。
35	日本移民百周年「日本文化週間」	サンパウロ	サンパウロ市観光局アエンビー国際会議場	ブラジル日本人移民百周年事業委員会、ブラジル連邦政府文化省ほか	2008.06.13 ~ 2008.06.22	ブラジル日本移民百周年公式事業の一環として実施される「日本文化週間」の各事業に対する後援名義付与。同事業の制作過程にも協力。

海外事務所

【会場提供】

	事業名	会場	主催機関	期間	事業内容
36	シンポジウム：日本人移民100周年－多様化する日系コミュニティのアイデンティティ－	サンパウロ日本文化センター	ディスカバー・ニッケイ、ブラジル日本文化福祉協会、ブラジル日本研究教会、ブラジル日本移民史料館	2008.09.20	現在の日系コミュニティの抱える問題点やアイデンティティ、ブラジル社会への貢献などに焦点をあて、さまざまな経験をしてきた日系ブラジル人を招き、自らの体験談を語ってもらう講演会。全米日系人博物館のウェブサイト「ディスカバー・ニッケイ」による企画で、ブラジル日本研究協会、ブラジル日本文化福祉協会、ブラジル日本移民史料館の協力を実施。

【文化備品・視聴覚資料貸出】

	事業名	期間	事業内容
37	新規貸し出しパネル制作（「浮世絵展」）	2009.02.09 ～ 2009.03.31	浮世絵レプリカ70点による展示。貸し出し用に額装、運搬用木箱を作成。
38	ブラジル日本人移民百周年事業記念DVD、JBNテレビとの共同制作番組のDVD購入	2009.03.31	図書館、執務用、寄贈用にセット購入。貸し出し備品としても活用。

ロンドン日本文化センター

合計額 154,058,452 円

(1) 主催・共催事業

【展示】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	ロンドン日本文化センター備付展示セット運営	ヨーク、エディンバラ、ウィッシュウ	ヨーク大学、エディンバラ大学、Clyde Valley High School-Wishaw	ヨーク大学、エディンバラ大学、Crewe and Nantwich County Council	2008.04.01 ~ 2008.12.31	ロンドン日本文化センター所有の「日本の世界遺産」展示パネルを貸与し、展示。

【講演・シンポジウム】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
2	"Girlish Hardcore" to "Exchange": Shiroshima Hitsujiya & Friends	ロンドン	ロンドン日本文化センター	チャプター・アーツセンター	2008.04.01	指輪ホテルの主宰者、羊屋白玉ならびに、ダンサーの川口隆夫、尹明希の3人を迎え、指輪ホテルの活動内容や日本の演劇・ダンス事情、そして英国で公演される新作『Exchange』の紹介を行うトークを実施。
3	日本企業の社会貢献活動(CSR) 調査結果報告会	ロンドン	ロンドン日本文化センター	パブリック・リソースセンター	2008.04.08	『英・仏・独における日本企業の社会貢献活動に関する調査報告書』の完成を記念し、調査結果報告会を実施。調査の報告を岸本幸子(パブリック・リソースセンター)が行い、福川恭子(ブラッドフォード大学ビジネス・スクール講師)及び加藤種男(アサヒビール芸術文化財団事務局長)が講演。
4	Beyond Passage to the Future	ロンドン	ロンドン日本文化センター	ウォルバーハンプトンアートギャラリー	2008.04.10	国際交流基金巡回展の関連事業として、Hayward Galleryの片岡真実を招へいし、新世代に所属する日本の現代美術作家の紹介ならびに日本美術の動向と今後の展望に関するレクチャーを実施。
5	シリーズ：日英交流を動かした人々第1回「Nagasaki and Madame Butterfly」	ロンドン	ロンドン日本文化センター	財団法人自治体国際化協会ロンドン事務所	2008.06.11	江戸時代から明治期に活躍した、スコットランド出身の商人トーマス・B・グラバーに関する講演会。講師はブライアン・パークガフニィ(長崎総合科学大学教授)。

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
6	公開ドラマリーディング 「うちやまつり」 (A Playreading of Uchiya Matsuri)	ロンドン	ロンドン日本文化センター	トラバースシアター	2008.06.16	深津篤史『うちやまつり』の英語版戯曲のリーディングを、英国の俳優・演出家を招いて実施。リーディング後、深津篤史とKatherine Mendelsohn (Literary Manager, Traverse Theatre) との対談を実施。
7	Peter Cave Book Launch "Japanese Primary School and its Relevance for Britain"	ロンドン	ロンドン日本文化センター		2008.06.30	ピーター・ケープ (マンチェスター大学講師) の日本の教育に関する著作出版記念講演会。同講師は、国際交流基金日本研究フェローとして訪日し、日本の初・中等教育について研究。
8	Japanese Cinema for Busy People II	ロンドン	ロンドン日本文化センター		2008.07.09 ~ 2008.07.30	日本映画に関する全4回の連続セミナー。前年度実施した第1回が好評であったのを受けて第2回を実施。 7月9日：日本映画と政治・社会問題 7月16日：日本の大衆映画 7月23日：日本の独立系映画 7月30日：女性映画人たち
9	The Ear Doesn't Hear 'There', Always 'Here': Yukio Fujimoto in conversation with David Cunningham	ロンドン	ロンドン日本文化センター	アイコンギャラリー	2008.07.10	藤本由紀夫 (サウンドアーティスト) と英国のアーティストDavid Cunninghamとの対談形式で、藤本の作品と思想を紹介するアーティストトークを実施。また、同氏が持参した小規模作品をセミナールーム内に展示し、トークの前に、実際に参加者に作品を体験してもらう機会を提供。
10	Japanese Cinema: Up Close and Personal	ロンドン	ロンドン日本文化センター (セミナー) およびパークバックシネマ (上映会)		2008.07.11 ~ 2008.07.13	British Film Instituteで開催される日本映画特集上映会「Japanese Gems」にあわせてセミナーを開催。佐藤忠男 (映画評論家) による基調講演の後、佐藤忠男、映画監督の橋口亮輔 (『ハッシュ!』)、想田和弘 (『選挙』) によるディスカッションを実施。後日、右2作品の上映会を実施。
11	第2回「Blue Eyed Samurai, Meeting Anjin」	ロンドン	ロンドン日本文化センター	財団法人自治体国際化協会ロンドン事務所、全日本空輸、メドウェイ市	2008.09.11	江戸時代初期に、徳川家康の外交顧問としても活躍した三浦按針 (William Adams) に関する講演会。講師は、按針の菩提寺である浄土寺の住職、逸見道郎。

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
12	Artists Open Doors : Japan/UK	ロンドン	ロンドン日本文化センター	Centre for Research into Creation in the Performing Arts (ミドルセックス大学)	2008.09.26 ~ 2008.09.27	日英両国からダンスの専門家を招き、日英のコンテンポラリーダンスシーンとコンテンポラリーダンスを巡る文化・社会的問題を検証する2日間のシンポジウムを開催。また、日本人アーティスト ケンタローによる簡単なパフォーマンス及び勅使川原三郎の新作をビデオで紹介する機会を提供。
13	第3回「Sir Ernest Satow」	ロンドン	ロンドン日本文化センター		2008.10.14	明治時代の駐日英国公使、また、キリシタン版等の研究により日本学の基礎を築いたアーネスト・サトウに関する講演会。講師はイアン・ニッシュ (London School of Economics名誉教授)。
14	Japanese Cinema for Busy People II Special: The History and Development of Japanese Pink Film (by Japsper Sharp)	ロンドン	ロンドン日本文化センター		2008.12.03	British Film Instituteで実施された「Wild Japan」特集上映会に合わせ、日本のピンク映画ジャンルに関し、日本映画専門家Japsper Sharpによるレクチャー。今回の講義では、日本のピンク映画の特質と日本映画産業における貢献等に焦点を当て、日本映画の一面を担う同映画の歴史と発展を紹介。
15	公開ドラマリーディング "A Playreading of Halcyon Days" (「ハルシオン デイズ」)	ロンドン	ロンドン日本文化センター	キッチンシンクマシン	2009.01.16	鴻上尚史作『ハルシオン デイズ』の英語版戯曲のドラマリーディングを、現地の俳優・演出家を招いて実施。リーディング後、鴻上尚史とKenneth Rae (ロンドンギルドホール大学講師)による対談を実施。
16	第4回「Basil Hall Chamberlain - An Amused Guest In All」	ロンドン	ロンドン日本文化センター		2009.02.05	元東京帝国大学教授バジル・ホール・チェンバレンに関する講演会。彼の研究や生活、またラフカディオ・ハーンとの関係などを紹介。講師はリチャード・パウリング (ケンブリッジ大学教授)。
17	第5回「The Chosyu Five」	ロンドン	ロンドン日本文化センター		2009.02.13	幕末に英国に留学に来た、伊藤博文、井上馨ら「長州五傑」に関する講演会。講師はアンドリュー・コビング (ノッティンガム大学)。

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
18	The Japanese Anime Weekend	ダブリン (アイルランド)	アイリッシュフィルム インスティテュート		2009.03.28 ~ 2009.03.29	アイルランド共和国ダブリンのIrish Film Instituteにて、日本アニメの上映ならびに、英国より日本アニメの専門家Helen McCarthyを派遣して講演会を実施。上映作品は、『Naruto』『Sword of the Stranger』『Metropolis』『Ghost in the Shell 2』の4本。
19	Lost and Revived: 19th Century Japanese Culture and the Kanda Festival	ロンドン	ロンドン日本文化センター	セインズベリー日本藝術研究所	2009.03.31	17世紀から始まり、江戸・明治期など時代とともに変質を遂げた日本の祭礼文化、神田明神祭の歴史、文化的変遷と社会背景についての講演。講師は、木下直之（東京大学文化資源学）。

【映画】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
20	主催映画祭: Reality Fiction	ロンドン、ブリストル、シェフィールド、ベルファースト、エジンバラ	Insutitute of Contemporary Arts、ウォーターシェッド、ショールーム、Queen's Film Theatre、フィルムハウス	Institute of Contemporary Arts、ウォーターシェッド、ショールーム、Queen's Film Theatre、フィルムハウス	2009.02.06 ~ 2009.03.19	事実をベースとする日本映画作品の中から、秀作6本を選んで巡回上映を実施。

【日本語教育】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
21	A-level Day	ロンドン	ロンドン日本文化センター	EDEXCEL	2008.04.25 ~ 2008.01.14	A-level（大学入学資格試験）に関する情報提供及びワークショップを実施。
22	英国日本語教育学会(BATJ)共催セミナー	ロンドン、カーディフ	ロンドン日本文化センター、ロンドン大学(School of Oriental and African Studies)、カーディフ大学	英国日本語教育学会	2008.05.17 ~ 2009.03.16	英国日本語教育学会と共催で日本語教育に関するセミナーを6回実施。
23	日本語教師研修会（教授法研修）	ロンドン、グラスゴー	ロンドン日本文化センター、Celtic Learning Centre他		2008.05.28 ~ 2009.01.21	英国の日本語教師を対象とした、日本語教授法、教材作成などをテーマとする研修会を実施。
24	Talking Contemporary Japan	ロンドン	ロンドン日本文化センター		2008.06.05 ~ 2009.03.12	上級日本語学習者を対象に、日本語能力をブラッシュアップしながら日本文化について学ぶ講座を3ターム実施。

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
25	StepOutNet Training Day	ロンドン	ロンドン日本文化センター		2008.06.24 ~ 2009.03.16	日本語教育プロモーションのためのStepOutNet事業を担当するボランティア・グループのレベルアップを図るための研修・ワークショップを実施。
26	Nihongo Cup	ロンドン	在英大使館	ジャパニーズ・ランゲージ・コミティ (Association for Language Learning) 在英大使館	2008.06.28	英国の中等教育機関に在籍する日本語学習者を対象とする日本語スピーチコンテストを実施。
27	日本語教師研修会 (リフレッシュコース)	ロンドン	ロンドン日本文化センター		2008.07.21 ~ 2008.07.25	ノンネイティブ日本語教師を対象とする5日間の日本語ブラッシュアップ・コースを実施。
28	Language Show	ロンドン	Olympia	JP-BOOKS	2008.10.31 ~ 2008.11.02	外国語教育に関する総合見本市に日本語ブースを出展。
29	GCSE Day	ロンドン	ロンドン日本文化センター	EDEXCEL	2008.11.14	GCSE (中等教育修了試験) に関する情報提供及びワークショップを実施。
30	大学生のための日本語スピーチコンテスト	ロンドン	ロンドン大学 (School of Oriental and African Studies)	英国日本語教育学会	2009.02.21	英国及びアイルランドの大学で日本語を学ぶ大学生を対象としたスピーチコンテストを日本語専攻の部と選択科目の部に分けて実施。
31	Head Start	ロンドン	ロンドン日本文化センター		2009.02.23	日本語教育プロモーションのため、日本語教育未導入校の校長や外国語科の主任教諭を対象に、日本語の特性、各種サポートプログラムの紹介、導入校による事例紹介、初歩的なモデルレッスン体験などを実施。

【図書館運営】

	事業名	期間	事業内容
32	図書館運営	2008.04.01 ~ 2009.03.31	ロンドン日本文化センターでは、日本語教育関係資料を中心に収集する図書館を運営。視聴覚資料含む資料数約8,000点。年間利用者数約1,700人。年間貸出点数約2,000点。

【出版・広報】

	事業名	期間	事業内容
33	ウェブサイト運営	2008/04/01 ~ 2009/03/31	ウェブサイトをリニューアルの上、運営管理を行った。ウェブサイトは各種事業案内、公募事業案内等で構成。使用言語は英語。 年間アクセス数：138,155件。 URL：http://www.jpif.org.uk/
34	e-bulletin発行	2008/04/01 ~ 2009/03/31	国際交流基金事業や公募助成事業の案内をはじめ、日本文化紹介事業を伝えるメールマガジンを発行（毎月）。延べ29,828人に発送。

(2) 助成・協力事業

【助成事業】

	事業名	助成機関	期間	事業内容
35	日本研究・知的交流事業助成； University College Cork(Library Support)	コーク大学	2008.04.01 ~ 2009.12.31	コーク大学に対し、日本関係研究書購入費用の一部を助成。
36	文化事業協力助成； Transitions	ビリストンギャラリー	2008.04.04 ~ 2008.06.14	Bilston Galleryでのクラフト展の出品作家の一人として、日本からジュエリー作家の山田端子を招へい。作品展示とトークを実施。作品輸送費の一部を助成。
37	文化事業協力助成； Katherine Aoki, Hideko Inoue and Tomoko Takahashi	マーケットギャラリー	2008.04.11 ~ 2008.04.27	グラスゴーのビジュアルアートフェスティバルの一環として、日本より高橋知子（アンチクール）を招へい。ライブパフォーマンスとワークショップを実施。ワークショップにかかる経費の一部を助成。
38	日本研究・知的交流旅費支援プログラム； Brian Ayers		2008.05.20 ~ 2008.05.30	在英国研究者等の訪日研究に際し、旅費を助成した。 対象者：Brian Ayers 所属機関：ノーフォーク博物館 研究テーマ：日本中世考古学
39	文化事業協力助成； Tiger Festival 2008	テラコッタフィルム	2008.05.29 ~ 2008.06.22	東アジアの映画上映を専門とするタイガー映画祭で、『嫌われ松子の一生』など2本の新作日本映画を上映。広報費の一部を助成。

海外事務所

	事業名	助成機関	期間	事業内容
40	日本研究・知的交流事業助成; How the East Asia media debates the Asian Past in the Present	ケンブリッジ大学	2008. 05. 31	ケンブリッジ大学主催のメディアの国際比較に関する会議に関し、参加者の宿泊費の一部を助成。
41	文化事業協力助成; Japan in Scotland III	トラバーセシアター	2008. 06. 11 ~ 2008. 06. 17	劇作家の深津篤史を招へいし、エジンバラのトラバースシアターにて『うちやまつり』の公開ドラマリーディングならびに関連トークを実施。渡航費ならびに宿泊費の一部を助成。
42	文化事業協力助成; The Art of Kabuki	ヘイスティングミュージアム	2008. 06. 22 ~ 2008. 10. 05	Hasting Museum所蔵の浮世絵を整理し、初めて展覧会の形で一般公開。カタログ制作費の一部を助成。
43	文化事業協力助成; Chelsea Festival : Yoko Nishi Concert	チエルシーフェスティバル	2008. 06. 26	ロンドン、チエルシー・フェスティバルのプログラムのひとつとして、琴演奏者・西陽子のコンサートを開催。渡航費の一部を助成。
44	文化事業協力助成; Yukio Fujimoto: Lecture/Musical demonstration	アイコンギャラリー	2008. 07. 10 ~ 2008. 07. 20	サウンドアーティスト、藤本由紀夫の実演とトークを、バーミンガムのIkon Galleryで実施。交通費と宿泊費の一部を助成。
45	文化事業協力助成; Hardy Boys and Gilmore Girls : A Project by Artsts Jay Chung and Q Takeki Maeda	キュービットギャラリー	2008. 07. 11 ~ 2008. 08. 17	ドイツを拠点とする日本人と中国系アメリカ人のアーティストデュオ、Jay Chung and Q Takeki Maedaの個展。Q Takeki Maedaの渡航費ならびに宿泊費の一部を助成。
46	文化事業協力助成; Park Nights: Pavillion & Practice	サーペンタインギャラリー	2008. 07. 25	サーペンタインギャラリーのパビリオン建築の関連事業として、パビリオンや仮設建築をテーマに討論会を実施。日本からは、建築家の藤本壮を招へい。航空運賃の一部を助成。
47	文化事業協力助成; The Conquest of Imperfection : Masaki Fujihata exhibition	コーナーハウス	2008. 08. 22 ~ 2008. 10. 19	マンチェスターのコーナーハウスで、藤幡正樹の個展を開催。謝金の一部を助成。
48	文化事業協力助成; Netori and Homage to Leonin	エジンバラカレッジオブアート	2008. 08. 23 ~ 2008. 08. 28	エジンバラの植物園にて、日本人パフォーマンスグループNovia Liustraのサウンドスカルプチャーを紹介。Novia Liustraの交通費の一部を助成。

海外事務所

	事業名	助成機関	期間	事業内容
49	文化事業協力助成; Colour out of Space	オープンミュージック	2008.09.05 ~ 2008.09.07	実験音楽を専門とする音楽フェスティバルのプログラムの一部として、巻上公一のコンサートを開催。航空運賃の一部を助成。
50	文化事業協力助成; Zen Calligraphy and Painting by Tesshu Yamaoka	ヴィクトリア&アルバート美術館	2008.09.03 ~ 2009.12.14	ヴィクトリア&アルバート美術館にて、山岡鉄州と関係者の書画の展覧会を開催。ちらし作成費の一部を助成。
51	文化事業協力助成; Ambient・Vista Residency (Shio Fukuhara)	アンビエンテ	2008.10.01 ~ 2008.11.30	ロンドンの芸術団体アンビエンテが、美術作家福原志保を招へいし、レジデンスプログラムと展覧会を実施。交通費ならびにカタログ制作費の一部を助成。
52	日本研究・知的交流旅費支援プログラム; Karolina Bieszczad-Roley		2008.10.04 ~ 2008.10.17	在英国研究者等の訪日研究に際し、旅費を助成。 対象者: Karolina Bieszczad-Roley 所属機関: プルネル大学 研究テーマ: 舞踏及び舞踏と写真の関係について
53	日本研究・知的交流旅費支援プログラム; Justin McGuirk		2008.10.30 ~ 2008.11.04	在英国研究者等の訪日研究に際し、旅費を助成。 対象者: Justin McGuirk 所属機関: Icon Magazine 研究テーマ: 現代日本デザインの状況
54	文化事業協力助成; Aurora 2008	オーロラ	2008.11.12 ~ 2008.11.15	Norwichで毎年実施されるアニメを初めとするあらゆるムービングイメージの映画祭に、恩田晃を招へい。ライブを行った。渡航費の一部を助成。
55	文化事業協力助成; Performance at First 2008 at Royal Opera House	チサトミナミムラカンパニー	2008.11.18 ~ 2008.11.19	ロンドンの振付家南村千里率いるダンスカンパニーが、ゲストダンサーを交えて、ロイヤルオペラハウスの招へいでダンス公演を実施。ゲストダンサーの謝金の一部を助成。
56	日本研究・知的交流旅費支援プログラム; Yu Zheng		2008.12.04 ~ 2008.12.06	在英国研究者等の訪日研究に際し、旅費を助成。 対象者: Yu Zheng 所属機関: ロイヤルハロウェイ大学 研究テーマ: マネジメントの移転について (中国における日本企業子会社の例)

海外事務所

	事業名	助成機関	期間	事業内容
57	日本研究・知的交流旅費支援プログラム; Shino Arisawa		2008. 12. 20 ~ 2009. 01. 11	在英国研究者等の訪日研究に際し、旅費を助成。 対象者：Shino Arisawa 所属機関：ロンドン大学 研究テーマ：日本における女性音楽家と伝統音楽
58	日本研究・知的交流旅費支援プログラム; Christopher Harding		2008. 12. 27 ~ 2009. 04. 16	在英国研究者等の訪日研究に際し、旅費を助成。 対象者：Christopher Harding 所属機関：エディンバラ大学 研究テーマ：1920-50年日本とインドにおける心理療法の先駆者及びその出現
59	文化事業協力助成; Pain Jerk UK Tour	ノーファイ	2009. 01. 20 ~ 2009. 01. 27	日本人ミュージシャン、Pain Jerkの英国コンサート。Pain Jerkの渡航費、謝金、日当の一部を助成。
60	文化事業協力助成; A Season of Japanese Contemporary Films 2009	ジャパンデスク・スコットランド	2009. 02. 13 ~ 2009. 03. 06	グラスゴー大学にて日本の現代映画の上映会を実施。会場費の一部を助成。
61	文化事業協力助成; Tomoo Hamada Residency at Leach Pottery	リーチポッターリー	2009. 03. 02 ~ 2009. 03. 14	バーナード・リーチの業績を記念した陶芸芸術センターに、濱田友緒を招へい。実演・ワークショップ、ならびに展覧会を実施。作品制作費の一部を助成。
62	日本研究・知的交流事業助成; Interrogating Okinawa, Meanings	シェフィールド大学	2009. 03. 06 ~ 2009. 03. 07	シェフィールド大学主催による「沖縄」をテーマとした研究大会（研究発表・音楽公演・映画会等）に対して、その費用の一部を助成。

【会場提供】

	事業名	対象機関	期間	事業内容
63	英国ジャパン・ソサエティ連盟総会	ロンドン日英協会	2008. 06. 23	英国各地の日本協会代表者が一堂に会する年次情報交換会に対し会場等を提供。
64	In Harmony with All Creation: Miyazawa Kenji	ロンドン日英協会	2009/03/04	ロンドン日本協会の主催するロジャー・パルバースによる宮沢賢治に関する講演会に対し、会場を提供。

ブダペスト日本文化センター

合計額 48,476,702 円

(1) 主催・共催事業

【展示】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	ブダペスト日本文化センター所蔵展示セット巡回展	ブダペスト(ハンガリー)、セゲド、ベオグラード(セルビア)	ターリフ劇場、ブダペスト市内公立小学校、ベオグラード国際図書展等		2008.04.01 ~ 2009.03.31	ブダペスト日本文化センターが所蔵する「日本の現代建築」「日本の世界遺産」等の写真パネル、および「日本人形」「凧・独楽」をハンガリーおよび周辺諸国の団体に貸し出し、計12回の巡回展示を実施。
2	岡本由梨展覧会「オウムと詩人」	ブダペスト	ブダペスト日本文化センター		2008.06.27 ~ 2008.08.31	和紙や折り紙の伝統にヒントを得て、自らの拾い上げた日常の様々な印象や感動などを、紙を通して表現するフランス在住の日本人芸術家、岡本由梨の作品シリーズ「イメージの小箱」を展示。

【公演】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
3	現代サーカス公演「Gai-Kotsu」	ブダペスト	現代芸術の館 (TRAFO)	TRAFO	2008.09.25 ~ 2008.09.27	フランスで活躍する日本人パフォーマン・アーティスト金井圭介のブダペスト公演を、会場である現代芸術の館 (TRAFO) と共催で実施。

【講演・シンポジウム】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
4	講演会「日本におけるCSR」	ブダペスト	ブダペスト日本文化センター		2008.05.16	平成19年度知的交流フェローとして滞日研究を行ったKUN Attilaを講師に迎え、日本の企業の社会的責任に関する講演会を実施。
5	講演会「日本の伝統音楽」	ブダペスト	ブダペスト日本文化センター		2008.06.20	リスト音楽アカデミーで東アジアの楽器について研究するSALVI Nora氏を講師に迎え、日本の伝統音楽に関し、箏のデモンストレーションを交えた一般向けの講演会を実施。

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
6	講演会「日本における外国人移民労働者」	ブダペスト	ブダペスト日本文化センター		2008.07.03	DUX Laszlo (セゲド大学准教授) を講師に迎え、日本における外国人移民労働者の状況について一般市民向けの講演会を実施。
7	日本研究セミナー「日本の農業政策」	ブダペスト	ブダペスト日本文化センター		2008.09.17	日本の農業政策を専門とするBENET Ivan (セゲド大学准教授) を講師に迎え、関連する研究分野の学生及び研究者を対象としたセミナーを実施。
8	日本研究セミナー「現代日本社会」	ブダペスト	ブダペスト日本文化センター		2008.10.17	ウィーン大学日本学科において現代日本社会についての研究を行うWolfram MANZENREITER教授を講師に迎え、社会学及び現代日本に関連する研究を専門とする学生及び研究者を対象としたセミナーを実施。
9	講演会「ハンガリーにおけるジャポニズム」	ブダペスト	ブダペスト日本文化センター		2008.10.31	PAPP Katalin (国立西洋美術館学芸員) とGELLER Katalin (ハンガリー科学アカデミー研究員) による、ハンガリー美術史におけるジャポニズムの影響についての一般向け講演会。
10	建築講演会	ブダペスト	ハンガリー現代建築センター	ハンガリー現代建築センター	2008.11.15 ~ 2008.11.17	ハンガリー現代建築センターと共催で浅利幸男 (建築家) の講演会を実施。
11	寄席文字レクチャー・デモンストレーション	ブダペスト	カーロリ・ガーシュパール大学及びエトヴェシ・ロラード大学講堂		2008.11.13 ~ 2008.11.14	平成20年度文化庁文化交流使である橘右門 (寄席文字書家) を講師としてロンドンから招へいし、カーロリ・ガーシュパール大学でのワークショップ及びエトヴェシ・ロラード大学での講演会を実施。
12	講演会「武道の思想」	ブダペスト	ブダペスト日本文化センター		2008.11.21	SZABO Balazs (エトヴェシ・ロラード大学博士課程学生) による、武道を中心とした日本思想史についての一般向け講演会。
13	講演会「温泉」	ブダペスト	ブダペスト日本文化センター		2009.01.16	平成19年度基金知的交流フェローとして訪日したRATZ Tamara (コドラーニ・ヤーノシュ大学観光学部准教授) による、日本の温泉文化、観光文化に関する一般向け講演会。

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
14	講演会「神楽舞と舞踏について」	ブダペスト	ブダペスト日本文化センター		2009.02.06	平成20年度基金内田フェローとして訪日したBATA Rita（舞踊家）が、同氏の創作に関連の深い神楽舞や舞踏について、訪日時活動報告を踏まえながら講演。

【映画】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
15	日本映画クラブ	ブダペスト	ウルクモズゴー映画館	ハンガリー国立フィルムアーカイブ	2008.04.01 ~ 2009.03.31	ハンガリー国立フィルムアーカイブとの共催により、通年で毎月2回、欧州フィルムライブラリーの16mmフィルムを使用した日本映画上映会を実施。

【日本語教育】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
16	日本語教育アドバイザー、ジュニア専門家活動	ブダペスト及び中東欧諸国の主要都市			2008.04.01 ~ 2009.03.31	国際交流基金本部から派遣される日本語教育アドバイザー、ジュニア専門家により、日本語教育関連の調査や日本語教師・日本語教育に関する支援活動を実施。
17	日本・ハンガリー協力フォーラム事業 日本語教育研修会	ブダペスト	ブダペスト日本文化センター		2008.04.01 ~ 2009.03.31	ハンガリーにおける日本語教育の活性化および質の向上を目的に、ハンガリー各地の日本語教育従事者を対象として、日本語教授法、ハンガリー日本語教育事情等をテーマとした研修会を1年間で5回実施。
18	日本・ハンガリー協力フォーラム事業 日本語教材作成事業	ブダペスト			2008.04.01 ~ 2009.03.31	年々増加するハンガリーの日本語学習者に向けた2冊構成の日本語教材の作成を実施。平成19年度から作成準備を開始、平成20年度は執筆・編集作業を行った。2011年に第一分冊を刊行予定。
19	日本・ハンガリー協力フォーラム事業 日本語教育シンポジウム	ブダペスト	ブダペスト日本文化センター		2008.09.12 ~ 2008.09.13	「ハンガリー日本語教育のこれからを考える」をテーマとして、ハンガリーの日本語教育従事者による発表およびディスカッションを実施。

【図書館運営】

	事業名	期間	事業内容
20	図書館運営	2008.04.01 ~ 2009.03.31	ブダペスト日本文化センターに併設された図書館において、図書収集、公開および貸出、レファレンス等の図書館運営業務を実施。所蔵図書：約11,310冊、会員数：3,711名、来館者数：月間約600人、貸出数は月間約480点。 日本語学習者、日本文化に関心のある若者にとって使いやすい図書館とするため、日本語教材や最新の日本の雑誌や図書に重点を置いて集書を実施。

【出版・広報】

	事業名	期間	事業内容
21	ウェブサイト運営	2008.04.01 ~ 2009.03.31	ブダペスト日本文化センター・ウェブサイト（ハンガリー語、日本語、英語で閲覧可能）を整備、拡充し、幅広い対象に向けた事業の広報を実施。 URL： http://www.japanalapitvany.hu/?setlang=ja
22	ニュースレター発行	2008.04.01 ~ 2009.03.31	事業の報告や案内を掲載したニュースレターを発行し、ハンガリー国内の関係機関に配布。

【教室事業】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
23	日本語講座	ブダペスト	ブダペスト日本文化センター		2008.04.01 ~ 2009.03.31	初級から中級者を対象とした講座を8クラス開講。

【その他】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
24	アニメコン参加	ブダペスト	ペトゥーフィ・チャールノク	ハンガリーアニメ協会	2008.09.27 ~ 2008.09.28	ハンガリーアニメ協会が主催するアニメファンのイベント「アニメコン」において、日本文化・日本語紹介イベント、及び写真パネルの展示を実施。

【本部事業受入】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
25	第15回ブダペスト国際図書展	ブダペスト	ミレナーリシュ		2008.04.24 ~ 2008.04.27	第15回ブダペスト国際図書展の日本ブースにおいて、日本関係図書約2,000点を出展。
28	中東欧地域日本語教育ネットワーク会議	ブダペスト	ブダペスト日本文化センター		2009.02.14 ~ 2009.02.15	ブダペスト日本文化センターが管轄する中東欧諸国の日本語教育関係者をブダペストに招へいし、各国の日本語教育事情についての報告や意見交換、及びネットワーク構築に向けたディスカッションを実施。
29	東欧巡回日本映画祭	ブダペスト	ウルクモズゴー映画館	ハンガリー国立フィルムアーカイブ	2009.02.09 ~ 2009.02.15	ハンガリー国立フィルムアーカイブとの共催により、本部フィルムライブラリー所蔵の35mmフィルムを使用した日本映画祭を実施。計7作品を上映。

(2) 助成・協力事業

【助成事業】

	事業名	助成機関	期間	事業内容
30	俳句本出版プロジェクト	ナプクート出版社	2008.04.01 ~ 2008.12.31	Napkut出版社による俳句をテーマとした書籍の出版に対する支援。
31	日本・ハンガリー協力フォーラム事業 国際会議出席旅費助成		2008.04.01 ~ 2009.03.31	ハンガリーの日本語教育関係者が国外での会議に出席し発表する際の旅費の一部を助成。
32	日本・ハンガリー協力フォーラム事業 プロジェクトサポート	ハンガリー日本語教師会	2008.04.01 ~ 2009.03.31	ハンガリーで日本語教育を担う団体が実施するイベント（外国語教育フェスティバルへのブース出展など）に対し、経費の一部を助成。
33	日本・ハンガリー協力フォーラム事業 日本語講座給与助成	ハンガリー国内の高校、民間語学学校等	2008.04.01 ~ 2009.03.31	ハンガリーの日本語教育機関で、日本語講座の維持・拡大のために教員を新たに雇用する学校・大学などに対し、教員の給与の一部を支援。平成19年度に支援を開始した3機関とあわせ、平成20年度に新たに採用した7機関、計10機関に対して助成を実施。

海外事務所

	事業名	助成機関	期間	事業内容
34	現代日本人芸術家4人展	MONOギャラリー	2008.04.29 ~ 2008.05.29	ブダペスト市内のギャラリーMONOが企画する、4人の日本人芸術家の作品展覧会に対する助成。
35	ハルチャ・ヴェロニカコンサート	ハルチャ・ヴェロニカ・カルテット	2008.05.24	日本をテーマに音楽活動を行っているハルチャ・ヴェロニカのコンサートに助成。
36	第4回東アジア展	アートハイカ芸術協会	2008.06.21 ~ 2008.07.06	アートハイカ古代芸術協会の主催による、日本および東アジアの陶芸を紹介する展覧会への助成。
37	ネクストマッシュルームプロモーション日本現代音楽公演	バルトーク音楽祭	2008.07.10	毎年夏に開催されるハンガリー有数の音楽祭バルトーク音楽祭にて公演を行う日本の現代音楽アンサンブル「ネクストマッシュルームプロモーション」の招へい旅費の一部を、主催団体であるフィルハーモニアブダペスト社に対して助成。
38	ハンガリー折り紙協会大会・展覧会	ハンガリー折り紙協会	2008.08.08 ~ 2008.09.30	ハンガリー折り紙協会が創設20周年を記念して国内外の折り紙専門家を招いて行う大会及び展示会に対し、経費の一部を助成。
39	現代建築写真「SENSAI」展	ZAPS(スロヴェニア建築・空間設計協会)	2008.09.01 ~ 2008.09.30	スロヴェニア・リュブリャナで行われる現代日本を代表する建築作品の写真や資料を集めた展示会の作品輸送費の一部を助成。
40	現代日本美術展	Europa Authentica協会	2008.10.04 ~ 2008.10.25	日本で活躍する若手芸術家の作品約30点を集めてブダペスト市内のギャラリーで行われる展覧会に対し、カタログ作成費の一部を助成。
41	日本文化と武道フェスティバル	Goshinkan武道連盟	2008.10.07 ~ 2008.10.22	武道団体が主催して行われる日本文化紹介イベントに対し、会場借料と広報費の一部を助成。
42	国際盆栽フェスティバル	大学盆栽クラブ	2008.10.17 ~ 2008.10.18	ブダペスト市動植物園で開催される国際盆栽フェスティバルに主催する大学盆栽クラブに対し、国外の盆栽作家招へい旅費の一部を助成。
43	ボスニア折り紙ワークショップ	ボスニア・日本友好協会(ボスニア・ヘルツェゴビナ)	2008.10.27 ~ 2008.10.28	英国在住の折り紙専門家を招へいしてボスニアで行われる折り紙のワークショップに対し、専門家旅費の一部を助成。
44	日本人若手女性写真家展覧会	ルーメン写真協会	2008.11.01 ~ 2009.01.31	日本で活躍する20代の若手女性写真家3名の写真展について、写真家の招へい旅費の一部を、主催者であるルーメン写真協会に対して助成。
45	ジャズフェスティバル "Alternativa 2008"	Uni jazz文化活動支援協会(チェコ)	2008.11.27	日本人ジャズアーティストを招いて行われるチェコのジャズフェスティバルに対して助成。

海外事務所

	事業名	助成機関	期間	事業内容
46	日本人DJコンサート	Music Moon Kft.	2008.12.06 ~ 2008.12.13	ブダペスト市内で行われる、ハンガリーで著名な日本人DJ Ishihara Shigeruとハンガリー音楽家の共同公演に対して助成。
47	『八百万の神』：大場めぐみ 公演・展覧会	TUV Rheinland Hungaria Akademia財団	2009.02.02 ~ 2009.02.28	日本の舞踏家大場めぐみの写真展及びハンガリーの舞踏家との共同公演に対して助成。
48	『春の音』日本ハンガリー友好 コンサート	シュディ・アンド・カンパニー	2009.03.20	リスト音楽院に留学中の日本人とハンガリー人学生による、クラシック音楽を通じた両国の交流を目的としたジョイントコンサートに助成。

【文化備品・視聴覚資料貸出】

	事業名	都市	期間	事業内容
49	日本文化紹介DVD貸出		2008.04.01 ~ 2009.03.31	日本に関連する事業を実施する外部団体に向けて、事務所が所有する日本紹介映像のDVDを貸与。

モスクワ日本文化センター

合計額 70,752,460 円

(1) 主催・共催事業

【展示】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	細江英公『死の灰』展覧会	モスクワ	ストロガノフ記念モスクワ国立芸術産業大学	ストロガノフ記念モスクワ国立芸術産業大学	2009.03.16 ~ 2009.03.30	世界的に高い評価を得ている現代日本写真の代表的な作品を紹介。 関連事業として、3月16日細江英公、木田俊一（染め摺り師）のトークショーを実施。

【講演・シンポジウム】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
2	日本文化・日本文学連続講義	モスクワ	モスクワ日本文化センター		2009.02.19 ~ 2009.03.13	平成20年春の旭日小綬章受章者で、「源氏物語」の翻訳者として著名なタチヤナ・ソコロヴァ＝デリュエシナ（日本文学者、翻訳家）による4回の日本文化、日本文学に関する講義を実施。また三遊亭楽麻呂（落語家）による落語についての特別講義を1回実施。

【日本語教育】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
3	日本語講座	モスクワ	モスクワ日本文化センター		2008.11.21 ~ 2009.03.28	「源氏物語」の翻訳者として著名なタチヤナ・ソコロヴァ＝デリュエシナ（日本文学者、日本語教師）を講師に迎えて、主に初級者を対象にした日本語講座（初級前期、初級中期、初級後期、初中級の4クラス）を実施。

【図書館運営】

	事業名	期間	事業内容
4	図書館運営	2009.01.27 ~ 2009.03.31	2009年1月27日に開館。 集書方針は、あらゆる分野における日本関連のロシア語訳、欧米語訳、日本語文献で、情報の新しいもの。 貸出しは開始していないため、会員はなし。 蔵書数401点；視聴覚資料30点；来館者数550名。

【教室事業】

	事業名	期間	事業内容
5	生花講座	2008.12.03 ~ 2009.03.19	草月、池坊各流派による生け花講座を実施。
6	折り紙講座	2008.12.06 ~ 2009.03.28	モスクワの折り紙クラブより講師を1名招いて、毎週土曜日に実施。

カイロ日本文化センター

合計額 45,493,141 円

(1) 主催・共催事業

【展示】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	木下和個展	カイロ	カイロ・オペラハウス ギャラリー	カイロ・オペラハウス	2009.01.01 ~ 2009.01.10	長年にわたりエジプトを旅し風物を油絵に描いてきた画家、木下和の作品展を開催。
2	浮世絵セット作成・貸出	サナア (イエメン)		在イエメン大使館	2008.08.02 ~ 2008.08.07	リトグラフの浮世絵を簡易額装し、イエメンの日本文化週間のために貸出。

【公演】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
3	津軽三味線・尺八コンサート	カイロ	カイロ・オペラハウス 小ホール	カイロ・オペラハウス	2009.03.23	山中信人（津軽三味線奏者）、小濱明人（尺八奏者）を日本より派遣、コンサートを実施。

【講演・シンポジウム】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
4	日本の写真芸術に関するセミナー	カイロ アレキサンドリア	El Sawy Culture Wheel Alexandria Center of Arts	El Sawy Culture Wheel Alexandria Center of Arts 日本写真家協会	2008.07.28 ~ 2008.08.05	巡回展「現代日本の写真展」にあわせて、日本写真家協会と共催で平木収（写真評論家）をエジプトに派遣。カイロ、アレキサンドリアの展示会場において展覧会の展示内容に即したレクチャーを実施。
5	日本文学研究サロン	カイロ	カイロ日本文化センター		2008.12.15	アインシャムス大学客員教授として派遣されている浦田義和（佐賀大学教授）を講師に招き「日本近代文学とジェンダー—太宰治文学と女性」という演目で講演会を実施。進行とコメントーターはカイロ大学文学部のアハメド・ファトヒ准教授。

【日本語教育】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
6	中東日本語教育セミナー	カイロ	Flamenco Hotel	中東日本語教師連絡会	2008.08.24 ~ 2008.08.25	中東地域の日本語教師を対象とした、スキルアップとネットワーク強化を目的としたセミナーをカイロにて実施。
7	日本語能力試験成績優秀者表彰式	カイロ	カイロ・オペラハウス		2009.03.14	日本語学習奨励を目的に、平成20年度日本語能力試験カイロ受験者の合否通知手交と各級の成績優秀者表彰を実施。

【図書館運営】

	事業名	期間	事業内容
8	図書館運営	2008.04.01 ~ 2009.03.31	カイロ日本文化センター内スペースにて図書館を運営。週5日間（金・土曜日休館）。

【出版・広報】

	事業名	期間	事業内容
9	広報誌『WAVES』作成	2008.04.01 ~ 2009.03.31	国際交流基金の活動を広く紹介するとともに、基金事業と関連づけた日本情報を提供することを目的に、年2回、広報誌『WAVES』を発行。
10	ウェブサイト運営	2008.04.01 ~ 2009.03.31	カイロ日本文化センターの事業紹介、募集案内などを随時更新。英語・アラビア語の2言語で配信。 URL: http://www.jfcairo.org/

【教室事業】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
11	カイロ日本文化センター 初級日本語講座				2008.04.01 ~ 2009.03.31	3年間で6つのレベルを修了する設計で、初級レベルの日本語講座を運営。
12	カイロ日本文化センター 中級・上級日本語講座				2008.04.01 ~ 2009.03.31	初級修了者のために、更に高い日本語運用能力の修得を目的とした中級および上級の日本語講座を運営。

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
13	アレキサンドリア日本語講座	アレキサンドリア	ファロス大学	アレキサンドリア名誉領事館	2008.04.01 ~ 2009.03.31	エジプト第二の都市アレキサンドリアにおいて、2007年より開設した日本語講座の運営。アレキサンドリア名誉領事館との共催で、ファロス大学の施設を借用して実施。基金は専任講師1名を派遣。

【その他】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
14	華道講座	カイロ	カイロ日本文化センター		2008.04.01 ~ 2009.03.31	未生流の専門家を講師に迎え、各回5回のコースを年4回実施。
15	折り紙講座	カイロ	El Sawy Culture Wheel	El Sawy Culture Wheel	2008.07.01 ~ 2009.03.31	カイロの民間文化施設、El Sawy Cultural Wheelにて、3回で修了するコースを四半期毎に開催。
16	凧ワークショップ	アレキサンドリア	Atelier Alexandria, Qaitbay Fort	Bibliotheca Alexandrina	2008.07.08 ~ 2008.07.09	アレキサンドリア市において、児童を対象とした凧制作のワークショップを開催。基金スタッフが日本の凧制作を、エジプト人専門家がエジプトの凧制作を指導。
17	お茶会	カイロ	カイロ日本文化センター	茶道同好会	2008.12.02 2009.03.03	カイロ在住日本人を中心とする茶道同好会によるデモンストレーションを開催。秋と春の年2回実施。
18	日本文化祭（ファロス大学）	アレキサンドリア	Phalos University	Phalos University	2009.02.22 ~ 2009.02.23	アレキサンドリア市の私立大学ファロス大学の要請に応じ、二日間の総合日本文化紹介イベントを、主に同大学の学生を対象に実施。中近東フィルムライブラリー所蔵の映画上映、折り紙ワークショップ、茶道体験、日本語レッスン、日本関連書籍展示を実施。

文化交流施設等協力事業に必要な経費

文化交流施設等協力事業費

1. 文化交流施設等協力事業費

- (1) 人物交流特定寄附
- (2) 日本研究特定寄附
- (3) 日本語特定寄附
- (4) 催し等特定寄附
- (5) 文化交流施設等特定寄附

文化交流施設等協力事業費

1. 文化交流施設等協力事業費

海外の公益団体等が実施する国際文化交流事業に対して寄附を計画している場合に、国際交流基金の業務目的に合致するものに限り当基金が寄附金を受入れ、対象となる機関に援助する。

合計額 664,552,243 円

	事業名	寄附申込者	対象機関	対象国	期間	事業内容
(1) 人物交流特定寄附						
1	日米交流財団フェローシッププログラム	日米交流財団	日米交流財団	米国	2007.07.01 ~ 2010.06.30	米国から日本への留学生数を増加させ、将来の日米友好関係の増進を目指すため、日本への留学を希望する米国人大学生に奨学金を支給
2	ロータリー国際親善奨学支援事業	日本ロータリー奨学金委員会	ロータリー財団	全世界区分困難	2007.07.01 ~ 2011.06.30	相異なる国民間の理解と友好関係の増進に寄与することを目的とする「ロータリー国際親善奨学金」及び世界8カ所のロータリーセンターにて平和研究を行う「世界平和フェローシップ」の支給事業を実施
3	ロータリー国際親善奨学支援事業	日本ロータリー奨学金委員会	ロータリー財団	全世界区分困難	2008.07.01 ~ 2012.06.30	①相異なる国民間の理解と友好関係の増進に寄与することを目的とする者を対象とした「ロータリー国際親善奨学金」及び②世界平和や紛争解決等の国際問題研究を行う社会人を対象とした「世界平和フェローシップ」の支給事業を実施
(2) 日本研究特定寄附						
4	アルバータ大学高円宮殿下日本カナダ記念基金	高円宮殿下記念基金ファンド・レイジング委員会	アルバータ大学	カナダ	2005.04.01 ~ 2008.05.31	「アルバータ大学エンダウメント・ファンズ」基金内に「高円宮殿下日本カナダ記念基金」を創設し、運用益にてカナダと日本の相互理解促進のための褒章事業等、「高円宮殿下日本教育・研究日本センター」拡充のための事業を実施
5	「故石川吉右衛門教授記念・比較日本法基金」の設立	ハーバード・ロースクール・アソシエーション・オブ・ジャパン	ハーバード・ロー・スクール	米国	2007.01.01 ~ 2009.12.31	故石川吉右衛門東京大学名誉教授の功績を記念する日本研究促進のための恒久基金を設置し、その運用益にて①日本法の客員教授の招へい、②日本法の学生・研究者への資金援助、③日本法の図書等拡充、④日本の若手法学研究者の同校への留学費用助成、を実施
6	ミシガン大学ロースクール日本法研究プログラム	弁護士法人大江橋法律事務所	ミシガン大学ロースクール	米国	2008.07.01 ~ 2009.06.30	ミシガン大学ロースクールにおいて、教職員及び学生が日本法に対する理解を深めるため、①日本法に関連する教職員の研究活動支援、②日本法に関連する蔵書の収集、③日本法研究部門の客員教授派遣及び招へいを実施

文化交流施設等協力事業費

	事業名	寄附申込者	対象機関	対象国	期間	事業内容
7	清華大学日本研究センター	清華大学日本研究センター 清華大学日本研究センター協力委員会	清華大学日本研究センター 清華大学日本研究センター協力委員会	中国	2009.04.01 ~ 2012.03.31	清華大学日本研究センターにおいて、中国における日本理解及び日中両国の相互理解を促進するため、①研究事業、②研究者及び実務人材の育成事業、③シンポジウム・セミナー・出版等の情報発信事業、④客員研究員・インターン研修等の交流事業を実施
8	長島・大野・常松法律事務所奨学金（コロンビア・ロー・スクール）	長島・大野・常松法律事務所	コロンビア・ロー・スクール	米国	2009.07.01 ~ 2010.06.30	コロンビア・ロー・スクールにおいて、日本法への関心や日本語の知識を持ち、将来的に日米間の協力や日本法学に関連する経歴を積む明確な意欲を示す学生に対し、奨学金を支給
9	長島・大野・常松法律事務所：日本法・文化プログラム（シカゴ・ロー・スクール）	長島・大野・常松法律事務所	シカゴ大学ロースクール	米国	2009.07.01 ~ 2010.06.30	シカゴ大学ロースクールにおいて、日本法・文化の研究と理解を促進するため、①日本法・文化を研究するJD(3年制)課程学生への奨学金支給、②JD学生の日本企業における夏期インターンシップへの補助、③日本法と文化研究のための財政支援（同校日本法律研究会の活動支援）、④学生の日本研修旅行費用補助、を実施
10	長島・大野・常松法律事務所：日本法・文化プログラム（スタンフォード・ロー・スクール）	長島・大野・常松法律事務所	スタンフォード・ロー・スクール	米国	2009.07.01 ~ 2010.06.30	スタンフォード・ロー・スクールにおいて、日本法・文化の研究と理解を促進するため、①日本からの留学生及び日本法に興味を持つ学生への援助、②客員教授・研究員として招へいする日本法専門家の給与等補助、を実施
11	長島・大野・常松法律事務所：日本法・文化プログラム（デューク・ロー・スクール）	長島・大野・常松法律事務所	デューク・ロー・スクール	米国	2009.07.01 ~ 2010.06.30	デューク・ロー・スクールにおいて、日本法・文化の研究と理解を促進するため、①JD(3年制)課程日本法紹介コースへの日本からの客員教授招へい、②日本法関連図書購入、③夏期国際法講座への日本法教授招へい補助、④夏期国際法講座参加学生への奨学金支給、⑤同校教授の日本派遣補助、を実施
(3) 日本語特定寄附						
12	ジャパン・リターン・プログラム 2008年日本語サミット	ジャパン・リターン・プログラム募金委員会	特定非営利活動法人ジャパン・リターン・プログラム	全世界区分困難	2007.10.01 ~ 2009.05.31	世界で日本語を学ぶ青少年をパネリストとして招へいし、日本代表パネリストと共に「ことばと平和」をテーマとした日本語でのディスカッション・ディベートを行う「日本語サミット」を長崎県、北海道（洞爺湖）及び東京都にて開催

文化交流施設等協力事業費

	事業名	寄附申込者	対象機関	対象国	期間	事業内容
13	ドイツ社団法人 日本語普及セン ターの事業資金	日本語普及セン ター国内募金委 員会	ドイツ社団法人 日本語普及セン ター	ドイツ	2008.04.01 ~ 2009.12.31	ドイツでの日本語普及と日独の文化交流促進のため、①日本語テキストの作成、日本セミナーの開講等の日本語普及事業、②日本料理教室講座開設のための教室の改築、現代日本工芸の展示会、高校生作文コンクール、日独囲碁トーナメント開催等日本文化紹介事業を実施
14	エルエスエイチ アジア奨学金	特定非営利活動 法人 エルエス エイチアジア奨 学会	特定非営利活動 法人 エルエス エイチアジア奨 学会	アジア地域区分 困難	2008.04.01 ~ 2011.03.31	平成13年に新大久保駅の事故で亡くなった韓国人青年李秀賢の勇気ある行動を讃え、同氏の国際交流の理念を実現するため、国内の日本語教育機関に在籍するアジア諸国からの就学生に奨学金を支給
(4) 催し等特定寄附						
15	2009年日本・ハン ガリー国交回復50周年記念事 業	2009年日本・ハン ガリー国交回復50周年記念事 業実行委員会	2009年日本・ハン ガリー国交回復50周年記念事 業実行委員会	ハンガリー	2007.09.19 ~ 2010.09.18	日本とハンガリーの国交樹立140周年及び国交回復50周年を記念し、①日本側デザインによる「ブダペスト・エリザベト橋ライトアップ事業」、②日本国内にて全国交流のつどい、美術展、写真展、音楽公演等を開催する「2009年ハンガリーフェスティバル」を実施
16	第1回とやま世界 こども舞台芸術 祭	とやま世界こども 舞台芸術祭実 行委員会	とやま世界こども 舞台芸術祭実 行委員会	全世界区分困難	2007.10.30 ~ 2009.03.31	演劇、音楽、舞踊等の舞台芸術を通じて子供達の豊かな情感を育むと共に、国際文化交流と友好親善を促進するため、子供による、あるいは子供のための舞台芸術団体を世界各国より招へいし、舞台公演及び研究、討論、芸術研修を行う舞台芸術祭を富山市及び高岡市にて開催
17	日韓交流おまつ り2008 in Seoul	社団法人東アジア 文化交流協会	日韓交流おまつ り実行委員会	韓国	2008.04.01 ~ 2008.12.31	日本と韓国の市民交流、若者交流、地方交流を促進するため、ソウル広場及び周辺での日韓文化ステージ公演、パレード公演、自治体等の展示ブース出展等を行う日韓合同の交流お祭りを実施
18	ミュージック・ フロム・ジャパ ン2009年音楽祭	ミュージック・ フロム・ジャパ ン・インク	ミュージック・ フロム・ジャパ ン・インク	米国	2008.04.01 ~ 2009.03.31	日本の優れた音楽を米国に紹介するため、ニューヨークにて「伝統と創造」と題した歌舞伎音楽と現代の三味線音楽によるコンサート及び関連講演等を行う音楽祭を開催するとともに、米国ツアーとして「現代に息づく伝統・三味線」と題したコンサートをワシントンDC、マイアミ、ナッシュビル、マホバックに巡回
19	源氏物語千年紀 事業	源氏物語千年紀 委員会	源氏物語千年紀 委員会	全世界区分困難	2008.04.01 ~ 2009.05.31	源氏物語千年紀を記念し、①記念式典、②国内外の平安王朝文学研究者による「源氏物語国際フォーラム」、③源氏物語千年紀の情報を国内外に発信するためのウェブサイト構築、④千年紀記録集の作成、⑤千年紀事業の広報・PR活動を実施

文化交流施設等協力事業費

	事業名	寄附申込者	対象機関	対象国	期間	事業内容
20	第15回ホノルルフェスティバル	ホノルル フェスティバル財団	ホノルル フェスティバル財団	米国	2008.04.01 ~ 2009.05.31	日本とハワイ、及び環太平洋諸国の人々の親善と相互理解のため、各国の伝統的なお祭り・音楽・踊り等のステージやパレード、書道・生け花やフラ等の実演やワークショップ、日米友好に貢献した人物をテーマとしたセミナー等を行うフェスティバルを実施
21	日中ジャーナリスト交流会議	「日中ジャーナリスト交流会議」実行委員会	「日中ジャーナリスト交流会議」実行委員会	中国 日本	2008.04.01 ~ 2010.01.31	日本と中国を代表する計約20名のジャーナリストが参加し、日中間の最新的话题を会議のテーマに設定して率直に語り合うための会議を、日本及び中国にて開催
22	四天王寺ワッソ	NPO法人大阪ワッソ文化交流協会	NPO法人大阪ワッソ文化交流協会	韓国	2008.05.01 ~ 2009.04.30	古代に「なにわの津」と呼ばれ、東アジアの国際交流の拠点であった大阪・四天王寺において、古代衣装での1000名の大巡行や古代楽器の演奏等により、古代の国際交流を現代に再現する市民参加型の祭りを開催
23	インドネシア流エコスタイル展	日本・インドネシア経済委員会	財団法人日本インドネシア協会	インドネシア	2008.05.12 ~ 2009.02.28	「日本インドネシア友好年」に相応しい文化交流の推進及び日本とインドネシアの相互理解増進を目的として、「スローライフ」と「エコロジー・持続可能な開発」をテーマに、インドネシアの自然や文化、産品やライフスタイルの魅力を紹介する展示及び伝統音楽、舞踏の公演等を実施
(5) 文化交流施設等特定寄附						
24	アジア女子大学	アジア女子大学の設立を支援する会	アジア女子大学支援財団	アジア地域区分困難	2006.11.01 ~ 2009.10.31	南アジア及び東南アジア各国のあらゆる文化、宗教、人種、社会的背景を持つ女性を対象に、アジアの現状理解及び国際的視野を持たせることを主眼とする教育を提供する大学をバングラデシュのチッタゴン市に設立
25	キープ国際研修交流センター整備事業	財団法人キープ協会	財団法人キープ協会	全世界区分困難	2005.09.01 ~ 2008.08.31	草の根国際交流事業の促進と友好的な国際関係の構築のため、財団法人キープ協会の清泉寮施設を、国際文化交流の拠点となる国際研修交流センターに改築、整備
26	ブラジル日本移民百周年記念モニュメント制作および展示	ブラジル日本移民百周年記念プロジェクト実行委員会	ブラジル日本移民百周年記念プロジェクト実行委員会	ブラジル	2007.04.01 ~ 2009.08.31	2008年ブラジル日本移民百周年を記念し、日伯両国間の相互理解と交流に資するため、絹谷幸太（彫刻家）による日伯の花崗岩を用いたモニュメント施設を、サンパウロ郊外のカルモ公園内に設置すると共に、設置過程の資料の両国内外での展示及び記念出版を実施

文化交流施設等協力事業費

	事業名	寄附申込者	対象機関	対象国	期間	事業内容
27	日中平和友好条約締結30周年記念「南京・平和友好桜花園」建設事業	特定非営利活動法人 日中文化交流促進会	特定非営利活動法人 日中文化交流促進会	中国	2008.09.01 ～ 2009.09.30	日中両国民の交流の場として、江蘇省南京市に「南京・平和友好桜花園」を開園し、桜の植樹等の交流イベントを実施するとともに、園内で開館予定である「中国書法博物館」建設のための地質調査、基礎工事を実施

プログラム名索引 (50 音順)

あ	アジア地域研究センター支援 (催し等)	270	国内公演 (助成)	109
	アジア・ユースフェロシップ高等教育奨学金訪日研修	200	国内展 (企画展)	68
	アニメ文化大使	114	国内連携促進	314
	安倍フェロシップ	301	さ	
い	異文化理解ワークショップ	52	在日外交官日本語研修	201
	インターネット	316	サンパウロ日本文化センター	484
う	内田奨学金フェロシップ (招へい)	85	し	
え	映像出版情報交流 (文化資料)	136	JFIC 事業	317
	映像出版情報交流 (催し)	127	JF サポーターズクラブ	317
お	小渕フェロシップ (派遣)	219	事業開発 (文化資料)	55
か	海外公演 (主催)	86	事業開発 (催し)	54
	海外公演 (助成)	91	事業評価 (企画評価)	330
	海外展 (企画展)	60	指導的日本語教師の養成 (海外日本語教師上級研修)	177
	海外展 (巡回展)	62	指導的日本語教師の養成 (日本語教育指導者)	176
	海外展 (助成)	69	シドニー日本文化センター	447
	海外日本映画祭 (主催)	114	市民交流支援 (日米草の根交流コーディネーター派遣/JOI)	304
	海外日本映画祭 (助成)	118	市民交流小規模助成	295
	海外日本語教育機関等調査	144	市民青少年交流 (主催/招へい)	37
	海外日本語教師研修 (国別)	180	市民青少年交流 (助成)	39
	海外日本語教師研修 (短期)	179	ジャカルタ日本文化センター	397
	海外日本語教師研修 (長期)	178	受託研修 (関西国際センター)	202
	開高健記念アジア作家招へい	35	受託研修 (関西国際センター) [アセアン]	203
	外国理解促進国内映画祭 (主催)	124	受託研修 (関西国際センター) [サーク]	204
	外国理解促進国内映画祭 (助成)	124	受託研修 (日本語国際センター)	182
	カイロ日本文化センター	509	受託研修 (日本語国際センター) [アセアン]	183
き	企画開発事業	299	受託研修 (日本語国際センター) [サーク]	184
	教育アウトリーチ小規模助成	296	受託事業 (アセアン)	30
	京都支部	336	受託事業 (アセアン)	57
く	クアラルンプール日本文化センター	428	受託事業 (アセアン)	149
け	ケレン日本文化会館	348	受託事業 (アセアン)	241
こ	後援名義の付与	320	受託事業 (日中交流センター)	208
	高校生等招へい事業	209	人物交流特定寄附	513
	交流拠点設置運営事業 (催し・主催)	211	せ	
	交流拠点設置運営事業 (催し・助成)	212	専門日本語研修 (外交官)	193
	国際交流顕彰事業 (基金賞・奨励賞)	318	専門日本語研修 (研究者・大学院生)	195
	国際交流顕彰事業 (地球市民賞)	319	専門日本語研修 (公務員)	195
	国際展 (国際展参加)	60	そ	
	国際展 (トリエンナーレ)	80	造形美術情報交流 (招へい)	59
	国際図書展参加	134	造形美術情報交流 (派遣)	58
	国際舞台芸術共同制作	107	造形美術情報交流 (催し)	78
	国内公演 (主催)	108	ソウル日本文化センター	364
			ち	
			地域交流研修 (関西国際センター)	200
			地域交流研修 (日本語国際センター)	184
			知的交流会議 (企画参画助成) [アジア・大洋州]	265
			知的交流会議 (主催) [アジア・大洋州]	268

知的交流会議（主催）〔欧州・中東・アフリカ〕	286	日本研究フェローシップ（短期）〔アジア・大洋州〕	256
知的交流会議（主催）〔米州〕	227	日本研究フェローシップ（短期）〔欧州・中東・アフリカ〕	280
知的交流会議（助成）〔アジア・大洋州〕	261	日本研究フェローシップ（短期）〔米州〕	224
知的交流会議（助成）〔欧州・中東・アフリカ〕	289	日本研究フェローシップ（論文執筆）〔欧州・中東・アフリカ〕	278
知的交流会議（助成）〔米州〕	228	日本研究フェローシップ（論文執筆）〔アジア・大洋州〕	252
知的交流小規模助成	294	日本研究フェローシップ（論文執筆）〔米州〕	222
知的交流フェローシップ（招へい）〔アジア・大洋州〕	260	日本語学習者訪日研修（各国成績優秀者）	197
知的交流フェローシップ（招へい）〔欧州・中東・アフリカ〕	283	日本語学習者訪日研修（高校生）（関西国際センター）	199
知的リーダー交流（招へい）〔アジア・大洋州〕	258	日本語学習者訪日研修（高校生）（日本語国際センター）	182
知的リーダー交流（招へい）〔欧州・中東・アフリカ〕	281	日本語学習者訪日研修（大学生）（関西国際センター）	198
知的リーダー交流（派遣）〔アジア・大洋州〕	259	日本語学習者訪日研修（大学生）（日本語国際センター）	181
知的リーダー交流（派遣）〔欧州・中東・アフリカ〕	282	日本語教育学会助成	159
知的リーダー交流（派遣）〔米州〕	226	日本語教育企画開発型事業	145
中学高校教員交流（招へい）	33	日本語教育機関支援（現地講師謝金助成）	160
中学高校教員交流（派遣）	35	日本語教育情報交流	145
調査研究	330	日本語教育専門家派遣（JF ボランティア・指導助手）	172
調査研究	334	日本語教育専門家派遣（ジュニア専門家）	157
て 定期刊行物	315	日本語教育専門家派遣（専門家）	153
テレビ番組交流促進	127	日本語教育プロジェクト支援（ネットワーク形成助成）	168
と 東南アジア元日本留学生生活動支援	231	日本語教育プロジェクト支援（弁論大会助成）	162
図書館運営（関西国際センター）	192	日本語教材寄贈	189
図書館運営（日本語国際センター）	190	日本語教材自主制作・普及	185
図書寄贈〔アジア・大洋州〕	271	日本語教材制作支援（助成）	187
図書寄贈〔企画調整〕	206	日本語特定寄附	514
トロント日本文化センター	454	日本語能力試験実施	173
に 日米協会支援	298	日本文化紹介派遣（主催）	18
日米交流支援（主催）	310	日本文化紹介派遣（助成）	23
日米交流支援（助成）	305	日本マンガ大賞	126
日米センターNPO フェローシップ	303	日本理解促進映画・テレビ番組制作（助成）	137
日本研究機関支援〔アジア・大洋州〕	237	日本理解促進出版・翻訳（主催）	138
日本研究機関支援〔欧州・中東・アフリカ〕	274	日本理解促進出版・翻訳（助成）	139
日本研究機関支援〔米州〕	216	ニューデリー日本文化センター	441
日本研究組織強化支援（助成）〔アジア・大洋州〕	240	ニューヨーク日本文化センター	463
日本研究組織強化支援（助成）〔欧州・中東・アフリカ〕	273	ね ネットワーク整備事業（文化資料）	213
日本研究組織強化支援（助成）〔米州〕	215	ネットワーク整備事業（催し・主催）	210
日本研究調査〔アジア・大洋州〕	230	年次報告	316
日本研究調査〔欧州・中東・アフリカ〕	273	は バリ日本文化会館	354
日本研究特定寄附	513	バンコク日本文化センター	413
日本研究フェローシップ（学者・研究者）〔アジア・大洋州〕	249	ひ 美術交流促進国内展（助成）	76
日本研究フェローシップ（学者・研究者）〔欧州・中東・アフリカ〕	276	評価開発	174
日本研究フェローシップ（学者・研究者）〔米州〕	220	ふ フィルムライブラリー充実（海外）	133
日本研究フェローシップ（社会科学院研究生院）	255	フィルムライブラリー充実（本部）	131
日本研究フェローシップ（高砂熱学工業）	257	舞台芸術情報交流（招へい）	83

	舞台芸術情報交流（派遣）	82
	舞台芸術情報交流（催し）	112
	ブダペスト日本文化センター	500
	文化協力（主催）	11
	文化協力（助成）	12
	文化交流企画運営補助（JF ボランティア）	36
	文化交流施設等特定寄附	516
	文化事情調査	332
	文化人招へい	15
へ	北京日本学研究中心研究支援（北京外国語大学）	236
	北京日本学研究中心研究支援（北京大学）	236
	北京日本学研究中心招へい（北京外国語大学）	234
	北京日本学研究中心招へい（北京大学）	235
	北京日本学研究中心派遣（北京外国語大学）	232
	北京日本学研究中心派遣（北京大学）	233
	北京日本文化センター	384
	ベトナム日本文化交流センター	147
ま	マニラ日本文化センター	421
め	メキシコ日本文化センター	479
も	モスクワ日本文化センター	507
	催し等特定寄附	515
ろ	ローマ日本文化会館	340
	ロサンゼルス日本文化センター	471
	ロンドン日本文化センター	491